

科目名	社会人入門		
担当教員名	松永 修一		
ナンバリング	KKe145		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - キャリア教育		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

学部共通科目学位授与方針キャリア教育 に該当する。

初年次の段階から働くことに対する勤労観・職業観を自ら養うことができる。同時に、社会人として必要になる基礎的・汎用的能力を高め、社会的・職業的自立を志向することができる。

科目の概要

即戦力の人材がもとめられている現在、専門知識と同時に、様々な問題を解決する力や、実行力、協調性などの「社会人としての基礎力」を学生に身につけてもらうための授業。

学修目標 (= 到達目標)

働くことと豊かな人生とは何かを考え、自己成長を促進させ、学び続ける力を身につけることの理解を目標とする。

内容

アクティブラーニングによる参加型授業。授業での様々な学びを通して共感と発見を目指し、自らのアクションを促す。

- 1回 オリエンテーション、「社会人入門」での学びの構え、型を学ぶ
- 2回 人生100年時代の幸福学「幸せ」と「豊かさ」について考える1
- 3回 人生100年時代の幸福学「幸せ」と「豊かさ」について考える2
- 4回 ソーシャルスキルを学ぶ1 今からのリーダーシップ
- 5回 ソーシャルスキルを学ぶ2
- 6回 ソーシャルスキルを学ぶ3
- 7回 ライフデザインを考える
- 8回 ライフデザインワークショップ (モデルを探す)
- 9回 ライフデザインワークショップ (イメージから実践へ)
- 10回 情報サービスとリテラシー・ソーシャルメディア活用術
- 11回 ソーシャルマナーを考える
- 12回 お金・マネー講座
- 13回 お金・マネー講座
- 14回 演習
- 15回 振り返り、まとめ

評価

Googleフォームでのリフレクションをポイント化 (60%)、適宜行う課題の評価 (30%)、最終テストの評価 (10%)。振り返り...1~7ポイントポイント、まとめ&感想...1~3ポイント、Self-evaluation 1~3ポイント) 課題...3~8ポイントとし、総合評価60点以上を合格とする。【フィードバック】Google formでインタラクティブに適宜フィードバックを行う。

授業外学習

【事前予習】事前教材の確認。

【事後学修】* 毎回授業後48時間以内にgoogle フォームに まとめ（何を学べたか）&感想（質問を含む） S
elf-evaluationクラスの「良い点」「気になる点」「ネクストステップ（具体的な修正アイデア）」を提出。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】授業中に説明します。

『女性の視点で見直す人材育成』

科目名	キャリアサポート		
担当教員名	松永 修一		
ナンバリング	KKe246		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - キャリア教育		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

学部共通科目学位授与方針キャリア教育 に該当する。

初年次の段階から働くことに対する勤労観・職業観を自ら養うことができる。同時に、社会人として必要になる基礎的・汎用的能力を高め、社会的・職業的自立を志向することができる。

科目の概要

即戦力の人材がもとめられている現在、専門知識と同時に、様々な問題を解決する力や、実行力、協調性などの「社会人としての基礎力」を学生に身につけてもらうための授業。

企業で活躍する女性ををお招きし、仕事への取り組みやワークライフバランスなど職業生活をどのようにデザインしているかを学ぶ。社会人からの学習を自分につなげ、自分自身のキャリアデザインを行う。

学修目標 (= 到達目標)

1. 社会人からの学びを基本に、自分の職業イメージ形成とキャリアプラン作りを行う。
2. 働くことと豊かな人生とは何かを考え、自己成長を促進させ、学び続ける力を身につけることの実現を目標とする。

内容

この授業は、アクティブラーニング (学生が自ら正解を探す「能動的学習スタイル」) による参加型授業です。

1	オリエンテーション、「キャリアサポート」での学びの構え、型を学ぶ
2	ワークショップの型を学ぶ、ファシリテーション技術を学ぶ
3	キャリアと人生について考える (人の幸せとは)
4	女性として働くとは (様々な働き方の選択を考える)
5	なでしこジャパン佐々木則夫流ソーシャルスキルを学ぶ 1
6	ゲストから学ぶ 1
7	理想の自分像をデザインする
8	ゲストから学ぶ 2
9	なでしこジャパン佐々木則夫流ソーシャルスキルを学ぶ 2
10	ゲストから学ぶ 3
11	理想の自分になるためのアクション
12	ゲストから学ぶ 4
13	フューチャーマッピング
14	ゲストから学ぶ 5
15	キャリアサポート学びの振り返り

評価

Googleフォームでのリフレクションをポイント化 (60%)、適宜行う課題の評価 (30%)、最終テストの評価 (10%)。振り返り...1~7ポイントポイント、まとめ&感想...1~3ポイント、Self-evaluation

1~3ポイント) 課題…3~8ポイントとし、総合評価60点以上を合格とする。【フィードバック】Google formでインタラクティブに適宜フィードバックを行う。

授業外学習

【事前予習】各回の事前課題教材の学習。

【事後学修】【事後学修】振り返りとして48時間以内に学びの内容や各自の気づきをGoogleフォームでの提出。フォーマットはインストラクションで解説。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】中原淳・『女性の視点で見直す人材育成』・ダイヤモンド社

【推薦図書】授業時に関連の本や資料を紹介する。

科目名	インターンシップ短期		
担当教員名	綿井 雅康		
ナンバリング	KKe247		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - キャリア教育		
学 年	1,2,3	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	1
資 格 関 係			

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

人間生活学部学位授与方針のキャリア教育の1に該当する。

インターンシップとは、学生が在学中の一定期間に企業や官公庁など実際の職場に出向いていき、職場で就業体験を行うという教育プログラムのことである。これによって社会の変化や経済・産業界のニーズを知り、社会に出てからの能力発揮が、可能になるよう準備する人材育策でもある。

科目の概要

5日 (35時間) 以上、協力企業・自治体で就業体験を行い、レポートを作成し、受け入れ先の評価をもらう。

学習目標

多くの学生にはインターンシップに参加することで職業選択や将来設計について考える貴重な機会となっている。またインターンシップに参加した学生は内定を早くとれる傾向が見られる。以上のことから、事前の準備 (心構え、情報や資料の収集等) をしっかり行うことが重要である。

内容

特定企業での勤務体験をめざす「企業体験型」、特定の職種に限定した「職業体験型」、職種や企業にこだわらず、職業体験を重視する「労働体験型」などがあり、自己の目的に合ったものを選んで行う。インターンシップはあくまで授業の一環として行われるものであり、アルバイトとは異なる。その意味からも実習に対しては無報酬が原則である。

インターンシップの受け入れ先については、就職支援課や教員からの紹介の他に、自己開拓も認める。なお、詳細については、就職支援課で実施するオリエンテーションに必ず出席して確認すること。

評価

受け入れ先の評価を考慮し、インターンシップレポートを作成、提出し、報告会で報告した学生のみ単位取得が可能。

授業外学習

【事前予習】少なくとも1週間程度は、自分が志望する複数の職種を事前に具体的に調査しておくこと。

【事後学修】終了後は、各自1週間程度はしっかりとフィードバックをし、反省すべき点を明らかにしておくこと。

教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

教科書は使用しない。

科目名	インターンシップ短期		
担当教員名	綿井 雅康		
ナンバリング	KKe247		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - キャリア教育		
学 年	1	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	1
資 格 関 係			

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

人間生活学部学位授与方針のキャリア教育の1に該当する。

インターンシップとは、学生が在学中の一定期間に企業や官公庁など実際の職場に出向いていき、職場で就業体験を行うという教育プログラムのことである。これによって社会の変化や経済・産業界のニーズを知り、社会に出てからの能力発揮が、可能になるよう準備する人材育策でもある。

科目の概要

5日 (35時間) 以上、協力企業・自治体で就業体験を行い、レポートを作成し、受け入れ先の評価をもらう。

学習目標

多くの学生にはインターンシップに参加することで職業選択や将来設計について考える貴重な機会となっている。またインターンシップに参加した学生は内定を早くとれる傾向が見られる。以上のことから、事前の準備 (心構え、情報や資料の収集等) をしっかり行うことが重要である。

内容

特定企業での勤務体験をめざす「企業体験型」、特定の職種に限定した「職業体験型」、職種や企業にこだわらず、職業体験を重視する「労働体験型」などがあり、自己の目的に合ったものを選んで行う。インターンシップはあくまで授業の一環として行われるものであり、アルバイトとは異なる。その意味からも実習に対しては無報酬が原則である。

インターンシップの受け入れ先については、就職支援課や教員からの紹介の他に、自己開拓も認める。なお、詳細については、就職支援課で実施するオリエンテーションに必ず出席して確認すること。

評価

受け入れ先の評価を考慮し、インターンシップレポートを作成、提出し、報告会で報告した学生のみ単位取得が可能。

授業外学習

【事前予習】少なくとも1週間程度は、自分が志望する複数の職種を事前に具体的に調査しておくこと。

【事後学修】終了後は、各自1週間程度はしっかりとフィードバックをし、反省すべき点を明らかにしておくこと。

教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

教科書は使用しない。

科目名	インターンシップ		
担当教員名	綿井 雅康		
ナンバリング	KKe248		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - キャリア教育		
学 年	1,2,3	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

人間生活学部学位授与方針のキャリア教育の1に該当する。

インターンシップとは、学生が在学中の一定期間に企業や官公庁など実際の職場に出向いていき、職場で就業体験を行うという教育プログラムのことである。これによって社会の変化や経済・産業界のニーズを知り、社会に出てからの能力発揮が、可能になるよう準備する人材育策でもある。

科目の概要

10日 (65時間) 以上、協力企業・自治体で就業体験を行い、レポートを作成し、受け入れ先の評価をもらう。

学習目標

多くの学生にはインターンシップに参加することで職業選択や将来設計について考える貴重な機会となっている。またインターンシップに参加した学生は内定を早くとれる傾向が見られる。以上のことから、事前の準備 (心構え、情報や資料の収集等) をしっかり行うことが重要である。

内容

特定企業での勤務体験をめざす「企業体験型」、特定の職種に限定した「職業体験型」、職種や企業にこだわらず、職業体験を重視する「労働体験型」などがあり、自己の目的に合ったものを選んで行う。

インターンシップはあくまで授業の一環として行われるものであり、アルバイトとは異なる。その意味からも実習に対しては無報酬が原則である。

インターンシップの受け入れ先については、就職支援課や教員からの紹介の他に、自己開拓も認める。なお、詳細については、就職支援課で実施するオリエンテーションに必ず出席して確認すること。

評価

受け入れ先の評価(A)、インターンシップレポート(B)、それに巡回指導(C)に基づいて行う。点数配分は、Aが40点、Bが40点、Cが20点とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】少なくとも1週間程度は、自分が志望する複数の職種を事前に具体的に調査しておくこと。

【事後学修】終了後は、各自1週間程度はしっかりとフィードバックをし、反省すべき点を明らかにしておくこと。

教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

教科書は使用しない。

科目名	インターンシップ		
担当教員名	綿井 雅康		
ナンバリング	KKe248		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - キャリア教育		
学 年	1	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

人間生活学部学位授与方針のキャリア教育の1に該当する。

インターンシップとは、学生が在学中の一定期間に企業や官公庁など実際の職場に出向いていき、職場で就業体験を行うという教育プログラムのことである。これによって社会の変化や経済・産業界のニーズを知り、社会に出てからの能力発揮が、可能になるよう準備する人材育策でもある。

科目の概要

10日 (65時間) 以上、協力企業・自治体で就業体験を行い、レポートを作成し、受け入れ先の評価をもらう。

学習目標

多くの学生にはインターンシップに参加することで職業選択や将来設計について考える貴重な機会となっている。またインターンシップに参加した学生は内定を早くとれる傾向が見られる。以上のことから、事前の準備 (心構え、情報や資料の収集等) をしっかり行うことが重要である。

内容

特定企業での勤務体験をめざす「企業体験型」、特定の職種に限定した「職業体験型」、職種や企業にこだわらず、職業体験を重視する「労働体験型」などがあり、自己の目的に合ったものを選んで行う。インターンシップはあくまで授業の一環として行われるものであり、アルバイトとは異なる。その意味からも実習に対しては無報酬が原則である。

インターンシップの受け入れ先については、就職支援課や教員からの紹介の他に、自己開拓も認める。なお、詳細については、就職支援課で実施するオリエンテーションに必ず出席して確認すること。

評価

受け入れ先の評価(A)、インターンシップレポート(B)、それに巡回指導(C)に基づいて行う。点数配分は、Aが40点、Bが40点、Cが20点とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】少なくとも1週間程度は、自分が志望する複数の職種を事前に具体的に調査しておくこと。

【事後学修】終了後は、各自1週間程度はしっかりとフィードバックをし、反省すべき点を明らかにしておくこと。

教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

教科書は使用しない。

科目名	自主社会活動		
担当教員名	松永 修一、安達 一寿		
ナンバリング	KKe249		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - キャリア教育		
学 年	1,2,3,4	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	1
資 格 関 係			

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

共通教育の学位授与方針2に該当する。

学内外での以下にあげるような条件に合う経験にもとづく学びに対して単位として認める科目であるため、このための定時の授業は行わない。しかし、事前・事後のレクチャーならびに打ち合わせ、活動日誌・レポートの作成・提出、報告会での発表は、単位認定に必要な条件である。

科目の概要

学生が学内外における社会的な活動を35時間以上、無償で行い、それについて活動日誌・レポートを作成・提出し、かつ、学内の報告会で発表した場合に、担任など担当教員が評価して1単位を与える。

活動の場と内容は、学外においては、地域活性化のプロジェクト、社会福祉施設、児童館などの教育施設の活動、NGO・NPO、国際NGOなどが行うイベントのサポートなど様々なボランティア活動、学内については、留学生支援ボランティアなどである。

学修目標

学生が自らの意志で参加したプロジェクトやその他の社会的な活動に参加して、大学の授業内の体験では経験できないことからの気づきや学びの獲得を目標とする。

内容

学内、学外における無償の利他的なプロジェクトへの参加、社会的活動などを、以下の3つの条件に合わせて行うこと。

35時間以上の活動であり、活動を通したゴール設定がなされている。(活動先に評価を依頼)

その内容、自分自身が学んだこと、提案などについて活動日誌・レポートを作成し、提出すること。

学内の発表会で報告すること。

履修に際して、事前・事後のレクチャーと打ち合わせを行う。

活動日誌・レポート:所定の書式に沿ってまとめる。構成・フォーマット、提出先、発表会の日程などについては、就職支援課に確認すること。

評価

活動受け入れ先の責任者(または担当者)から提出してもらった評価、本人が作成する活動日誌・レポートの内容、口頭発表にもとづいて、総合的な評価を行い、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】活動やプロジェクトの概要を理解し、その活動から何を体験し学びに結び付けられるかを考え、目標設定を行う。体験によるリスクについて考え、その回避法や管理について明確にし報告する。(60分)

【事後学修】活動の概要と学びについての報告をまとめ、発表報告会を行う。(60分)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

個々に応じて説明を行う。

科目名	自主社会活動		
担当教員名	松永 修一、安達 一寿		
ナンバリング	KKe249		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - キャリア教育		
学 年	1	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	1
資 格 関 係			

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

共通教育の学位授与方針2に該当する。

学内外での以下にあげるような条件に合う経験にもとづく学びに対して単位として認める科目であるため、このための定時の授業は行わない。しかし、事前・事後のレクチャーならびに打ち合わせ、活動日誌・レポートの作成・提出、報告会での発表は、単位認定に必要な条件である。

科目の概要

学生が学内外における社会的な活動を35時間以上、無償で行い、それについて活動日誌・レポートを作成・提出し、かつ、学内の報告会で発表した場合に、担任など担当教員が評価して1単位を与える。

活動の場と内容は、学外においては、地域活性化のプロジェクト、社会福祉施設、児童館などの教育施設の活動、NGO・NPO、国際NGOなどが行うイベントのサポートなど様々なボランティア活動、学内については、留学生支援ボランティアなどである。

学修目標

学生が自らの意志で参加したプロジェクトやその他の社会的な活動に参加して、大学の授業内の体験では経験できないことからの気づきや学びの獲得を目標とする。

内容

学内、学外における無償の利他的なプロジェクトへの参加、社会的活動などを、以下の3つの条件に合わせて行うこと。

35時間以上の活動であり、活動を通したゴール設定がなされている。(活動先に評価を依頼)

その内容、自分自身が学んだこと、提案などについて活動日誌・レポートを作成し、提出すること。

学内の発表会で報告すること。

履修に際して、事前・事後のレクチャーと打ち合わせを行う。

活動日誌・レポート:所定の書式に沿ってまとめる。構成・フォーマット、提出先、発表会の日程などについては、就職支援課に確認すること。

評価

活動受け入れ先の責任者(または担当者)から提出してもらった評価、本人が作成する活動日誌・レポートの内容、口頭発表にもとづいて、総合的な評価を行い、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】活動やプロジェクトの概要を理解し、その活動から何を体験し学びに結び付けられるかを考え、目標設定を行う。体験によるリスクについて考え、その回避法や管理について明確にし報告する。(60分)

【事後学修】活動の概要と学びについての報告をまとめ、発表報告会を行う。(60分)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

個々に応じて説明を行う。

科目名	企業に学ぶキャリアデザイン 課題解決プロジェクト		
担当教員名	松永 修一、石野 榮一		
ナンバリング	KKe251		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - キャリア教育		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

学部共通科目学位授与方針キャリア教育 に該当する。初年次の段階から働くことに対する勤労観・職業観を自ら養うことができる。同時に、社会人として必要になる基礎的・汎用的能力を高め、社会的・職業的自立を志向することができる。就職に関する早期の職業観を醸成し、埼玉県内企業で就労する魅力を伝えるものである。埼玉県の連携補助事業として実施する。

科目の概要

- ・ 県内企業の社員が授業に参加し、企業が直面する経営課題を学生に提示する
- ・ グループワークにより学生が提案する解決策を企業が評価する
- ・ 学生が「社会に必要な力と自分の持っている力」との違いを認識し、自ら主体的に学ぶ姿勢を身につける

学修目標 (= 到達目標)

- ・ 主体的に学び、行動できる学生の育成
- ・ 早期の職業観醸成
- ・ 県内企業への就職促進

内容

この授業は、アクティブラーニング (学生が自ら正解を探す「能動的学習スタイル」) による参加型授業です。企業側との日程調整により予定は変更になる場合もある。

1	オリエンテーション、ルールなど説明
2	課題解決とは? ディスカッション練習
3	A企業からの課題の提示
4	チームによる活動
5	A企業への一時提案
6	チームによる活動
7	A企業への最終提案、評価
8	振り返り、チーム再編
9	B企業からの課題の提示
10	チームによる活動
11	B企業への一時提案
12	チームによる活動
13	B企業への最終提案、評価
14	全体の振り返り
15	まとめ、効果測定

評価

Googleフォームでのリフレクションをポイント化（60%）、適宜行う課題の評価（30%）、最終テストの評価（10%）。振り返り…1~7ポイントポイント、まとめ&感想…1~3ポイント、Self-evaluation 1~3ポイント） 課題…3~8ポイントとし、総合評価60点以上を合格とする。【フィードバック】Google formでインターラクティブに適宜フィードバックを行う。

授業外学習

【事前準備】事前教材の確認。事前学習のための課題を各自で行う。

【事後学修】課題についてのグループでの協同活動。

* 毎回授業後48時間以内に まとめ（何を学べたか）&感想（質問を含む） Self-evaluationクラスの「良い点」「気になる点」「ネクストステップ（具体的な修正アイデア）」を提出。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】プロジェクト・サポート・ノートブック

科目名	企業に学ぶキャリアデザイン 社会人インタビュー		
担当教員名	石野 榮一、松永 修一		
ナンバリング	KKe252		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - キャリア教育		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

人間生活学部の学位授与方針 1、3 に該当する。

就職に関する早期の職業観を醸成し、埼玉県内企業で就労する魅力を伝えるものである。

埼玉県の全面的な協力を得て実施する。

科目の概要

1. 就職活動に取り組む際の情報収集ポイントを学ぶ。
2. 埼玉県内の企業を訪問し、社員にインタビューを実施する。
3. インタビューを題材に学生がキャリアデザインを考え、学生間で共有することで職業観を養う。
4. 「埼玉県 企業ガイド2020」の原稿を執筆する、最終的には埼玉県内で配布される予定。

学修目標 (= 到達目標)

1. 自ら情報収集に取り組み、積極的にグループワークに参加することで主体的に学び、行動できる能力を養う。
2. 早期の職業観を醸成する。
3. 埼玉県内の企業への就職を勧める。

内容

企業側との日程調整により予定は変更になる場合もある。

1	オリエンテーション
2	業界研究・企業研究の方法を学ぶ
3	プレゼンテーション
4	ビジネスマナーの理解と実践
5	研究企業の決定と計画
6	研究方法を学ぶ
7	研究テーマのプレゼンテーション
8	効果的な質問を考える
9	社会人インタビューの実践
10	社会人インタビューの実践
11	社会人インタビュー報告会の準備
12	社会人インタビュー報告会
13	グループワーク振り返り
14	行動計画プレゼンテーション
15	まとめ、効果測定

評価

毎回の授業への参加度50%、インタビュー20%、原稿制作10%、グループワーク20%ととし、総合評価60点以上

を合格とする。

【フィードバック】毎回の授業で振り返りをまとめ翌週に返却、授業の最終回で全体の振り返りを行う。

授業外学習

【事前準備】企業訪問などの校外活動に主体的に参加する姿勢が必要である。事前に課題を提示するのでまとめてくること。（おおむね60分ほど）

【事後学修】グループでの活動が必要になる。事前学習と授業内容を基に学んだことをまとめる（各授業に対して60分ほど）

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】マイキャリアノート、埼玉県企業ガイド2019（いずれも授業内で配布）

科目名	留学生のためのキャリアデザイン		
担当教員名	込江 雅彦、池間 里代子		
ナンバリング	KKe253		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - キャリア教育		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

この科目は、人間生活学部の学位授与方針 1, 2, 3 に該当する。留学生が日本での就職活動をする上で必要なことを学習し、日本での就職活動を進めていける力を身につけさせることを目標とする。また、大学院、研究生、専門学校への進学を考えている学生に対しては別途指導する。

科目の概要

日本での就職活動の方法を学習し、また、業界研究や日本経済の現状について、学習する。さらに、就職活動におけるマナー、面接、グループディスカッションの練習を行う。

学修目標 (= 到達目標)

留学生が日本での就職を自力でできる力をつける。

内容	
1	ガイダンス, 授業の進め方
2	日本における就職活動の方法
3	自己分析、自己PR
4	自己分析、自己PR
5	自己分析、自己PR
6	履歴書、希望調査書の記入
7	模擬面接
8	模擬面接
9	模擬面接 (該当者がいれば内定者体験談)
10	グループディスカッション
11	面接・マナーを学ぼう
12	面接・マナーを学ぼう
13	企業研究、職種研究について
14	就職サイト登録、ビザ・求人の探し方
15	就職ガイダンス、まとめ (進路調査アンケート、授業アンケート)

評価

各回の課題 (40%) と最終レポート (60%) とし、総合評価60点以上を合格とする。

【フィードバック】 毎授業の最初に前回授業の質疑に返答し、学習理解を深められるようにする。

授業外学習

【事前準備】日本の新聞やテレビなどを見る。（各授業に対して30分）

【事後学修】授業の内容を復習する。（各授業に対して30分）

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】授業中に指示する。

科目名	キャリア基礎力入門		
担当教員名	加藤 順弘		
ナンバリング	KKe250		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - キャリア教育		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

大学教育とその後の社会人としてのキャリア形成を支援するための基礎科目である。

科目の概要

就職活動に関わる具体的な基礎力向上のために、特に非言語領域、数学、算数 の授業、問題演習を到達度別クラスに分かれて2年次に行う。

学修目標

基礎的な非言語領域、数学、算数および言語領域の演習を中心に行い、基礎的な学力の向上を図る。

学習單元ごとに「考え方」を理解し攻略のコツを覚えることが出来る。

就職活動時には必要となる学習であるため、苦手だと感じている学生は後期のキャリア基礎力応用と継続して受講することが望まれる。

3年次には、授業「現代社会理解」を履修して就職試験に対応する力を養う。

内容

本授業は下表に示す各分野の問題の解き方を説明し、関連する問題を学生が自分で解くことにより、その意味や解き方を理解する。

1	ガイダンス、チェックテスト 必ず受験してください。 内容の順番はクラス毎に異なります。
2	非言語分野1 (計算と文字式：四則計算、正負の計算、少数と分数、因数分解)
3	非言語分野2 (計算と文字式：四則計算、正負の計算、少数と分数、因数分解)
4	非言語分野3 (数の性質：倍数、約数、素因数分解、平方根)
5	非言語分野4 (数の性質：倍数、約数、素因数分解、平方根)
6	非言語分野5 (文章題の基礎：1次方程式、比例、割合)
7	非言語分野6 (文章題の基礎：連立方程式、等式と不等式)
8	非言語分野7 (文章題の基礎：利益、濃度 (食塩水)、速さ)
9	非言語分野8 (関数とグラフ：2次方程式、解の公式)
10	非言語分野9 (関数とグラフ：1次関数とグラフ、1次関数と図形)
11	非言語分野10 (関数とグラフ：2次関数の基礎、グラフと領域)
12	言語分野1 (熟語)
13	言語分野2 (故事成語、慣用句)
14	言語分野3 (長文読解)
15	まとめ

評価

小テスト50点、期末テスト50点などをもとに、総合評価し、総合評価60点以上を合格とする。

【フィードバック】毎授業の最初に前回授業の質疑に応答し、学習理解を深められるようにする。

授業外学習

【事前予習】テキストの未修ポイントの学習1時間

【事後学修】テキストを中心とした練習問題学習 1時間

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】2回目の授業前に販売

科目名	キャリア基礎力応用		
担当教員名	棚谷 祐一		
ナンバリング	KKe350		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - キャリア教育		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

人間生活学部の学位授与方針「キャリア教育」1に該当する。

大学教育とその後の社会人としてのキャリア形成を支援するために、就職活動に関わる具体的な基礎力向上を目指した授業を行う。

科目の概要

就職活動においてSPIや一般常識は重要な第一歩であり、それをクリアすることは必要条件となる。こうした基礎知識を、解説を含めてわかりやすく学習し、基礎力向上につなげる。就職活動に必要な学習であるので、多くの学生が受講することが望まれる。

学修目標 (= 到達目標)

就職活動に関わる具体的な基礎力向上を目指す。

内容

能力別にクラス分けを行い、講義形式で講義を行なう。講義の時間の中でミニテストを実施、各科目ごとの習熟度を測る。

1	非言語分野 1 (推論)
2	非言語分野 2 (推論)
3	非言語分野 3 (集合)
4	非言語分野 4 (表・資料の読み取り)
5	非言語分野 5 (場合の数)
6	非言語分野 6 (確率)
7	非言語分野 7 (速さ)
8	非言語分野 8 (損益算、割引)
9	非言語分野 9 (分割払い、代金の計算)
10	非言語分野 10 (割合)
11	言語分野 1 (二語の関係、熟語)
12	言語分野 2 (長文読解、空欄補充)
13	一般常識 1 (社会、英語)
14	一般常識 2 (文化、時事、理科)
15	まとめ

評価

小テスト50点、期末テスト50点などをもとに、総合評価し、総合評価60点以上を合格とする。

【フィードバック】毎授業の最初に前回授業の質疑に回答し、学習理解を深められるようにする。

授業外学習

【事前予習】テキストの未修ポイントの予習、疑問点をメモ（1時間）

【事後学修】テキストを中心とした練習問題学習、疑問解決を書き込み（1時間）

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】1回目の授業前に販売

科目名	現代社会理解		
担当教員名	石野 榮一、松永 修一		
ナンバリング	KKe351		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - キャリア教育		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

人間生活学部の学位授与方針 1、2、3 に該当する。

大学教育とその後の社会生活におけるキャリア形成を支援するための基礎科目である。

科目の概要

2年生で学習した知識をもとに、一層の基礎学力の向上を目標にし、SPI3テストセンターおよびC-GAB (玉手箱) の対策を行う。

学修目標 (= 到達目標)

SPI3テストセンターおよびC-GAB (玉手箱) 対策をし、基礎的な学力を向上する。

内容	
1	学習の進め方、方程式の復習
2	文章題の基本
3	場合の数、確率の基本
4	割合の基本
5	分割払いの問題
6	図表の読み方の基本
7	レベル1模擬試験
8	順列、組み合わせ
9	推論の基本
10	推論の応用
11	推論の応用2
12	割合の応用
13	損益算の基本
14	集合
15	まとめ

評価

出席、前期試験50点などをもとにし、総合評価60点以上を合格とする。特に受講態度、授業参加度を重視する。

授業外学習

【事前準備】トオルゾウの「確認テスト」を受験し、学習する内容のイメージをつかむ。

【事後学修】授業については復習することを必須とする。トオルゾウにて授業時に学んだ分野の問題を解く。(各授業に対して2時間程度)

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書は使用せずに、SPI対策Eラーニングツールズを利用する。パソコンまたはスマートフォンにて授業と並行して学習する。その他必要に応じてツールズに含まれる資料を各自プリントする。

科目名	ハンゲル		
担当教員名	チョ ヒ		
ナンバリング	KKc127		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - ハンゲル		
学 年	1	ク ラ ス	0Aクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格 / 高等学校教諭一種免許状 (情報) / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 栄養教諭二種免許状 / 小学校教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (国語) / 高等学校教諭一種免許状 (国語) / 中学校教諭一種免許状 (保健体育) / 高等学校教諭一種免許状 (保健体育)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

外国語1.2.3に該当する。

韓国の文化や社会のトレンドを理解し、文化の多様性を理解した上でグローバル社会で活躍できる資質と能力を身につける。

科目の概要

前期はハンゲルの文字や発音を学習しながら、基本的な文法を使って簡単な会話にチャレンジしてみる。後期は動詞の活用形を学び短文を書く練習を行う。また実践的な会話トレーニングを多く行うことで、基本的なコミュニケーションの力を身につける。

学修目標 (= 到達目標)

- 1.ハンゲルの文字・発音・文法を知り、ドラマや映画、K-POPを通じて韓国の文化に触れる。
- 2.日韓の比較文化の発表を行うことで両国の文化の違いを理解する。
- 3.「韓国語能力試験 (TOPIK・)」「ハンゲル能力試験4・5級」レベルの理解力を身に付ける。

内容

この授業は講義を基本に、グループ発表をしながら日韓の文化の違いを理解していく。

1	Lesson1-6 ハンゲル入門1 (母音・子音)・反切表
2	Lesson7-14 ハンゲル入門2 (濃音・激音・発音の規則)
3	Lesson15・16 (~です・ですか) (指示代名詞)
4	Lesson17・18 (否定文) (います・いません)
5	Lesson19・20 (です・ます)
6	Lesson21・22 (あります・ありません) (位置)
7	Lesson23・24 (うちとけた文体)
8	Lesson25 (名詞+する)
9	Lesson26・27 (漢数詞) (固有数詞)
10	Lesson28・29 (原因・理由+丁寧な命令) (何時何分)
11	Lesson30・31 (何月何日) (条件・仮定文)
12	Lesson32・33 (否定) (尊敬・意思の表現)
13	Lesson34・35 (~なさる) (依頼文)
14	Lesson36・37 (~して、~で) (~してみる)
15	まとめ

評価

授業への参加度10%、毎回のリアクションペーパー等10%、日韓の比較文化の発表（テーマは自由）40%、毎回定期試験40%とし総合評価60点以上を合格とする。

【フィードバック】授業の前に前回の復習や質疑に返答し、学習の理解をより深められるようにする。

授業外学習

【事前準備】日韓の比較文化について発表のテーマを考えて下調べをしておく。テーマは教育・社会・文化全般、例えば若者の価値観、恋愛観、物価の比較、衣食住の文化、美容と健康について、人気職業など関心のある分野を調べて5 - 10分以内に発表できるようにまとめておく。（各授業に対して60分）

【事後学修】毎回学習した内容を復習して、ノートにまとめておく。（各授業に対して60分）

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】長友英子・荻原優子 共著「韓国語をひとつひとつわかりやすく。」学研

【推薦書】韓国語教育財団「韓国語能力試験過去問題集 TOPIK 1」

ハングル能力検定協会「ハングル能力試験過去問題集 5・4級」

科目名	ハンゲル		
担当教員名	チョ ヒ		
ナンバリング	KKc127		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - ハンゲル		
学 年	1	ク ラ ス	0Bクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格 / 高等学校教諭一種免許状 (情報) / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 栄養教諭二種免許状 / 小学校教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (国語) / 高等学校教諭一種免許状 (国語) / 中学校教諭一種免許状 (保健体育) / 高等学校教諭一種免許状 (保健体育)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

外国語1・2.3に該当する。

韓国の文化や社会のトレンドを理解し、文化の多様性を理解した上でグローバル社会で活躍できる資質と能力を身につける。

科目の概要

前期は、ハンゲルの文字や発音を学習しながら、基本的な文法を使って簡単な会話をする。後期は、動詞の活動形を習い、日記や手紙を書く練習を行う。また、実践的な会話のトレーニングを多く行うことで、基本的なコミュニケーションの力を身につける。

学修目標 (= 到達目標)

1. ハンゲルの文字・発音・文法を知り、ドラマや映画、K-POPを通じて韓国の文化に触れる。
2. 日韓の比較文化の発表を行うことで両国の文化の違いを理解する。
3. 「韓国語能力試験 (TOPIK・) 」 「ハンゲル能力試験4・5級」レベルの理解力を身に付ける。

内容

この授業は講義を基本に、グループ発表をしながら日韓の文化の違いを理解していく。

1	Lesson1-6 ハンゲル入門1 (母音・子音) 反切表
2	Lesson7-14 ハンゲル入門2 (濃音・激音・発音の規則)
3	Lesson15・16 (~です・ですか) (指示代名詞)
4	Lesson17・18 (否定文) (います・いません)
5	Lesson19・20 (です・ます)
6	Lesson21・22 (あります・ありません) (位置)
7	Lesson23・24 (うちとけた文体)
8	Lesson25 (名詞+する)
9	Lesson26・27 (漢数詞) (固有数詞)
10	Lesson28・29 (原因・理由+丁寧な命令) (何時何分)
11	Lesson30・31 (何月何日) (条件・仮定文)
12	Lesson32・33 (否定) (尊敬・意思の表現)
13	Lesson34・35 (~なさる) (依頼文)
14	Lesson36・37 (~して・~で) (~してみる)
15	まとめ

評価

授業への参加度10%、毎回のリアクションペーパー等10%、日韓比較文化の発表（テーマは自由）40%、毎回定期試験40%とし総合評価60点以上を合格とする。

【フィードバック】授業の前に前回の復習や質疑に返答し、学習の理解をより深められるようにする。

授業外学習

【事前準備】日韓の比較文化について発表のテーマを考えて下調べをしておく。テーマは教育・社会・文化全般、例えば若者の価値観、恋愛観、物価の比較、衣食住の文化、美容と健康について、人気職業など関心のある分野を調べて発表できるようにまとめておく。（各授業に対して60分）

【事後学修】毎回学習した内容をきちんと復習してノートにまとめておく。（各授業に対して60分）

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】長友英子・荻原優子 共著「韓国語をひとつひとつわかりやすく。」学研

【推薦書】韓国語教育財団「韓国語能力試験過去問題集 TOPIK 1」

ハングル能力検定協会「ハングル能力試験過去問題集 5・4級」

科目名	ハンゲル		
担当教員名	チョ ヒ		
ナンバリング	KKc227		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - ハンゲル		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	通年	必修・選択の別	選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

外国語1・2.3に該当する。

韓国の文化や社会のトレンドを理解し、文化の多様性を理解した上でグローバル社会で活躍できる資質と能力を身につける。

科目の概要

基本文字を復習したあと、重要文型や多様な表現を用いて対話文の練習を行う。あとドラマや歌の歌詞を訳しながら表現の比較から両国の文化の違いを理解する。

学修目標 (= 到達目標)

1. 対話文の練習を通じて基本的な日常会話ができるようにする。
2. 韓国語の基礎文法を理解した上で、作文を通じて文章力を身につける。
3. 「韓国語能力試験TOPIK 1・ 」 「ハンゲル能力試験4・3級」にもチャレンジしてみる。

内容

この授業は講義を基本に、基本的な会話文や事柄を韓国語で発表ができるようにしながら進めていく。

1	Unit 1 文法・対話 (敬語・謙譲語)
2	Unit 1 課題・聞いて話す
3	Unit 1 読んで話す・作文
4	Unit 2 文法・対話 (～現在進行形) (～した後) (～しようと)
5	Unit 2 課題・聞いて話す
6	Unit 2 読んで話す・作文
7	Unit 3 文法・対話 (～する時) (～する前) (～して)
8	Unit 3 課題 聞いて話す・前期まとめ
9	Unit 3 読んで話す・作文
10	Unit 4 文法・対話 (～すると) (～でしょうか)
11	Unit 4 課題・聞いて話す
12	Unit 4 読んで話す・作文
13	Unit 5 文法・対話 (～すること) (～なので) (～しましょう)
14	Unit 5 課題・聞いて話す
15	まとめ

評価

授業への参加度10%、各課の単語テスト10%、好きなドラマや歌の訳の発表40%、毎回定期試験40%とし総合評価60点以上を合格とする。

【フィードバック】授業の前に前回の復習や質疑に返答し、学習の理解をより深められるようにする。

授業外学習

【事前準備】各課の新しい単語と語彙を予習した上で、学習する内容の対話文や長文のCDを聴いてくる。あと、好きなドラマや歌を訳して文書の構成を考えておく。（各授業に対して60分）

【事後学修】毎回学習した文法や表現を復習してノートにまとめておく。（各授業に対して60分）

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】「Sogan Korean New Series 2A Student's Book」（株）図書出版夏雨（Unit 1-5 プリントを配布する。）

【推薦書】韓国語教育財団「韓国語能力試験過去問題集TOPIK 1・2級」 ハングル能力検定協会「ハングル能力試験過去問題集4・3級」

科目名	フランス語		
担当教員名	増茂 和男、マブソン ローラン		
ナンバリング	KKc125		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - フランス語		
学 年	1	ク ラ ス	0Aクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格 / 高等学校教諭一種免許状 (情報) / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 栄養教諭二種免許状 / 小学校教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (国語) / 高等学校教諭一種免許状 (国語) / 中学校教諭一種免許状 (保健体育) / 高等学校教諭一種免許状 (保健体育)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

人間生活学部の学位授与方針 1, 2, 3 に該当する。

ネイティブ・スピーカー (フランス人講師) と共に、EUや世界の様々な国の公用語であるフランス語を基礎から学びます。同時にフランス語を通してフランス現代文化やヨーロッパ文化の歴史などに触れます。またインターネットで現代のフランス社会にも目を向け、語学と文化の両面から日本とヨーロッパの相互理解を深めることができるようになることが期待できます。

科目の概要

教科書を通して、平易なフランス語の文章から、語彙や文法を学習し、同時にフランスの若者の日常生活を扱ったビデオ教材 (フランスのテレビ番組など) を通して簡単な会話表現を習得していきます。またフランスやパリを背景とした短編映画集 (「Paris Je t'aime」) や教養ビデオを鑑賞し、フランス文化にも触れると同時に、こちらからの意志表示の表現も学びます。

学修目標 (= 到達目標)

前期は現在形まで学び、簡単な日常表現の会話ができるようにして、後期は様々な形容詞・代名詞から入り、会話を主体として、多くの応用練習を通じて実際に使える (話せる) フランス語コミュニケーション能力を上げます。すべての授業において丁寧な発音練習を行います。授業 3 回のうち 2 回は、学生がホワイトボードに上がり練習問題を実習します。復習として仏検 5 級の問題も扱います。

内容

この授業は講義を基本に、フランス語会話を取り入れながら、学びを深めていく。

前期 (1回 ~ 15回) はマブソン、後期 (16回 ~ 30回) は増茂が担当します。

【第1回】alphabet / つづり字記号, フランス語の音

【第2回】第 1 課 DVD スキット + 文法 : 主語人称代名詞、動詞 être、国籍・職業など【第3-4回】第 1 課の会話練習 + 筆記練習 2014年版教科書を使って 応用として、2010年版教科書のコピーを使って (コピー配布)

【第5回】第 2 課 DVD スキット + 文法 : 不定冠詞、名詞の性・数、形容詞の性・数、動詞 avoir など【第6-7回】第 2 課の会話練習 + 筆記練習 2014年版教科書を使って 応用として、2010年版教科書のコピーを使って (コピー配布)

【第8回】第 3 課 DVD スキット + 文法 : 定冠詞、er 動詞の直説法現在、否定文など【第9-10回】第 3 課の会話練習 + 筆記練習 2014年版教科書を使って 応用として、2010年版教科書のコピーを使って (コピー配布)

【第11回】第 4 課 DVD スキット + 文法 : 指示形容詞、動詞 faire / descendre、疑問文など【第12-13回】第 4 課の会話練習 + 筆記練習 2014年版教科書を使って 応用として、2010

年版教科書のコピーを使って (コピー配布)

【第14回】まとめ 1 【第15回】まとめ 2

【第16回】前期の復習

【第17回】第 5 課 DVD スキット + 文法 : 動詞 aller / venir、前置詞と定冠詞の縮約など【第18-19回】

第 5 課の会話練習 + 筆記練習 2014年版教科書を使って 応用として、2010年版教科書のコピーを使っ

て(コピー配布)【第20回】第6課 DVDスキット+文法:所有形容詞、強勢形人称、疑問形容詞など【第21-22回】第6課の会話練習+筆記練習 2014年版教科書を使って 応用として、2010年版教科書のコピーを使って(コピー配布)【第23回】第7課 DVDスキット+文法:部分冠詞、ir動詞、動詞vouloirなど【第24-25回】第7課の会話練習+筆記練習 2014年版教科書を使って 応用として、2010年版教科書のコピーを使って(コピー配布)【第26回】第8課 DVDスキット+文法:非人称構文、直接目的語代名詞、動詞pouvoirなど【第27-28回】第8課の会話練習+筆記練習 2014年版教科書を使って 応用として、2010年版教科書のコピーを使って(コピー配布)
【第29回】まとめ1【第30回】まとめ2

評価

授業の取り組みへの姿勢20点+期末テスト80点(合計100点)とし、総合評価60点以上を合格とする。
ホワイトボードでの演習(exercices)を実施し、課題に対するフィードバックとする。

授業外学習

【事前予習】この科目では60時間以上の授業外学習を行うこと。各回の授業で扱う項目について、テキストの該当箇所を読み、理解できた点とできなかった点を明らかにして授業を受けること。

【事後学修】授業中に指示した次回の練習問題(スキット学習の週以外)つまり教科書の練習問題もしくはプリントで配布した2010年版教科書の練習問題の準備が必要。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】『ピエールとユゴー』(コンパクト版)"Pierre et Hugo" 小笠原洋子 白水社 2018

科目名	フランス語		
担当教員名	増茂 和男、マブソン ローラン		
ナンバリング	KKc125		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - フランス語		
学 年	1	ク ラ ス	0Bクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格 / 高等学校教諭一種免許状 (情報) / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 栄養教諭二種免許状 / 小学校教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (国語) / 高等学校教諭一種免許状 (国語) / 中学校教諭一種免許状 (保健体育) / 高等学校教諭一種免許状 (保健体育)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

人間生活学部の学位授与方針 1, 2, 3 に該当する。

ネイティブ・スピーカー (フランス人講師) と共に、EUや世界の様々な国の公用語であるフランス語を基礎から学びます。同時にフランス語を通してフランス現代文化やヨーロッパ文化の歴史などに触れます。またインターネットで現代のフランス社会にも目を向け、語学と文化の両面から日本とヨーロッパの相互理解を深めることができるようになることが期待できます。

科目の概要

教科書を通して、平易なフランス語の文章から、語彙や文法を学習し、同時にフランスの若者の日常生活を扱ったビデオ教材 (フランスのテレビ番組など) を通して簡単な会話表現を習得していきます。またフランスやパリを背景とした短編映画集 (「Paris Je t'aime」) や教養ビデオを鑑賞し、フランス文化にも触れると同時に、こちらからの意志表示の表現も学びます。

学修目標 (= 到達目標)

前期は現在形まで学び、簡単な日常表現の会話ができるようにして、後期は様々な形容詞・代名詞から入り、会話を主体として、多くの応用練習を通じて実際に使える (話せる) フランス語コミュニケーション能力を上げます。すべての授業において丁寧な発音練習を行います。授業 3 回のうち 2 回は、学生がホワイトボードに上がり練習問題を実習します。復習として仏検 5 級の問題も扱います。

内容

この授業は講義を基本に、フランス語会話を取り入れながら、学びを深めていく。

前期 (1回 ~ 15回) はマブソン、後期 (16回 ~ 30回) は増茂が担当します。

【第1回】alphabet / つづり字記号, フランス語の音

【第2回】第 1 課 DVD スキット + 文法 : 主語人称代名詞、動詞 être、国籍・職業など【第3-4回】第 1 課の会話練習 + 筆記練習 2014年版教科書を使って 応用として、2010年版教科書のコピーを使って (コピー配布)

【第5回】第 2 課 DVD スキット + 文法 : 不定冠詞、名詞の性・数、形容詞の性・数、動詞 avoir など【第6-7回】第 2 課の会話練習 + 筆記練習 2014年版教科書を使って 応用として、2010年版教科書のコピーを使って (コピー配布)

【第8回】第 3 課 DVD スキット + 文法 : 定冠詞、er 動詞の直説法現在、否定文など【第9-10回】第 3 課の会話練習 + 筆記練習 2014年版教科書を使って 応用として、2010年版教科書のコピーを使って (コピー配布)

【第11回】第 4 課 DVD スキット + 文法 : 指示形容詞、動詞 faire / descendre、疑問文など【第12-13回】第 4 課の会話練習 + 筆記練習 2014年版教科書を使って 応用として、2010

年版教科書のコピーを使って (コピー配布)

【第14回】まとめ 1 【第15回】まとめ 2

【第16回】前期の復習

【第17回】第 5 課 DVD スキット + 文法 : 動詞 aller / venir、前置詞と定冠詞の縮約など【第18-19回】

第 5 課の会話練習 + 筆記練習 2014年版教科書を使って 応用として、2010年版教科書のコピーを使っ

て(コピー配布)【第20回】第6課 DVDスキット+文法:所有形容詞、強勢形人称、疑問形容詞など【第21-22回】第6課の会話練習+筆記練習 2014年版教科書を使って 応用として、2010年版教科書のコピーを使って(コピー配布)【第23回】第7課 DVDスキット+文法:部分冠詞、ir動詞、動詞vouloirなど【第24-25回】第7課の会話練習+筆記練習 2014年版教科書を使って 応用として、2010年版教科書のコピーを使って(コピー配布)【第26回】第8課 DVDスキット+文法:非人称構文、直接目的語代名詞、動詞pouvoirなど【第27-28回】第8課の会話練習+筆記練習 2014年版教科書を使って 応用として、2010年版教科書のコピーを使って(コピー配布)
【第29回】まとめ1【第30回】まとめ2

評価

授業の取り組みへの姿勢20点+期末テスト80点(合計100点)とし、総合評価60点以上を合格とする。
ホワイトボードでの演習(exercices)を実施し、課題に対するフィードバックとする。

授業外学習

【事前予習】この科目では60時間以上の授業外学習を行うこと。各回の授業で扱う項目について、テキストの該当箇所を読み、理解できた点とできなかった点を明らかにして授業を受けること。

【事後学修】授業中に指示した次回の練習問題(スキット学習の週以外)つまり教科書の練習問題もしくはプリントで配布した2010年版教科書の練習問題の準備が必要。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】『ピエールとユゴー』(コンパクト版)"Pierre et Hugo" 小笠原洋子 白水社 2018

科目名	フランス語		
担当教員名	マブソン ローラン		
ナンバリング	KKc225		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - フランス語		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	通年	必修・選択の別	選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

人間生活学部の学位授与方針 1, 2, 3 に該当する。

ネイティブ・スピーカー (フランス人講師) と共に、EU や世界の様々な国の公用語であるフランス語を基礎から学びます。同時にフランス語を通してフランス現代文化やヨーロッパ文化の歴史などに触れます。またインターネットで現代のフランス社会にも目を向け、語学と文化の両面から日本とヨーロッパの相互理解を深めることができるようになることが期待できます。

科目の概要

フランス語 1 の続きとして、ビデオ教材を通して、日常更に豊かな表現ができるようにします。文法の復習や補足としては、仏検 4 級レベルの問題を扱います。また、フランスやヨーロッパ文化を背景とした教養ビデオ (バレエ、オペラ、歌曲など) を鑑賞し、文化にも触れると同時に、こちらからの意志表示の表現も学びます。

学修目標 (= 到達目標)

前期は現在形から近接過去・近接未来、後期は過去分詞から入り、会話を主体として、実際に使える (話せる) フランス語コミュニケーション能力を上げます。すべての授業において丁寧な発音練習を行います。

内容

この授業は講義を基本に、フランス語会話を取り入れながら、学びを深めていく。

【第1回】教科書第 1 課 ~ 第 8 課の復習・まとめ

【第2回】第 9 課 DVD スキット + 文法 : 動詞 prendre、間接目的語代名詞、題名動詞など【第3-5回】第 9 課

の会話練習 + 筆記練習 2014 年版教科書を使って 応用として、2010 年版教科書のコピーを使って (コピ

ー配布) 文化講座 : フランス派バレエについて【第6回】第 10 課 DVD スキット + 文法 : 近接未来、近接過去、中

性代名詞など【第7-9回】第 10 課の会話練習 + 筆記練習 2014 年版教科書を使って 応用として、201

0 年版教科書のコピーを使って (コピー配布) 文化講座 : オペラ、白鳥伝説などについて【第10回】第 11 課 DV

D スキット + 文法 : 比較級、最上級など【第11-13回】第 11 課の会話練習 + 筆記練習 2014 年版教科書を使

って 応用として、2010 年版教科書のコピーを使って (コピー配布) 文化講座 : フランスの家族構造について

【第14回】まとめ 1 【第15回】まとめ 2

【第16回】前期の復習

【第17回】第 12 課 DVD スキット + 文法 : 過去分詞、複合過去 (1) など【第18-20回】第 12 課の会話練習 +

筆記練習 2014 年版教科書を使って 応用として、2010 年版教科書のコピーを使って (コピー配布)

文化講座 : フランス絵画について (マチス、ピカソなど) 【第21回】第 13 課 DVD スキット + 文法 : 複合過去 (2)

など【第22-24回】第 13 課の会話練習 + 筆記練習 2014 年版教科書を使って 応用として、2010 年

版教科書のコピーを使って (コピー配布) 文化講座 : フランスの詩について (ヴェルレーヌ、ランボーなど) 【第25

回】第 14 課 DVD スキット + 文法 : 半過去、大過去など【第26-28回】第 14 課の会話練習 + 筆記練習 20

14 年版教科書を使って 応用として、2010 年版教科書のコピーを使って (コピー配布) フランスのフェミニ

ズムについて (サンドとショパンなど)

【第29回】まとめ1 【第30回】まとめ2

評価

授業の取り組みへの姿勢 20点+期末テスト 80点（合計100点）とし、総合評価60点以上を合格とする。
ホワイトボードでの演習(exercices)を実施し、課題に対するフィードバックとする。

授業外学習

【事前予習】この科目では60時間以上の授業外学習を行うこと。各回の授業で扱う項目について、テキストの該当箇所を読み、理解できた点とできなかった点を明らかにして授業を受けること。

【事後学修】授業中に指示した次回の練習問題（スキット学習あるいは文化講座の週以外）、つまり教科書の練習問題もしくはプリントで配布した2010年版教科書の練習問題の準備が必要。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】『ピエールとユゴー』（コンパクト版）"Pierre et Hugo" 小笠原洋子 白水社 2018
（もしくは2014年版）

科目名	中国語		
担当教員名	池間 里代子		
ナンバリング	KKc126		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 中国語		
学 年	1	ク ラ ス	0Aクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格 / 高等学校教諭一種免許状 (情報) / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 栄養教諭二種免許状 / 小学校教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (国語) / 高等学校教諭一種免許状 (国語) / 中学校教諭一種免許状 (保健体育) / 高等学校教諭一種免許状 (保健体育)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

日本をとりまく諸国の中で、中国は隣国であり文化的経済的な面からも、今後一層交流が盛んになると思われます。この科目では、交流の基礎となる中国語の基礎を学びます。本課程は共通科目学位授与方針 1 に該当しています。

科目の概要

授業では正しい発音をめざします。文法は簡単なものから、徐々に難易度の高いものへと積み重ねていきます。最終的には中国語検定試験の準 4 級・4 級に合格できる力が付くよう、指導します。

学修目標

1. 正しい発音でテキストを読めること
2. 文法事項が理解できて、簡単な文章が翻訳できること
3. 学習した範囲で、中国語を聴いて理解できること
4. 最終的には、自分の主張を中国語で表現できること

以上が受講者の最終目標ですが、希望者には検定試験の情報を与えますので、ぜひチャレンジしてみましょう。また、言葉だけでなく背景となる歴史・文化などにも興味を持って下さい。交流の糧となるに違いありません。

内容

第 1 回	中国語とは	第 1 6 回	復習
第 2 回	発音概説	第 1 7 回	第 8 課
第 3 回	第 1 課	第 1 8 回	第 9 課
第 4 回	第 2 課	第 1 9 回	第 1 0 課
第 5 回	第 3 課	第 2 0 回	中国語検定試験過去問題解説
第 6 回	第 4 課	第 2 1 回	第 1 1 課
第 7 回	第 5 課	第 2 2 回	第 1 2 課
第 8 回	第 6 課	第 2 3 回	第 1 3 課
第 9 回	第 7 課	第 2 4 回	第 1 4 課
第 1 0 回	中国の歴史と文化	第 2 5 回	第 1 5 課
第 1 1 回	リーディング・リスニング	第 2 6 回	スピーキング「自己紹介」
第 1 2 回	ライティング・スピーキング	第 2 7 回	ライティング
第 1 3 回	簡体字練習	第 2 8 回	基本文型
第 1 4 回	総合復習	第 2 9 回	総合復習
第 1 5 回	総括	第 3 0 回	総括

平常点50%、試験50%として総合的に評価し、60%以上を合格とします。平常点とは、出席及び授業内で行った確認プリントの提出によります。確認プリントは授業内で個別に採点し、気を付けるべき点を指摘します。

授業外学習

事前学習として、テキストに付いている音声教材を30分程度聴き、できれば数回後について発音してください。事後学習は、授業で習った文法事項の定着として「確認プリント」の復習を30分行ってください。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【テキスト】『STANDARD COURSE 中国語の世界標準テキスト 1』北京語言大学出版社

【参考書】『中国語検定4級合格への手引き』池間里代子 他 南雲堂フェニックス

その他、プリント参考資料などを配布します。

科目名	中国語		
担当教員名	池間 里代子		
ナンバリング	KKc126		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 中国語		
学 年	1	ク ラ ス	0Bクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格 / 高等学校教諭一種免許状 (情報) / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 栄養教諭二種免許状 / 小学校教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (国語) / 高等学校教諭一種免許状 (国語) / 中学校教諭一種免許状 (保健体育) / 高等学校教諭一種免許状 (保健体育)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

日本をとりまく諸国の中で、中国は隣国であり文化的経済的な面からも、今後一層交流が盛んになると思われます。この科目では、交流の基礎となる中国語の基礎を学びます。本課程は共通科目学位授与方針 1 に該当しています。

科目の概要

授業では正しい発音をめざします。文法は簡単なものから、徐々に難易度の高いものへと積み重ねていきます。最終的には中国語検定試験の準 4 級・4 級に合格できる力が付くよう、指導します。

学修目標

1. 正しい発音でテキストを読めること
2. 文法事項が理解できて、簡単な文章が翻訳できること
3. 学習した範囲で、中国語を聴いて理解できること
4. 最終的には、自分の主張を中国語で表現できること

以上が受講者の最終目標ですが、希望者には検定試験の情報を与えますので、ぜひチャレンジしてみましょう。また、言葉だけでなく背景となる歴史・文化などにも興味を持って下さい。交流の糧となるに違いありません。

内容

第 1 回	中国語とは	第 1 6 回	復習
第 2 回	発音概説	第 1 7 回	第 8 課
第 3 回	第 1 課	第 1 8 回	第 9 課
第 4 回	第 2 課	第 1 9 回	第 1 0 課
第 5 回	第 3 課	第 2 0 回	中国語検定試験過去問題解説
第 6 回	第 4 課	第 2 1 回	第 1 1 課
第 7 回	第 5 課	第 2 2 回	第 1 2 課
第 8 回	第 6 課	第 2 3 回	第 1 3 課
第 9 回	第 7 課	第 2 4 回	第 1 4 課
第 1 0 回	中国の歴史と文化	第 2 5 回	第 1 5 課
第 1 1 回	リーディング・リスニング	第 2 6 回	スピーキング「自己紹介」
第 1 2 回	ライティング・スピーキング	第 2 7 回	ライティング
第 1 3 回	簡体字練習	第 2 8 回	基本文型
第 1 4 回	総合復習	第 2 9 回	総合復習
第 1 5 回	総括	第 3 0 回	総括

評価

平常点50%、試験50%として総合的に評価し、60%以上を合格とします。平常点とは、出席及び授業内で行った確認プリントの提出によります。確認プリントは授業内で個別に採点し、気を付けるべき点を指摘します。

授業外学習

事前学習として、テキストに付いている音声教材を30分程度聴き、できれば数回後について発音してください。事後学習は、授業で習った文法事項の定着として「確認プリント」の復習を30分行ってください。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【テキスト】『STANDARD COURSE 中国語の世界標準テキスト 1』北京語言大学出版社

【参考書】『中国語検定4級合格への手引き』池間里代子 他 南雲堂フェニックス

その他、プリント参考資料などを配布します。

科目名	中国語		
担当教員名	池間 里代子		
ナンバリング	KKc126		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 中国語		
学 年	1	ク ラ ス	0Cクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格 / 高等学校教諭一種免許状 (情報) / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 栄養教諭二種免許状 / 小学校教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (国語) / 高等学校教諭一種免許状 (国語) / 中学校教諭一種免許状 (保健体育) / 高等学校教諭一種免許状 (保健体育)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

日本をとりまく諸国の中で、中国は隣国であり文化的経済的な面からも、今後一層交流が盛んになると思われます。この科目では、交流の基礎となる中国語の基礎を学びます。本課程は共通科目学位授与方針 1 に該当しています。

科目の概要

授業では正しい発音をめざします。文法は簡単なものから、徐々に難易度の高いものへと積み重ねていきます。最終的には中国語検定試験の準 4 級・4 級に合格できる力が付くよう、指導します。

学修目標

1. 正しい発音でテキストを読めること
2. 文法事項が理解できて、簡単な文章が翻訳できること
3. 学習した範囲で、中国語を聴いて理解できること
4. 最終的には、自分の主張を中国語で表現できること

以上が受講者の最終目標ですが、希望者には検定試験の情報を与えますので、ぜひチャレンジしてみましょう。また、言葉だけでなく背景となる歴史・文化などにも興味を持って下さい。交流の糧となるに違いありません。

内容

第 1 回	中国語とは	第 1 6 回	復習
第 2 回	発音概説	第 1 7 回	第 8 課
第 3 回	第 1 課	第 1 8 回	第 9 課
第 4 回	第 2 課	第 1 9 回	第 1 0 課
第 5 回	第 3 課	第 2 0 回	中国語検定試験過去問題解説
第 6 回	第 4 課	第 2 1 回	第 1 1 課
第 7 回	第 5 課	第 2 2 回	第 1 2 課
第 8 回	第 6 課	第 2 3 回	第 1 3 課
第 9 回	第 7 課	第 2 4 回	第 1 4 課
第 1 0 回	中国の歴史と文化	第 2 5 回	第 1 5 課
第 1 1 回	リーディング・リスニング	第 2 6 回	スピーキング「自己紹介」
第 1 2 回	ライティング・スピーキング	第 2 7 回	ライティング
第 1 3 回	簡体字練習	第 2 8 回	基本文型
第 1 4 回	総合復習	第 2 9 回	総合復習
第 1 5 回	総括	第 3 0 回	総括

評価

平常点50%、試験50%として総合的に評価し、60%以上を合格とします。平常点とは、出席及び授業内で行った確認プリントの提出によります。確認プリントは授業内で個別に採点し、気を付けるべき点を指摘します。

授業外学習

事前学習として、テキストに付いている音声教材を30分程度聴き、できれば数回後について発音してください。事後学習は、授業で習った文法事項の定着として「確認プリント」の復習を30分行ってください。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【テキスト】『STANDARD COURSE 中国語の世界標準テキスト 1』北京語言大学出版社

【参考書】『中国語検定4級合格への手引き』池間里代子 他 南雲堂フェニックス

その他、プリント参考資料などを配布します。

科目名	中国語		
担当教員名	時松 史子		
ナンバリング	KKc126		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 中国語		
学 年	1	ク ラ ス	0Dクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格 / 高等学校教諭一種免許状 (情報) / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 栄養教諭二種免許状 / 小学校教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (国語) / 高等学校教諭一種免許状 (国語) / 中学校教諭一種免許状 (保健体育) / 高等学校教諭一種免許状 (保健体育)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

日本をとりまく諸国の中で、中国は隣国であり文化的経済的な面からも、今後一層交流が盛んになると思われます。この科目では、交流の基礎となる中国語の基礎を学びます。本課程は共通科目学位授与方針 1 に該当しています。

科目の概要

授業では正しい発音をめざします。文法は簡単なものから、徐々に難易度の高いものへと積み重ねていきます。最終的には中国語検定試験の準 4 級・4 級に合格できる力が付くよう、指導します。

学修目標

1. 正しい発音でテキストを読めること
2. 文法事項が理解できて、簡単な文章が翻訳できること
3. 学習した範囲で、中国語を聴いて理解できること
4. 最終的には、自分の主張を中国語で表現できること

以上が受講者の最終目標ですが、希望者には検定試験の情報を与えますので、ぜひチャレンジしてみましょう。また、言葉だけでなく背景となる歴史・文化などにも興味を持って下さい。交流の糧となるに違いありません。

内容

第 1 回	中国語とは	第 1 6 回	復習
第 2 回	発音概説	第 1 7 回	第 8 課
第 3 回	第 1 課	第 1 8 回	第 9 課
第 4 回	第 2 課	第 1 9 回	第 1 0 課
第 5 回	第 3 課	第 2 0 回	中国語検定試験過去問題解説
第 6 回	第 4 課	第 2 1 回	第 1 1 課
第 7 回	第 5 課	第 2 2 回	第 1 2 課
第 8 回	第 6 課	第 2 3 回	第 1 3 課
第 9 回	第 7 課	第 2 4 回	第 1 4 課
第 1 0 回	中国の歴史と文化	第 2 5 回	第 1 5 課
第 1 1 回	リーディング・リスニング	第 2 6 回	スピーキング「自己紹介」
第 1 2 回	ライティング・スピーキング	第 2 7 回	ライティング
第 1 3 回	簡体字練習	第 2 8 回	基本文型
第 1 4 回	総合復習	第 2 9 回	総合復習
第 1 5 回	総括	第 3 0 回	総括

平常点50%、試験50%として総合的に評価し、60%以上を合格とします。平常点とは、出席及び授業内で行った確認プリントの提出によります。確認プリントは授業内で個別に採点し、気を付けるべき点を指摘します。

授業外学習

事前学習として、テキストに付いている音声教材を30分程度聴き、できれば数回後について発音してください。事後学習は、授業で習った文法事項の定着として「確認プリント」の復習を30分行ってください。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【テキスト】『STANDARD COURSE 中国語の世界標準テキスト 1』北京語言大学出版社

【参考書】『中国語検定4級合格への手引き』池間里代子 他 南雲堂フェニックス

その他、プリント参考資料などを配布します。

科目名	中国語		
担当教員名	時松 史子		
ナンバリング	KKc126		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 中国語		
学 年	1	ク ラ ス	0Eクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格 / 高等学校教諭一種免許状(情報) / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 栄養教諭二種免許状 / 小学校教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状(保健) / 中学校教諭一種免許状(保健) / 中学校教諭一種免許状(国語) / 高等学校教諭一種免許状(国語) / 中学校教諭一種免許状(保健体育) / 高等学校教諭一種免許状(保健体育)		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

日本をとりまく諸国の中で、中国は隣国であり文化的経済的な面からも、今後一層交流が盛んになると思われます。この科目では、交流の基礎となる中国語の基礎を学びます。本課程は共通科目学位授与方針 1 に該当しています。

科目の概要

授業では正しい発音をめざします。文法は簡単なものから、徐々に難易度の高いものへと積み重ねていきます。最終的には中国語検定試験の準 4 級・4 級に合格できる力が付くよう、指導します。

学修目標

1. 正しい発音でテキストを読めること
2. 文法事項が理解できて、簡単な文章が翻訳できること
3. 学習した範囲で、中国語を聴いて理解できること
4. 最終的には、自分の主張を中国語で表現できること

以上が受講者の最終目標ですが、希望者には検定試験の情報を与えますので、ぜひチャレンジしてみましょう。また、言葉だけでなく背景となる歴史・文化などにも興味を持って下さい。交流の糧となるに違いありません。

内容

第 1 回	中国語とは	第 1 6 回	復習
第 2 回	発音概説	第 1 7 回	第 8 課
第 3 回	第 1 課	第 1 8 回	第 9 課
第 4 回	第 2 課	第 1 9 回	第 1 0 課
第 5 回	第 3 課	第 2 0 回	中国語検定試験過去問題解説
第 6 回	第 4 課	第 2 1 回	第 1 1 課
第 7 回	第 5 課	第 2 2 回	第 1 2 課
第 8 回	第 6 課	第 2 3 回	第 1 3 課
第 9 回	第 7 課	第 2 4 回	第 1 4 課
第 1 0 回	中国の歴史と文化	第 2 5 回	第 1 5 課
第 1 1 回	リーディング・リスニング	第 2 6 回	スピーキング「自己紹介」
第 1 2 回	ライティング・スピーキング	第 2 7 回	ライティング
第 1 3 回	簡体字練習	第 2 8 回	基本文型
第 1 4 回	総合復習	第 2 9 回	総合復習
第 1 5 回	総括	第 3 0 回	総括

評価

平常点50%、試験50%として総合的に評価し、60%以上を合格とします。平常点とは、出席及び授業内で行った確認プリントの提出によります。確認プリントは授業内で個別に採点し、気を付けるべき点を指摘します。

授業外学習

事前学習として、テキストに付いている音声教材を30分程度聴き、できれば数回後について発音してください。事後学習は、授業で習った文法事項の定着として「確認プリント」の復習を30分行ってください。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【テキスト】『STANDARD COURSE 中国語の世界標準テキスト 1』北京語言大学出版社

【参考書】『中国語検定4級合格への手引き』池間里代子 他 南雲堂フェニックス

その他、プリント参考資料などを配布します。

科目名	中国語		
担当教員名	池間 里代子		
ナンバリング	KKc226		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 中国語		
学 年	1	ク ラ ス	0Aクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

隣国であり、経済発展目覚ましい中国の言葉と社会を学びます。中国語のステップアップを目指します。この科目は共通科目の学位授与方針1・2に該当します。

科目の概要

中国語検定試験4級(初級終了レベル)合格を目指して、発音・文法・作文のすべてにわたってハイランクを目指します。適宜プリントによって学習事項のチェックを行いません。

学修目標

1. 正しい発音でピンインが読める
2. テキストの例文がきちんと理解できる
3. 簡体字に習熟する
4. 長文読解の力がつく

希望者には検定過去問紹介などの便宜をはかります。是非チャレンジしてください。テキスト内容が毎年変わりますので、繰り返し受講が可能です。

内容

第1回	ガイダンス	第16回	文型の復習
第2回	発音の復習	第17回	第7課
第3回	第1課	第18回	第7課
第4回	第1課	第19回	第8課
第5回	第2課	第20回	第8課
第6回	第2課	第21回	第9課
第7回	第3課	第22回	第9課
第8回	第3課	第23回	第10課
第9回	第4課	第24回	第11課
第10回	第4課	第25回	第12課
第11回	第5課	第26回	第13課
第12回	第5課	第27回	第14課
第13回	第6課	第28回	第15課
第14回	第6課	第29回	検定試験過去問
第15回	まとめ	第30回	まとめ

評価

平常点（授業への取り組み・課題提出）50％・試験50％の割合で評価し、60％以上を合格とします。平常点の「課題」とは、事前に指定した部分の翻訳と発音練習を指します。授業中に翻訳部分の解説を行いません。

授業外学習

テキストには音声教材が付いていますから事前に予習として30分程度聴き、できれば数回後について発音してみるといいでしょう。授業後は、学習内容が理解できているかをテキストに付随している「問題」を30分程度で解くことによって確認しましょう。分からない部分は先生に質問してください。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

テキスト：三瀨正道・陳祖？『時事中国語の教科書2019年度版』朝日出版 このテキストは毎年内容が変わります。
その他、プリントや資料などを配布します。

科目名	中国語		
担当教員名	池間 里代子、仇 暁芸		
ナンバリング	KKc226		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 中国語		
学 年	1	ク ラ ス	0Bクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

隣国であり、経済発展目覚ましい中国の言葉と社会を学びます。中国語のステップアップを目指します。この科目は共通科目の学位授与方針1・2に該当します。

科目の概要

中国語検定試験4級（初級終了レベル）合格を目指して、発音・文法・作文のすべてにわたってハイランクを目指します。適宜プリントによって学習事項のチェックを行いません。

学修目標

1. 正しい発音でピンインが読める
2. テキストの例文がきちんと理解できる
3. 簡体字に習熟する
4. 長文読解の力がつく

希望者には検定過去問紹介などの便宜をはかります。是非チャレンジしてください。テキスト内容が毎年変わりますので、繰り返し受講が可能です。

内容

第1回	ガイダンス	第16回	文型の復習
第2回	発音の復習	第17回	第7課
第3回	第1課	第18回	第7課
第4回	第1課	第19回	第8課
第5回	第2課	第20回	第8課
第6回	第2課	第21回	第9課
第7回	第3課	第22回	第9課
第8回	第3課	第23回	第10課
第9回	第4課	第24回	第11課
第10回	第4課	第25回	第12課
第11回	第5課	第26回	第13課
第12回	第5課	第27回	第14課
第13回	第6課	第28回	第15課
第14回	第6課	第29回	検定試験過去問
第15回	まとめ	第30回	まとめ

評価

平常点（授業への取り組み・課題提出）50％・試験50％の割合で評価し、60％以上を合格とします。平常点の「課題」とは、事前に指定した部分の翻訳と発音練習を指します。授業中に翻訳部分の解説を行いません。

授業外学習

テキストには音声教材が付いていますから事前に予習として30分程度聴き、できれば数回後について発音してみるといいでしょう。授業後は、学習内容が理解できているかをテキストに付随している「問題」を30分程度で解くことによって確認しましょう。分からない部分は先生に質問してください。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

テキスト：三瀨正道・陳祖？『時事中国語の教科書2019年度版』朝日出版 このテキストは毎年内容が変わります。
その他、プリントや資料などを配布します。

科目名	地球環境の保全と生活		
担当教員名	田総 恵子		
ナンバリング	KKa117		
学 科	人間生活学部（K）-共通科目-人間と自然を学ぶ		
学 年	1	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標 ）

人間生活学部学位授与方針「十文字学」3に該当する。

共通科目「人間と自然を学ぶ」群科目として、地球環境問題の様々な側面について考える。

地球環境問題は、身近な生活環境の悪化を原因として発生した問題である。しかし、その改善策を考える際は、単に生活環境を改善して、人間にとって住みやすい環境を作りなおすという視点だけでなく、地球の健康、つまりエコシステム（生態系）という視点から見ても望ましい策を考えるという動きが始まっている。この講義では、既に行われている具体的な対策について検討するとともに、エコシステムに注目する行動の基礎になった環境倫理学の視点も紹介して、生態系を重視する環境保護政策のあり方について考える。

環境問題の多様性を理解し、「環境学」の基礎を学ぶ。

内容

この授業は講義を基本とし、ディスカッションを取り入れながら、学びを深めていく。

1	地球環境問題をどう捉えるか
2	環境を考える4つの視点（1）：市場優先派と制度重視派
3	環境を考える4つの視点（2）：生態系優先派と緑の社会正義派
4	環境保護対策の考え方
5	国際協力体制の始まり
6	国際協力体制の発展
7	環境問題における国際対立
8	環境問題と経済格差
9	環境問題とジェンダー
10	環境問題と民主主義
11	環境NGO
12	環境倫理学
13	生態系を守る環境保護政策
14	環境学への視座
15	まとめ

評価

レポート（60%）、試験（40%）とし、総合評価60点以上を合格とする。

【フィードバック】レポートの総評は授業で発表、希望者には個々のコメントをつけて返却

授業外学習

【事前予習】新聞・ニュース等で、環境関連の出来事について情報を集める。（各授業に対して30分）

【事後学修】授業で説明された政治経済社会的背景を踏まえて、集めた情報を整理する。（各授業に対して30分）

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】東京商工会議所編 『eco検定公式テキスト』 日本能率協会 2011年

【推薦書】京都大学地球環境学研究会 『地球環境学へのアプローチ』 丸善 2008年； 関礼子他 『環境の社会学』 有斐閣アルマ 2009年

【参考図書】ヴァンダナ・シヴァ 『生物多様性の危機』 明石書店 2003年

科目名	地球環境の保全と生活		
担当教員名	田総 恵子		
ナンバリング	KKa117		
学 科	人間生活学部（K）-共通科目-人間と自然を学ぶ		
学 年	1	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標 ）

人間生活学部学位授与方針「十文字学」3に該当する。

共通科目「人間と自然を学ぶ」群科目として、地球環境問題の様々な側面について考える。

地球環境問題は、身近な生活環境の悪化を原因として発生した問題である。しかし、その改善策を考える際は、単に生活環境を改善して、人間にとって住みやすい環境を作りなおすという視点だけでなく、地球の健康、つまりエコシステム（生態系）という視点から見ても望ましい策を考えるという動きが始まっている。この講義では、既に行われている具体的な対策について検討するとともに、エコシステムに注目する行動の基礎になった環境倫理学の視点も紹介して、生態系を重視する環境保護政策のあり方について考える。

環境問題の多様性を理解し、「環境学」の基礎を学ぶ。

内容

この授業は講義を基本とし、ディスカッションを取り入れながら、学びを深めていく。

1	地球環境問題をどう捉えるか
2	環境を考える4つの視点（1）：市場優先派と制度重視派
3	環境を考える4つの視点（2）：生態系優先派と緑の社会正義派
4	環境保護対策の考え方
5	国際協力体制の始まり
6	国際協力体制の発展
7	環境問題における国際対立
8	環境問題と経済格差
9	環境問題とジェンダー
10	環境問題と民主主義
11	環境NGO
12	環境倫理学
13	生態系を守る環境保護政策
14	環境学への視座
15	まとめ

評価

レポート（60%）、試験（40%）とし、総合評価60点以上を合格とする。

【フィードバック】レポートの総評は授業で発表、希望者には個々のコメントをつけて返却

授業外学習

【事前予習】新聞・ニュース等で、環境関連の出来事について情報を集める。（各授業に対して30分）

【事後学修】授業で説明された政治経済社会的背景を踏まえて、集めた情報を整理する。（各授業に対して30分）

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】東京商工会議所編『eco検定公式テキスト』日本能率協会 2011年

【推薦書】京都大学地球環境学研究会 『地球環境学へのアプローチ』丸善 2008年；関礼子他『環境の社会学』有斐閣アルマ 2009年

【参考図書】ヴァンダナ・シヴァ 『生物多様性の危機』明石書店 2003年

科目名	宇宙とものなりたち		
担当教員名	北原 俊一		
ナンバリング	KKa118		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 人間と自然を学ぶ		
学 年	1	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

人間生活学部の学位授与方針 1, 2, 3 に該当する。共通科目の「人間と自然を学ぶ」科目群のひとつである。宇宙規模で人間と自然の関係を学ぶ。視野を地球規模に広げ、人間生活と自然環境について考察できることをめざす。

科目の概要

近隣の惑星の環境を学ぶことにより、改めて生物が存在可能な地球の自然環境を見直す。この地球環境は宇宙の長い歴史のなかで生まれてきたことを理解する。この宇宙全体には「始まり」があり、人間が誕生するまでに長い時間と、多くのできごとがあったことを学ぶ。

学修目標 (= 到達目標)

太陽系の他の天体を知ることにより、地球が生命の存在に適した星であることを理解する。
宇宙誕生から人類が生まれてくるまでの歴史を理解する。

内容

1	この授業のねらい
2	宇宙に働く力, 銀河系
3	宇宙の膨張
4	もののはじまり
5	近隣の惑星 (火星)
6	近隣の惑星 (金星・水星)
7	太陽
8	月
9	地球, 巨大惑星
10	恒星の一生
11	重い恒星
12	恒星の誕生
13	分子の合成
14	まとめ
15	まとめ

評価

授業への参加度10%、授業中の提出物20%、筆記試験70%とし、総合評価60点以上を合格とする。

【フィードバック】提出物に対してのフィードバックとして、様々な意見を紹介して考え方・見方の違いを共有する。また

それに対するコメントを行い、学修を深める。

授業外学習

【事前学修】事前に授業プリントに出てくるキーワードについて調べ、A5用紙1枚にまとめておく。(各授業で60分)

【事後学修】授業で取り扱った事柄を新聞や出所が確かなもので調べ、まとめておく。(各授業で60分)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】使用しない

【参考図書】教室で紹介する

科目名	宇宙とものなりたち		
担当教員名	北原 俊一		
ナンバリング	KKa118		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 人間と自然を学ぶ		
学 年	1	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

人間生活学部の学位授与方針 1, 2, 3 に該当する。共通科目の「人間と自然を学ぶ」科目群のひとつである。宇宙規模で人間と自然の関係を学ぶ。視野を地球規模に広げ、人間生活と自然環境について考察できることをめざす。

科目の概要

近隣の惑星の環境を学ぶことにより、改めて生物が存在可能な地球の自然環境を見直す。この地球環境は宇宙の長い歴史のなかで生まれてきたことを理解する。この宇宙全体には「始まり」があり、人間が誕生するまでに長い時間と、多くのできごとがあったことを学ぶ。

学修目標 (= 到達目標)

太陽系の他の天体を知ることにより、地球が生命の存在に適した星であることを理解する。
宇宙誕生から人類が生まれてくるまでの歴史を理解する。

内容

1	この授業のねらい
2	宇宙に働く力, 銀河系
3	宇宙の膨張
4	もののはじまり
5	近隣の惑星 (火星)
6	近隣の惑星 (金星・水星)
7	太陽
8	月
9	地球, 巨大惑星
10	恒星の一生
11	重い恒星
12	恒星の誕生
13	分子の合成
14	まとめ
15	まとめ

評価

授業への参加度10%、授業中の提出物20%、筆記試験70%とし、総合評価60点以上を合格とする。

【フィードバック】提出物に対してのフィードバックとして、様々な意見を紹介して考え方・見方の違いを共有する。また

それに対するコメントを行い、学修を深める。

授業外学習

【事前学修】事前に授業プリントに出てくるキーワードについて調べ、A5用紙1枚にまとめておく。(各授業で60分)

【事後学修】授業で取り扱った事柄を新聞や出所が確かなもので調べ、まとめておく。(各授業で60分)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】使用しない

【参考図書】教室で紹介する

科目名	生物の多様性と倫理		
担当教員名	安達 宏之		
ナンバリング	KKa119		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 人間と自然を学ぶ		
学 年	1	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格：「生物多様性と倫理」を通じて生命倫理を考える。「生物多様性の危機」が叫ばれて久しいが、そもそも「生物多様性」とは何か、その保全が人にとって何を意味するのかには大きな議論がある。具体的な事例を取り上げながら、生命倫理を考えていきたい。

(学部学位授与方針 1、2、3 に該当する)

科目の概要： 前半は、「東京湾三番瀬」という干潟・浅瀬をめぐる動きと、「企業と生物多様性」という2つの事例を通じて「生物多様性と倫理」を考える。後半は、前半から抽出できる倫理を紹介するとともに、生物多様性をめぐる法の動きを取り上げる。

学修目標 (= 到達目標)： 「生物多様性」について具体像を描けるきっかけを得るとともに、「生物と人」、「生態系の中の人」の倫理を理解する。

内容

資料を配布するとともに、生物多様性に関連する画像や資料をスクリーンに投影しながら講義を進める。また、課題を提起して質疑応答を織り交ぜながら、学びを深めていく。

1	「生物多様性」とは何か？	さまざまな事例から考える
2	生物多様性の危機と倫理	
3	海の生物多様性と倫理	東京湾三番瀬の生態系
4	海の生物多様性と倫理	東京湾の開発の歴史
5	海の生物多様性と倫理	三番瀬埋立問題
6	海の生物多様性と倫理	自然再生へ
7	企業と環境	各企業の取り組みと課題
8	企業と生物多様性	各企業の取り組みと課題
9	企業と生物多様性	ガイドライン等
10	人と生物多様性	生命倫理、環境倫理を考える
11	人と生物多様性	人にとって保全すべき生物多様性とは
12	法と生物多様性	人権と「自然の権利」
13	法と生物多様性	環境法の進展と課題
14	法と生物多様性	環境権の行方
15	まとめ	生物多様性の保全とは何か

評価

授業への参加度30% (毎回の講義において質問をするので積極的に議論に参加する)、レポート70%とし、総合評価 60点以上を合格とする。

【フィードバック】授業の中で質疑応答の時間を設け、理解を深めるようにする。

授業外学習

【事前予習】授業中に告げられる次回授業のテーマについて、インターネット等により情報を収集し、論点を確認する（各回60分）。

【事後学修】今回授業で学んだことを確認し、当該テーマの論点を再確認し、自らの見解をまとめる（各回60分）。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】なし。

【参考図書】

- ・鷲谷いづみ『 生物多様性 入門 (岩波ブックレット 785)』（岩波書店）
- ・鷲谷いづみ『絵でわかる生物多様性』（講談社）
- ・鬼頭 秀一『自然保護を問いなおす 環境倫理とネットワーク』（筑摩書房）
- ・宮内泰介『歩く、見る、聞く 人びとの自然再生』（岩波書店）

科目名	生物の多様性と倫理		
担当教員名	安達 宏之		
ナンバリング	KKa119		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 人間と自然を学ぶ		
学 年	1	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格：「生物多様性と倫理」を通じて生命倫理を考える。「生物多様性の危機」が叫ばれて久しいが、そもそも「生物多様性」とは何か、その保全が人にとって何を意味するのかには大きな議論がある。具体的な事例を取り上げながら、生命倫理を考えていきたい。

(学部学位授与方針 1、2、3 に該当する)

科目の概要： 前半は、「東京湾三番瀬」という干潟・浅瀬をめぐる動きと、「企業と生物多様性」という2つの事例を通じて「生物多様性と倫理」を考える。後半は、前半から抽出できる倫理を紹介するとともに、生物多様性をめぐる法の動きを取り上げる。

学修目標 (= 到達目標)： 「生物多様性」について具体像を描けるきっかけを得るとともに、「生物と人」、「生態系の中の人」の倫理を理解する。

内容

資料を配布するとともに、生物多様性に関連する画像や資料をスクリーンに投影しながら講義を進める。また、課題を提起して質疑応答を織り交ぜながら、学びを深めていく。

1	「生物多様性」とは何か？	さまざまな事例から考える
2	生物多様性の危機と倫理	
3	海の生物多様性と倫理	東京湾三番瀬の生態系
4	海の生物多様性と倫理	東京湾の開発の歴史
5	海の生物多様性と倫理	三番瀬埋立問題
6	海の生物多様性と倫理	自然再生へ
7	企業と環境	各企業の取り組みと課題
8	企業と生物多様性	各企業の取り組みと課題
9	企業と生物多様性	ガイドライン等
10	人と生物多様性	生命倫理、環境倫理を考える
11	人と生物多様性	人にとって保全すべき生物多様性とは
12	法と生物多様性	人権と「自然の権利」
13	法と生物多様性	環境法の進展と課題
14	法と生物多様性	環境権の行方
15	まとめ	生物多様性の保全とは何か

評価

授業への参加度30% (毎回の講義において質問をするので積極的に議論に参加する)、レポート70%とし、総合評価 6

0点以上を合格とする。

【フィードバック】授業の中で質疑応答の時間を設け、理解を深めるようにする。

授業外学習

【事前予習】授業中に告げられる次回授業のテーマについて、インターネット等により情報を収集し、論点を確認する（各回60分）。

【事後学修】今回授業で学んだことを確認し、当該テーマの論点を再確認し、自らの見解をまとめる（各回60分）。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】なし。

【参考図書】

- ・鷺谷いづみ『生物多様性 入門 (岩波ブックレット 785)』（岩波書店）
- ・鷺谷いづみ『絵でわかる生物多様性』（講談社）
- ・鬼頭 秀一『自然保護を問いなおす 環境倫理とネットワーク』（筑摩書房）
- ・宮内泰介『歩く、見る、聞く 人びとの自然再生』（岩波書店）

科目名	地球のしくみと災害		
担当教員名			
ナンバリング	KKa120		
学 科	人間生活学部（K）-共通科目-人間と自然を学ぶ		
学 年		ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標 ）

内容

評価

授業外学習

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

科目名	地球のしくみと災害		
担当教員名	澤野 次郎		
ナンバリング	KKa120		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 人間と自然を学ぶ		
学 年	1	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

共通教育の学位授与方針の人間と自然を学ぶの1、2、3 に該当する。自然災害は地球規模で生じていて、人間の生活に及ぼす影響は大きく、私たちの安全と生活を保障するために必要なことを考え、取り組むことが求められる。

科目の概要

東日本大震災 (2011) 以後、日本では自然災害が多発している。さらに今後も災害の連続発生も予測されている。こうした連続災害の時代に対応するには、社会にとって、各人の人生にとっても重要なテーマである。本講義では、住む場所の災害リスクを知る具体的な方法を、東京都を事例として説明する。習得した知識は、講義翌日からすぐに使える実用性が高いものである。

学修目標 (= 到達目標)

現在、住んでいる地域の現況、将来の住む地域の選定において、該当地域で想定される災害と災害リスクの情報を知る方を習得である。到達目標の具体的な理解、説明は次のとおりである。

- 1、住む地域で想定される災害について理解して、家族、地域の人に説明できる。
- 2、住む地域での災害リスクの情報について理解して、家族、地域の人に説明できる。

内容

この授業は、パワーポイントと映像を使用しての講義が中心となります。授業の基本方針は、第1は、最新のニュースと最先端の研究成果をわかりやすく説明する。第2は、受講生の疑問、質問にしっかりと答え、受講生の理解を深める。第3は、受講生の人生にとって有益な内容とするである。

1	ガイダンス：講師紹介、授業内容、成績評価
2	本授業で求められる中間レポート、期末課題文の書き方の説明
3	地球のしくみがもたらす連続災害の時代
4	住む地域の災害リスクを知ることの必要性
5	首都直下地震の災害リスクを知る 前半
6	首都直下地震の災害リスクを知る 後半
7	首都圏の水害リスクを知る
8	東京湾の水害リスクを知る
9	建物の災害リスクを知る
10	首都圏のその他の災害リスクを知る
11	リクエストアワー
12	地球のしくみがもたらす連続災害の時代～阪神・淡路大震災
13	地球のしくみがもたらす連続災害の時代～東日本大震災
14	災害の被害からの回復とボランティア
15	まとめ

評価

中間レポートの提出30点、期末の課題文提出40点、授業への参加度30点とし、総合評価60点以上を合格とする。
評価基準は、到達目標を授業内容をふまえて理解し、ちゃんと説明できているかとする。

授業外学習

- 【事前準備】1時間程度、自分の住んでいる地域、住む希望の地域の災害リスクを予習しておく。
- 【事後学修】1時間程度、自分の住んでいる地域、住む希望の地域の災害リスクを確認する。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

- 【教科書】プリント配布
- 【推薦書】講義の中で紹介する
- 【参考図書】講義の中で紹介する

科目名	原子のエネルギーとわたしたち		
担当教員名	秋庭 悦子		
ナンバリング	KKa121		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 人間と自然を学ぶ		
学 年	1	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

共通科目の学部学位授与方針の十文字学3に該当する。

原子のエネルギーについて、安全とリスク、社会の経済活動、環境問題、国際社会との関係性など多面的な視点で捉え、これからの暮らしや社会の在り方、エネルギー教育の必要性などについて考える。

科目の概要

原子のエネルギーの利用と私たちの暮らしや社会の関わりを捉える。福島第一原子力発電所事故後のエネルギー利用の現状と様々な課題を踏まえて、将来のエネルギーについて考える。また、放射線の基礎知識を学び、医療や農業など暮らしに身近な放射線利用について理解する。

学修目標 (= 到達目標)

1. 暮らしとエネルギーのかかわりを理解する。
2. 原子のエネルギー利用のメリットとリスクを理解する。
3. グローバルな視点でエネルギーを考えることができる。
4. 放射線の基本知識を身につけ、冷静に放射線影響を判断できるようにする。

内容

講義を基本に、グループワーク、ディスカッション、実験を取り入れながら、学びを深めていく。

1	はじめに
2	私たちの暮らしとエネルギーの関わり
3	日本のエネルギー事情
4	世界のエネルギー事情
5	地球温暖化問題とエネルギー
6	再生可能エネルギーのメリットと課題
7	放射線の基礎知識
8	放射線の人体への影響
9	放射線の利用について
10	原子力発電の仕組みとリサイクル
11	原子力発電の破棄物(1)
12	原子力発電の廃棄物(2)
13	これからのエネルギー・原子力政策
14	福島第一原子力発電所の事故について
15	これからの暮らしとエネルギーについてのワークショップ

評価

授業への参加30%、授業中の提出物20%、最終レポート提出50%とし、総合評価60点以上を合格とする。

【フィードバック】毎授業の最初に前回授業の質疑に返答し、学習理解を深められるようにする。

授業外学習

【事前準備】各回のテーマについて、新聞やインターネットなどで事前に情報収集しておく（各授業に対して30分）

【事後学修】授業時に配布された資料や紹介されたホームページ、参考図書などで内容を理解し、深められるようにノートに整理し、まとめておく。（各授業に対して60分）

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】教科書は使用せず、毎回パワーポイント資料を配布する。

【推薦書】教室で紹介する

【参考図書】教室で紹介する

科目名	原子のエネルギーとわたしたち		
担当教員名	秋庭 悦子		
ナンバリング	KKa121		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 人間と自然を学ぶ		
学 年	1	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

共通科目の学部学位授与方針の十文字学3に該当する。

原子のエネルギーについて、安全とリスク、社会の経済活動、環境問題、国際社会との関係性など多面的な視点で捉え、これからの暮らしや社会の在り方、エネルギー教育の必要性などについて考える。

科目の概要

原子のエネルギーの利用と私たちの暮らしや社会の関わりを捉える。福島第一原子力発電所事故後のエネルギー利用の現状と様々な課題を踏まえて、将来のエネルギーについて考える。また、放射線の基礎知識を学び、医療や農業など暮らしに身近な放射線利用について理解する。

学修目標 (= 到達目標)

1. 暮らしとエネルギーのかかわりを理解する。
2. 原子のエネルギー利用のメリットとリスクを理解する。
3. グローバルな視点でエネルギーを考えることができる。
4. 放射線の基本知識を身につけ、冷静に放射線影響を判断できるようにする。

内容

この授業は講義を基本に、グループワーク、ディスカッション、実験を取り入れながら、学びを深めていく。

1	はじめに
2	私たちの暮らしとエネルギーの関わり
3	日本のエネルギー事情
4	世界のエネルギー事情
5	地球温暖化問題とエネルギー
6	再生可能エネルギーのメリットと課題
7	放射線の基礎知識
8	放射線の人体への影響
9	放射線の利用について
10	原子力発電の仕組みとリサイクル
11	原子力発電の廃棄物 (1)
12	原子力発電の廃棄物 (2)
13	これからのエネルギー・原子力政策
14	福島第一原子力発電所の事故について
15	これからの暮らしとエネルギーについてのワークショップ

評価

授業への参加30%、授業中の提出物20%、最終レポート提出50%とし、総合評価60点以上を合格とする。

【フィードバック】毎授業の最初に前回授業の質疑に返答し、学習理解を深められるようにする。

授業外学習

【事前準備】各回のテーマについて、新聞やインターネットなどで事前に情報収集しておく（各授業に対して30分）

【事後学修】授業時に紹介されたホームページや参考図書などで内容を理解し、深められるようにノートに整理してまとめておく。（各授業に対して60分）

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】教科書は使用せず、毎回パワーポイント資料を配布する。

【推薦書】教室で紹介する

【参考図書】教室で紹介する

科目名	健康と運動		
担当教員名	金子 和正		
ナンバリング	KKa122		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 人間と自然を学ぶ		
学 年	1	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格 / 健康運動実践指導者		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格：十文字学 に該当する講義科目である。こころとからだを通じ、「健康」とは何かについて、授業を通して実感を持って、感じ、考える授業である。

科目の概要：「世の中にたちてかひある人と生きなむ」と謳われているように、世の中に出て社会的な役割を十分に果たすためには、各自の心身へのたえまない洞察と働きかけが必要となる。本授業では、体育科学の最新の研究成果をベースとして、その洞察と働きかけに関する知見を提供する。授業を通して運動の今日的な意義や健康のあり方についての教養を深め、女性としてしなやかに日々を過ごすための基本的素地を整える。

学修目標：生涯を健康でこころ豊かに過ごせるように、「健康」「運動」「身体活動」「こころ」「からだ」「感覚」などをキーワードに、総合的に理解を深める。

1. 「自分を知る」ことで、自分への気づきを深める。
2. 「自ら考える」ことの必要性を理解し、自分なりの魅力的な女性とは何か、自分らしさを探るヒントとする。
3. 「情報を得る」ことの重要性を知り、教養への興味を深める。
4. 「実践に移す」ことで、自分の変化が顕われることを知る。
5. 「他人の考え」を知ることで、世の中には様々な考え方があり、その中での自分の軸を探る。

内容

身近におこる様々な健康に関する問題を取り上げ、生涯を“生き生きと輝く心とからだ”で生き抜くためにはどうしたらよいか、グループワークなどを通じてともに考え、論じ合う。特に、学生時代の考え方、生き方がその後の生活に大きく影響することを学ぶ。たそのために、「自分を知る」ことを授業の根底に流れる目標として、女性である自分に対する理解をより深め、行動し実践して行くことをめざす。(注：遅刻は厳禁。15分以上遅れた場合は欠席とする。)

1	運動と健康の一般的概念 (運動の効果と影響)
2	こころの健康 (私たちが健康を感じて行くために)
3	からだの各部位とデータを通しての健康理解 (血圧・心拍数等の解説)
4	測定値の検証 (トレーニングの原則と効果)
5	エネルギー所要量と運動の仕組み (W-up、C-dnの必要性)
6	運動と栄養 (自分の食生活を振り返って)
7	女性のからだと運動 (健康づくりのプログラム)
8	女性のからだと運動 (有酸素運動とレジスタンス運動)
9	リプロダクティブヘルス1 (月経、妊娠、人工妊娠中絶)
10	リプロダクティブヘルス2 (避妊とSTD-HIV/AIDS他)
11	健康と病気の心理
12	依存症 (喫煙、アルコール、携帯、その他)
13	健康寿命の考え方
14	危機管理とクライシスマネジメント
15	まとめ

評価

授業毎の課題の合計75点、2回の課題提出の合計を25点とし、総合評価60点以上を合格とする。

【フィードバック】毎回授業の初めに、前回の課題についてコメントを付けた印刷物を配布するので自身の考えをフィードバックする。

授業外学習

【事前予習】シラバスを予め確認し、授業で扱う内容の関連事項の資料について読んでおく（60分）。

【事後学修】授業で学修した内容について、資料やノートの整理を行う（60分）。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

基本的にはプリントを配布し、参考資料は授業内で適宜指示する。

科目名	健康と運動		
担当教員名	平田 智秋		
ナンバリング	KKa122		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 人間と自然を学ぶ		
学 年	1	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格 / 健康運動実践指導者		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

人間生活学部の学位授与方針 1 , 3 に該当する。

科目の性格

十字学の中にある体育科目です。自分の身体を鍛え、身体的体力、精神的体力を高めることで、4年間の学園生活を充実させる素地を整えます。施設の制限や授業内容の制約もあるので、履修人数を30名に制限します。

科目の概要

サブアリーナのトレーニングエリアで、授業前半はトレーニング方法に関する講義、授業後半は実際のトレーニングを行います。15回の授業を通じた身体の変化を計測し、身体と気持ちの変容を体感します。

学修目標 (= 到達目標)

- ・健康を高め、維持するためのトレーニング理論を理解する
- ・トレーニングの実践を通じて、自分に合ったトレーニングを継続できるようになる
- ・新座市民ロードレース大会に参加し、一般女子の部で10.55kmを完走する

内容

予定講義内容

- ・カロリー計算とウェイトコントロール
- ・マシントレーニングとフリーウェイト
- ・筋肉の発達
- ・トレーニングと栄養
- ・有酸素運動と無酸素運動

予定実技内容

- ・トレーニングマシンの使用方法
 - ・トレッドミルの安全な利用
 - ・自重トレーニング1：上半身の種目
 - ・自重トレーニング2：下半身の種目
 - ・自重トレーニング3：背中・肩の種目
 - ・速歩から、心地よいペースでの長いジョギング
- 5回目以降は学外に出てジョギングをします。

心拍計を使いつつ、距離を少しずつ伸ばします。

講義と実技とを組み合わせ、授業を展開します。

毎年1月に開催される新座市民ロードレースに参加し、10.55kmの完走を目指します（参加費は負担して下さい）。

「単位を取るためだけ」に履修する人には負荷が高いかもしれません。

評価

平常点50%、毎回の提出エッセイを50%とし、総合評価60点以上を合格とする。新座市ロードレースへの参加は必須とする。

授業外学習

【事前準備】日々の身体状態を記録し、必要に応じてトレーニングを積む（各授業に対して45分）。

【事後学修】授業での内容を実践・継続し、その効果を吟味する（各授業に対して45分）。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【参考図書】アレックス・ハッチンソン(2012) 良いトレーニング、無駄なトレーニング 科学が教える新常識・草思社。

科目名	健康と運動		
担当教員名	飯田 路佳		
ナンバリング	KKa122		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 人間と自然を学ぶ		
学 年	1	ク ラ ス	1Eクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格 / 健康運動実践指導者		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格：十文字学の講義科目である。こころとからだを通じ、「健康」とは何かについて、実感を持って、感じ、考える授業である。

科目の概要：「世の中にたちてかひある人と生きなむ」と謳われているように、世の中に出て社会的な役割を十分に果たすためには、各自の心身へのたえまない洞察と働きかけが必要となる。本授業では、体育科学の最新の研究成果をベースとして、その洞察と働きかけに関する知見を提供する。授業を通して運動の今日的な意義や健康のあり方についての教養を深め、女性としてしなやかに日々を過ごすための素地を整える。

学修目標：生涯を健康でこころ豊かに過ごせるように、「健康」「運動」「身体活動」「こころ」「からだ」「感覚」などをキーワードに、総合的に理解を深める。

1. 「自分を知る」ことで、自分への気づきを深める。
2. 「自ら考える」ことの必要性を理解し、自分なりの魅力的な女性とは何か、自分らしさを探るヒントとする。
3. 「情報を得る」ことの重要性を知り、教養への興味を深める。
4. 「実践に移す」ことで、自分の変化が顕われることを知る。
5. 「他人の考え」を知ることで、世の中には様々な考え方があり、その中での自分の軸を探る。

内容

身近におこる様々な健康に関する問題を取り上げ、生涯を“生き生きと輝く心とからだ”で生き抜くためにはどうしたらよいか、グループワーク、ディスカッションなどを通じてともに考え、論じ合う。特に、女性の生き方が、いかに将来の生活に大きく影響するか、その役割と健康な家庭生活の重要性を理解する。またそのために、「自分を知る」ことを授業の根底に流れる目標として、女性である自分に対する理解をより深め、行動し実践して行くことをめざす。

1	健康とは (運動の効果と影響)
2	こころの健康 (私たちが健康を感じて行くために)
3	からだの各部位とデータ (血圧・心拍数等の解説)
4	測定値の検証 (トレーニングの原則と効果)
5	エネルギー所要量と運動の仕組み (W-up、C-dnの必要性)
6	運動と栄養 (自分の食生活を振り返って)
7	女性のからだと運動 (健康づくりのプログラム)
8	女性のからだと運動 (有酸素運動とレジスタンス運動)
9	リプロダクティブヘルス1 (月経、妊娠、人工妊娠中絶)
10	リプロダクティブヘルス2 (避妊とSTD-HIV/AIDS他)
11	内側と外側
12	依存症 (喫煙、アルコール、携帯、その他)
13	これまでとこれから (人生設計)
14	危機管理 (その予防と対処法)
15	まとめ

評価

毎回授業終了時にその日のまとめを必ず提出する。

平常点(学習態度および毎回のリアクションペーパー提出)50%、課題提出(3回)20%、最終レポート提出30%とし、総合的に評価し、6割以上を合格とする。

【フィードバック】毎授業の最初に前回授業の質疑に返答し、学習理解を深められるようにする。

授業外学習

【事前予習】シラバスを予め確認し、授業で扱う内容の前提となる事項に関連する資料に目を通し、A4用紙1枚にまとめておく(各授業に対し60分)

【事後学修】授業で学修した内容を確認し、指定された様式に従い学修内容をまとめる(各授業に対し60分)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

基本的にはプリントを配布し、参考資料は授業内で適宜指示する。

科目名	健康と運動		
担当教員名	金子 和正		
ナンバリング	KKa122		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 人間と自然を学ぶ		
学 年	1	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格 / 健康運動実践指導者		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格：十文字学 に該当する講義科目である。こころとからだを通じ、「健康」とは何かについて、授業を通して実感を持って、感じ、考える授業である。

科目の概要：「世の中にたちてかひある人と生きなむ」と謳われているように、世の中に出て社会的な役割を十分に果たすためには、各自の心身へのたえまない洞察と働きかけが必要となる。本授業では、体育科学の最新の研究成果をベースとして、その洞察と働きかけに関する知見を提供する。授業を通して運動の今日的な意義や健康のあり方についての教養を深め、女性としてしなやかに日々を過ごすための素地を整える。

学修目標：生涯を健康でこころ豊かに過ごせるように、「健康」「運動」「身体活動」「こころ」「からだ」「感覚」などをキーワードに、総合的に理解を深める。

1. 「自分を知る」ことで、自分への気づきを深める。
2. 「自ら考える」ことの必要性を理解し、自分なりの魅力的な女性とは何か、自分らしさを探るヒントとする。
3. 「情報を得る」ことの重要性を知り、教養への興味を深める。
4. 「実践に移す」ことで、自分の変化が顕われることを知る。
5. 「他人の考え」を知ることで、世の中には様々な考え方があり、その中での自分の軸を探る。

内容

身近におこる様々な健康に関する問題を取り上げ、生涯を“生き生きと輝く心とからだ”で生き抜くためにはどうしたらよいか、グループワークなどを通じてともに考え、論じ合う。特に、女性の生き方が、いかに将来の生活に大きく影響するか、その役割と健康な家庭生活の重要性を理解する。またそのために、「自分を知る」ことを授業の根底に流れる目標として、女性である自分に対する理解をより深め、行動し実践して行くことをめざす。(注：遅刻は厳禁。15分以上遅れた場合は欠席とする。)

1	健康とは (運動の効果と影響)
2	こころの健康 (私たちが健康を感じて行くために)
3	からだの各部位とデータ (血圧・心拍数等の解説)
4	測定値の検証 (トレーニングの原則と効果)
5	エネルギー所要量と運動の仕組み (W-up、C-dnの必要性)
6	運動と栄養 (自分の食生活を振り返って)
7	女性のからだと運動 (健康づくりのプログラム)
8	女性のからだと運動 (有酸素運動とレジスタンス運動)
9	リプロダクティブヘルス1 (月経、妊娠、人工妊娠中絶)
10	リプロダクティブヘルス2 (避妊とSTD-HIV/AIDS他)
11	健康と病気の心理
12	依存症 (喫煙、アルコール、携帯、その他)
13	健康寿命の考え方
14	危機管理とクライシスマネジメント

評価

授業毎の課題の合計75点、2回の課題提出の合計を25点とし、総合評価の60点以上を合格とする。

【フィードバック】毎回授業の初めに、前回の課題についてコメントをつけた印刷物を配布するので自身の考えをフィードバックする。

授業外学習

【事前予習】シラバスを予め確認し、授業で扱う内容の関連事項の資料について読んでおく（60分）。

【事後学修】授業で学修した内容について、資料やノートの整理を行う（60分）。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

基本的にはプリントを配布し、参考資料は授業内で適宜指示する。

科目名	健康と運動		
担当教員名	加藤 優		
ナンバリング	KKa122		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 人間と自然を学ぶ		
学 年	1	ク ラ ス	10クラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格 / 健康運動実践指導者		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格：十文字学の講義科目であり、共通科目 十文字学の学位授与方針1.2.3に該当する。こころとからだを通して、「健康」とは何かについて、実感を持って、感じ、考える授業である。

科目の概要：「世の中にたちてかひある人と生きなむ」と謳われているように、世の中に出て社会的な役割を十分に果たすためには、各自の心身へのたえまない洞察と働きかけが必要となる。本授業では、体育科学の最新の研究成果をベースとして、その洞察と働きかけに関する知見を提供する。授業を通して運動の今日的な意義や健康のあり方についての教養を深め、女性としてしなやかに日々を過ごすための素地を整える。

学修目標：生涯を健康でこころ豊かに過ごせるように、「健康」「運動」「身体活動」「こころ」「からだ」「感覚」などをキーワードに、総合的に理解を深める。

1. 「自分を知る」ことで、自分への気づきを深める。
2. 「自ら考える」ことの必要性を理解し、自分なりの魅力的な女性とは何か、自分らしさを探るヒントとする。
3. 「情報を得る」ことの重要性を知り、教養への興味を深める。
4. 「実践に移す」ことで、自分の変化が顕われることを知る。
5. 「他人の考え」を知ることで、世の中には様々な考え方があり、その中での自分の軸を探る。

内容

この授業は講義を基本として学びを深めていく。身近におこる様々な健康に関する問題を取り上げ、生涯を“生き生きと輝く心とからだ”で生き抜くためにはどうしたらよいかを自らの生活と通じてともに考え、論じ合う。特に、人間としてそして女性としての生き方が、いかに将来の生活に大きく影響するか、その役割と健康な生活の重要性を理解する。またそのために、「自分を知る」ことを授業の根底に流れる目標として、自分に対する理解をより深め、行動し実践して行くことをめざす。(注：遅刻は厳禁。15分以上遅れた場合は欠席とする。)

- 第1回 人間らしさの本質
- 第2回 人間らしさと運動
- 第3回 基本的な健康生活
- 第4回 測定できる身体 (自分のからだを知る)
- 第5回 人生80年と健康
- 第6回 現代社会と運動と肥満
- 第7回 私たちのからだと運動 (運動のメカニズム)
- 第8回 私たちのからだと運動 (運動の種類と方法)
- 第9回 健康と運動の質
- 第10回 健康と運動の量
- 第11回 健康と運動と食事
- 第12回 健康と運動と精神的健康
- 第13回 現代社会が抱える健康問題 (こころとからだ)
- 第14回 現代社会が抱える健康問題 (大人と子ども)

第15回 まとめ

評価

毎回授業終了時にその日のまとめ(リアクションペーパー)を必ず提出する。平常点40%(学習態度および毎回のリアクションペーパー)、期末試験60%とし、総合的に評価し、6割以上を合格とする。

【フィードバック】リアクションペーパーすべてに対してコメント入りで返却し、前回授業の質疑等については返答、学習理解を深められるようにする。

授業外学習

【事前予習】シラバスを予め確認し、授業で扱う内容の前提となる事項に関連する資料に目を通し、レディネスを高める(60分)

【事後学修】授業で学修した内容を確認し、指定された様式に従い学修内容をまとめる。(60分)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

基本的にはプリントを配布し、参考資料は授業内で適宜指示する。

科目名	健康と運動		
担当教員名	加藤 優		
ナンバリング	KKa122		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 人間と自然を学ぶ		
学 年	1,2	ク ラ ス	1Dクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格 / 健康運動実践指導者		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格：十文字学の講義科目であり、共通科目 十文字学の学位授与方針1.2.3に該当する。こころとからだを通して、「健康」とは何かについて、実感を持って、感じ、考える授業である。

科目の概要：「世の中にたちてかひある人と生きなむ」と謳われているように、世の中に出て社会的な役割を十分に果たすためには、各自の心身へのたえまない洞察と働きかけが必要となる。本授業では、体育科学の最新の研究成果をベースとして、その洞察と働きかけに関する知見を提供する。授業を通して運動の今日的な意義や健康のあり方についての教養を深め、女性としてしなやかに日々を過ごすための素地を整える。

学修目標：生涯を健康でこころ豊かに過ごせるように、「健康」「運動」「身体活動」「こころ」「からだ」「感覚」などをキーワードに、総合的に理解を深める。

1. 「自分を知る」ことで、自分への気づきを深める。
2. 「自ら考える」ことの必要性を理解し、自分なりの魅力的な女性とは何か、自分らしさを探るヒントとする。
3. 「情報を得る」ことの重要性を知り、教養への興味を深める。
4. 「実践に移す」ことで、自分の変化が顕われることを知る。
5. 「他人の考え」を知ることで、世の中には様々な考え方があり、その中での自分の軸を探る。

内容

この授業は講義を基本として学びを深めていく。身近におこる様々な健康に関する問題を取り上げ、生涯を“生き生きと輝く心とからだ”で生き抜くためにはどうしたらよいかを自らの生活と通じてともに考え、論じ合う。特に、人間としてそして女性としての生き方が、いかに将来の生活に大きく影響するか、その役割と健康な生活の重要性を理解する。またそのために、「自分を知る」ことを授業の根底に流れる目標として、自分に対する理解をより深め、行動し実践して行くことをめざす。(注：遅刻は厳禁。15分以上遅れた場合は欠席とする。)

- 第1回 人間らしさの本質
- 第2回 人間らしさと運動
- 第3回 基本的な健康生活
- 第4回 測定できる身体 (自分のからだを知る)
- 第5回 人生80年と健康
- 第6回 現代社会と運動と肥満
- 第7回 私たちのからだと運動 (運動のメカニズム)
- 第8回 私たちのからだと運動 (運動の種類と方法)
- 第9回 健康と運動の質
- 第10回 健康と運動の量
- 第11回 健康と運動と食事
- 第12回 健康と運動と精神的健康
- 第13回 現代社会が抱える健康問題 (こころとからだ)
- 第14回 現代社会が抱える健康問題 (大人と子ども)

第15回 まとめ

評価

毎回授業終了時にその日のまとめ(リアクションペーパー)を必ず提出する。平常点40%(学習態度および毎回のリアクションペーパー)、期末試験60%とし、総合的に評価し、6割以上を合格とする。

【フィードバック】リアクションペーパーすべてに対してコメント入りで返却し、前回授業の質疑等については返答、学習理解を深められるようにする。

授業外学習

【事前予習】シラバスを予め確認し、授業で扱う内容の前提となる事項に関連する資料に目を通し、レディネスを高める(60分)

【事後学修】授業で学修した内容を確認し、指定された様式に従い学修内容をまとめる。(60分)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

基本的にはプリントを配布し、参考資料は授業内で適宜指示する。

科目名	入門ゼミナール		
担当教員名	岩本 珠美、小林 三智子、岡本 節子、大倉 哲也 他		
ナンバリング	KKa001		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 入門ゼミナール		
学 年	1	ク ラ ス	FAクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格 人間生活学部の学位授与方針1.2.3に該当する。

この科目は生徒から、大学の学生へと円滑に移行するための必要な勉強を各学科の先生方とともに学ぶために設定されました。特に本学が立地する埼玉県新座市について(入門編)学ぶ一つの機会となります。入学したばかりの皆さんが仲間とともに、これからどのように大学生活を送ればよいのかということについて、少人数クラスで学びあうこととなります。

科目の概要

大学生活では、大学で開講される講義や演習、実習などの科目を履修し、単位を修得することにより、社会人として必要となる知識や技能を身につけます。特に、本学では、「地域に貢献する」学生を育てることをねらいの一つとしています。そのためには、大学での勉強の仕方を身につけることが必要です。講義を聴きながら自ら疑問を持ち追及する態度、基本的な学習技法・技能(テキストの読み方、ノートの取り方・まとめ方、レポート作成、文献調査等)、本学が立地する地域について学修することなど、大学で必要となる勉強の方法について、学生の主体的な活動を通して学びます。

学修目標

仲間とともに大学生活や地域社会について主体的に学び、その基礎的な知識や技能を身につけること、大学生活に慣れ、自らの将来設計に基づき、学修計画が立てられること、仲間と協力して課題を創造し、ともに追及しあう態度を身につけること、などがねらいです。

内容

1	自己紹介, 仲間とのコミュニケーションを図る
2	大学・学部・学科の特徴, 食物栄養学科で取得できる資格
3	大学組織の活用法
4	4年間のカリキュラムの組み立て
5	大学授業への受講技能(ノートの取り方, まとめ方, 試験勉強)
6	実験や実習に関して(動物実験教育訓練, レポート作成に関する技法等)
7	社会人基礎力(PROG)テストの実施
8	図書・情報センター 図書館(図書館本館・図書館分室)の紹介と活用法
9	SPI性格検査の実施
10	大学生活の情報交換, 先輩からのアドバイス
11	テキストの読み方・書き方(説明的文章の読み方・要約のまとめ方・論理的文章の書き方)
12	社会人基礎力(PROG)テストについての説明
13	食・栄養・健康の地域活動
14	食・栄養・健康の地域活動
15	SPI性格検査についての説明・まとめ

評価

平常点（50点）および課題に対するレポート（50点）を評価し、60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】配布される資料やシラバス等を読んでおく。（各授業に対して60分）

【事後学修】内容についてまとめる。（各授業に対して60分）

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】必要に応じて授業で連絡する。また、「地域を学ぶ」テキストは、教室で配布予定。

【推薦書】授業で紹介する。

【参考図書】授業の中で紹介する。

科目名	入門ゼミナール		
担当教員名	鈴木 雅子、布施 晴美		
ナンバリング	KKa001		
学 科	人間生活学部（K）-共通科目-入門ゼミナール		
学 年	1	ク ラ ス	CBクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格：人間生活学部の学位授与方針1.2.3に該当する。

1年生前期の必修科目であり、大学入学後のガイダンス教育の一環として、少人数のクラス編成により、学科専任教員が担当して実施する科目である。

科目の概要：

大学での学業生活がより豊かなものになることを目指して、学生間の、および、教員と学生との密なコミュニケーションを図りつつ、学生の主体的な演習活動を通して、基本的な学習技法・技能（Study Skill）の育成を行う。大学では、学生自らが主体的、かつ自律的に学習することが求められていることが多い。こうした学習態度は、大学生活のみならず卒業後の職業生活や生涯学習においても重要な役割を果たすものである。

学修目標：

- 1．大学で学ぶこと、主体的に学ぶことの意味を理解する。
- 2．大学の資源を有効に活用する術を得る。
- 3．基本的な＜Study Skill＞を理解する。
- 4．自己の大学生活における目標を見つける。

内容

A．アイスブレイク活動

自己紹介、大学生活に関する相談や質疑応答、履修方法の相談など

B．Study Skillトレーニング

- （1）大学授業への受講技能（ノートの取り方・まとめ方、試験勉強）
- （2）テキストの読み方（説明的文章の読み方、論理展開に対する理解、要約のまとめ方）
- （3）資料収集とその整理に関する技法（KJ法、資料のファイリング法）
- （4）レポート作成に関する技法（文章作成・表現技法、全体構成のたて方）
- （5）報告・発表に関する技法（プレゼンテーション技法、レジュメ作成法）
- （6）話し合いに関する技法（バズセッション、ディベート）

C．学内ガイダンス

- （1）図書・情報センター図書館（図書館本館・図書館分室）の紹介と活用法
- （2）就職センターの紹介と活用法、キャリアガイダンス・ワークショップ

D．地域を学ぶ・地域に学ぶ

～心理学科生がボランティア活動を通じて地域との交流をはかる際の心構えや態度を養うため、

以下の内容から1～2のトピックについて話を伺う（計画中）

- （1）地域子育て支援：新座子育てネットワーク（予定）の方に、現状の課題などを伺う

(2) 教育支援：市内中学校の現役スタッフの方に，中学生が抱える心の問題などを伺う

(3) 障がい者支援：地域の障がい者支援施設の方に，支援の実際を伺い理解を深める

評価

発表とレポート提出（60点）および平常点（40点）によって評価を行い、60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】課された課題についての準備を整える（各講義 1 時間程度）

【事後学修】ゼミの内容を復習し，要点を復習しておく（各講義 1 時間程度）

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

特に定めない。授業中に、必要に応じて紹介したり、資料を配布する。

科目名	入門ゼミナール		
担当教員名	鈴木 雅子、風間 文明		
ナンバリング	KKa001		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 入門ゼミナール		
学 年	1	ク ラ ス	CCクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格：人間生活学部の学位授与方針1.2.3に該当する。

1年生前期の必修科目であり、大学入学後のガイダンス教育の一環として、少人数のクラス編成により、学科専任教員が担当して実施する科目である。

科目の概要：

大学での学業生活がより豊かなものになることを目指して、学生間の、および、教員と学生との密なコミュニケーションを図りつつ、学生の主体的な演習活動を通して、基本的な学習技法・技能 (Study Skill) の育成を行う。大学では、学生自らが主体的、かつ自律的に学習することが求められていることが多い。こうした学習態度は、大学生活のみならず卒業後の職業生活や生涯学習においても重要な役割を果たすものである。

学修目標：

1. 大学で学ぶこと、主体的に学ぶことの意味を理解する。
2. 大学の資源を有効に活用する術を得る。
3. 基本的な <Study Skill> を理解する。
4. 自己の大学生活における目標を見つける。

内容

A. アイスブレイク活動

自己紹介、大学生活に関する相談や質疑応答、履修方法の相談など

B. Study Skillトレーニング

- (1) 大学授業への受講技能 (ノートの取り方・まとめ方、試験勉強)
- (2) テキストの読み方 (説明的文章の読み方、論理展開に対する理解、要約のまとめ方)
- (3) 資料収集とその整理に関する技法 (KJ法、資料のファイリング法)
- (4) レポート作成に関する技法 (文章作成・表現技法、全体構成のたて方)
- (5) 報告・発表に関する技法 (プレゼンテーション技法、レジュメ作成法)
- (6) 話し合いに関する技法 (バズセッション、ディベート)

C. 学内ガイダンス

- (1) 図書・情報センター図書館 (図書館本館・図書館分室) の紹介と活用法
- (2) 就職センターの紹介と活用法、キャリアガイダンス・ワークショップ

D. 地域を学ぶ・地域に学ぶ

~心理学科生がボランティア活動を通じて地域との交流をはかる際の心構えや態度を養うため、

以下の内容から1~2のトピックについて話を伺う (計画中)

- (1) 地域子育て支援：新座子育てネットワーク (予定) の方に、現状の課題などを伺う

(2) 教育支援：市内中学校の現役スタッフの方に，中学生が抱える心の問題などを伺う

(3) 障がい者支援：地域の障がい者支援施設の方に，支援の実際を伺い理解を深める

評価

発表とレポート提出（60点）および平常点（40点）によって評価を行い、60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】課された課題についての準備を整える（各講義 1 時間程度）

【事後学修】ゼミの内容を復習し，要点を復習しておく（各講義 1 時間程度）

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

特に定めない。授業中に、必要に応じて紹介したり、資料を配布する。

科目名	入門ゼミナール		
担当教員名	鈴木 雅子、東畑 開人		
ナンバリング	KKa001		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 入門ゼミナール		
学 年	1	ク ラ ス	CDクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格：人間生活学部の学位授与方針1.2.3に該当する。

1年生前期の必修科目であり、大学入学後のガイダンス教育の一環として、少人数のクラス編成により、学科専任教員が担当して実施する科目である。

科目の概要：

大学での学業生活がより豊かなものになることを目指して、学生間の、および、教員と学生との密なコミュニケーションを図りつつ、学生の主体的な演習活動を通して、基本的な学習技法・技能 (Study Skill) の育成を行う。大学では、学生自らが主体的、かつ自律的に学習することが求められていることが多い。こうした学習態度は、大学生活のみならず卒業後の職業生活や生涯学習においても重要な役割を果たすものである。

学修目標：

1. 大学で学ぶこと、主体的に学ぶことの意味を理解する。
2. 大学の資源を有効に活用する術を得る。
3. 基本的な <Study Skill> を理解する。
4. 自己の大学生活における目標を見つける。

内容

A. アイスブレイク活動

自己紹介、大学生活に関する相談や質疑応答、履修方法の相談など

B. Study Skillトレーニング

- (1) 大学授業への受講技能 (ノートの取り方・まとめ方、試験勉強)
- (2) テキストの読み方 (説明的文章の読み方、論理展開に対する理解、要約のまとめ方)
- (3) 資料収集とその整理に関する技法 (KJ法、資料のファイリング法)
- (4) レポート作成に関する技法 (文章作成・表現技法、全体構成のたて方)
- (5) 報告・発表に関する技法 (プレゼンテーション技法、レジュメ作成法)
- (6) 話し合いに関する技法 (バズセッション、ディベート)

C. 学内ガイダンス

- (1) 図書・情報センター図書館 (図書館本館・図書館分室) の紹介と活用法
- (2) 就職センターの紹介と活用法、キャリアガイダンス・ワークショップ

D. 地域を学ぶ・地域に学ぶ

~ 心理学科生がボランティア活動を通じて地域との交流をはかる際の心構えや態度を養うため、

以下の内容から 1 ~ 2 のトピックについて話を伺う (計画中)

- (1) 地域子育て支援：新座子育てネットワーク (予定) の方に、現状の課題などを伺う

(2) 教育支援：市内中学校の現役スタッフの方に，中学生が抱える心の問題などを伺う

(3) 障がい者支援：地域の障がい者支援施設の方に，支援の実際を伺い理解を深める

評価

発表とレポート提出（60点）および平常点（40点）によって評価を行い、60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】課された課題についての準備を整える（各講義 1 時間程度）

【事後学修】ゼミの内容を復習し，要点を復習しておく（各講義 1 時間程度）

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

特に定めない。授業中に、必要に応じて紹介したり、資料を配布する。

科目名	入門ゼミナール		
担当教員名	鈴木 雅子、伊藤 恵子		
ナンバリング	KKa001		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 入門ゼミナール		
学 年	1	ク ラ ス	CEクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格：人間生活学部の学位授与方針1.2.3に該当する。

1年生前期の必修科目であり、大学入学後のガイダンス教育の一環として、少人数のクラス編成により、学科専任教員が担当して実施する科目である。

科目の概要：

大学での学業生活がより豊かなものになることを目指して、学生間の、および、教員と学生との密なコミュニケーションを図りつつ、学生の主体的な演習活動を通して、基本的な学習技法・技能 (Study Skill) の育成を行う。大学では、学生自らが主体的、かつ自律的に学習することが求められていることが多い。こうした学習態度は、大学生活のみならず卒業後の職業生活や生涯学習においても重要な役割を果たすものである。

学修目標：

1. 大学で学ぶこと、主体的に学ぶことの意味を理解する。
2. 大学の資源を有効に活用する術を得る。
3. 基本的な <Study Skill> を理解する。
4. 自己の大学生活における目標を見つける。

内容

A. アイスブレイク活動

自己紹介、大学生活に関する相談や質疑応答、履修方法の相談など

B. Study Skillトレーニング

- (1) 大学授業への受講技能 (ノートの取り方・まとめ方、試験勉強)
- (2) テキストの読み方 (説明的文章の読み方、論理展開に対する理解、要約のまとめ方)
- (3) 資料収集とその整理に関する技法 (KJ法、資料のファイリング法)
- (4) レポート作成に関する技法 (文章作成・表現技法、全体構成のたて方)
- (5) 報告・発表に関する技法 (プレゼンテーション技法、レジュメ作成法)
- (6) 話し合いに関する技法 (バズセッション、ディベート)

C. 学内ガイダンス

- (1) 図書・情報センター図書館 (図書館本館・図書館分室) の紹介と活用法
- (2) 就職センターの紹介と活用法、キャリアガイダンス・ワークショップ

D. 地域を学ぶ・地域に学ぶ

~ 心理学科生がボランティア活動を通じて地域との交流をはかる際の心構えや態度を養うため、

以下の内容から 1 ~ 2 のトピックについて話を伺う (計画中)

- (1) 地域子育て支援：新座子育てネットワーク (予定) の方に、現状の課題などを伺う

(2) 教育支援：市内中学校の現役スタッフの方に，中学生が抱える心の問題などを伺う

(3) 障がい者支援：地域の障がい者支援施設の方に，支援の実際を伺い理解を深める

評価

発表とレポート提出（60点）および平常点（40点）によって評価を行い、60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】課された課題についての準備を整える（各講義 1 時間程度）

【事後学修】ゼミの内容を復習し，要点を復習しておく（各講義 1 時間程度）

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

特に定めない。授業中に、必要に応じて紹介したり、資料を配布する。

科目名	入門ゼミナール		
担当教員名	鈴木 雅子		
ナンバリング	KKa001		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 入門ゼミナール		
学 年	1	ク ラ ス	CFクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格：人間生活学部の学位授与方針1.2.3に該当する。

1年生前期の必修科目であり、大学入学後のガイダンス教育の一環として、少人数のクラス編成により、学科専任教員が担当して実施する科目である。

科目の概要：

大学での学業生活がより豊かなものになることを目指して、学生間の、および、教員と学生との密なコミュニケーションを図りつつ、学生の主体的な演習活動を通して、基本的な学習技法・技能 (Study Skill) の育成を行う。大学では、学生自らが主体的、かつ自律的に学習することが求められていることが多い。こうした学習態度は、大学生活のみならず卒業後の職業生活や生涯学習においても重要な役割を果たすものである。

学修目標：

1. 大学で学ぶこと、主体的に学ぶことの意味を理解する。
2. 大学の資源を有効に活用する術を得る。
3. 基本的な <Study Skill> を理解する。
4. 自己の大学生活における目標を見つける。

内容

A. アイスブレイク活動

自己紹介、大学生活に関する相談や質疑応答、履修方法の相談など

B. Study Skillトレーニング

- (1) 大学授業への受講技能 (ノートの取り方・まとめ方、試験勉強)
- (2) テキストの読み方 (説明的文章の読み方、論理展開に対する理解、要約のまとめ方)
- (3) 資料収集とその整理に関する技法 (KJ法、資料のファイリング法)
- (4) レポート作成に関する技法 (文章作成・表現技法、全体構成のたて方)
- (5) 報告・発表に関する技法 (プレゼンテーション技法、レジュメ作成法)
- (6) 話し合いに関する技法 (バズセッション、ディベート)

C. 学内ガイダンス

- (1) 図書・情報センター図書館 (図書館本館・図書館分室) の紹介と活用法
- (2) 就職センターの紹介と活用法、キャリアガイダンス・ワークショップ

D. 地域を学ぶ・地域に学ぶ

~ 心理学科生がボランティア活動を通じて地域との交流をはかる際の心構えや態度を養うため、

以下の内容から 1 ~ 2 のトピックについて話を伺う (計画中)

- (1) 地域子育て支援：新座子育てネットワーク (予定) の方に、現状の課題などを伺う

(2) 教育支援：市内中学校の現役スタッフの方に，中学生が抱える心の問題などを伺う

(3) 障がい者支援：地域の障がい者支援施設の方に，支援の実際を伺い理解を深める

評価

発表とレポート提出（60点）および平常点（40点）によって評価を行い、60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】課された課題についての準備を整える（各講義 1 時間程度）

【事後学修】ゼミの内容を復習し，要点を復習しておく（各講義 1 時間程度）

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

特に定めない。授業中に、必要に応じて紹介したり、資料を配布する。

科目名	入門ゼミナール		
担当教員名	鈴木 雅子、山下 倫実		
ナンバリング	KKa001		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 入門ゼミナール		
学 年	1	ク ラ ス	CGクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格：人間生活学部の学位授与方針1.2.3に該当する。

1年生前期の必修科目であり、大学入学後のガイダンス教育の一環として、少人数のクラス編成により、学科専任教員が担当して実施する科目である。

科目の概要：

大学での学業生活がより豊かなものになることを目指して、学生間の、および、教員と学生との密なコミュニケーションを図りつつ、学生の主体的な演習活動を通して、基本的な学習技法・技能 (Study Skill) の育成を行う。大学では、学生自らが主体的、かつ自律的に学習することが求められていることが多い。こうした学習態度は、大学生生活のみならず卒業後の職業生活や生涯学習においても重要な役割を果たすものである。

学修目標：

1. 大学で学ぶこと、主体的に学ぶことの意味を理解する。
2. 大学の資源を有効に活用する術を得る。
3. 基本的な <Study Skill> を理解する。
4. 自己の大学生生活における目標を見つける。

内容

A. アイスブレイク活動

自己紹介、大学生生活に関する相談や質疑応答、履修方法の相談など

B. Study Skillトレーニング

- (1) 大学授業への受講技能 (ノートの取り方・まとめ方、試験勉強)
- (2) テキストの読み方 (説明的文章の読み方、論理展開に対する理解、要約のまとめ方)
- (3) 資料収集とその整理に関する技法 (KJ法、資料のファイリング法)
- (4) レポート作成に関する技法 (文章作成・表現技法、全体構成のたて方)
- (5) 報告・発表に関する技法 (プレゼンテーション技法、レジュメ作成法)
- (6) 話し合いに関する技法 (バズセッション、ディベート)

C. 学内ガイダンス

- (1) 図書・情報センター図書館 (図書館本館・図書館分室) の紹介と活用法
- (2) 就職センターの紹介と活用法、キャリアガイダンス・ワークショップ

D. 地域を学ぶ・地域に学ぶ

~ 心理学科生がボランティア活動を通じて地域との交流をはかる際の心構えや態度を養うため、

以下の内容から 1 ~ 2 のトピックについて話を伺う (計画中)

- (1) 地域子育て支援：新座子育てネットワーク (予定) の方に、現状の課題などを伺う

(2) 教育支援：市内中学校の現役スタッフの方に，中学生が抱える心の問題などを伺う

(3) 障がい者支援：地域の障がい者支援施設の方に，支援の実際を伺い理解を深める

評価

発表とレポート提出（60点）および平常点（40点）によって評価を行い、60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】課された課題についての準備を整える（各講義 1 時間程度）

【事後学修】ゼミの内容を復習し，要点を復習しておく（各講義 1 時間程度）

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

特に定めない。授業中に、必要に応じて紹介したり、資料を配布する。

科目名	入門ゼミナール		
担当教員名	松岡 敬明、星野 敦子		
ナンバリング	KKa001		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 入門ゼミナール		
学 年	1	ク ラ ス	BAクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

児童教育学科の学位授与方針 1 , 3 に該当します。この科目は高等学校の生徒から大学の学生へと円滑に移行するための必要な勉強を学科の先生方とともに学ぶために設定されました。特に、本学が立地する埼玉県新座市について学ぶ一つの機会となります。これからどのように大学生活を送ればよいのかということについて、少人数クラスで学びあうこととなります。

科目の概要

大学生活では、大学で開講される講義や演習、実習等の科目を履修し、単位を修得することにより、社会人として必要となる知識や技能を身につけます。特に、本学では、「地域に貢献する」学生を育てることをねらいの一つとしています。そのためには、大学での勉強の仕方を身につけることが必要です。講義を聴きながら自ら疑問を持ち追究する態度、演習に参加し、レジュメをつくり発表する技能、文献を読み、課題をつくり、自ら追究すること、本学が立地する地域について学修すること等、大学で必要となる勉強の方法について各先生とともに学びます。

学修目標

仲間とともに大学生活や地域社会について主体的に学び、その基礎的な知識や技能を身につけること、大学生活に慣れ、自らの将来設計に基づき、学修計画が立てられること、仲間と協力して課題を創造し、ともに追究しあう態度を身につけること、などがねらいです。

内容

各教室に分かれて、担任の先生方と相談しながら勉強を進めます。グループワーク、ディスカッションを取り入れながら、学びを深めていきます。

週により、学科全員が集まって勉強したり、個別で勉強したりします。

1	オリエンテーション
2	学びのナビゲーター
3	PCによる自己確立シートやメールの書き方など・教職課程履修カルテ記入
4	自分の力を知る - 測定 (就職支援課による授業)
5	アカデミック・ライティング
6	アカデミック・ライティング
7	新座を学ぶ
8	自分の力を知る - 測定結果の解説 (就職支援課による授業)
9	情報収集 (図書館ガイダンス)
10	情報収集 (図書館ガイダンス)
11	ワークショップ グループディスカッション
12	ワークショップ グループディスカッション
13	ワークショップ グループディスカッション
14	ボランティア・インターンシップ活動について

評価

講義の内外で作成するミニレポート30%、口頭発表30%、平常点（授業参加度を含む）40%とし、総合評価60点以上を合格とします。

【フィードバック】ミニレポートの内容について、次回以降の授業でシェアリングします。

授業外学習

【事前準備】前回の学習内容を想起し、ゼミナールに備えます。（各授業に対して45分）

【事後学修】ゼミナールで学習した内容を整理し、ノートにまとめます。ゼミナールで指示された課外学修課題に取り組みます。（各授業に対して45分）

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】【参考図書】教室で説明します。「地域を学ぶ」テキストは、教室で配布する予定です。

科目名	入門ゼミナール		
担当教員名	富山 哲也、齋藤 忍		
ナンバリング	KKa001		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 入門ゼミナール		
学 年	1	ク ラ ス	BBクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

児童教育学科の学位授与方針 1, 3 に該当します。この科目は高等学校の生徒から大学の学生へと円滑に移行するための必要な勉強を学科の先生方とともに学ぶために設定されました。特に、本学が立地する埼玉県新座市について学ぶ一つの機会となります。これからどのように大学生活を送ればよいのかということについて、少人数クラスで学びあうこととなります。

科目の概要

大学生活では、大学で開講される講義や演習、実習等の科目を履修し、単位を修得することにより、社会人として必要となる知識や技能を身につけます。特に、本学では、「地域に貢献する」学生を育てることをねらいの一つとしています。そのためには、大学での勉強の仕方を身につけることが必要です。講義を聴きながら自ら疑問を持ち追究する態度、演習に参加し、レジュメをつくり発表する技能、文献を読み、課題をつくり、自ら追究すること、本学が立地する地域について学修すること等、大学で必要となる勉強の方法について各先生とともに学びます。

学修目標

仲間とともに大学生活や地域社会について主体的に学び、その基礎的な知識や技能を身につけること、大学生活に慣れ、自らの将来設計に基づき、学修計画が立てられること、仲間と協力して課題を創造し、ともに追究しあう態度を身につけること、などがねらいです。

内容

各教室に分かれて、担任の先生方と相談しながら勉強を進めます。グループワーク、ディスカッションを取り入れながら、学びを深めていきます。

週により、学科全員が集まって勉強したり、個別で勉強したりします。

1	オリエンテーション
2	学びのナビゲーター
3	PCによる自己確立シートやメールの書き方など・教職課程履修カルテ記入
4	自分の力を知る - 測定(就職支援課による授業)
5	アカデミック・ライティング
6	アカデミック・ライティング
7	新座を学ぶ
8	自分の力を知る - 測定結果の解説(就職支援課による授業)
9	情報収集 (図書館ガイダンス)
10	情報収集 (図書館ガイダンス)
11	ワークショップ グループディスカッション
12	ワークショップ グループディスカッション
13	ワークショップ グループディスカッション
14	ボランティア・インターンシップ活動について

評価

講義の内外で作成するミニレポート30%、口頭発表30%、平常点（授業参加度を含む）40%とし、総合評価60点以上を合格とします。

【フィードバック】ミニレポートの内容について、次回以降の授業でシェアリングします。

授業外学習

【事前準備】前回の学習内容を想起し、ゼミナールに備えます。（各授業に対して45分）

【事後学修】ゼミナールで学習した内容を整理し、ノートにまとめます。ゼミナールで指示された課外学修課題に取り組みます。（各授業に対して45分）

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】【参考図書】教室で説明します。「地域を学ぶ」テキストは、教室で配布する予定です。

科目名	入門ゼミナール		
担当教員名	中西 郁、塚田 昭一		
ナンバリング	KKa001		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 入門ゼミナール		
学 年	1	ク ラ ス	BCクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

児童教育学科の学位授与方針 1 , 3 に該当します。この科目は高等学校の生徒から大学の学生へと円滑に移行するための必要な勉強を学科の先生方とともに学ぶために設定されました。特に、本学が立地する埼玉県新座市について学ぶ一つの機会となります。これからどのように大学生活を送ればよいのかということについて、少人数クラスで学びあうこととなります。

科目の概要

大学生活では、大学で開講される講義や演習、実習等の科目を履修し、単位を修得することにより、社会人として必要となる知識や技能を身につけます。特に、本学では、「地域に貢献する」学生を育てることをねらいの一つとしています。そのためには、大学での勉強の仕方を身につけることが必要です。講義を聴きながら自ら疑問を持ち追究する態度、演習に参加し、レジュメをつくり発表する技能、文献を読み、課題をつくり、自ら追究すること、本学が立地する地域について学修すること等、大学で必要となる勉強の方法について各先生とともに学びます。

学修目標

仲間とともに大学生活や地域社会について主体的に学び、その基礎的な知識や技能を身につけること、大学生活に慣れ、自らの将来設計に基づき、学修計画が立てられること、仲間と協力して課題を創造し、ともに追究しあう態度を身につけること、などがねらいです。

内容

各教室に分かれて、担任の先生方と相談しながら勉強を進めます。グループワーク、ディスカッションを取り入れながら、学びを深めていきます。

週により、学科全員が集まって勉強したり、個別で勉強したりします。

1	オリエンテーション
2	学びのナビゲーター
3	PCによる自己確立シートやメールの書き方など・教職課程履修カルテ記入
4	自分の力を知る - 測定 (就職支援課による授業)
5	アカデミック・ライティング
6	アカデミック・ライティング
7	新座を学ぶ
8	自分の力を知る - 測定結果の解説 (就職支援課による授業)
9	情報収集 (図書館ガイダンス)
10	情報収集 (図書館ガイダンス)
11	ワークショップ グループディスカッション
12	ワークショップ グループディスカッション
13	ワークショップ グループディスカッション
14	ボランティア・インターンシップ活動について

評価

講義の内外で作成するミニレポート30%、口頭発表30%、平常点（授業参加度を含む）40%とし、総合評価60点以上を合格とします。

【フィードバック】ミニレポートの内容について、次回以降の授業でシェアリングします。

授業外学習

【事前準備】前回の学習内容を想起し、ゼミナールに備えます。（各授業に対して45分）

【事後学修】ゼミナールで学習した内容を整理し、ノートにまとめます。ゼミナールで指示された課外学修課題に取り組みます。（各授業に対して45分）

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】【参考図書】教室で説明します。「地域を学ぶ」テキストは、教室で配布する予定です。

科目名	入門ゼミナール		
担当教員名	綾井 桜子、日出間 均		
ナンバリング	KKa001		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 入門ゼミナール		
学 年	1	ク ラ ス	BDクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

児童教育学科の学位授与方針 1, 3 に該当します。この科目は高等学校の生徒から大学の学生へと円滑に移行するための必要な勉強を学科の先生方とともに学ぶために設定されました。特に、本学が立地する埼玉県新座市について学ぶ一つの機会となります。これからどのように大学生活を送ればよいのかということについて、少人数クラスで学びあうこととなります。

科目の概要

大学生活では、大学で開講される講義や演習、実習等の科目を履修し、単位を修得することにより、社会人として必要となる知識や技能を身につけます。特に、本学では、「地域に貢献する」学生を育てることをねらいの一つとしています。そのためには、大学での勉強の仕方を身につけることが必要です。講義を聴きながら自ら疑問を持ち追究する態度、演習に参加し、レジュメをつくり発表する技能、文献を読み、課題をつくり、自ら追究すること、本学が立地する地域について学修すること等、大学で必要となる勉強の方法について各先生とともに学びます。

学修目標

仲間とともに大学生活や地域社会について主体的に学び、その基礎的な知識や技能を身につけること、大学生活に慣れ、自らの将来設計に基づき、学修計画が立てられること、仲間と協力して課題を創造し、ともに追究しあう態度を身につけること、などがねらいです。

内容

各教室に分かれて、担任の先生方と相談しながら勉強を進めます。グループワーク、ディスカッションを取り入れながら、学びを深めていきます。

週により、学科全員が集まって勉強したり、個別で勉強したりします。

1	オリエンテーション
2	学びのナビゲーター
3	PCによる自己確立シートやメールの書き方など・教職課程履修カルテ記入
4	自分の力を知る - 測定(就職支援課による授業)
5	アカデミック・ライティング
6	アカデミック・ライティング
7	新座を学ぶ
8	自分の力を知る - 測定結果の解説(就職支援課による授業)
9	情報収集 (図書館ガイダンス)
10	情報収集 (図書館ガイダンス)
11	ワークショップ グループディスカッション
12	ワークショップ グループディスカッション
13	ワークショップ グループディスカッション
14	ボランティア・インターンシップ活動について

評価

講義の内外で作成するミニレポート30%、口頭発表30%、平常点（授業参加度を含む）40%とし、総合評価60点以上を合格とします。

【フィードバック】ミニレポートの内容について、次回以降の授業でシェアリングします。

授業外学習

【事前準備】前回の学習内容を想起し、ゼミナールに備えます。（各授業に対して45分）

【事後学修】ゼミナールで学習した内容を整理し、ノートにまとめます。ゼミナールで指示された課外学修課題に取り組みます。（各授業に対して45分）

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】【参考図書】教室で説明します。「地域を学ぶ」テキストは、教室で配布する予定です。

科目名	入門ゼミナール		
担当教員名	鈴木 雅子、石田 有理		
ナンバリング	KKa001		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 入門ゼミナール		
学 年	1	ク ラ ス	CHクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格：人間生活学部の学位授与方針1.2.3に該当する。

1年生前期の必修科目であり、大学入学後のガイダンス教育の一環として、少人数のクラス編成により、学科専任教員が担当して実施する科目である。

科目の概要：

大学での学業生活がより豊かなものになることを目指して、学生間の、および、教員と学生との密なコミュニケーションを図りつつ、学生の主体的な演習活動を通して、基本的な学習技法・技能 (Study Skill) の育成を行う。大学では、学生自らが主体的、かつ自律的に学習することが求められていることが多い。こうした学習態度は、大学生活のみならず卒業後の職業生活や生涯学習においても重要な役割を果たすものである。

学修目標：

1. 大学で学ぶこと、主体的に学ぶことの意味を理解する。
2. 大学の資源を有効に活用する術を得る。
3. 基本的な <Study Skill> を理解する。
4. 自己の大学生活における目標を見つける。

内容

A. アイスブレイク活動

自己紹介、大学生活に関する相談や質疑応答、履修方法の相談など

B. Study Skillトレーニング

- (1) 大学授業への受講技能 (ノートの取り方・まとめ方、試験勉強)
- (2) テキストの読み方 (説明的文章の読み方、論理展開に対する理解、要約のまとめ方)
- (3) 資料収集とその整理に関する技法 (KJ法、資料のファイリング法)
- (4) レポート作成に関する技法 (文章作成・表現技法、全体構成のたて方)
- (5) 報告・発表に関する技法 (プレゼンテーション技法、レジュメ作成法)
- (6) 話し合いに関する技法 (バズセッション、ディベート)

C. 学内ガイダンス

- (1) 図書・情報センター図書館 (図書館本館・図書館分室) の紹介と活用法
- (2) 就職センターの紹介と活用法、キャリアガイダンス・ワークショップ

D. 地域を学ぶ・地域に学ぶ

~ 心理学科生がボランティア活動を通じて地域との交流をはかる際の心構えや態度を養うため、

以下の内容から 1 ~ 2 のトピックについて話を伺う (計画中)

- (1) 地域子育て支援：新座子育てネットワーク (予定) の方に、現状の課題などを伺う

(2) 教育支援：市内中学校の現役スタッフの方に，中学生が抱える心の問題などを伺う

(3) 障がい者支援：地域の障がい者支援施設の方に，支援の実際を伺い理解を深める

評価

発表とレポート提出（60点）および平常点（40点）によって評価を行い、60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】課された課題についての準備を整える（各講義 1 時間程度）

【事後学修】ゼミの内容を復習し，要点を復習しておく（各講義 1 時間程度）

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

特に定めない。授業中に、必要に応じて紹介したり、資料を配布する。

科目名	入門ゼミナール		
担当教員名	鈴木 雅子、加藤 陽子		
ナンバリング	KKa001		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 入門ゼミナール		
学 年	1	ク ラ ス	CJクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格：人間生活学部の学位授与方針1.2.3に該当する。

1年生前期の必修科目であり、大学入学後のガイダンス教育の一環として、少人数のクラス編成により、学科専任教員が担当して実施する科目である。

科目の概要：

大学での学業生活がより豊かなものになることを目指して、学生間の、および、教員と学生との密なコミュニケーションを図りつつ、学生の主体的な演習活動を通して、基本的な学習技法・技能 (Study Skill) の育成を行う。大学では、学生自らが主体的、かつ自律的に学習することが求められていることが多い。こうした学習態度は、大学生活のみならず卒業後の職業生活や生涯学習においても重要な役割を果たすものである。

学修目標：

1. 大学で学ぶこと、主体的に学ぶことの意味を理解する。
2. 大学の資源を有効に活用する術を得る。
3. 基本的な <Study Skill> を理解する。
4. 自己の大学生活における目標を見つける。

内容

A. アイスブレイク活動

自己紹介、大学生活に関する相談や質疑応答、履修方法の相談など

B. Study Skillトレーニング

- (1) 大学授業への受講技能 (ノートの取り方・まとめ方、試験勉強)
- (2) テキストの読み方 (説明的文章の読み方、論理展開に対する理解、要約のまとめ方)
- (3) 資料収集とその整理に関する技法 (KJ法、資料のファイリング法)
- (4) レポート作成に関する技法 (文章作成・表現技法、全体構成のたて方)
- (5) 報告・発表に関する技法 (プレゼンテーション技法、レジュメ作成法)
- (6) 話し合いに関する技法 (バズセッション、ディベート)

C. 学内ガイダンス

- (1) 図書・情報センター図書館 (図書館本館・図書館分室) の紹介と活用法
- (2) 就職センターの紹介と活用法、キャリアガイダンス・ワークショップ

D. 地域を学ぶ・地域に学ぶ

~ 心理学科生がボランティア活動を通じて地域との交流をはかる際の心構えや態度を養うため、

以下の内容から 1 ~ 2 のトピックについて話を伺う (計画中)

- (1) 地域子育て支援：新座子育てネットワーク (予定) の方に、現状の課題などを伺う

(2) 教育支援：市内中学校の現役スタッフの方に，中学生が抱える心の問題などを伺う

(3) 障がい者支援：地域の障がい者支援施設の方に，支援の実際を伺い理解を深める

評価

発表とレポート提出（60点）および平常点（40点）によって評価を行い、60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】課された課題についての準備を整える（各講義 1 時間程度）

【事後学修】ゼミの内容を復習し，要点を復習しておく（各講義 1 時間程度）

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

特に定めない。授業中に、必要に応じて紹介したり、資料を配布する。

科目名	入門ゼミナール		
担当教員名	阿部 史		
ナンバリング	KKa001		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 入門ゼミナール		
学 年	1	ク ラ ス	HAクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

学部の学位授与方針1.2.3.に該当する。

学習の仕方 (スタディ・スキルズ) を学び、大学での学業生活をより豊かに過ごせるようにすることを目的にしている。また、大学での学習の入り口として、学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを高めていくこともねらいとしている。

科目の概要

高校までは、どちらかというと受動的で「教わること」が多かったが、大学では自分で学習し、自分から求める「自立型の学習」を求められる。本授業では、高校での学びから大学での学びにスムーズに移行できるように、知的活動への動機づけを高め、レポートや口頭でのプレゼンテーション及びディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしている。

学修目標

グループでの作業を通じて、大学や社会について主体的に学び、コミュニケーション能力を高め、かつプレゼンテーションの能力を高めていくことを目標としている。

内容

就職支援課、図書館、健康管理センターによる講義のほかは、演習形式で、グループワークも取り入れる。

1	Webによる履修登録と学内のシステム利用
2	ワークショップ：グループディスカッション
3	自分の力を知る (1) 測定 (就職支援課による授業)
4	心と身体の健康管理 (健康管理センターによる授業)
5	情報を収集する (1) (図書館ガイダンス)
6	情報を収集する (2) インターネットによる情報収集、リストの作成
7	スタディ・スキルズ：ノート・テイキング、リーディング
8	アカデミック・ライティング (1) : レポートの作成、脚注、参考文献など
9	アカデミック・ライティング (2) : 表やグラフを使用したレポート
10	自分の力を知る (2) 測定結果の解説 (就職支援課による授業)
11	プレゼンテーションの技法 (1) : プレゼンテーションとは、レジユメの作り方
12	プレゼンテーションの技法 (2) : パワーポイントの作成
13	プレゼンテーションの作成 (1) : インターネットからの情報収集
14	プレゼンテーションの作成 (2) : パワーポイント作成
15	プレゼンテーションの発表

評価

毎回の授業時の課題 (40%)、プレゼンテーション (60%) とし、総合評価60点以上を合格とする。授業時の課題は、コメントして次週以降の授業時にフィードバックする。

授業外学習

【事前準備】事前に指示された課題について準備する(30分程度)

【事後学修】課題の完成と提出により学習内容をしっかりと身に付ける(60分程度)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

特に使用しない。学内の授業用フォルダに課題を置く。

科目名	入門ゼミナール		
担当教員名	大友 由紀子		
ナンバリング	KKa001		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 入門ゼミナール		
学 年	1	ク ラ ス	HBクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

学部の学位授与方針1.2.3.に該当する。

学習の仕方 (スタディ・スキルズ) を学び、大学での学業生活をより豊かに過ごせるようにすることを目的にしている。また、大学での学習の入り口として、学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを高めていくこともねらいとしている。

科目の概要

高校までは、どちらかというと受動的で「教わること」が多かったが、大学では自分で学習し、自分から求める「自立型の学習」を求められる。本授業では、高校での学びから大学での学びにスムーズに移行できるように、知的活動への動機づけを高め、レポートや口頭でのプレゼンテーション及びディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしている。

学修目標

グループでの作業を通じて、大学や社会について主体的に学び、コミュニケーション能力を高め、かつプレゼンテーションの能力を高めていくことを目標としている。

内容

就職支援課、図書館、健康管理センターによる講義のほかは、演習形式で、グループワークも取り入れる。

1	Webによる履修登録と学内のシステム利用
2	ワークショップ：グループディスカッション
3	自分の力を知る (1) 測定 (就職支援課による授業)
4	心と身体の健康管理 (健康管理センターによる授業)
5	情報を収集する (1) (図書館ガイダンス)
6	情報を収集する (2) インターネットによる情報収集、リストの作成
7	スタディ・スキルズ：ノート・テイキング、リーディング
8	アカデミック・ライティング (1) : レポートの作成、脚注、参考文献など
9	アカデミック・ライティング (2) : 表やグラフを使用したレポート
10	自分の力を知る (2) 測定結果の解説 (就職支援課による授業)
11	プレゼンテーションの技法 (1) : プレゼンテーションとは、レジユメの作り方
12	プレゼンテーションの技法 (2) : パワーポイントの作成
13	プレゼンテーションの作成 (1) : インターネットからの情報収集
14	プレゼンテーションの作成 (2) : パワーポイント作成
15	プレゼンテーションの発表

評価

毎回の授業時の課題 (40%)、プレゼンテーション (60%) とし、総合評価60点以上を合格とする。授業時の課題は、コメントして次週以降の授業時にフィードバックする。

授業外学習

【事前準備】事前に指示された課題について準備する(30分程度)

【事後学修】課題の完成と提出により学習内容をしっかりと身に付ける(60分程度)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

特に使用しない。学内の授業用フォルダに課題を置く。

科目名	入門ゼミナール		
担当教員名	中山 成夫		
ナンバリング	KKa001		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 入門ゼミナール		
学 年	1	ク ラ ス	HCクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

学部の学位授与方針1.2.3.に該当する。

学習の仕方 (スタディ・スキルズ) を学び、大学での学業生活をより豊かに過ごせるようにすることを目的にしている。また、大学での学習の入り口として、学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを高めていくこともねらいとしている。

科目の概要

高校までは、どちらかというと受動的で「教わること」が多かったが、大学では自分で学習し、自分から求める「自立型の学習」を求められる。本授業では、高校での学びから大学での学びにスムーズに移行できるように、知的活動への動機づけを高め、レポートや口頭でのプレゼンテーション及びディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしている。

学修目標

グループでの作業を通じて、大学や社会について主体的に学び、コミュニケーション能力を高め、かつプレゼンテーションの能力を高めていくことを目標としている。

内容

就職支援課、図書館、健康管理センターによる講義のほかは、演習形式で、グループワークも取り入れる。

第1回 Webによる履修登録と学内のシステム利用

第2回 ワークショップ：グループディスカッション

第3回 自分の力を知る (1) 測定 (就職支援課による授業)

第4回 心と身体の健康管理 (健康管理センターによる授業)

第5回 情報を収集する (1) (図書館ガイダンス)

第6回 情報を収集する (2) インターネットによる情報収集、リストの作成

第7回 スタディ・スキルズ：ノート・テイキング、リーディング

第8回 アカデミック・ライティング (1)：レポートの作成、脚注、参考文献など

第9回 アカデミック・ライティング (2)：表やグラフを使用したレポート

第10回 自分の力を知る (2) 測定結果の解説 (就職支援課による授業)

第11回 プレゼンテーションの技法 (1)：プレゼンテーションとは、レジユメの作り方

第12回 プレゼンテーションの技法 (2)：パワーポイントの作成

第13回 プレゼンテーションの作成 (1)：インターネットからの情報収集

第14回 プレゼンテーションの作成 (2)：パワーポイント作成

第15回 プレゼンテーションの発表

評価

毎回の授業時の課題（40%）、プレゼンテーション（60%）とし、総合評価60点以上を合格とする。授業時の課題は、コメントして次週以降の授業時にフィードバックする。

授業外学習

【事前準備】事前に指示された課題について準備する(30分程度)

【事後学修】課題の完成と提出により学習内容をしっかりと身に付ける(60分程度)

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

特に使用しない。学内の授業用フォルダに課題を置く。

科目名	入門ゼミナール		
担当教員名	安達 一寿、川口 英俊		
ナンバリング	KKa001		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 入門ゼミナール		
学 年	1	ク ラ ス	JAクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

共通教育の学位授与方針1に該当する。

この科目は、大学の学生へと円滑に移行するための必要な学修方法を学ぶために設定する。新入生の皆さんが仲間とともに、これからどのように大学生生活を送ればよいのかということについて、少人数クラスで学びあう。

科目の概要

大学では、開講される講義や演習、実習などの科目を履修し、単位を修得することにより、社会人として必要となる知識や技能を身につける。特に、本学では、「地域に貢献する」学生を育てることをねらいの一つとなっている。そのためには、大学での勉強の仕方を身につけることが必要である。講義を聴きながら自ら疑問を持ち追究する態度、演習に参加し、レジュメをつくり発表する技能、文献を読み、課題をつくり、自ら追究すること、レポートや論文を書き上げること、本学が立地する地域について学修することなど、大学で必要となる勉強の方法について各先生とともに学ぶ。

学修目標

仲間とともに大学生生活や地域社会について主体的に学び、その基礎的な知識や技能を身につけること、大学生生活に慣れ、自らの将来設計に基づき、学修計画が立てられること、仲間と協力して課題を創造し、ともに追究しあう態度を身につけること、が目標である。

内容

1	オリエンテーション、大学での学び【安達】
2	能動的に学ぶ - アクティブ・ラーニング【安達】
3	自分自身を知る (診断テスト) 【安達】
4	ノートテイキング (1) 【川口】
5	ノートテイキング (2) 【川口】
6	情報収集の方法 (1) 【安達】
7	情報収集の方法 (2) 【安達】
8	リーディングスキルを身につける (1) 【川口】
9	リーディングスキルを身につける (2) 【川口】
10	ライティングスキルを身につける (1) 【川口】
11	ライティングスキルを身につける (2) 【川口】
12	ライティングスキルを身につける (3) 【川口】
13	地域の特徴を知る【安達】
14	地域の課題を知る【安達】
15	まとめ【安達、川口】

評価

課題・レポート (全部で100点満点) を課し、60点以上を合格とする。

課題・レポートは、授業時に提出を求める。

授業外学習

【事前予習】各テーマの該当箇所を教科書で予習のこと。

【事後学修】テーマ毎に課題・レポートを課すので、それを実施すること。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】中澤務・森貴史・本村康哲編、『知のナビゲーター』，くろしお出版，1800円

十文字学園女子大学編、『地域を学ぶ - 新座市』（予定）

【推薦書】松本茂・河野哲也、『大学生のための「読む・書く・プレゼン・ディベート」の方法』，玉川大学出版部，1470円

科目名	入門ゼミナール		
担当教員名	久保田 葉子、狩野 浩二		
ナンバリング	KKa001		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 入門ゼミナール		
学 年	1	ク ラ ス	BFクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

児童教育学科の学位授与方針 1, 3 に該当します。この科目は高等学校の生徒から大学の学生へと円滑に移行するための必要な勉強を学科の先生方とともに学ぶために設定されました。特に、本学が立地する埼玉県新座市について学ぶ一つの機会となります。これからどのように大学生活を送ればよいのかということについて、少人数クラスで学びあうこととなります。

科目の概要

大学生活では、大学で開講される講義や演習、実習等の科目を履修し、単位を修得することにより、社会人として必要となる知識や技能を身につけます。特に、本学では、「地域に貢献する」学生を育てることをねらいの一つとしています。そのためには、大学での勉強の仕方を身につけることが必要です。講義を聴きながら自ら疑問を持ち追究する態度、演習に参加し、レジュメをつくり発表する技能、文献を読み、課題をつくり、自ら追究すること、本学が立地する地域について学修すること等、大学で必要となる勉強の方法について各先生とともに学びます。

学修目標

仲間とともに大学生活や地域社会について主体的に学び、その基礎的な知識や技能を身につけること、大学生活に慣れ、自らの将来設計に基づき、学修計画が立てられること、仲間と協力して課題を創造し、ともに追究しあう態度を身につけること、などがねらいです。

内容

各教室に分かれて、担任の先生方と相談しながら勉強を進めます。グループワーク、ディスカッションを取り入れながら、学びを深めていきます。

週により、学科全員が集まって勉強したり、個別で勉強したりします。

1	オリエンテーション
2	学びのナビゲーター
3	PCによる自己確立シートやメールの書き方など・教職課程履修カルテ記入
4	自分の力を知る - 測定(就職支援課による授業)
5	アカデミック・ライティング
6	アカデミック・ライティング
7	新座を学ぶ
8	自分の力を知る - 測定結果の解説(就職支援課による授業)
9	情報収集 (図書館ガイダンス)
10	情報収集 (図書館ガイダンス)
11	ワークショップ グループディスカッション
12	ワークショップ グループディスカッション
13	ワークショップ グループディスカッション
14	ボランティア・インターンシップ活動について

評価

講義の内外で作成するミニレポート30%、口頭発表30%、平常点（授業参加度を含む）40%とし、総合評価60点以上を合格とします。

【フィードバック】ミニレポートの内容について、次回以降の授業でシェアリングします。

授業外学習

【事前準備】前回の学習内容を想起し、ゼミナールに備えます。（各授業に対して45分）

【事後学修】ゼミナールで学習した内容を整理し、ノートにまとめます。ゼミナールで指示された課外学修課題に取り組みます。（各授業に対して45分）

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】【参考図書】教室で説明します。「地域を学ぶ」テキストは、教室で配布する予定です。

科目名	入門ゼミナール		
担当教員名	武田 比呂男、山下 悠貴乃		
ナンバリング	KKa001		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 入門ゼミナール		
学 年	1	ク ラ ス	GAクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

この科目は、高等学校の生徒から大学の学生へと円滑に移行するために必要なことを学ぶために設定された科目です。人間生活学部の学位授与方針の1・2・3に該当します。また、本学が立地する地域について学ぶ一つの機会ともなります。

科目の概要

大学生活4年間で修得すべきアカデミックスキルと、地域社会の中で確かな人間関係を築き上げ、自己実現するのに必要なソーシャルスキルの基礎を身につけます。ノートテイクやレポートの書き方などの指導の他、ペアワークやグループワークを通じて学生同士で互いに学び合い、大学生としての基本的な学びを深めていきます。また、特別講師による体験講座を実施したり、地域について深く調査し発表したりと、様々な内容の授業を通して本学科における学びの視野を広めます。

学修目標 (= 到達目標)

大学生活に必要な基本的スキルを身につけると共に、各自がそれぞれの学習目標を設定し、それを実現するための学習計画を立てて、4年間の大学生活を有意義に過ごす姿勢を確立することを学修目標とします。言語化の習慣化と対話を通じた協働の大切さと楽しさを体験してもらいます。また、地域について知識を得て、「地域に貢献する」学生としての意識を高めます。

内容

1	ガイダンス・インストラクション (入門ゼミナールでの学びとねらいについて)
2	大学での学び (学習の技術とマナー)
3	クラス別レクチャー&ワークショップ (学びの目標設定、チームビルディング)
4	課題発見・解決ワークショップ (地域を学ぶ) (自分の関心事から地域の課題を探す)
5	ゲストと創る学びの場(特別ゲスト)
6	情報収集・メディアリテラシー (インターネット活用法・メディアリテラシー)
7	情報収集・メディアリテラシー (図書館の活用法・知的所有権)
8	課題発見・解決ワークショップ (地域を学ぶ) (中間発表・アイデアシェア)
9	レポート・論文作成法(レポート・論文作成の作法を学ぶ)
10	プレゼンテーション技法(伝える伝わる技法)
11	クラス別レクチャー&ワークショップ (中間振り返り・新たなプロジェクト)
12	クラス別レクチャー&ワークショップ (プレゼン準備、ステップアップ対策)
13	課題発見・解決ワークショップ (地域を学ぶ) (発表から学ぶ・評価から学ぶ)
14	課題発見・解決ワークショップ (地域を学ぶ) (発表から学ぶ・評価から学ぶ)
15	クラス別 振り返り (前期の振り返り、夏休みの計画・目標設定)

評価

授業への取り組み方40%、リアクションペーパーの内容60%とし、総合評価60点以上を合格とします。

授業外学習

【事前準備】あらかじめ提示される授業概要について興味・関心のあることがらを調べておいてください（各授業に対して60分）。

【事後学修】Live Campusを用いての振り返りや、各自授業内容をノートに整理し、分からなかった点や興味を持ったことがらを調べましょう（各授業に対して60分）。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】特定の教科書は指定しません。適宜資料を配布します。

科目名	入門ゼミナール		
担当教員名	小林 実、好本 恵		
ナンバリング	KKa001		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 入門ゼミナール		
学 年	1	ク ラ ス	GBクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

この科目は、高等学校の生徒から大学の学生へと円滑に移行するために必要なことを学ぶために設定された科目です。人間生活学部の学位授与方針の1.2.3に該当します。また、本学が立地する地域について学ぶ一つの機会ともなります。

科目の概要

大学生活4年間で修得すべきアカデミックスキルと、地域社会の中で確かな人間関係を築き上げ、自己実現するのに必要なソーシャルスキルの基礎を身につけます。ノートテイクやレポートの書き方などの指導の他、ペアワークやグループワークを通じて学生同士で互いに学び合い、大学生としての基本的な学びを深めていきます。また、特別講師による体験講座を実施したり、地域について深く調査し発表したりと、様々な内容の授業を通して本学科における学びの視野を広めます。

学修目標 (= 到達目標)

大学生活に必要な基本的スキルを身につけると共に、各自がそれぞれの学習目標を設定し、それを実現するための学習計画を立てて、4年間の大学生活を有意義に過ごす姿勢を確立することを学修目標とします。言語化の習慣化と対話を通じた協働の大切さと楽しさを体験してもらいます。また、地域について知識を得て、「地域に貢献する」学生としての意識を高めます。

内容	
1	ガイダンス・インストラクション (入門ゼミナールでの学びとねらいについて)
2	大学での学び (学習の技術とマナー)
3	クラス別レクチャー&ワークショップ (学びの目標設定、チームビルディング)
4	課題発見・解決ワークショップ (地域を学ぶ) (自分の関心事から地域の課題を探す)
5	ゲストと創る学びの場 (特別ゲスト)
6	情報収集・メディアリテラシー (インターネット活用法・メディアリテラシー)
7	情報収集・メディアリテラシー (図書館の活用法・知的所有権)
8	課題発見・解決ワークショップ (地域を学ぶ) (中間発表・アイデアシェア)
9	レポート・論文作成法 (レポート・論文作成の作法を学ぶ)
10	プレゼンテーション技法 (伝える伝わる技法)
11	クラス別レクチャー&ワークショップ (中間振り返り・新たなプロジェクト)
12	クラス別レクチャー&ワークショップ (プレゼン準備、ステップアップ対策)
13	課題発見・解決ワークショップ (地域を学ぶ) (発表から学ぶ・評価から学ぶ)
14	課題発見・解決ワークショップ (地域を学ぶ) (発表から学ぶ・評価から学ぶ)
15	クラス別 振り返り (前期の振り返り、夏休みの計画・目標設定)

評価

授業への取り組み方40%、リアクションペーパーの内容60%とし、総合評価60点以上を合格とします。

授業外学習

【事前準備】あらかじめ提示される授業概要について興味・関心のあることがらを調べておいてください（各授業に対して60分）。

【事後学修】Live Campusを用いての振り返りや、各自授業内容をノートに整理し、分からなかった点や興味を持ったことがらを調べましょう（各授業に対して60分）。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】特定の教科書は指定しません。適宜資料を配布します。

科目名	入門ゼミナール		
担当教員名	星野 祐子、松永 修一		
ナンバリング	KKa001		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 入門ゼミナール		
学 年	1	ク ラ ス	GCクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

この科目は、高等学校の生徒から大学の学生へと円滑に移行するために必要なことを学ぶために設定された科目です。人間生活学部の学位授与方針の1.2.3に該当します。また、本学が立地する地域について学ぶ一つの機会ともなります。

科目の概要

大学生活4年間で修得すべきアカデミックスキルと、地域社会の中で確かな人間関係を築き上げ、自己実現するのに必要なソーシャルスキルの基礎を身につけます。ノートテイクやレポートの書き方などの指導の他、ペアワークやグループワークを通じて学生同士で互いに学び合い、大学生としての基本的な学びを深めていきます。また、特別講師による体験講座を実施したり、地域について深く調査し発表したりと、様々な内容の授業を通して本学科における学びの視野を広めます。

学修目標 (= 到達目標)

大学生活に必要な基本的スキルを身につけると共に、各自がそれぞれの学習目標を設定し、それを実現するための学習計画を立てて、4年間の大学生活を有意義に過ごす姿勢を確立することを学修目標とします。言語化の習慣化と対話を通じた協働の大切さと楽しさを体験してもらいます。また、地域について知識を得て、「地域に貢献する」学生としての意識を高めます。

内容

1	ガイダンス・インストラクション (入門ゼミナールでの学びとねらいについて)
2	大学での学び (学習の技術とマナー)
3	クラス別レクチャー&ワークショップ (学びの目標設定、チームビルディング)
4	課題発見・解決ワークショップ (地域を学ぶ) (自分の関心事から地域の課題を探す)
5	ゲストと創る学びの場(特別ゲスト)
6	情報収集・メディアリテラシー (インターネット活用法・メディアリテラシー)
7	情報収集・メディアリテラシー (図書館の活用法・知的所有権)
8	課題発見・解決ワークショップ (地域を学ぶ) (中間発表・アイデアシェア)
9	レポート・論文作成法(レポート・論文作成の作法を学ぶ)
10	プレゼンテーション技法(伝える伝わる技法)
11	クラス別レクチャー&ワークショップ (中間振り返り・新たなプロジェクト)
12	クラス別レクチャー&ワークショップ (プレゼン準備、ステップアップ対策)
13	課題発見・解決ワークショップ (地域を学ぶ) (発表から学ぶ・評価から学ぶ)
14	課題発見・解決ワークショップ (地域を学ぶ) (発表から学ぶ・評価から学ぶ)
15	クラス別 振り返り (前期の振り返り、夏休みの計画・目標設定)

評価

授業への取り組み方40%、リアクションペーパーの内容60%とし、総合評価60点以上を合格とします。

授業外学習

【事前準備】あらかじめ提示される授業概要について興味・関心のあることがらを調べておいてください（各授業に対して60分）。

【事後学修】Live Campusを用いての振り返りや、各自授業内容をノートに整理し、分からなかった点や興味を持ったことがらを調べましょう（各授業に対して60分）。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】特定の教科書は指定しません。適宜資料を配布します。

科目名	入門ゼミナール		
担当教員名	伊藤 陽一		
ナンバリング	KKa001		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 入門ゼミナール		
学 年	1	ク ラ ス	DAクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格：人間福祉学科の学位授与方針 1 及び 3 に該当し、自分が体験したことをわかりやすく意味づけ、表現すること、お互いに自身の考えや集団の考えを高め発展させることと関連する。

科目の概要：大学では自らが学び、求めるという自律的、自発的な学習が不可欠である。本授業では、大学における学習活動におけるスタディースキルズ及び学生生活に関する基本事項について学ぶ。少人数で担当教員とのコミュニケーションが密であることも本授業の特徴である。

講義・演習（ディスカッション、グループワーク等）を通じて行う。なお、テーマによって1年生クラス合同の授業を行うこともある。

学修目標（=到達目標）：1）4年間の学習の目標とそのプロセスがわかる。

2）4年間にわたるスタディースキルズを習得する。

3）福祉の学びをふまえて地域に対する理解を深める。

内容

1. 学生としてのライフスタイルの確立及び学習の目標を獲得

大学、学部、学科、コースを理解する。

大学組織の活用法を理解する。

自分の個性・特徴を理解する。

自己確立へ向けて目標を立てる。

学習・生活の計画を立てる。

2. 情報の収集、整理、理解

ノートテイキング、文書読解練習、大学図書館の利用方法、インターネットの活用などについて学ぶ。

3. 情報の検討、分析、発信

意見（主張）の出し合いと練り上げ、討論・議論の練習、レポートの作成その発表等を行う。

4. グループワーク

共同での問題解決と体験学習を踏まえ、福祉を学ぶ者としての自覚と他者理解を深めるとともに、各自の目的意識を明確化する。

5. 地域貢献の方法を学ぶ

新座市の福祉の現状や受講生の居住地の福祉の現状について学び、ボランティア等地域への活動に取り組めるようにする。

評価

授業への取り組み（40点）、小レポート（30点）、期末課題（30点）とし、総合評価60点以上を合格とする。

【フィードバック】毎授業の発表や小レポートに対してコメントし、学習理解を深められるようにする。

授業外学習

【事前準備】 事前に示された課題について準備する。

【事後学習】 課題の自己学習と提出により、学習内容を振り返り、身につける。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】 川村匡由・川村岳人「改訂 福祉系学生のためのレポート&卒論の書き方」中央法規

【推薦書】 学習技術研究会編「知へのステップ」くろしお出版

田中共子編「よくわかる学びの技法」ミネルヴァ書房

【参考図書】 「地域で学ぶ」テキストは、授業中配布予定

科目名	入門ゼミナール		
担当教員名	矢野 景子		
ナンバリング	KKa001		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 入門ゼミナール		
学 年	1	ク ラ ス	DBクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格：人間福祉学科の学位授与方針 1 及び 3 に該当し、自分が体験したことをわかりやすく意味づけ、表現すること、お互いに自身の考えや集団の考えを高め発展させることと関連する。

科目の概要：大学では自らが学び、求めるという自律的、自発的な学習が不可欠である。本授業では、大学における学習活動におけるスタディースキルズ及び学生生活に関する基本事項について学ぶ。少人数で担当教員とのコミュニケーションが密であることも本授業の特徴である。

講義・演習（ディスカッション、グループワーク等）を通じて行う。なお、テーマによって1年生クラス合同の授業を行うこともある。

学修目標（=到達目標）：1）4年間の学習の目標とそのプロセスがわかる。

2）4年間にわたるスタディースキルズを習得する。

3）福祉の学びをふまえて地域に対する理解を深める。

内容

1. 学生としてのライフスタイルの確立及び学習の目標を獲得

大学、学部、学科、コースを理解する。

大学組織の活用法を理解する。

自分の個性・特徴を理解する。

自己確立へ向けて目標を立てる。

学習・生活の計画を立てる。

2. 情報の収集、整理、理解

ノートテイキング、文書読解練習、大学図書館の利用方法、インターネットの活用などについて学ぶ。

3. 情報の検討、分析、発信

意見（主張）の出し合いと練り上げ、討論・議論の練習、レポートの作成その発表等を行う。

4. グループワーク

共同での問題解決と体験学習を踏まえ、福祉を学ぶ者としての自覚と他者理解を深めるとともに、各自の目的意識を明確化する。

5. 地域貢献の方法を学ぶ

新座市の福祉の現状や受講生の居住地の福祉の現状について学び、ボランティア等地域への活動に取り組めるようにする。

評価

授業への取り組み（40点）、小レポート（30点）、期末課題（30点）とし、総合評価60点以上を合格とする。

【フィードバック】毎授業の発表や小レポートに対してコメントし、学習理解を深められるようにする。

授業外学習

【事前準備】 事前に示された課題について準備する。

【事後学習】 課題の自己学習と提出により、学習内容を振り返り、身につける。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】 川村匡由・川村岳人「改訂 福祉系学生のためのレポート&卒論の書き方」中央法規

【推薦書】 学習技術研究会編「知へのステップ」くろしお出版

田中共子編「よくわかる学びの技法」ミネルヴァ書房

【参考図書】 「地域で学ぶ」テキストは、授業中配布予定

科目名	入門ゼミナール		
担当教員名	鈴木 雅子、平田 智秋		
ナンバリング	KKa001		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 入門ゼミナール		
学 年	1	ク ラ ス	CAクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格：人間生活学部の学位授与方針1.2.3に該当する。

1年生前期の必修科目であり、大学入学後のガイダンス教育の一環として、少人数のクラス編成により、学科専任教員が担当して実施する科目である。

科目の概要：

大学での学業生活がより豊かなものになることを目指して、学生間の、および、教員と学生との密なコミュニケーションを図りつつ、学生の主体的な演習活動を通して、基本的な学習技法・技能 (Study Skill) の育成を行う。大学では、学生自らが主体的、かつ自律的に学習することが求められていることが多い。こうした学習態度は、大学生活のみならず卒業後の職業生活や生涯学習においても重要な役割を果たすものである。

学修目標：

1. 大学で学ぶこと、主体的に学ぶことの意味を理解する。
2. 大学の資源を有効に活用する術を得る。
3. 基本的な <Study Skill> を理解する。
4. 自己の大学生活における目標を見つける。

内容

A. アイスブレイク活動

自己紹介、大学生活に関する相談や質疑応答、履修方法の相談など

B. Study Skillトレーニング

- (1) 大学授業への受講技能 (ノートの取り方・まとめ方、試験勉強)
- (2) テキストの読み方 (説明的文章の読み方、論理展開に対する理解、要約のまとめ方)
- (3) 資料収集とその整理に関する技法 (KJ法、資料のファイリング法)
- (4) レポート作成に関する技法 (文章作成・表現技法、全体構成のたて方)
- (5) 報告・発表に関する技法 (プレゼンテーション技法、レジュメ作成法)
- (6) 話し合いに関する技法 (バズセッション、ディベート)

C. 学内ガイダンス

- (1) 図書・情報センター図書館 (図書館本館・図書館分室) の紹介と活用法
- (2) 就職センターの紹介と活用法、キャリアガイダンス・ワークショップ

D. 地域を学ぶ・地域に学ぶ

~心理学科生がボランティア活動を通じて地域との交流をはかる際の心構えや態度を養うため、

以下の内容から1~2のトピックについて話を伺う (計画中)

- (1) 地域子育て支援：新座子育てネットワーク (予定) の方に、現状の課題などを伺う

(2) 教育支援：市内中学校の現役スタッフの方に，中学生が抱える心の問題などを伺う

(3) 障がい者支援：地域の障がい者支援施設の方に，支援の実際を伺い理解を深める

評価

発表とレポート提出（60点）および平常点（40点）によって評価を行い、60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】課された課題についての準備を整える（各講義 1 時間程度）

【事後学修】ゼミの内容を復習し，要点を復習しておく（各講義 1 時間程度）

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

特に定めない。授業中に、必要に応じて紹介したり、資料を配布する。

科目名	入門ゼミナール		
担当教員名	野田 日出子		
ナンバリング	KKa001		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 入門ゼミナール		
学 年	1	ク ラ ス	DCクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格：人間福祉学科の学位授与方針1及び3に該当し、自分が体験したことをわかりやすく意味づけ、表現すること、お互いに自身の考えや集団の考えを高め発展させることと関連する。

科目の概要：大学では自らが学び、求めるという自律的、自発的な学習が不可欠である。本授業では、大学における学習活動におけるスタディースキルズ及び学生生活に関する基本事項について学ぶ。少人数で担当教員とのコミュニケーションが密であることも本授業の特徴である。

講義・演習(ディスカッション、グループワーク等)を通じて行う。なお、テーマによって1年生クラス合同の授業を行うこともある。

学修目標(=到達目標)：1)4年間の学習の目標とそのプロセスがわかる。

2)4年間にわたるスタディースキルズを習得する。

3)福祉の学びをふまえて地域に対する理解を深める。

内容

1.学生としてのライフスタイルの確立及び学習の目標を獲得

大学、学部、学科、コースを理解する。

大学組織の活用法を理解する。

自分の個性・特徴を理解する。

自己確立へ向けて目標を立てる。

学習・生活の計画を立てる。

2.情報の収集、整理、理解

ノートテイキング、文書読解練習、大学図書館の利用方法、インターネットの活用などについて学ぶ。

3.情報の検討、分析、発信

意見(主張)の出し合いと練り上げ、討論・議論の練習、レポートの作成その発表等を行う。

4.グループワーク

共同での問題解決と体験学習を踏まえ、福祉を学ぶ者としての自覚と他者理解を深めるとともに、各自の目的意識を明確化する。

5.地域貢献の方法を学ぶ

新座市の福祉の現状や受講生の居住地の福祉の現状について学び、ボランティア等地域への活動に取り組めるようにする。

評価

授業への取り組み(40点)、小レポート(30点)、期末課題(30点)とし、総合評価60点以上を合格とする。

【フィードバック】毎授業の発表や小レポートに対してコメントし、学習理解を深められるようにする。

授業外学習

【事前準備】 事前に示された課題について準備する。

【事後学習】 課題の自己学習と提出により、学習内容を振り返り、身につける。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】 川村匡由・川村岳人「改訂 福祉系学生のためのレポート&卒論の書き方」中央法規

【推薦書】 学習技術研究会編「知へのステップ」くろしお出版

田中共子編「よくわかる学びの技法」ミネルヴァ書房

【参考図書】 「地域で学ぶ」テキストは、授業中配布予定

科目名	入門ゼミナール		
担当教員名	上垣内 伸子		
ナンバリング	KKa001		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 入門ゼミナール		
学 年	1	ク ラ ス	ABクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

幼児教育学科の学位授与方針の3に該当する。

高校生から大学生へと円滑に移行するための必要な事項を学習する。特に、本学が立地する埼玉県新座市について (入門編) 学ぶ一つの機会とする。入学したばかりの皆さんが仲間とともに、これからどのように大学生生活を送ればよいのか、少人数クラスで学びあう授業である。

科目の概要

大学生活では、大学で開講される講義や演習、実習などの科目を履修し、単位を修得することにより、社会人として必要となる知識や技能を身につける。特に本学では、「地域に貢献する」学生を育てることをねらいの一つとしている。講義を聴きながら自ら疑問を持ち追究する態度、演習に参加し、レジュメを切り (つくり) 発表する技能、文献を読み、課題をつくり、自ら追究すること、レポートや論文を書き上げること、新座市について学修することなど、大学で必要となる学習方法を獲得することを目指す。

学修目標

仲間とともに大学生活や地域社会について主体的に学び、その基礎的な知識や技能を身につけること、大学生活に慣れ、自らの将来設計に基づき、学修計画が立てられること、仲間と協力して課題を創造し追究しあう態度を身につけること、などがねらいである。

内容

- 第1回 グループ決め, 名簿作り, グループ活動
- 第2回 ライブキャンパスでの履修登録ガイダンス
- 第3回 教職カルテ入力に関するオリエンテーション
- 第4回 幼児教育学科新入生歓迎会 (2年、4年)
- 第5回 年時の学習目標記入後の教員面談
- 第6 ~ 13回 グループ別活動 (地域に出かけての体験学習など)
- 第14・15回 全体会

「異」なるものとして「異質性がめだってとらえられる人々との交流と相互理解」に関して、各グループが独自のテーマを設定し、それぞれの切り口から調査研究を進める活動を行う。

少子高齢化や国際化が進む今日の社会状況においては、異質性が目立つ人々といかに交流し、相互理解を深め共生関係を発展させるかが万人共通の課題となっている。

このような問題意識の基に、異質性、固有性が目立ってとらえられる人々との交流と相互理解の促進を目指した多様な実践の理念や意義、特色を調査したり、具体的な実践に参加してその効果や問題点、望ましい交流のあり方について考察したり、交流に関する指導計画を作成したりすること等を活動内容とする。

以上のような活動を通して、人種や国籍、文化、生育環境、生活の仕方や世代、年齢等の異なる人々との出会いと交流を、相互理解の契機にするばかりでなく、差異性と共に、共通性も認識できるような多面的な物の見方が実践できるようにす

る。

このような実体験の積み重ねが、教育（保育）者の専門性の一つである多様な対象とのコミュニケーション能力の育成につながることも目指している。

本学が立地する埼玉県新座市についての学習は、本授業でも扱うが、主として、「児童学演習」にて通年の活動として行うものとする。

評価

演習形式のグループ活動への参加状況(60%)、調査研究活動についてのレポート内容や発表(40%)とし、総合評価60点以上を合格とする。

調査活動は、応答的なやりとりを行いながらすすめていく。

【フィードバック】面談を中心に、個人の課題について、共に考えていく。

授業外学習

【事前予習】1時間程度。前回の学習内容を想起し、ゼミナールに備える。指定された内容について、文献を読んだり、インターネットなどを活用して調べたりする。

【事後学修】1時間程度。ゼミナールで学習した内容を整理し、ノートにまとめる。ゼミナールで指示された課外学修課題に取り組む。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教室で説明します。「地域を学ぶ」テキストは、教室で配付する予定。

科目名	入門ゼミナール		
担当教員名	向井 美穂		
ナンバリング	KKa001		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 入門ゼミナール		
学 年	1	ク ラ ス	ADクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

幼児教育学科の学位授与方針の3に該当する。

高校生から大学生へと円滑に移行するための必要な事項を学習する。特に、本学が立地する埼玉県新座市について (入門編) 学ぶ一つの機会とする。入学したばかりの皆さんが仲間とともに、これからどのように大学生活を送ればよいのか、少人数クラスで学びあう授業である。

科目の概要

大学生活では、大学で開講される講義や演習、実習などの科目を履修し、単位を修得することにより、社会人として必要となる知識や技能を身につける。特に本学では、「地域に貢献する」学生を育てることをねらいの一つとしている。講義を聴きながら自ら疑問を持ち追究する態度、演習に参加し、レジュメを切り (つくり) 発表する技能、文献を読み、課題をつくり、自ら追究すること、レポートや論文を書き上げること、新座市について学修することなど、大学で必要となる学習方法を獲得することを目指す。

学修目標

仲間とともに大学生活や地域社会について主体的に学び、その基礎的な知識や技能を身につけること、大学生活に慣れ、自らの将来設計に基づき、学修計画が立てられること、仲間と協力して課題を創造し追究しあう態度を身につけること、などがねらいである。

内容

- 第1回 グループ決め, 名簿作り, グループ活動
- 第2回 ライブキャンパスでの履修登録ガイダンス
- 第3回 教職カルテ入力に関するオリエンテーション
- 第4回 幼児教育学科新入生歓迎会 (2年、4年)
- 第5回 年時の学習目標記入後の教員面談
- 第6 ~ 13回 グループ別活動 (地域に出かけての体験学習など)
- 第14・15回 全体会

「異」なるものとして「異質性がめだってとらえられる人々との交流と相互理解」に関して、各グループが独自のテーマを設定し、それぞれの切り口から調査研究を進める活動を行う。

少子高齢化や国際化が進む今日の社会状況においては、異質性が目立つ人々といかに交流し、相互理解を深め共生関係を発展させるかが万人共通の課題となっている。

このような問題意識の基に、異質性、固有性が目立ってとらえられる人々との交流と相互理解の促進を目指した多様な実践の理念や意義、特色を調査したり、具体的な実践に参加してその効果や問題点、望ましい交流のあり方について考察したり、交流に関する指導計画を作成したりすること等を活動内容とする。

以上のような活動を通して、人種や国籍、文化、生育環境、生活の仕方や世代、年齢等の異なる人々との出会いと交流を、相互理解の契機にするばかりでなく、差異性と共に、共通性も認識できるような多面的な物の見方が実践できるようにす

る。

このような実体験の積み重ねが、教育（保育）者の専門性の一つである多様な対象とのコミュニケーション能力の育成につながることも目指している。

本学が立地する埼玉県新座市についての学習は、本授業でも扱うが、主として、「児童学演習」にて通年の活動として行うものとする。

評価

演習形式のグループ活動への参加状況(60%)、調査研究活動についてのレポート内容や発表(40%)とし、総合評価60点以上を合格とする。

調査活動は、応答的なやりとりを行いながらすすめていく。

【フィードバック】面談を中心に、個人の課題について、共に考えていく。

授業外学習

【事前予習】1時間程度。前回の学習内容を想起し、ゼミナールに備える。指定された内容について、文献を読んだり、インターネットなどを活用して調べたりする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

授業内で説明する。「地域を学ぶ」テキストは、教室で配付する予定。

科目名	入門ゼミナール		
担当教員名	長田 瑞恵		
ナンバリング	KKa001		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 入門ゼミナール		
学 年	1	ク ラ ス	AEクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

幼児教育学科の学位授与方針の3に該当する。

高校生から大学生へと円滑に移行するための必要な事項を学習する。特に、本学が立地する埼玉県新座市について (入門編) 学ぶ一つの機会とする。入学したばかりの皆さんが仲間とともに、これからどのように大学生活を送ればよいのか、少人数クラスで学びあう授業である。

科目の概要

大学生活では、大学で開講される講義や演習、実習などの科目を履修し、単位を修得することにより、社会人として必要となる知識や技能を身につける。特に本学では、「地域に貢献する」学生を育てることをねらいの一つとしている。講義を聴きながら自ら疑問を持ち追究する態度、演習に参加し、レジュメを切り (つくり) 発表する技能、文献を読み、課題をつくり、自ら追究すること、レポートや論文を書き上げること、新座市について学修することなど、大学で必要となる学習方法を獲得することを目指す。

学修目標

仲間とともに大学生活や地域社会について主体的に学び、その基礎的な知識や技能を身につけること、大学生活に慣れ、自らの将来設計に基づき、学修計画が立てられること、仲間と協力して課題を創造し追究しあう態度を身につけること、などがねらいである。

内容

- 第1回 グループ決め, 名簿作り, グループ活動
- 第2回 ライブキャンパスでの履修登録ガイダンス
- 第3回 教職カルテ入力に関するオリエンテーション
- 第4回 幼児教育学科新入生歓迎会 (2年、4年)
- 第5回 1年時の学習目標記入後の教員面談
- 第6 ~ 13回 グループ別活動 (地域に出かけての体験学習など)
- 第14・15回 全体会

「異」なるものとして「異質性がめだってとらえられる人々との交流と相互理解」に関して、各グループが独自のテーマを設定し、それぞれの切り口から調査研究を進める活動を行う。

少子高齢化や国際化が進む今日の社会状況においては、異質性が目立つ人々といかに交流し、相互理解を深め共生関係を発展させるかが万人共通の課題となっている。

このような問題意識の基に、異質性、固有性が目立ってとらえられる人々との交流と相互理解の促進を目指した多様な実践の理念や意義、特色を調査したり、具体的な実践に参加してその効果や問題点、望ましい交流のあり方について考察したり、交流に関する指導計画を作成したりすること等を活動内容とする。

以上のような活動を通して、人種や国籍、文化、生育環境、生活の仕方や世代、年齢等の異なる人々との出会いと交流を、相互理解の契機にするばかりでなく、差異性と共に、共通性も認識できるような多面的な物の見方が実践できるようにす

る。

このような実体験の積み重ねが、教育（保育）者の専門性の一つである多様な対象とのコミュニケーション能力の育成につながることも目指している。

本学が立地する埼玉県新座市についての学習は、本授業でも扱うが、主として、「児童学演習」にて通年の活動として行うものとする。

評価

演習形式のグループ活動への参加状況(60%)、調査研究活動についてのレポート内容や発表(40%)とし、総合評価60点以上を合格とする。調査活動は、応答的なやりとりを行いながらすすめていく。

【フィードバック】面談を中心に、個人の課題について、共に考えていく。

授業外学習

【事前予習】1時間程度。前回の学習内容を想起し、ゼミナールに備える。指定された内容について、文献を読んだり、インターネットなどを活用して調べたりする。

【事後学修】1時間程度。ゼミナールで学習した内容を整理し、ノートにまとめる。ゼミナールで指示された課外学修課題に取り組む。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教室で説明します。「地域を学ぶ」テキストは、教室で配付する予定です。

科目名	入門ゼミナール		
担当教員名	鈴木 晴子		
ナンバリング	KKa001		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 入門ゼミナール		
学 年	1	ク ラ ス	AFクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

幼児教育学科の学位授与方針の3に該当する。

高校生から大学生へと円滑に移行するための必要な事項を学習する。特に、本学が立地する埼玉県新座市について (入門編) 学ぶ一つの機会とする。入学したばかりの皆さんが仲間とともに、これからどのように大学生活を送ればよいのか、少人数クラスで学びあう授業である。

科目の概要

大学生活では、大学で開講される講義や演習、実習などの科目を履修し、単位を修得することにより、社会人として必要となる知識や技能を身につける。特に本学では、「地域に貢献する」学生を育てることをねらいの一つとしている。講義を聴きながら自ら疑問を持ち追究する態度、演習に参加し、レジュメを切り (つくり) 発表する技能、文献を読み、課題をつくり、自ら追究すること、レポートや論文を書き上げること、新座市について学修することなど、大学で必要となる学習方法を獲得することを目指す。

学修目標

仲間とともに大学生活や地域社会について主体的に学び、その基礎的な知識や技能を身につけること、大学生活に慣れ、自らの将来設計に基づき、学修計画が立てられること、仲間と協力して課題を創造し追究しあう態度を身につけること、などがねらいである。

内容

- 第1回 グループ決め, 名簿作り, グループ活動
- 第2回 ライブキャンパスでの履修登録ガイダンス
- 第3回 教職カルテ入力に関するオリエンテーション
- 第4回 幼児教育学科新入生歓迎会 (2年、4年)
- 第5回 1年時の学習目標記入後の教員面談
- 第6 ~ 13回 グループ別活動 (地域に出かけての体験学習など)
- 第14・15回 全体会

「異」なるものとして「異質性がめだつてとらえられる人々との交流と相互理解」に関して、各グループが独自のテーマを設定し、それぞれの切り口から調査研究を進める活動を行う。

少子高齢化や国際化が進む今日の社会状況においては、異質性が目立つ人々といかに交流し、相互理解を深め共生関係を発展させるかが万人共通の課題となっている。

このような問題意識の基に、異質性、固有性が目立ってとらえられる人々との交流と相互理解の促進を目指した多様な実践の理念や意義、特色を調査したり、具体的な実践に参加してその効果や問題点、望ましい交流のあり方について考察したり、交流に関する指導計画を作成したりすること等を活動内容とする。

以上のような活動を通して、人種や国籍、文化、生育環境、生活の仕方や世代、年齢等の異なる人々との出会いと交流を、相互理解の契機にするばかりでなく、差異性と共に、共通性も認識できるような多面的な物の見方が実践できるようにす

る。

このような実体験の積み重ねが、教育（保育）者の専門性の一つである多様な対象とのコミュニケーション能力の育成につながることも目指している。

本学が立地する埼玉県新座市についての学習は、本授業でも扱うが、主として、「児童学演習」にて通年の活動として行うものとする。

評価

演習形式のグループ活動への参加状況(60%)、調査研究活動についてのレポート内容や発表(40%)とし、総合評価60点以上を合格とする。

調査活動は、応答的なやりとりを行いながらすすめていく。

【フィードバック】面談を中心に、個人の課題について、共に考えていく。

授業外学習

【事前予習】1時間程度。前回の学習内容を想起し、ゼミナールに備える。指定された内容について、文献を読んだり、インターネットなどを活用して調べたりする。

【事後学修】1時間程度。ゼミナールで学習した内容を整理し、ノートにまとめる。ゼミナールで指示された課外学修課題に取り組む。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教室で説明します。「地域を学ぶ」テキストは、教室で配付する予定です。

科目名	入門ゼミナール		
担当教員名	山田 陽子		
ナンバリング	KKa001		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 入門ゼミナール		
学 年	1	ク ラ ス	AAクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

この科目では、高校生から大学生へと円滑に移行するための必要な勉強を行います。特に、本学が立地する埼玉県新座市について (入門編) 学ぶ一つの機会となります。入学したばかりの皆さんが仲間とともに、これからどのように大学生活を送ればよいのか、少人数クラスで学びあうこととなります。

科目の概要

大学生活では、大学で開講される講義や演習、実習などの科目を履修し、単位を修得することにより、社会人として必要となる知識や技能を身につけます。特に、本学では、「地域に貢献する」学生を育てることをねらいの一つとしています。そのためには、大学での勉強の仕方を身につけることが必要です。講義を聴きながら自ら疑問を持ち追究する態度、演習に参加し、レジュメを切り (つくり) 発表する技能、文献を読み、課題をつくり、自ら追究すること、レポートや論文を書き上げること、本学が立地する地域について学修することなど、大学で必要となる勉強の方法について各先生とともに学びます。

学修目標

仲間とともに大学生活や地域社会について主体的に学び、その基礎的な知識や技能を身につけること、大学生活に慣れ、自らの将来設計に基づき、学修計画が立てられること、仲間と協力して課題を創造し追究しあう態度を身につけること、などがねらいです。

内容

- 第1回 グループ決め, 名簿作り, グループ活動
- 第2回 ライブキャンパスでの履修登録ガイダンス
- 第3回 教職カルテ入力に関するオリエンテーション
- 第4回 幼児教育学科新入生歓迎会 (2年、4年)
- 第5回 年時の学習目標記入後の教員面談
- 第6 ~ 13回 グループ別活動 (地域に出かけての体験学習など)
- 第14・15回 全体会

「異」なるものとして「異質性がめだってとらえられる人々との交流と相互理解」に関して、各グループが独自のテーマを設定し、それぞれの切り口から調査研究を進める活動を行う。

少子高齢化や国際化が進む今日の社会状況においては、異質性が目立つ人々といかに交流し、相互理解を深め共生関係を発展させるかが万人共通の課題となっている。

このような問題意識の基に、異質性、固有性が目立ってとらえられる人々との交流と相互理解の促進を目指した多様な実践の理念や意義、特色を調査したり、具体的な実践に参加してその効果や問題点、望ましい交流のあり方について考察したり、交流に関する指導計画を作成したりすること等を活動内容とする。

以上のような活動を通して、人種や国籍、文化、生育環境、生活の仕方や世代、年齢等の異なる人々との出会いと交流を、相互理解の契機にするばかりでなく、差異性と共に、共通性も認識できるような多面的な物の見方が実践できるようにす

る。

このような実体験の積み重ねが、教育（保育）者の専門性の一つである多様な対象とのコミュニケーション能力の育成につながることも目指している。

本学が立地する埼玉県新座市についての学習は、本授業でも扱うが、主として、「児童学演習」にて通年の活動として行うものとする。

評価

演習形式のグループ活動への参加状況(60%)、調査研究活動についてのレポート内容や発表(40%)とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】前回の学習内容を想起し、ゼミナールに備える。指定された内容について、文献を読んだり、インターネットなどを活用して調べたりする。

【事後学修】ゼミナールで学習した内容を整理し、ノートにまとめる。ゼミナールで指示された課外学修課題に取り組む。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教室で説明します。「地域を学ぶ」テキストは、教室で配付する予定です。

科目名	入門ゼミナール		
担当教員名	潮谷 恵美		
ナンバリング	KKa001		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 入門ゼミナール		
学 年	1	ク ラ ス	AGクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

幼児教育学科の学位授与方針の3に該当する。

高校生から大学生へと円滑に移行するための必要な事項を学習する。特に、本学が立地する埼玉県新座市について (入門編) 学ぶ一つの機会とする。入学したばかりの皆さんが仲間とともに、これからどのように大学生活を送ればよいのか、少人数クラスで学びあう授業である。

科目の概要

大学生活では、大学で開講される講義や演習、実習などの科目を履修し、単位を修得することにより、社会人として必要となる知識や技能を身につける。特に本学では、「地域に貢献する」学生を育てることをねらいの一つとしている。講義を聴きながら自ら疑問を持ち追究する態度、演習に参加し、レジュメを切り (つくり) 発表する技能、文献を読み、課題をつくり、自ら追究すること、レポートや論文を書き上げること、新座市について学修することなど、大学で必要となる学習方法を獲得することを目指す。

学修目標

仲間とともに大学生活や地域社会について主体的に学び、その基礎的な知識や技能を身につけること、大学生活に慣れ、自らの将来設計に基づき、学修計画が立てられること、仲間と協力して課題を創造し追究しあう態度を身につけること、などがねらいである。

内容

- 第1回 グループ決め, 名簿作り, グループ活動
- 第2回 ライブキャンパスでの履修登録ガイダンス
- 第3回 教職カルテ入力に関するオリエンテーション
- 第4回 幼児教育学科新入生歓迎会 (2年、4年)
- 第5回 1年時の学習目標記入後の教員面談
- 第6 ~ 13回 グループ別活動 (地域に出かけての体験学習など)
- 第14・15回 全体会

「異」なるものとして「異質性がめだってとらえられる人々との交流と相互理解」に関して、各グループが独自のテーマを設定し、それぞれの切り口から調査研究を進める活動を行う。

少子高齢化や国際化が進む今日の社会状況においては、異質性が目立つ人々といかに交流し、相互理解を深め共生関係を発展させるかが万人共通の課題となっている。

このような問題意識の基に、異質性、固有性が目立ってとらえられる人々との交流と相互理解の促進を目指した多様な実践の理念や意義、特色を調査したり、具体的な実践に参加してその効果や問題点、望ましい交流のあり方について考察したり、交流に関する指導計画を作成したりすること等を活動内容とする。

以上のような活動を通して、人種や国籍、文化、生育環境、生活の仕方や世代、年齢等の異なる人々との出会いと交流を、相互理解の契機にするばかりでなく、差異性と共に、共通性も認識できるような多面的な物の見方が実践できるようにす

る。

このような実体験の積み重ねが、教育（保育）者の専門性の一つである多様な対象とのコミュニケーション能力の育成につながることも目指している。

本学が立地する埼玉県新座市についての学習は、本授業でも扱うが、主として、「児童学演習」にて通年の活動として行うものとする。

評価

演習形式のグループ活動への参加状況(60%)、調査研究活動についてのレポート内容や発表(40%)とし、総合評価60点以上を合格とする。

調査活動は、応答的なやりとりを行いながらすすめていく。

【フィードバック】面談を中心に、個人の課題について、共に考えていく。

授業外学習

【事前予習】1時間程度。前回の学習内容を想起し、ゼミナールに備える。指定された内容について、文献を読んだり、インターネットなどを活用して調べたりする。

【事後学修】1時間程度。ゼミナールで学習した内容を整理し、ノートにまとめる。ゼミナールで指示された課外学修課題に取り組む。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教室で説明します。「地域を学ぶ」テキストは、教室で配付する予定。

科目名	入門ゼミナール		
担当教員名	鈴木 康弘		
ナンバリング	KKa001		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 入門ゼミナール		
学 年	1	ク ラ ス	AHクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

幼児教育学科の学位授与方針の3に該当する。

高校生から大学生へと円滑に移行するための必要な事項を学習する。特に、本学が立地する埼玉県新座市について (入門編) 学ぶ一つの機会とする。入学したばかりの皆さんが仲間とともに、これからどのように大学生活を送ればよいのか、少人数クラスで学びあう授業である。

科目の概要

大学生活では、大学で開講される講義や演習、実習などの科目を履修し、単位を修得することにより、社会人として必要となる知識や技能を身につける。特に本学では、「地域に貢献する」学生を育てることをねらいの一つとしている。講義を聴きながら自ら疑問を持ち追究する態度、演習に参加し、レジュメを切り (つくり) 発表する技能、文献を読み、課題をつくり、自ら追究すること、レポートや論文を書き上げること、新座市について学修することなど、大学で必要となる学習方法を獲得することを目指す。

学修目標

仲間とともに大学生活や地域社会について主体的に学び、その基礎的な知識や技能を身につけること、大学生活に慣れ、自らの将来設計に基づき、学修計画が立てられること、仲間と協力して課題を創造し追究しあう態度を身につけること、などがねらいである。

内容

- 第1回 グループ決め, 名簿作り, グループ活動
- 第2回 ライブキャンパスでの履修登録ガイダンス
- 第3回 教職カルテ入力に関するオリエンテーション
- 第4回 幼児教育学科新入生歓迎会 (2年、4年)
- 第5回 1年時の学習目標記入後の教員面談
- 第6 ~ 13回 グループ別活動 (地域に出かけての体験学習など)
- 第14・15回 全体会

「異」なるものとして「異質性がめだってとらえられる人々との交流と相互理解」に関して、各グループが独自のテーマを設定し、それぞれの切り口から調査研究を進める活動を行う。

少子高齢化や国際化が進む今日の社会状況においては、異質性が目立つ人々といかに交流し、相互理解を深め共生関係を発展させるかが万人共通の課題となっている。

このような問題意識の基に、異質性、固有性が目立ってとらえられる人々との交流と相互理解の促進を目指した多様な実践の理念や意義、特色を調査したり、具体的な実践に参加してその効果や問題点、望ましい交流のあり方について考察したり、交流に関する指導計画を作成したりすること等を活動内容とする。

以上のような活動を通して、人種や国籍、文化、生育環境、生活の仕方や世代、年齢等の異なる人々との出会いと交流を、相互理解の契機にするばかりでなく、差異性と共に、共通性も認識できるような多面的な物の見方が実践できるようにする

。

このような実体験の積み重ねが、教育（保育）者の専門性の一つである多様な対象とのコミュニケーション能力の育成につながることも目指している。

本学が立地する埼玉県新座市についての学習は、本授業でも扱うが、主として、「児童学演習」にて通年の活動として行うものとする。

評価

演習形式のグループ活動への参加状況(60%)、調査研究活動についてのレポート内容や発表(40%)とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】1時間程度。前回の学習内容を想起し、ゼミナールに備える。指定された内容について、文献を読んだり、インターネットなどを活用して調べたりする。

【事後学修】1時間程度。ゼミナールで学習した内容を整理し、ノートにまとめる。ゼミナールで指示された課外学修課題に取り組む。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教室で説明する。「地域を学ぶ」テキストは、教室で配付する予定。

科目名	入門ゼミナール		
担当教員名	宮野 周		
ナンバリング	KKa001		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 入門ゼミナール		
学 年	1	ク ラ ス	AJクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

幼児教育学科の学位授与方針の3に該当する。

高校生から大学生へと円滑に移行するための必要な事項を学習する。特に、本学が立地する埼玉県新座市について (入門編) 学ぶ一つの機会とする。入学したばかりの皆さんが仲間とともに、これからどのように大学生活を送ればよいのか、少人数クラスで学びあう授業である。

科目の概要

大学生活では、大学で開講される講義や演習、実習などの科目を履修し、単位を修得することにより、社会人として必要となる知識や技能を身につける。特に本学では、「地域に貢献する」学生を育てることをねらいの一つとしている。講義を聴きながら自ら疑問を持ち追究する態度、演習に参加し、レジュメを切り (つくり) 発表する技能、文献を読み、課題をつくり、自ら追究すること、レポートや論文を書き上げること、新座市について学修することなど、大学で必要となる学習方法を獲得することを目指す。

学修目標

仲間とともに大学生活や地域社会について主体的に学び、その基礎的な知識や技能を身につけること、大学生活に慣れ、自らの将来設計に基づき、学修計画が立てられること、仲間と協力して課題を創造し追究しあう態度を身につけること、などがねらいである。

内容

- 第1回 グループ決め, 名簿作り, グループ活動
- 第2回 ライブキャンパスでの履修登録ガイダンス
- 第3回 教職カルテ入力に関するオリエンテーション
- 第4回 幼児教育学科新入生歓迎会 (2年、4年)
- 第5回 1年時の学習目標記入後の教員面談
- 第6 ~ 13回 グループ別活動 (地域に出かけての体験学習など)
- 第14・15回 全体会

「異」なるものとして「異質性がめだってとらえられる人々との交流と相互理解」に関して、各グループが独自のテーマを設定し、それぞれの切り口から調査研究を進める活動を行う。

少子高齢化や国際化が進む今日の社会状況においては、異質性が目立つ人々といかに交流し、相互理解を深め共生関係を発展させるかが万人共通の課題となっている。

このような問題意識の基に、異質性、固有性が目立ってとらえられる人々との交流と相互理解の促進を目指した多様な実践の理念や意義、特色を調査したり、具体的な実践に参加してその効果や問題点、望ましい交流のあり方について考察したり、交流に関する指導計画を作成したりすること等を活動内容とする。

以上のような活動を通して、人種や国籍、文化、生育環境、生活の仕方や世代、年齢等の異なる人々との出会いと交流を、相互理解の契機にするばかりでなく、差異性と共に、共通性も認識できるような多面的な物の見方が実践できるようにす

る。

このような実体験の積み重ねが、教育（保育）者の専門性の一つである多様な対象とのコミュニケーション能力の育成につながることも目指している。

本学が立地する埼玉県新座市についての学習は、本授業でも扱うが、主として、「児童学演習」にて通年の活動として行うものとする。

評価

演習形式のグループ活動への参加状況(60%)、調査研究活動についてのレポート内容や発表(40%)とし、総合評価60点以上を合格とする。

調査活動は、応答的なやりとりを行いながらすすめていく。

【フィードバック】面談を中心に、個人の課題について、共に考えていく。

授業外学習

【事前予習】1時間程度。前回の学習内容を想起し、ゼミナールに備える。指定された内容について、文献を読んだり、インターネットなどを活用して調べたりする。

【事後学修】1時間程度。ゼミナールで学習した内容を整理し、ノートにまとめる。ゼミナールで指示された課外学修課題に取り組む。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教室で説明します。「地域を学ぶ」テキストは、教室で配付する予定。

科目名	入門ゼミナール		
担当教員名	薮崎 伸一郎		
ナンバリング	KKa001		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 入門ゼミナール		
学 年	1	ク ラ ス	AKクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

幼児教育学科の学位授与方針3に該当する。

高校生から大学生へと円滑に移行するための必要な事項を学習する。特に、本学が立地する埼玉県新座市について (入門編) 学ぶ一つの機会とする。入学したばかりの皆さんが仲間とともに、これからどのように大学生活を送ればよいのか、少人数クラスで学びあう授業である。

科目の概要

大学生活では、大学で開講される講義や演習、実習などの科目を履修し、単位を修得することにより、社会人として必要となる知識や技能を身につける。特に本学では、「地域に貢献する」学生を育てることをねらいの一つとしている。講義を聴きながら自ら疑問を持ち追究する態度、演習に参加し、レジュメを切り (つくり) 発表する技能、文献を読み、課題をつくり、自ら追究すること、レポートや論文を書き上げること、新座市について学修することなど、大学で必要となる学習方法を獲得することを目指す。

学修目標

仲間とともに大学生活や地域社会について主体的に学び、その基礎的な知識や技能を身につけること、大学生活に慣れ、自らの将来設計に基づき、学修計画が立てられること、仲間と協力して課題を創造し追究しあう態度を身につけること、などがねらいである。

内容

- 第1回 グループ決め, 名簿作り, グループ活動
- 第2回 ライブキャンパスでの履修登録ガイダンス
- 第3回 教職カルテ入力に関するオリエンテーション
- 第4回 幼児教育学科新入生歓迎会 (2年、4年)
- 第5回 年時の学習目標記入後の教員面談
- 第6 ~ 13回 グループ別活動 (地域に出かけての体験学習など)
- 第14・15回 全体会

「異」なるものとして「異質性がめだってとらえられる人々との交流と相互理解」に関して、各グループが独自のテーマを設定し、それぞれの切り口から調査研究を進める活動を行う。

少子高齢化や国際化が進む今日の社会状況においては、異質性が目立つ人々といかに交流し、相互理解を深め共生関係を発展させるかが万人共通の課題となっている。

このような問題意識の基に、異質性、固有性が目立ってとらえられる人々との交流と相互理解の促進を目指した多様な実践の理念や意義、特色を調査したり、具体的な実践に参加してその効果や問題点、望ましい交流のあり方について考察したり、交流に関する指導計画を作成したりすること等を活動内容とする。

以上のような活動を通して、人種や国籍、文化、生育環境、生活の仕方や世代、年齢等の異なる人々との出会いと交流を、相互理解の契機にするばかりでなく、差異性と共に、共通性も認識できるような多面的な物の見方が実践できるようにす

る。

このような実体験の積み重ねが、教育（保育）者の専門性の一つである多様な対象とのコミュニケーション能力の育成につながることも目指している。

本学が立地する埼玉県新座市についての学習は、本授業でも扱うが、主として、「児童学演習」にて通年の活動として行うものとする。

評価

演習形式のグループ活動への参加状況(60%)、調査研究活動についてのレポート内容や発表(40%)とし、総合評価60点以上を合格とする。

調査活動は、応答的なやりとりを行いながらすすめていく。

【フィードバック】面談を中心に、個人の課題について、共に考えていく。

授業外学習

【事前予習】1時間程度。前回の学習内容を想起し、ゼミナールに備える。指定された内容について、文献を読んだり、インターネットなどを活用して調べたりする。

【事後学修】1時間程度。ゼミナールで学習した内容を整理し、ノートにまとめる。ゼミナールで指示された課外学修課題に取り組む。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教室で説明します。「地域を学ぶ」テキストは、教室で配付する予定。

科目名	入門ゼミナール		
担当教員名	権 明愛		
ナンバリング	KKa001		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 入門ゼミナール		
学 年	1	ク ラ ス	ALクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

幼児教育学科の学位授与方針の3に該当する。

高校生から大学生へと円滑に移行するための必要な事項を学習する。特に、本学が立地する埼玉県新座市について (入門編) 学ぶ一つの機会とする。入学したばかりの皆さんが仲間とともに、これからどのように大学生活を送ればよいのか、少人数クラスで学びあう授業である。

科目の概要

大学生活では、大学で開講される講義や演習、実習などの科目を履修し、単位を修得することにより、社会人として必要となる知識や技能を身につける。特に本学では、「地域に貢献する」学生を育てることをねらいの一つとしている。講義を聴きながら自ら疑問を持ち追究する態度、演習に参加し、レジュメを切り (つくり) 発表する技能、文献を読み、課題をつくり、自ら追究すること、レポートや論文を書き上げること、新座市について学修することなど、大学で必要となる学習方法を獲得することを目指す。

学修目標

仲間とともに大学生活や地域社会について主体的に学び、その基礎的な知識や技能を身につけること、大学生活に慣れ、自らの将来設計に基づき、学修計画が立てられること、仲間と協力して課題を創造し追究しあう態度を身につけること、などがねらいである。

内容

- 第1回 グループ決め, 名簿作り, グループ活動
- 第2回 ライブキャンパスでの履修登録ガイダンス
- 第3回 教職カルテ入力に関するオリエンテーション
- 第4回 幼児教育学科新入生歓迎会 (2年、4年)
- 第5回 1年時の学習目標記入後の教員面談
- 第6 ~ 13回 グループ別活動 (地域に出かけての体験学習など)
- 第14・15回 全体会

「異」なるものとして「異質性がめだってとらえられる人々との交流と相互理解」に関して、各グループが独自のテーマを設定し、それぞれの切り口から調査研究を進める活動を行う。

少子高齢化や国際化が進む今日の社会状況においては、異質性が目立つ人々といかに交流し、相互理解を深め共生関係を発展させるかが万人共通の課題となっている。

このような問題意識の基に、異質性、固有性が目立ってとらえられる人々との交流と相互理解の促進を目指した多様な実践の理念や意義、特色を調査したり、具体的な実践に参加してその効果や問題点、望ましい交流のあり方について考察したり、交流に関する指導計画を作成したりすること等を活動内容とする。

以上のような活動を通して、人種や国籍、文化、生育環境、生活の仕方や世代、年齢等の異なる人々との出会いと交流を、相互理解の契機にするばかりでなく、差異性と共に、共通性も認識できるような多面的な物の見方が実践できるようにす

る。

このような実体験の積み重ねが、教育（保育）者の専門性の一つである多様な対象とのコミュニケーション能力の育成につながることも目指している。

本学が立地する埼玉県新座市についての学習は、本授業でも扱うが、主として、「児童学演習」にて通年の活動として行うものとする。

評価

演習形式のグループ活動への参加状況(60%)、調査研究活動についてのレポート内容や発表(40%)とし、総合評価60点以上を合格とする。

調査活動は、応答的なやりとりを行いながらすすめていく。

【フィードバック】面談を中心に、個人の課題について、共に考えていく。

授業外学習

【事前予習】1時間程度。前回の学習内容を想起し、ゼミナールに備える。指定された内容について、文献を読んだり、インターネットなどを活用して調べたりする。

【事後学修】1時間程度。ゼミナールで学習した内容を整理し、ノートにまとめる。ゼミナールで指示された課外学修課題に取り組む。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教室で説明します。「地域を学ぶ」テキストは、教室で配付する予定です。

科目名	入門ゼミナール		
担当教員名	川喜田 昌代		
ナンバリング	KKa001		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 入門ゼミナール		
学 年	1	ク ラ ス	AMクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

幼児教育学科の学位授与方針の3に該当する。

高校生から大学生へと円滑に移行するための必要な事項を学習する。特に、本学が立地する埼玉県新座市について (入門編) 学ぶ一つの機会とする。入学したばかりの皆さんが仲間とともに、これからどのように大学生生活を送ればよいのか、少人数クラスで学びあう授業である。

科目の概要

大学生活では、大学で開講される講義や演習、実習などの科目を履修し、単位を修得することにより、社会人として必要となる知識や技能を身につける。特に本学では、「地域に貢献する」学生を育てることをねらいの一つとしている。講義を聴きながら自ら疑問を持ち追究する態度、演習に参加し、レジュメを切り (つくり) 発表する技能、文献を読み、課題をつくり、自ら追究すること、レポートや論文を書き上げること、新座市について学修することなど、大学で必要となる学習方法を獲得することを目指す。

学修目標

仲間とともに大学生活や地域社会について主体的に学び、その基礎的な知識や技能を身につけること、大学生活に慣れ、自らの将来設計に基づき、学修計画が立てられること、仲間と協力して課題を創造し追究しあう態度を身につけること、などがねらいである。

内容

- 第1回 グループ決め, 名簿作り, グループ活動
- 第2回 ライブキャンパスでの履修登録ガイダンス
- 第3回 教職カルテ入力に関するオリエンテーション
- 第4回 幼児教育学科新入生歓迎会 (2年、4年)
- 第5回 1年時の学習目標記入後の教員面談
- 第6 ~ 13回 グループ別活動 (地域に出かけての体験学習など)
- 第14・15回 全体会

「異」なるものとして「異質性がめだってとらえられる人々との交流と相互理解」に関して、各グループが独自のテーマを設定し、それぞれの切り口から調査研究を進める活動を行う。

少子高齢化や国際化が進む今日の社会状況においては、異質性が目立つ人々といかに交流し、相互理解を深め共生関係を発展させるかが万人共通の課題となっている。

このような問題意識の基に、異質性、固有性が目立ってとらえられる人々との交流と相互理解の促進を目指した多様な実践の理念や意義、特色を調査したり、具体的な実践に参加してその効果や問題点、望ましい交流のあり方について考察したり、交流に関する指導計画を作成したりすること等を活動内容とする。

以上のような活動を通して、人種や国籍、文化、生育環境、生活の仕方や世代、年齢等の異なる人々との出会いと交流を、相互理解の契機にするばかりでなく、差異性と共に、共通性も認識できるような多面的な物の見方が実践できるようにす

る。

このような実体験の積み重ねが、教育（保育）者の専門性の一つである多様な対象とのコミュニケーション能力の育成につながることも目指している。

本学が立地する埼玉県新座市についての学習は、本授業でも扱うが、主として、「児童学演習」にて通年の活動として行うものとする。

評価

演習形式のグループ活動への参加状況(60%)、調査研究活動についてのレポート内容や発表(40%)とし、総合評価60点以上を合格とする。

調査活動は、応答的なやりとりを行いながらすすめていく。

【フィードバック】面談を中心に、個人の課題について、共に考えていく。

授業外学習

【事前予習】前回の学習内容を想起し、ゼミナールに備える。指定された内容について、文献を読んだり、インターネットなどを活用して調べたりする。

【事後学修】ゼミナールで学習した内容を整理し、ノートにまとめる。ゼミナールで指示された課外学修課題に取り組む。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教室で説明します。「地域を学ぶ」テキストは、教室で配付する予定です。

科目名	入門ゼミナール		
担当教員名	加藤 則子		
ナンバリング	KKa001		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 入門ゼミナール		
学 年	1	ク ラ ス	APクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

幼児教育学科の学位授与方針の3に該当する。

高校生から大学生へと円滑に移行するための必要な事項を学習する。特に、本学が立地する埼玉県新座市について (入門編) 学ぶ一つの機会とする。入学したばかりの皆さんが仲間とともに、これからどのように大学生生活を送ればよいのか、少人数クラスで学びあう授業である。

科目の概要

大学生活では、大学で開講される講義や演習、実習などの科目を履修し、単位を修得することにより、社会人として必要となる知識や技能を身につける。特に本学では、「地域に貢献する」学生を育てることをねらいの一つとしている。講義を聴きながら自ら疑問を持ち追究する態度、演習に参加し、レジュメを切り (つくり) 発表する技能、文献を読み、課題をつくり、自ら追究すること、レポートや論文を書き上げること、新座市について学修することなど、大学で必要となる学習方法を獲得することを目指す。

学修目標

仲間とともに大学生活や地域社会について主体的に学び、その基礎的な知識や技能を身につけること、大学生活に慣れ、自らの将来設計に基づき、学修計画が立てられること、仲間と協力して課題を創造し追究しあう態度を身につけること、などがねらいである。

内容

- 第1回 グループ決め, 名簿作り, グループ活動
- 第2回 ライブキャンパスでの履修登録ガイダンス
- 第3回 教職カルテ入力に関するオリエンテーション
- 第4回 幼児教育学科新入生歓迎会 (2年、4年)
- 第5回 1年時の学習目標記入後の教員面談
- 第6 ~ 13回 グループ別活動 (地域に出かけての体験学習など)
- 第14・15回 全体会

「異」なるものとして「異質性がめだってとらえられる人々との交流と相互理解」に関して、各グループが独自のテーマを設定し、それぞれの切り口から調査研究を進める活動を行う。

少子高齢化や国際化が進む今日の社会状況においては、異質性が目立つ人々といかに交流し、相互理解を深め共生関係を発展させるかが万人共通の課題となっている。

このような問題意識の基に、異質性、固有性が目立ってとらえられる人々との交流と相互理解の促進を目指した多様な実践の理念や意義、特色を調査したり、具体的な実践に参加してその効果や問題点、望ましい交流のあり方について考察したり、交流に関する指導計画を作成したりすること等を活動内容とする。

以上のような活動を通して、人種や国籍、文化、生育環境、生活の仕方や世代、年齢等の異なる人々との出会いと交流を、相互理解の契機にするばかりでなく、差異性と共に、共通性も認識できるような多面的な物の見方が実践できるようにす

る。

このような実体験の積み重ねが、教育（保育）者の専門性の一つである多様な対象とのコミュニケーション能力の育成につながることも目指している。

本学が立地する埼玉県新座市についての学習は、本授業でも扱うが、主として、「児童学演習」にて通年の活動として行うものとする。

評価

演習形式のグループ活動への参加状況(60%)、調査研究活動についてのレポート内容や発表(40%)とし、総合評価60点以上を合格とする。

調査活動は、応答的なやりとりを行いながらすすめていく。

【フィードバック】面談を中心に、個人の課題について、共に考えていく。

授業外学習

【事前予習】前回の学習内容を想起し、ゼミナールに備える。指定された内容について、文献を読んだり、インターネットなどを活用して調べたりする。

【事後学修】ゼミナールで学習した内容を整理し、ノートにまとめる。ゼミナールで指示された課外学修課題に取り組む。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教室で説明します。「地域を学ぶ」テキストは、教室で配付する予定です。

科目名	入門ゼミナール		
担当教員名	池川 繁樹、長尾 昭彦、木村 靖子、飯田 路佳 他		
ナンバリング	KKa001		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 入門ゼミナール		
学 年	1	ク ラ ス	EAクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

健康栄養学科の学位授与方針 1, 2, 3 に該当する。

大学の学生として必要な勉強を各学科の教員と共に学ぶために設定されました。特に、本学が立地する埼玉県新座市について(入門編)学ぶ一つの機会となります。

科目の概要

大学生活では、大学で開講される講義や演習、実習などの科目を履修し、単位を修得することにより、社会人として必要となる知識や技能を身につけます。

特に、本学では、「地域に貢献する」学生を育てることをねらいの一つとしています。そのためには、大学での勉強の仕方を身につけることが必要です。講義を聞きながら自ら疑問を持ち追求する態度を身につけ、大学で必要となる勉強の方法について学修します。また、本学が立地する地域についても深く学びます。

学修目標(=到達目標)

1. 自らの将来設計に基づき、学修計画を立てられること。
2. 自ら課題を設定し、解決する能力を身につける。
3. コミュニケーション能力を高める。

内容

1	大学における学び
2	学生生活における心構えとマナー
3	4年間のカリキュラムと履修について
4	資格について
5	実験実習における心構え
6	ノートの取りかた、レポートの書き方
7	社会人基礎力(PROGの実施)
8	大学施設の活用法
9	仲間とコミュニケーションを図る
10	大学のある新座を知る
11	SPI試験の実施
12	社会人基礎力(PROGの評価と解説)
13	地域と栄養士 その1
14	地域と栄養士 その2
15	まとめ

評価

課題に対するレポート(50点)、平常点(50点)などを総合し、60点以上を合格とします。

授業外学習

【事前準備】配布資料やシラバス等を十分に読んで授業に臨む。

【事後学修】学修した内容をノートやレポートに整理する。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】授業の中で指示する。「地域で学ぶ」テキストは、教室で配布する予定です。

【推薦書】授業で紹介する。

【参考図書】授業で紹介する。

科目名	入門ゼミナール		
担当教員名	富井 友子		
ナンバリング	KKa001		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 入門ゼミナール		
学 年	1	ク ラ ス	DDクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格：人間福祉学科の学位授与方針 1 及び 3 に該当し、自分が体験したことをわかりやすく意味づけ、表現すること、お互いに自身の考えや集団の考えを高め発展させることと関連する。

科目の概要：大学では自らが学び、求めるという自律的、自発的な学習が不可欠である。本授業では、大学における学習活動におけるスタディースキルズ及び学生生活に関する基本事項について学ぶ。少人数で担当教員とのコミュニケーションが密であることも本授業の特徴である。

講義・演習（ディスカッション、グループワーク等）を通じて行う。なお、テーマによって1年生クラス合同の授業を行うこともある。

学修目標（=到達目標）：1）4年間の学習の目標とそのプロセスがわかる。

2）4年間にわたるスタディースキルズを習得する。

3）福祉の学びをふまえて地域に対する理解を深める。

内容

1. 学生としてのライフスタイルの確立及び学習の目標を獲得

大学、学部、学科、コースを理解する。

大学組織の活用法を理解する。

自分の個性・特徴を理解する。

自己確立へ向けて目標を立てる。

学習・生活の計画を立てる。

2. 情報の収集、整理、理解

ノートテイキング、文書読解練習、大学図書館の利用方法、インターネットの活用などについて学ぶ。

3. 情報の検討、分析、発信

意見（主張）の出し合いと練り上げ、討論・議論の練習、レポートの作成その発表等を行う。

4. グループワーク

共同での問題解決と体験学習を踏まえ、福祉を学ぶ者としての自覚と他者理解を深めるとともに、各自の目的意識を明確化する。

5. 地域貢献の方法を学ぶ

新座市の福祉の現状や受講生の居住地の福祉の現状について学び、ボランティア等地域への活動に取り組めるようにする。

評価

授業への取り組み（40点）、小レポート（30点）、期末課題（30点）とし、総合評価60点以上を合格とする。

【フィードバック】毎授業の発表や小レポートに対してコメントし、学習理解を深められるようにする。

授業外学習

【事前準備】 事前に示された課題について準備する。

【事後学習】 課題の自己学習と提出により、学習内容を振り返り、身につける。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】 川村匡由・川村岳人「改訂 福祉系学生のためのレポート&卒論の書き方」中央法規

【推薦書】 学習技術研究会編「知へのステップ」くろしお出版

田中共子編「よくわかる学びの技法」ミネルヴァ書房

【参考図書】 「地域で学ぶ」テキストは、授業中配布予定

科目名	入門ゼミナール		
担当教員名	名達 英詔		
ナンバリング	KKa001		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 入門ゼミナール		
学 年	1	ク ラ ス	ANクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

幼児教育学科の学位授与方針の3に該当する。

高校生から大学生へと円滑に移行するための必要な事項を学習する。特に、本学が立地する埼玉県新座市について (入門編) 学ぶ一つの機会とする。入学したばかりの皆さんが仲間とともに、これからどのように大学生活を送ればよいのか、少人数クラスで学びあう授業である。

科目の概要

大学生活では、大学で開講される講義や演習、実習などの科目を履修し、単位を修得することにより、社会人として必要となる知識や技能を身につける。特に本学では、「地域に貢献する」学生を育てることをねらいの一つとしている。講義を聴きながら自ら疑問を持ち追究する態度、演習に参加し、レジュメを切り (つくり) 発表する技能、文献を読み、課題をつくり、自ら追究すること、レポートや論文を書き上げること、新座市について学修することなど、大学で必要となる学習方法を獲得することを目指す。

学修目標

仲間とともに大学生活や地域社会について主体的に学び、その基礎的な知識や技能を身につけること、大学生活に慣れ、自らの将来設計に基づき、学修計画を立てられること、仲間と協力して課題を創造し追究しあう態度を身につけること、などがねらいである。

内容

- 第1回 グループ決め, 名簿作り, グループ活動
- 第2回 ライブキャンパスでの履修登録ガイダンス
- 第3回 教職カルテ入力に関するオリエンテーション
- 第4回 幼児教育学科新入生歓迎会 (2年、4年)
- 第5回 1年時の学習目標記入後の教員面談
- 第6 ~ 13回 グループ別活動 (地域に出かけての体験学習など)
- 第14・15回 全体会

「異」なるものとして「異質性がめだってとらえられる人々との交流と相互理解」に関して、各グループが独自のテーマを設定し、それぞれの切り口から調査研究を進める活動を行う。

少子高齢化や国際化が進む今日の社会状況においては、異質性が目立つ人々といかに交流し、相互理解を深め共生関係を発展させるかが万人共通の課題となっている。

このような問題意識の基に、異質性、固有性が目立ってとらえられる人々との交流と相互理解の促進を目指した多様な実践の理念や意義、特色を調査したり、具体的な実践に参加してその効果や問題点、望ましい交流のあり方について考察したり、交流に関する指導計画を作成したりすること等を活動内容とする。

以上のような活動を通して、人種や国籍、文化、生育環境、生活の仕方や世代、年齢等の異なる人々との出会いと交流を、相互理解の契機にするばかりでなく、差異性と共に、共通性も認識できるような多面的な物の見方が実践できるようにす

る。

このような実体験の積み重ねが、教育（保育）者の専門性の一つである多様な対象とのコミュニケーション能力の育成につながることも目指している。

本学が立地する埼玉県新座市についての学習は、本授業でも扱うが、主として、「児童学演習」にて通年の活動として行うものとする。

評価

演習形式のグループ活動への参加状況(60%)、調査研究活動についてのレポート内容や発表(40%)とし、総合評価60点以上を合格とする。調査活動は、応答的なやりとりを行いながらすすめていく。【フィードバック】面談を中心に、個人の課題について、共に考えていく。

授業外学習

【事前予習】1時間程度。前回の学習内容を想起し、ゼミナールに備える。指定された内容について、文献を読んだり、インターネットなどを活用して調べたりする。

【事後学修】1時間程度。ゼミナールで学習した内容を整理し、ノートにまとめる。ゼミナールで指示された課外学修課題に取り組む。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教室で説明します。「地域を学ぶ」テキストは、教室で配付する予定。

科目名	入門ゼミナール		
担当教員名	桶田 ゆかり		
ナンバリング	KKa001		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 入門ゼミナール		
学 年	1	ク ラ ス	AQクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

この科目では、高校生から大学生へと円滑に移行するための必要な勉強を行います。特に、本学が立地する埼玉県新座市について(入門編)学ぶ一つの機会となります。入学したばかりの皆さんが仲間とともに、これからどのように大学生活を送ればよいのか、少人数クラスで学びあうこととなります。

科目の概要

大学生活では、大学で開講される講義や演習、実習などの科目を履修し、単位を修得することにより、社会人として必要となる知識や技能を身につけます。特に、本学では、「地域に貢献する」学生を育てることをねらいの一つとしています。そのためには、大学での勉強の仕方を身につけることが必要です。講義を聴きながら自ら疑問を持ち追究する態度、演習に参加し、レジュメを切り(つくり)発表する技能、文献を読み、課題をつくり、自ら追究すること、レポートや論文を書き上げること、本学が立地する地域について学修することなど、大学で必要となる勉強の方法について各先生とともに学びます。

学修目標

仲間とともに大学生活や地域社会について主体的に学び、その基礎的な知識や技能を身につけること、大学生活に慣れ、自らの将来設計に基づき、学修計画が立てられること、仲間と協力して課題を創造し追究しあう態度を身につけること、などがねらいです。

内容

- 第1回 グループ決め, 名簿作り, グループ活動
- 第2回 ライブキャンパスでの履修登録ガイダンス
- 第3回 教職カルテ入力に関するオリエンテーション
- 第4回 幼児教育学科新入生歓迎会(2年、4年)
- 第5回 年時の学習目標記入後の教員面談
- 第6~13回 グループ別活動(地域に出かけての体験学習など)
- 第14・15回 全体会

「異」なるものとして「異質性がめだってとらえられる人々との交流と相互理解」に関して、各グループが独自のテーマを設定し、それぞれの切り口から調査研究を進める活動を行う。

少子高齢化や国際化が進む今日の社会状況においては、異質性が目立つ人々といかに交流し、相互理解を深め共生関係を発展させるかが万人共通の課題となっている。

このような問題意識の基に、異質性、固有性が目立ってとらえられる人々との交流と相互理解の促進を目指した多様な実践の理念や意義、特色を調査したり、具体的な実践に参加してその効果や問題点、望ましい交流のあり方について考察したり、交流に関する指導計画を作成したりすること等を活動内容とする。

以上のような活動を通して、人種や国籍、文化、生育環境、生活の仕方や世代、年齢等の異なる人々との出会いと交流を、相互理解の契機にするばかりでなく、差異性と共に、共通性も認識できるような多面的な物の見方が実践できるようにす

る。

このような実体験の積み重ねが、教育（保育）者の専門性の一つである多様な対象とのコミュニケーション能力の育成につながることも目指している。

本学が立地する埼玉県新座市についての学習は、本授業でも扱うが、主として、「児童学演習」にて通年の活動として行うものとする。

評価

演習形式のグループ活動への参加状況(60%)、調査研究活動についてのレポート内容や発表(40%)とし、総合評価60点以上を合格とする。

調査活動は、応答的なやりとりを行いながらすすめていく。

授業外学習

【事前予習】1時間程度。前回の学習内容を想起し、ゼミナールに備える。指定された内容について、文献を読んだり、インターネットなどを活用して調べたりする。

【事後学修】1時間程度。ゼミナールで学習した内容を整理し、ノートにまとめる。ゼミナールで指示された課外学修課題に取り組む。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教室で説明します。「地域を学ぶ」テキストは、教室で配付する予定です。

科目名	入門ゼミナール		
担当教員名	山本 悟、三藤 あさみ		
ナンバリング	KKa001		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 入門ゼミナール		
学 年	1	ク ラ ス	BEクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

児童教育学科の学位授与方針 1, 3 に該当します。この科目は高等学校の生徒から大学の学生へと円滑に移行するための必要な勉強を学科の先生方とともに学ぶために設定されました。特に、本学が立地する埼玉県新座市について学ぶ一つの機会となります。これからどのように大学生生活を送ればよいのかということについて、少人数クラスで学びあうこととなります。

科目の概要

大学生生活では、大学で開講される講義や演習、実習等の科目を履修し、単位を修得することにより、社会人として必要となる知識や技能を身につけます。特に、本学では、「地域に貢献する」学生を育てることをねらいの一つとしています。そのためには、大学での勉強の仕方を身につけることが必要です。講義を聴きながら自ら疑問を持ち追究する態度、演習に参加し、レジュメをつくり発表する技能、文献を読み、課題をつくり、自ら追究すること、本学が立地する地域について学修すること等、大学で必要となる勉強の方法について各先生とともに学びます。

学修目標

仲間とともに大学生生活や地域社会について主体的に学び、その基礎的な知識や技能を身につけること、大学生生活に慣れ、自らの将来設計に基づき、学修計画が立てられること、仲間と協力して課題を創造し、ともに追究しあう態度を身につけること、などがねらいです。

内容

各教室に分かれて、担任の先生方と相談しながら勉強を進めます。グループワーク、ディスカッションを取り入れながら、学びを深めていきます。

週により、学科全員が集まって勉強したり、個別で勉強したりします。

1	オリエンテーション
2	学びのナビゲーター
3	PCによる自己確立シートやメールの書き方など・教職課程履修カルテ記入
4	自分の力を知る - 測定(就職支援課による授業)
5	アカデミック・ライティング
6	アカデミック・ライティング
7	新座を学ぶ
8	自分の力を知る - 測定結果の解説(就職支援課による授業)
9	情報収集 (図書館ガイダンス)
10	情報収集 (図書館ガイダンス)
11	ワークショップ グループディスカッション
12	ワークショップ グループディスカッション
13	ワークショップ グループディスカッション
14	ボランティア・インターンシップ活動について

評価

講義の内外で作成するミニレポート30%、口頭発表30%、平常点（授業参加度を含む）40%とし、総合評価60点以上を合格とします。

【フィードバック】ミニレポートの内容について、次回以降の授業でシェアリングします。

授業外学習

【事前準備】前回の学習内容を想起し、ゼミナールに備えます。（各授業に対して45分）

【事後学修】ゼミナールで学習した内容を整理し、ノートにまとめます。ゼミナールで指示された課外学修課題に取り組みます。（各授業に対して45分）

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】【参考図書】教室で説明します。「地域を学ぶ」テキストは、教室で配布する予定です。

科目名	入門ゼミナール		
担当教員名	横井 紘子		
ナンバリング	KKa001		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 入門ゼミナール		
学 年	1	ク ラ ス	ARクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格 幼児教育学科の学位授与方針の3に該当する。高校生から大学生へと円滑に移行するための必要な事項を学習する。特に、本学が立地する埼玉県新座市について (入門編) 学ぶ一つの機会とする。入学したばかりの皆さんが仲間とともに、これからどのように大学生活を送ればよいのか、少人数クラスで学びあう授業である。

科目の概要 大学生活では、大学で開講される講義や演習、実習などの科目を履修し、単位を修得することにより、社会人として必要となる知識や技能を身につける。特に本学では、「地域に貢献する」学生を育てることをねらいの一つとしている。講義を聴きながら自ら疑問を持ち追究する態度、演習に参加し、レジュメを切り (つくり) 発表する技能、文献を読み、課題をつくり、自ら追究すること、レポートや論文を書き上げること、新座市について学修することなど、大学で必要となる学習方法を獲得することを目指す。

学修目標 仲間とともに大学生活や地域社会について主体的に学び、その基礎的な知識や技能を身につけること、大学生活に慣れ、自らの将来設計に基づき、学修計画が立てられること、仲間と協力して課題を創造し追究しあう態度を身につけること、などがねらいである。

内容

- 第1回 グループ決め、名簿作り、グループ活動
- 第2回 ライブキャンパスでの履修登録ガイダンス
- 第3回 教職カルテ入力に関するオリエンテーション
- 第4回 幼児教育学科新入生歓迎会 (2年、4年)
- 第5回 1年時の学習目標記入後の教員面談
- 第6～13回 グループ別活動 (地域に出かけての体験学習など)
- 第14・15回 全体会

「異」なるものとして「異質性がめだってとらえられる人々との交流と相互理解」に関して、各グループが独自のテーマを設定し、それぞれの切り口から調査研究を進める活動を行う。少子高齢化や国際化が進む今日の社会状況においては、異質性が目立つ人々といかに交流し、相互理解を深め共生関係を発展させるかが万人共通の課題となっている。このような問題意識の基に、異質性、固有性が目立ってとらえられる人々との交流と相互理解の促進を目指した多様な実践の理念や意義、特色を調査したり、具体的な実践に参加してその効果や問題点、望ましい交流のあり方について考察したり、交流に関する指導計画を作成したりすること等を活動内容とする。以上のような活動を通して、人種や国籍、文化、生育環境、生活の仕方や世代、年齢等の異なる人々との出会いと交流を、相互理解の契機にするばかりでなく、差異性と共に、共通性も認識できるような多面的な物の見方が実践できるようにする。このような実体験の積み重ねが、教育 (保育) 者の専門性の一つである多様な対象とのコミュニケーション能力の育成につながることも目指している。本学が立地する埼玉県新座市についての学習は、本授業でも扱うが、主として、「児童学演習」にて通年の活動として行うものとする。

評価

演習形式のグループ活動への参加状況 (60%)、調査研究活動についてのレポート内容や発表 (40%) とし、総合評価

60点以上を合格とする。調査活動は、応答的なやりとりを行いながらすすめていく。

【フィードバック】面談を中心に、個人の課題について、共に考えていく。

授業外学習

【事前予習】1時間程度。前回の学習内容を想起し、ゼミナールに備える。指定された内容について、文献を読んだり、インターネットなどを活用して調べたりする。

【事後学修】1時間程度。ゼミナールで学習した内容を整理し、ノートにまとめる。ゼミナールで指示された課外学修課題に取り組む。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教室で説明します。「地域を学ぶ」テキストは、教室で配付する予定です。

科目名	入門ゼミナール		
担当教員名	渡邊 孝枝		
ナンバリング	KKa001		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 入門ゼミナール		
学 年	1	ク ラ ス	ASクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

幼児教育学科の学位授与方針の3に該当する。

高校生から大学生へと円滑に移行するための必要な事項を学習する。特に、本学が立地する埼玉県新座市について (入門編) 学ぶ一つの機会とする。入学したばかりの皆さんが仲間とともに、これからどのように大学生生活を送ればよいのか、少人数クラスで学びあう授業である。

科目の概要

大学生活では、大学で開講される講義や演習、実習などの科目を履修し、単位を修得することにより、社会人として必要となる知識や技能を身につける。特に本学では、「地域に貢献する」学生を育てることをねらいの一つとしている。講義を聴きながら自ら疑問を持ち追究する態度、演習に参加し、レジュメを切り (つくり) 発表する技能、文献を読み、課題をつくり、自ら追究すること、レポートや論文を書き上げること、新座市について学修することなど、大学で必要となる学習方法を獲得することを目指す。

学修目標

仲間とともに大学生活や地域社会について主体的に学び、その基礎的な知識や技能を身につけること、大学生活に慣れ、自らの将来設計に基づき、学修計画が立てられること、仲間と協力して課題を創造し追究しあう態度を身につけること、などがねらいである。

内容

- 第1回 グループ決め, 名簿作り, グループ活動
- 第2回 ライブキャンパスでの履修登録ガイダンス
- 第3回 教職カルテ入力に関するオリエンテーション
- 第4回 幼児教育学科新入生歓迎会 (2年、4年)
- 第5回 1年時の学習目標記入後の教員面談
- 第6 ~ 13回 グループ別活動 (地域に出かけての体験学習など)
- 第14・15回 全体会

「異」なるものとして「異質性がめだってとらえられる人々との交流と相互理解」に関して、各グループが独自のテーマを設定し、それぞれの切り口から調査研究を進める活動を行う。

少子高齢化や国際化が進む今日の社会状況においては、異質性が目立つ人々といかに交流し、相互理解を深め共生関係を発展させるかが万人共通の課題となっている。

このような問題意識の基に、異質性、固有性が目立ってとらえられる人々との交流と相互理解の促進を目指した多様な実践の理念や意義、特色を調査したり、具体的な実践に参加してその効果や問題点、望ましい交流のあり方について考察したり、交流に関する指導計画を作成したりすること等を活動内容とする。

以上のような活動を通して、人種や国籍、文化、生育環境、生活の仕方や世代、年齢等の異なる人々との出会いと交流を、相互理解の契機にするばかりでなく、差異性と共に、共通性も認識できるような多面的な物の見方が実践できるようにす

る。

このような実体験の積み重ねが、教育（保育）者の専門性の一つである多様な対象とのコミュニケーション能力の育成につながることも目指している。

本学が立地する埼玉県新座市についての学習は、本授業でも扱うが、主として、「児童学演習」にて通年の活動として行うものとする。

評価

演習形式のグループ活動への参加状況(60%)、調査研究活動についてのレポート内容や発表(40%)とし、総合評価60点以上を合格とする。

調査活動は、応答的なやりとりを行いながらすすめていく。

【フィードバック】面談を中心に、個人の課題について、共に考えていく。

授業外学習

【事前予習】1時間程度。前回の学習内容を想起し、ゼミナールに備える。指定された内容について、文献を読んだり、インターネットなどを活用して調べたりする。

【事後学修】1時間程度。ゼミナールで学習した内容を整理し、ノートにまとめる。ゼミナールで指示された課外学修課題に取り組む。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教室で説明します。「地域を学ぶ」テキストは、教室で配付する予定。

科目名	入門ゼミナール		
担当教員名	鈴木 雅子、池田 まさみ		
ナンバリング	KKa001		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 入門ゼミナール		
学 年	1	ク ラ ス	CKクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格：人間生活学部の学位授与方針1.2.3に該当する。

1年生前期の必修科目であり、大学入学後のガイダンス教育の一環として、少人数のクラス編成により、学科専任教員が担当して実施する科目である。

科目の概要：

大学での学業生活がより豊かなものになることを目指して、学生間の、および、教員と学生との密なコミュニケーションを図りつつ、学生の主体的な演習活動を通して、基本的な学習技法・技能 (Study Skill) の育成を行う。大学では、学生自らが主体的、かつ自律的に学習することが求められていることが多い。こうした学習態度は、大学生生活のみならず卒業後の職業生活や生涯学習においても重要な役割を果たすものである。

学修目標：

1. 大学で学ぶこと、主体的に学ぶことの意味を理解する。
2. 大学の資源を有効に活用する術を得る。
3. 基本的な <Study Skill> を理解する。
4. 自己の大学生生活における目標を見つける。

内容

A. アイスブレイク活動

自己紹介、大学生生活に関する相談や質疑応答、履修方法の相談など

B. Study Skillトレーニング

- (1) 大学授業への受講技能 (ノートの取り方・まとめ方、試験勉強)
- (2) テキストの読み方 (説明的文章の読み方、論理展開に対する理解、要約のまとめ方)
- (3) 資料収集とその整理に関する技法 (KJ法、資料のファイリング法)
- (4) レポート作成に関する技法 (文章作成・表現技法、全体構成のたて方)
- (5) 報告・発表に関する技法 (プレゼンテーション技法、レジュメ作成法)
- (6) 話し合いに関する技法 (バズセッション、ディベート)

C. 学内ガイダンス

- (1) 図書・情報センター図書館 (図書館本館・図書館分室) の紹介と活用法
- (2) 就職センターの紹介と活用法、キャリアガイダンス・ワークショップ

D. 地域を学ぶ・地域に学ぶ

~ 心理学科生がボランティア活動を通じて地域との交流をはかる際の心構えや態度を養うため、

以下の内容から 1 ~ 2 のトピックについて話を伺う (計画中)

- (1) 地域子育て支援：新座子育てネットワーク (予定) の方に、現状の課題などを伺う

(2) 教育支援：市内中学校の現役スタッフの方に，中学生が抱える心の問題などを伺う

(3) 障がい者支援：地域の障がい者支援施設の方に，支援の実際を伺い理解を深める

評価

発表とレポート提出（60点）および平常点（40点）によって評価を行い、60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】課された課題についての準備を整える（各講義 1 時間程度）

【事後学修】ゼミの内容を復習し，要点を復習しておく（各講義 1 時間程度）

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

特に定めない。授業中に、必要に応じて紹介したり、資料を配布する。

科目名	入門ゼミナール		
担当教員名	鈴木 雅子、永作 稔		
ナンバリング	KKa001		
学 科	人間生活学部（K）-共通科目-入門ゼミナール		
学 年	1	ク ラ ス	CLクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格：人間生活学部の学位授与方針1.2.3に該当する。

1年生前期の必修科目であり、大学入学後のガイダンス教育の一環として、少人数のクラス編成により、学科専任教員が担当して実施する科目である。

科目の概要：

大学での学業生活がより豊かなものになることを目指して、学生間の、および、教員と学生との密なコミュニケーションを図りつつ、学生の主体的な演習活動を通して、基本的な学習技法・技能（Study Skill）の育成を行う。大学では、学生自らが主体的、かつ自律的に学習することが求められていることが多い。こうした学習態度は、大学生活のみならず卒業後の職業生活や生涯学習においても重要な役割を果たすものである。

学修目標：

- 1．大学で学ぶこと、主体的に学ぶことの意味を理解する。
- 2．大学の資源を有効に活用する術を得る。
- 3．基本的な＜Study Skill＞を理解する。
- 4．自己の大学生活における目標を見つける。

内容

A．アイスブレイク活動

自己紹介、大学生活に関する相談や質疑応答、履修方法の相談など

B．Study Skillトレーニング

- （1）大学授業への受講技能（ノートの取り方・まとめ方、試験勉強）
- （2）テキストの読み方（説明的文章の読み方、論理展開に対する理解、要約のまとめ方）
- （3）資料収集とその整理に関する技法（KJ法、資料のファイリング法）
- （4）レポート作成に関する技法（文章作成・表現技法、全体構成のたて方）
- （5）報告・発表に関する技法（プレゼンテーション技法、レジュメ作成法）
- （6）話し合いに関する技法（バズセッション、ディベート）

C．学内ガイダンス

- （1）図書・情報センター図書館（図書館本館・図書館分室）の紹介と活用法
- （2）就職センターの紹介と活用法、キャリアガイダンス・ワークショップ

D．地域を学ぶ・地域に学ぶ

～心理学科生がボランティア活動を通じて地域との交流をはかる際の心構えや態度を養うため、

以下の内容から1～2のトピックについて話を伺う（計画中）

- （1）地域子育て支援：新座子育てネットワーク（予定）の方に、現状の課題などを伺う

(2) 教育支援：市内中学校の現役スタッフの方に，中学生が抱える心の問題などを伺う

(3) 障がい者支援：地域の障がい者支援施設の方に，支援の実際を伺い理解を深める

評価

発表とレポート提出（60点）および平常点（40点）によって評価を行い、60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】課された課題についての準備を整える（各講義 1 時間程度）

【事後学修】ゼミの内容を復習し，要点を復習しておく（各講義 1 時間程度）

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

特に定めない。授業中に、必要に応じて紹介したり、資料を配布する。

科目名	入門ゼミナール		
担当教員名	二瓶 さやか		
ナンバリング	KKa001		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 入門ゼミナール		
学 年	1	ク ラ ス	DEクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格：人間福祉学科の学位授与方針1及び3に該当し、自分が体験したことをわかりやすく意味づけ、表現すること、お互いに自身の考えや集団の考えを高め発展させることと関連する。

科目の概要：大学では自らが学び、求めるという自律的、自発的な学習が不可欠である。本授業では、大学における学習活動におけるスタディースキルズ及び学生生活に関する基本事項について学ぶ。少人数で担当教員とのコミュニケーションが密であることも本授業の特徴である。

講義・演習（ディスカッション、グループワーク等）を通じて行う。なお、テーマによって1年生クラス合同の授業を行うこともある。

学修目標（=到達目標）：1）4年間の学習の目標とそのプロセスがわかる。

2）4年間にわたるスタディースキルズを習得する。

3）福祉の学びをふまえて地域に対する理解を深める。

内容

1. 学生としてのライフスタイルの確立及び学習の目標を獲得

大学、学部、学科、コースを理解する。

大学組織の活用法を理解する。

自分の個性・特徴を理解する。

自己確立へ向けて目標を立てる。

学習・生活の計画を立てる。

2. 情報の収集、整理、理解

ノートテイキング、文書読解練習、大学図書館の利用方法、インターネットの活用などについて学ぶ。

3. 情報の検討、分析、発信

意見（主張）の出し合いと練り上げ、討論・議論の練習、レポートの作成その発表等を行う。

4. グループワーク

共同での問題解決と体験学習を踏まえ、福祉を学ぶ者としての自覚と他者理解を深めるとともに、各自の目的意識を明確化する。

5. 地域貢献の方法を学ぶ

新座市の福祉の現状や受講生の居住地の福祉の現状について学び、ボランティア等地域への活動に取り組めるようにする。

評価

授業への取り組み（40点）、小レポート（30点）、期末課題（30点）とし、総合評価60点以上を合格とする。

【フィードバック】毎授業の発表や小レポートに対してコメントし、学習理解を深められるようにする。

授業外学習

【事前準備】 事前に示された課題について準備する。

【事後学習】 課題の自己学習と提出により、学習内容を振り返り、身につける。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】 川村匡由・川村岳人「改訂 福祉系学生のためのレポート&卒論の書き方」中央法規

【推薦書】 学習技術研究会編「知へのステップ」くろしお出版

田中共子編「よくわかる学びの技法」ミネルヴァ書房

【参考図書】 「地域で学ぶ」テキストは、授業中配布予定

科目名	入門ゼミナール		
担当教員名	曾野 麻紀		
ナンバリング	KKa001		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 入門ゼミナール		
学 年	1	ク ラ ス	ATクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

この科目では、高校生から大学生へと円滑に移行するための必要な勉強を行います。特に、本学が立地する埼玉県新座市について (入門編) 学ぶ一つの機会となります。入学したばかりの皆さんが仲間とともに、これからどのように大学生活を送ればよいのか、少人数クラスで学びあうこととなります。

科目の概要

大学生活では、大学で開講される講義や演習、実習などの科目を履修し、単位を修得することにより、社会人として必要となる知識や技能を身につけます。特に、本学では、「地域に貢献する」学生を育てることをねらいの一つとしています。そのためには、大学での勉強の仕方を身につけることが必要です。講義を聴きながら自ら疑問を持ち追究する態度、演習に参加し、レジュメを切り (つくり) 発表する技能、文献を読み、課題をつくり、自ら追究すること、レポートや論文を書き上げること、本学が立地する地域について学修することなど、大学で必要となる勉強の方法について各先生とともに学びます。

学修目標

仲間とともに大学生活や地域社会について主体的に学び、その基礎的な知識や技能を身につけること、大学生活に慣れ、自らの将来設計に基づき、学修計画が立てられること、仲間と協力して課題を創造し追究しあう態度を身につけること、などがねらいです。

内容

- 第 1 回 グループ決め、名簿作り、グループ活動
- 第 2 回 ライブキャンパスでの履修登録ガイダンス
- 第 3 回 教職カルテ入力に関するオリエンテーション
- 第 4 回 幼児教育学科新入生歓迎会 (2 年、4 年)
- 第 5 回 年時の学習目標記入後の教員面談
- 第 6 ~ 1 3 回 グループ別活動 (地域に出かけての体験学習など)
- 第 1 4 ・ 1 5 回 全体会

「異」なるものとして「異質性がめだってとらえられる人々との交流と相互理解」に関して、各グループが独自のテーマを設定し、それぞれの切り口から調査研究を進める活動を行う。

少子高齢化や国際化が進む今日の社会状況においては、異質性が目立つ人々といかに交流し、相互理解を深め共生関係を発展させるかが万人共通の課題となっている。

このような問題意識の基に、異質性、固有性が目立ってとらえられる人々との交流と相互理解の促進を目指した多様な実践の理念や意義、特色を調査したり、具体的な実践に参加してその効果や問題点、望ましい交流のあり方について考察したり、交流に関する指導計画を作成したりすること等を活動内容とする。

以上のような活動を通して、人種や国籍、文化、生育環境、生活の仕方や世代、年齢等の異なる人々との出会いと交流を、相互理解の契機にするばかりでなく、差異性と共に、共通性も認識できるような多面的な物の見方が実践できるようにす

る。

このような実体験の積み重ねが、教育（保育）者の専門性の一つである多様な対象とのコミュニケーション能力の育成につながることも目指している。

本学が立地する埼玉県新座市についての学習は、本授業でも扱うが、主として、「児童学演習」にて通年の活動として行うものとする。

評価

演習形式のグループ活動への参加度(60%)、調査研究活動についてのレポート内容及び発表(40%)とし、総合評価60点以上を合格とする。

調査活動は、応答的なやりとりを行いながらすすめていく。

【フィードバック】提出されたレポートは、コメントを記載し翌週以降の授業で講評、返却する。

授業外学習

【事前予習】前回の学習内容を想起し、ゼミナールに備える。指定された内容について、文献を読んだり、インターネットなどを活用して調べたりする。(60分程度)

【事後学修】ゼミナールで学習した内容を整理し、ノートにまとめる。ゼミナールで指示された課外学修課題に取り組む。(60分程度)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

教室で説明する。「地域を学ぶ」テキストは、教室で配付予定。

科目名	入門ゼミナール		
担当教員名	二宮 紀子		
ナンバリング	KKa001		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 入門ゼミナール		
学 年	1	ク ラ ス	AUクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

幼児教育学科の学位授与方針の3に該当する。

高校生から大学生へと円滑に移行するための必要な事項を学習する。特に、本学が立地する埼玉県新座市について (入門編) 学ぶ一つの機会とする。入学したばかりの皆さんが仲間とともに、これからどのように大学生活を送ればよいのか、少人数クラスで学びあう授業である。

科目の概要

大学生活では、大学で開講される講義や演習、実習などの科目を履修し、単位を修得することにより、社会人として必要となる知識や技能を身につける。特に本学では、「地域に貢献する」学生を育てることをねらいの一つとしている。講義を聴きながら自ら疑問を持ち追究する態度、演習に参加し、レジュメを切り (つくり) 発表する技能、文献を読み、課題をつくり、自ら追究すること、レポートや論文を書き上げること、新座市について学修することなど、大学で必要となる学習方法を獲得することを目指す。

学修目標

仲間とともに大学生活や地域社会について主体的に学び、その基礎的な知識や技能を身につけること、大学生活に慣れ、自らの将来設計に基づき、学修計画が立てられること、仲間と協力して課題を創造し追究しあう態度を身につけること、などがねらいである。

内容

- 第1回 グループ決め, 名簿作り, グループ活動
- 第2回 ライブキャンパスでの履修登録ガイダンス
- 第3回 教職カルテ入力に関するオリエンテーション
- 第4回 幼児教育学科新入生歓迎会 (2年、4年)
- 第5回 1年時の学習目標記入後の教員面談
- 第6 ~ 13回 グループ別活動 (地域に出かけての体験学習など)
- 第14・15回 全体会

「異」なるものとして「異質性がめだってとらえられる人々との交流と相互理解」に関して、各グループが独自のテーマを設定し、それぞれの切り口から調査研究を進める活動を行う。

少子高齢化や国際化が進む今日の社会状況においては、異質性が目立つ人々といかに交流し、相互理解を深め共生関係を発展させるかが万人共通の課題となっている。

このような問題意識の基に、異質性、固有性が目立ってとらえられる人々との交流と相互理解の促進を目指した多様な実践の理念や意義、特色を調査したり、具体的な実践に参加してその効果や問題点、望ましい交流のあり方について考察したり、交流に関する指導計画を作成したりすること等を活動内容とする。

以上のような活動を通して、人種や国籍、文化、生育環境、生活の仕方や世代、年齢等の異なる人々との出会いと交流を、相互理解の契機にするばかりでなく、差異性と共に、共通性も認識できるような多面的な物の見方が実践できるようにす

る。

このような実体験の積み重ねが、教育（保育）者の専門性の一つである多様な対象とのコミュニケーション能力の育成につながることも目指している。

本学が立地する埼玉県新座市についての学習は、本授業でも扱うが、主として、「児童学演習」にて通年の活動として行うものとする。

評価

演習形式のグループ活動への参加状況(60%)、調査研究活動についてのレポート内容や発表(40%)とし、総合評価60点以上を合格とする。

調査活動は、応答的なやりとりを行いながらすすめていく。

【フィードバック】面談を中心に、個人の課題について、共に考えていく。

授業外学習

【事前予習】1時間程度。前回の学習内容を想起し、ゼミナールに備える。指定された内容について、文献を読んだり、インターネットなどを活用して調べたりする。

【事後学修】1時間程度。ゼミナールで学習した内容を整理し、ノートにまとめる。ゼミナールで指示されされた課外学修課題に取り組む。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教室で説明します。「地域を学ぶ」テキストは、教室で配付する予定。

科目名	入門ゼミナール		
担当教員名	近藤 有紀子		
ナンバリング	KKa001		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 入門ゼミナール		
学 年	1	ク ラ ス	AZクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

幼児教育学科の学位授与方針の3に該当する。

高校生から大学生へと円滑に移行するための必要な事項を学習する。特に、本学が立地する埼玉県新座市について (入門編) 学ぶ一つの機会とする。入学したばかりの皆さんが仲間とともに、これからどのように大学生活を送ればよいのか、少人数クラスで学びあう授業である。

科目の概要

大学生活では、大学で開講される講義や演習、実習などの科目を履修し、単位を修得することにより、社会人として必要となる知識や技能を身につける。特に、本学では、「地域に貢献する」学生を育てることをねらいの一つとしている。講義を聴きながら自ら疑問を持ち追究する態度、演習に参加し、レジュメを切り (つくり) 発表する技能、文献を読み、課題をつくり、自ら追究すること、レポートや論文を書き上げること、新座市について学修することなど、大学で必要となる学習方法を獲得することを目指す。

学修目標

仲間とともに大学生活や地域社会について主体的に学び、その基礎的な知識や技能を身につけること、大学生活に慣れ、自らの将来設計に基づき、学修計画が立てられること、仲間と協力して課題を創造し追究しあう態度を身につけること、などがねらいである。

内容

- 第1回 グループ決め, 名簿作り, グループ活動
- 第2回 ライブキャンパスでの履修登録ガイダンス
- 第3回 教職カルテ入力に関するオリエンテーション
- 第4回 幼児教育学科新入生歓迎会 (2年、4年)
- 第5回 年時の学習目標記入後の教員面談
- 第6 ~ 13回 グループ別活動 (地域に出かけての体験学習など)
- 第14・15回 全体会

「異」なるものとして「異質性がめだってとらえられる人々との交流と相互理解」に関して、各グループが独自のテーマを設定し、それぞれの切り口から調査研究を進める活動を行う。

少子高齢化や国際化が進む今日の社会状況においては、異質性が目立つ人々といかに交流し、相互理解を深め共生関係を発展させるかが万人共通の課題となっている。

このような問題意識の基に、異質性、固有性が目立ってとらえられる人々との交流と相互理解の促進を目指した多様な実践の理念や意義、特色を調査したり、具体的な実践に参加してその効果や問題点、望ましい交流のあり方について考察したり、交流に関する指導計画を作成したりすること等を活動内容とする。

以上のような活動を通して、人種や国籍、文化、生育環境、生活の仕方や世代、年齢等の異なる人々との出会いと交流を、相互理解の契機にするばかりでなく、差異性と共に、共通性も認識できるような多面的な物の見方が実践できるようにす

る。

このような実体験の積み重ねが、教育（保育）者の専門性の一つである多様な対象とのコミュニケーション能力の育成につながることも目指している。

本学が立地する埼玉県新座市についての学習は、本授業でも扱うが、主として、「児童学演習」にて通年の活動として行うものとする。

評価

演習形式のグループ活動への参加状況(60%)、調査研究活動についてのレポート内容や発表(40%)とし、総合評価60点以上を合格とする。

調査活動は、応答的なやりとりを行いながらすすめていく。

【フィードバック】面談を中心に、個人の課題について、共に考えていく。

授業外学習

【事前予習】1時間程度。前回の学習内容を想起し、ゼミナールに備える。指定された内容について、文献を読んだり、インターネットなどを活用して調べたりする。

【事後学修】1時間程度。ゼミナールで学習した内容を整理し、ノートにまとめる。ゼミナールで指示された課外学修課題に取り組む。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教室で説明します。「地域を学ぶ」テキストは、教室で配付する予定。

科目名	地域で学ぶ		
担当教員名	星野 敦子、石野 榮一、安達 一寿		
ナンバリング	KKa102		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 地域で学ぶ		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

各学科の学位授与方針の1に該当する。人間生活学部の共通科目である。地域連携科目として位置づけられる。

科目の概要

新座市の特徴について、「少子化、高齢化対策」「観光都市としてのあり方」などの地域課題から学び、自らなにかができるのかを模索して行くための授業である。実際に、地域で活躍している方たちの講義を聞いて、課題解決のための糸口を探る。

学修目標 (= 到達目標)

新座における地域課題の現状について理解する。地域における社会活動を始めるための動機を明確化する。

内容

講義を中心として、グループワークやディスカッションを取り入れて進める。

1	ガイダンス
2	ゲスト講師による講義 新座市のなりたちと現状
3	ゲスト講師による講義 新座市の商工業
4	ゲスト講師による講義 新座の町内会活動
5	グループワーク まちづくりと人材育成
6	ゲスト講師による講義 新座市の農業と農産物
7	ゲスト講師による講義 新座市の観光
8	ゲスト講師による講義 子育て支援とプレーパーク
9	ゲスト講師による講義 伝統芸能
10	グループワーク 特産品によるまちおこし
11	ゲスト講師による講義 新座のホタル
12	ゲスト講師による講義 朝霞芸術の森の地域貢献
13	ゲスト講師による講義 議会・議員の役割
14	グループワーク シティプロモーションを考える
15	まとめ (発表)

評価

授業への取り組みと毎時間ごとの課題を30%、地域活動への参加と参加レポートを70%とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】新座市のホームページをみて興味を持ったところについて、まとめておく

【事後学修】新座市における社会活動への参加（必須）

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】特にありません

科目名	埼玉の地理・歴史・文化		
担当教員名	星野 敦子、狩野 浩二		
ナンバリング	KKa111		
学 科	人間生活学部（K）-共通科目-地域と社会を学ぶ		
学 年	1	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

各学科の学位授与方針の1に該当する。この科目は、学生の皆さんの自主的な学修態度を形成すること、自ら学び、自ら表現する学生を育てることを目指しています。「入門ゼミナール」等で学んだ埼玉や新座周辺の歴史、地理、文化を基盤として、様々な分野の学生たちがともに学ぶことにより、人間的な交流のすばらしさを実感してもらいます。平成23（2011）年度～平成26（2014）年度入学生から開講される共通科目【十文字学】の中の、「新座から学ぶ」と同時に開講します（平成22年度以前入学生は「経営経済学基礎」と同時開講です）。

埼玉や新座に関する歴史・地理・文化についての最新情報をゲスト講師から伺うとともに、これらの講義に関連する活動を中心に、実際に地域活動に参加し、その活動レポートをまとめます。

受講生同士が人間的な交流を深めること、埼玉や新座の地理・歴史・文化について疑問に思ったことを課題として、グループごとに研究を深め、発表すること、学生としての研究的な態度を身につけること、将来埼玉や新座周辺などの地域で活躍できる人材を育てること、などが目標です

内容

【留意点】

平成22(2010)年度以前に入学した学生は、「経営経済学基礎」として受講することが出来ます。

平成23(2011)年度～平成26（2014）年度までに入学した学生は、十文字学(共通教育)「新座から学ぶ」として履修登録します。

1	第1回 ガイダンス 本学の地域連携活動（星野、狩野）
2	第2回 主婦から会社経営者へ OGの歩みから学ぶ（星野、狩野）
3	第3回 埼玉の川と魚（星野、狩野）
4	第4回 新座の歴史と平林寺（星野、狩野）
5	第5回 ふるさと支援隊の学びと青年海外協力隊での活動（星野、狩野）
6	第6回 埼玉発祥の牛乳の歴史（星野、狩野）
7	第7回 神社仏閣の彫刻について（星野、狩野）
8	第8回 行田の足袋の歴史（星野、狩野）
9	第9回 グループワーク （星野、狩野）
10	第10回 志木出身芸人波乱万丈健康講座（星野、狩野）
11	第11回 和光文化会館サンアゼリアの活動（星野、狩野）
12	第12回 茶道の道と松永耳庵（星野、狩野）
13	第13回 海外で教員として（星野、狩野）
14	第14回 グループワーク （星野、狩野）
15	第15回 まとめ（星野、狩野）

評価

毎回の課題（30%）、地域活動への参加またはレポート（70%）とし、総合評価60点以上を合格とします。

授業外学習

新座を中心とする地域での地域連携活動に参加して体験レポートをまとめる

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書は使用しません。

推薦書は適宜講義中に説明します。

科目名	埼玉の地理・歴史・文化		
担当教員名	星野 敦子、狩野 浩二		
ナンバリング	KKa111		
学 科	人間生活学部（K）-共通科目-地域と社会を学ぶ		
学 年	1	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標 ）

各学科の学位授与方針の1に該当する。この科目は、学生の皆さんの自主的な学修態度を形成すること、自ら学び、自ら表現する学生を育てることを目指しています。「入門ゼミナール」等で学んだ埼玉や新座周辺の歴史、地理、文化を基盤として、様々な分野の学生たちがともに学ぶことにより、人間的な交流のすばらしさを実感してもらいます。平成23（2011）年度～平成26（2014）年度入学生から開講される共通科目【十文字学】の中の、「新座から学ぶ」と同時に開講します（平成22年度以前入学生は「経営経済学基礎」と同時開講です）。

埼玉や新座に関する歴史・地理・文化についての最新情報をゲスト講師から伺うとともに、これらの講義に関連する活動を中心に、実際に地域活動に参加し、その活動レポートをまとめます。

受講生同士が人間的な交流を深めること、埼玉や新座の地理・歴史・文化について疑問に思ったことを課題として、グループごとに研究を深め、発表すること、学生としての研究的な態度を身につけること、将来埼玉や新座周辺などの地域で活躍できる人材を育てること、などが目標です

内容

【留意点】

平成22(2010)年度以前に入学した学生は、「経営経済学基礎」として受講することが出来ます。

平成23(2011)年度～平成26（2014）年度までに入学した学生は、十文字学(共通教育)「新座から学ぶ」として履修登録します。

1	第1回 ガイダンス 本学の地域連携活動（星野、狩野）
2	第2回 主婦から会社経営者へ OGの歩みから学ぶ（星野、狩野）
3	第3回 埼玉の川と魚（星野、狩野）
4	第4回 新座の歴史と平林寺（星野、狩野）
5	第5回 ふるさと支援隊の学びと青年海外協力隊での活動（星野、狩野）
6	第6回 埼玉発祥の牛乳の歴史（星野、狩野）
7	第7回 神社仏閣の彫刻について（星野、狩野）
8	第8回 行田の足袋の歴史（星野、狩野）
9	第9回 グループワーク （星野、狩野）
10	第10回 志木出身芸人波乱万丈健康講座（星野、狩野）
11	第11回 和光文化会館サンアゼリアの活動（星野、狩野）
12	第12回 茶道の道と松永耳庵（星野、狩野）
13	第13回 海外で教員として（星野、狩野）
14	第14回 グループワーク （星野、狩野）
15	第15回 まとめ（星野、狩野）

評価

毎回の課題（30％）、地域活動への参加またはレポート（70％）とし、総合評価60点以上を合格とします。

授業外学習

新座を中心とする地域での地域連携活動に参加して体験レポートをまとめる

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書は使用しません。

推薦書は適宜講義中に説明します。

科目名	現代社会と教育		
担当教員名			
ナンバリング	KKa112		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 地域と社会を学ぶ		
学 年		ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

共通科目・十文字学の「地域と社会を学ぶ」領域にある科目である。

科目の概要

中央教育審議会答申(平成28年12月21日)や次期中学校学習指導要領(案)などを題材とし、「幸せをつかむ力をつける」ことを目指しながら、現代社会と教育について考える。

学修目標(=到達目標)

- 1) グローバリゼーションのなかで日本の教育を理解し、解決すべき課題と自分が参画していくことの意味をとらえることができる。
- 2) 現代社会における事象について、自分で問いを立て、他者と協働して考察できる。
- 3) 異質な他者を認め、互いを知り、学びを深める。
- 4) 読み解く力や書き表す力、資料を活用する力、創造する力、論理的に表現する力を高める。

内容

個人・ペア・グループで考え、意見交換しながら、学びを深めていく。

1	ガイダンス 現代社会における教育の課題について
2	我が国の学校教育制度の変遷と課題について
3	学習指導要領の変遷と課題について
4	OECD生徒の学習到達度テスト(PISA)とゆとり教育について
5	全国学力・学習状況調査と結果の順位公表について
6	埼玉県学力・学習状況調査について
7	高大接続改革について
8	高校生のための学びの基礎診断と大学入学共通テストについて
9	学習指導要領改訂について
10	小学校における早期英語教育について
11	学習指導要領改訂で変化したもの(中学国語を例に)と「部活動」の位置づけについて
12	アダプティブラーニングについて
13	教員の働き方改革について
14	親の学習について
15	レポート発表会、まとめ

評価

毎回の授業の取組状況(40点)、毎回の振り返りシート(30点)、レポート(30点)とし、総合評価60点以上を合

格とする。

【フィードバック】毎回の授業の取組状況と振り返りシートの点数を随時、フィードバックする。

授業外学習

【事前準備】前回の授業で提示された「問い」について調べ、考察する。

【事後学修】毎回の授業後に振り返りシートを完成して提出する。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】なし。授業ごとにプリントを配布する。

【推薦書】授業時に随時提示する。

【参考図書】中央教育審議会答申「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の 学習指導要領等の改善及び必要な方策等について」（平成28年12月21日）及び次期中学校学習指導要領（案）

科目名	現代社会と教育		
担当教員名			
ナンバリング	KKa112		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 地域と社会を学ぶ		
学 年		ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

共通科目・十文字学の「地域と社会を学ぶ」領域にある科目である。

科目の概要

中央教育審議会答申（平成28年12月21日）や次期中学校学習指導要領（案）などを題材とし、「幸せをつかむ力をつける」ことを目指しながら、現代社会と教育について考える。

学修目標（＝到達目標）

- 1) グローバリゼーションのなかで日本の教育を理解し、解決すべき課題と自分が参画していくことの意味をとらえることができる。
- 2) 現代社会における事象について、自分で問いを立て、他者と協働して考察できる。
- 3) 異質な他者を認め、互いを知り、学びを深める。
- 4) 読み解く力や書き表す力、資料を活用する力、創造する力、論理的に表現する力を高める。

内容

個人・ペア・グループで考え、意見交換しながら、学びを深めていく。クラス全員とペアやグループを組むようにする。

1	ガイダンス 現代社会における教育の課題について
2	我が国の学校教育制度の変遷と課題について
3	学習指導要領の変遷と課題について
4	OECD生徒の学習到達度テスト(PISA)とゆとり教育について
5	全国学力・学習状況調査と結果の順位公表について
6	埼玉県学力・学習状況調査について
7	高大接続改革について
8	高校生のための学びの基礎診断と大学入学交通テストについて
9	学習指導要領改訂について
10	小学校における早期英語教育について
11	学習指導要領改訂で変化したもの（中学国語を例に）と「部活動」の位置づけについて
12	アダプティブラーニングについて
13	教員の働き方改革について
14	親の学習について
15	まとめ

評価

毎回の授業の取組状況（40点）、毎回の振り返りシート（30点）、レポート（30点）とし、総合評価60点以上を合

格とする。

【フィードバック】毎回の授業の取組状況と振り返りシートの点数を随時、フィードバックする。

授業外学習

【事前準備】前回の授業で提示された「問い」について調べ、考察する。

【事後学修】毎回の授業後に振り返りシートを完成して提出する。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】なし。授業ごとにプリントを配布する。

【推薦書】授業時に随時提示する。

【参考図書】中央教育審議会答申「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の 学習指導要領等の改善及び必要な方策等について」（平成28年12月21日）及び次期中学校学習指導要領（案）

科目名	現代社会と福祉		
担当教員名	二瓶 さやか、今井 伸		
ナンバリング	KKa113		
学 科	人間生活学部（K）-共通科目-地域と社会を学ぶ		
学 年	1	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

本科目は、十文字学園女子大学・ 共通科目、ディプロマ・ポリシー[十文字学]の2に該当する。

教員によるオムニバス講義。

科目の概要

現代社会が抱える福祉課題は、少子高齢化、雇用、貧困、孤立、医療、介護、子育て等、多様で深刻である。その現状、要因、対策等を学び、解決のため取り組みや公的な社会保障制度と合わせて理解を深めることによって、一人ひとりの生活者の視点から解決の可能性を検討する。

市民・社会人としての生活のリテラシーを高めることによって、現代社会における福祉を創造する力を育むことをめざす。

学修目標（=到達目標）

- ・現代社会の福祉課題について、理解する
- ・自助・共助・公助の取り組みを理解する
- ・具体的な地域において、課題を設定し、解決方法を検討する力を得る

内容

第1週（二瓶） オリエンテーション 科目のねらいと学習方法・評価を理解する

第2週（二瓶） 建学理念と現代社会における学び

第3～8週（二瓶）「地域における社会福祉制度と暮らし」

社会保障制度と暮らし

高齢者の福祉（新座市で暮らす高齢者）

障害者の福祉（新座市における障がい者基本条例）

児童家庭の福祉（新座市における児童福祉政策）

生活困窮者の福祉

女性と家族の福祉

第9～15週（今井）「失業、老齢、病気、離婚等の生活に困ったときの対処方法」

私たちの生活を守る社会保障とは（社会保障の概念）

新座市とわが国の人口動態推計（少子高齢化の実態）

雇用保険制度（雇用保険の概要、特徴を理解する）

年金保険制度（1）（国民年金・厚生年金のしくみ）

年金保険制度（2）（老齢年金・障害年金・遺族年金）

医療保険制度（１）（国民健康保険と被用者保険のしくみ）

医療保険制度（２）（出産・育児・介護に関する医療保険の給付）・総括

評価

建学理念に関するミニレポート（10点）、教員ごとの課題の評価（40点×2）、最後のとりまとめの評価（10点）とし、その総合評価60点以上を合格とする。

【フィードバック】フィードバックシートを活用し、講義内容の理解度を評価しながら、講義をすすめる。

授業外学習

【事前準備】第1週オリエンテーションで、各教員ごとの事前学習課題を示す。課題については、指示された方法に基づき予習しておくこと（各授業に対して60分）

【事後学修】各教員の講義の終わりに発展的学習のための参考文献・資料等を示す。提示された課題について各自取り組むこと（各授業に対して60分）

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】二瓶：教科書は使用せず、授業内で毎回資料を配布する。

今井：今井伸編．わかるみえる社会保障論．株式会社みらい

【推薦書】二瓶：本沢巳代子、新田秀樹編著．社会保障法（2018年第12版）．信山社

その他の推薦書は授業内で示す

科目名	現代社会と福祉		
担当教員名	二瓶 さやか、吉田 亨		
ナンバリング	KKa113		
学 科	人間生活学部（K）-共通科目-地域と社会を学ぶ		
学 年	1	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

本科目は、十文字学園女子大学・ 共通科目、ディプロマ・ポリシー[十文字学]の2に該当する。

教員によるオムニバス講義。

科目の概要

現代社会が抱える福祉課題は、少子高齢化、雇用、貧困、孤立、医療、介護、子育て等、多様で深刻である。また、福祉制度を支える保健・医療・福祉サービスに対するニーズも多様化、高度化している。現代社会の福祉制度を取り巻く現状や課題、ニーズに適切に対応するための方策について学ぶことによって、一人ひとりの生活者の視点から解決の可能性について検討する。さらに、市民・社会人としての生活のリテラシーを高めることによって、現代社会における福祉を創造する力を育むことをめざす。

学修目標（=到達目標）

- ・現代社会の福祉課題について、理解する
- ・自助・共助・公助の取り組みを理解する
- ・具体的な地域において、課題を設定し、解決方法を検討する力を得る

内容

第1週（二瓶） オリエンテーション 科目のねらいと学習方法・評価を理解する

第2週（二瓶） 建学理念と現代社会における学び

第3～8週（二瓶） 地域における社会福祉制度と暮らし

社会保障制度と暮らし

高齢者の福祉（新座市で暮らす高齢者）

障害者の福祉（新座市における障がい者基本条例）

児童家庭の福祉（新座市における児童福祉政策）

生活困窮者の福祉

女性と家族の福祉

第9～14週（吉田）現代社会と保健医療福祉

地域保健(新座市保健センター)

学校保健と職域保健(新座市教育委員会)

地域医療(朝霞地区医師会)

地域福祉の理念

地域福祉の担い手(新座市社会福祉協議会)

小地域福祉活動と地域包括ケア

第15週(吉田)まとめと講評

評価

教員ごとの課題の評価(40点×2)、建学理念に関するレポート(10点)、最後のとりまとめの評価(10点)とし、その総合評価60点以上を合格とする。

【フィードバック】フィードバックシートを活用し、講義内容の理解度を評価しながら、講義をすすめる。

授業外学習

【事前準備】第1週オリエンテーションで、各教員ごとの事前学習課題を示す。指示された内容に基づき、各自予習をしておくこと(各授業に対して60分)

【事後学修】各教員の講義の終わりに発展的学習のための参考文献・資料等を示す。提示された課題について各自取り組み理解を深めること(各授業に対して60分)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】教科書は使用せず、授業内で毎回資料を提示する。

【推薦書】二瓶：本沢巳代子、新田秀樹編著．社会保障法(2018年第12版)．信山社

吉田：上野谷加代子、斉藤弥生編著．地域福祉の現状と課題．放送大学教育振興会

科目名	現代社会とグローバル化		
担当教員名	福岡 賢昌		
ナンバリング	KKa114		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 地域と社会を学ぶ		
学 年	1	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

- ・十文字学の一つ。学位授与方針2に該当する。

科目の概要

- ・様々な分野においてグローバル化が加速している。本講義では様々な分野から、現代社会の様相を理解し、グローバル化とはいったい何なのか、地域に及ぼす影響は何か、そして、私たちはこのような現代社会の中でどのように生きていけば良いのか、等について深く考え、探求していく。

学修目標 (= 到達目標)

- ・現代社会において、グローバルとローカルは相反する概念ではなく、共存するものであることを理解するとともに、現在及び将来において、変化する社会において自分が輝ける場所や立ち位置を考えるヒントとすること。

内容

講義とディスカッションを通して、現代社会の様相をグローバルな視点から理解する。

1	講義概要の説明
2	日本社会の現状について知る 1
3	日本社会の現状について知る 2
4	資本主義の未来
5	異文化コミュニケーション - 1
6	異文化コミュニケーション - 2
7	小括
8	欧州 超国家組織 (EU) の成り立ち等
9	欧州 移民問題
10	東南アジア諸国連合と日本
11	グローバル化と教育
12	今、求められる人材とは
13	グローバルリーダーシップ
14	日本文化と数字
15	総括と期末試験

評価

授業への参加度 (発言等による貢献等) <20%>、リアクションペーパー <30%>、期末試験 <50%>。60点以上を合格とする。

【フィードバック】 毎授業の最初にリアクションペーパー等に基づき前回の授業の質疑に返答し、学習理解を深められるようにする。

授業外学習

【事前準備】翌週に扱うテーマについて、関連図書、インターネット等を確認し、自分なりに整理し、意見を考えること（各授業に対して60分）

【事後学修】講義内容の復習やアサインメント等によって各自で内容理解に努めること（各授業に対して60分）

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】各教員が提示するハンドアウト。

【推薦書】各教員より授業内で指示。

【参考図書】各教員より授業内で指示。

科目名	現代社会とグローバル化		
担当教員名	福岡 賢昌		
ナンバリング	KKa114		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 地域と社会を学ぶ		
学 年	1	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

- ・十文字学の一つ。学位授与方針2に該当する。

科目の概要

・様々な分野においてグローバル化が加速している。本講義では様々な分野から、現代社会の様相を理解し、グローバル化とはいったい何なのか、地域に及ぼす影響は何か、そして、私たちはこのような現代社会の中でどのように生きていけば良いのか、等について深く考え、探求していく。

学修目標 (= 到達目標)

- ・現代社会において、グローバルとローカルは相反する概念ではなく、共存するものであることを理解するとともに、現在及び将来において、変化する社会において自分が輝ける場所や立ち位置を考えるヒントとすること。

内容

講義とディスカッションを通して、現代社会の様相をグローバルな視点から理解する。

1	講義概要の説明
2	日本社会の現状について知る 1
3	日本社会の現状について知る 2
4	資本主義の未来
5	異文化コミュニケーション - 1
6	異文化コミュニケーション - 2
7	小括
8	欧州 超国家組織 (EU) の成り立ち等
9	欧州 移民問題
10	東南アジア諸国連合と日本
11	グローバル化と教育
12	今、求められる人材とは
13	グローバルリーダーシップ
14	日本文化と数字
15	総括と期末試験

評価

授業への参加度 (発言等による貢献等) <20%>、リアクションペーパー <30%>、期末試験 <50%>。60点以上を合格とする。

【フィードバック】 毎授業の最初にリアクションペーパー等に基づき前回の授業の質疑に返答し、学習理解を深められるようにする。

授業外学習

【事前準備】翌週に扱うテーマについて、関連図書、インターネット等を確認し、自分なりに整理し、意見を考えること（各授業に対して60分）

【事後学修】講義内容の復習やアサインメント等によって各自で内容理解に努めること（各授業に対して60分）

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】各教員が提示するハンドアウト。

【推薦書】各教員より授業内で指示。

【参考図書】各教員より授業内で指示。

科目名	くらしのなかの日本国憲法		
担当教員名	片居木 英人		
ナンバリング	KKa115		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 地域と社会を学ぶ		
学 年	1	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格 / 高等学校教諭一種免許状(情報) / 高等学校教諭一種免許状(英語) / 中学校教諭一種免許状(英語) / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 栄養教諭二種免許状 / 小学校教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状(保健) / 中学校教諭一種免許状(保健) / 中学校教諭一種免許状(国語) / 高等学校教諭一種免許状(国語) / 中学校教諭一種免許状(保健体育) / 高等学校教諭一種免許状(保健体育)		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

この科目は、人権保障の根本法となる日本国憲法の理念と精神、その内容の全体像を理解していくところにねらいがある。また本学の共通科目「十文字学領域」のディプロマ・ポリシーのひとつ、「グローバル化のなかで地域を理解し、解決すべき課題と自分が参画していくことの意味をとらえることができる。」という項目に関連するものである。

科目の概要

講義では、国際女性年及び国連女性の10年が掲げた「平和・平等・発展」という理念から、またジェンダーに敏感な視点と定着の進化をみざし、国内外で生起する人権問題や憲法政治状況を具体的に取り上げ、憲法全体への理解を深めていく。

学修目標

学修目標は、憲法への問題意識をもって、主権者の一人として市民生活を営んでいくために必要な認識力・考察力・判断力を獲得していく点にある。また、新座市の人権に関する条例を学び、住民自治への理解を深める、という点にある。

内容

授業計画－授業は講義を基本とするが、毎回適宜、質疑応答を行う。

- 第1回：主権者教育としての憲法学習の意味
- 第2回：立憲的意味の憲法(立憲主義)とは何か
- 第3回：日本国憲法の三大原理 - 国民主権
- 第4回：日本国憲法の三大原理 - 基本的人権の尊重
- 第5回：日本国憲法の三大原理 - 平和主義
- 第6回：基本的人権の種類と内容 - 自由権
- 第7回：基本的人権の種類と内容 - 平等権
- 第8回：基本的人権の種類と内容 - 社会権
- 第9回：基本的人権の種類と内容 - 参政権、請求権
- 第10回：日本国憲法の構成と意味内容 - 前文、象徴天皇制、第9条と平和保障
- 第11回：日本国憲法の構成と意味内容 - 国民の権利・義務、三権分立の仕組み
- 第12回：日本国憲法の構成と意味内容 - 財政の意味と役割、地方自治
- 第13回：地域の暮らしと日本国憲法 - 新座市の人権に関する条例を学ぶ
- 第14回：憲法改正手続、憲法の最高法規性 - 憲法改正問題への視点
- 第15回：全体のまとめ

評価

中間課題レポート40点、筆記試験60点により評価を行う。総合評価60点以上を合格とする。合格点に満たない場合、

再レポートを提出してもらおう。提出された課題レポートにはコメントを付し、翌週以降授業内で返却する。

授業外学習

【事前予習】授業終了時に告げられる次回授業のテキスト箇所の通読し、要点を調べノートにまとめておく(各授業に対して30分)。

【事後学修】授業終了時に告げられる今回授業のテキスト箇所の通読・点検・復習を行い、板書した項目についてノートにまとめておく(各授業に対して30分)。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】片居木・福岡・長野・安達著『改訂新版 日本国憲法へのとびら～いま、主権者に求められること～』法律情報出版

【参考書】授業時、適宜紹介する。

科目名	くらしのなかの日本国憲法		
担当教員名	安達 宏之		
ナンバリング	KKa115		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 地域と社会を学ぶ		
学 年	1	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格 / 高等学校教諭一種免許状(情報) / 高等学校教諭一種免許状(英語) / 中学校教諭一種免許状(英語) / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 栄養教諭二種免許状 / 小学校教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状(保健) / 中学校教諭一種免許状(保健) / 中学校教諭一種免許状(国語) / 高等学校教諭一種免許状(国語) / 中学校教諭一種免許状(保健体育) / 高等学校教諭一種免許状(保健体育)		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

人権保障の根本法となる日本国憲法の理念と精神、その内容の全体像を理解する。

(学部学位授与方針 1、2、3 に該当する)

科目の概要

国内外で生起する人権問題や憲法を取り巻く政治状況を具体的に取り上げ、憲法全体への理解を深めていく。

学修目標 (= 到達目標)

日本国憲法の基本原理と概要を理解した上で、主権者の一人として市民生活を営んでいくために、自ら考える力を養う。

内容

教科書を使用した講義を基本に、課題を提起して質疑応答を織り交ぜながら、学びを深めていく。

第1回：憲法とは何か

第2回：日本国憲法の制定過程

第3回：日本国憲法の基本原理

第4回：基本的人権の種類と内容(1)

第5回：基本的人権の種類と内容(2)

第6回：基本的人権の種類と内容(3)

第7回：基本的人権の種類と内容(4)

第8回：基本的人権の種類と内容(5)

第9回：平和主義

第10回：国民主権

第11回：権力分立

第12回：財政と租税

第13回：地方自治

第14回：憲法改正

第15回：まとめ

評価

授業への参加度30%(毎回の講義において質問をするので積極的に議論に参加する)、レポート70%とし、総合評価60点以上を合格とする。

【フィードバック】授業の中で質疑応答の時間を設け、理解を深めるようにする。

授業外学習

【事前予習】授業終了時に告げられる次回授業のテキスト箇所を通読し、当該箇所の論点や自らの見解をまとめる（各回60分）。

【事後学修】今回授業のテキスト箇所を通読し直すとともに、授業内容を振り返り、当該箇所の論点や自らの見解を再確認する（各回60分）。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】片居木・福岡・長野・安達著『改訂新版 日本国憲法へのとびら～いま、主権者に求められること～』法律情報出版（2019年3月刊行予定）

科目名	くらしのなかの日本国憲法		
担当教員名	片居木 英人		
ナンバリング	KKa115		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 地域と社会を学ぶ		
学 年	1	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格 / 高等学校教諭一種免許状(情報) / 高等学校教諭一種免許状(英語) / 中学校教諭一種免許状(英語) / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 栄養教諭二種免許状 / 小学校教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状(保健) / 中学校教諭一種免許状(保健) / 中学校教諭一種免許状(国語) / 高等学校教諭一種免許状(国語) / 中学校教諭一種免許状(保健体育) / 高等学校教諭一種免許状(保健体育)		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

この科目は、人権保障の根本法となる日本国憲法の理念と精神、その内容の全体像を理解していくところにねらいがある。また本学の共通科目「十文字学領域」のディプロマ・ポリシーのひとつ、「グローバル化のなかで地域を理解し、解決すべき課題と自分が参画していくことの意味をとらえることができる。」という項目に関連するものである。

科目の概要

講義では、国際女性年及び国連女性の10年が掲げた「平和・平等・発展」という理念から、またジェンダーに敏感な視点と定着の進化を旨とし、国内外で生起する人権問題や憲法政治状況を具体的に取り上げ、憲法全体への理解を深めていく。

学修目標

学修目標は、憲法への問題意識をもって、主権者の一人として市民生活を営んでいくために必要な認識力・考察力・判断力を獲得していく点にある。また、新座市の人権に関する諸条例を学び、住民自治への理解を深める、という点にある。

内容

授業計画 - 本科目は講義を基本とするが毎回適宜、質疑応答を行う。

- 第1回：主権者教育としての憲法学習の意味
- 第2回：立憲的意味の憲法（立憲主義）とは何か
- 第3回：日本国憲法の三大原理 - 国民主権
- 第4回：日本国憲法の三大原理 - 基本的人権の尊重
- 第5回：日本国憲法の三大原理 - 平和主義
- 第6回：基本的人権の種類と内容 - 自由権
- 第7回：基本的人権の種類と内容 - 平等権
- 第8回：基本的人権の種類と内容 - 社会権
- 第9回：基本的人権の種類と内容 - 参政権、請求権
- 第10回：日本国憲法の構成と意味内容 - 前文、象徴天皇制、第9条と平和保障
- 第11回：日本国憲法の構成と意味内容 - 国民の権利・義務、三権分立の仕組み
- 第12回：日本国憲法の構成と意味内容 - 財政の意味と役割、地方自治
- 第13回：地域の暮らしと日本国憲法 - 新座市の人権に関する条例を学ぶ
- 第14回：憲法改正手続、憲法の最高法規性 - 憲法改正問題への視点
- 第15回：全体のまとめ

評価

中間課題レポート40点、筆記試験60点により評価を行う。総合評価60点以上を合格とする。合格点に満たない場合、再レポートを提出してもらおう。提出された課題レポートにはコメントを付し、翌週以降授業内で返却する。

授業外学習

【事前予習】授業終了時に告げられる次回授業のテキスト箇所の通読し、要点をノートにまとめておく(各授業に対して30分)。

【事後学修】授業終了時に告げられる今回授業のテキスト箇所の通読・点検・復習を行い、板書した項目をノートに整理しておく。(各授業に対して30分)。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】片居木・福岡・長野・安達著『改訂新版 日本国憲法へのとびら～いま、主権者に求められること～』法律情報出版

【参考書】授業時、適宜紹介する。

科目名	くらしのなかの日本国憲法		
担当教員名	安達 宏之		
ナンバリング	KKa115		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 地域と社会を学ぶ		
学 年	1	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格 / 高等学校教諭一種免許状(情報) / 高等学校教諭一種免許状(英語) / 中学校教諭一種免許状(英語) / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 栄養教諭二種免許状 / 小学校教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状(保健) / 中学校教諭一種免許状(保健) / 中学校教諭一種免許状(国語) / 高等学校教諭一種免許状(国語) / 中学校教諭一種免許状(保健体育) / 高等学校教諭一種免許状(保健体育)		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

人権保障の根本法となる日本国憲法の理念と精神、その内容の全体像を理解する。

(学部学位授与方針 1、2、3 に該当する)

科目の概要

国内外で生起する人権問題や憲法を取り巻く政治状況を具体的に取り上げ、憲法全体への理解を深めていく。

学修目標 (= 到達目標)

日本国憲法の基本原理と概要を理解した上で、主権者の一人として市民生活を営んでいくために、自ら考える力を養う。

内容

教科書を使用した講義を基本に、課題を提起して質疑応答を織り交ぜながら、学びを深めていく。

第1回：憲法とは何か

第2回：日本国憲法の制定過程

第3回：日本国憲法の基本原理

第4回：基本的人権の種類と内容(1)

第5回：基本的人権の種類と内容(2)

第6回：基本的人権の種類と内容(3)

第7回：基本的人権の種類と内容(4)

第8回：基本的人権の種類と内容(5)

第9回：平和主義

第10回：国民主権

第11回：権力分立

第12回：財政と租税

第13回：地方自治

第14回：憲法改正

第15回：まとめ

評価

授業への参加度30% (毎回の講義において質問をするので積極的に議論に参加する)、レポート70%とし、総合評価60点以上を合格とする。

【フィードバック】授業の中で質疑応答の時間を設け、理解を深めるようにする。

授業外学習

【事前予習】授業終了時に告げられる次回授業のテキスト箇所を通読し、当該箇所の論点や自らの見解をまとめる（各回60分）。

【事後学修】今回授業のテキスト箇所を通読し直すとともに、授業内容を振り返り、当該箇所の論点や自らの見解を再確認する（各回60分）。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】片居木・福岡・長野・安達著『改訂新版 日本国憲法へのとびら～いま、主権者に求められること～』法律情報出版（2019年3月刊行予定）

科目名	くらしのなかの日本国憲法		
担当教員名	川口 英俊		
ナンバリング	KKa115		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 地域と社会を学ぶ		
学 年	1	ク ラ ス	2Cクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格 / 高等学校教諭一種免許状(情報) / 高等学校教諭一種免許状(英語) / 中学校教諭一種免許状(英語) / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 栄養教諭二種免許状 / 小学校教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状(保健) / 中学校教諭一種免許状(保健) / 中学校教諭一種免許状(国語) / 高等学校教諭一種免許状(国語) / 中学校教諭一種免許状(保健体育) / 高等学校教諭一種免許状(保健体育)		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

人間生活学部の学位授与方針1, 2, 3に該当する。本科目は知的コンピテンスとしての読み解く力、書き表す力、社会的コンピテンスとしての就業観を養う力を育成するものである。

科目の概要

憲法について条文を学ぶのみでなく現実の社会において何が問題となっているか時事問題にも目を向けながら憲法について理解していく。憲法をめぐる動き・論点を踏まえつつ、憲法の基本的な内容を概観する。憲法の人権・統治機構・憲法改正の動き等とともに社会の動きと憲法との関連を学ぶ。

学修目標 (= 到達目標)

憲法の基本的知識の習得、国や社会、現在起こっていることとの関わりの理解、それらについて自分の意見を持つ。

内容

この授業は講義を基本として時事問題を映像で見たり、現代社会の問題を取り上げながら憲法の理解を深めていく。

1. オリエンテーション 日本国憲法とは
2. 憲法の歴史 欧米の憲法史、明治憲法、日本国憲法制定史
3. 国民主権-憲法前文、平和主義-憲法9条、安保体制、集团的自衛権
4. 基本的人権 幸福追求権、プライバシー権
5. 基本的人権 法の下での平等
6. 基本的人権 思想・良心の自由、信教の自由、政教分離の原則
7. 基本的人権 表現の自由、報道の自由
8. 憲法改正手続 憲法96条、硬性憲法、自民党改正草案、憲法改正の論点
9. 基本的人権 国務請求権、社会権
10. 基本的人権 財産権、人身の自由
11. 統治機構 国会、内閣、裁判所、権力分立
12. 統治機構 地方自治 地方自治、地域と自治権、予算、条例
13. 国家・政府と憲法 安全保障と憲法、安全保障関連法、憲法改正・憲法9条改正問題、世界の国家と憲法
14. 立憲主義、参政権、18歳選挙権
15. まとめ

評価

小試験(70%)、平常点(30%)の総合評価とし、総合評価60点以上を合格とする。

【フィードバック】数回行うリアクションペーパー等の次の回に疑問・意見などに回答する。

授業外学習

【事前準備】憲法に関連するニュースをフォローする。次回テーマについて基礎知識を得る。(各授業に対して30 - 60分)

【事後学修】授業の論点について自分の基礎知識・考えをまとめる。(各授業に対して30 - 60分)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

授業でレジュメ・資料などを用意する。

推薦書 芦部信喜「憲法 第六版」岩波書店、2015年

科目名	情報とネットワーク社会		
担当教員名	深澤 進		
ナンバリング	KKa116		
学 科	人間生活学部（K）-共通科目-地域と社会を学ぶ		
学 年	1	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格 / 高等学校教諭一種免許状（情報）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

この科目は人間生活学部の学位授与方針1．に該当する。

基礎的な学修能力を養うために一般的に必要な教養として、現代社会において「情報」はどのようなものを学ぶ。

科目の概要

ネットワーク社会においては、流通する情報の量が膨大なものとなっているといわれることがあるが、そもそも「情報」とは何であって、それはどのように伝達されてきたのだろうか。さまざまなメディアを多角的に検討することを通して考える。

学修目標（＝到達目標）

現代社会において、受講者それぞれが「情報」とどう関わればよいのかについて理解し、判断できるようになることを目標とする。

内容

この授業は講義を基本に進める。履修者は内容に対するリアクションペーパーを授業ごとに提出する。

1	ガイダンス
2	情報化社会とは何か
3	マーシャル・マクルーハンのメディア論
4	グローバル・ヴィレッジの概念
5	地域社会と情報メディア
6	地域社会とうわさ話
7	情報とメディアの歴史
8	新聞とネットワーク社会
9	電話とネットワーク社会
10	ラジオとネットワーク社会
11	テレビとネットワーク社会
12	インターネットとネットワーク社会
13	インターネットと情報倫理
14	情報管理とネットワーク社会
15	まとめ

評価

授業への参加度50%、筆記試験50%とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業への参加度は、授業内での発言や、提出されたリアクションペーパーの内容によって評価する。

リアクションペーパーは評価を記入後返却する。

授業外学習

【事前準備】

授業内容のテーマについて興味を持った点を、事前に調べておくことよい。（各授業に対して30分）

【事後学修】

その回の授業分のリアクションペーパーを作成すること。（各授業に対して30分）

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】

使用しない

【推薦書】

駒谷昇一・山川修・中西通雄・北上始・佐々木整・湯瀬裕昭 共著 『情報とネットワーク社会』 オーム社

【参考図書】

教室で紹介する

科目名	情報とネットワーク社会		
担当教員名	深澤 進		
ナンバリング	KKa116		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 地域と社会を学ぶ		
学 年	1	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格 / 高等学校教諭一種免許状 (情報)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

この科目は人間生活学部の学位授与方針1 . に該当する。

基礎的な学修能力を養うために一般的に必要な教養として、現代社会において「情報」はどのようなものを学ぶ。

科目の概要

ネットワーク社会においては、流通する情報の量が膨大なものとなっているといわれることがあるが、そもそも「情報」とは何であって、それはどのように伝達されてきたのだろうか。さまざまなメディアを多角的に検討することを通して考える。

学修目標 (= 到達目標)

現代社会において、受講者それぞれが「情報」とどう関わればよいのかについて理解し、判断できるようになることを目標とする。

内容

この授業は講義を基本に進める。受講者は内容に対するリアクションペーパーを授業ごとに提出する。

1	ガイダンス
2	情報化社会とは何か
3	マーシャル・マクルーハンのメディア論
4	グローバル・ヴィレッジの概念
5	地域社会と情報メディア
6	地域社会とうわさ話
7	情報とメディアの歴史
8	新聞とネットワーク社会
9	電話とネットワーク社会
10	ラジオとネットワーク社会
11	テレビとネットワーク社会
12	インターネットとネットワーク社会
13	インターネットと情報倫理
14	情報管理とネットワーク社会
15	まとめ

評価

授業への参加度50%、筆記試験50%とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業への参加度は、授業内での発言や、提出されたリアクションペーパーの内容によって評価する。

リアクションペーパーは評価を記入後返却する。

授業外学習

【事前準備】

授業内容のテーマについて興味を持った点を、事前に調べておくことよい。（各授業に対して30分）

【事後学修】

その回の授業分のリアクションペーパーを作成すること。（各授業に対して30分）

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】

使用しない

【推薦書】

駒谷昇一・山川修・中西通雄・北上始・佐々木整・湯瀬裕昭 共著 『情報とネットワーク社会』 オーム社

【参考図書】

教室で紹介する

科目名	家庭と法		
担当教員名	阿部 史		
ナンバリング	KKa105		
学 科	人間生活学部（K）-共通科目-女性の自立・生き方を学ぶ		
学 年	1	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格：

人間生活学部の学位授与方針 1， 2， 3 に該当する。

学部共通科目「十文字学」「女性の自立・生き方を学ぶ」に位置づけられる選択科目である。

女性の家庭生活および職業生活に関わる法律を取り扱います。具体的には民法家族法（親族・相続）の基礎を学び、働く女性を取り巻く環境と法律・制度との関わりについて検討する。

科目の概要：

現代の日本社会においては、個人の価値観が多様化し、それに伴い家族生活も多様化している。また、少子化・高齢化の進行、生殖補助医療の進展は今までにない新しい家族の課題が生まれている。そのような中、結婚・離婚・親子の制度的な仕組みはどのような変化が求められてきているのかを検討する。また、家庭を持ちながら働く上でライフ・ワーク・バランスという考え方も注目されてきている。女性が家庭生活と職業生活を営む上で法律の果たす機能と、課題についても考察する。

学修目標

この授業では、家族法の基礎知識の習得をし、現代の職業人が家族生活を営む上で課題をめぐる法制度状況について理解を深めることを目的とします。また、法的知識取得のみならず、適宜事例について検討し、各自が意見を書いたり、演習問題を解くことを通じて論理的思考力や課題解決力の養成も目指します。

内容

この授業は講義を基本に、時事問題、判例、画像、映像視聴を通じて、フィードバックシートの記入やレポート等を行い学びを深めてゆく。

1	家族と法律の関係（ガイダンス）
2	婚姻と法
3	婚姻と財産
4	離婚と法
5	離婚と財産と子ども
6	親子
7	内縁と認知
8	家族法の現代的問題
9	氏と戸籍
10	扶養・成年後見
11	相続 相続人と相続財産
12	相続 法定相続
13	遺言・遺留分
14	働く女性と法
15	総括

評価

提出物・受講態度（40％）、ペーパーテスト（60％）とし、総合評価60点以上を合格とする。

【フィードバック】フィードバックシートの記入後の授業では、質疑に返答し、学習理解を深められるようにする。

授業外学習

【事前予習】課題（授業中指示された課題、資料を読む等）の準備をする(30分程度)

【事後学修】学んだことを踏まえ、家族と法の課題について関心と理解を深め、考えをまとめる（60分程度）

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

資料等は適宜配布する。

【教科書】 開講時に指示

【参考書】 『家族の法[第3版]』 利谷信義（有斐閣）

『ポケット六法』（有斐閣） その他の六法も可

科目名	家庭と法		
担当教員名	佐藤 美和		
ナンバリング	KKa105		
学 科	人間生活学部（K）-共通科目-女性の自立・生き方を学ぶ		
学 年	1	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

人間生活学部の学位授与方針 1、2、3 に該当する。

学部共通科目「十文字学」「女性の自立・生き方を学ぶ」に位置づけられる選択科目である。

女性の家庭生活と職業生活に関わる法律や制度について学びます。

科目の概要

女性の家庭生活と職業生活に関わる法律や制度の基礎について学んだ上で、自らの生活/人生と法がどのように関わっているのか考えていきます。また、女性と法をめぐる諸問題や現代的課題についてジェンダー視点から検討します。

学修目標

1. 女性が家庭生活と職業生活を営む上で必要とされる法的基礎知識を習得する。
2. 事例の検討等を通して、文章を読解し、論理的に思考し、自分の意見を書いたり発表したりする力を習得する。
3. 家庭と法をめぐる諸問題をジェンダー視点から検討できる。

内容

この授業は講義を基本に、映像視聴、グループワーク（クラス規模に応じて）を取り入れながら、学びを深めていく。

1	ガイダンス：受講にあたっての説明、法の基礎知識、家庭と法の関係
2	ジェンダー視点からみる憲法：女性と人権
3	ジェンダー視点からみる憲法：日本国憲法と両性の平等
4	家族と法：婚姻、婚姻の解消
5	家族と法：出生と親子関係
6	家族と法：死亡と相続
7	ジェンダー視点からみる民法：家族法と両性の平等
8	ジェンダー視点からみる民法：【判例】選択的夫婦別姓制度
9	DV防止法
10	LGBTと法
11	働く女性と法：性別役割分業と働く女性
12	働く女性と法：男女雇用機会均等法
13	働く女性と法：女性活躍推進法などの取り組み
14	筆記テストと解説
15	まとめとフィードバック

評価

平常点（毎回のリアクションペーパー、受講態度等）30%、筆記テスト70%とし、総合評価60点以上を合格とする。

【フィードバック】前回授業のリアクションペーパーに対して回答やコメントをし、理解を深められるようにする。

授業外学習

【事前準備】授業内で指示された課題（資料を読む、意見をまとめてくる等）に取り組む。(60分程度)

【事後学修】配布資料やノートを整理し、理解した内容を踏まえて自分なりの考えをまとめる。(60分程度)

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書は指定せず、スライド資料、参考資料を適宜配布する。

【推薦書】 谷口洋幸・綾部六郎・池田弘乃編『セクシュアリティと法』法律文化社、2017年

二宮周平『家族法』（第5版）新世社、2019年

三成美保・笹沼朋子・立石直子・谷田川知恵『ジェンダー法学入門』（第3版）法律文化社、2019年

【参考図書】

山下泰子・辻村みよ子・浅倉むつ子・二宮周平・戒能民江編『ジェンダー六法』（第2版）信山社、2015年 その他
の小型六法も可

科目名	キャリアデザインとライフプラン		
担当教員名	大友 由紀子、松本 晃子		
ナンバリング	KKa106		
学 科	人間生活学部（K）-共通科目-女性の自立・生き方を学ぶ		
学 年	1	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

学部の学位授与方針1.2.3.に該当する。

全学共通科目「十文字学」の「女性の自立・生き方を学ぶ」のうち、選択必修科目。

科目の概要

女性が働くことの意味や目的を考えるとともに、自分自身のライフプランを設計する。結婚、出産、育児などの家庭生活と仕事をどう捉えていきたいか。将来を見据えた自己分析を通して、自らのキャリアデザインを考える。統計情報から働く女性の動向を把握するとともに、ポジティブ・アクションや仕事と家庭の両立支援といった女性の活躍を推進する政策、女性労働に関する法的な変遷を学習した上で、固定観念に囚われない自分らしい職業選択について考える。

学修目標

変化する社会の中で意識や制度も大きく変わっている。女性も男性も、社会的・文化的性差（ジェンダー）にとらわれない多様な生き方が現れ始めている。それを可能とする考え方、新たな制度の成立などを知ること、今後社会で活躍する自己イメージを明確にし、自信を持って積極的に社会参加できるよう、自己決定力を高めることをめざす。

内容

第1回から第8回まではワークシートを取り入れた講義形式で、第9回から第15回まではディスカッション形式を取り入れながら学びを深めていく。

1	（大友・松本）オリエンテーション、科目と担当の紹介、十文字こと先生のアニメビデオ視聴
2	（大友）十文字こと先生の生き方に学ぶ
3	（大友）女性のライフコース・パターン
4	（大友）女性のライフイベント（1）- 配偶者選択と結婚
5	（大友）女性のライフイベント（2）- 妊娠と出産
6	（大友）夫婦のパートナーシップ
7	（大友）高齢化とジェンダー
8	（大友）ライフプラン総括
9	（松本）働くこととは - 働き方の選択肢について考える
10	（松本）女性の能力を生かすこととは - ウーマノミクスを考える
11	（松本）自らをマネジメントする - 意思決定のための基礎知識
12	（松本）優れたコミュニケーションと女性のリーダーシップ
13	（松本）人生をマネジメントする - 働く女性と法律・政策
14	（松本）自己実現への挑戦
15	（松本）キャリアデザイン総括

評価

ライフプランを総括する筆記試験40点、キャリアデザインを総括する筆記試験40点、15回を通じての受講態度20点

、合計100点として、60点以上を合格とする。授業時の課題は、コメントして次週以降の授業でフィードバックする。

授業外学習

【事前予習】配布冊子『夢の実現と未来へ』『建学理念の作文コンクール入賞作品』を読み、建学理念の理解に基づき、自身のライフプランとキャリアデザインを整理する（各授業に対して30分）。

【事後学修】授業時に紹介された推薦書・参考図書と返却された課題を使って学びを深める（各授業に対して30分）。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【推薦書】

内閣府（2018）『男女共同参画白書 平成30年版』。

内閣府（2018）『平成30年版 少子化社会対策白書』。

P・F Drucker、上田惇夫訳（2000）『プロフェッショナルの条件』ダイヤモンド社。

青木幸弘、女性のライフコース研究会編（2008）『ライフコース・マーケティング』日本経済新聞社。

科目名	キャリアデザインとライフプラン		
担当教員名	大友 由紀子、松本 晃子		
ナンバリング	KKa106		
学 科	人間生活学部（K）-共通科目-女性の自立・生き方を学ぶ		
学 年	1	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

学部の学位授与方針1.2.3.に該当する。

全学共通科目「十文字学」の「女性の自立・生き方を学ぶ」のうち、選択必修科目。

科目の概要

女性が働くことの意味や目的を考えるとともに、自分自身のライフプランを設計する。結婚、出産、育児などの家庭生活と仕事をどう捉えていきたいか。将来を見据えた自己分析を通して、自らのキャリアデザインを考える。統計情報から働く女性の動向を把握するとともに、ポジティブ・アクションや仕事と家庭の両立支援といった女性の活躍を推進する政策、女性労働に関する法的な変遷を学習した上で、固定観念に囚われない自分らしい職業選択について考える。

学修目標

変化する社会の中で意識や制度も大きく変わっている。女性も男性も、社会的・文化的性差（ジェンダー）にとらわれない多様な生き方が現れ始めている。それを可能とする考え方、新たな制度の成立などを知ること、今後社会で活躍する自己イメージを明確にし、自信を持って積極的に社会参加できるよう、自己決定力を高めることをめざす。

内容

第1回から第8回まではワークシートを取り入れた講義形式で、第9回から第15回まではディスカッション形式を取り入れながら学びを深めていく。

1	（大友・松本）オリエンテーション、科目と担当の紹介、十文字こと先生のアニメビデオ視聴
2	（大友）十文字こと先生の生き方に学ぶ
3	（大友）女性のライフコース・パターン
4	（大友）女性のライフイベント（1）- 配偶者選択と結婚
5	（大友）女性のライフイベント（2）- 妊娠と出産
6	（大友）夫婦のパートナーシップ
7	（大友）高齢化とジェンダー
8	（大友）ライフプラン総括
9	（松本）働くこととは - 働き方の選択肢について考える
10	（松本）女性の能力を生かすこととは - ウーマノミクスを考える
11	（松本）自らをマネジメントする - 意思決定のための基礎知識
12	（松本）優れたコミュニケーションと女性のリーダーシップ
13	（松本）人生をマネジメントする - 働く女性と法律・政策
14	（松本）自己実現への挑戦
15	（松本）キャリアデザイン総括

評価

ライフプランを総括する筆記試験40点、キャリアデザインを総括する筆記試験40点、15回を通じての受講態度20点

、合計100点として、60点以上を合格とする。授業時の課題は、コメントして次週以降の授業でフィードバックする。

授業外学習

【事前予習】配布冊子『夢の実現と未来へ』『建学理念の作文コンクール入賞作品』を読み、建学理念の理解に基づき、自身のライフプランとキャリアデザインを整理する（各授業に対して30分）。

【事後学修】授業時に紹介された推薦書・参考図書と返却された課題を使って学びを深める（各授業に対して30分）。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【推薦書】

内閣府（2018）『男女共同参画白書 平成30年版』。

内閣府（2018）『平成30年版 少子化社会対策白書』。

P・F Drucker、上田惇夫訳（2000）『プロフェッショナルの条件』ダイヤモンド社。

青木幸弘、女性のライフコース研究会編（2008）『ライフコース・マーケティング』日本経済新聞社。

科目名	子育てと環境		
担当教員名	鈴木 晴子、山田 陽子、長田 瑞恵、近藤 有紀子		
ナンバリング	KKa107		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 女性の自立・生き方を学ぶ		
学 年	1	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

本科目は、人間生活学部の学位授与方針[十文字学]の1、2に該当する。

全学共通科目「女性の自立・生き方を学ぶ」の1科目で選択必修科目であり、現代社会における女性の生き方と地域との共生、社会課題について取り扱う。

科目の概要

現代女性の優れたモデルである本学園創設者「十文字こと」先生の生き方を理解した上で、現代における「子育てと環境」について、「子どもでいること」・「親になること」・「地域で育つこと」の視点から学ぶ。

学修目標 (=到達目標)

子育ては、新たな発見や予測しない問題に直面することの連続である。少子化社会において、次世代を育成する子育てについて考えることは、重要な課題であり、様々な議論が展開されている。本来、子育ては楽しく充実した営みである。しかし、現実には直面する課題や問題が多く、必ずしも子育てを楽しんでいるとは言えない場合も少なくない。そこで、子育てを楽しみ、充実させるために必要な視点について学び、豊かな子育てとは何かを考える。

内容

この授業は講義を基本に、グループワークやディスカッションを取り入れながら学びを深めていく。

1	「子育てと環境」に関するイントロダクション (山田・長田・鈴木・近藤)
2	十文字学園創設者「十文字こと」先生の建学の精神及び先生の生涯や生き方を学ぶ (山田)
3	十文字学園創設者「十文字こと」先生の建学の精神や生き方を学んだことを通して (山田)
4	子どもの表情および共に生きる大人たちの表情 (山田)
5	親になること (長田)
6	親になること (長田)
7	親になること (長田)
8	子どもでいること (近藤)
9	子どもでいること (近藤)
10	子どもでいること (近藤)
11	子どもでいること (近藤)
12	地域で育つこと (鈴木)
13	地域で育つこと (鈴木)
14	地域で育つこと (鈴木)
15	まとめ (鈴木・近藤)

評価

各回の振り返りレポート20%、授業課題等による授業への参加度・意欲20%、レポート課題60%とし、総合評価60点以上を合格とする。

[フィードバック] フィードバックシートを活用し、次回の授業開始時にフィードバックを行ったり、講義内容に反映させていく。授業課題に関するフィードバックは実施後行う。

授業外学習

【事前準備】第1週オリエンテーションで、各教員ごとの講義内容を具体的に説明し、それに基づいた事前学習課題を示す。各授業に対して1時間半程度行う。

【事後学修】授業ノートをもとにその日の授業を振り返り、要点を押さえる。また、関連する文献や社会的事象を調べ、現代社会と子育て環境を捉える。各授業に対して2時間半程度行う。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

テーマごとに各担当教員が資料を配布、紹介する。

科目名	子育てと環境		
担当教員名	鈴木 晴子、長田 瑞恵、山田 陽子、近藤 有紀子		
ナンバリング	KKa107		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 女性の自立・生き方を学ぶ		
学 年	1	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

本科目は、人間生活学部の学位授与方針[十文字学]の1、2に該当する。

全学共通科目「女性の自立・生き方を学ぶ」の1科目で選択必修科目であり、現代社会における女性の生き方と地域との共生、社会課題について取り扱う。

科目の概要

現代女性の優れたモデルである本学園創設者「十文字こと」先生の生き方を理解した上で、現代における「子育てと環境」について、「子どもでいること」・「親になること」・「地域で育つこと」の視点から学ぶ。

学修目標 (= 到達目標)

子育ては、新たな発見や予測しない問題に直面することの連続である。少子化社会において、次世代を育成する子育てについて考えることは、重要な課題であり、様々な議論が展開されている。本来、子育ては楽しく充実した営みである。しかし、現実には直面する課題や問題が多く、必ずしも子育てを楽しんでいるとは言えない場合も少なくない。そこで、子育てを楽しみ、充実させるために必要な視点について学び、豊かな子育てとは何かを考える。

内容

この授業は講義を基本に、グループワークやディスカッションを取り入れながら学びを深めていく。

1	「子育てと環境」に関するイントロダクション (山田・長田・鈴木・近藤)
2	十文字学園創設者「十文字こと」先生の建学の精神及び先生の生涯や生き方を学ぶ (山田)
3	十文字学園創設者「十文字こと」先生の建学の精神や生き方を学んだことを通して (山田)
4	子どもの表情および共に生きる大人たちの表情 (山田)
5	親になること (長田)
6	親になること (長田)
7	親になること (長田)
8	子どもでいること (近藤)
9	子どもでいること (近藤)
10	子どもでいること (近藤)
11	子どもでいること (近藤)
12	地域で育つこと (鈴木)
13	地域で育つこと (鈴木)
14	地域で育つこと (鈴木)
15	まとめ (鈴木・近藤)

評価

各回の振り返りレポート20%、授業課題等による授業への参加度・意欲20%、レポート課題60%とし、総合評価60点以上を合格とする。

[フィードバック] フィードバックシートを活用し、次回の授業開始時にフィードバックを行ったり、講義内容に反映させていく。授業課題に関するフィードバックは実施後行う。

授業外学習

【事前準備】第1週オリエンテーションで、各教員ごとの講義内容を具体的に説明し、それに基づいた事前学習課題を示す。各授業に対して1時間半程度行う。

【事後学修】授業ノートをもとにその日の授業を振り返り、要点を押さえる。また、関連する文献や社会的事象を調べ、現代社会と子育て環境を捉える。各授業に対して2時間半程度行う。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

テーマごとに各担当教員が資料を配布、紹介する。

科目名	食の科学		
担当教員名	小長井 ちづる、山崎 優子		
ナンバリング	KKa108		
学 科	人間生活学部（K）-共通科目-女性の自立・生き方を学ぶ		
学 年	1	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

本科目は、人間生活学部の学位授与方針の1,2,3に該当する。

共通科目「女性の自立・生き方を学ぶ」分野の一つであり、選択科目である。

科目の概要

食に関わる様々な事柄を科学的な視点により話題提供し、女性の自立・生き方のヒントとなるように皆で学び、考える。

学修目標（＝到達目標）

1. 健康な体づくりのための望ましい栄養や食事のあり方を理解し、適切な食の選択に関する知識を修得する。
2. 食を科学的知見から捉えることができるようになる。
3. 食と栄養科学の関係について捉えることができる。
4. 健康食品を安全・安心に利用するために、エビデンス情報を適切に判断する力を身につける。

内容

この授業は講義を基本に、ワークシートやディスカッションを取りいれながら、学びを深めていく。

1	オリエンテーション（山崎・小長井）
2	栄養と健康の科学 栄養と食事（山崎）
3	栄養と健康の科学 栄養と食事（山崎）
4	栄養と健康の科学 ライフステージの栄養（山崎）
5	栄養と健康の科学 ライフステージの栄養（山崎）
6	栄養と健康の科学 健康食品の正しい利用（山崎）
7	栄養と健康の科学 健康食品の安全性と有効性（山崎）
8	栄養と健康の科学 まとめ（山崎）
9	食品と調理の科学 食品の種類と性質（小長井）
10	食品と調理の科学 食品の種類と性質（小長井）
11	食品と調理の科学 調理と食品成分の変化（小長井）
12	食品と調理の科学 調理と食品成分の変化（小長井）
13	食品と調理の科学 食品成分とおいしさ（小長井）
14	食品と調理の科学 食の安全性（小長井）
15	食品と調理の科学 まとめ（小長井）

評価

担当ごとによる振り返りシートによる評価40点、全体を通した平常点10点、最終レポート50点とし、総合評価60点以上を合格とする。

【フィードバック】毎回の授業の最初に、前回授業の質疑に返答し、学習理解を深められるようにする。授業時の課題にはコメントを付して、次週以降の授業でフィードバックする。

授業外学習

【事前準備】各授業テーマに関することについて調べ、自身の経験や意見をまとめておく（各授業に対して60分）。

【事後学修】毎回の授業を振り返り、さらに必要な情報を収集して復習ノートをまとめる（各授業に対して60分）。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】教科書は使用せず、適宜資料を配布する。

【推薦書・参考図書】授業内で紹介する。

科目名	食の科学		
担当教員名	小長井 ちづる、山崎 優子		
ナンバリング	KKa108		
学 科	人間生活学部（K）-共通科目-女性の自立・生き方を学ぶ		
学 年	1	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

本科目は、人間生活学部の学位授与方針の1,2,3に該当する。

共通科目「女性の自立・生き方を学ぶ」分野の一つであり、選択科目である。

科目の概要

食に関わる様々な事柄を科学的な視点により話題提供し、女性の自立・生き方のヒントとなるように皆で学び、考える。

学修目標（＝到達目標）

1. 健康な体づくりのための望ましい栄養や食事のあり方を理解し、適切な食の選択に関する知識を修得する。
2. 食を科学的知見から捉えることができるようになる。
3. 食と栄養科学の関係について捉えることができる。
4. 健康食品を安全・安心に利用するために、エビデンス情報を適切に判断する力を身につける。

内容

この授業は講義を基本に、ワークシートやディスカッションを取りいれながら、学びを深めていく。

1	オリエンテーション（山崎・小長井）
2	栄養と健康の科学 栄養と食事（山崎）
3	栄養と健康の科学 栄養と食事（山崎）
4	栄養と健康の科学 ライフステージの栄養（山崎）
5	栄養と健康の科学 ライフステージの栄養（山崎）
6	栄養と健康の科学 健康食品の正しい利用（山崎）
7	栄養と健康の科学 健康食品の安全性と有効性（山崎）
8	栄養と健康の科学 まとめ（山崎）
9	食品と調理の科学 食品の種類と性質（小長井）
10	食品と調理の科学 食品の種類と性質（小長井）
11	食品と調理の科学 調理と食品成分の変化（小長井）
12	食品と調理の科学 調理と食品成分の変化（小長井）
13	食品と調理の科学 食品成分とおいしさ（小長井）
14	食品と調理の科学 食の安全性（小長井）
15	食品と調理の科学 まとめ（小長井）

評価

担当ごとによる振り返りシートによる評価40点、全体を通した平常点10点、最終レポート50点とし、総合評価60点以上を合格とする。

【フィードバック】毎回の授業の最初に、前回授業の質疑に返答し、学習理解を深められるようにする。授業時の課題にはコメントを付して、次週以降の授業でフィードバックする。

授業外学習

【事前準備】各授業テーマに関することについて調べ、自身の経験や意見をまとめておく（各授業に対して60分）。

【事後学修】毎回の授業を振り返り、さらに必要な情報を収集して復習ノートをまとめる（各授業に対して60分）。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】教科書は使用せず、適宜資料を配布する。

【推薦書・参考図書】授業内で紹介する。

科目名	女性と健康		
担当教員名	齋藤 麗子、徳野 裕子、布施 晴美		
ナンバリング	KKa109		
学 科	人間生活学部（K）-共通科目-女性の自立・生き方を学ぶ		
学 年	1	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

人生100年時代と言われる中で女性の平均寿命はさらに延びている。しかし、健康で自立している健康寿命はそれほど延びているとは言えない。健康寿命を延ばすには若い時からの生活習慣や健康に関する知識が重要となる。女子学生が大学生活の中で健康的な自立した大人の女性になるためと、将来の家族の健康を守るための健康知識を取得する。

科目の概要

講師が医師、保健師、栄養士それぞれの立場から女性の生涯にわたる健康維持に関する問題について、話題提供を教科書をもとに毎行い、多くの映像資料を参考に皆で考えていく。

学修目標（=到達目標）

自分の健康は自分で守り、さらに将来の職業人として、また家庭人として正しい健康維持に関する知識を習得し、実践し、さらに周囲の人々や次世代へも伝えられるようになる。

内容	
1	健康寿命を伸ばす為の生活習慣。皮膚の清潔とスキンケア（齋藤）
2	女性に多い骨粗しょう症予防（齋藤）
3	食中毒から身を守るために（齋藤）
4	食べるということは（徳野）
5	健康を維持するための食について（徳野）
6	女性に多い病気の予防のための食について（徳野）
7	喫煙の女性や次世代への影響（齋藤）
8	受動喫煙の無い社会とは（齋藤）
9	女性ホルモンと月経（布施）
10	女性の体と妊娠・出産（布施）
11	婦人科の病気（布施）
12	アルコールとの付き合い方（齋藤）
13	おしゃれ障害について（齋藤）
14	性感染症の予防（齋藤）
15	まとめの発表会（齋藤・徳野・布施）

評価

毎回の終了時の小問題または振り返りの感想文と出席回数を加味して評価し、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】事前に提示される教科書の項目を読む

【事後学修】毎回の授業ののちの振り返りのレポート提出と教科書の項目の理解

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】東京教学社発行「女性と健康」が必携となり、授業でも教科書に基づき質問する。

【推薦書】授業内で指示

【参考図書】授業内で指示

科目名	女性と健康		
担当教員名	齋藤 麗子、徳野 裕子、布施 晴美		
ナンバリング	KKa109		
学 科	人間生活学部（K）-共通科目-女性の自立・生き方を学ぶ		
学 年	1	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

人生100年時代と言われる中で女性の平均寿命はさらに延びている。しかし、健康で自立している健康寿命はそれほど延びているとは言えない。健康寿命を延ばすには若い時からの生活習慣や健康に関する知識が重要となる。女子学生が大学生活の中で健康的な大人の女性になるためと、将来の家族の健康を守るための健康知識を取得する。

科目の概要

講師が医師、保健師、栄養士それぞれの立場から生涯にわたる女性の健康維持に関する問題提起と話題提供を毎回行い、多くの映像資料を参考に皆で考えていく。

学修目標（=到達目標）

自分の健康は自分で守り、さらに将来の職業人として、また家庭人として正しい健康維持に関する知識を習得し、実践し、周囲の人や次世代へも伝えることができるようにする。

内容	
1	健康寿命を伸ばす為の生活習慣。皮膚の清潔とスキンケア（齋藤）
2	女性に多い骨粗しょう症予防（齋藤）
3	食中毒から身を守るために（齋藤）
4	食べるということは（徳野）
5	健康を維持するための食について（徳野）
6	女性に多い病気の予防のための食について（徳野）
7	喫煙の女性や次世代への影響（齋藤）
8	受動喫煙の無い社会とは（齋藤）
9	女性ホルモンと月経（布施）
10	女性の体と妊娠・出産（布施）
11	婦人科の病気（布施）
12	アルコールとの付き合い方（齋藤）
13	おしゃれ障害について（齋藤）
14	性感染症の予防（齋藤）
15	まとめの発表会（齋藤・徳野・布施）

評価

毎回の終了時の小問題または振り返りの感想文と出席回数などで評価し、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】事前に提示される教科書の項目を読む

【事後学修】毎回の振り返りのレポート提出と教科書の項目を読み込む。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】東京教学社発行「女性と健康」が必携となり、教科書をもとに授業の中で質問することもある。

【推薦書】授業内で指示

【参考図書】授業内で指示

科目名	女性と文化		
担当教員名	好本 恵		
ナンバリング	KKa110		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 女性の自立・生き方を学ぶ		
学 年	1	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

共通科目 「女性の自立・生き方を学ぶ」の1科目

科目の概要

文芸文化の歴史の中で、女性たちはことばを使って自分を表現しようと努力を重ねてきた。表現の自由を奪われ、逆境の中にあっても、ことばの力を信じて才能を開花させてきた。そして放送や映像の世界には、生活者としての逞しさとしなやかさを活かし、作品作りに関わってきたパイオニアたちがいる。彼女たちの仕事や作品を取り上げ、その足跡をたどる。外部講師を招くこともあるので、積極的な学生の参加を希望する。人数制限があり、抽選などが行われる可能性もある。

学修目標

女性が社会で働くことがまれな時代から、ことばの力で活躍の場を広げてきた女性たちの魅力的な作品を味わう。さらにその仕事の喜びや苦労を実感することによって、何があっても自分で判断し、学ぶことを楽しむ姿勢を身につける。自分の専門分野だけでなく、さまざまな文化活動に関心を持つきっかけとする。

内容

1	オリエンテーション
2	極限状態の中で生まれた文学...アンネ・フランク
3	短歌で訴える...与謝野晶子
4	女子教育のパイオニア
5	豊かな暮らしを提案する...阿部なを・大橋鎮子
6	逆境の中で生まれた童謡...金子みすゞ
7	詩の中に描かれる自立...茨木のり子ほか
8	母の視点で描かれた作品たち...いわさきちひろとターシャ・チューダー
9	詩の中に描かれる葛藤...永瀬清子ほか
10	独自の世界を切り開く女性監督...河瀬直美ほか
11	映画「天のしずく」鑑賞
12	食と文化～食生活ジャーナリストに聞く
13	ことばを超えて...編集者・翻訳家
14	悩める人々に寄り添う...神谷美恵子ほか
15	まとめ

評価

ミニレポート(40%) 学期末レポート(40%) 授業への取り組み(20%) などから判断し、合計60点以上を合格と

する。

授業外学習

【事前準備】事前に配布したプリントや推薦した本を読む。

【事後学修】授業中に紹介した資料などを読み、考察を深める。レポートなどの課題に取り組む。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】教科書は使わない。プリントを配布する。

【推薦書】授業中に紹介する。

科目名	女性と文化		
担当教員名	加藤 暁子		
ナンバリング	KKa110		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 女性の自立・生き方を学ぶ		
学 年	1	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

人間生活学部の学位授与の方針3に該当する。

共通科目「女性の自立・生き方を学ぶ」の1科目で、日本の芸術文化を代表する「歌舞伎」と「宝塚歌劇」をとりあげて、“女性”を軸に女性の生き方と舞台芸術を学ぶ。

科目の概要

歌舞伎は江戸時代に誕生し400年かけて発達してきた。一方、宝塚歌劇は105年と歴史は浅いが、ともに日本を代表する舞台芸術として発展してきた。男性が演じる歌舞伎の女形、女性が演じる宝塚の男役と娘役、それぞれの舞台における“女性像”について考察していく。

学修目標(=到達目標)

庶民がかぶくことを娯楽としていた江戸時代には、まだ女性が舞台に立つことはありませんでした。それから300年の時を経て、女性だけの劇団が誕生し総合芸術に成長していきます。歌舞伎にしても宝塚歌劇にしても、たゆまぬ努力の上に“美”を追求する姿勢から成り立っています。それぞれの役者が楽しみつつ“芸事”に向かう強い姿勢から、学生として学ぶ心得に置き換えて考えてもらえたらと思います。

内容

この授業は、講義形式を軸に映像を取り上げながら、学びを深めていく。

1	オリエンテーション (本科目の概要) 歌舞伎と宝塚の歴史とその背景
2	歌舞伎とは
3	江戸時代から引き継がれた歌舞伎十八番
4	歌舞伎の女形あれこれ 『鶯娘』と『三番叟』
5	明治の女性の生き方 『巴白波』
6	大正の女性の生き方 『歌舞伎の基礎』
7	昭和の女性の生き方 『歌舞伎の裏方』
8	女性教育の変遷
9	十文字学園の歴史 「十文字こと先生」
10	芸事とは 宝塚歌劇とは
11	格好いい男役・かわいい娘役 の創り方
12	歌劇から世界史・日本史を学ぶ
13	ヨーロッパと日本の衣服の変遷
14	創始者小林一三「〇〇がないから出来ないという奴は、〇〇があってもできない。」
15	まとめ

評価

全授業の中でほぼ毎回のリアクションペーパー（50%）、授業に取り組む姿勢と内容点（50%）の総合評価60点以上を合格とする。

【フィードバック】提出されたリアクションペーパーに、必要に応じコメントを記載し翌々週以降の授業内で返却する。また、毎授業の最初に前回の質疑に返答し、学習理解を深められるようにする。

授業外学習

【事前準備】配布された、次回の授業で扱う舞台作品の内容をプリントに目を通し、キーワードを調べる。（40分）

【事後学修】ノートを見返して、作品の特徴などについて見直しておき、興味を持った内容やわからないことは調べる。資料を探し理解を深める。（各授業に対し60分）

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】教科書は使用せず、授業使用パワーポイント資料を配布する。

【参考図書】授業内で提示及び指示する

科目名	情報処理演習		
担当教員名	角田 真二		
ナンバリング	KKd144		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 情報処理演習		
学 年	1	ク ラ ス	FAクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*, 選必
授 業 形 態		単 位 数	1
資 格 関 係	保育士資格 / 上級情報処理士 / ウェブデザイン実務士 / 高等学校教諭一種免許状 (情報) / 高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語) / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 栄養教諭二種免許状 / 小学校教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (国語) / 高等学校教諭一種免許状 (国語) / 中学校教諭一種免許状 (保健体育) / 高等学校教諭一種免許状 (保健体育)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

学部学位授与方針 1 . 2 . 3 に該当する。ディプロマポリシー情報処理基礎 1 に該当する。問題解決の手段や、表現方法を情報機器で具体化・具現化することができる。

本科目は、学部共通科目の科目区分「情報処理基礎」の科目の一つであり、基本的な情報機器の操作技能を修得する。

科目の概要

コンピュータを日常的に利用する習慣を形成するとともに、情報の収集・処理・発信に必要な基礎的知識や態度を身につける。主にコンピュータ操作、インターネット活用、日本語文書処理ソフト、プレゼンテーションソフトの操作方法について学習する。

学修目標= (到達目標)

学内の情報環境を理解し、利用できる。

電子メール等、インターネットを活用することができる。

文書作成機能を使ってビジネス文書やレポート・論文を作成することができる。

プレゼンテーション資料を作成することができる。

表計算ソフトを使って基礎的な集計表およびグラフを作成することができる。かつ基礎的なデータ分析を行うことができる。

。

内容	
1	オリエンテーション、コンピュータ操作の基礎、学内の情報環境と利用方法
2	電子メールとウェブサイトなどネットワーク利用時の注意
3	ワープロソフトの基本操作 1 (文書の作成と管理)
4	ワープロソフトの基本操作 2 (文書の編集機能 表作成)
5	ワープロソフトの基本操作 3 (文書の編集機能 レイアウト)
6	ワープロソフトの基本操作 4 (文書の編集機能 図形の描画)
7	プレゼンテーションソフトの基本操作 (プレゼンテーション資料の作成)
8	プレゼンテーションソフトの応用操作 (効果的なプレゼンテーション資料の作成)
9	プレゼンテーションの実施
10	表計算ソフトの特長 (数の表現等)
11	表計算ソフトの基本操作 1 (ささまざまな計算)
12	表計算ソフトの基本操作 2 (グラフ表現)
13	表計算ソフトの基本操作 3 (データ分析)
14	総合課題演習 1 (レポート作成)
15	まとめ

評価

評価 テーマ毎に演習課題（10回程度）を提出する。その内容を総合評価とし、60点以上を合格とする。

フィードバック 提出されたレポートの中で、優れたレポートのどこの部分が優れているのか具体的にコメントし、参考にしよう。

授業外学習

事前学習 事前に教科書に目を通し、各回のキーワードについて調べ、A4：1枚にまとめる。（各授業に対して60分）

事後学習 授業で取り扱った事柄を確かなサイトのホームページで調べ確認する、練習問題に取り組む、ことにより学習内容をしっかり身に付ける。（各授業に対して60分）

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】授業開始時に指示

【参考図書】平成30年度 学習サポートの手引き 図書館／情報センター／コンピュータ演習室の使い方(仮)

科目名	情報処理演習		
担当教員名	北原 俊一		
ナンバリング	KKd144		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 情報処理演習		
学 年	1	ク ラ ス	FBクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*, 選必
授 業 形 態		単 位 数	1
資 格 関 係	保育士資格 / 上級情報処理士 / ウェブデザイン実務士 / 高等学校教諭一種免許状(情報) / 高等学校教諭一種免許状(英語) / 中学校教諭一種免許状(英語) / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 栄養教諭二種免許状 / 小学校教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状(保健) / 中学校教諭一種免許状(保健) / 中学校教諭一種免許状(国語) / 高等学校教諭一種免許状(国語) / 中学校教諭一種免許状(保健体育) / 高等学校教諭一種免許状(保健体育)		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

学部学位授与方針 1 . 2 . 3 に該当する。ディプロマポリシー情報処理基礎 1 に該当する。問題解決の手段や、表現方法を情報機器で具体化・具現化することができる。

本科目は、学部共通科目の科目区分「情報処理基礎」の科目の一つであり、基本的な情報機器の操作技能を修得する。

科目の概要

コンピュータを日常的に利用する習慣を形成するとともに、情報の収集・処理・発信に必要な基礎的知識や態度を身につける。主にコンピュータ操作、インターネット活用、日本語文書処理ソフト、プレゼンテーションソフトの操作方法について学習する。

学修目標=(到達目標)

学内の情報環境を理解し、利用できる。

電子メール等、インターネットを活用することができる。

文書作成機能を使ってビジネス文書やレポート・論文を作成することができる。

プレゼンテーション資料を作成することができる。

表計算ソフトを使って基礎的な集計表およびグラフを作成することができる。かつ基礎的なデータ分析を行うことができる。

内容

1	オリエンテーション、コンピュータ操作の基礎、学内の情報環境と利用方法
2	電子メールとウェブサイトなどネットワーク利用時の注意
3	ワープロソフトの基本操作 1 (文書の作成と管理)
4	ワープロソフトの基本操作 2 (文書の編集機能 表作成)
5	ワープロソフトの基本操作 3 (文書の編集機能 レイアウト)
6	ワープロソフトの基本操作 4 (文書の編集機能 図形の描画)
7	プレゼンテーションソフトの基本操作 (プレゼンテーション資料の作成)
8	プレゼンテーションソフトの応用操作 (効果的なプレゼンテーション資料の作成)
9	プレゼンテーションの実施
10	表計算ソフトの特長 (数の表現等)
11	表計算ソフトの基本操作 1 (さまざまな計算)
12	表計算ソフトの基本操作 2 (グラフ表現)
13	表計算ソフトの基本操作 3 (データ分析)
14	総合課題演習 1 (レポート作成)
15	まとめ

評価

テーマ毎に演習課題（10回程度）を提出する．その内容を総合評価とし，60点以上を合格とする．

【フィードバック】提出されたレポートの中で，優れたレポートのどこの部分が優れているのか具体的にコメントし，参考にしてもらう．

授業外学習

【事前予習】事前に教科書に目を通し，各回のキーワードについて調べ、A4：1枚にまとめる。（各授業に対して60分）

【事後学修】授業で取り扱った事柄を確かなサイトのホームページで調べ確認する、練習問題に取り組むことにより学習内容をしっかり身に付ける．（各授業に対して60分）

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】授業開始時に指示

【参考図書】平成30年度 学習サポートの手引き 図書館／情報センター／コンピュータ演習室の使い方(仮)

科目名	情報処理演習		
担当教員名	北原 俊一		
ナンバリング	KKd144		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 情報処理演習		
学 年	1	ク ラ ス	DAクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*, 選必
授 業 形 態		単 位 数	1
資 格 関 係	保育士資格 / 上級情報処理士 / ウェブデザイン実務士 / 高等学校教諭一種免許状 (情報) / 高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語) / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 栄養教諭二種免許状 / 小学校教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (国語) / 高等学校教諭一種免許状 (国語) / 中学校教諭一種免許状 (保健体育) / 高等学校教諭一種免許状 (保健体育)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

学部学位授与方針 1 . 2 . 3 に該当する。ディプロマポリシー情報処理基礎 1 に該当する。問題解決の手段や、表現方法を情報機器で具体化・具現化することができる。

本科目は、学部共通科目の科目区分「情報処理基礎」の科目の一つであり、基本的な情報機器の操作技能を修得する。

科目の概要

コンピュータを日常的に利用する習慣を形成するとともに、情報の収集・処理・発信に必要な基礎的知識や態度を身につける。主にコンピュータ操作、インターネット活用、日本語文書処理ソフト、プレゼンテーションソフトの操作方法について学習する。

学修目標= (到達目標)

学内の情報環境を理解し、利用できる。

電子メール等、インターネットを活用することができる。

文書作成機能を使ってビジネス文書やレポート・論文を作成することができる。

プレゼンテーション資料を作成することができる。

表計算ソフトを使って基礎的な集計表およびグラフを作成することができる。かつ基礎的なデータ分析を行うことができる。

内容

1	オリエンテーション、コンピュータ操作の基礎、学内の情報環境と利用方法
2	電子メールとウェブサイトなどネットワーク利用時の注意
3	ワープロソフトの基本操作 1 (文書の作成と管理)
4	ワープロソフトの基本操作 2 (文書の編集機能 表作成)
5	ワープロソフトの基本操作 3 (文書の編集機能 レイアウト)
6	ワープロソフトの基本操作 4 (文書の編集機能 図形の描画)
7	プレゼンテーションソフトの基本操作 (プレゼンテーション資料の作成)
8	プレゼンテーションソフトの応用操作 (効果的なプレゼンテーション資料の作成)
9	プレゼンテーションの実施
10	表計算ソフトの特長 (数の表現等)
11	表計算ソフトの基本操作 1 (さまざまな計算)
12	表計算ソフトの基本操作 2 (グラフ表現)
13	表計算ソフトの基本操作 3 (データ分析)
14	総合課題演習 1 (レポート作成)
15	まとめ

評価

テーマ毎に演習課題（10回程度）を提出する．その内容を総合評価とし，60点以上を合格とする．

【フィードバック】提出されたレポートの中で，優れたレポートのどこの部分が優れているのか具体的にコメントし，参考にしてもらう．

授業外学習

【事前学習】事前に教科書に目を通し，各回のキーワードについて調べ、A4：1枚にまとめる。（各授業に対して60分）

【事後学習】授業で取り扱った事柄を確かなサイトのホームページで調べ確認する、練習問題に取り組むことにより学習内容をしっかり身に付ける。（各授業に対して60分）

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】授業開始時に指示

【参考図書】平成30年度 学習サポートの手引き 図書館／情報センター／コンピュータ演習室の使い方(仮)

科目名	情報処理演習		
担当教員名	北原 俊一		
ナンバリング	KKd144		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 情報処理演習		
学 年	1	ク ラ ス	BBクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	1
資 格 関 係	保育士資格 / 上級情報処理士 / ウェブデザイン実務士 / 高等学校教諭一種免許状(情報) / 高等学校教諭一種免許状(英語) / 中学校教諭一種免許状(英語) / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 栄養教諭二種免許状 / 小学校教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状(保健) / 中学校教諭一種免許状(保健) / 中学校教諭一種免許状(国語) / 高等学校教諭一種免許状(国語) / 中学校教諭一種免許状(保健体育) / 高等学校教諭一種免許状(保健体育)		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

学部学位授与方針 1 . 2 . 3 に該当する。ディプロマポリシー情報処理基礎 1 に該当する。問題解決の手段や、表現方法を情報機器で具体化・具現化することができる。

本科目は、学部共通科目の科目区分「情報処理基礎」の科目の一つであり、基本的な情報機器の操作技能を修得する。

科目の概要

コンピュータを日常的に利用する習慣を形成するとともに、情報の収集・処理・発信に必要な基礎的知識や態度を身につける。主にコンピュータ操作、インターネット活用、日本語文書処理ソフト、プレゼンテーションソフトの操作方法について学習する。

学修目標=(到達目標)

学内の情報環境を理解し、利用できる。

電子メール等、インターネットを活用することができる。

文書作成機能を使ってビジネス文書やレポート・論文を作成することができる。

プレゼンテーション資料を作成することができる。

表計算ソフトを使って基礎的な集計表およびグラフを作成することができる。かつ基礎的なデータ分析を行うことができる。

内容

1	オリエンテーション、コンピュータ操作の基礎、学内の情報環境と利用方法
2	電子メールとウェブサイトなどネットワーク利用時の注意
3	ワープロソフトの基本操作 1 (文書の作成と管理)
4	ワープロソフトの基本操作 2 (文書の編集機能 表作成)
5	ワープロソフトの基本操作 3 (文書の編集機能 レイアウト)
6	ワープロソフトの基本操作 4 (文書の編集機能 図形の描画)
7	プレゼンテーションソフトの基本操作 (プレゼンテーション資料の作成)
8	プレゼンテーションソフトの応用操作 (効果的なプレゼンテーション資料の作成)
9	プレゼンテーションの実施
10	表計算ソフトの特長 (数の表現等)
11	表計算ソフトの基本操作 1 (さまざまな計算)
12	表計算ソフトの基本操作 2 (グラフ表現)
13	表計算ソフトの基本操作 3 (データ分析)
14	総合課題演習 1 (レポート作成)
15	まとめ

評価

テーマ毎に演習課題（10回程度）を提出する．その内容を総合評価とし，60点以上を合格とする．

【フィードバック】提出されたレポートの中で，優れたレポートのどこの部分が優れているのか具体的にコメントし，参考にしてもらう．

授業外学習

【事前学習】事前に教科書に目を通し，各回のキーワードについて調べ、A4：1枚にまとめる。（各授業に対して60分）

【事後学習】授業で取り扱った事柄を確かなサイトのホームページで調べ確認する、練習問題に取り組むことにより学習内容をしっかり身に付ける．（各授業に対して60分）

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】授業開始時に指示

【参考図書】平成30年度 学習サポートの手引き 図書館／情報センター／コンピュータ演習室の使い方(仮)

科目名	情報処理演習		
担当教員名	角田 真二		
ナンバリング	KKd144		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 情報処理演習		
学 年	1	ク ラ ス	GAクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*, 選必
授 業 形 態		単 位 数	1
資 格 関 係	保育士資格 / 上級情報処理士 / ウェブデザイン実務士 / 高等学校教諭一種免許状 (情報) / 高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語) / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 栄養教諭二種免許状 / 小学校教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (国語) / 高等学校教諭一種免許状 (国語) / 中学校教諭一種免許状 (保健体育) / 高等学校教諭一種免許状 (保健体育)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

学部学位授与方針 1 . 2 . 3 に該当する。ディプロマポリシー情報処理基礎 1 に該当する。問題解決の手段や、表現方法を情報機器で具体化・具現化することができる。

本科目は、学部共通科目の科目区分「情報処理基礎」の科目の一つであり、基本的な情報機器の操作技能を修得する。

科目の概要

コンピュータを日常的に利用する習慣を形成するとともに、情報の収集・処理・発信に必要な基礎的知識や態度を身につける。主にコンピュータ操作、インターネット活用、日本語文書処理ソフト、プレゼンテーションソフトの操作方法について学習する。

学修目標= (到達目標)

学内の情報環境を理解し、利用できる。

電子メール等、インターネットを活用することができる。

文書作成機能を使ってビジネス文書やレポート・論文を作成することができる。

プレゼンテーション資料を作成することができる。

表計算ソフトを使って基礎的な集計表およびグラフを作成することができる。かつ基礎的なデータ分析を行うことができる。

。

内容	
1	オリエンテーション、コンピュータ操作の基礎、学内の情報環境と利用方法
2	電子メールとウェブサイトなどネットワーク利用時の注意
3	ワープロソフトの基本操作 1 (文書の作成と管理)
4	ワープロソフトの基本操作 2 (文書の編集機能 表作成)
5	ワープロソフトの基本操作 3 (文書の編集機能 レイアウト)
6	ワープロソフトの基本操作 4 (文書の編集機能 図形の描画)
7	プレゼンテーションソフトの基本操作 (プレゼンテーション資料の作成)
8	プレゼンテーションソフトの応用操作 (効果的なプレゼンテーション資料の作成)
9	プレゼンテーションの実施
10	表計算ソフトの特長 (数の表現等)
11	表計算ソフトの基本操作 1 (ささまざまな計算)
12	表計算ソフトの基本操作 2 (グラフ表現)
13	表計算ソフトの基本操作 3 (データ分析)
14	総合課題演習 1 (レポート作成)
15	まとめ

評価

評価 テーマ毎に演習課題（10回程度）を提出する。その内容を総合評価とし、60点以上を合格とする。

フィードバック 提出されたレポートの中で、優れたレポートのどこの部分が優れているのか具体的にコメントし、参考にしよう。

授業外学習

事前学習 事前に教科書に目を通し、各回のキーワードについて調べ、A4：1枚にまとめる。（各授業に対して60分）

事後学習 授業で取り扱った事柄を確かなサイトのホームページで調べ確認する、練習問題に取り組む、ことにより学習内容をしっかり身に付ける。（各授業に対して60分）

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】授業開始時に指示

【参考図書】平成30年度 学習サポートの手引き 図書館／情報センター／コンピュータ演習室の使い方(仮)

科目名	情報処理演習		
担当教員名	名児耶 厚		
ナンバリング	KKd144		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 情報処理演習		
学 年	1	ク ラ ス	HBクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修* , 選必
授 業 形 態		単 位 数	1
資 格 関 係	保育士資格 / 上級情報処理士 / ウェブデザイン実務士 / 高等学校教諭一種免許状 (情報) / 高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語) / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 栄養教諭二種免許状 / 小学校教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (国語) / 高等学校教諭一種免許状 (国語) / 中学校教諭一種免許状 (保健体育) / 高等学校教諭一種免許状 (保健体育)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

人間生活学部学位授与方針 1 . 2 . 3、情報処理基礎 1 . に該当する。

学部共通科目の科目区分「情報処理基礎」の科目の一つであり、社会のあらゆる分野で必要とされる基礎的な情報活用能力を育成する。レポートや卒業論文、ビジネス文書など各種文書の作成・管理の基礎を学ぶ。

科目の概要

文書の作成・管理、書式設定、表やリストの作成、参考資料の作成・管理など、Wordの基本的な機能・操作方法を学び、レポートや卒業論文など各種文書作成の基礎スキルを習得する。

学修目標

学内の情報システムの利用方法を理解する。

Wordの様々な機能を活用した各種文書作成の基礎スキルを習得する。

MOS (Microsoft Office Specialist) Word 2016に合格できる能力を習得する。

内容

この授業は原則として毎回実習を中心に行い、経験を積むことで技術・知識の習得を目指す。

- 1 ガイダンス、コンピュータ操作の基礎、学内の情報環境と利用方法
- 2 電子メールとウェブサイトなどネットワーク利用時の注意
- 3 文書の作成と管理(1)
- 4 文書の作成と管理(2)
- 5 文字、段落、セクションの書式設定(1)
- 6 文字、段落、セクションの書式設定(2)
- 7 表やリストの作成
- 8 参考資料の作成と管理
- 9 グラフィック要素の挿入と書式設定
- 10 模擬問題1
- 11 模擬問題2
- 12 模擬問題3
- 13 模擬問題4
- 14 模擬問題5
- 15 まとめ

評価

課題：60%、授業内実習・平常点：40%とし、総合評価60点以上を合格とする。

【フィードバック】解答の説明などを次回に行うとともに再提出の機会を設け、複数回行うことで復習の徹底・理解の定着を目指す。

授業外学習

【事前準備】これまでの学習内容とつながっている項目が多いため、復習と並行して教科書の該当範囲を眺め、概要を把握しておく。（各授業に対して30分）

【事後学修】授業時に間違えた・不安のある項目を中心に繰り返して復習を行い、確実にできるようにする。（各授業に対して90分）

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】富士通エフ・オー・エム株式会社、よくわかるマスター Microsoft Office Specialist Microsoft Word 2016 対策テキスト&問題集、FOM出版

実習室・受験の環境に合わせる必要があるため、初回の授業時に詳細を指示する。

科目名	情報処理演習		
担当教員名	新行内 康慈		
ナンバリング	KKd144		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 情報処理演習		
学 年	1	ク ラ ス	HAクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	1
資 格 関 係	保育士資格 / 上級情報処理士 / ウェブデザイン実務士 / 高等学校教諭一種免許状(情報) / 高等学校教諭一種免許状(英語) / 中学校教諭一種免許状(英語) / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 栄養教諭二種免許状 / 小学校教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状(保健) / 中学校教諭一種免許状(保健) / 中学校教諭一種免許状(国語) / 高等学校教諭一種免許状(国語) / 中学校教諭一種免許状(保健体育) / 高等学校教諭一種免許状(保健体育)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

人間生活学部学位授与方針1,2,3、情報処理基礎1に該当する。

学部共通科目の科目区分「情報処理基礎」の科目の一つであり、社会のあらゆる分野で必要とされる基礎的な情報活用能力を育成する。レポートや卒業論文、ビジネス文書など各種文書の作成・管理の基礎を学ぶ。

科目の概要

文書の作成・管理、書式設定、表やリストの作成、参考資料の作成・管理など、Wordの基本的な機能・操作方法を学び、レポートや卒業論文など各種文書作成の基礎スキルを習得する。

学修目標 (= 到達目標)

学内の情報システムの利用方法を理解する。

Wordの様々な機能を活用した各種文書作成の基礎スキルを習得する。

MOS (Microsoft Office Specialist) Word 2016 に合格できる能力を習得する。

内容

この授業は演習を中心に行い、技術と知識の習得、実践的活用能力の獲得を目指す。

1	ガイダンス、コンピュータ操作の基礎、学内の情報環境と利用方法
2	電子メールとウェブサイトなどネットワーク利用時の注意
3	文書の作成と管理(1)
4	文書の作成と管理(2)
5	文字、段落、セクションの書式設定(1)
6	文字、段落、セクションの書式設定(2)
7	表やリストの作成
8	参考資料の作成と管理
9	グラフィック要素の挿入と書式設定
10	模擬問題1
11	模擬問題2
12	模擬問題3
13	模擬問題4
14	模擬問題5
15	まとめ

評価

模擬試験：20点×5回 = 100点とし、総合評価60点以上を合格とする。

【フィードバック】採点、解説などは専用アプリケーションにより行う。復習の徹底と理解の定着のため、再提出の機会を設ける。

授業外学習

【事前準備】次回の演習内容を読み、内容を理解しておくとともに、疑問点等授業で確認が必要な事項を整理しておく。（各授業に対して60分）

【事後学修】取り扱った内容を見直し、新しく学んだ機能を各自復習しておく。理解が不十分な内容については、質問項目を整理しておく（各授業に対して60分）

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】富士通エフ・オー・エム株式会社、よくわかるマスター Microsoft Office Special
ist Microsoft Word 2016 対策テキスト&問題集、FOM出版

科目名	情報処理演習		
担当教員名	角田 真二		
ナンバリング	KKd144		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 情報処理演習		
学 年	1	ク ラ ス	EAクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*, 選必
授 業 形 態		単 位 数	1
資 格 関 係	保育士資格 / 上級情報処理士 / ウェブデザイン実務士 / 高等学校教諭一種免許状 (情報) / 高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語) / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 栄養教諭二種免許状 / 小学校教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (国語) / 高等学校教諭一種免許状 (国語) / 中学校教諭一種免許状 (保健体育) / 高等学校教諭一種免許状 (保健体育)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

学部学位授与方針 1 . 2 . 3 に該当する。ディプロマポリシー情報処理基礎 1 に該当する。問題解決の手段や、表現方法を情報機器で具体化・具現化することができる。

本科目は、学部共通科目の科目区分「情報処理基礎」の科目の一つであり、基本的な情報機器の操作技能を修得する。

科目の概要

コンピュータを日常的に利用する習慣を形成するとともに、情報の収集・処理・発信に必要な基礎的知識や態度を身につける。主にコンピュータ操作、インターネット活用、日本語文書処理ソフト、プレゼンテーションソフトの操作方法について学習する。

学修目標= (到達目標)

学内の情報環境を理解し、利用できる。

電子メール等、インターネットを活用することができる。

文書作成機能を使ってビジネス文書やレポート・論文を作成することができる。

プレゼンテーション資料を作成することができる。

表計算ソフトを使って基礎的な集計表およびグラフを作成することができる。かつ基礎的なデータ分析を行うことができる。

。

内容	
1	オリエンテーション、コンピュータ操作の基礎、学内の情報環境と利用方法
2	電子メールとウェブサイトなどネットワーク利用時の注意
3	ワープロソフトの基本操作 1 (文書の作成と管理)
4	ワープロソフトの基本操作 2 (文書の編集機能 表作成)
5	ワープロソフトの基本操作 3 (文書の編集機能 レイアウト)
6	ワープロソフトの基本操作 4 (文書の編集機能 図形の描画)
7	プレゼンテーションソフトの基本操作 (プレゼンテーション資料の作成)
8	プレゼンテーションソフトの応用操作 (効果的なプレゼンテーション資料の作成)
9	プレゼンテーションの実施
10	表計算ソフトの特長 (数の表現等)
11	表計算ソフトの基本操作 1 (ささまざまな計算)
12	表計算ソフトの基本操作 2 (グラフ表現)
13	表計算ソフトの基本操作 3 (データ分析)
14	総合課題演習 1 (レポート作成)
15	まとめ

評価

評価 テーマ毎に演習課題（10回程度）を提出する。その内容を総合評価とし、60点以上を合格とする。

フィードバック 提出されたレポートの中で、優れたレポートのどこの部分が優れているのか具体的にコメントし、参考にしよう。

授業外学習

事前学習 事前に教科書に目を通し、各回のキーワードについて調べ、A4：1枚にまとめる。（各授業に対して60分）

事後学習 授業で取り扱った事柄を確かなサイトのホームページで調べ確認する、練習問題に取り組む、ことにより学習内容をしっかり身に付ける。（各授業に対して60分）

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】授業開始時に指示

【参考図書】平成30年度 学習サポートの手引き 図書館／情報センター／コンピュータ演習室の使い方(仮)

科目名	情報処理演習		
担当教員名	北原 俊一		
ナンバリング	KKd144		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 情報処理演習		
学 年	1	ク ラ ス	EBクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*, 選必
授 業 形 態		単 位 数	1
資 格 関 係	保育士資格 / 上級情報処理士 / ウェブデザイン実務士 / 高等学校教諭一種免許状(情報) / 高等学校教諭一種免許状(英語) / 中学校教諭一種免許状(英語) / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 栄養教諭二種免許状 / 小学校教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状(保健) / 中学校教諭一種免許状(保健) / 中学校教諭一種免許状(国語) / 高等学校教諭一種免許状(国語) / 中学校教諭一種免許状(保健体育) / 高等学校教諭一種免許状(保健体育)		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

学部学位授与方針 1 . 2 . 3 に該当する。ディプロマポリシー情報処理基礎 1 に該当する。問題解決の手段や、表現方法を情報機器で具体化・具現化することができる。

本科目は、学部共通科目の科目区分「情報処理基礎」の科目の一つであり、基本的な情報機器の操作技能を修得する。

科目の概要

コンピュータを日常的に利用する習慣を形成するとともに、情報の収集・処理・発信に必要な基礎的知識や態度を身につける。主にコンピュータ操作、インターネット活用、日本語文書処理ソフト、プレゼンテーションソフトの操作方法について学習する。

学修目標=(到達目標)

学内の情報環境を理解し、利用できる。

電子メール等、インターネットを活用することができる。

文書作成機能を使ってビジネス文書やレポート・論文を作成することができる。

プレゼンテーション資料を作成することができる。

表計算ソフトを使って基礎的な集計表およびグラフを作成することができる。かつ基礎的なデータ分析を行うことができる。

内容

1	オリエンテーション、コンピュータ操作の基礎、学内の情報環境と利用方法
2	電子メールとウェブサイトなどネットワーク利用時の注意
3	ワープロソフトの基本操作 1 (文書の作成と管理)
4	ワープロソフトの基本操作 2 (文書の編集機能 表作成)
5	ワープロソフトの基本操作 3 (文書の編集機能 レイアウト)
6	ワープロソフトの基本操作 4 (文書の編集機能 図形の描画)
7	プレゼンテーションソフトの基本操作 (プレゼンテーション資料の作成)
8	プレゼンテーションソフトの応用操作 (効果的なプレゼンテーション資料の作成)
9	プレゼンテーションの実施
10	表計算ソフトの特長 (数の表現等)
11	表計算ソフトの基本操作 1 (さまざまな計算)
12	表計算ソフトの基本操作 2 (グラフ表現)
13	表計算ソフトの基本操作 3 (データ分析)
14	総合課題演習 1 (レポート作成)
15	まとめ

評価

テーマ毎に演習課題（10回程度）を提出する．その内容を総合評価とし，60点以上を合格とする．

【フィードバック】提出されたレポートの中で，優れたレポートのどこの部分が優れているのか具体的にコメントし，参考にしてもらう．

授業外学習

【事前学習】事前に教科書に目を通し，各回のキーワードについて調べ、A4：1枚にまとめる。（各授業に対して60分）

【事後学習】授業で取り扱った事柄を確かなサイトのホームページで調べ確認する、練習問題に取り組むことにより学習内容をしっかり身に付ける．（各授業に対して60分）

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】授業開始時に指示

【参考図書】平成30年度 学習サポートの手引き 図書館／情報センター／コンピュータ演習室の使い方(仮)

科目名	情報処理演習		
担当教員名	綿井 雅康		
ナンバリング	KKd144		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 情報処理演習		
学 年	1	ク ラ ス	CAクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*, 選必
授 業 形 態		単 位 数	1
資 格 関 係	保育士資格 / 上級情報処理士 / ウェブデザイン実務士 / 高等学校教諭一種免許状(情報) / 高等学校教諭一種免許状(英語) / 中学校教諭一種免許状(英語) / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 栄養教諭二種免許状 / 小学校教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状(保健) / 中学校教諭一種免許状(保健) / 中学校教諭一種免許状(国語) / 高等学校教諭一種免許状(国語) / 中学校教諭一種免許状(保健体育) / 高等学校教諭一種免許状(保健体育)		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

本科目は学部学位授与方針 1 . 2 . 3 およびディプロマポリシー情報処理基礎 1 に該当する。

学部共通科目の科目区分「情報処理基礎」の科目の一つであり、基本的な情報機器の操作技能を修得する。

科目の概要

コンピュータを日常的に利用する習慣を形成するとともに、情報の収集・処理・発信に必要な基礎的知識や態度を身につける。主にコンピュータ操作、インターネット活用、日本語文書処理ソフト、プレゼンテーションソフトの操作方法について学習する。

学修目標

学内の情報環境を理解し、利用できる。

電子メール等、インターネットを活用することができる。

文書作成機能を使ってビジネス文書やレポート・論文を作成することができる。

プレゼンテーション資料を作成することができる。

内容

- 1 オリエンテーション、コンピュータ操作の基礎、学内の情報環境と利用方法
- 2 電子メールとウェブサイトなどネットワーク利用時の注意
- 3 ワードソフトの基本操作 1 (文書の作成と管理)
- 4 ワードソフトの基本操作 2 (文書の編集機能)
- 5 ワードソフトの基本操作 3 (文書の編集機能)
- 6 ワードソフトの応用操作 1 (表を挿入した文書の作成)
- 7 ワードソフトの応用操作 2 (ビジュアルな文書の作成)
- 8 ワードソフトの応用操作 3 (図やグラフを含む文書の作成)
- 9 論文・レポートの書き方(読みやすいレイアウトの長文作成)
- 10 プレゼンテーションソフトの基本操作(プレゼンテーション資料の作成)
- 11 プレゼンテーションソフトの応用操作(効果的なプレゼンテーション資料の作成)
- 12 プレゼンテーションの実施
- 13 総合課題演習 1 (文書作成)
- 14 総合課題演習 2 (レポート作成)
- 15 まとめ

この授業では、受講生が主体となって少人数のグループワークをもとに演習課題に取り組み、情報処理に対する学びを深める。

評価

テーマ毎に演習課題を提出する。その内容を総合評価し、60点以上を合格とする。

提出された演習課題については、授業内でコメントをフィードバックする。

授業外学習

【事前予習】演習課題に関する資料に目を通し、学習のポイントを確認しておく（授業ごとに30分）。

【事後学修】練習問題に取り組むことにより、学習内容をしっかり身につける（授業ごとに90分）。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

授業内での学習活動に必要な資料は、全学共通として、閲覧方法およびネットワーク内の場所を適宜指示する。

科目名	情報処理演習		
担当教員名	北原 俊一		
ナンバリング	KKd144		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 情報処理演習		
学 年	1	ク ラ ス	CBクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*, 選必
授 業 形 態		単 位 数	1
資 格 関 係	保育士資格 / 上級情報処理士 / ウェブデザイン実務士 / 高等学校教諭一種免許状(情報) / 高等学校教諭一種免許状(英語) / 中学校教諭一種免許状(英語) / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 栄養教諭二種免許状 / 小学校教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状(保健) / 中学校教諭一種免許状(保健) / 中学校教諭一種免許状(国語) / 高等学校教諭一種免許状(国語) / 中学校教諭一種免許状(保健体育) / 高等学校教諭一種免許状(保健体育)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

学部学位授与方針 1 . 2 . 3 に該当する。ディプロマポリシー情報処理基礎 1 に該当する。問題解決の手段や、表現方法を情報機器で具体化・具現化することができる。

本科目は、学部共通科目の科目区分「情報処理基礎」の科目の一つであり、基本的な情報機器の操作技能を修得する。

科目の概要

コンピュータを日常的に利用する習慣を形成するとともに、情報の収集・処理・発信に必要な基礎的知識や態度を身につける。主にコンピュータ操作、インターネット活用、日本語文書処理ソフト、プレゼンテーションソフトの操作方法について学習する。

学修目標=(到達目標)

学内の情報環境を理解し、利用できる。

電子メール等、インターネットを活用することができる。

文書作成機能を使ってビジネス文書やレポート・論文を作成することができる。

プレゼンテーション資料を作成することができる。

表計算ソフトを使って基礎的な集計表およびグラフを作成することができる。かつ基礎的なデータ分析を行うことができる。

内容

1	オリエンテーション、コンピュータ操作の基礎、学内の情報環境と利用方法
2	電子メールとウェブサイトなどネットワーク利用時の注意
3	ワープロソフトの基本操作 1 (文書の作成と管理)
4	ワープロソフトの基本操作 2 (文書の編集機能 表作成)
5	ワープロソフトの基本操作 3 (文書の編集機能 レイアウト)
6	ワープロソフトの基本操作 4 (文書の編集機能 図形の描画)
7	プレゼンテーションソフトの基本操作 (プレゼンテーション資料の作成)
8	プレゼンテーションソフトの応用操作 (効果的なプレゼンテーション資料の作成)
9	プレゼンテーションの実施
10	表計算ソフトの特長 (数の表現等)
11	表計算ソフトの基本操作 1 (さまざまな計算)
12	表計算ソフトの基本操作 2 (グラフ表現)
13	表計算ソフトの基本操作 3 (データ分析)
14	総合課題演習 1 (レポート作成)
15	まとめ

評価

テーマ毎に演習課題（10回程度）を提出する．その内容を総合評価とし，60点以上を合格とする．

【フィードバック】提出されたレポートの中で，優れたレポートのどこの部分が優れているのか具体的にコメントし，参考にしてもらう．

授業外学習

【事前学習】事前に教科書に目を通し，各回のキーワードについて調べ、A4：1枚にまとめる。（各授業に対して60分）

【事後学習】授業で取り扱った事柄を確かなサイトのホームページで調べ確認する、練習問題に取り組むことにより学習内容をしっかり身に付ける．（各授業に対して60分）

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】授業開始時に指示

【参考図書】平成30年度 学習サポートの手引き 図書館／情報センター／コンピュータ演習室の使い方(仮)

科目名	情報処理演習		
担当教員名	角田 真二		
ナンバリング	KKd144		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 情報処理演習		
学 年	1	ク ラ ス	CCクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	1
資 格 関 係	保育士資格 / 上級情報処理士 / ウェブデザイン実務士 / 高等学校教諭一種免許状(情報) / 高等学校教諭一種免許状(英語) / 中学校教諭一種免許状(英語) / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 栄養教諭二種免許状 / 小学校教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状(保健) / 中学校教諭一種免許状(保健) / 中学校教諭一種免許状(国語) / 高等学校教諭一種免許状(国語) / 中学校教諭一種免許状(保健体育) / 高等学校教諭一種免許状(保健体育)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

学部学位授与方針 1 . 2 . 3 に該当する。ディプロマポリシー情報処理基礎 1 に該当する。問題解決の手段や、表現方法を情報機器で具体化・具現化することができる。

本科目は、学部共通科目の科目区分「情報処理基礎」の科目の一つであり、基本的な情報機器の操作技能を修得する。

科目の概要

コンピュータを日常的に利用する習慣を形成するとともに、情報の収集・処理・発信に必要な基礎的知識や態度を身につける。主にコンピュータ操作、インターネット活用、日本語文書処理ソフト、プレゼンテーションソフトの操作方法について学習する。

学修目標=(到達目標)

学内の情報環境を理解し、利用できる。

電子メール等、インターネットを活用することができる。

文書作成機能を使ってビジネス文書やレポート・論文を作成することができる。

プレゼンテーション資料を作成することができる。

表計算ソフトを使って基礎的な集計表およびグラフを作成することができる。かつ基礎的なデータ分析を行うことができる。

。

内容	
1	オリエンテーション、コンピュータ操作の基礎、学内の情報環境と利用方法
2	電子メールとウェブサイトなどネットワーク利用時の注意
3	ワープロソフトの基本操作 1 (文書の作成と管理)
4	ワープロソフトの基本操作 2 (文書の編集機能 表作成)
5	ワープロソフトの基本操作 3 (文書の編集機能 レイアウト)
6	ワープロソフトの基本操作 4 (文書の編集機能 図形の描画)
7	プレゼンテーションソフトの基本操作 (プレゼンテーション資料の作成)
8	プレゼンテーションソフトの応用操作 (効果的なプレゼンテーション資料の作成)
9	プレゼンテーションの実施
10	表計算ソフトの特長 (数の表現等)
11	表計算ソフトの基本操作 1 (さまざまな計算)
12	表計算ソフトの基本操作 2 (グラフ表現)
13	表計算ソフトの基本操作 3 (データ分析)
14	総合課題演習 1 (レポート作成)
15	まとめ

評価

評価 テーマ毎に演習課題（10回程度）を提出する。その内容を総合評価とし、60点以上を合格とする。

フィードバック 提出されたレポートの中で、優れたレポートのどこの部分が優れているのか具体的にコメントし、参考にしよう。

授業外学習

事前学習 事前に教科書に目を通し、各回のキーワードについて調べ、A4：1枚にまとめる。（各授業に対して60分）

事後学習 授業で取り扱った事柄を確かなサイトのホームページで調べ確認する、練習問題に取り組む、ことにより学習内容をしっかり身に付ける。（各授業に対して60分）

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】授業開始時に指示

【参考図書】平成30年度 学習サポートの手引き 図書館／情報センター／コンピュータ演習室の使い方(仮)

科目名	情報処理演習		
担当教員名	名児耶 厚		
ナンバリング	KKd144		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 情報処理演習		
学 年	1	ク ラ ス	ACクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	1
資 格 関 係	保育士資格 / 上級情報処理士 / ウェブデザイン実務士 / 高等学校教諭一種免許状(情報) / 高等学校教諭一種免許状(英語) / 中学校教諭一種免許状(英語) / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 栄養教諭二種免許状 / 小学校教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状(保健) / 中学校教諭一種免許状(保健) / 中学校教諭一種免許状(国語) / 高等学校教諭一種免許状(国語) / 中学校教諭一種免許状(保健体育) / 高等学校教諭一種免許状(保健体育)		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

学部学位授与方針 1 . 2 . 3 に該当する。ディプロマポリシー情報処理基礎 1 に該当する。

問題解決の手段や、表現方法を情報機器で具体化・具現化することができる。

本科目は、学部共通科目の科目区分「情報処理基礎」の科目の一つであり、基本的な情報機器の操作技能を修得する。

科目の概要

コンピュータを日常的に利用する習慣を形成するとともに、情報の収集・処理・発信に必要な基礎的知識や態度を身につける。主にコンピュータ操作、インターネット活用、日本語文書処理ソフト、プレゼンテーションソフトの操作方法について学習する。

学修目標

学内の情報環境を理解し、利用できる。

電子メール等、インターネットを活用することができる。

文書作成機能を使ってビジネス文書やレポート・論文を作成することができる。

プレゼンテーション資料を作成することができる。

表計算ソフトを使って基礎的な集計表およびグラフを作成することができる。かつ基礎的なデータ分析を行うことができる。

内容

この授業は原則として毎回実習を中心に行い、経験を積むことで技術・知識の習得を目指す。

1	オリエンテーション、コンピュータ操作の基礎、学内の情報環境と利用方法
2	電子メールとウェブサイトなどネットワーク利用時の注意
3	ワープロソフトの基本操作 1 (文書の作成と管理)
4	ワープロソフトの基本操作 2 (文書の編集機能 表作成)
5	ワープロソフトの基本操作 3 (文書の編集機能 レイアウト)
6	ワープロソフトの基本操作 4 (文書の編集機能 図形描画)
7	プレゼンテーションソフトの基本操作 (プレゼンテーション資料の作成)
8	プレゼンテーションソフトの応用操作 (効果的なプレゼンテーション資料の作成)
9	プレゼンテーションの実施
10	表計算ソフトの特長 (数の表現等)
11	表計算ソフトの基本操作 1 (さまざまな計算)
12	表計算ソフトの基本操作 2 (グラフ表現)
13	表計算ソフトの基本操作 3 (データ分析)
14	総合課題演習 1 (レポート作成)
15	まとめ

評価

課題：50%、授業内実習・平常点：50%とし、総合評価60点以上を合格とする。

【フィードバック】解答の説明などを次回に行うとともに再提出の機会を設け、複数回行うことで復習の徹底・理解の定着を目指す。

授業外学習

【事前予習】教科書に目を通し、学習のポイントを確認しておく。0.5コマ相当。

【事後学修】練習問題に取り組むことにより、学習内容をしっかり身につける。0.5コマ相当。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】授業開始時に指示

【参考図書】平成31年度 学習サポートの手引き 図書館／情報センター／コンピュータ演習室の使い方(仮)

科目名	情報処理演習		
担当教員名	北原 俊一		
ナンバリング	KKd144		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 情報処理演習		
学 年	1	ク ラ ス	ABクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*, 選必
授 業 形 態		単 位 数	1
資 格 関 係	保育士資格 / 上級情報処理士 / ウェブデザイン実務士 / 高等学校教諭一種免許状 (情報) / 高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語) / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 栄養教諭二種免許状 / 小学校教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (国語) / 高等学校教諭一種免許状 (国語) / 中学校教諭一種免許状 (保健体育) / 高等学校教諭一種免許状 (保健体育)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

学部学位授与方針 1 . 2 . 3 に該当する。ディプロマポリシー情報処理基礎 1 に該当する。問題解決の手段や、表現方法を情報機器で具体化・具現化することができる。

本科目は、学部共通科目の科目区分「情報処理基礎」の科目の一つであり、基本的な情報機器の操作技能を修得する。

科目の概要

コンピュータを日常的に利用する習慣を形成するとともに、情報の収集・処理・発信に必要な基礎的知識や態度を身につける。主にコンピュータ操作、インターネット活用、日本語文書処理ソフト、プレゼンテーションソフトの操作方法について学習する。

学修目標= (到達目標)

学内の情報環境を理解し、利用できる。

電子メール等、インターネットを活用することができる。

文書作成機能を使ってビジネス文書やレポート・論文を作成することができる。

プレゼンテーション資料を作成することができる。

表計算ソフトを使って基礎的な集計表およびグラフを作成することができる。かつ基礎的なデータ分析を行うことができる。

内容

1	オリエンテーション、コンピュータ操作の基礎、学内の情報環境と利用方法
2	電子メールとウェブサイトなどネットワーク利用時の注意
3	ワープロソフトの基本操作 1 (文書の作成と管理)
4	ワープロソフトの基本操作 2 (文書の編集機能 表作成)
5	ワープロソフトの基本操作 3 (文書の編集機能 レイアウト)
6	ワープロソフトの基本操作 4 (文書の編集機能 図形の描画)
7	プレゼンテーションソフトの基本操作 (プレゼンテーション資料の作成)
8	プレゼンテーションソフトの応用操作 (効果的なプレゼンテーション資料の作成)
9	プレゼンテーションの実施
10	表計算ソフトの特長 (数の表現等)
11	表計算ソフトの基本操作 1 (さまざまな計算)
12	表計算ソフトの基本操作 2 (グラフ表現)
13	表計算ソフトの基本操作 3 (データ分析)
14	総合課題演習 1 (レポート作成)
15	まとめ

評価

テーマ毎に演習課題（10回程度）を提出する．その内容を総合評価とし，60点以上を合格とする．

【フィードバック】提出されたレポートの中で，優れたレポートのどこの部分が優れているのか具体的にコメントし，参考にしてもらう．

授業外学習

【事前学習】事前に教科書に目を通し，各回のキーワードについて調べ、A4：1枚にまとめる。（各授業に対して60分）

【事後学習】授業で取り扱った事柄を確かなサイトのホームページで調べ確認する、練習問題に取り組むことにより学習内容をしっかり身に付ける．（各授業に対して60分）

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】授業開始時に指示

【参考図書】平成30年度 学習サポートの手引き 図書館／情報センター／コンピュータ演習室の使い方(仮)

科目名	情報処理演習		
担当教員名	角田 真二		
ナンバリング	KKd144		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 情報処理演習		
学 年	1	ク ラ ス	BAクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*, 選必
授 業 形 態		単 位 数	1
資 格 関 係	保育士資格 / 上級情報処理士 / ウェブデザイン実務士 / 高等学校教諭一種免許状 (情報) / 高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語) / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 栄養教諭二種免許状 / 小学校教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (国語) / 高等学校教諭一種免許状 (国語) / 中学校教諭一種免許状 (保健体育) / 高等学校教諭一種免許状 (保健体育)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

学部学位授与方針 1 . 2 . 3 に該当する。ディプロマポリシー情報処理基礎 1 に該当する。問題解決の手段や、表現方法を情報機器で具体化・具現化することができる。

本科目は、学部共通科目の科目区分「情報処理基礎」の科目の一つであり、基本的な情報機器の操作技能を修得する。

科目の概要

コンピュータを日常的に利用する習慣を形成するとともに、情報の収集・処理・発信に必要な基礎的知識や態度を身につける。主にコンピュータ操作、インターネット活用、日本語文書処理ソフト、プレゼンテーションソフトの操作方法について学習する。

学修目標= (到達目標)

学内の情報環境を理解し、利用できる。

電子メール等、インターネットを活用することができる。

文書作成機能を使ってビジネス文書やレポート・論文を作成することができる。

プレゼンテーション資料を作成することができる。

表計算ソフトを使って基礎的な集計表およびグラフを作成することができる。かつ基礎的なデータ分析を行うことができる。

内容	
1	オリエンテーション、コンピュータ操作の基礎、学内の情報環境と利用方法
2	電子メールとウェブサイトなどネットワーク利用時の注意
3	ワープロソフトの基本操作 1 (文書の作成と管理)
4	ワープロソフトの基本操作 2 (文書の編集機能 表作成)
5	ワープロソフトの基本操作 3 (文書の編集機能 レイアウト)
6	ワープロソフトの基本操作 4 (文書の編集機能 図形の描画)
7	プレゼンテーションソフトの基本操作 (プレゼンテーション資料の作成)
8	プレゼンテーションソフトの応用操作 (効果的なプレゼンテーション資料の作成)
9	プレゼンテーションの実施
10	表計算ソフトの特長 (数の表現等)
11	表計算ソフトの基本操作 1 (さまざまな計算)
12	表計算ソフトの基本操作 2 (グラフ表現)
13	表計算ソフトの基本操作 3 (データ分析)
14	総合課題演習 1 (レポート作成)
15	まとめ

評価

評価 テーマ毎に演習課題（10回程度）を提出する。その内容を総合評価とし、60点以上を合格とする。

フィードバック 提出されたレポートの中で、優れたレポートのどこの部分が優れているのか具体的にコメントし、参考にしよう。

授業外学習

事前学習 事前に教科書に目を通し、各回のキーワードについて調べ、A4：1枚にまとめる。（各授業に対して60分）

事後学習 授業で取り扱った事柄を確かなサイトのホームページで調べ確認する、練習問題に取り組む、ことにより学習内容をしっかり身に付ける。（各授業に対して60分）

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】授業開始時に指示

【参考図書】平成30年度 学習サポートの手引き 図書館／情報センター／コンピュータ演習室の使い方(仮)

科目名	情報処理演習		
担当教員名	角田 真二		
ナンバリング	KKd144		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 情報処理演習		
学 年	1	ク ラ ス	AAクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*, 選必
授 業 形 態		単 位 数	1
資 格 関 係	保育士資格 / 上級情報処理士 / ウェブデザイン実務士 / 高等学校教諭一種免許状 (情報) / 高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語) / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 栄養教諭二種免許状 / 小学校教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (国語) / 高等学校教諭一種免許状 (国語) / 中学校教諭一種免許状 (保健体育) / 高等学校教諭一種免許状 (保健体育)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

学部学位授与方針 1 . 2 . 3 に該当する。ディプロマポリシー情報処理基礎 1 に該当する。問題解決の手段や、表現方法を情報機器で具体化・具現化することができる。

本科目は、学部共通科目の科目区分「情報処理基礎」の科目の一つであり、基本的な情報機器の操作技能を修得する。

科目の概要

コンピュータを日常的に利用する習慣を形成するとともに、情報の収集・処理・発信に必要な基礎的知識や態度を身につける。主にコンピュータ操作、インターネット活用、日本語文書処理ソフト、プレゼンテーションソフトの操作方法について学習する。

学修目標= (到達目標)

学内の情報環境を理解し、利用できる。

電子メール等、インターネットを活用することができる。

文書作成機能を使ってビジネス文書やレポート・論文を作成することができる。

プレゼンテーション資料を作成することができる。

表計算ソフトを使って基礎的な集計表およびグラフを作成することができる。かつ基礎的なデータ分析を行うことができる。

。

内容	
1	オリエンテーション、コンピュータ操作の基礎、学内の情報環境と利用方法
2	電子メールとウェブサイトなどネットワーク利用時の注意
3	ワープロソフトの基本操作 1 (文書の作成と管理)
4	ワープロソフトの基本操作 2 (文書の編集機能 表作成)
5	ワープロソフトの基本操作 3 (文書の編集機能 レイアウト)
6	ワープロソフトの基本操作 4 (文書の編集機能 図形の描画)
7	プレゼンテーションソフトの基本操作 (プレゼンテーション資料の作成)
8	プレゼンテーションソフトの応用操作 (効果的なプレゼンテーション資料の作成)
9	プレゼンテーションの実施
10	表計算ソフトの特長 (数の表現等)
11	表計算ソフトの基本操作 1 (さまざまな計算)
12	表計算ソフトの基本操作 2 (グラフ表現)
13	表計算ソフトの基本操作 3 (データ分析)
14	総合課題演習 1 (レポート作成)
15	まとめ

評価

評価 テーマ毎に演習課題（10回程度）を提出する。その内容を総合評価とし、60点以上を合格とする。

フィードバック 提出されたレポートの中で、優れたレポートのどこの部分が優れているのか具体的にコメントし、参考にしよう。

授業外学習

事前学習 事前に教科書に目を通し、各回のキーワードについて調べ、A4：1枚にまとめる。（各授業に対して60分）

事後学習 授業で取り扱った事柄を確かなサイトのホームページで調べ確認する、練習問題に取り組む、ことにより学習内容をしっかり身に付ける。（各授業に対して60分）

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】授業開始時に指示

【参考図書】平成30年度 学習サポートの手引き 図書館／情報センター／コンピュータ演習室の使い方(仮)

科目名	情報処理演習		
担当教員名	角田 真二		
ナンバリング	KKd144		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 情報処理演習		
学 年	1	ク ラ ス	DBクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*, 選必
授 業 形 態		単 位 数	1
資 格 関 係	保育士資格 / 上級情報処理士 / ウェブデザイン実務士 / 高等学校教諭一種免許状 (情報) / 高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語) / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 栄養教諭二種免許状 / 小学校教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (国語) / 高等学校教諭一種免許状 (国語) / 中学校教諭一種免許状 (保健体育) / 高等学校教諭一種免許状 (保健体育)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

学部学位授与方針 1 . 2 . 3 に該当する。ディプロマポリシー情報処理基礎 1 に該当する。問題解決の手段や、表現方法を情報機器で具体化・具現化することができる。

本科目は、学部共通科目の科目区分「情報処理基礎」の科目の一つであり、基本的な情報機器の操作技能を修得する。

科目の概要

コンピュータを日常的に利用する習慣を形成するとともに、情報の収集・処理・発信に必要な基礎的知識や態度を身につける。主にコンピュータ操作、インターネット活用、日本語文書処理ソフト、プレゼンテーションソフトの操作方法について学習する。

学修目標= (到達目標)

学内の情報環境を理解し、利用できる。

電子メール等、インターネットを活用することができる。

文書作成機能を使ってビジネス文書やレポート・論文を作成することができる。

プレゼンテーション資料を作成することができる。

表計算ソフトを使って基礎的な集計表およびグラフを作成することができる。かつ基礎的なデータ分析を行うことができる。

。

内容	
1	オリエンテーション、コンピュータ操作の基礎、学内の情報環境と利用方法
2	電子メールとウェブサイトなどネットワーク利用時の注意
3	ワープロソフトの基本操作 1 (文書の作成と管理)
4	ワープロソフトの基本操作 2 (文書の編集機能 表作成)
5	ワープロソフトの基本操作 3 (文書の編集機能 レイアウト)
6	ワープロソフトの基本操作 4 (文書の編集機能 図形の描画)
7	プレゼンテーションソフトの基本操作 (プレゼンテーション資料の作成)
8	プレゼンテーションソフトの応用操作 (効果的なプレゼンテーション資料の作成)
9	プレゼンテーションの実施
10	表計算ソフトの特長 (数の表現等)
11	表計算ソフトの基本操作 1 (さまざまな計算)
12	表計算ソフトの基本操作 2 (グラフ表現)
13	表計算ソフトの基本操作 3 (データ分析)
14	総合課題演習 1 (レポート作成)
15	まとめ

評価

評価 テーマ毎に演習課題（10回程度）を提出する。その内容を総合評価とし、60点以上を合格とする。

フィードバック 提出されたレポートの中で、優れたレポートのどこの部分が優れているのか具体的にコメントし、参考にしよう。

授業外学習

事前学習 事前に教科書に目を通し、各回のキーワードについて調べ、A4：1枚にまとめる。（各授業に対して60分）

事後学習 授業で取り扱った事柄を確かなサイトのホームページで調べ確認する、練習問題に取り組む、ことにより学習内容をしっかり身に付ける。（各授業に対して60分）

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】授業開始時に指示

【参考図書】平成30年度 学習サポートの手引き 図書館／情報センター／コンピュータ演習室の使い方(仮)

科目名	情報処理演習		
担当教員名	北原 俊一		
ナンバリング	KKd144		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 情報処理演習		
学 年	1	ク ラ ス	GBクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*, 選必
授 業 形 態		単 位 数	1
資 格 関 係	保育士資格 / 上級情報処理士 / ウェブデザイン実務士 / 高等学校教諭一種免許状(情報) / 高等学校教諭一種免許状(英語) / 中学校教諭一種免許状(英語) / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 栄養教諭二種免許状 / 小学校教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状(保健) / 中学校教諭一種免許状(保健) / 中学校教諭一種免許状(国語) / 高等学校教諭一種免許状(国語) / 中学校教諭一種免許状(保健体育) / 高等学校教諭一種免許状(保健体育)		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

学部学位授与方針 1 . 2 . 3 に該当する。ディプロマポリシー情報処理基礎 1 に該当する。問題解決の手段や、表現方法を情報機器で具体化・具現化することができる。

本科目は、学部共通科目の科目区分「情報処理基礎」の科目の一つであり、基本的な情報機器の操作技能を修得する。

科目の概要

コンピュータを日常的に利用する習慣を形成するとともに、情報の収集・処理・発信に必要な基礎的知識や態度を身につける。主にコンピュータ操作、インターネット活用、日本語文書処理ソフト、プレゼンテーションソフトの操作方法について学習する。

学修目標=(到達目標)

学内の情報環境を理解し、利用できる。

電子メール等、インターネットを活用することができる。

文書作成機能を使ってビジネス文書やレポート・論文を作成することができる。

プレゼンテーション資料を作成することができる。

表計算ソフトを使って基礎的な集計表およびグラフを作成することができる。かつ基礎的なデータ分析を行うことができる。

内容

1	オリエンテーション、コンピュータ操作の基礎、学内の情報環境と利用方法
2	電子メールとウェブサイトなどネットワーク利用時の注意
3	ワープロソフトの基本操作 1 (文書の作成と管理)
4	ワープロソフトの基本操作 2 (文書の編集機能 表作成)
5	ワープロソフトの基本操作 3 (文書の編集機能 レイアウト)
6	ワープロソフトの基本操作 4 (文書の編集機能 図形の描画)
7	プレゼンテーションソフトの基本操作 (プレゼンテーション資料の作成)
8	プレゼンテーションソフトの応用操作 (効果的なプレゼンテーション資料の作成)
9	プレゼンテーションの実施
10	表計算ソフトの特長 (数の表現等)
11	表計算ソフトの基本操作 1 (さまざまな計算)
12	表計算ソフトの基本操作 2 (グラフ表現)
13	表計算ソフトの基本操作 3 (データ分析)
14	総合課題演習 1 (レポート作成)
15	まとめ

評価

テーマ毎に演習課題（10回程度）を提出する．その内容を総合評価とし，60点以上を合格とする．

【フィードバック】提出されたレポートの中で，優れたレポートのどこの部分が優れているのか具体的にコメントし，参考にしてもらう．

授業外学習

【事前学習】事前に教科書に目を通し，各回のキーワードについて調べ、A4：1枚にまとめる。（各授業に対して60分）

【事後学習】授業で取り扱った事柄を確かなサイトのホームページで調べ確認する、練習問題に取り組むことにより学習内容をしっかり身に付ける．（各授業に対して60分）

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】授業開始時に指示

【参考図書】平成30年度 学習サポートの手引き 図書館／情報センター／コンピュータ演習室の使い方(仮)

科目名	情報処理演習		
担当教員名	川口 英俊		
ナンバリング	KKd144		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 情報処理演習		
学 年	1	ク ラ ス	JAクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*, 選必
授 業 形 態		単 位 数	1
資 格 関 係	保育士資格 / 上級情報処理士 / ウェブデザイン実務士 / 高等学校教諭一種免許状 (情報) / 高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語) / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 栄養教諭二種免許状 / 小学校教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (国語) / 高等学校教諭一種免許状 (国語) / 中学校教諭一種免許状 (保健体育) / 高等学校教諭一種免許状 (保健体育)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

本科目は、学部共通科目の科目区分「情報処理基礎」の科目の一つであり、基本的な情報機器の操作技能を修得する。問題解決の手段や表現方法を、情報機器で具体化・具現化することをめざす。

科目の概要

コンピュータを日常的に利用する習慣を形成するとともに、情報の収集・処理・発信に必要な基礎的知識や態度を身につける。主にコンピュータ操作、インターネット活用、日本語文書処理ソフト、プレゼンテーションソフトの操作方法について学習する。

学修目標= (到達目標)

学内の情報環境を理解し、利用できる。

電子メール等、インターネットを活用することができる。

文書作成機能を使ってビジネス文書やレポート・論文を作成することができる。

表計算ソフトを使って基礎的な集計表およびグラフを作成することができる。かつ基礎的なデータ分析を行うことができる。

プレゼンテーション資料を作成することができる。

内容

この授業は教卓PCで示された作業手順、課題等を各PCで実際に作業しながら情報処理への理解を深めていく。

- 1 オリエンテーション、コンピュータ操作の基礎、学内の情報環境と利用方法
- 2 電子メールとウェブサイトなどネットワーク利用時の注意
- 3 ワードプロソフトの基本操作 1 (文書の作成と管理)
- 4 ワードプロソフトの基本操作 2 (文書の編集機能 表作成)
- 5 ワードプロソフトの基本操作 3 (文書の編集機能 レイアウト)
- 6 ワードプロソフトの基本操作 4 (文書の編集機能 図形描画)
- 7 表計算ソフトの特長 (数の表現等)
- 8 表計算ソフトの基本操作 1 (さまざまな計算)
- 9 表計算ソフトの基本操作 2 (グラフ表現)
- 10 表計算ソフトの基本操作 3 (データ分析)
- 11 表計算ソフト演習問題
- 12 プレゼンテーションソフトの基本操作 (プレゼンテーション資料の作成)
- 13 プレゼンテーションソフトの応用操作 (効果的なプレゼンテーション資料の作成)
- 14 プレゼンテーションの実施
- 15 まとめ

評価

テーマ毎に演習課題を提出する。その内容を総合評価し、60点以上を合格とする。

【フィードバック】 提出されたレポートの中で、優れたレポートのどこの部分が優れているのか、具体的にコメントし、参考にしてもらう。

授業外学習

【事前予習】教科書に目を通し、学習のポイントを確認しておく。0.5コマ相当

【事後学修】練習問題に取り組むことにより、学習内容をしっかり身につける。0.5コマ相当

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】授業開始時に指示

【参考図書】平成30年度 学習サポートの手引き 図書館／情報センター／コンピュータ演習室の使い方(仮)

科目名	情報処理演習		
担当教員名	角田 真二		
ナンバリング	KKd244		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 情報処理演習		
学 年	1	ク ラ ス	FAクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*, 選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	1
資 格 関 係	保育士資格 / 上級情報処理士 / ウェブデザイン実務士 / 高等学校教諭一種免許状 (情報) / 高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語) / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 栄養教諭二種免許状 / 小学校教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (国語) / 高等学校教諭一種免許状 (国語) / 中学校教諭一種免許状 (保健体育) / 高等学校教諭一種免許状 (保健体育)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

学部学位授与方針 1 . 2 . 3 に該当する。ディプロマポリシー情報処理基礎 1 に該当する。問題解決の手段や、表現方法を情報機器で具体化・具現化することができる。

本科目は、学部共通科目の科目区分「情報処理基礎」の科目の一つであり、情報処理演習 の継続として基本的な情報機器の操作技能を修得する。

科目の概要

コンピュータを日常的に利用する習慣を形成するとともに、情報の収集・処理・発信に必要不可欠な基礎的知識や態度を身につける。主に、表計算ソフトの基本操作、データ活用と処理、基礎的なホームページ作成等について学習する。

学修目標 (= 到達目標)

表計算ソフトを使って応用的な集計表およびグラフを作成することができる。かつ応用的なデータ分析を行うことができる。

Webページのしくみを理解する。

基本的なHTMLタグとCSSを使ってWebページを作成することができる。

さまざまな情報機器, 入出力装置やそれらに関連するソフトウェアの基本操作について理解する。

内容

1	表計算ソフトの問題演習 1 (関数の応用)
2	表計算ソフトの問題演習 2 (応用的なグラフ作成)
3	表計算ソフトの応用操作 1 (データベース基礎)
4	表計算ソフトの応用操作 2 (データベース応用)
5	表計算ソフトの応用操作 3 (データベース発展)
6	Webページ基礎
7	Webページ応用
8	Webページ発展
9	情報機器 入力装置の基本操作
10	情報機器 出力装置の基本操作
11	情報機器に関連する各種ソフトウェアの基本操作
12	総合課題演習 1
13	総合課題演習 2
14	応用課題演習
15	まとめ

評価

評価 テーマ毎に演習課題（10回程度）を提出する。その内容を総合評価とし、60点以上を合格とする。

フィードバック 提出されたレポートの中で、優れたレポートのどこの部分が優れているのか具体的にコメントし、参考にしよう。

授業外学習

事前学習 事前に教科書に目を通し、各回のキーワードについて調べ、A4：1枚にまとめる。（各授業に対して60分）

事後学習 授業で取り扱った事柄を確かなサイトのホームページで調べ確認する、練習問題に取り組む、ことにより学習内容をしっかり身に付ける。（各授業に対して60分）

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】授業開始時に指示

科目名	情報処理演習		
担当教員名	北原 俊一		
ナンバリング	KKd244		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 情報処理演習		
学 年	1	ク ラ ス	FBクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必, 必修*, 選択
授 業 形 態		単 位 数	1
資 格 関 係	保育士資格 / 上級情報処理士 / ウェブデザイン実務士 / 高等学校教諭一種免許状 (情報) / 高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語) / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 栄養教諭二種免許状 / 小学校教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (国語) / 高等学校教諭一種免許状 (国語) / 中学校教諭一種免許状 (保健体育) / 高等学校教諭一種免許状 (保健体育)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

学部学位授与方針 1 . 2 . 3 に該当する。ディプロマポリシー情報処理基礎 1 に該当する。問題解決の手段や、表現方法を情報機器で具体化・具現化することができる。

本科目は、学部共通科目の科目区分「情報処理基礎」の科目の一つであり、情報処理演習 の継続として基本的な情報機器の操作技能を修得する。

科目の概要

コンピュータを日常的に利用する習慣を形成するとともに、情報の収集・処理・発信に必要不可欠な基礎的知識や態度を身につける。主に、表計算ソフトの基本操作、データ活用と処理、基礎的なホームページ作成等について学習する。

学修目標 (= 到達目標)

表計算ソフトを使って応用的な集計表およびグラフを作成することができる。かつ応用的なデータ分析を行うことができる。

Webページのしくみを理解する。

基本的なHTMLタグとCSSを使ってWebページを作成することができる。

さまざまな情報機器, 入出力装置やそれらに関連するソフトウェアの基本操作について理解する。

内容

1	表計算ソフトの問題演習 1 (関数の応用)
2	表計算ソフトの問題演習 2 (応用的なグラフ作成)
3	表計算ソフトの応用操作 1 (データベース基礎)
4	表計算ソフトの応用操作 2 (データベース応用)
5	表計算ソフトの応用操作 3 (データベース発展)
6	Webページ基礎
7	Webページ応用
8	Webページ発展
9	情報機器 入力装置の基本操作
10	情報機器 出力装置の基本操作
11	情報機器に関連する各種ソフトウェアの基本操作
12	総合課題演習 1
13	総合課題演習 2
14	応用課題演習
15	まとめ

評価

テーマ毎に演習課題（10回程度）を提出する．その内容を総合評価とし，60点以上を合格とする．

【フィードバック】提出されたレポートの中で，優れたレポートのどこの部分が優れているのか具体的にコメントし，参考にしてもらう．

授業外学習

【事前学習】事前に教科書に目を通し，各回のキーワードについて調べ、A4：1枚にまとめる。（各授業に対して60分）

【事後学習】授業で取り扱った事柄を確かなサイトのホームページで調べ確認する、練習問題に取り組むことにより学習内容をしっかり身に付ける．（各授業に対して60分）

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】授業開始時に指示

科目名	情報処理演習		
担当教員名	名見耶 厚		
ナンバリング	KKd244		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 情報処理演習		
学 年	1	ク ラ ス	AAクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*, 選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	1
資 格 関 係	保育士資格 / 上級情報処理士 / ウェブデザイン実務士 / 高等学校教諭一種免許状 (情報) / 高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語) / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 栄養教諭二種免許状 / 小学校教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (国語) / 高等学校教諭一種免許状 (国語) / 中学校教諭一種免許状 (保健体育) / 高等学校教諭一種免許状 (保健体育)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

学部学位授与方針 1 . 2 . 3 に該当する。ディプロマポリシー情報処理基礎 1 に該当する。

問題解決の手段や、表現方法を情報機器で具体化・具現化することができる。

本科目は、学部共通科目の科目区分「情報処理基礎」の科目の一つであり、情報処理演習 の継続として基本的な情報機器の操作技能を修得する。

科目の概要

コンピュータを日常的に利用する習慣を形成するとともに、情報の収集・処理・発信に必要な基礎的知識や態度を身につける。主に、表計算ソフトの基本操作、データ活用と処理、基礎的なホームページ作成等について学習する。

学修目標 (= 到達目標)

表計算ソフトを使って応用的な集計表およびグラフを作成することができる。かつ応用的なデータ分析を行うことができる。

Webページのしくみを理解する。

基本的なHTMLタグとCSSを使ってWebページを作成することができる。

さまざまな情報機器、入出力装置やそれらに関連するソフトウェアの基本操作について理解する。

内容

この授業は原則として毎回実習を中心に行い、経験を積むことで技術・知識の習得を目指す。

1	表計算ソフトの問題演習 1 (関数の応用)
2	表計算ソフトの問題演習 2 (応用的なグラフ作成)
3	表計算ソフトの応用操作 1 (データベース基礎)
4	表計算ソフトの応用操作 2 (データベース応用)
5	表計算ソフトの応用操作 3 (データベース発展)
6	Webページ基礎
7	Webページ応用
8	Webページ発展
9	情報機器 入力装置の基本操作
10	情報機器 出力装置の基本操作
11	情報機器に関連する各種ソフトウェアの基本操作
12	総合課題演習 1
13	総合課題演習 2
14	応用課題演習
15	まとめ

評価

課題：50%、授業内実習・平常点：50%とし、総合評価60点以上を合格とする。

【フィードバック】解答の説明などを次回に行うとともに再提出の機会を設け、複数回行うことで復習の徹底・理解の定着を目指す。

授業外学習

【事前予習】教科書に目を通し、学習のポイントを確認しておく。0.5コマ相当。

【事後学修】練習問題に取り組むことにより、学習内容をしっかり身につける。0.5コマ相当。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】授業開始時に指示

科目名	情報処理演習		
担当教員名	北原 俊一		
ナンバリング	KKd244		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 情報処理演習		
学 年	1	ク ラ ス	BBクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*, 選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	1
資 格 関 係	保育士資格 / 上級情報処理士 / ウェブデザイン実務士 / 高等学校教諭一種免許状 (情報) / 高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語) / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 栄養教諭二種免許状 / 小学校教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (国語) / 高等学校教諭一種免許状 (国語) / 中学校教諭一種免許状 (保健体育) / 高等学校教諭一種免許状 (保健体育)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

学部学位授与方針 1 . 2 . 3 に該当する。ディプロマポリシー 情報処理基礎 1 に該当する。問題解決の手段や、表現方法を情報機器で具体化・具現化することができる。

本科目は、学部共通科目の科目区分「情報処理基礎」の科目の一つであり、情報処理演習 の継続として基本的な情報機器の操作技能を修得する。

科目の概要

コンピュータを日常的に利用する習慣を形成するとともに、情報の収集・処理・発信に必要不可欠な基礎的知識や態度を身につける。主に、表計算ソフトの基本操作、データ活用と処理、基礎的なホームページ作成等について学習する。

学修目標 (= 到達目標)

表計算ソフトを使って応用的な集計表およびグラフを作成することができる。かつ応用的なデータ分析を行うことができる。

Webページのしくみを理解する。

基本的なHTMLタグとCSSを使ってWebページを作成することができる。

さまざまな情報機器, 入出力装置やそれらに関連するソフトウェアの基本操作について理解する。

内容

1	表計算ソフトの問題演習 1 (関数の応用)
2	表計算ソフトの問題演習 2 (応用的なグラフ作成)
3	表計算ソフトの応用操作 1 (データベース基礎)
4	表計算ソフトの応用操作 2 (データベース応用)
5	表計算ソフトの応用操作 3 (データベース発展)
6	Webページ基礎
7	Webページ応用
8	Webページ発展
9	情報機器 入力装置の基本操作
10	情報機器 出力装置の基本操作
11	情報機器に関連する各種ソフトウェアの基本操作
12	総合課題演習 1
13	総合課題演習 2
14	応用課題演習
15	まとめ

評価

テーマ毎に演習課題（10回程度）を提出する．その内容を総合評価とし，60点以上を合格とする．

【フィードバック】提出されたレポートの中で，優れたレポートのどこの部分が優れているのか具体的にコメントし，参考にしてもらう．

授業外学習

【事前学習】事前に教科書に目を通し，各回のキーワードについて調べ、A4：1枚にまとめる。（各授業に対して60分）

【事後学習】授業で取り扱った事柄を確かなサイトのホームページで調べ確認する、練習問題に取り組むことにより学習内容をしっかり身に付ける．（各授業に対して60分）

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】授業開始時に指示

科目名	情報処理演習		
担当教員名	新行内 康慈		
ナンバリング	KKd244		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 情報処理演習		
学 年	1	ク ラ ス	HAクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 必修*, 選必
授 業 形 態		単 位 数	1
資 格 関 係	保育士資格 / 上級情報処理士 / ウェブデザイン実務士 / 高等学校教諭一種免許状 (情報) / 高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語) / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 栄養教諭二種免許状 / 小学校教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (国語) / 高等学校教諭一種免許状 (国語) / 中学校教諭一種免許状 (保健体育) / 高等学校教諭一種免許状 (保健体育)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

人間生活学部学位授与方針1,2,3、情報処理基礎1に該当する。

学部共通科目の科目区分「情報処理基礎」の科目の一つであり、社会のあらゆる分野で必要とされる基礎的な情報活用能力を育成する。レポートや卒業論文、ビジネス文書など各種文書で必要となる表計算・グラフ作成の基礎を学ぶ。

科目の概要

ワークシートやブックの作成・管理、数式や関数の適用、グラフやオブジェクトの作成など、Excelの基本的な機能・操作方法を学び、レポートや卒業論文など各種文書で必要とされる表計算・グラフ作成の基礎スキルを習得する。

学修目標 (= 到達目標)

Excelの様々な機能を活用した表計算・グラフ作成の基礎スキルを習得する。

MOS (Microsoft Office Specialist) Excel 2016 に合格できる能力を習得する。

内容

この授業は演習を中心に行い、技術と知識の習得、実践的活用能力の獲得を目指す。

1	ガイダンス (授業の進め方、資格試験概要など)
2	ワークシートやブックの作成と管理 (1)
3	ワークシートやブックの作成と管理 (2)
4	セルやセル範囲の作成 (1)
5	セルやセル範囲の作成 (2)
6	テーブルの作成
7	数式や関数の適用
8	グラフやオブジェクトの作成 (1)
9	グラフやオブジェクトの作成 (2)
10	模擬問題1
11	模擬問題2
12	模擬問題3
13	模擬問題4
14	模擬問題5
15	まとめ

評価

模擬試験：20点×5回 = 100点とし、総合評価60点以上を合格とする。

【フィードバック】採点、解説などは専用アプリケーションにより行う。復習の徹底と理解の定着のため、再提出の機会を

設ける。

授業外学習

【事前準備】次回の演習内容を読み、内容を理解しておくとともに、疑問点等授業で確認が必要な事項を整理しておく。（各授業に対して60分）

【事後学修】取り扱った内容を見直し、新しく学んだ機能を各自復習しておく。理解が不十分な内容については、質問項目を整理しておく（各授業に対して60分）

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】富士通エフ・オー・エム株式会社、よくわかるマスター Microsoft Office Specialist Microsoft Excel 2016 対策テキスト&問題集、FOM出版

科目名	情報処理演習		
担当教員名	名児耶 厚		
ナンバリング	KKd244		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 情報処理演習		
学 年	1	ク ラ ス	HBクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 選必, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	1
資 格 関 係	保育士資格 / 上級情報処理士 / ウェブデザイン実務士 / 高等学校教諭一種免許状 (情報) / 高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語) / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 栄養教諭二種免許状 / 小学校教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (国語) / 高等学校教諭一種免許状 (国語) / 中学校教諭一種免許状 (保健体育) / 高等学校教諭一種免許状 (保健体育)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

人間生活学部学位授与方針 1 . 2 . 3、情報処理基礎 1 . に該当する。

学部共通科目の科目区分「情報処理基礎」の科目の一つであり、社会のあらゆる分野で必要とされる基礎的な情報活用能力を育成する。レポートや卒業論文、ビジネス文書など各種文書で必要となる表計算・グラフ作成の基礎を学ぶ。

科目の概要

ワークシートやブックの作成・管理、数式や関数の適用、グラフやオブジェクトの作成など、Excelの基本的な機能・操作方法を学び、レポートや卒業論文など各種文書で必要とされる表計算・グラフ作成の基礎スキルを習得する。

学修目標 (= 到達目標)

Excelの様々な機能を活用した表計算・グラフ作成の基礎スキルを習得する。

MOS (Microsoft Office Specialist) Excel 2016に合格できる能力を習得する。

内容

この授業は原則として毎回実習を中心に行い、経験を積むことで技術・知識の習得を目指す。

- 1 ガイダンス (授業の進め方、資格試験概要など)
- 2 ワークシートやブックの作成と管理 (1)
- 3 ワークシートやブックの作成と管理 (2)
- 4 セルやセル範囲の作成 (1)
- 5 セルやセル範囲の作成 (2)
- 6 テーブルの作成
- 7 数式や関数の適用
- 8 グラフやオブジェクトの作成 (1)
- 9 グラフやオブジェクトの作成 (2)
- 10 模擬問題1
- 11 模擬問題2
- 12 模擬問題3
- 13 模擬問題4
- 14 模擬問題5
- 15 まとめ

評価

課題：60%、授業内実習・平常点：40%とし、総合評価60点以上を合格とする。

【フィードバック】解答の説明などを次回に行うとともに再提出の機会を設け、複数回行うことで復習の徹底・理解の定着を目指す。

授業外学習

【事前準備】これまでの学習内容とつながっている項目が多いため、復習と並行して教科書の該当範囲を眺め、概要を把握しておく。（各授業に対して30分）

【事後学修】授業時に間違えた・不安のある項目を中心に繰り返して復習を行い、確実にできるようにする。（各授業に対して90分）

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】富士通エフ・オー・エム株式会社、よくわかるマスター Microsoft Office Specialist Microsoft Excel 2016 対策テキスト&問題集、FOM出版

実習室・受験の環境に合わせる必要があるため、初回の授業時に詳細を指示する。

科目名	情報処理演習		
担当教員名	角田 真二		
ナンバリング	KKd244		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 情報処理演習		
学 年	1	ク ラ ス	ACクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*, 選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	1
資 格 関 係	保育士資格 / 上級情報処理士 / ウェブデザイン実務士 / 高等学校教諭一種免許状 (情報) / 高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語) / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 栄養教諭二種免許状 / 小学校教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (国語) / 高等学校教諭一種免許状 (国語) / 中学校教諭一種免許状 (保健体育) / 高等学校教諭一種免許状 (保健体育)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

学部学位授与方針 1 . 2 . 3 に該当する。ディプロマポリシー 情報処理基礎 1 に該当する。問題解決の手段や、表現方法を情報機器で具体化・具現化することができる。

本科目は、学部共通科目の科目区分「情報処理基礎」の科目の一つであり、情報処理演習 の継続として基本的な情報機器の操作技能を修得する。

科目の概要

コンピュータを日常的に利用する習慣を形成するとともに、情報の収集・処理・発信に必要な基礎的知識や態度を身につける。主に、表計算ソフトの基本操作、データ活用と処理、基礎的なホームページ作成等について学習する。

学修目標 (= 到達目標)

表計算ソフトを使って応用的な集計表およびグラフを作成することができる。かつ応用的なデータ分析を行うことができる。

Webページのしくみを理解する。

基本的なHTMLタグとCSSを使ってWebページを作成することができる。

さまざまな情報機器, 入出力装置やそれらに関連するソフトウェアの基本操作について理解する。

内容	
1	表計算ソフトの問題演習 1 (関数の応用)
2	表計算ソフトの問題演習 2 (応用的なグラフ作成)
3	表計算ソフトの応用操作 1 (データベース基礎)
4	表計算ソフトの応用操作 2 (データベース応用)
5	表計算ソフトの応用操作 3 (データベース発展)
6	Webページ基礎
7	Webページ応用
8	Webページ発展
9	情報機器 入力装置の基本操作
10	情報機器 出力装置の基本操作
11	情報機器に関連する各種ソフトウェアの基本操作
12	総合課題演習 1
13	総合課題演習 2
14	応用課題演習
15	まとめ

評価

評価 テーマ毎に演習課題 (10 回程度) を提出する。その内容を総合評価とし、60 点以上を合格とする。

フィードバック 提出されたレポートの中で、優れたレポートのどこの部分が優れているのか具体的にコメントし、参考にしよう。

授業外学習

事前学習 事前に教科書に目を通し、各回のキーワードについて調べ、A4：1枚にまとめる。（各授業に対して60分）

事後学習 授業で取り扱った事柄を確かなサイトのホームページで調べ確認する、練習問題に取り組む、ことにより学習内容をしっかり身に付ける。（各授業に対して60分）

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】授業開始時に指示

科目名	情報処理演習		
担当教員名			
ナンバリング	KKd244		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 情報処理演習		
学 年		ク ラ ス	CAクラス
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係	保育士資格 / 上級情報処理士 / ウェブデザイン実務士 / 高等学校教諭一種免許状 (情報) / 高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語) / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 栄養教諭二種免許状 / 小学校教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (国語) / 高等学校教諭一種免許状 (国語) / 中学校教諭一種免許状 (保健体育) / 高等学校教諭一種免許状 (保健体育)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

本科目は学部学位授与方針 1 . 2 . 3 およびディプロマポリシー情報処理基礎 1 に該当する。

本科目は、学部共通科目の科目区分「情報処理基礎」の科目の一つであり、情報処理演習 の継続として基本的な情報機器の操作技能を修得する。

科目の概要

コンピュータを日常的に利用する習慣を形成するとともに、情報の収集・処理・発信に必要な基礎的知識や態度を身につける。主に、表計算ソフトの基本操作、データ活用と処理、基礎的なホームページ作成等について学習する。

学修目標 (= 到達目標)

表計算ソフトを使って集計表およびグラフを作成することができる。

表計算ソフトを使って基礎的なデータ分析を行うことができる。

Webページのしくみを理解する。

基本的なHTMLタグとCSSを使ってWebページを作成することができる。

内容

- 1 表計算ソフトの基本操作 1 (表の作成と編集)
- 2 表計算ソフトの基本操作 2 (数式・関数の利用)
- 3 表計算ソフトの基本操作 3 (グラフの作成)
- 4 表計算ソフトの問題演習 1 (数式・関数の活用)
- 5 表計算ソフトの問題演習 2 (目的に応じたグラフの作成)
- 6 表計算ソフトの応用操作 1 (データの並べ替えと抽出)
- 7 表計算ソフトの応用操作 2 (データの集計方法)
- 8 表計算ソフトの応用操作 3 (データの集計と分析)
- 9 Webページの作成 1 (基本的なHTMLタグの使い方)
- 10 Webページの作成 2 (リンクの設定とCSSによる装飾)
- 11 Webページの作成演習 (サイトの設計と作成)
- 12 総合課題演習 1 (各種集計表の処理)
- 13 総合課題演習 2 (データの整理と分析)
- 14 応用課題演習 (ソフトの統合利用)
- 15 まとめ

この授業では、演習課題について受講生が主体となって取り組み、情報処理に対する学習を深める。

評価

テーマ毎に演習課題を提出する。その内容を総合評価し、総合評価60点以上を合格とする。

提出された課題解答については、授業内でコメントをフィードバックする。

授業外学習

【事前予習】演習課題に関する資料を読み、全体の流れや演習課題の趣旨を理解し、ノートの記載する（授業ごとに30分）

【事後学修】練習課題に取り組み、情報処理の手順の定着や知識の定着をはかる（授業ごとに90分）

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

授業内での学習活動に必要な資料は、全学共通として、閲覧方法およびネットワーク内の場所を適宜指示する。

科目名	情報処理演習		
担当教員名	北原 俊一		
ナンバリング	KKd244		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 情報処理演習		
学 年	1	ク ラ ス	CBクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 必修*, 選必
授 業 形 態		単 位 数	1
資 格 関 係	保育士資格 / 上級情報処理士 / ウェブデザイン実務士 / 高等学校教諭一種免許状 (情報) / 高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語) / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 栄養教諭二種免許状 / 小学校教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (国語) / 高等学校教諭一種免許状 (国語) / 中学校教諭一種免許状 (保健体育) / 高等学校教諭一種免許状 (保健体育)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

学部学位授与方針 1 . 2 . 3 に該当する。ディプロマポリシー情報処理基礎 1 に該当する。問題解決の手段や、表現方法を情報機器で具体化・具現化することができる。

本科目は、学部共通科目の科目区分「情報処理基礎」の科目の一つであり、情報処理演習 の継続として基本的な情報機器の操作技能を修得する。

科目の概要

コンピュータを日常的に利用する習慣を形成するとともに、情報の収集・処理・発信に必要不可欠な基礎的知識や態度を身につける。主に、表計算ソフトの基本操作、データ活用と処理、基礎的なホームページ作成等について学習する。

学修目標 (= 到達目標)

表計算ソフトを使って応用的な集計表およびグラフを作成することができる。かつ応用的なデータ分析を行うことができる。

Webページのしくみを理解する。

基本的なHTMLタグとCSSを使ってWebページを作成することができる。

さまざまな情報機器, 入出力装置やそれらに関連するソフトウェアの基本操作について理解する。

内容

1	表計算ソフトの問題演習 1 (関数の応用)
2	表計算ソフトの問題演習 2 (応用的なグラフ作成)
3	表計算ソフトの応用操作 1 (データベース基礎)
4	表計算ソフトの応用操作 2 (データベース応用)
5	表計算ソフトの応用操作 3 (データベース発展)
6	Webページ基礎
7	Webページ応用
8	Webページ発展
9	情報機器 入力装置の基本操作
10	情報機器 出力装置の基本操作
11	情報機器に関連する各種ソフトウェアの基本操作
12	総合課題演習 1
13	総合課題演習 2
14	応用課題演習
15	まとめ

評価

テーマ毎に演習課題（10回程度）を提出する．その内容を総合評価とし，60点以上を合格とする．

【フィードバック】提出されたレポートの中で，優れたレポートのどこの部分が優れているのか具体的にコメントし，参考にしてもらう．

授業外学習

【事前学習】事前に教科書に目を通し，各回のキーワードについて調べ、A4：1枚にまとめる。（各授業に対して60分）

【事後学習】授業で取り扱った事柄を確かなサイトのホームページで調べ確認する、練習問題に取り組むことにより学習内容をしっかり身に付ける．（各授業に対して60分）

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】授業開始時に指示

科目名	情報処理演習		
担当教員名	北原 俊一		
ナンバリング	KKd244		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 情報処理演習		
学 年	1	ク ラ ス	ABクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*, 選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	1
資 格 関 係	保育士資格 / 上級情報処理士 / ウェブデザイン実務士 / 高等学校教諭一種免許状 (情報) / 高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語) / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 栄養教諭二種免許状 / 小学校教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (国語) / 高等学校教諭一種免許状 (国語) / 中学校教諭一種免許状 (保健体育) / 高等学校教諭一種免許状 (保健体育)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

学部学位授与方針 1 . 2 . 3 に該当する。ディプロマポリシー情報処理基礎 1 に該当する。問題解決の手段や、表現方法を情報機器で具体化・具現化することができる。

本科目は、学部共通科目の科目区分「情報処理基礎」の科目の一つであり、情報処理演習 の継続として基本的な情報機器の操作技能を修得する。

科目の概要

コンピュータを日常的に利用する習慣を形成するとともに、情報の収集・処理・発信に必要な基礎的知識や態度を身につける。主に、表計算ソフトの基本操作、データ活用と処理、基礎的なホームページ作成等について学習する。

学修目標 (= 到達目標)

表計算ソフトを使って応用的な集計表およびグラフを作成することができる。かつ応用的なデータ分析を行うことができる。

Webページのしくみを理解する。

基本的なHTMLタグとCSSを使ってWebページを作成することができる。

さまざまな情報機器, 入出力装置やそれらに関連するソフトウェアの基本操作について理解する。

内容

1	表計算ソフトの問題演習 1 (関数の応用)
2	表計算ソフトの問題演習 2 (応用的なグラフ作成)
3	表計算ソフトの応用操作 1 (データベース基礎)
4	表計算ソフトの応用操作 2 (データベース応用)
5	表計算ソフトの応用操作 3 (データベース発展)
6	Webページ基礎
7	Webページ応用
8	Webページ発展
9	情報機器 入力装置の基本操作
10	情報機器 出力装置の基本操作
11	情報機器に関連する各種ソフトウェアの基本操作
12	総合課題演習 1
13	総合課題演習 2
14	応用課題演習
15	まとめ

評価

テーマ毎に演習課題（10回程度）を提出する．その内容を総合評価とし，60点以上を合格とする．

【フィードバック】提出されたレポートの中で，優れたレポートのどこの部分が優れているのか具体的にコメントし，参考にしてもらう．

授業外学習

【事前学習】事前に教科書に目を通し，各回のキーワードについて調べ、A4：1枚にまとめる。（各授業に対して60分）

【事後学習】授業で取り扱った事柄を確かなサイトのホームページで調べ確認する、練習問題に取り組むことにより学習内容をしっかり身に付ける．（各授業に対して60分）

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】授業開始時に指示

科目名	情報処理演習		
担当教員名	角田 真二		
ナンバリング	KKd244		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 情報処理演習		
学 年	1	ク ラ ス	CCクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必, 必修*, 選択
授 業 形 態		単 位 数	1
資 格 関 係	保育士資格 / 上級情報処理士 / ウェブデザイン実務士 / 高等学校教諭一種免許状 (情報) / 高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語) / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 栄養教諭二種免許状 / 小学校教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (国語) / 高等学校教諭一種免許状 (国語) / 中学校教諭一種免許状 (保健体育) / 高等学校教諭一種免許状 (保健体育)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

学部学位授与方針 1 . 2 . 3 に該当する。ディプロマポリシー 情報処理基礎 1 に該当する。問題解決の手段や、表現方法を情報機器で具体化・具現化することができる。

本科目は、学部共通科目の科目区分「情報処理基礎」の科目の一つであり、情報処理演習 の継続として基本的な情報機器の操作技能を修得する。

科目の概要

コンピュータを日常的に利用する習慣を形成するとともに、情報の収集・処理・発信に必要な基礎的知識や態度を身につける。主に、表計算ソフトの基本操作、データ活用と処理、基礎的なホームページ作成等について学習する。

学修目標 (= 到達目標)

表計算ソフトを使って応用的な集計表およびグラフを作成することができる。かつ応用的なデータ分析を行うことができる。

Webページのしくみを理解する。

基本的なHTMLタグとCSSを使ってWebページを作成することができる。

さまざまな情報機器, 入出力装置やそれらに関連するソフトウェアの基本操作について理解する。

内容	
1	表計算ソフトの問題演習 1 (関数の応用)
2	表計算ソフトの問題演習 2 (応用的なグラフ作成)
3	表計算ソフトの応用操作 1 (データベース基礎)
4	表計算ソフトの応用操作 2 (データベース応用)
5	表計算ソフトの応用操作 3 (データベース発展)
6	Webページ基礎
7	Webページ応用
8	Webページ発展
9	情報機器 入力装置の基本操作
10	情報機器 出力装置の基本操作
11	情報機器に関連する各種ソフトウェアの基本操作
12	総合課題演習 1
13	総合課題演習 2
14	応用課題演習
15	まとめ

評価

評価 テーマ毎に演習課題 (10 回程度) を提出する。その内容を総合評価とし、60 点以上を合格とする。

フィードバック 提出されたレポートの中で、優れたレポートのどこの部分が優れているのか具体的にコメントし、参考にしよう。

授業外学習

事前学習 事前に教科書に目を通し、各回のキーワードについて調べ、A4：1枚にまとめる。（各授業に対して60分）

事後学習 授業で取り扱った事柄を確かなサイトのホームページで調べ確認する、練習問題に取り組む、ことにより学習内容をしっかり身に付ける。（各授業に対して60分）

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】授業開始時に指示

科目名	情報処理演習		
担当教員名	北原 俊一		
ナンバリング	KKd244		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 情報処理演習		
学 年	1	ク ラ ス	EBクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*, 選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	1
資 格 関 係	保育士資格 / 上級情報処理士 / ウェブデザイン実務士 / 高等学校教諭一種免許状 (情報) / 高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語) / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 栄養教諭二種免許状 / 小学校教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (国語) / 高等学校教諭一種免許状 (国語) / 中学校教諭一種免許状 (保健体育) / 高等学校教諭一種免許状 (保健体育)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

学部学位授与方針 1 . 2 . 3 に該当する。ディプロマポリシー情報処理基礎 1 に該当する。問題解決の手段や、表現方法を情報機器で具体化・具現化することができる。

本科目は、学部共通科目の科目区分「情報処理基礎」の科目の一つであり、情報処理演習 の継続として基本的な情報機器の操作技能を修得する。

科目の概要

コンピュータを日常的に利用する習慣を形成するとともに、情報の収集・処理・発信に必要不可欠な基礎的知識や態度を身につける。主に、表計算ソフトの基本操作、データ活用と処理、基礎的なホームページ作成等について学習する。

学修目標 (= 到達目標)

表計算ソフトを使って応用的な集計表およびグラフを作成することができる。かつ応用的なデータ分析を行うことができる。

Webページのしくみを理解する。

基本的なHTMLタグとCSSを使ってWebページを作成することができる。

さまざまな情報機器, 入出力装置やそれらに関連するソフトウェアの基本操作について理解する。

内容

1	表計算ソフトの問題演習 1 (関数の応用)
2	表計算ソフトの問題演習 2 (応用的なグラフ作成)
3	表計算ソフトの応用操作 1 (データベース基礎)
4	表計算ソフトの応用操作 2 (データベース応用)
5	表計算ソフトの応用操作 3 (データベース発展)
6	Webページ基礎
7	Webページ応用
8	Webページ発展
9	情報機器 入力装置の基本操作
10	情報機器 出力装置の基本操作
11	情報機器に関連する各種ソフトウェアの基本操作
12	総合課題演習 1
13	総合課題演習 2
14	応用課題演習
15	まとめ

評価

テーマ毎に演習課題（10回程度）を提出する．その内容を総合評価とし，60点以上を合格とする．

【フィードバック】提出されたレポートの中で，優れたレポートのどこの部分が優れているのか具体的にコメントし，参考にしてもらう．

授業外学習

【事前学習】事前に教科書に目を通し，各回のキーワードについて調べ、A4：1枚にまとめる。（各授業に対して60分）

【事後学習】授業で取り扱った事柄を確かなサイトのホームページで調べ確認する、練習問題に取り組むことにより学習内容をしっかり身に付ける．（各授業に対して60分）

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】授業開始時に指示

科目名	情報処理演習		
担当教員名	角田 真二		
ナンバリング	KKd244		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 情報処理演習		
学 年	1	ク ラ ス	BAクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*, 選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	1
資 格 関 係	保育士資格 / 上級情報処理士 / ウェブデザイン実務士 / 高等学校教諭一種免許状 (情報) / 高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語) / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 栄養教諭二種免許状 / 小学校教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (国語) / 高等学校教諭一種免許状 (国語) / 中学校教諭一種免許状 (保健体育) / 高等学校教諭一種免許状 (保健体育)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

学部学位授与方針 1 . 2 . 3 に該当する。ディプロマポリシー 情報処理基礎 1 に該当する。問題解決の手段や、表現方法を情報機器で具体化・具現化することができる。

本科目は、学部共通科目の科目区分「情報処理基礎」の科目の一つであり、情報処理演習 の継続として基本的な情報機器の操作技能を修得する。

科目の概要

コンピュータを日常的に利用する習慣を形成するとともに、情報の収集・処理・発信に必要な基礎的知識や態度を身につける。主に、表計算ソフトの基本操作、データ活用と処理、基礎的なホームページ作成等について学習する。

学修目標 (= 到達目標)

表計算ソフトを使って応用的な集計表およびグラフを作成することができる。かつ応用的なデータ分析を行うことができる。

Webページのしくみを理解する。

基本的なHTMLタグとCSSを使ってWebページを作成することができる。

さまざまな情報機器, 入出力装置やそれらに関連するソフトウェアの基本操作について理解する。

内容	
1	表計算ソフトの問題演習 1 (関数の応用)
2	表計算ソフトの問題演習 2 (応用的なグラフ作成)
3	表計算ソフトの応用操作 1 (データベース基礎)
4	表計算ソフトの応用操作 2 (データベース応用)
5	表計算ソフトの応用操作 3 (データベース発展)
6	Webページ基礎
7	Webページ応用
8	Webページ発展
9	情報機器 入力装置の基本操作
10	情報機器 出力装置の基本操作
11	情報機器に関連する各種ソフトウェアの基本操作
12	総合課題演習 1
13	総合課題演習 2
14	応用課題演習
15	まとめ

評価

評価 テーマ毎に演習課題 (10 回程度) を提出する。その内容を総合評価とし、60 点以上を合格とする。

フィードバック 提出されたレポートの中で、優れたレポートのどこの部分が優れているのか具体的にコメントし、参考にしよう。

授業外学習

事前学習 事前に教科書に目を通し、各回のキーワードについて調べ、A4：1枚にまとめる。（各授業に対して60分）

事後学習 授業で取り扱った事柄を確かなサイトのホームページで調べ確認する、練習問題に取り組む、ことにより学習内容をしっかり身に付ける。（各授業に対して60分）

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】授業開始時に指示

科目名	情報処理演習		
担当教員名	角田 真二		
ナンバリング	KKd244		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 情報処理演習		
学 年	1	ク ラ ス	DAクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 選必, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	1
資 格 関 係	保育士資格 / 上級情報処理士 / ウェブデザイン実務士 / 高等学校教諭一種免許状 (情報) / 高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語) / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 栄養教諭二種免許状 / 小学校教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (国語) / 高等学校教諭一種免許状 (国語) / 中学校教諭一種免許状 (保健体育) / 高等学校教諭一種免許状 (保健体育)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

学部学位授与方針 1 . 2 . 3 に該当する。ディプロマポリシー情報処理基礎 1 に該当する。問題解決の手段や、表現方法を情報機器で具体化・具現化することができる。

本科目は、学部共通科目の科目区分「情報処理基礎」の科目の一つであり、情報処理演習 の継続として基本的な情報機器の操作技能を修得する。

科目の概要

コンピュータを日常的に利用する習慣を形成するとともに、情報の収集・処理・発信に必要不可欠な基礎的知識や態度を身につける。主に、表計算ソフトの基本操作、データ活用と処理、基礎的なホームページ作成等について学習する。

学修目標 (= 到達目標)

表計算ソフトを使って応用的な集計表およびグラフを作成することができる。かつ応用的なデータ分析を行うことができる。

Webページのしくみを理解する。

基本的なHTMLタグとCSSを使ってWebページを作成することができる。

さまざまな情報機器, 入出力装置やそれらに関連するソフトウェアの基本操作について理解する。

内容	
1	表計算ソフトの問題演習 1 (関数の応用)
2	表計算ソフトの問題演習 2 (応用的なグラフ作成)
3	表計算ソフトの応用操作 1 (データベース基礎)
4	表計算ソフトの応用操作 2 (データベース応用)
5	表計算ソフトの応用操作 3 (データベース発展)
6	Webページ基礎
7	Webページ応用
8	Webページ発展
9	情報機器 入力装置の基本操作
10	情報機器 出力装置の基本操作
11	情報機器に関連する各種ソフトウェアの基本操作
12	総合課題演習 1
13	総合課題演習 2
14	応用課題演習
15	まとめ

評価

評価 テーマ毎に演習課題 (10 回程度) を提出する。その内容を総合評価とし、60 点以上を合格とする。

フィードバック 提出されたレポートの中で、優れたレポートのどこの部分が優れているのか具体的にコメントし、参考にしよう。

授業外学習

事前学習 事前に教科書に目を通し、各回のキーワードについて調べ、A4：1枚にまとめる。（各授業に対して60分）

事後学習 授業で取り扱った事柄を確かなサイトのホームページで調べ確認する、練習問題に取り組む、ことにより学習内容をしっかり身に付ける。（各授業に対して60分）

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】授業開始時に指示

科目名	情報処理演習		
担当教員名	角田 真二		
ナンバリング	KKd244		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 情報処理演習		
学 年	1	ク ラ ス	EAクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必, 選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	1
資 格 関 係	保育士資格 / 上級情報処理士 / ウェブデザイン実務士 / 高等学校教諭一種免許状 (情報) / 高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語) / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 栄養教諭二種免許状 / 小学校教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (国語) / 高等学校教諭一種免許状 (国語) / 中学校教諭一種免許状 (保健体育) / 高等学校教諭一種免許状 (保健体育)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

学部学位授与方針 1 . 2 . 3 に該当する。ディプロマポリシー情報処理基礎 1 に該当する。問題解決の手段や、表現方法を情報機器で具体化・具現化することができる。

本科目は、学部共通科目の科目区分「情報処理基礎」の科目の一つであり、情報処理演習 の継続として基本的な情報機器の操作技能を修得する。

科目の概要

コンピュータを日常的に利用する習慣を形成するとともに、情報の収集・処理・発信に必要な基礎的知識や態度を身につける。主に、表計算ソフトの基本操作、データ活用と処理、基礎的なホームページ作成等について学習する。

学修目標 (= 到達目標)

表計算ソフトを使って応用的な集計表およびグラフを作成することができる。かつ応用的なデータ分析を行うことができる。

Webページのしくみを理解する。

基本的なHTMLタグとCSSを使ってWebページを作成することができる。

さまざまな情報機器, 入出力装置やそれらに関連するソフトウェアの基本操作について理解する。

内容	
1	表計算ソフトの問題演習 1 (関数の応用)
2	表計算ソフトの問題演習 2 (応用的なグラフ作成)
3	表計算ソフトの応用操作 1 (データベース基礎)
4	表計算ソフトの応用操作 2 (データベース応用)
5	表計算ソフトの応用操作 3 (データベース発展)
6	Webページ基礎
7	Webページ応用
8	Webページ発展
9	情報機器 入力装置の基本操作
10	情報機器 出力装置の基本操作
11	情報機器に関連する各種ソフトウェアの基本操作
12	総合課題演習 1
13	総合課題演習 2
14	応用課題演習
15	まとめ

評価

評価 テーマ毎に演習課題 (10回程度) を提出する。その内容を総合評価とし、60点以上を合格とする。

フィードバック 提出されたレポートの中で、優れたレポートのどこの部分が優れているのか具体的にコメントし、参考にしよう。

授業外学習

事前学習 事前に教科書に目を通し、各回のキーワードについて調べ、A4：1枚にまとめる。（各授業に対して60分）

事後学習 授業で取り扱った事柄を確かなサイトのホームページで調べ確認する、練習問題に取り組む、ことにより学習内容をしっかり身に付ける。（各授業に対して60分）

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】授業開始時に指示

科目名	日本語		
担当教員名	前田 庸子		
ナンバリング	KKc128		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 日本語		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	通年	必修・選択の別	選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格 共通科目 (外国語) の学位授与方針1,2,3に該当。

留学生 (1 年次学生) のための日本語授業で、四技能 (「読む」「書く」「話す」「聞く」) の力を総合的に高めることを目標に学習します。

科目の概要

さまざまな種類の文章 (新聞・エッセイ・論説文・説明文・小説など) を教材として用い、主に読解練習をとおして以下の事柄に重きを置き授業を進めます。

- (1) 文章の内容を理解し、的確にまとめる練習を行う。
- (2) 語彙数を増やし、表現文型を身につける。
- (3) 理解した内容を的確に相手に伝える練習 (文字・口頭) を行う。
- (4) 身近な話題にとどまらず、抽象的な話題についても自分の考えを表現する練習を行う。

学修目標

この科目を修了し、日本語力向上のためには、次のことを満たすことが求められます。

- (1) 授業に必ず出席し、日本語だけで積極的に授業に参加し、母語の使用を控える。
- (2) 教材の文章を理解し、提示される課題を積極的にこなす。
- (3) 受講生同士互いの話をよく聞き、自分の考えを的確に相手に伝えるよう努める。

内容

授業は毎回、本文読解、文構造・語彙・表現の解説、文型の用法説明・練習を中心に進めていきます。また、教材のテーマについての意見交換や、要約文・感想文など書く練習もまとめとして行います。授業は、グループワーク、ペアワーク、ディスカッション、発表などの形態を取り入れ行います。

第 1 回	前期授業のガイダンス・日本語総合力の測定
第 2 回 ~ 7 回	読解 (短文) 文法 (助詞・機能語・短文作成)
第 8 回	まとまった長さの文章を書く (教材からテーマを選んで意見を書く)
第 9 回 ~ 14 回	読解 (中文) 文法 (機能語・接続のことば・短文作成)
第 15 回	前期のまとめ
第 16 回	後期のガイダンス・日本語総合力の測定
第 17 回 ~ 22 回	読解 (中文) 文法 (機能語・語彙・副詞・短文作成)
第 23 回	まとまった長さの文章を書く (教材からテーマを選んで意見を書く)
第 23 回 ~ 29 回	読解 (長文) 文法 (機能語・短文作成)
第 30 回	後期のまとめ

評価

平常点（毎回の授業で指示する課題の完成・授業への参加度）：40% 筆記試験：60% とし、総合評価60点以上を合格とする。合格点に達しなかった場合は、再試験を行う。 フィードバック：提出された課題はコメントを記載し、翌週以降に授業内で返却する。

授業外学習

【事前予習】各回の新出語彙について調べ、意味を確認し、ノートに整理する。

【事後学修】授業で学習した文法を確認し、例文を作成、ノートに整理する。また、読解を行った文章の要約と感想をノートにまとめる。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【テキスト】 第1回目の授業で指示します。

【参考図書】 改定版どんな時どう使う日本語表現文型500中上級 / 友松悦子ほか著 / アルク
教師と学習者のための日本語文型辞典 / くろしお出版

科目名	日本語		
担当教員名	小笠原 典子		
ナンバリング	KKc228		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 日本語		
学 年	1,2,3,4	ク ラ ス	0Aクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格 共通科目 (外国語) の学位授与方針1,2,3に該当。

2・3・4年生留学生を対象にする科目で、繰り返し受講が可能です。この授業は日本語 の「基礎クラス」で、履修はクラス分けテストの結果によります。四技能 (「読む」「書く」「話す」「聞く」) の力をさらに高めることを目標に学習します。

科目の概要

さまざまなスタイルの文章 (新聞・エッセイ・論説文・説明文・小説など) を読み、自分の考えや意見を口頭および文章で的確に表現する力をつけていきます。また、正確に内容を理解できるように、構文・文法・語彙・表現の学習をあわせて行います。

学修目標

この科目を修了するために、以下のことを目標に出席することが求められます。

1. 授業に必ず出席し、取り上げられるテーマについて文章を読んで内容を理解し、課題がこなせるようにする。これは読解力の向上につながる。
2. テーマについて考え、自分の意見を進んで述べ、授業に参加する。(出席するだけでなく、発話力の向上につながるので、積極的に参加する)
3. 提示される課題・課題の提出物は、表現力の向上の助けとなるので積極的に取り組む。

内容

授業は毎回、本文読解、文構造・語彙・表現の解説、文型の用法説明・練習を中心に進めていきます。また、教材のテーマについての意見交換や、要約文・感想文など書く練習もまとめとして行います。授業は、グループワーク、ペアワーク、ディスカッション、発表などの形態を取り入れて進めます。

第1回	前期授業のガイダンス・日本語総合力の測定
第2回～4回	新聞記事の読解
第5回～9回	説明文・論説文の読解
第10回～13回	エッセイ・小説の読解
第14回	まとまった長さの文章を書く ・復習 (文法の弱点補強、語彙の確認など)
第15回	前期授業のまとめ
第16回	後期授業のガイダンス・日本語総合力の測定
第17回～20回	説明文、評論・論説文の読解
第21・22回	エッセイの読解
第23回	まとまった長さの文章を書く ・復習 (文法の弱点補強、語彙の確認など)
第24回～26回	文学作品を読む
第27回～29回	さまざまな分野の読み物を用いた読解練習

評価

平常点（毎回の授業で指示する課題の完成・授業への参加度）：40% 筆記試験：60% とし、総合評価60点以上を合格とする。合格点に達しなかった場合は、再試験を行う。 フィードバック：提出された課題はコメントを記載し、翌週以降に授業内で返却する。

授業外学習

【事前予習】各回の新出語彙について調べ、意味を確認し、ノートに整理する。

【事後学修】授業で学習した文法を確認し、例文を作成、ノートに整理する。また、読解を行った文章の要約と感想をノートにまとめる。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【テキスト】【推薦書】

第1回目の授業で指示します。

科目名	日本語		
担当教員名	前田 庸子		
ナンバリング	KKc228		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 日本語		
学 年	1	ク ラ ス	0Bクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格 共通科目 (外国語) の学位授与方針1,2,3に該当。

2・3・4年生留学生を対象にする科目で、繰り返し受講が可能です。この授業は日本語 の「応用クラス」で、履修はクラス分けテストの結果によります。四技能 (「読む」「書く」「話す」「聞く」) の力をさらに高めることを目標に学習します。

科目の概要

さまざまなスタイルの文章 (新聞・エッセイ・論説文・説明文・小説など) を読み、自分の考えや意見を口頭および文章で的確に表現する力をつけていきます。また、正確に内容を理解できるように、構文・文法・語彙・表現の学習をあわせて行います。

学修目標

この科目を修了するために、以下のことを目標に出席することが求められます。

1. 授業に必ず出席し、取り上げられるテーマについて文章を読んで内容を理解し、課題がこなせるようにする。これは読解力の向上につながる。
2. テーマについて考え、自分の意見を進んで述べ、授業に参加する。(出席するだけでなく、発話力の向上につながるので、積極的に参加する)
3. 提示される課題・課題の提出物は、表現力の向上の助けとなるので積極的に取り組む。

内容

授業は毎回、本文読解、文構造・語彙・表現の解説、文型の用法説明・練習を中心に進めていきます。また、教材のテーマについての意見交換や、要約文・感想文など書く練習もまとめとして行います。授業は、グループワーク、ペアワーク、ディスカッション、発表などの形態を取り入れ行います。

- | | |
|----------|---------------------------------------|
| 第1回 | 前期授業のガイダンス・日本語総合力の測定 |
| 第2回～4回 | 新聞記事の読解 |
| 第5回～9回 | 説明文・論説文の読解 |
| 第10回～13回 | エッセイ・小説の読解 |
| 第14回 | まとまった長さの文章を書く ・復習 (文法の弱点補強、語彙の確認など) |
| 第15回 | 前期授業のまとめ |
| 第16回 | 後期授業のガイダンス・日本語総合力の測定 |
| 第17回～20回 | 説明文、評論・論説文の読解 |
| 第21・22回 | エッセイの読解 |
| 第23回 | まとまった長さの文章を書く ・復習 (文法の弱点補強、語彙の確認など) |
| 第24回～26回 | 文学作品を読む |
| 第27回～29回 | さまざまな分野の読み物を用いた読解練習 |

評価

平常点（毎回の授業で指示する課題の完成・授業への参加度）：40% 筆記試験：60% とし、総合評価60点以上を合格とする。合格点に達しなかった場合は、再試験を行う。 フィードバック：提出された課題はコメントを記載し、翌週以降に授業内で返却する。

授業外学習

【事前予習】各回の新出語彙について調べ、意味を確認し、ノートに整理する。

【事後学修】授業で学習した文法を確認し、例文を作成、ノートに整理する。また、読解を行った文章の要約と感想をノートにまとめる。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【テキスト】【推薦書】

第1回目の授業で指示します。

科目名	日本語		
担当教員名	小田 明子		
ナンバリング	KKc228		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 日本語		
学 年	1	ク ラ ス	0Cクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格 共通科目 (外国語) の学位授与方針1,2,3に該当。

2・3・4年生留学生を対象にする科目で、繰り返し受講が可能です。この授業は日本語 の「発展クラス」で、履修はクラス分けテストの結果によります。四技能 (「読む」「書く」「話す」「聞く」) の力をさらに高めることを目標に学習します。

科目の概要

さまざまなスタイルの文章 (新聞・エッセイ・論説文・説明文・小説など) を読み、自分の考えや意見を口頭および文章での確に表現する力をつけていきます。また、正確に内容を理解できるように、構文・文法・語彙・表現の学習をあわせて行います。

学修目標

この科目を修了するために、以下のことを目標に出席することが求められます。

1. 授業に必ず出席し、取り上げられるテーマについて文章を読んで内容を理解し、課題がこなせるようにする。これは読解力の向上につながる。
2. テーマについて考え、自分の意見を進んで述べ、授業に参加する。(出席するだけでなく、発話力の向上につながるので、積極的に参加する)
3. 提示される課題・課題の提出物は、表現力の向上の助けとなるので積極的に取り組む。

内容

授業は毎回、本文読解、文構造・語彙・表現の解説、文型の用法説明・練習を中心に進めていきます。また、教材のテーマについての意見交換や、要約文・感想文など書く練習もまとめとして行います。授業は、グループワーク、ペアワーク、ディスカッション、発表などの形態を取り入れ行います。

- | | |
|----------|---------------------------------------|
| 第1回 | 前期授業のガイダンス・日本語総合力の測定 |
| 第2回～4回 | 新聞記事の読解 |
| 第5回～9回 | 説明文・論説文の読解 |
| 第10回～13回 | エッセイ・小説の読解 |
| 第14回 | まとまった長さの文章を書く ・復習 (文法の弱点補強、語彙の確認など) |
| 第15回 | 前期授業のまとめ |
| 第16回 | 後期授業のガイダンス・日本語総合力の測定 |
| 第17回～20回 | 説明文、評論・論説文の読解 |
| 第21・22回 | エッセイの読解 |
| 第23回 | まとまった長さの文章を書く ・復習 (文法の弱点補強、語彙の確認など) |
| 第24回～26回 | 文学作品を読む |
| 第27回～29回 | さまざまな分野の読み物を用いた読解練習 |

評価

平常点（毎回の授業で指示する課題の完成・授業への参加度）：40% 筆記試験：60% とし、総合評価60点以上を合格とする。合格点に達しなかった場合は、再試験を行う。 フィードバック：提出された課題はコメントを記載し、翌週以降に授業内で返却する。

授業外学習

【事前予習】各回の新出語彙について調べ、意味を確認し、ノートに整理する。

【事後学修】授業で学習した文法を確認し、例文を作成、ノートに整理する。また、読解を行った文章の要約と感想をノートにまとめる。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【テキスト】【推薦書】

第1回目の授業で指示します。

科目名	海外語学研修（事前事後指導を含む）		
担当教員名	池間 里代子		
ナンバリング	KKc129		
学 科	人間生活学部（K）-共通科目-海外語学研修		
学 年	1,2,3,4	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

中国北京語言大学への短期・長期留学のために、中国語はもとより生活・危機管理・街の様子などを学び理解する。現地で役立つ言葉や交流に不可欠な自己紹介を練習する。この科目は共通科目学位授与方針1・2に該当する。

科目の概要

会話教材（プリント）やDVDなどの視覚教材を用い、中国語に慣れる。

学修目標（＝到達目標）

北京でリスニング力を上げ、自分が行きたいところへ行く、食べたいものを注文する、先生に質問する、などの力を身につける。

内容

ガイダンス

中国語発音復習

中国語文法復習

語彙

リスニング

スピーキング

ロールプレイング

手紙・メールの書き方

北京について

グルメガイド

危機管理

評価

事前指導の理解力を50%、現地での行動を50%とし、総合評価60点以上を合格とする。事前指導のフィードバックは授業内に行なう。現地での行動はその場で評価を行なう。

授業外学習

【事前準備】プリント・PPT・DVDなどにより指導を行なう。それに先立ち、中国語による自己紹介を60分程度で準備すること。

【事後学修】報告会のパワーポイント作成指導。そのために、写真・文章を60分程度で準備すること。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】プリント

【参考図書】『地球の歩き方・ペキン』

科目名	海外語学研修（事前事後指導を含む）		
担当教員名	福田 仁		
ナンバリング	KKc129		
学 科	人間生活学部（K）-共通科目-海外語学研修		
学 年	1,2,3,4	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

海外英語研修は、選択科目として卒業必要単位に加算されます。

夏期休業中の一定期間、本学の海外姉妹校や提携校で開講されている英語集中講座に参加することにより、英語によるコミュニケーション能力の向上と、異文化理解を目標とします。

内容

以下の研修先で英語集中講座に参加します。（ただし、最少催行人数に達しない場合は中止する場合があります。）

アメリカ英語研修： ハワイ大学マノア校（オアフ島）

約4週間のプログラムで、ホームステイをします。また、希望により周辺への小旅行もあります。

新年度が始まるとすぐに説明会がありますから、興味のある人は出席をしてください。詳しくは国際交流センターにお問い合わせください。

評価

出発前に毎週オリエンテーションが行われます。このオリエンテーションに必ず出席しなければなりません。この出席状況と現地で行われる英語集中講座の成績をもとに評価します。

オリエンテーションに対する積極的参加（30%） 研修先での成績（70%）

60点以上を合格として、2単位が与えられます。

授業外学習

オリエンテーションで指示されます。

ホストファミリーとの会話で困らないよう、自ら準備をしてください。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

オリエンテーションで毎回資料を配布します。この資料をもとに出発までの準備をします。

科目名	アドバンスト・リスニング		
担当教員名	福田 仁		
ナンバリング	KKc334		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 目的別科目 (外国語)		
学 年	1	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

この科目は、「共通科目」の「外国語」選択科目です。

科目の概要

主にインターネット上のウェブサイトから興味深い、または新鮮で話題となっている事柄の英文テキストを選び、トップダウン (概要理解) とボトムアップ (語彙、表現、語法など) の両面から英語のリスニングを高めます。

Advanced (上級) のリスニングですので、英検 2 級程度を目標とします。

学修目標 (= 到達目標)

英語新聞、雑誌、ウェブサイトなどにあるある程度まとまった英語を聴き、比較的短時間で概要を理解できる英語力を身に付ける。

内容

1	イントロダクション
2	ウェブサイト上の記事 1
3	ウェブサイト上の記事 2
4	ウェブサイト上の記事 3
5	ウェブサイト上の記事 4
6	ウェブサイト上の記事 5
7	ウェブサイト上の記事 6
8	ウェブサイト上の記事 7
9	ウェブサイト上の記事 8
10	ウェブサイト上の記事 9
11	ウェブサイト上の記事 1 0
12	ウェブサイト上の記事 1 1
13	ウェブサイト上の記事 1 2
14	ウェブサイト上の記事 1 3
15	まとめ

評価

授業への取り組み (30%)、課題 (20%)、期末試験 (50%) とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】 指定された英文を聴き、概略をつかむこと。

【事後学修】 学習した英文の語彙や表現を復習し、定着させること。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】 教科書は使用しません。プリントを配布します。

科目名	アドバンスト・リスニング		
担当教員名			
ナンバリング	KKc334		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 目的別科目 (外国語)		
学 年		ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

全学科の学生を対象とする、共通外国語選択科目です。中高の英語の教免取得のためには、必須な科目の1つです。

科目の概要

英語の自然な発話にみられる音変化を習得したのち、文化的背景や社会常識などの要素を含む素材を使って英語のリスニングの力を高めます。

学修目標 (= 到達目標)

音変化を含んだリスニング素材の聞き取り、映画等の英語の自然な発話を聞き取りを行い、目的に応じて情報や考えなどを理解することができる。

内容

- (1) 毎週かなりの課題が出ますので、予習が重要です。
- (2) 毎週の課題の中にわからない単語がある場合は、必ず辞書を引いて予習しておいてください。
- (3) 最終回には指定箇所の暗唱を行います

第1回：導入：英語のリスニングに必要な力とは

第2回：機能語と内容語

第3回：短縮形

第4回：変化する音

第5回：聞こえなくなる音

第6回：つながって聞こえる音・やわらかくなる音

第7回：注意すべきイントネーション

第8回：音変化のまとめ

第9回：映画英語のリスニング 場面1

第10回：映画英語のリスニング 場面2

第11回：映画英語のリスニング 場面3

第12回：映画英語のリスニング 場面4

第13回：映画英語のリスニング 場面5

第14回：映画英語のリスニング 場面6

第15回：まとめ (指定箇所の暗唱)

評価

下記の割合で点数化し、60%以上の得点を合格とする。

(1) 期末テスト(筆記・暗唱) 70%、(2) 授業への取り組み(小テスト・予習・課題・参加態度) 30%

【フィードバック】 小テストやリアクションペーパーにコメントします。

授業外学習

【事前予習】 毎週、指定された箇所のリスニングに取り組み、分からない単語は調べておくこと

【事後学修】 授業で取り組んだポイントの箇所をディクテーションできるようにすること

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】 なし

科目名	アドバンスト・リーディング		
担当教員名			
ナンバリング	KKc335		
学 科	人間生活学部（K）-共通科目-目的別科目（外国語）		
学 年		ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状（英語） / 中学校教諭一種免許状（英語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

<科目の性格>

この科目は、リーディング力をつけたい学生を対象としています。英語の文章を正確に、しかも速くよみたいと思っている学生や就職などのことを考え、英文に慣れる必要がある人にも良いでしょう。

<科目の概要>

新聞や雑誌だけではなくさまざまな媒体から素材を用います。また、ペアワークなどを通して理解した内容と伝える練習をします。

<学修目標>

受け身の力だけではなく、能動的な力をつけ、理解を運用へとつなげることが目標です。これによって、様々な資格試験への対応も可能となるでしょう。

内容

1. 導入(the invitation to the world of Snoopy)
2. Unit 1 Did he tell you to stop winking at Girls? (1)
3. Did he tell you to stop winking at Girls? (2)
4. Unit 2. I could have had an older sister to look up to? (1)
5. I could have had an older sister to look up to? (2)
6. Unit 3. Why don't we just keep it our little secret? (1)
7. Why don't we just keep it our little secret? (2)
8. Unit 4. All right, gang, it's time to start our spring training! (1)
9. All right, gang, it's time to start our spring training! (2)
10. Unit 5. How about an hour's worth of doughnuts?(1)
11. How about an hour's worth of doughnuts?(2)
12. Unit 6. I imagine the life of a surgeon can be very rewarding.(1)
13. I imagine the life of a surgeon can be very rewarding.(2)
14. Unit 7. I forgot her in fourteen doughnuts! (1)
15. I forgot her in fourteen doughnuts! (2)

評価

授業での取り組み20% 平常点15% 試験65%

授業外学習

【事前予習】毎週、各ユニットの文章の単語を調べ、問題を解くこと

【事後学修】授業で読んだユニットの小テストを当日実施しなかった場合は、次週に小テストをするので、重要な単語を読み書き・使用できるようにしておくこと

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

十文字女子大学用 オリジナルプリント

科目名	アドバンスト・リーディング		
担当教員名	福田 仁		
ナンバリング	KKc335		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 目的別科目 (外国語)		
学 年	1	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

この科目は、「共通科目」の「外国語」選択科目です。

科目の概要

主にインターネット上のウェブサイトから興味深い、または新鮮で話題となっている事柄の英文テキストを選び、トップダウン (概要理解) とボトムアップ (語彙、表現、語法など) の両面から英語の読解力を高めます。

Advanced (上級) のリーディングですので、英検 2 級程度を目標とします。

学修目標 (= 到達目標)

英語新聞、雑誌、ウェブサイトなどに書かれている英文テキストを読み、比較的短時間で概要を理解できる英語力を身に付ける。

内容	
1	イントロダクション
2	ウェブサイト上の記事 1
3	ウェブサイト上の記事 2
4	ウェブサイト上の記事 3
5	ウェブサイト上の記事 4
6	ウェブサイト上の記事 5
7	ウェブサイト上の記事 6
8	ウェブサイト上の記事 7
9	ウェブサイト上の記事 8
10	ウェブサイト上の記事 9
11	ウェブサイト上の記事 1 0
12	ウェブサイト上の記事 1 1
13	ウェブサイト上の記事 1 2
14	ウェブサイト上の記事 1 3
15	まとめ

評価

授業への取り組み (30%)、課題 (20%)、期末試験 (50%) とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

- 【事前予習】 指定された英文テキストを読み、概略をつかむこと。
- 【事後学修】 学習した英文テキストの語彙や表現を復習し、定着させること。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

- 【教科書】 教科書は使用しません。プリントを配布します。

科目名	アドバンスト・ライティング		
担当教員名	宮本 正治		
ナンバリング	KKC336		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 目的別科目 (外国語)		
学 年	1	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

共通科目 - 外国語 - 目的別科目である。選択科目であるが、英語教職課程の履修者は必修となる。

学位授与方針 (外国語) 1, 2, 3 に該当する。

科目の概要および 学修目標 (=到達目標)

短い英文のモデルエッセイを読み、その論理展開のパターンを学ぶ。そのうち、そのパターンに従ってオリジナルエッセイを作成することにより、ひとつのまとまった内容を英語で書く訓練をすることを目的とする。一文一文を文法的に書くことに加えて、英文エッセイにおけるパラグラフの概念を学び、論理的な文章を書くことをめざす。

内容

英文のモデルエッセイを読み、英語の論理パターンを学ぶ。授業では、「分類」「手順の説明」「言葉の定義」「意見と理由」「観察と分析」「データの説明」などのパターンを取り上げ、それぞれの文章に応じた書き方を練習していく。また教室での演習に加えて、各パターンごとに自宅で課題を行うことによって、実践的な英文読解のスキルを身につけていく。

1	ガイダンス・Unit 1. Conclusions/Reasons モデルエッセイの説明
2	Unit 1. Conclusions/Reasons オリジナルエッセイの作成
3	Unit 2. Analysis モデルエッセイの説明
4	Unit 2. Analysis オリジナルエッセイの作成
5	Unit 4. Controversy モデルエッセイの説明
6	Unit 4. Controversy オリジナルエッセイの作成
7	Unit 6. Classification モデルエッセイの説明
8	Unit 6. Classification オリジナルエッセイの作成
9	Unit 10. Process モデルエッセイの説明
10	Unit 10. Process オリジナルエッセイの作成
11	Unit 12. Definition モデルエッセイの説明
12	Unit 12. Definition オリジナルエッセイの作成
13	Unit 13. Explanation モデルエッセイの説明
14	Unit 13. Explanation オリジナルエッセイの作成
15	まとめ

評価

期末テスト40%、平常点 (課題、復習テスト、参加態度) 60% とし、総合評価60点以上を合格とする。

【フィードバック】受講生のエッセイを添削し、返却します。

授業外学習

【事前予習】モデルエッセイを読み、その構成を予習する

【事後学修】モデルエッセイのパターンにしたがって、自分のエッセイを作成する

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】『Skills for Better Writing 構造で書く英文エッセイ（改訂版）』，石谷由美子他，南雲堂，1900円＋税）
その他適宜プリントを使用する

授業には必ず辞書を持参してください。

科目名	アドバンスト・ライティング		
担当教員名			
ナンバリング	KKC336		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 目的別科目 (外国語)		
学 年		ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

(科目の性格)

英語は世界の共通言語ですが、言葉そのものだけでなくその論理展開の方法を学ぶことも重要です。特に文章を書くにあたっては、その傾向が顕著です。この科目では、読み手にわかりやすい英語の理論展開の仕方と文章を書く方法を学びます。

(科目の概要)

文章の種類に応じたライティング・パターンを学び、そのパターンに沿って文章を展開する練習を行います。取り上げるライティング・パターンは「意見とその理由を述べる文章」「原因分析の文章」「賛成・反対の意見とその理由を述べる文章」「物事を分類、比較する文章」「順序、時系列で各文書」などを予定しています。

(学修目標)

パラグラフ・ライティング、エッセイ・ライティングの知識を得て、英語の文章を論理的に書けるようになることです。

内容	
1	ガイダンス
2	意見とその理由を述べる フォーマットを知る・構成分析
3	意見とその理由を述べる 慣用表現
4	意見とその理由を述べる ライティング
5	賛成・反対の意見それぞれの理由を述べる フォーマットを知る・構成分析
6	賛成・反対の意見それぞれの理由を述べる 慣用表現
7	賛成・反対の意見それぞれの理由を述べる ライティング
8	比較対照の文章 フォーマットを知る・構成分析
9	比較対照の文章 慣用表現
10	比較対照の文 ライティング
11	順序、時系列 フォーマットを知る・構成分析
12	順序、時系列 慣用表現
13	順序、時系列 ライティング
14	復習
15	まとめ

評価

各課のライティング・プロダクト70%、平常点(宿題、参加態度)30%とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】モデルエッセイの未知語を調べ、文章の内容がわかるようにしておくこと。

【事後学修】学んだライティング・パターンを応用して書ける題材と理論展開を考え、アウトラインを作る。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】

『Skills for Better Writing 構造で書く英文エッセイ（改訂版）』（石谷由美子他、南雲堂、1900円＋税）

科目名	日常英会話入門		
担当教員名	シーラ クリフ		
ナンバリング	KKc037		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 目的別科目 (外国語)		
学 年	1	ク ラ ス	1Eクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

Elective course.

科目の概要

Students discuss familiar topics, the classroom, school, family, places and friends using simple vocabulary and grammar. They also develop their listening with natural listening materials, such as songs and stories.

学修目標 (= 到達目標)

The goal is to activate the English language that the students already know by enabling them to talk about their own worlds. Students will gain in confidence because the topics are familiar and well-known to them.

内容

1	Unit 1. Introduction. Learning names and items in the classroom.
2	Unit 1. Greetings and classroom management vocabulary. Listening with a song.
3	Unit 1. Classroom phrases and questions.
4	Unit 2. Learning timetables and time.
5	Unit 2. Learning to express likes and dislikes.
6	Unit 2. Using positive and negative adjectives. Listening with a song.
7	Unit 3. Learning about family trees and relations.
8	Unit 3. Forming yes/no questions. Listening with a story.
9	Unit 3. Asking and telling about each other's family.
10	Unit 4. Describing places using their is / are
11	Unit 4. Describing places using adjectives. Listening with song.
12	Unit 4. Explaining locations using maps.
13	Unit 5. Describing personalities.
14	Unit 5. Discussing activities together.
15	まとめ Evaluation activities.

評価

総合評価60点以上を合格とする。

Small review tests on each unit 30%, listening activities 30% final test 40%。

授業外学習

【事前予習】Outside lesson listening recommended.

【事後学修】Review using the vocabulary lists provided in the text book.

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】Within Your Reach. Cliffe, Svendon, Terada. Nan'un Do.

科目名	日常英会話入門		
担当教員名	シーラ クリフ		
ナンバリング	KKc037		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 目的別科目 (外国語)		
学 年	1	ク ラ ス	1Dクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

Elective course.

科目の概要

Students discuss familiar topics, the classroom, school, family, places and friends using simple vocabulary and grammar. They also develop their listening with natural listening materials, such as songs and stories.

学修目標 (= 到達目標)

The goal is to activate the English language that the students already know by enabling them to talk about their own worlds. Students will gain in confidence because the topics are familiar and well-known to them.

内容

1	Unit 1. Introduction. Learning names and items in the classroom.
2	Unit 1. Greetings and classroom management vocabulary. Listening with a song.
3	Unit 1. Classroom phrases and questions.
4	Unit 2. Learning timetables and time.
5	Unit 2. Learning to express likes and dislikes.
6	Unit 2. Using positive and negative adjectives. Listening with a song.
7	Unit 3. Learning about family trees and relations.
8	Unit 3. Forming yes/no questions. Listening with a story.
9	Unit 3. Asking and telling about each other's family.
10	Unit 4. Describing places using their is / are
11	Unit 4. Describing places using adjectives. Listening with song.
12	Unit 4. Explaining locations using maps.
13	Unit 5. Describing personalities.
14	Unit 5. Discussing activities together.
15	まとめ Evaluation activities.

評価

総合評価60点以上を合格とする。

Small review tests on each unit 30%, listening activities 30% final test 40%。

授業外学習

【事前予習】Outside lesson listening recommended.

【事後学修】Review using the vocabulary lists provided in the text book.

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】Within Your Reach. Cliffe, Svendon, Terada. Nan'un Do.

科目名	日常英会話入門		
担当教員名	アナ ウォーカー		
ナンバリング	KKc037		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 目的別科目 (外国語)		
学 年	1	ク ラ ス	1Fクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

The focus will be on gaining confidence at speaking out in English on a range of topics, using a variety of sentence patterns vocabulary in pairs and groups.

内容

- Week 1 Spring Vacation
- Week 2 Unit 1 Getting Acquainted
- Week 3 Unit 2 Experiences
- Week 4 Unit 3 Sport & Leisure
- Week 5 Unit 4 Shopping & Money
- Week 6 Unit 5 Food
- Week 7 Food from another country
- Week 8 DVD: Slow Food
- Week 9 Unit 6 Travel
- Week 10 DVD: Travel
- Week 11 Unit 7 Movies & TV
- Week 12 A Japanese living Abroad I
- Week 13 A Japanese living Abroad II
- Week 14 Presentations
- Week 15 Evaluation

評価

総合評価60点以上を合格とする。

Grades will be based on course work (20%), homework exercises (15%), participation in class (15%), and a mini-presentation (50%).

授業外学習

- 【事前予習】 Students will be required to research the weeks topic on the internet
- 【事後学修】 Students will review the new vocabulary and sentences patternes.

教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

Let's Chat, John Pak
ELT Press

科目名	日常英会話入門		
担当教員名	アナ ウォーカー		
ナンバリング	KKc037		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 目的別科目 (外国語)		
学 年	1	ク ラ ス	1Gクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

The focus will be on gaining confidence at speaking out in English on a range of topics, using a variety of sentence patterns vocabulary in pairs and groups.

内容

- Week 1 Spring Vacation
- Week 2 Unit 1 Getting Acquainted
- Week 3 Unit 2 Experiences
- Week 4 Unit 3 Sport & Leisure
- Week 5 Unit 4 Shopping & Money
- Week 6 Unit 5 Food
- Week 7 Food from another country
- Week 8 DVD: Slow Food
- Week 9 Unit 6 Travel
- Week 10 DVD: Travel
- Week 11 Unit 7 Movies & TV
- Week 12 A Japanese living Abroad I
- Week 13 A Japanese living Abroad II
- Week 14 Presentations
- Week 15 Evaluation

評価

総合評価60点以上を合格とする。

Grades will be based on course work (20%), homework exercises (15%), participation in class (15%), and a mini-presentation (50%).

授業外学習

- 【事前予習】 Students will be required to research the weeks topic on the internet
- 【事後学修】 Students will review the new vocabulary and sentences patternes.

教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

Let's Chat, John Pak
EFL Press

科目名	日常英会話入門		
担当教員名	グロリアプロフィラト		
ナンバリング	KKc037		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 目的別科目 (外国語)		
学 年	1	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格 The purpose of this class is to enable students to initiate and sustain a casual conversation on a variety of topics.

DP1

科目の概要 Classroom activities will vary according to level of English and creativity,

学修目標 (=到達目標) Students are expected to participate and prepare their work so the lesson can run smoothly.

内容	
1	Introduction. Class explanation. Useful expressions, eg. How do you spell....?
2	Restaurant unit. How to make phone reservation. How to complain about food service.
3	Talking about food. Junk food/ nutritious food.
4	Making your own restaurant. Group work creating restaurant.
5	Group work - Presentation. Assessment.
6	What's the matter? (Health topic).
7	Vocabulary exercises and group work. Talking about physical/medical problems.
8	Presentation of above. Assessment.
9	How much do you know? General knowledge questions. Active/passive question forms.
10	Asking/Answering question in passive form. Grammar review.
11	Asking/Answering question in passive form. As above.
12	What would you say if...? Using unrealistic situations
13	Asking/Answering questions / Would...if
14	Tell me about Japan. Individual presentation.
15	まとめ Student presentation of above.

評価

総合評価60点以上を合格とする。Attendance/participation 20% Pair/ group conversations 60% , vocabulary tests 20%

授業外学習

【事前予習】 Read dialogues. Check new words.

【事後学修】 Make sentences for homework.

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】 Prints Supplied

科目名	日常英会話入門		
担当教員名	グロリアプロフィラト		
ナンバリング	KKc037		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 目的別科目 (外国語)		
学 年	1	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格 This course aims at reinforcing grammatical skills and building vocabulary.

DP1

科目の概要 By reading sample dialogues and writing original ones, students can gain confidence in their ability to communicate in English.

学修目標 (= 到達目標) Practice, review of grammar and role-playing will help improve their English level.

内容

Introduction. Class Explanation.

Getting to know each other.

Sample dialogues.

Grammar review.

Original dialogues.

Practice role-playing.

Practice.

Presentation.

Choosing a Career. Discussion.

Asking/answering questions.

Job descriptions.

Interview sample.

Original interview. Practice.

Role-playing.

Presentation.

評価

総合評価60点以上を合格とする。Attendance/participation 20%, role-playing/presentation 60%, vocabulary tests 20%

授業外学習

【事前予習】 Read dialogues. Check new words.

【事後学修】 Make sentences for homework.

教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

【教科書】 Prints Supplied

科目名	日常英会話入門		
担当教員名	グロリアプロフィラト		
ナンバリング	KKc037		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 目的別科目 (外国語)		
学 年	1	ク ラ ス	10クラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格 The purpose of this class is to enable students to initiate and sustain a casual conversation on a variety of topics.

DP1

科目の概要 Classroom activities will vary according to level of English and creativity,

学修目標 (=到達目標) Students are expected to participate and prepare their work so the lesson can run smoothly.

内容	
1	Introduction. Class explanation. Using expressions such as, What does mean?
2	Restaurant unit. How to make a reservation. How to complain about service/food.
3	Talking about food. Junk/nutritious food. Likes/dislikes.
4	Making your own restaurant. Group collaboration in deciding menu etc.
5	Group work - Practice. Presentation. Assessment.
6	What's the matter? (Health topic) Talking about illnesses.
7	Vocabulary exercises and group work. Suggesting how to treat a medical issue.
8	Presentation of above. Assessment.
9	How much do you know? General knowledge using active/passive forms.
10	Asking/Answering question in passive form.
11	Asking/Answering question in passive form.
12	What would you say if...? Grammatical usage of unreal situations.
13	Asking/Answering questions / Would...if
14	Tell me about Japan. Research on an interesting cultural theme.
15	まとめ Student presentation of above.

評価

総合評価60点以上を合格とする。Attendance/participation 20% Pair/ group conversations 60% , vocabulary tests 20%

授業外学習

【事前予習】 Read dialogues. Check new words.

【事後学修】 Make sentences for homework.

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】 Prints Supplied

科目名	日常英会話		
担当教員名	シーラ クリフ		
ナンバリング	KKc137		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 目的別科目 (外国語)		
学 年	1	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

Elective.

科目の概要

Students discuss familiar topics such as vacations, favorite things, fashion, memories and stories, work and holidays. They practice listening with natural materials such as songs and stories.

学修目標 (= 到達目標)

Students will utilize the English that they already know and will gain in confidence by speaking about familiar and useful topics.

内容

1	Unit 6. Discussing the summer vacation. Asking and answering questions.
2	Unit 6. Using the past tense to tell stories about the summer. Listening with a song.
3	Unit 7. Practicing listening comprehension with stories.
4	Unit 7. Story making workshop.
5	Unit 7. Reading stories to learn story telling techniques.
6	Unit 8. Comparing favorite things.
7	Unit 8. Using Wh questions. Comparing and contrasting.
8	Unit 9. Talking about clothes and trends.
9	Unit 9. Discussing trends. listening with a song.
10	Unit 10. Discussing schools and childhood. Using the past tense to tell stories.
11	Unit 11. Discussing different types of work and skills.
12	Unit 11. Listening to and making a resume.
13	Unit 12. Holidays: Christmas vocabulary, stories and listening activities.
14	Unit 12. Holidays: New Year vocabulary, game and listening activities.
15	まとめ Evaluation activities.

評価

総合評価60点以上を合格とする。

Small unit tests 30%, listening activities 30%, final test 40%.

授業外学習

【事前予習】Listening outside the classroom recommended.

【事後学修】Review using the vocabulary list provided in the textbook.

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】Within Your Reach. Cliffe, Svendsen and Terada. Nan'un Do.

科目名	日常英会話		
担当教員名	アナ ウォーカー		
ナンバリング	KKc137		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 目的別科目 (外国語)		
学 年	1	ク ラ ス	2Dクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

The focus will be on gaining confidence at speaking out in English on a range of topics, using a variety of sentence patterns and vocabulary in pairs and groups.

内容

Week 1 Summer Vacation
 Week 2 Unit 8 Work
 Week 3 UNit 9 Health
 Week 4 Unit 10 Love & Marriage
 Week 5 UNit 11 MUsic & Books
 Week 6 DVD: Music from Abroad
 Week 7 English songs
 Week 8 Unit12 Culture in Jaapan
 Week 9 Cultures abroad
 Week 10 Volunteer Abroad
 Week 11 Travelling Abroad
 Week 12 An African child I
 Week 13 An Africn child II
 Week 14 Presentations
 Week 15 Evaluation

評価

総合評価60点以上を合格とする。

Grades will be based on course work (20%), homework exercises (15%), participation in class (15%), and a mini-presentation (50%).

授業外学習

- 【事前予習】 Students will be required to research the weeks topic on the internet
- 【事後学修】 Students will review the new vocabulary and sentences patternes.

教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

Let's Chat, John Pak
 EFL Press

科目名	日常英会話		
担当教員名	アナ ウォーカー		
ナンバリング	KKc137		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 目的別科目 (外国語)		
学 年	1	ク ラ ス	2Cクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

The focus will be on gaining confidence at speaking out in English on a range of topics, using a variety of sentence patterns and vocabulary in pairs and groups.

内容

- Week 1 Summer Vacation
- Week 2 Unit 8 Work
- Week 3 UNit 9 Health
- Week 4 Unit 10 Love & Marriage
- Week 5 UNit 11 MUsic & Books
- Week 6 DVD: Music from Abroad
- Week 7 English songs
- Week 8 Unit12 Culture in Jaapan
- Week 9 Cultures abroad
- Week 10 Volunteer Abroad
- Week 11 Travelling Abroad
- Week 12 An African child I
- Week 13 An Africn child II
- Week 14 Presentations
- Week 15 Evaluation

評価

総合評価60点以上を合格とする。

Grades will be based on course work (20%), homework exercises (15%), participation in class (15%), and a mini-presentation (50%).

授業外学習

- 【事前予習】 Students will be required to research the weeks topic on the internet
- 【事後学修】 Students will review the new vocabulary and sentences patternes.

教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

Let's Chat, John Pak
EFL Press

科目名	日常英会話		
担当教員名	グロリアプロフィラト		
ナンバリング	KKc137		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 目的別科目 (外国語)		
学 年	1	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格 This course aims at reinforcing grammatical skills and building vocabulary.

DP1

科目の概要 By reading sample dialogues and writing original ones, students can gain confidence in their ability to communicate in English.

学修目標 (= 到達目標) Practice, review of grammar and role-playing will help improve their English level.

内容

Introduction. Class Explanation.

Getting to know each other.

Sample dialogues.

Grammar review.

Original dialogues.

Practice role-playing.

Practice.

Presentation.

Choosing a Career. Discussion.

Asking/answering questions.

Job descriptions.

Interview sample.

Original interview. Practice.

Role-playing.

Presentation.

評価

総合評価 60点以上を合格とする

Attendance/participation 20%, role-playing/presentation 60%, vocabulary tests 20%

授業外学習

【事前予習】 Read specified pages, check vocabulary,

【事後学修】 do homework sheets.

教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

【教科書】Prints will be provided.

科目名	日常英会話		
担当教員名	グロリアプロフィラト		
ナンバリング	KKc137		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 目的別科目 (外国語)		
学 年	1	ク ラ ス	2Eクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格 This course aims at reinforcing grammatical skills and building vocabulary.

DP1

科目の概要 By reading sample dialogues and writing original ones, students can gain confidence in their ability to communicate in English.

学修目標 (= 到達目標) Practice, review of grammar and role-playing will help improve their English level.

内容

Introduction. Class Explanation.

Getting to know each other.

Sample dialogues.

Grammar review.

Original dialogues.

Practice role-playing.

Practice.

Presentation.

Choosing a Career. Discussion.

Asking/answering questions.

Job descriptions.

Interview sample.

Original interview. Practice.

Role-playing.

Presentation.

評価

総合評価 60点以上を合格とする

Attendance/participation 20%, role-playing/presentation 60%, vocabulary tests 20%

授業外学習

【事前予習】 Read specified pages, check vocabulary,

【事後学修】 do homework sheets.

教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

【教科書】Prints will be provided.

科目名	ビジネス英語		
担当教員名	福田 仁		
ナンバリング	KKc238		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 目的別科目 (外国語)		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

この科目は、共通科目のうちの選択科目で、ビジネス英語を基礎から学習するクラスです。

科目の概要

ビジネスの世界で必要とされる英語力を養成することを目標とします。

学修目標 (= 到達目標)

様々なビジネスの場面で役立つ会話表現や英文ビジネス文書に関する基礎知識を習得し、実際に活用できるようになることを目指します

内容

1	ビジネス通信 (ファックス)
2	ビジネス通信 (電子メール・電話)
3	ビジネス通信 (手紙)
4	社交関連英語 (ホテルの予約)
5	社交関連英語 (移転通知)
6	社交関連英語 (招待)
7	社交関連英語 (面会)
8	社交関連英語 (会議の通知)
9	社内の英語 (資料の送付)
10	社内の英語 (購入)
11	社内の英語 (報告)
12	取引関係の英語 (引合い)
13	取引関係の英語 (注文)
14	雇用関係の英語 履歴書・応募の手紙
15	まとめ

評価

授業への取り組み(20%)、平常点(20%)、最終チェック(60%)とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】最低30分で課題をしておく

【事後学修】間違えた箇所をチェックし、次回からクリアできるようにする

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】Satoru Toyoda, Essentials of Global Business English, Nanundo

科目名	ビジネス英会話		
担当教員名	グロリアプロフィラト		
ナンバリング	KKc239		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 目的別科目 (外国語)		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格 This course aims at familiarizing students with useful basic business terminology
 DP1

科目の概要 Students will do listening exercises and role -playing

学修目標 (=到達目標) Students will be expected to do a marketing project using what they have learnt

内容	
1	Introduction. Course explanation . Useful expressions, eg. How do you say...?
2	Unit 1 Make the first contact. Meeting a new business person.
3	Unit 2 Talk about jobs. Discussing different jobs and their advantages.
4	Unit 3 Talk about companies. AS above.
5	Unit 4 Suggest ideas. How to improve or modify something.
6	Unit 5 Go to a restaurant. Taking client to a restaurant.
7	unit 6 Place an order. How to ask for menu, etc.
8	Unit 7 Talk about projects. Discussion on plausibility of project.
9	Start Marketing project. Unit on creating a new product.
10	Group discuss a new product. Creative activity. Learning how to discuss and negotiate.
11	Group work
12	Group work
13	Group work
14	Group work
15	まとめ Presentation of marketing unit. Assessment.

評価

総合評価60点以上を合格とする。Attendance/participation 20% Presentation 50% Role-play 20% test 10%

授業外学習

【事前準備】 Read specific pages. Check new words.

【事後学修】 Make sentences for homework.

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】 Intelligent Business Skills Book. Elementary Business English. Pearson(Christine Johnson)

科目名	映画・ドラマ英語		
担当教員名	設楽 優子		
ナンバリング	KKc240		
学 科	人間生活学部（K）-共通科目-目的別科目（外国語）		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状（英語） / 中学校教諭一種免許状（英語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

人間生活学部ディプロマポリシー1と、ポリシー内の共通科目外国語領域の能力・資質の1, 2に該当する。

セリフ部分はほぼナチュラルスピードで、挿入歌ではそれよりもやや遅いスピードの英語を楽しめる、テレビドラマを利用して、総合的な英語力を養成する科目である。

学部共通外国語目的別科目カリキュラムポリシーにある通り、以下を学修目標とする。

1. より高度な情報、専門的な分野の情報を理解する力を養成する
2. より高度な言語情報を処理し、発信する力を養成する
3. 外国語で書き、プレゼンする力を養成する

内容

教科書の各ユニットには、語句の下調べ問題の後、シナリオの穴埋め聞き取り問題がある。答え合わせをした後、セリフをペアワーク・グループワークで人物になりきって演じる練習を行う。

1	1. New Directions/励ます/動名詞
2	2. What's the Other Option?/決意を示す/仮定法
3	3. You're Leaving Us?/驚きを示す/現在完了形
4	4. Don't Stop Believing/説得する/関係詞
5	Units 1-4 まとめ、Episode 1 映像視聴
6	5. He's Not Coming/謝罪する/不定詞
7	6. I Want In/称賛する/分詞
8	7. Where Is Everybody?/落胆を示す/関係詞
9	8. You Inspire People/話を切り出す/使役動詞
10	Units 5-8 まとめ、Episode 3 映像視聴
11	9. He Doesn't Belong Here./感謝を示す/進行形
12	10. So Be It/会話を打ち切る/受動態
13	11. It's a Win-Win for Both of Us/確認する/不定代名詞
14	12. Thanks for Telling Me/打ち明ける/仮定法
15	Units 9-12 まとめ、Episode 4 映像視聴

評価

事前準備の取り組み20%、授業への参加度20%、確認筆記試験60%とし、総合評価60点以上を合格とする。

【フィードバック】確認筆記試験は複数回行い、次週以降の授業中に返却して質問に答える。

授業外学習

【事前準備】ダウンロード音声を利用して、教科書のPreviewing & Viewing Activitiesを解く。

第5, 10, 15週の事前には、空欄聞き取りをした部分を復習して言う練習をする。(毎週45分)

【事後学修】既習事項を確認し、穴埋め部分以外のスクリプトにも目を通すこと。(毎週45分)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】角山照彦/Simon Capper, 『グリー』で学ぶコミュニケーション英語 (_Communicate in English with glee: New Directions_), 松柏社.

科目名	インターネット英語		
担当教員名	福田 仁		
ナンバリング	KKc241		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 目的別科目 (外国語)		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格 この科目は「共通科目」の「外国語」、選択科目です。

科目の概要 インターネット上には、英語を (無料で) 学べるサイトが数多くあります。特に優れたサイトの紹介と、実際にそのサイトを利用した英語学習、更にネット上に溢れる英語テキストの中から興味深いものを選び、リーディング力、語彙力、表現力などを身につけます。

学修目標 (= 到達目標) まずは、ネット上の英語学習サイトを有効に利用できること。また、英語テキストを読み、概略がつかめるようになること。

内容	
1	授業紹介
2	英語学習サイト
3	英語テキスト理解
4	英語学習サイト
5	英語テキスト理解
6	英語学習サイト
7	英語テキスト理解
8	英語学習サイト
9	英語テキスト理解
10	YouTube上の英語学習サイト
11	英語テキスト理解
12	YouTube上の英語学習サイト
13	英語テキスト理解
14	英語テキスト理解
15	まとめ

評価

授業への取り組み (30%)、課題 (20%)、期末試験 (50%) とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】 指定されたウェブサイトなどを事前に関連しておく。

【事後学修】 指定されたウェブサイトを活用し、課題をすること。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】 教科書は使用しません。ウェブサイトなどを活用します。

【推薦書】

【参考図書】

科目名	メディア英語		
担当教員名			
ナンバリング	KKc242		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 目的別科目 (外国語)		
学 年		ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

この科目は、メディアで使われている英語を基礎から学習するクラスです。

科目の概要

NHK海外向け放送のNEWSLINEを用いて、比較的平易な実践的英語を聴き取る力を養成します。

学修目標 (=到達目標)

幅広い分野のニュース (例えば経済、文化、科学技術など) を題材にして、重要な点を聞き取れるようになることを目指します。

特に、(1)ニュースの英語に慣れること、(2)ニュースの大きな流れ、要点が理解できるようになること、(3)語彙や表現力を豊かにすることを、主な目標とします。

内容

語彙・熟語などを確認し、ややゆっくり読まれた音声を聞きながら書き取り作業(dictation)を行うとともに、内容把握等の練習問題に取り組みます。また、学習した語彙・表現を用いた簡単な英作文の練習も行います。1回の授業で、教科書1課分ずつ進む予定です。

語彙力を高めるため、隔週で、授業で使用するテキストから単語の小テストを行います。

1	英語ニュースについて
2	Tea for You
3	Small is Beautiful
4	Youth Trip for Mutual Understanding
5	Building a Language Bridge
6	Sizzle and the City
7	Summer Spooks
8	Hitmaker
9	Daughters of the Soil
10	Engaging Youth in Politics
11	Magic in Moonlighting
12	On Your Bike
13	Designing Nations
14	Litter Buster
15	まとめ

評価

以下の割合で点数化し、60点以上を合格とします。また、合格点に満たなかった場合は再試験を実施します。

- (1) 期末試験：60%
- (2) 平常点：40%（授業への参加度、小テスト、課題提出）

授業外学習

【事前準備】教科書の指定箇所を必ず予習して授業に臨んでください。

【事後学修】授業で学習した単語や表現を再確認し覚えてください。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】山崎達朗・Stella M. Yamazaki・Erika C. Yamazaki 『NHK NEWS

LINE 映像で学ぶNHK英語ニュースが伝える日本』金星堂

【推薦書】授業で適宜紹介します。

【参考図書】授業で適宜紹介します。

科目名	メディア英語		
担当教員名	宮本 正治		
ナンバリング	KKc242		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 目的別科目 (外国語)		
学 年	1	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

現在、情報の多くが英語でやりとりされています。この授業では、グローバル化した現代社会を読み解くための基本的な知識を英語で学びます。

テキストは、インターネットやSNSなどのメディアが私たちの生活に与えた影響についてのエッセイを使用します。現代世界の様々な出来事や問題に対する知識、関心を深めながら読み進めていきます。

授業では、毎週1つのトピックについて読みます。また、その問題について受講者各自が調査した内容を発表してもらう予定です。辞書を片手に、やさしい英文が読めるようになることが目標です。選択科目ですので、以上のような内容に興味があり、自発的に情報を収集し、考える態度が望まれます。

学位授与方針 (外国語) 1, 2, 3 に該当する。

内容

すべての文章を訳すのではなく、パラグラフごとの大まかな内容の確認を行います。もちろん、難しい文章や重要な文章の読解も行います。受講生同士が意見を交換しながら、理解を深めていきます。また、インターネットなどから情報を集めて発表することで、テキストの内容を補完します。

どのチャプターをどの週に行うかは、受講者と相談して決めたいと思います。

1	ガイダンス
2	chapter 1: Fake Online Reviews (その口コミは本物?)
3	chapter 2: Could I Become a YouTuber? (憧れのYouTuberになる条件)
4	chapter 3: Selling Viral Videos Makes Big Money (口コミ動画で大金をゲット?)
5	chapter 4: Why Don't We Ask Siri? (なんでSiriに聞かないの?)
6	chapter 5: Uncanny Valley (ロボットが越えなければならない「不気味の谷」)
7	chapter 6: Toddlers and Technology (幼児にスマホを与えても大丈夫?)
8	chapter 7: Waiting in Line for Delicious New Food (おいしいものは並んででも...)
9	chapter 8: Sympathy for the Delivery Man (宅配ドライバーに愛の手を)
10	chapter 9: Black Friday (ブラックフライデーは買い物に行こう!)
11	chapter 10: Aspects of Sneaker Culture (スニーカー人気の秘密)
12	chapter 11: The Union Jack as Fashion Symbol (ファッション業界大注目の...)
13	chapter 12: Photogenicity (インスタ映えする写真が撮りたい!)
14	chapter 13: Young People and Criticism (批判を恐れる若者たち)
15	まとめ

評価

参加態度40%、発表等30%、テスト30%とし、総合評価60点以上を合格とする。

【フィードバック】発表に対してコメントします。また、有益な情報があれば共有したいと思います。

授業外学習

【事前予習】テキストを読み、わからない点をはっきりさせて授業に臨んでください。1時間程度の予習が必要と考えられます。また、発表担当者はプレゼンの準備をしてください。

【事後学修】テキストを読みなおし、学習したトピックについてのニュースなどに注意する。時間は各受講生の理解度によります。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】『もっと知りたい！社会のいま2 Trend Watching 2』

Jonathan Lynch、委文光太郎著、成美堂、1900円（授業内で使用する。）

【推薦書】【参考図書】授業内で指示します。

科目名	日本語表現技術		
担当教員名	小笠原 典子		
ナンバリング	KKc343		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 目的別科目 (外国語)		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	通年	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格 共通科目 (外国語) の学位授与方針1,2,3に該当。

留学生のための日本語関連科目の中で、特に「書く」ことを中心に授業を進め、同時にグループでの意見交換、個人の発表の時間も設け、日本語力の向上を目指す科目です。

科目の概要

毎回、授業で取り上げるテーマ (内容のまとめ・接続のことば・ノートをとる練習・話の展開など) を設定し、課題をこなしながら、自分の意図する事柄を読む人に正しく伝わることを目標にして、文を書く練習を行います。毎回「書く」という作業を通して、「表現する技術」の向上を目指します。

学修目標

この授業を修了するためには、次の事柄を満たすことが必要になります。

- 1 授業に出席し、問題となるテーマについて講義を受ける。
- 2 授業中に課される課題を授業時間内で完成させる。
- 3 テーマを理解するための課題・構文練習を完成させる。
- 4 テーマ理解を深めるため、まとまった長さの文章を書き、適切な日本語表現を習得する。
- 5 学習した事柄を積極的に身につけようと努める。

内容

- 第1回 授業ガイダンス・自己紹介・原稿用紙の使い方
- 第2～7回 正しい文を書く練習：単語から文へ・メモから文へ漢字の割合・句読点
- 第8～14回 文のスタイルを考える：敬体と常体・語種による語感・話し言葉書き言葉
- 第15回 前期まとめ
- 第16～19回 内容をつかむ：聞き取った内容をまとめる・文章をまとめる・要約
- 第20～21回 授業ノートの取り方：キーワード・箇条書き
- 第22～25回 話の展開：接続のことば・場面の展開
- 第26～29回 意見、考えを述べる：意見文を書く・発表する
- 第30回 後期まとめ

評価

平常点 (毎回の授業で指示する課題の完成・授業への参加度) : 40% 筆記試験 : 60% とし、総合評価60点以上を合格とする。合格点に達しなかった場合は、再試験を行う。 フィードバック : 提出された課題はコメントを記載し、翌週以降に授業内で返却する。

授業外学習

【事前準備】添削後に返却された文章を次の授業までにワードに打ち込む。

【事後学修】学習した表現形式や文法の復習をし、以後記す文章において、同じ誤りをしないよう、添削を受けた事柄をノ

ートにまとめる。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教室での配布物が授業教材となります。

科目名	総合科目（女性のからだところ）		
担当教員名	布施 晴美、内田 伸子		
ナンバリング	KKA104		
学 科	人間生活学部（K）-共通科目-総合科目		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

人間生活学部の学位授与方針1・2に該当する。十文字学の「学びの基盤を作る」領域にある「総合科目」の中の1科目である。

科目の概要

女性のからだと心について、生涯発達の視点から最新の研究成果に基づいて展開する。ホルモンや脳の動きが女性のからだの発達にどのように影響していくのかが明らかにする。現代に生きる女性としてのアイデンティティの確立においても、健やかな生活と的確な他者理解においても、心身に関する正確な知識と実践の方法が重要である。これらの基本的知識を体系的に学ぶとともに、リプロダクティブヘルス/ライツ、セクシュアル・アイデンティティについて理解する。

学修の目標

- 1.生涯発達の視点から、女性のからだと心について、考察ができる。
- 2.女性がよりよく生き、よりしなやかに、グレイスフルに生きる力を獲得するとは、どのようなことが、自分の考えをもつことができる。

内容

受講生は150人を上限とし、上限を超えた場合には、抽選とする。

履修希望者は初回の授業に必ず出席すること。抽選登録となった場合には、途中で変更や辞退をすることはできないため、よく考えて履修するように。

授業は講義を基本としながら、受講者との意見交換も実施する。講義終了後には、毎回講義に関する作文の提出を課している。

1	女兒と男兒の性差 生物学的性差と社会的性差の発生過程
2	女の子・男の子になる分かれ道
3	女性の歩行運動の生理学的基礎 美しい歩行のしくみを探る
4	女性と男性の会話 会話は権力具現化の装置か
5	よりよい出会いをもとめて 『恋愛』に実態はあるか
6	親になること 女性の出産・希望の光
7	母親になること 子育てを通して女の子・男の子の違いを知る
8	母性の発達 親子関係のきりむすびの鍵
9	地域の中での母親と子育て支援
10	女性とキャリア 職業と家庭の両立
11	女性と喫煙 女性の健康寿命伸延との関係を探る
12	女性と福祉 現代社会のリスクに備えるために
13	中年期女性がよりよく生きるために 食心理学からみた女性のQOL
14	女性のからだところ しめくくりのシンポジウム（第2講～第7講）
15	女性のからだところ しめくくりのシンポジウム（第8講～第13講）

評価

各単元ごとの作文（70%）および最終レポート（30%）を課し、総合評価60点以上を合格とする。

【フィードバック】授業では毎回優秀な作文を発表する。その説明を聞き、参考にしながら作文スキルを磨いていくことを期待する。

授業外学習

【事前予習】教科書の各単元に関わる章をよく読み、章末質問の回答をノートに書き込んでおくこと。読んでいることを前提に授業を展開する（60分）。

【事後学修】毎回の授業の学びについて、ノートに記載する。授業の最後には学生によるシンポジウムがある。そこに向けて、関心のある単元についてさらに自分で課題を見つけ、調べていく（90分）。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】内田伸子編著（2012）：

「女性のからだところどころ－自分らしく生きるための絆をもとめて」 金子書房

科目名	総合科目（伝統文化の精神と理解）		
担当教員名			
ナンバリング	KKA104		
学 科	人間生活学部（K）-共通科目-総合科目		
学 年		ク ラ ス	
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

地域志向科目であり「伝統文化の理解と礼法・儀礼」の関連を体系的に習得する。

科目の概要

日本の伝統文化・年中行事と礼法・儀礼とのかかわりを理解し「礼法の基礎」「自己表現と実技」「就職に向けた具体的な作法」などの講義と演習を習得する。

学修目標（＝到達目標）

社会に対応できる礼法（マナー）、教養を身につけた「大人の女性」、本学の教育目標である「幅広い職業人」の出発点になることを目標とする。

内容

本学は女子大学であり、女子大学としてのイメージとして一般的に考える「女子のたしなみ」ということが一つの大切な要素と考える。立ち居振る舞いは、周囲の人の印象を左右するものである。

本講義では、日本における儀礼・文化の第一人者である『インターナショナル儀礼文化教育研究所』所長である永井とも子先生に15回の講義演習をお願いし、貴重な内容を設けている。

日本文化から生まれた『礼法』を身につける機会とする。

1	伝統文化・儀礼・礼法（マナー）とは
2	伝統文化・儀礼・礼法（マナー）の必要性
3	礼法の移り変わり
4	パフォーマンス学とは（自己表現を学ぶ）
5	礼法とパフォーマンス学
6	就職とパフォーマンス学
7	就職と礼法
8	人生の通過儀礼
9	年中行事（1）
10	年中行事（2）
11	五節供（五節句）のかざり
12	遊戯文化・百人一首、投扇興であそぶ
13	慶弔の決まり事
14	和室での決まり
15	まとめ

評価

授業への取り組み50%、考察課題50%とし、総合評価60点以上を合格とする。

【フィードバック】

授業外学習

【事前準備】テキストで該当箇所を予習する

【事後学修】講義後に関連の伝統文化・礼法について深く思考すること

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】 永井とも子著 「儀礼（マナー）は人生を拓く」 ヒーロー出版社 ￥1,800（税別）

【推薦書】 適宜紹介

【参考図書】 ”

科目名	総合科目（毎日新聞女性記者）		
担当教員名			
ナンバリング	KKA104		
学 科	人間生活学部（K）-共通科目-総合科目		
学 年		ク ラ ス	
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格:共通科目・十文字学・学びの基礎をつくる領域の総合科目（選択科目）・毎日新聞社提携講座
毎日新聞社のさまざまな分野で働く中堅の女性記者・女性社員から直接学ぶことで、本学の教育目標である「幅広い職業人」の育成をめざす。

科目の概要：毎日新聞社の社会部、政治部、学芸部、生活報道部、夕刊編集部、校閲G、事業本部、広告局、教育事業部などさまざまな部署で活躍している女性記者・社員によるオムニバス講義。異動・突発事項等により一部変更する場合があります。

学修目標（＝到達目標）：毎日新聞社の様々な分野、領域で活躍する女性記者・社員の日々の体験に基づいた講義を聴いて、新聞社の社会的使命を認識し、学生自身が自分の将来について考え、社会人になるための心構えなどを学ぶ。

内容

全体のテーマ：「現代社会事情概説～毎日新聞社で働く女性記者の視点から」以下は、異動・突発事項などで変更の場合もあります。

1	新聞記者のしごと - ガイダンス（編集委員）
2	新聞ができるまで（教育事業本部）
3	社会部とは - 平和担当の仕事を中心に - （社会部）
4	女性の働く環境はどう変わったか（教育事業部）
5	落語の世界をのぞいてみれば（学芸部）
6	世論調査はもう信用できない？（紙面審査員）
7	英字新聞で世界を読む（英文毎日室）
8	?を!にする方法Cultural Bumpsを探そう（夕刊編集部）
9	伝える力 ライバルは池上彰さん（学生新聞編集部）
10	暮らしと新聞（生活報道部）
11	政治記者って何？（政治部）
12	言葉の間違いを探す（校閲グループ）
13	新聞広告で読者の役に立ちたい（広告局）
14	「イベント」という側面から見た新聞社（事業本部）
15	現代社会における新聞と読者 - まとめ（編集委員）

評価

各回のリアクションペーパーの内容（80点）、最終レポート(20点)とし、総合評価60点以上を合格とする。

【フィードバック】

授業外学習

【事前予習】初回ガイダンスで配布する資料を熟読すること

【事後学修】毎回配布される毎日新聞を、各回の講義によって得られた視点で読むこと

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】なし

【推薦書】適宜紹介する

【参考図書】適宜紹介する。その他に、毎回講義日当日の毎日新聞を配布する。

科目名	総合科目（野村証券）		
担当教員名	込江 雅彦		
ナンバリング	KKA104		
学 科	人間生活学部（K）-共通科目-総合科目		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

人間生活学部の学位授与方針 1 , 2 , 3 に該当する。この科目は野村証券の冠講座であり、共通科目の総合科目として解説されるものである。

科目の概要

「資本市場と証券投資の基礎」として経済学の基礎から資本市場の全容、そして株式投資・債券投資、グローバル証券投資・分散投資の方法やリスクとリターンの考え方などを実務の観点から解説します。

学修目標

経済の基本からスタートして、投資についての基本的な考え方を理解する。

野村証券より講師をお招きし授業を実施する

内容

1	ガイダンス
2	経済事情事始め
3	金融の仕組み
4	リスク&リターン
5	ポートフォリオの考え方
6	債券市場の役割と投資の考え方
7	株式入門の役割と考え方
8	投資信託入門
9	外国為替のいろは
10	日本株の歴史
11	これからの成長産業
12	投資家心理学を学ぶ
13	ライフプランニングとNISA
14	まとめ 1
15	まとめ 2

評価

中間試験（30%）、最終試験（70%）とし、総合評価60点以上を合格とする。

【フィードバック】事業時の課題は、次週以降の授業時にフィードバックする。

授業外学習

【事前予習】経済ニュースを読む。（各授業に対して30分）

【事後学修】授業で扱うプリントを用いて、自分で調べる。（各授業に対して30分）

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

授業中に指示する。

科目名	総合科目（日中異文化理解）		
担当教員名	仇 暎芸		
ナンバリング	KKA104		
学 科	人間生活学部（K）-共通科目-総合科目		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

ねらい

科目の性格

人間生活学部 ディプロマ・ポリシー 1, 2, 3 に該当する。

本科目は日本人学生および留学生両方を対象としています。日本人学生には「初めての中国」、留学生には「さらに知りたい日本」をテーマに言語と文化の両視点からの授業展開となる。

科目の概要

担当教員の他、学内外の講師も招く予定である。日本人学生にとって隣国である中国の文化や言語に触れ、中国の人口、民族、風習などに関する基礎知識を得ていく。また、留学生にとって更に一歩進んだ日本文化への理解を目指す。

学習目標（到達目標）

自分の母語とその文化を客観視できるようになり、異文化・異国の言語の基礎を理解できるようになる。日本人学生は自分の名前を中国語で言えるようにする。留学生は日本語で体験した文化を口頭発表できるようにする。

内容

この授業は講義、グループワーク、ディスカッションを取り入れながら、学びを深めていく。主な内容として中国語の基礎知識（地図、人口、民族、風習）をはじめ、主な祝日、有名観光地、京劇、民間芸術、お茶の文化など様々なテーマについて取り上げる。中国の文化を学ぶと同時に日本文化への理解も深めていく。茶道など日本文化に関するテーマも取り上げる。また、言語について中国語の発音の基礎を練習し、リズムに慣れていく。さらに、日本人学生と留学生のグループワークも予定しており、互いに会話ができるような場を提供するので、積極的に取り組んで欲しい。詳細はガイダンスの時に紹介する。

評価

授業の出席率(40%)、授業への参加態度(30%)、課題(30%)などとし、総合評価 60 点以上を合格とする。

「フィードバック」：学生の質問に答え、授業の最初に前回の内容について触れる。場合によって、学生に質問をする時もある。学習理解を深められるようにする。

授業外学習

事前準備：次回取り上げるテーマについて調べる。(各授業に対して15分)

事後学習：習った単語を復習し、気になった内容を調べていく。自ら質問をするようになる。(各授業に対して15分)

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

参考図書：

『日本のタテヨコ』（学習研究社 2001 改定第4版）

『Q&Aでわかる中国人とのつきいかた』本名信行・羅華（著）（大修館書店 2018）

科目名	総合科目（新座の祭りとまちおこし）		
担当教員名	星野 敦子、星野 祐子		
ナンバリング	KKA104		
学 科	人間生活学部（K）-共通科目-総合科目		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

地域文化について学び実践するための授業

科目の概要

「大江戸新座祭り」は27年度より開催されており、地域の学校、企業、その他収容団体が参画して市の中心的な行事となっている。また市長が提案している「快適未来都市プロジェクト」においても町おこしの重点項目として位置づけられている。本科目ではまた28年度に本学と新座市商工会青年部の連携により、産業フェスティバルにおいて「阿波踊り教室ステージ企画」を開催した実績に基づいて、本科目についても新座市商工会青年部の協力をいただく。

学修目標（＝到達目標）

1. 大和田はだか祭り」などを含む、新座における祭りの歴史と現状について理解する
2. 日本3大盆踊りの一つである阿波踊りの歴史について理解する
3. 「大江戸新座まつり」の意義と課題などについて理解する
4. 阿波踊りの実習を行い「大江戸新座祭り」に十文字連として参画する

内容

1	新座の祭りとおこしについて（ガイダンス）
2	新座の祭りの歴史と現状
3	大江戸新座まつりの意義と課題
4	阿波踊りの歴史と基礎知識
5	阿波踊りの基本動作（1）男踊り
6	阿波踊りの基本動作（2）女踊り
7	阿波踊りの鳴り物について
8	衣装と連の構成
9	阿波踊り実習（1）
10	阿波踊り実習（2）
11	十文字連の構成
12	十文字連による実習（1）
13	十文字連による実習（2）
14	大江戸新座祭りへの参加にむけて
15	まとめ

評価

授業に対する取り組み、授業ごとの課題を30%、大江戸新座祭りへの参加を70%とし、総合評価60点以上を合格とする。

【フィードバック】

授業外学習

【事前準備】大江戸新座祭りについて調べる

【事後学修】町おこしとまつりとの関係について考察する

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】特にありません 必要な資料は授業で配布します

【推薦書】

【参考図書】

科目名	総合科目（和食文化概論）		
担当教員名	名倉 秀子、土井 善晴		
ナンバリング	KKA104		
学 科	人間生活学部（K）-共通科目-総合科目		
学 年	1	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

人間生活学部の学位授与方針である知的コンピテンス・社会的コンピテンスに関する能力はもちろん、領域「十文字学」の学位授与方針1.2.3に該当する。本科目は、共通科目の「十文字学」の「学びの基礎をつくる」区分における「総合科目」の中の1科目で選択科目である。

科目の概要

東アジアの孤島 その気候風土と共鳴するように生活し、大陸からもたらされた文明に影響を受けながら、育まれた民族の食文化とはなにかを学び、理解し、「和食」とは何かを考察する。

後年行われるであろう、食の活動の土台となる和食の基本思想を理解する。和食の特徴、ハレとケの思想、調理特性、和食の美意識、その意義ある観念を未来に伝える。

学修目標（＝到達目標）

生きるための食を身につける。「和食」とは何かを理解して、伝えることができる。

内容

この授業は、講義を基本とし、ディスカッションを取り入れながら学びを深める。

初回の授業において履修希望者が多数の場合には、受講制限を行うことがある。

1	『プロローグとして料理考』人間と料理、ユネスコ無形文化遺産の理由、家庭料理とプロの料理
2	『和食考』飯汁香 ご飯の炊き方（米） 味噌汁の作り方（味噌） 漬物（塩）
3	清潔の起源 清潔の技術 鮮度を守る
4	季節感 旬の食材 旬（はしりもの、さかりもの、なごりもの）
5	ハレとケの調理思想
6	ハレとケの調理法 比較
7	『和食調理』焼く（炙る） 炒める（揚げる）
8	煮る（茹でる） 蒸す
9	なます 包丁をする
10	『和食の美意識』 洗練と侘び寂び
11	和食の感性 和食の工夫／外国料理と比較
12	和食の食べさせ方・頂き方 和食的 振る舞い
13	器の多様性（漆器 竹器 ガラス器 土器 陶器 磁器）

14	器の扱い方 盛りつけ
15	和食と調理道具 / まとめ

評価

授業への取り組み状況(50%)、最終レポート課題(50%)とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】授業を受けるにあたり、教科書を確認しておく。

【事後学修】一汁一菜の食事の実践，弁当を作る（写真撮影・facebook投稿など）。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】第1回目の授業時に説明する。

【推薦書】「一汁一菜でよいという提案」土井善晴、「おいしいもののまわり」土井善晴 グラフィック社

【参考図書】

科目名	総合科目（和食文化概論）		
担当教員名	土井 善晴、名倉 秀子		
ナンバリング	KKA104		
学 科	人間生活学部（K）-共通科目-総合科目		
学 年	1	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

人間生活学部の学位授与方針である知的コンピテンス・社会的コンピテンスに関する能力はもちろん、領域「十文字学」の学位授与方針1.2.3に該当する。本科目は、共通科目の「十文字学」の「学びの基礎をつくる」区分における「総合科目」の中の1科目で選択科目である。

科目の概要

東アジアの孤島 その気候風土と共鳴するように生活し、大陸からもたらされた文明に影響を受けながら、育まれた民族の食文化とはなにかを学び、理解し、「和食」とは何かを考察する。

後年行われるであろう、食の活動の土台となる和食の基本思想を理解する。和食の特徴、ハレとケの思想、調理特性、和食の美意識、その意義ある観念を未来に伝える。

学修目標（＝到達目標）

生きるための食を身につける。「和食」とは何かを理解して、伝えることができる。

内容

この授業は、講義を基本とし、ディスカッションを取り入れながら学びを深める。

初回の授業において履修希望者が多数の場合には、受講制限を行うことがある。

1	『プロローグとして料理考』人間と料理、ユネスコ無形文化遺産の理由、家庭料理とプロの料理
2	『和食考』飯汁香 ご飯の炊き方（米） 味噌汁の作り方（味噌） 漬物（塩）
3	清潔の起源 清潔の技術 鮮度を守る
4	季節感 旬の食材 旬（はしりもの、さかりもの、なごりもの）
5	ハレとケの調理思想
6	ハレとケの調理法 比較
7	『和食調理』焼く（炙る） 炒める（揚げる）
8	煮る（茹でる） 蒸す
9	なます 包丁をする
10	『和食の美意識』 洗練と侘び寂び
11	和食の感性 和食の工夫／外国料理と比較
12	和食の食べさせ方・頂き方 和食的 振る舞い
13	器の多様性（漆器 竹器 ガラス器 土器 陶器 磁器）

14	器の扱い方 盛りつけ
15	和食と調理道具 / まとめ

評価

授業への取り組み状況(50%)、最終レポート課題(50%)とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】授業を受けるにあたり、教科書を確認しておく。

【事後学修】一汁一菜の食事の実践，弁当を作る（写真撮影・facebook投稿など）。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】第1回目の授業時に説明する。

【推薦書】「一汁一菜でよいという提案」土井善晴、「おいしいもののまわり」土井善晴 グラフィック社

【参考図書】

科目名	総合科目（中山間地域に学ぶ）		
担当教員名	狩野 浩二		
ナンバリング	KKA104		
学 科	人間生活学部（K）-共通科目-総合科目		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

各学科ディプロマポリシーの1に相当する科目です。

科目の性格

この科目は、COC（センター・オブ・コミュニティ）「知（地）の拠点事業」により、開発した地域から学ぶ授業科目です。埼玉県比企郡小川町腰越地区腰上で、地域の方たちから、郷土の歴史や文化などを学び、自己成長を図るためにカリキュラムを開発します。参加する受講生のみなさん自身が学ぶことについて、考える授業です。平成30年度が最初の年度となります。考えながら学ぶことになると思います。

科目の概要

「総合科目」は、共通教育科目のなかの選択科目です。後期木曜日の3限目に時間を設定しますが、週末や休みの日を利用して、埼玉県比企郡小川町腰越地区腰上に出かけます。学外で、学外の人たちとともにお話をしたり、お手伝いをしたりします。

学修目標（=到達目標）

- 仲間とともに、地域に入り、地域の方たちと話し合ったり、ともに働いたりすることができるようになる。
- 教室で仲間とともに中山間支援の中身を相談したり、企画したりすることができる。
- 中山間地域と都市部との仲立ちができるような企画を考え、実行することができる。

内容

アクティブラーニングとして、討論、口頭発表、実地調査、省察とその交流を行ないます。

○講義は、後期木曜日の3限目に開講しますが、ここでの学修は、地域の歴史や文化を知り、どのような交流や支援ができるかを考える時間とします。仲間とともに、地域を知り、地域の良さ、課題などについて話し合います。

○活動は、週末や休日など、大学の授業がない日に行います。

○これまでの活動は、おおよそ次のようでした。実際の日程は、後期の授業が開始されたあとで履修者のみなさんと相談しながら決めます。

（活動例）内容は、これまでの取り組み例です。必ずこのようにするというものではありません。

○大河地区民体育祭への協力（10月上旬）

○ソバの収穫をお手伝いする（11月）

○ソバ、うどん打ちを学ぶ（12月下旬）

○生芋こんにゃくづくりを学ぶ（1月中旬）

○生芋こんにゃくを使った加工品を創作する（1月下旬）

○新座駅前商店会主催のチャリティー餅つき大会で、中山間地の郷土食を紹介する（2月上旬）

○収益金を新座市こぶし福祉基金に寄付する（3月上旬）

評価

レスポンスカードの記入内容1割、最終レポート8割、参加状況1割とし、総合評価60点以上を合格とする。

【フィードバック】レスポンスカードの内容により、活動内容を修正します。

授業外学習

【事前準備】教室で示した資料を読解し、中山間地域についての理解をふかめ、授業にのぞみます。

【事後学修】授業を踏まえ、中山間地域についての理解をさらにふかめ、省察します。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】教室でプリントを配布します。

【推薦書】教室で参考となる本を紹介します。

【参考図書】学修や活動の参考となる本を、教室で紹介します。

科目名	総合科目（デザイナーのように考える）		
担当教員名	杉元 葉子		
ナンバリング	KKA104		
学 科	人間生活学部（K）-共通科目-総合科目		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

学部共通科目の十文字学の中で、学びの基礎をつくる科目である総合科目の一つであり、人間生活学部学位授与方針1に該当する。

科目の概要

<デザイン>とは意図をもってかたちをつくること。デザイナーが身につけている、よりよい解を柔軟に探し出す「こつ」は、<デザイン思考>としてビジネスでも社会活動でも注目されている。幅広くデザインの紹介からはじめ、デザイナーのように発想しながら柔軟に課題と向き合うことを学ぶ。美術的な知識やスキルは求めない。

学修目標

身近な世界を一步良くする潜在的な力や気持ちは誰もが持っている。その一步を踏み出し、発想をかたちにしていく方法の基礎を身につけることが目標である。

- ・身近な生活の課題に気づく力を身につける。
- ・楽しみながら主体的、前向きに課題に向き合う姿勢を身につける。
- ・企画構想の基礎的なスキルを身につける。

内容

講義の他、一部個人作業、グループワーク、プレゼンテーションなどのアクティブラーニング型およびPBL型の授業とする。。

1	オリエンテーション / <デザイン>とは？
2	<デザイン>のひろがり
3	<デザイン>のはじまり
4	デザイン・マインドへのウォーミングアップ
5	「デザイン・マインドの実践1 のびのびと可能性をひろげる」
6	「デザイン・マインドの実践2 たくさんの可能性から課題をつかむ」
7	<デザイン>のプロセスと<デザイン思考>
8	手で考える 手で表現する
9	デザインの現場から 建築デザイン（学外講師：池田雪絵先生）
10	デザインの現場から ブランドデザイン（学外講師：大井鉄也先生、大井福也先生）
11	地域のデザインを考える
12	「<デザイン>にチャレンジ STAGE 1 課題を見つける」
13	「<デザイン>にチャレンジ STAGE 2 提案を導く」
14	「<デザイン>にチャレンジ STAGE 3 表現する」
15	発表とまとめ

評価

授業への参加度30点（リアクションペーパー等を含む）、中間および最終課題70点として、総合評価60点以上を合格とする。

【フィードバック】課題に対して授業内やフィードバックペーパーで講評を行う。

授業外学習

【事前準備】授業外での観察と記録など、アクティブラーニングに必要となる準備を授業で指示する。30分程度。

【事後学修】授業の進行に合わせて各自の課題を進めておく。また授業で紹介する参考資料を自習する。1時間程度。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】プリントを配布する

【参考図書】教室で紹介する

科目名	総合科目（オリンピックムーブメント4）		
担当教員名	石山 隆之		
ナンバリング	KKA104		
学 科	人間生活学部（K）-共通科目-総合科目		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

人間生活学部のディプロマ・ポリシー 1, 2, 3 に該当するが、特に 2 の項目にねらいがある。

「総合科目」は、共通科目「学びの基礎をつくる」領域に配置されており「地域で学ぶ」「読書入門」「総合科目」の3科目から1科目選択必修科目となっている。

学外の企業、団体、有志などの協力を得て、「地域活性とスポーツビジネス（地域発信）」の観点から、受講生ひとり一人が、東京五輪に参加する方法を自ら見出す力を養う。そして、TOKYO 2020に、十文字発 2020への発信のきっかけとしたい。地域発ムーブメント実践編として十文字が進めている学園型総合スポーツクラブや、「日本版NCA A」の「UNIVAS」などを軸に大学スポーツが社会的に期待されていることなどをテーマにしていくことで学生達に関与もしやすく、地域を始め講義のステークホルダーとの連携も関心をひく。また、本学は女子大学であるが故、昨年度に引き続き女性アスリートの視点でも本講義を展開していくものとする。

過去に積み上げてきた授業の実績を引き続き発展させつつ、社会からの注目度が高く受講者にとって関心の高いテーマ（2020 TOKYO）を主軸に講義を展開する。単なるオリンピックを受け身の講義型の授業でなく、学生らが2020に主体的に行動できるようにするため、履修学生一人一人がどのように東京五輪に参加できるかの思考を広げる事を目的とする。今年のメインテーマとしては、“スポーツSDG's”と大会コンセプトである「Be better, together / より良い未来へ、ともに進もう。」を深く掘り下げていきたい。

内容

- 4月10日(水) 石山隆之・八鍬晶子 ガイダンス イントロダクション スポーツ立国戦略
- 4月17日(水) 染谷栄一特命教授 スポーツ SDG's の概要
- 4月24日(水) 八鍬晶子特別招聘講師 Power of sports
- 5月8日(水) 今井純子 JFA女子委員長 女子サッカーの挑戦
- 5月15日(水) 水戸 重之TMI総合法律事務所パートナー弁護士
スポーツ法の現在と未来についての講義
- 5月22日(水) 河村 裕美 公益財団法人東京オリパラ競技大会組織委員会PRセクレタリー
東京2020大会国際戦略についての講義
- 5月29日(水) 飯田 路佳（カレッジスポーツセンター長 教授）他 ワークショップ講義
- 6月5日(水) 栗原 裕二 氏 公益財団法人 東京オリパラ競技大会組織委員会
文化オリンピアードの集大成である「東京2020 NIPPON フェスティバル」が20204よ

り開催されます。組織委員会が主催するプログラムと自治体等が主催、組織委員会が共催するプログラムを中心に文化におけるTOKYO2020アクション&レガシーの現状を解説します。

- 6月12日(水) 浅井 慎也氏（JSP0（日本スポーツ協会）ブランド推進部部長）
- 6月19日(水) 染谷栄一・石山隆之・八鍬晶子 ワークショップ
- 6月26日(水) 染谷栄一・石山隆之・八鍬晶子 ワークショップ
- 7月3(水) 染谷栄一・石山隆之・八鍬晶子 ワークショップ
- 7月10日(水) 染谷栄一・石山隆之・八鍬晶子

学生による優秀ワークショップのプレゼンテーション

7月17日(水) 染谷栄一・石山隆之・八鍬晶子

まとめに向けてのガイダンス 総復習 学生による優秀ワークショップのプレゼンテーション

7月24日(水) 石山隆之・八鍬晶子

まとめ

評価

【評価】授業への参加度40%、毎回のリアクションペーパーやワークショップ30%、筆記試験30%とし、総合評価60点以上を合格とする。合格点に満たない場合は、追試験を行う。

【フィードバック】毎授業に前回授業の内容を振り返り、質疑に返答するなどして学習理解を深められるようにする。

授業外学習

【事前準備】オリパラ組織委員会HP、スポーツ庁HP「UNIVAS」を確認して内容を整理しまとめておく。(各授業に対して60分)【事後学修】復習することを必須とし、授業時に紹介されたHP、オリパラTOKYO2020や「UNIVAS」について各自で内容を理解し、深める。復習ノートなどを作成したり、学生同士のディスカッションなどを行い理解を深めておく。(各授業に対して60分)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】指定の教科書は使用せず、プリント配布などをする

【推薦図書】平田武男 スポーツビジネス最強の教科書 東洋経済新聞社

【参考図書】授業内で随時紹介していく

科目名	総合科目（就職のための金融講座）		
担当教員名	込江 雅彦、加藤 順弘、松本 晃子		
ナンバリング	KKA104		
学 科	人間生活学部（K）-共通科目-総合科目		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

人間生活学部の学位授与方針 1 , 2 , 3 に該当する。この科目は、人間生活学部の共通科目の中の総合科目の一つである。銀行、税務、生命保険、損害保険などの金融系ビジネスについて学習し、就職活動に備えることを目的とする。

科目の概要

金融機関を中心にビジネスの基礎を様々な分野の専門家から実務内容の紹介を受け学習する。具体的には銀行、生命保険、損害保険と一般中小企業に専門性を発揮する税理士会からそれぞれ専門家を招きその指導を受ける。

学修目標（=到達目標）

銀行、税務、生命保険、損害保険の仕事の中身を知り、また広くビジネスの基礎を学習する。

内容	
1	はじめに
2	三井住友銀行
3	三井住友銀行
4	税理士
5	税理士
6	税理士
7	生命保険
8	生命保険
9	生命保険
10	生命保険
11	損害保険
12	損害保険
13	損害保険
14	まとめ 1
15	まとめ 2

評価

平常点30%と最終レポート70%とし、総合評価60点以上を合格とする。

【フィードバック】授業時の課題は、自習以降の授業時にフィードバックする。

授業外学習

【事前準備】金融についてのニュースを読む。（各授業に対して30分）

【事後学修】配布されたプリントやノートを見ながら、不明なところを調べる。（各授業に対して30分）

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】特に指定しない。

【推薦書】特に指定しない。

【参考図書】特に指定しない。

科目名	総合科目（にいざ十文字発世界へ）		
担当教員名	角田 真二		
ナンバリング	KKA104		
学 科	人間生活学部（K）-共通科目-総合科目		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

学部学位授与方針 1．2．3 に該当する．ディプロマポリシー十文字学 2 に該当する．グローバル化のなかで地域を理解し，解決すべき課題と自分が参画していくことの意味をとらえるができる．共通科目十文字学「学びの基盤を作る」科目群の総合科目の一つである．

科目の概要

新座周辺に在住・在勤している外国人の方に向けて，新座，埼玉の歴史，文化を中心に紹介し，親しみをもってもらうための，学習教材を作成したい．具体的な例としては，食にまつわる民話を調べ，それを紹介する動画などの作品を作成したい．国際交流協会の持つデータを基に，どのような国の方々が新座周辺に在住，在勤しているかを学習，それらの国の文化も学び，十分に学習者を把握した上で，作品を作成することを指導したい．最後に互いの作品を発表すると同時に国際交流協会での有効活用を目指したい．

学修目標=（到達目標）

ソフトウェアを学ぶだけでなく，視聴覚の情報処理も学び，異文化のすれ違いによる誤解を生まない等，視聴する側に立つ重要性を理解する．最後に互いの作品を発表すると同時に願わくば国際交流協会での有効活用を目指したい．

内容

1	オリエンテーション
2	新座の住環境の調査
3	画像ソフトの学習
4	サウンドソフトの学習
5	動画ソフトの学習
6	視覚情報処理の学習
7	聴覚情報処理の学習
8	新座の歴史，文化の調査 食を中心に
9	新座の歴史，文化の調査 スポーツを中心に
10	新座の歴史，文化の調査 交通を中心に
11	埼玉の歴史，文化の調査
12	動画作品制作 食について
13	動画作品制作 オリンピックについて
14	動画作品制作 交通について
15	まとめ

評価

テーマ毎に演習課題を提出する。その内容を総合評価とし、60点以上を合格とする。

【フィードバック】 提出されたレポートの中で、優れたレポートのどこの部分が優れているのか、具体的にコメントし、参考にしてもらう。

授業外学習

【事前予習】日常生活における地域への関心を高め、観察しておく。1コマ

【事後学修】自分の作成したレポート，作品と他者のものとの比較を行う。1コマ

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】必要に応じてプリント配布

【参考図書】平成30年度 学習サポートの手引き 図書館／情報センター／コンピュータ演習室の使い方(仮)

科目名	総合科目（近未来社会探訪）		
担当教員名	中山 成夫		
ナンバリング	KKA104		
学 科	人間生活学部（K）-共通科目-総合科目		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格：

人間生活学部 学位授与方針2.3.に該当する。

現代社会はデジタル技術の発展が社会の在り方を変えて行く。本科目は、三菱総合研究所の協力を得て、デジタル技術の発展を軸に経済・政治学からの視点も取り入れ体系的、学際的な学修による教養を身に付ける事を旨とする。

科目の概要

技術と歴史との関係、社会が抱える課題、課題を解決する技術等に関する基礎知識をベースにグループディスカッションを通じて自身や社会の未来を展望する。

学修目標

1. 未来社会に影響を及ぼす技術の進化を自分事として捉え関心を持つ。
2. 社会的に注目されている主要な技術を一定レベルで理解し説明することができる。
3. 技術社会における自身の将来像を描くことができる。

内容

1	ガイダンス
2	未来を考える
3	21世紀末、人類は存続できるか？地球温暖化、人口爆発、食料・水問題、高齢化。
4	Society1.0から4.0:何がどう変わったのか
5	Society1.0から4.0:何がどう変わったのか
6	未来予測（AI、量子コンピューター、第5世代通信が実現する未来予測）
7	健康・医療、人間拡張（ゲノム編集、臓器再生、ナノロボット、脳マシンインターフェース）
8	社会・生活（IoT、拡張現実(AR)、3Dプリンター、仮想通貨、ブロックチェーン、自動運転）
9	フロンティア（宇宙開発、火星移住、未来都市）
10	技術を見る視点（社会、生活、経済、人の価値観や内面への影響、幸福、自由、公平性）
11	技術利用の倫理的法的社会的課題
12	グループディスカッション「私たちが幸せにした技術ベスト3」
13	グループディスカッション「若返りの薬、あなたは買いますか」
14	グループディスカッション「10年以内にAIが人の仕事の半分を代替、さあどうする」
15	まとめ

評価

出席及びグループディスカッションへの参加を40%、レポートを60%の目安とし総合評価60%以上を合格とする。

授業外学習

事前準備： 前回講義で提示した課題の準備(30分)

事後学修： 講義内容の復習(30分)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

参考図書 「2050年の技術 英「エコノミスト」誌は予測する(文芸春秋社)

科目名	総合科目（学内留学 - 毎日英会話）		
担当教員名	福田 仁		
ナンバリング	KKA104		
学 科	人間生活学部（K）-共通科目-総合科目		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

基礎的英会話力の習得

科目の概要

授業はネイティブ講師が担当し、1回45分の授業を少人数制で行う。ネイティブ講師による毎日45分の授業を通して英語に対する苦手意識を克服し、外国人と接することに慣れることを目標とする。

学修目標

このコースの第一の目標は、英語に対する苦手意識を克服し、外国人と接することに慣れることである。英語のみで行われる授業を通して英語に親しみ、継続的な学習習慣を身につけることを目指す。

第二の目標は、高校までに学んだ英語の知識を活かし、自ら英語を発し、会話を続ける能力を身につけることである。身近なトピックに関する基礎的な語彙と表現を、毎回の授業内でのドリルを通して身につけ、反射的に英語を発することができるようになることを目指す。第三の目標は、英語を通して異文化に触れ、自らの文化を英語で表現するための訓練を行う事である。また、引き続き後期に開講されるコミュニケーション演習Bを履修することで、更なる英語コミュニケーション力の向上を目指してほしい。

内容

以下の内容は学習の進捗状況により若干前後することがある。

回 内容

- 1自己紹介、クラス内ルールとクラスで使う英語、会話の始め方と終わり方
- 2簡単な言葉で賛成と反対を表す、基礎的な疑問文の作り方、語彙ノートの作成
- 3会話を続ける技術、好き嫌いについて話す、発音練習（音節を意識する）
- 4 Canを使って能力を表現する（Unit 1）、Canを使って可能性を表現する
- 5個人の情報（出身地・職業・家族等）について話す（Unit 2）、発音練習（RとLの発音）
- 6数字や日時を表現する、スケジュールについて話す（Unit 3）
- 7日々の活動や頻度を表現する、日常生活について話す（Unit 4）
- 8家の中の物を描写する、物の場所について話す（Unit 6）
- 9街の中の施設・建物を描写する、道案内をする（Unit 7）
- 10現在進行形を使って物事の動きを表現する、人前で話す練習
- 11会話をコントロールする技術、"Show and Tell" 入門
- 12日本の物を描写する、順序立てて話す
- 13 "Show and Tell"の準備・練習、"Show and Tell"実施
- 14未来について話す、招待する・招待を断る
- 15まとめ

評価

英会話能力（40％）と授業への参加態度（60％）を総合して評価する。

「授業への参加態度」は、以下の点について評価される-1) 講師の指示に注意を払い、それに迅速に従う、2) 積極的且つ協力的にアクティビティーに参加する、3) 英語を使うことに積極的で、日本語に頼らない

授業外学習

【事前準備】前回の授業までに学んだ内容、特に語彙を復習し、教室での会話に活かせるよう準備する。

【事後学修】授業中に学んだ英語表現をノートに記録し、復習する。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】Warren Wilson & Roger Barnard, Fifty-Fifty Third Edition Book 1, Pearson Japan

【推薦書】授業で適宜指示する。

科目名	総合科目（学内留学 - 毎日英会話）		
担当教員名	福田 仁		
ナンバリング	KKA104		
学 科	人間生活学部（K）-共通科目-総合科目		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

基礎的英会話力の習得

科目の概要

授業はネイティブ講師が担当し、1回40分の授業を少人数制で行う。ネイティブ講師による毎日40分の授業を通して英語に対する苦手意識を克服し、外国人と接することに慣れることを目標とする。

学修目標

このコースの第一の目標は、英語に対する苦手意識を克服し、外国人と接することに慣れることである。英語のみで行われる授業を通して英語に親しみ、継続的な学習習慣を身につけることを目指す。

第二の目標は、高校までに学んだ英語の知識を活かし、自ら英語を話し、会話を続ける能力を身につけることである。身近なトピックに関する基礎的な語彙と表現を、毎回の授業内でのドリルを通して身につけ、反射的に英語を発することができるようになることを目指す。第三の目標は、英語を通して異文化に触れ、自らの文化を英語で表現するための訓練を行う事である。また、引き続き後期に開講されるコミュニケーション演習Bを履修することで、更なる英語コミュニケーション力の向上を目指してほしい。

内容

以下の内容は学習の進捗状況により若干前後することがある。

回 内容

- 1 自己紹介、クラスで使う英語、雑談をする
- 2 規則について話す、指示を出す・指示に従う、発音練習（VとBの発音）
- 3 容姿や服装を描写する（Unit 8）、誉め言葉を言う
- 4 性格を表現する、家族について話す（Unit 9）
- 5 比較級と最上級の使い方、休暇のプランを比較する
- 6 好き嫌いについて話す、好き嫌いの度合いを表現する（Unit 11）
- 7 未来の行動を表現する、将来起こることを予測する（Unit 12）
- 8 ハロウィーンのお祭り、時間と距離を表現する、電話でイベントに招待する
- 9 過去の出来事を表現する、過去の出来事を順を追って説明する（Unit 13）
- 10 過去形と現在完了の違いを学ぶ、初めての経験について話す
- 11 メニューの内容について聞く・答える、レストランでの会話（Unit 14）
- 12 Presentation入門、日本の文化について話す
- 13 Presentation準備、Presentation実施
- 14 様々な国における祭日について学ぶ、グリーティングカードを書く
- 15 まとめ

評価

英会話能力（40％）と授業への参加態度（60％）を総合して評価する。

「授業への参加態度」は、以下の点について評価される-1) 講師の指示に注意を払い、それに迅速に従う、2) 積極的且つ協力的にアクティビティーに参加する、3) 英語を使うことに積極的で、日本語に頼らない

授業外学習

【事前準備】前回の授業までに学んだ内容、特に語彙を復習し、教室での会話に活かせるよう準備する。

【事後学修】授業中に学んだ英語表現をノートに記録し、復習する。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】Warren Wilson & Roger Barnard, Fifty-Fifty Third Edition Book 1, Pearson Japan

【推薦書】授業で適宜指示する。

科目名	英語		
担当教員名	榊原 理枝子		
ナンバリング	KKc124		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 英語		
学 年	1	ク ラ ス	FAクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	選必, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格 / 高等学校教諭一種免許状 (情報) / 高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語) / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 栄養教諭二種免許状 / 小学校教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (国語) / 高等学校教諭一種免許状 (国語) / 中学校教諭一種免許状 (保健体育) / 高等学校教諭一種免許状 (保健体育)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

(科目の性格) (1)外国語科目の学位授与方針1・2・3に該当します。(2)この科目は共通科目の外国語科目のうちの選択必修科目です。さらに英語を学びたい場合は英語IIを選択します。

(科目の概要) 英語力の総合的育成を行い、卒業後、社会に出ても通用する英語力の育成を目標とします。

(学修目標) 文法、語彙等の総復習をしつつ訓練を重ね、英語運用力の育成も目指します。

内容

(授業の進め方や方針)

(1)アクティブラーニングの実践として、学生に英語での発言や発表などをしてもらいながら授業を進めます。そのうえで、学生の理解度、関心などにより以下の授業進行予定を変更することがあります。ただし、前期にUnit1~6、後期にUnit7~12を学習するというのは変わりません。(2)病気による出停など、正当な欠席の場合は証明が必要。(3)単位取得には3分の2以上の出席が必須。出席回数不足などで単位取得が危うくなってから、学年末に課題等で救済などということはしません。本人のためにならないからです。(4)テスト、試験類は採点して返却。定期試験は最後から2番目の週に実施。最終週には返却、解説。定期試験だけではなく返却解説も欠席不可。(5)テスト、試験等は欠席しても別日程で受けることはできません。健康管理に注意。(6)ポータルで授業に関する連絡をするので、ポータルは常に確認してください。(7)詳細は初回に配付。またCALL教室の使い方を覚えてもらわないといけないので最初数回は欠席しないでください。

(授業計画)

前期

(1)オリエンテーション(2)Unit 1導入(3)Unit 1応用(4)Unit 2導入(5)Unit 2応用(6)Unit 3導入(7)Unit 3応用(8)Unit 4導入(9)Unit 4応用(10)Unit5導入(11)Unit 5 応用(12)Unit 6導入(13)Unit 6応用(14)(15)前期総復習・質疑応答・まとめ

後期

(1)オリエンテーション(2)Unit 7導入(3)Unit 7応用(4)Unit 8導入(5)Unit8応用(6)Unit9導入(7)Unit9応用(8)Unit10導入(9)Unit 10応用(10)Unit 11導入(11)Unit 11応用(12)Unit 12導入(13)Unit12応用(14)(15)後期総復習・質疑応答・まとめ

評価

(1)発言等の授業参加、事前・事後学修、課題、小テスト等平常点を50%、中間、定期試験50%で、総合評価60点以上が合格。(テスト類は採点して返却)(2)合格点に満たなければ再試験。(3)中間、定期試験欠席は証明が必要。(4)中間、定期試験欠席の際は授業開始時刻までに指定したアドレスにメールがないと単位は無理。

授業外学習

(事前学修) 練習問題等の宿題。知らない語句があれば辞書をひいて覚えてくる。毎日20分から40分程度。(必要ならそれ以上)(事後学修) 授業の復習。覚えるべきことは覚え、次回授業で英語で発言ができるよう音声を聞いて練習してくる。その他、宿題など。毎日20分から40分程度。(必要ならそれ以上)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

(教科書) 共通指定教科書Stempleski著、Stretch 2(Oxford) + プリントなど。教科書はフジショップで買い、初回授業に持ってきてください。(辞書) 辞書はお持ちの物を初回に持って来てください。スマホ等による代用禁止。(授業に集中してもらうため授業中はスマホ等はしまってもらいます。) 辞書を購入予定の場合、初回以降に購入でも構いません。失敗を防ぐためです。(推薦書) 授業で適宜紹介。

科目名	英語		
担当教員名	津田 久美子		
ナンバリング	KKc124		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 英語		
学 年	1	ク ラ ス	FBクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	選必, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格 / 高等学校教諭一種免許状 (情報) / 高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語) / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 栄養教諭二種免許状 / 小学校教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (国語) / 高等学校教諭一種免許状 (国語) / 中学校教諭一種免許状 (保健体育) / 高等学校教諭一種免許状 (保健体育)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

学部学位授与方針 (外国語) 1、2、3 に該当。

通年科目として英語によるコミュニケーションのための基礎的英語能力の育成を目指す科目です。英語力の基礎を徹底的に演習し、運用の基礎を養います。

科目の概要

「聞く・話す、読む・書く」の4技能の総合的育成を行い、大学卒業後、社会に出ても通用する英語力の育成を目標とします。ただし、これら4技能を別々に学習するのではなく有機的に結びつけ、「聞く・読む」力の養成から「話す・書く」力への発展へとつなげます。

学修目標 (= 到達目標)

前期では、英語を「聞き・読む」力、すなわち認知・受信能力の効率的な修得を目指し、重要な文法事項や語彙の総復習を行います。後期では前期で修得した内容や力に基づいて、「話し・書く」力、すなわち発信能力の基礎修得を目指します。

内容

指定されたテキストにしたがい、適宜ペアワーク、グループワークも取り入れ、学生に発言をしてもらいながら授業を進めていきます。

《前期》

オリエンテーション Unit 1: Hobbies (1)(2) Unit 1: Hobbies (3)(4) Unit 2: Clothes and colors (1)(2) Unit 2: Clothes and colors (3)(4) Unit 3: An active life (1)(2) Unit 3: An active life (3)(4) Unit 4: Getting around (1)(2) Unit 4: Getting around (3)(4) Unit 5: Personality (1)(2) Unit 5: Personality (3)(4) Unit 6: Cooking (1)(2) Unit 6: Cooking (3)(4) 復習 (1) 復習 (2)、まとめ

《後期》

オリエンテーション Unit 7: Weather (1)(2) Unit 7: Weather (3)(4) Unit 8: Everyday activities (1)(2) Unit 8: Everyday activities (3)(4) Unit 9: Math, history and art (1)(2) Unit 9: Math, history and art (3)(4) Unit 10: A busy semester (1)(2) Unit 10: A busy semester (3)(4) Unit 11: Favors and requests (1)(2) Unit 11:

Favors and requests (3)(4) Unit 12: Before you travel

I (1)(2) Unit 12: Before you travel (3)(4) 復習(1) 復習(2)、まとめ

評価

予習および授業への参加態度、授業内活動や小テスト結果などの平常点を40%、定期試験を60%とし、総合評価60点以上を合格とします。また、合格点に満たなかった場合は再試験を実施します。

【フィードバック】毎回行う復習小テストから間違いが多かった箇所を次回の授業で共有し、理解を深めてもらいます。

授業外学習

【事前準備】授業内で指示された箇所（語彙、文法、リスニング、読解の練習問題など）を予習してきてください（30分～1時間程度）。

【事後学修】授業で学習した語彙や文法について復習してきてください（30分程度）。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】Stretch 2 by Susan Stempleski, Oxford University Press

（全コース・全レベルの共通テキストです）

科目名	英語		
担当教員名	榊原 理枝子		
ナンバリング	KKc124		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 英語		
学 年	1	ク ラ ス	BAクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	選必, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格 / 高等学校教諭一種免許状 (情報) / 高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語) / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 栄養教諭二種免許状 / 小学校教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (国語) / 高等学校教諭一種免許状 (国語) / 中学校教諭一種免許状 (保健体育) / 高等学校教諭一種免許状 (保健体育)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

(科目の性格) (1)外国語科目の学位授与方針1・2・3に該当します。(2)この科目は共通科目の外国語科目のうちの選択必修科目です。さらに英語を学びたい場合は英語IIを選択します。

(科目の概要) 英語力の総合的育成を行い、卒業後、社会に出ても通用する英語力の育成を目標とします。

(学修目標) 文法、語彙等の総復習をしつつ訓練を重ね、英語運用力の育成も目指します。

内容

(授業の進め方や方針)

(1)アクティブラーニングの実践として、学生に英語での発言や発表などをしてもらいながら授業を進めます。そのうえで、学生の理解度、関心などにより以下の授業進行予定を変更することがあります。ただし、前期にUnit1~6、後期にUnit7~12を学習するというのは変わりません。(2)病気による出停など、正当な欠席の場合は証明が必要。(3)単位取得には3分の2以上の出席が必須。出席回数不足などで単位取得が危うくなってから、学年末に課題等で救済などということはしません。本人のためにならないからです。(4)テスト、試験類は採点して返却。定期試験は最後から2番目の週に実施。最終週には返却、解説。定期試験だけではなく返却解説も欠席不可。(5)テスト、試験等は欠席しても別日程で受けることはできません。健康管理に注意。(6)ポータルで授業に関する連絡をするので、ポータルは常に確認してください。(7)詳細は初回に配付。またCALL教室の使い方を覚えてもらわないといけないので最初数回は欠席しないでください。

(授業計画)

前期

(1)オリエンテーション(2)Unit 1導入(3)Unit 1応用(4)Unit 2導入(5)Unit 2応用(6)Unit 3導入(7)Unit 3応用(8)Unit 4導入(9)Unit 4応用(10)Unit5導入(11)Unit 5 応用(12)Unit 6導入(13)Unit 6応用(14)(15)前期総復習・質疑応答・まとめ

後期

(1)オリエンテーション(2)Unit 7導入(3)Unit 7応用(4)Unit 8導入(5)Unit8応用(6)Unit9導入(7)Unit9応用(8)Unit10導入(9)Unit 10応用(10)Unit 11導入(11)Unit 11応用(12)Unit 12導入(13)Unit12応用(14)(15)後期総復習・質疑応答・まとめ

評価

(1)発言等の授業参加、事前・事後学修、課題、小テスト等平常点を50%、中間、定期試験50%で、総合評価60点以上が合格。(テスト類は採点して返却)(2)合格点に満たなければ再試験。(3)中間、定期試験欠席は証明が必要。(4)中間、定期試験欠席の際は授業開始時刻までに指定したアドレスにメールがないと単位は無理。

授業外学習

(事前学修) 練習問題等の宿題。知らない語句があれば辞書をひいて覚えてくる。毎日20分から40分程度。(必要ならそれ以上)(事後学修) 授業の復習。覚えるべきことは覚え、次回授業で英語で発言ができるよう音声を聞いて練習してくる。その他、宿題など。毎日20分から40分程度。(必要ならそれ以上)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

(教科書) 共通指定教科書Stempleski著、Stretch 2(Oxford) + プリントなど。教科書はフジショップで買い、初回授業に持ってきてください。(辞書) 辞書はお持ちの物を初回に持って来てください。スマホ等による代用禁止。(授業に集中してもらうため授業中はスマホ等はしまってもらいます。) 辞書を購入予定の場合、初回以降に購入でも構いません。失敗を防ぐためです。(推薦書) 授業で適宜紹介。

科目名	英語		
担当教員名	津田 久美子		
ナンバリング	KKc124		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 英語		
学 年	1	ク ラ ス	BBクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	選必, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格 / 高等学校教諭一種免許状 (情報) / 高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語) / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 栄養教諭二種免許状 / 小学校教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (国語) / 高等学校教諭一種免許状 (国語) / 中学校教諭一種免許状 (保健体育) / 高等学校教諭一種免許状 (保健体育)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

学部学位授与方針 (外国語) 1、2、3 に該当。

通年科目として英語によるコミュニケーションのための基礎的英語能力の育成を目指す科目です。英語力の基礎を徹底的に演習し、運用の基礎を養います。

科目の概要

「聞く・話す、読む・書く」の4技能の総合的育成を行い、大学卒業後、社会に出ても通用する英語力の育成を目標とします。ただし、これら4技能を別々に学習するのではなく有機的に結びつけ、「聞く・読む」力の養成から「話す・書く」力への発展へとつなげます。

学修目標 (= 到達目標)

前期では、英語を「聞き・読む」力、すなわち認知・受信能力の効率的な修得を目指し、重要な文法事項や語彙の総復習を行います。後期では前期で修得した内容や力に基づいて、「話し・書く」力、すなわち発信能力の基礎修得を目指します。

内容

指定されたテキストにしたがい、適宜ペアワーク、グループワークも取り入れ、学生に発言をしてもらいながら授業を進めていきます。

《前期》

オリエンテーション Unit 1: Hobbies (1)(2) Unit 1: Hobbies (3)(4) Unit 2: Clothes and colors (1)(2) Unit 2: Clothes and colors (3)(4) Unit 3: An active life (1)(2) Unit 3: An active life (3)(4) Unit 4: Getting around (1)(2) Unit 4: Getting around (3)(4) Unit 5: Personality (1)(2) Unit 5: Personality (3)(4) Unit 6: Cooking (1)(2) Unit 6: Cooking (3)(4) 復習 (1) 復習 (2)、まとめ

《後期》

オリエンテーション Unit 7: Weather (1)(2) Unit 7: Weather (3)(4) Unit 8: Everyday activities (1)(2) Unit 8: Everyday activities (3)(4) Unit 9: Math, history and art (1)(2) Unit 9: Math, history and art (3)(4) Unit 10: A busy semester (1)(2) Unit 10: A busy semester (3)(4) Unit 11: Favors and requests (1)(2) Unit 11:

Favors and requests (3)(4) Unit 12: Before you travel

I (1)(2) Unit 12: Before you travel (3)(4) 復習(1) 復習(2)、まとめ

評価

予習および授業への参加態度、授業内活動や小テスト結果などの平常点を40%、定期試験を60%とし、総合評価60点以上を合格とします。また、合格点に満たなかった場合は再試験を実施します。

【フィードバック】毎回行う復習小テストから間違いが多かった箇所を次回の授業で共有し、理解を深めてもらいます。

授業外学習

【事前準備】授業内で指示された箇所（語彙、文法、リスニング、読解の練習問題など）を予習してきてください（30分～1時間程度）。

【事後学修】授業で学習した語彙や文法について復習してきてください（30分程度）。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】Stretch 2 by Susan Stempleski, Oxford University Press

（全コース・全レベルの共通テキストです）

科目名	英語		
担当教員名	シーラ クリフ		
ナンバリング	KKc124		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 英語		
学 年	1	ク ラ ス	GBクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格 / 高等学校教諭一種免許状 (情報) / 高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語) / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 栄養教諭二種免許状 / 小学校教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (国語) / 高等学校教諭一種免許状 (国語) / 中学校教諭一種免許状 (保健体育) / 高等学校教諭一種免許状 (保健体育)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

This course teaches students the basic four skills of English with components in listening, speaking, reading and writing. In addition videos enable students to learn from visual components and they will have a chance to do presentations.

科目の概要

Each lessons starts with target vocabulary taught through listening exercises. The students practice conversations. After this grammar and reading and writing exercises re-enforce the learning points.

学習目標 (= 到達目標)

Students will be enabled to use the English that they know through this practice.

内容

1. Introduction to each other, to the text, online materials.
- 2,3. Unit 1. Discussing hobbies, learning to give opinions and answering questions.
- 4,5. Unit 2. Discussing clothes and colours. Asking or opinions and making comparisons.
- 6,7. Unit 3. Talking about sports. Guessing meanings, identifying cause and effect.
8. Review of units 1,2,3. Listening.
- 9,10. Unit4. Transportation. Discussing how to interrupt.
- 11,12. Unit 5. Discussing personality. Showing surprise, looking for key words.
- 13,14. Unit 6. Cooking. Explaining the order of events and processes.
15. Review of units 4,5,6.
- 16,17. Unit 7. Talking about the weather. Asking questions.
- 18,19. Unit 8. Daily routines. Apologizing.
- 20,21. Unit 9. Talking about school subjects.
22. Review of units 7,8,9.
- 23,24. Unit 10. School life. Agreeing and explaining reasons.
- 25,26. Unit 11. Making requests.
- 27,28. Unit 12. Traveling. Asking questions.
29. Review of units 10,11,12.
30. Final review of the whole course.

評価

学期末テスト・小テスト65%、授業への参加度・態度・発言の質20%、課題15%とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】Students will be encourage to listen to English outside the classroom.

【事後学修】Online learning component is available for students to work on at home.

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】Stretch 2. S. Stempleski. Oxford.

科目名	英語		
担当教員名	福田 仁		
ナンバリング	KKc124		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 英語		
学 年	1	ク ラ ス	GAクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	選必, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格 / 高等学校教諭一種免許状 (情報) / 高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語) / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 栄養教諭二種免許状 / 小学校教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (国語) / 高等学校教諭一種免許状 (国語) / 中学校教諭一種免許状 (保健体育) / 高等学校教諭一種免許状 (保健体育)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

英語によるコミュニケーションのための基礎的英語能力 (聞く・読む・話す・書く) の育成を目指す通年科目である。

科目の概要

4技能の総合的な養成によって、社会に出ても通用する英語力の育成を目標としている。

学修目標 (= 到達目標)

「ヨーロッパ言語共通参照枠 (CEFR) 」のA2「ごく基本的な個人情報や家族情報、買い物、地元の地理、仕事など、直接的関係がある領域に関しては、文やよく使われる表現が理解できる。簡単で日常的な範囲なら、身近で日常の事柄について、単純で直接的な情報交換に応じることができる (プリティッシュカウンシル訳) 」レベルの完成を目標とする。

内容

各ユニットを2回の授業ですすめる。

1	導入 (前期) Unit 7 Weather 表現と文法 (後期)
2	Unit 1 Hobbies 表現と文法 Unit 7 最上級
3	Unit 1 不定詞の用法 Unit 8 Everyday Activities 表現と文法
4	Unit 2 Clothes and Colors 表現と文法 Unit 8 過去進行形
5	Unit 2 比較級 Unit 9 Math, History and Art 表現と文法
6	Unit 3 An Active Life 表現と文法 Unit 9 現在分詞、過去分詞
7	Unit 3 動詞+目的語 Unit 10 A busy Semester 表現と文法
8	Unit 4 Getting Around 表現と文法 Unit 10 現在完了形
9	Unit 4 間接話法 Unit 11 Favors and Requests 表現と文法
10	Unit 5 Personality 表現と文法 Unit 11 依頼のしかた
11	Unit 5 単純現在と現在進行形 Unit 12 Before You Travel
12	Unit 6 Cooking 表現と文法 Unit 12 have to, have got to
13	Unit 6 命令文 Units 7--12復習
14	Units 1--6 復習 Units 1--12復習
15	まとめ

評価

まとめの成果を60%、授業への積極的参加を20%、課題提出物評価点を20%とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】授業で新しいUnitに入る前にA (単語と文法) , B (コミュニケーション機能) , C (文法) すべて

を予習して臨むこと。Dについては授業で指示する。毎週1時間程度。

【事後学修】時間があれば、映画等で英語に触れ続けることをお勧めする。毎週30分程度。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】Susan Stempleski, Stretch 2, Oxford University Press

【推薦書】授業で適宜指示する。

科目名	英語		
担当教員名	シーラ クリフ		
ナンバリング	KKc124		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 英語		
学 年	1	ク ラ ス	HAクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	選必, 必修 *
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格 / 高等学校教諭一種免許状 (情報) / 高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語) / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 栄養教諭二種免許状 / 小学校教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (国語) / 高等学校教諭一種免許状 (国語) / 中学校教諭一種免許状 (保健体育) / 高等学校教諭一種免許状 (保健体育)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

This course teaches students the basic four skills of English with components in listening, speaking, reading and writing. In addition videos enable students to learn from visual components and they will have a chance to do presentations.

科目の概要

Each lessons starts with target vocabulary taught through listening exercises. The students practice conversations. After this grammar and reading and writing exercises re-enforce the learning points.

学修目標 (= 到達目標)

Students will be enabled to use the English that they know through this practice.

内容

1. Introduction to each other, to the text, online materials.
- 2,3. Unit 1. Discussing hobbies, learning to give opinions and answering questions.
- 4,5. Unit 2. Discussing clothes and colours. Asking or opinions and making comparisons.
- 6,7. Unit 3. Talking about sports. Guessing meanings, identifying cause and effect.
8. Review of units 1,2,3. Listening.
- 9,10. Unit4. Transportation. Discussing how to interrupt.
- 11,12. Unit 5. Discussing personality. Showing surprise, looking for key words.
- 13,14. Unit 6. Cooking. Explaining the order of events and processes.
15. Review of units 4,5,6.
- 16,17. Unit 7. Talking about the weather. Asking questions.
- 18,19. Unit 8. Daily routines. Apologizing.
- 20,21. Unit 9. Talking about school subjects.
22. Review of units 7,8,9.
- 23,24. Unit 10. School life. Agreeing and explaining reasons.
- 25,26. Unit 11. Making requests.
- 27,28. Unit 12. Traveling. Asking questions.
29. Review of units 10,11,12.
30. Final review of the whole course.

評価

学期末テスト・小テスト65%、授業への参加度・態度・発言の質20%、課題15%とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】Students will be encourage to listen to English outside the classroom.

【事後学修】Online learning component is available for students to work on at home.

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】Stretch 2. S. Stempleski. Oxford.

科目名	英語		
担当教員名	宮崎 順子		
ナンバリング	KKc124		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 英語		
学 年	1	ク ラ ス	HBクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	選必, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格 / 高等学校教諭一種免許状 (情報) / 高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語) / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 栄養教諭二種免許状 / 小学校教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (国語) / 高等学校教諭一種免許状 (国語) / 中学校教諭一種免許状 (保健体育) / 高等学校教諭一種免許状 (保健体育)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

外国語科目の学位授与方針1,2に該当します。

通年科目として英語によるコミュニケーションのための基礎的英語能力の育成を目指す科目です。英語力の基礎を徹底的に演習し、運用の基礎を作ります。

科目の概要

「聞く・話す、読む・書く」の4技能の総合的育成を行い、大学を卒業して社会に出ても通用する英語力の育成を目標としています。この4技能を別々に学習するのではなく、「聞く・読む」から、「話す・書く」への発展へとつなげます。

学修目標 (= 到達目標)

前期では主に英語の「聞く・読む」ための認知能力の修得を目指します。そのため、重要な文法事項や語彙を効率的に学習できるようにします。後期では前期で修得した内容や力をもとに、「話す・書く」の運用能力を育成します。

内容

講義計画：この授業は、講義を基本に、ペアワークを取り入れながら、進めていきます。前期は英語の「聞く・読む」力を養成することに重点を置き、後期は英語の「話す・書く」力を養成することに重点を置きます。また、以下のような文法事項も確認していきます。教科書の各ユニットを2回の授業で修了します。

内容

前期 第1週 オリエンテーション (クラスの進め方についての説明)、文型等の復習

第2/3週 Hobbies Grammar: Verb+infinitive / Reading: Free Time!

第4/5週 Clothes and colors Grammar: Comparatives / Reading: Where do you shop?

第6/7週 An active life Grammar: Verb+noun / Reading: Indoor Adventures

第8/9週 Getting around Grammar: Indirect questions / Reading: What is Bikeshare?

第10/11週 Personality Grammar: Simple present vs. present continuous / Reading: Jobfinder

第12/13週 Cooking Grammar: Imperatives and sequence markers / Reading: Mike Gets Cooking

第14週 Viewing: Cooking in Morocco 第15週 前期のまとめ

後期 第1週 前期の復習

第2/3週 Weather Grammar: Superlative forms of adjectives / Reading: Extreme Weather

第4/5週 Everyday activities Grammar: Past continuous / Reading: Funny Pet Stories

第6/7週 Math, history, and art Grammar: Adjectives ending

in -ing and -ed / Reading: The Best Class I Ever Took

第8/9週 A busy semester Grammar: Present perfect / Reading: Reducing Test Anxiety

第10/11週 Favors and requests Grammar: Requests with wou

ld you mind+gerund, can, could, and would / Reading: Pay It Forward Day

第12/13週 Before you travel Grammar: Have to and have got to for obligation / Reading: Trouble-free Travel

第14週 Viewing: Lost and found 第15週 後期のまとめ

評価

以下の割合で点数化し、60%以上を合格とします。また、合格点に満たなかった場合は再試験を実施します。

(1) 前期・後期試験：60% (2) 平常点：40% (小テスト20%、課題提出10%、授業への参加度10%)

課題のフィードバックの方法 - 代表的な解答や意見を取り上げて、講評します。

授業外学習

【事前予習】教科書の指定箇所を必ず予習して授業に臨んでください。(各授業に対して約30～60分)

【事後学修】授業で学習した単語や表現を再確認し覚えてください。(各授業に対して約30～60分)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】Susan Stempleski, Stretch 2, Oxford University Press

【参考図書】辞書等は、授業で紹介します。

科目名	英語		
担当教員名	谷 洋子		
ナンバリング	KKc124		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 英語		
学 年	1	ク ラ ス	HCクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格 / 高等学校教諭一種免許状 (情報) / 高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語) / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 栄養教諭二種免許状 / 小学校教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (国語) / 高等学校教諭一種免許状 (国語) / 中学校教諭一種免許状 (保健体育) / 高等学校教諭一種免許状 (保健体育)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

共通科目のディプロマポリシー 十文字学2、および外国語1.2.3に該当する。

本科目は英語によるコミュニケーションのための基礎的英語能力の習得を目指す科目である。とりわけ、「聞く、話す、読む、書く」の4技能の総合的演習を行い、大学を経て社会に出ても通用する英語力の習得を目標としている。

科目の概要

前期、後期を通して、英語力の「聞く」「読む」ための認知能力の効率的な習得を目指し、重要な文法事項や語彙を学習した上で、習得した内容を基に「話す」「書く」の運用能力の習得すべく練習を行う。

学修目標 (= 到達目標)

この授業を履修することにより、以下のことができるようになることを到達目標とします。

1. 英語によるコミュニケーションで使用する基礎的なフレーズや語彙を読み、または聞いて理解することができる。
2. 英語によるコミュニケーションで使用する基礎的なフレーズや語彙を書き、または話す中で使用することができる。

内容

テキスト1ユニットを通常2回で完了するよう進める。主に1回目を各ユニットのテーマ (表題) についての語彙、言語構造の確認と演習、2回目をそれらを使用するまとめの演習という形で進める。演習の際は、個人でタスクに取り組んだ後、ペア、グループ学習にて疑問点の解決を図る。各ユニットの1回目と二回目の間にリスニング課題、2回目の終わりにまとめのプリント課題を出し、それらの解答チェック、疑問点の質疑応答も授業内で行う。

前期

- 第1回 オリエンテーション・U1 Hobbies 趣味をテーマとした語彙を学び、聞き取る
- 第2回&3回 U1 Hobbies 趣味についての読み物を読む、自己の趣味について話す
- 第4回&5回 U2 Clothes and colors 服装についての語彙、表現を学び話す
- 第6回&7回 U3 Rain or shine
- 第8回&9回 U4 An active life
- 第10回&11回 U5 Personality
- 第12回&13回 U6 Cooking
- 第14回復習 (1)
- 第15回復習 (2)

後期

- 第16回 前期振り返り・U7 Weather
- 第17回&18回 U7 Weather
- 第19回&20回 U8 Everyday activities
- 第21回&22回 U9 Math, history, and art
- 第23回&24回 U10 A busy semester
- 第25回&26回 U11 Favors and requests

第27回&28回 U12 Before you travel

第29回復習(1)

第30回復習(2)

評価

テスト70点・課題20点、授業への取り組み10点で評価を行い、60点以上を合格とする。

課題のフィードバックは、授業中の解答チェックの中で質疑応答をとおして行う。シャドウイングの練習結果は学生間のペア・ワークでチェックを行い、全体チェックの中で気づいたことを教員からコメントする。

授業外学習

【事前予習】学習ユニットの未知語、文法を確認しておくこと。(30分)

【事後学習】 授業で行ったユニットのダイアログ音読・シャドウイングを行う。(シャドウイングの方法については授業内で指導する。)(30分) 授業で指示されたリスニングタスクを行う。(隔週30分) まとめのプリントを行う(隔週30分)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】S.Stempleski, Stretch Level 2 Student's Book with Online Practice, Oxford University Press

科目名	英語		
担当教員名	宮崎 順子		
ナンバリング	KKc124		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 英語		
学 年	1	ク ラ ス	EAクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	選必, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格 / 高等学校教諭一種免許状(情報) / 高等学校教諭一種免許状(英語) / 中学校教諭一種免許状(英語) / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 栄養教諭二種免許状 / 小学校教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状(保健) / 中学校教諭一種免許状(保健) / 中学校教諭一種免許状(国語) / 高等学校教諭一種免許状(国語) / 中学校教諭一種免許状(保健体育) / 高等学校教諭一種免許状(保健体育)		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

外国語科目の学位授与方針1,2に該当します。

通年科目として英語によるコミュニケーションのための基礎的英語能力の育成を目指す科目です。英語力の基礎を徹底的に演習し、運用の基礎を作ります。

科目の概要

「聞く・話す、読む・書く」の4技能の総合的育成を行い、大学を卒業して社会に出ても通用する英語力の育成を目標としています。この4技能を別々に学習するのではなく、「聞く・読む」から、「話す・書く」への発展へとつなげます。

学修目標(= 到達目標)

前期では主に英語の「聞く・読む」ための認知能力の修得を目指します。そのため、重要な文法事項や語彙を効率的に学習できるようにします。後期では前期で修得した内容や力をもとに、「話す・書く」の運用能力を育成します。

内容

講義計画：この授業は、講義を基本に、ペアワークを取り入れながら、進めていきます。前期は英語の「聞く・読む」力を養成することに重点を置き、後期は英語の「話す・書く」力を養成することに重点を置きます。また、以下のような文法事項も確認していきます。教科書の各ユニットを2回の授業で修了します。

内容

前期 第1週 オリエンテーション(クラスの進め方についての説明)、文型等の復習

第2/3週 Hobbies Grammar: Verb+infinitive / Reading: Free Time!

第4/5週 Clothes and colors Grammar: Comparatives / Reading: Where do you shop?

第6/7週 An active life Grammar: Verb+noun / Reading: Indoor Adventures

第8/9週 Getting around Grammar: Indirect questions / Reading: What is Bikeshare?

第10/11週 Personality Grammar: Simple present vs. present continuous / Reading: Jobfinder

第12/13週 Cooking Grammar: Imperatives and sequence markers / Reading: Mike Gets Cooking

第14週 Viewing: Cooking in Morocco 第15週 前期のまとめ

後期 第1週 前期の復習

第2/3週 Weather Grammar: Superlative forms of adjectives / Reading: Extreme Weather

第4/5週 Everyday activities Grammar: Past continuous / Reading: Funny Pet Stories

第6/7週 Math, history, and art Grammar: Adjectives ending

in -ing and -ed / Reading: The Best Class I Ever Took

第8/9週 A busy semester Grammar: Present perfect / Reading: Reducing Test Anxiety

第10/11週 Favors and requests Grammar: Requests with wou

ld you mind+gerund, can, could, and would / Reading: Pay It Forward Day

第12/13週 Before you travel Grammar: Have to and have got to for obligation / Reading: Trouble-free Travel

第14週 Viewing: Lost and found 第15週 後期のまとめ

評価

以下の割合で点数化し、60%以上を合格とします。また、合格点に満たなかった場合は再試験を実施します。

(1) 前期・後期試験：60% (2) 平常点：40% (小テスト20%、課題提出10%、授業への参加度10%)

課題のフィードバックの方法 - 代表的な解答や意見を取り上げて、講評します。

授業外学習

【事前予習】教科書の指定箇所を必ず予習して授業に臨んでください。(各授業に対して約30～60分)

【事後学修】授業で学習した単語や表現を再確認し覚えてください。(各授業に対して約30～60分)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】Susan Stempleski, Stretch 2, Oxford University Press

【参考図書】辞書類は、授業で紹介します。

科目名	英語		
担当教員名	シーラ クリフ		
ナンバリング	KKc124		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 英語		
学 年	1	ク ラ ス	CCクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*,選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格 / 高等学校教諭一種免許状 (情報) / 高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語) / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 栄養教諭二種免許状 / 小学校教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (国語) / 高等学校教諭一種免許状 (国語) / 中学校教諭一種免許状 (保健体育) / 高等学校教諭一種免許状 (保健体育)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

This course teaches students the basic four skills of English with components in listening, speaking, reading and writing. In addition videos enable students to learn from visual components and they will have a chance to do presentations.

科目の概要

Each lessons starts with target vocabulary taught through listening exercises. The students practice conversations. After this grammar and reading and writing exercises re-enforce the learning points.

学習目標 (= 到達目標)

Students will be enabled to use the English that they know through this practice.

内容

1. Introduction to each other, to the text, online materials.
- 2,3. Unit 1. Discussing hobbies, learning to give opinions and answering questions.
- 4,5. Unit 2. Discussing clothes and colours. Asking or opinions and making comparisons.
- 6,7. Unit 3. Talking about sports. Guessing meanings, identifying cause and effect.
8. Review of units 1,2,3. Listening.
- 9,10. Unit4. Transportation. Discussing how to interrupt.
- 11,12. Unit 5. Discussing personality. Showing surprise, looking for key words.
- 13,14. Unit 6. Cooking. Explaining the order of events and processes.
15. Review of units 4,5,6.
- 16,17. Unit 7. Talking about the weather. Asking questions.
- 18,19. Unit 8. Daily routines. Apologizing.
- 20,21. Unit 9. Talking about school subjects.
22. Review of units 7,8,9.
- 23,24. Unit 10. School life. Agreeing and explaining reasons.
- 25,26. Unit 11. Making requests.
- 27,28. Unit 12. Traveling. Asking questions.
29. Review of units 10,11,12.
30. Final review of the whole course.

評価

学期末テスト・小テスト65%、授業への参加度・態度・発言の質20%、課題15%とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】Students will be encourage to listen to English outside the classroom.

【事後学修】Online learning component is available for students to work on at home.

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】Stretch 2. S. Stempleski. Oxford.

科目名	英語		
担当教員名	大友 彩子		
ナンバリング	KKc124		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 英語		
学 年	1	ク ラ ス	CDクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格 / 高等学校教諭一種免許状(情報) / 高等学校教諭一種免許状(英語) / 中学校教諭一種免許状(英語) / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 栄養教諭二種免許状 / 小学校教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状(保健) / 中学校教諭一種免許状(保健) / 中学校教諭一種免許状(国語) / 高等学校教諭一種免許状(国語) / 中学校教諭一種免許状(保健体育) / 高等学校教諭一種免許状(保健体育)		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

学部学位授与方針1,2に該当する。

本科目は、共通科目の外国語科目のうちの選択必修科目で、英語によるコミュニケーションのための基礎的英語能力の育成を目指す。さらに英語を学びたい場合は英語IIを選択する。

科目の概要

「聞く・話す、読む・書く」の4技能の総合的育成を行い、「読む、聞く」力を「書く、話す」力に有機的に発展させることを目指し、卒業後、社会に出ても通用する英語力の育成を目標とする。

学修目標(= 到達目標)

前期ではおもに英語の「聞く、読む」ための効率的な修得を目指し、文法、語彙等の総復習と確認を行う。後期では前期で修得した内容や力を基に訓練を重ね、「話す、書く」能力の育成も目指す。

内容

適宜ペアワーク、グループワークも取り入れ、学生に発言をしてもらいながら授業を進める。

前期

- 1 週目 導入
- 2 ~ 3 週目 Unit1 Hobbies
- 4 ~ 5 週目 Unit2 Clothes and colors
- 6 ~ 7 週目 Unit3 An active life
- 8 ~ 9 週目 Unit4 Getting around
- 10 ~ 11 週目 Unit5 Personality
- 12 ~ 13 週目 Unit6 Cooking
- 14 ~ 15 週目 復習

後期

- 1 週目 導入(前期の総括)
- 2 ~ 3 週目 Unit7 Weather
- 4 ~ 5 週目 Unit8 Everyday activities
- 6 ~ 7 週目 Unit9 Math, history, and art
- 8 ~ 9 週目 Unit10 A busy semester
- 10 ~ 11 週目 Unit11 Favors and requests

1 2 ~ 1 3 週目 Unit12 Before you travel

1 4 ~ 1 5 週目 復習

評価

試験70%、毎回授業の冒頭で行う復習の小テスト・授業内での発言等の授業参加・課題を30%とし、総合評価60点以上を合格とする。

【フィードバック】毎回行う復習の小テストから間違いが多かった点を次回の授業で共有し、理解を深める。

授業外学習

【事前準備】宿題として指定した箇所（リスニング、読解、語彙、文法などの練習問題など）をやってもらうこと。毎日少しずつ行うことが望ましい。毎週30分～1時間程度。

【事後学修】授業で学習した箇所の復習・課題の暗唱。毎日20分程度。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】Stretch 2 著者 Susan Stempleski 出版社 Oxford

科目名	英語		
担当教員名	福田 仁		
ナンバリング	KKc124		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 英語		
学 年	1	ク ラ ス	ADクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格 / 高等学校教諭一種免許状 (情報) / 高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語) / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 栄養教諭二種免許状 / 小学校教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (国語) / 高等学校教諭一種免許状 (国語) / 中学校教諭一種免許状 (保健体育) / 高等学校教諭一種免許状 (保健体育)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

英語によるコミュニケーションのための基礎的英語能力 (聞く・読む・話す・書く) の育成を目指す通年科目である。

科目の概要

4技能の総合的な養成によって、社会に出ても通用する英語力の育成を目標としている。

学修目標 (= 到達目標)

「ヨーロッパ言語共通参照枠 (CEFR) 」のA2「ごく基本的な個人情報や家族情報、買い物、地元の地理、仕事など、直接的関係がある領域に関しては、文やよく使われる表現が理解できる。簡単で日常的な範囲なら、身近で日常の事柄について、単純で直接的な情報交換に応じることができる (プリティッシュカウンシル訳) 」レベルの完成を目標とする。

内容

各ユニットを2回の授業ですすめる。

1	導入 (前期) Unit 7 Weather 表現と文法 (後期)
2	Unit 1 Hobbies 表現と文法 Unit 7 最上級
3	Unit 1 不定詞の用法 Unit 8 Everyday Activities 表現と文法
4	Unit 2 Clothes and Colors 表現と文法 Unit 8 過去進行形
5	Unit 2 比較級 Unit 9 Math, History and Art 表現と文法
6	Unit 3 An Active Life 表現と文法 Unit 9 現在分詞、過去分詞
7	Unit 3 動詞+目的語 Unit 10 A busy Semester 表現と文法
8	Unit 4 Getting Around 表現と文法 Unit 10 現在完了形
9	Unit 4 間接話法 Unit 11 Favors and Requests 表現と文法
10	Unit 5 Personality 表現と文法 Unit 11 依頼のしかた
11	Unit 5 単純現在と現在進行形 Unit 12 Before You Travel
12	Unit 6 Cooking 表現と文法 Unit 12 have to, have got to
13	Unit 6 命令文 Units 7--12復習
14	Units 1--6 復習 Units 1--12復習
15	まとめ

評価

まとめの成果を60%、授業への積極的参加を20%、課題提出物評価点を20%とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】授業で新しいUnitに入る前にA (単語と文法) , B (コミュニケーション機能) , C (文法) すべて

を予習して臨むこと。Dについては授業で指示する。毎週1時間程度。

【事後学修】時間があれば、映画等で英語に触れ続けることをお勧めする。毎週30分程度。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】Susan Stempleski, Stretch 2, Oxford University Press

【推薦書】授業で適宜指示する。

科目名	英語		
担当教員名	設楽 優子		
ナンバリング	KKc124		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 英語		
学 年	1	ク ラ ス	ACクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	選必, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格 / 高等学校教諭一種免許状(情報) / 高等学校教諭一種免許状(英語) / 中学校教諭一種免許状(英語) / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 栄養教諭二種免許状 / 小学校教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状(保健) / 中学校教諭一種免許状(保健) / 中学校教諭一種免許状(国語) / 高等学校教諭一種免許状(国語) / 中学校教諭一種免許状(保健体育) / 高等学校教諭一種免許状(保健体育)		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

人間生活学部ディプロマポリシー1と、ポリシー内の共通科目外国語領域の能力・資質の主に1に該当する。

「聞く・読む・話す・書く・観る」活動を含めた総合的な訓練によって、社会に出ても通用する英語力の育成を目標としている。

学部共通外国語基礎科目カリキュラムポリシーにある通り、以下を学修目標とする。

1. 聴く、話す、読む、書くの4技能の基礎をすることで、外国語の基礎学力をつける
2. 外国や文化の異なる状況に対応出来る人材の育成
3. よりグローバル化する世界へ対応し、より広い視野で世界を見る力を養う

内容

毎週平均3ページ進む。ペアワークのスピーキング演習中はつぶさに机間巡視し、改善点をクラス全体に示す。各ユニットの作文課題も良いものをクラス全体に披露し、発信を活発にする。

【前期 15週間予定】

- 1, 2. Unit 1 Hobbies
- 3, 4. Unit 2 Clothes and colors
- 5, 6. Unit 3 An active life
7. Units 1--4 復習
- 8, 9. Unit 4 Getting around
- 10, 11. Unit 5 Personality
- 12, 13. Unit 6 Cooking
14. Units 4--6 復習
15. まとめ

【後期 15週間予定】

- 1, 2. Unit 7 Weather
- 3, 4. Unit 8 Everyday activities
- 5, 6. Unit 9 Math, history, and art
7. Units 7--9 復習
- 8, 9. Unit 10 A busy semester
- 10, 11. Unit 11 Favors and requests
- 12, 13. Unit 12 Before you travel
14. Units 10--12 復習

15. まとめ

評価

授業への参加度を20%、課題提出物評価点を20%、筆記試験60%とし、総合評価60点以上を合格とする。

【フィードバック】提出課題はコメントを付けて、次週以降の授業中に返却する。

授業外学習

【事前準備】www.oxfordlearn.com に教科書裏表紙内側にあるアクセスキーを入れて、問題を解くこと。毎週45分。

【事後学修】授業で出された作文課題をワードで書き、A4紙1枚にまとめること。添削されて返却された作文は、ワード文書に反映させて翌週再提出すること。週あたり平均60分。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】Stretch 2 (Susan Stempleski著、Oxford University Press)

科目名	英語		
担当教員名	宮本 正治		
ナンバリング	KKc124		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 英語		
学 年	1	ク ラ ス	DBクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	選必, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格 / 高等学校教諭一種免許状 (情報) / 高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語) / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 栄養教諭二種免許状 / 小学校教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (国語) / 高等学校教諭一種免許状 (国語) / 中学校教諭一種免許状 (保健体育) / 高等学校教諭一種免許状 (保健体育)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

通年科目として英語によるコミュニケーションのための基礎的英語能力の育成を目指す科目です。したがって、英語力の基礎を徹底的に演習し、運用の基礎をつくります。

学位授与方針 (外国語) 1 , 2 , 3 に該当する。

科目の概要

「聞く・話す、読む・書く」の4技能の総合的育成を行い、大学を経て社会に出ても通用する英語力の育成を目標とします。しかし、この4技能を別々に学習するのではなく、有機的に結びつけ、聞く・読むから、話す・書くへの発展へとつなげます。

学修目標 (= 到達目標)

そのため、前期ではおもに英語の「聞く、読む」ための認知能力の効率的な修得を目指します。そのため、重要な文法事項や語彙を効率的に学習できるようにします。後期では前期で修得した内容や力を基に、「話す、書く」の運用能力を育成します。

内容

毎週、授業冒頭に口頭試問を行い、前週の内容を確認します。そのうえでテキストを進めますが、各受講生同士の会話などを通じて、実際の運用につながる練習をします。積極的な参加が求められます。

1	導入 前期	導入 後期
2	Unit 1: Hobbies (1)(2).....	Unit 7: Weather (1)(2)
3	Unit 1: Hobbies (3)(4).....	Unit 7: Weather (3)(4)
4	Unit 2: Clothes and colors (1)(2).....	Unit 8: Everyday activities (1)(2)
5	Unit 2: Clothes and colors (3)(4).....	Unit 8: Everyday activities (3)(4)
6	Unit 3: An active life (1)(2).....	Unit 9: Math, history and art (1)(2)
7	Unit 3: An active life (3)(4).....	Unit 9: Math, history and art (3)(4)
8	Unit 4: Getting around (1)(2).....	Unit 10: A busy semester (1)(2)
9	Unit 4: Getting around (3)(4).....	Unit 10: A busy semester (3)(4)
10	Unit 5: Personality (1)(2).....	Unit 11: Favors and requests (1)(2)
11	Unit 5: Personality (1)(2).....	Unit 11: Favors and requests (3)(4)
12	Unit 6: Cooking (1)(2).....	Unit 12: Before you travel (1)(2)
13	Unit 6: Cooking (3)(4).....	Unit 12: Before you travel (3)(4)
14	復習 (1)	復習 (1)
15	復習 (2)	復習 (2)

評価

予習および授業の参加態度40%、発表30%、試験30%とし、総合評価60点以上を合格とする。

【フィードバック】毎週の口頭試問の際、改善点を指摘します。

授業外学習

【事前準備】授業内で指示する部分を予習してきてください。口頭試問の英文を暗唱できるようにしてきてください。（30分ほど）

【事後学修】授業内で指示する部分を復習してきてください。新たに学習した単語や表現を覚えてください。（30分ほど）

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】"Stretch 2", Oxford University Press

科目名	英語		
担当教員名	谷 洋子		
ナンバリング	KKc124		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 英語		
学 年	1	ク ラ ス	BCクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	選必, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格 / 高等学校教諭一種免許状 (情報) / 高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語) / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 栄養教諭二種免許状 / 小学校教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (国語) / 高等学校教諭一種免許状 (国語) / 中学校教諭一種免許状 (保健体育) / 高等学校教諭一種免許状 (保健体育)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

共通科目のディプロマポリシー 十文字学2、および外国語1. 2. 3に該当する。

本科目は英語によるコミュニケーションのための基礎的英語能力の習得を目指す科目である。とりわけ、「聞く、話す、読む、書く」の4技能の総合的演習を行い、大学を経て社会に出ても通用する英語力の習得を目標としている。

科目の概要

前期、後期を通して、英語力の「聞く」「読む」ための認知能力の効率的な習得を目指し、重要な文法事項や語彙を学習した上で、習得した内容を基に「話す」「書く」の運用能力の習得すべく練習を行う。

学修目標 (= 到達目標)

この授業を履修することにより、以下のことができるようになることを到達目標とします。

1. 英語によるコミュニケーションで使用する基礎的なフレーズや語彙を読み、または聞いて理解することができる。
2. 英語によるコミュニケーションで使用する基礎的なフレーズや語彙を書き、または話す中で使用することができる。

内容

テキスト1ユニットを通常2回で完了するよう進める。主に1回目を各ユニットのテーマ (表題) についての語彙、言語構造の確認と演習、2回目をそれらを使用するまとめの演習という形で進める。演習の際は、個人でタスクに取り組んだ後、ペア、グループ学習にて疑問点の解決を図る。各ユニットの1回目と二回目の間にリスニング課題、2回目の終わりにまとめのプリント課題を出し、それらの解答チェック、疑問点の質疑応答も授業内で行う。

前期

- 第1回 オリエンテーション・U1 Hobbies 趣味をテーマとした語彙を学び、聞き取る
- 第2回&3回 U1 Hobbies 趣味についての読み物を読む、自己の趣味について話す
- 第4回&5回 U2 Clothes and colors 服装についての語彙、表現を学び話す
- 第6回&7回 U3 Rain or shine
- 第8回&9回 U4 An active life
- 第10回&11回 U5 Personality
- 第12回&13回 U6 Cooking
- 第14回復習 (1)
- 第15回復習 (2)

後期

- 第16回 前期振り返り・U7 Weather
- 第17回&18回 U7 Weather
- 第19回&20回 U8 Everyday activities
- 第21回&22回 U9 Math, history, and art
- 第23回&24回 U10 A busy semester
- 第25回&26回 U11 Favors and requests

第27回&28回 U12 Before you travel

第29回復習(1)

第30回復習(2)

評価

テスト70点・課題20点、授業への取り組み10点で評価を行い、60点以上を合格とする。

課題のフィードバックは、授業中の解答チェックの中で質疑応答をとおして行う。シャドウイングの練習結果は学生間のペア・ワークでチェックを行い、全体チェックの中で気づいたことを教員からコメントする。

授業外学習

【事前予習】学習ユニットの未知語、文法を確認しておくこと。(30分)

【事後学習】 授業で行ったユニットのダイアログ音読・シャドウイングを行う。(シャドウイングの方法については授業内で指導する。)(30分) 授業で指示されたリスニングタスクを行う。(隔週30分) まとめのプリントを行う(隔週30分)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】S.Stempleski, Stretch Level 2 Student's Book with Online Practice, Oxford University Press

科目名	英語		
担当教員名	谷 洋子		
ナンバリング	KKc124		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 英語		
学 年	1	ク ラ ス	FDクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	選必, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格 / 高等学校教諭一種免許状 (情報) / 高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語) / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 栄養教諭二種免許状 / 小学校教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (国語) / 高等学校教諭一種免許状 (国語) / 中学校教諭一種免許状 (保健体育) / 高等学校教諭一種免許状 (保健体育)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

共通科目のディプロマポリシー 十文字学2、および外国語1.2.3に該当する。

本科目は英語によるコミュニケーションのための基礎的英語能力の習得を目指す科目である。とりわけ、「聞く、話す、読む、書く」の4技能の総合的演習を行い、大学を経て社会に出ても通用する英語力の習得を目標としている。

科目の概要

前期、後期を通して、英語力の「聞く」「読む」ための認知能力の効率的な習得を目指し、重要な文法事項や語彙を学習した上で、習得した内容を基に「話す」「書く」の運用能力の習得すべく練習を行う。

学修目標 (= 到達目標)

この授業を履修することにより、以下のことができるようになることを到達目標とします。

1. 英語によるコミュニケーションで使用する基礎的なフレーズや語彙を読み、または聞いて理解することができる。
2. 英語によるコミュニケーションで使用する基礎的なフレーズや語彙を書き、または話す中で使用することができる。

内容

テキスト1ユニットを通常2回で完了するよう進める。主に1回目を各ユニットのテーマ (表題) についての語彙、言語構造の確認と演習、2回目をそれらを使用するまとめの演習という形で進める。演習の際は、個人でタスクに取り組んだ後、ペア、グループ学習にて疑問点の解決を図る。各ユニットの1回目と二回目の間にリスニング課題、2回目の終わりにまとめのプリント課題を出し、それらの解答チェック、疑問点の質疑応答も授業内で行う。

前期

- 第1回 オリエンテーション・U1 Hobbies 趣味をテーマとした語彙を学び、聞き取る
- 第2回&3回 U1 Hobbies 趣味についての読み物を読む、自己の趣味について話す
- 第4回&5回 U2 Clothes and colors 服装についての語彙、表現を学び話す
- 第6回&7回 U3 Rain or shine
- 第8回&9回 U4 An active life
- 第10回&11回 U5 Personality
- 第12回&13回 U6 Cooking
- 第14回復習 (1)
- 第15回復習 (2)

後期

- 第16回 前期振り返り・U7 Weather
- 第17回&18回 U7 Weather
- 第19回&20回 U8 Everyday activities
- 第21回&22回 U9 Math, history, and art
- 第23回&24回 U10 A busy semester
- 第25回&26回 U11 Favors and requests

第27回&28回 U12 Before you travel

第29回復習(1)

第30回復習(2)

評価

テスト70点・課題20点、授業への取り組み10点で評価を行い、60点以上を合格とする。

課題のフィードバックは、授業中の解答チェックの中で質疑応答をとおして行う。シャドウイングの練習結果は学生間のペア・ワークでチェックを行い、全体チェックの中で気づいたことを教員からコメントする。

授業外学習

【事前予習】学習ユニットの未知語、文法を確認しておくこと。(30分)

【事後学習】 授業で行ったユニットのダイアログ音読・シャドウイングを行う。(シャドウイングの方法については授業内で指導する。)(30分) 授業で指示されたリスニングタスクを行う。(隔週30分) まとめのプリントを行う(隔週30分)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】S.Stempleski, Stretch Level 2 Student's Book with Online Practice, Oxford University Press

科目名	英語		
担当教員名	教員未設定		
ナンバリング	KKc124		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 英語		
学 年	1	ク ラ ス	FEクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	選必, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格 / 高等学校教諭一種免許状 (情報) / 高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語) / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 栄養教諭二種免許状 / 小学校教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (国語) / 高等学校教諭一種免許状 (国語) / 中学校教諭一種免許状 (保健体育) / 高等学校教諭一種免許状 (保健体育)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

英語によるコミュニケーションのための基礎的英語能力 (聞く・読む・話す・書く) の育成を目指す通年科目である。

科目の概要

4技能の総合的な養成によって、社会に出ても通用する英語力の育成を目標としている。

学修目標 (= 到達目標)

「ヨーロッパ言語共通参照枠 (CEFR) 」のA2「ごく基本的な個人情報や家族情報、買い物、地元の地理、仕事など、直接的関係がある領域に関しては、文やよく使われる表現が理解できる。簡単で日常的な範囲なら、身近で日常の事柄について、単純で直接的な情報交換に応じることができる (プリティッシュカウンシル訳) 」レベルの完成を目標とする。

内容

各ユニットを2回の授業ですすめる。

1	導入 (前期) Unit 7 Weather 表現と文法 (後期)
2	Unit 1 Hobbies 表現と文法 Unit 7 最上級
3	Unit 1 不定詞の用法 Unit 8 Everyday Activities 表現と文法
4	Unit 2 Clothes and Colors 表現と文法 Unit 8 過去進行形
5	Unit 2 比較級 Unit 9 Math, History and Art 表現と文法
6	Unit 3 An Active Life 表現と文法 Unit 9 現在分詞、過去分詞
7	Unit 3 動詞+目的語 Unit 10 A busy Semester 表現と文法
8	Unit 4 Getting Around 表現と文法 Unit 10 現在完了形
9	Unit 4 間接話法 Unit 11 Favors and Requests 表現と文法
10	Unit 5 Personality 表現と文法 Unit 11 依頼のしかた
11	Unit 5 単純現在と現在進行形 Unit 12 Before You Travel
12	Unit 6 Cooking 表現と文法 Unit 12 have to, have got to
13	Unit 6 命令文 Units 7--12復習
14	Units 1--6 復習 Units 1--12復習
15	まとめ

評価

まとめの成果を60%、授業への積極的参加を20%、課題提出物評価点を20%とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】授業で新しいUnitに入る前にA (単語と文法) , B (コミュニケーション機能) , C (文法

)すべてを予習して臨むこと。Dについては授業で指示する。毎週1時間程度。

【事後学修】時間があれば、映画等で英語に触れ続けることをお勧めする。毎週30分程度。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】Susan Stempleski, Stretch 2, Oxford University Press

【推薦書】授業で適宜指示する。

科目名	英語		
担当教員名	設楽 優子		
ナンバリング	KKc124		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 英語		
学 年	1	ク ラ ス	DAクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	選必, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格 / 高等学校教諭一種免許状(情報) / 高等学校教諭一種免許状(英語) / 中学校教諭一種免許状(英語) / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 栄養教諭二種免許状 / 小学校教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状(保健) / 中学校教諭一種免許状(保健) / 中学校教諭一種免許状(国語) / 高等学校教諭一種免許状(国語) / 中学校教諭一種免許状(保健体育) / 高等学校教諭一種免許状(保健体育)		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

人間生活学部ディプロマポリシー1と、ポリシー内の共通科目外国語領域の能力・資質の主に1に該当する。

科目の概要

「聞く・読む・話す・書く・観る」活動を含めた総合的な訓練によって、社会に出ても通用する英語力の育成を目標としている。

学修目標 (= 到達目標)

学部共通外国語基礎科目カリキュラムポリシーにある通り、以下を学修目標とする。

1. 聴く、話す、読む、書くの4技能の基礎を作ること、外国語の基礎学力をつける
2. 外国や文化の異なる状況に対応出来る人材の育成
3. よりグローバル化する世界へ対応し、より広い視野で世界を見る力を養う

内容

毎週平均3ページ進む。ペアワークのスピーキング演習中はつぶさに机間巡視し、改善点をクラス全体に示す。各ユニットの作文課題も良いものをクラス全体に披露し、発信を活発にする。

【前期 15週間予定】

- 1, 2. Unit 1 Hobbies
- 3, 4. Unit 2 Clothes and colors
- 5, 6. Unit 3 An active life
7. Units 1--4 復習
- 8, 9. Unit 4 Getting around
- 10, 11. Unit 5 Personality
- 12, 13. Unit 6 Cooking
14. Units 4--6 復習
15. まとめ

【後期 15週間予定】

- 1, 2. Unit 7 Weather
- 3, 4. Unit 8 Everyday activities
- 5, 6. Unit 9 Math, history, and art
7. Units 7--9 復習
- 8, 9. Unit 10 A busy semester

- 10, 11. Unit 11 Favors and requests
- 12, 13. Unit 12 Before you travel
14. Units 10--12 復習
15. まとめ

評価

授業への参加度を20%、課題提出物評価点を20%、筆記試験60%とし、総合評価60点以上を合格とする。

【フィードバック】提出課題はコメントを付けて、次週以降の授業中に返却する。

授業外学習

【事前準備】www.oxfordlearn.com に教科書裏表紙内側に書いてあるアクセスキーを入れて、問題を解くこと。毎週45分。

【事後学修】授業で出された作文課題をワードで書き、A4紙1枚にまとめること。添削されて返却された作文は、ワード文書に反映させて翌週再提出すること。週あたり平均60分。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】Stretch 2 (Susan Stempleski著、Oxford University Press)

科目名	英語		
担当教員名	福田 仁		
ナンバリング	KKc124		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 英語		
学 年	1	ク ラ ス	CAクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	選必, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格 / 高等学校教諭一種免許状 (情報) / 高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語) / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 栄養教諭二種免許状 / 小学校教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (国語) / 高等学校教諭一種免許状 (国語) / 中学校教諭一種免許状 (保健体育) / 高等学校教諭一種免許状 (保健体育)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

英語によるコミュニケーションのための基礎的英語能力 (聞く・読む・話す・書く) の育成を目指す通年科目である。

科目の概要

4技能の総合的な養成によって、社会に出ても通用する英語力の育成を目標としている。

学修目標 (= 到達目標)

「ヨーロッパ言語共通参照枠 (CEFR) 」のA2「ごく基本的な個人情報や家族情報、買い物、地元の地理、仕事など、直接的関係がある領域に関しては、文やよく使われる表現が理解できる。簡単で日常的な範囲なら、身近で日常の事柄について、単純で直接的な情報交換に応じることができる (プリティッシュカウンシル訳) 」レベルの完成を目標とする。

内容

各ユニットを2回の授業ですすめる。

1	導入 (前期) Unit 7 Weather 表現と文法 (後期)
2	Unit 1 Hobbies 表現と文法 Unit 7 最上級
3	Unit 1 不定詞の用法 Unit 8 Everyday Activities 表現と文法
4	Unit 2 Clothes and Colors 表現と文法 Unit 8 過去進行形
5	Unit 2 比較級 Unit 9 Math, History and Art 表現と文法
6	Unit 3 An Active Life 表現と文法 Unit 9 現在分詞、過去分詞
7	Unit 3 動詞+目的語 Unit 10 A busy Semester 表現と文法
8	Unit 4 Getting Around 表現と文法 Unit 10 現在完了形
9	Unit 4 間接話法 Unit 11 Favors and Requests 表現と文法
10	Unit 5 Personality 表現と文法 Unit 11 依頼のしかた
11	Unit 5 単純現在と現在進行形 Unit 12 Before You Travel
12	Unit 6 Cooking 表現と文法 Unit 12 have to, have got to
13	Unit 6 命令文 Units 7--12復習
14	Units 1--6 復習 Units 1--12復習
15	まとめ

評価

まとめの成果を60%、授業への積極的参加を20%、課題提出物評価点を20%とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】授業で新しいUnitに入る前にA (単語と文法) , B (コミュニケーション機能) , C (文法

)すべてを予習して臨むこと。Dについては授業で指示する。毎週1時間程度。

【事後学修】時間があれば、映画等で英語に触れ続けることをお勧めする。毎週30分程度。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】Susan Stempleski, Stretch 2, Oxford University Press

【推薦書】授業で適宜指示する。

科目名	英語		
担当教員名	宮本 正治		
ナンバリング	KKc124		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 英語		
学 年	1	ク ラ ス	ABクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	選必, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格 / 高等学校教諭一種免許状 (情報) / 高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語) / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 栄養教諭二種免許状 / 小学校教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (国語) / 高等学校教諭一種免許状 (国語) / 中学校教諭一種免許状 (保健体育) / 高等学校教諭一種免許状 (保健体育)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

通年科目として英語によるコミュニケーションのための基礎的英語能力の育成を目指す科目です。したがって、英語力の基礎を徹底的に演習し、運用の基礎をつくります。学位授与方針 (外国語) 1 , 2 , 3 に該当する。

科目の概要

「聞く・話す、読む・書く」の4技能の総合的育成を行い、大学を経て社会に出ても通用する英語力の育成を目標とします。しかし、この4技能を別々に学習するのではなく、有機的に結びつけ、聞く・読むから、話す・書くへの発展へとつなげます。

学修目標 (= 到達目標)

そのため、前期ではおもに英語の「聞く、読む」ための認知能力の効率的な修得を目指します。そのため、重要な文法事項や語彙を効率的に学習できるようにします。後期では前期で修得した内容や力を基に、「話す、書く」の運用能力を育成します。

内容

毎週、授業冒頭に口頭試問を行い、前週の内容を確認します。そのうえでテキストを進めますが、各受講生同士の会話などを通じて、実際の運用につながる練習をします。積極的な参加が求められます。

1	導入 前期 導入 後期
2	Unit 1: Hobbies (1)(2).....Unit 7: Weather (1)(2)
3	Unit 1: Hobbies (3)(4).....Unit 7: Weather (3)(4)
4	Unit 2: Clothes and colors (1)(2)..... Unit 8: Everyday activities (1)(2)
5	Unit 2: Clothes and colors (3)(4)..... Unit 8: Everyday activities (3)(4)
6	Unit 3: An active life (1)(2)..... Unit 9: Math, history and art (1)(2)
7	Unit 3: An active life (3)(4)..... Unit 9: Math, history and art (3)(4)
8	Unit 4: Getting around (1)(2)..... Unit 10:A busy semester (1)(2)
9	Unit 4: Getting around (3)(4)..... Unit 10: A busy semester (3)(4)
10	Unit 5: Personality (1)(2).....Unit 11: Favors and requests (1)(2)
11	Unit 5: Personality (1)(2).....Unit 11: Favors and requests (3)(4)
12	Unit 6: Cooking (1)(2).....Unit 12: Before you travel (1)(2)
13	Unit 6: Cooking (3)(4).....Unit 12: Before you travel (3)(4)
14	復習 (1) 復習 (1)
15	復習 (2) 復習 (2)

評価

予習および授業の参加態度40%、発表30%、試験30%とし、総合評価60点以上を合格とする。

【フィードバック】毎週の口頭試問の際、改善点を指摘します。

授業外学習

【事前準備】授業内で指示する部分を予習してきてください。口頭試問の英文を暗唱できるようにしてきてください。（30分ほど）

【事後学修】授業内で指示する部分を復習してきてください。新たに学習した単語や表現を覚えてください。（30分ほど）

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】"Stretch 2", Oxford University Press

科目名	英語		
担当教員名	設楽 優子		
ナンバリング	KKc124		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 英語		
学 年	1	ク ラ ス	GCクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	選必, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格 / 高等学校教諭一種免許状(情報) / 高等学校教諭一種免許状(英語) / 中学校教諭一種免許状(英語) / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 栄養教諭二種免許状 / 小学校教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状(保健) / 中学校教諭一種免許状(保健) / 中学校教諭一種免許状(国語) / 高等学校教諭一種免許状(国語) / 中学校教諭一種免許状(保健体育) / 高等学校教諭一種免許状(保健体育)		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

人間生活学部ディプロマポリシー1と、ポリシー内の共通科目外国語領域の能力・資質の主に1に該当する。

科目の概要

「聞く・読む・話す・書く・観る」活動を含めた総合的な訓練によって、社会に出ても通用する英語力の育成を目標としている。

学修目標 (= 到達目標)

学部共通外国語基礎科目カリキュラムポリシーにある通り、以下を学修目標とする。

1. 聴く、話す、読む、書くの4技能の基礎を作ること、外国語の基礎学力をつける
2. 外国や文化の異なる状況に対応出来る人材の育成
3. よりグローバル化する世界へ対応し、より広い視野で世界を見る力を養う

内容

毎週平均3ページ進む。ペアワークのスピーキング演習中はつぶさに机間巡視し、改善点をクラス全体に示す。各ユニットの作文課題も良いものをクラス全体に披露し、発信を活発にする。

【前期 15週間予定】

- 1, 2. Unit 1 Hobbies
- 3, 4. Unit 2 Clothes and colors
- 5, 6. Unit 3 An active life
7. Units 1--4 復習
- 8, 9. Unit 4 Getting around
- 10, 11. Unit 5 Personality
- 12, 13. Unit 6 Cooking
14. Units 4--6 復習
15. まとめ

【後期 15週間予定】

- 1, 2. Unit 7 Weather
- 3, 4. Unit 8 Everyday activities
- 5, 6. Unit 9 Math, history, and art
7. Units 7--9 復習
- 8, 9. Unit 10 A busy semester

- 10, 11. Unit 11 Favors and requests
- 12, 13. Unit 12 Before you travel
14. Units 10--12 復習
15. まとめ

評価

授業への参加度を20%、課題提出物評価点を20%、筆記試験60%とし、総合評価60点以上を合格とする。

【フィードバック】提出課題はコメントを付けて、次週以降の授業中に返却する。

授業外学習

【事前準備】www.oxfordlearn.com に教科書裏表紙内側にあるアクセスキーを入れて、問題を解くこと。毎週45分。

【事後学修】授業で出された作文課題をワードで書き、A4紙1枚にまとめること。添削されて返却された作文は、ワード文書に反映させて翌週再提出すること。週あたり平均60分。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】Stretch 2 (Susan Stempleski著、Oxford University Press)

科目名	英語		
担当教員名	シーラ クリフ		
ナンバリング	KKc124		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 英語		
学 年	1	ク ラ ス	AEクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格 / 高等学校教諭一種免許状 (情報) / 高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語) / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 栄養教諭二種免許状 / 小学校教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (国語) / 高等学校教諭一種免許状 (国語) / 中学校教諭一種免許状 (保健体育) / 高等学校教諭一種免許状 (保健体育)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

This course teaches students the basic four skills of English with components in listening, speaking, reading and writing. In addition videos enable students to learn from visual components and they will have a chance to do presentations.

科目の概要

Each lessons starts with target vocabulary taught through listening exercises. The students practice conversations. After this grammar and reading and writing exercises re-enforce the learning points.

学習目標 (= 到達目標)

Students will be enabled to use the English that they know through this practice.

内容

1. Introduction to each other, to the text, online materials.
- 2,3. Unit 1. Discussing hobbies, learning to give opinions and answering questions.
- 4,5. Unit 2. Discussing clothes and colours. Asking or opinions and making comparisons.
- 6,7. Unit 3. Talking about sports. Guessing meanings, identifying cause and effect.
8. Review of units 1,2,3. Listening.
- 9,10. Unit4. Transportation. Discussing how to interrupt.
- 11,12. Unit 5. Discussing personality. Showing surprise, looking for key words.
- 13,14. Unit 6. Cooking. Explaining the order of events and processes.
15. Review of units 4,5,6.
- 16,17. Unit 7. Talking about the weather. Asking questions.
- 18,19. Unit 8. Daily routines. Apologizing.
- 20,21. Unit 9. Talking about school subjects.
22. Review of units 7,8,9.
- 23,24. Unit 10. School life. Agreeing and explaining reasons.
- 25,26. Unit 11. Making requests.
- 27,28. Unit 12. Traveling. Asking questions.
29. Review of units 10,11,12.
30. Final review of the whole course.

評価

学期末テスト・小テスト65%、授業への参加度・態度・発言の質20%、課題15%とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】Students will be encourage to listen to English outside the classroom.

【事後学修】Online learning component is available for students to work on at home.

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】Stretch 2. S. Stempleski. Oxford.

科目名	英語		
担当教員名	設楽 優子		
ナンバリング	KKc124		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 英語		
学 年	1	ク ラ ス	EBクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格 / 高等学校教諭一種免許状(情報) / 高等学校教諭一種免許状(英語) / 中学校教諭一種免許状(英語) / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 栄養教諭二種免許状 / 小学校教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状(保健) / 中学校教諭一種免許状(保健) / 中学校教諭一種免許状(国語) / 高等学校教諭一種免許状(国語) / 中学校教諭一種免許状(保健体育) / 高等学校教諭一種免許状(保健体育)		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

人間生活学部ディプロマポリシー1と、ポリシー内の共通科目外国語領域の能力・資質の主に1に該当する。

科目の概要

「聞く・読む・話す・書く・観る」活動を含めた総合的な訓練によって、社会に出ても通用する英語力の育成を目標としている。

学修目標 (= 到達目標)

学部共通外国語基礎科目カリキュラムポリシーにある通り、以下を学修目標とする。

1. 聴く、話す、読む、書くの4技能の基礎を作ること、外国語の基礎学力をつける
2. 外国や文化の異なる状況に対応出来る人材の育成
3. よりグローバル化する世界へ対応し、より広い視野で世界を見る力を養う

内容

毎週平均3ページ進む。ペアワークのスピーキング演習中はつぶさに机間巡視し、改善点をクラス全体に示す。各ユニットの作文課題も良いものをクラス全体に披露し、発信を活発にする。

【前期 15週間予定】

- 1, 2. Unit 1 Hobbies
- 3, 4. Unit 2 Clothes and colors
- 5, 6. Unit 3 An active life
7. Units 1--4 復習
- 8, 9. Unit 4 Getting around
- 10, 11. Unit 5 Personality
- 12, 13. Unit 6 Cooking
14. Units 4--6 復習
15. まとめ

【後期 15週間予定】

- 1, 2. Unit 7 Weather
- 3, 4. Unit 8 Everyday activities
- 5, 6. Unit 9 Math, history, and art
7. Units 7--9 復習
- 8, 9. Unit 10 A busy semester

- 10, 11. Unit 11 Favors and requests
- 12, 13. Unit 12 Before you travel
14. Units 10--12 復習
15. まとめ

評価

授業への参加度を20%、課題提出物評価点を20%、筆記試験60%とし、総合評価60点以上を合格とする。

【フィードバック】提出課題はコメントを付けて、次週以降の授業中に返却する。

授業外学習

【事前準備】www.oxfordlearn.com に教科書裏表紙内側に書いてあるアクセスキーを入れて、問題を解くこと。毎週45分。

【事後学修】授業で出された作文課題をワードで書き、A4紙1枚にまとめること。添削されて返却された作文は、ワード文書に反映させて翌週再提出すること。週あたり平均60分。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】Stretch 2 (Susan Stempleski著、Oxford University Press)

科目名	英語		
担当教員名	谷 洋子		
ナンバリング	KKc124		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 英語		
学 年	1	ク ラ ス	ECクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格 / 高等学校教諭一種免許状 (情報) / 高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語) / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 栄養教諭二種免許状 / 小学校教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (国語) / 高等学校教諭一種免許状 (国語) / 中学校教諭一種免許状 (保健体育) / 高等学校教諭一種免許状 (保健体育)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

共通科目のディプロマポリシー 十文字学2、および外国語1.2.3に該当する。

本科目は英語によるコミュニケーションのための基礎的英語能力の習得を目指す科目である。とりわけ、「聞く、話す、読む、書く」の4技能の総合的演習を行い、大学を経て社会に出ても通用する英語力の習得を目標としている。

科目の概要

前期、後期を通して、英語力の「聞く」「読む」ための認知能力の効率的な習得を目指し、重要な文法事項や語彙を学習した上で、習得した内容を基に「話す」「書く」の運用能力の習得すべく練習を行う。

学修目標 (= 到達目標)

この授業を履修することにより、以下のことができるようになることを到達目標とします。

1. 英語によるコミュニケーションで使用する基礎的なフレーズや語彙を読み、または聞いて理解することができる。
2. 英語によるコミュニケーションで使用する基礎的なフレーズや語彙を書き、または話す中で使用することができる。

内容

テキスト1ユニットを通常2回で完了するよう進める。主に1回目を各ユニットのテーマ (表題) についての語彙、言語構造の確認と演習、2回目をそれらを使用するまとめの演習という形で進める。演習の際は、個人でタスクに取り組んだ後、ペア、グループ学習にて疑問点の解決を図る。各ユニットの1回目と二回目の間にリスニング課題、2回目の終わりにまとめのプリント課題を出し、それらの解答チェック、疑問点の質疑応答も授業内で行う。

前期

- 第1回 オリエンテーション・U1 Hobbies 趣味をテーマとした語彙を学び、聞き取る
- 第2回&3回 U1 Hobbies 趣味についての読み物を読む、自己の趣味について話す
- 第4回&5回 U2 Clothes and colors 服装についての語彙、表現を学び話す
- 第6回&7回 U3 Rain or shine
- 第8回&9回 U4 An active life
- 第10回&11回 U5 Personality
- 第12回&13回 U6 Cooking
- 第14回復習 (1)
- 第15回復習 (2)

後期

- 第16回 前期振り返り・U7 Weather
- 第17回&18回 U7 Weather
- 第19回&20回 U8 Everyday activities
- 第21回&22回 U9 Math, history, and art
- 第23回&24回 U10 A busy semester
- 第25回&26回 U11 Favors and requests

第27回&28回 U12 Before you travel

第29回復習(1)

第30回復習(2)

評価

テスト70点・課題20点、授業への取り組み10点で評価を行い、60点以上を合格とする。

課題のフィードバックは、授業中の解答チェックの中で質疑応答をとおして行う。シャドウイングの練習結果は学生間のペア・ワークでチェックを行い、全体チェックの中で気づいたことを教員からコメントする。

授業外学習

【事前予習】学習ユニットの未知語、文法を確認しておくこと。(30分)

【事後学習】 授業で行ったユニットのダイアログ音読・シャドウイングを行う。(シャドウイングの方法については授業内で指導する。)(30分) 授業で指示されたリスニングタスクを行う。(隔週30分) まとめのプリントを行う(隔週30分)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】S.Stempleski, Stretch Level 2 Student's Book with Online Practice, Oxford University Press

科目名	英語		
担当教員名	向後 朋美		
ナンバリング	KKc124		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 英語		
学 年	1	ク ラ ス	AAクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	選必, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格 / 高等学校教諭一種免許状 (情報) / 高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語) / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 栄養教諭二種免許状 / 小学校教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (国語) / 高等学校教諭一種免許状 (国語) / 中学校教諭一種免許状 (保健体育) / 高等学校教諭一種免許状 (保健体育)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

学部学位授与方針1,2に該当する。

本科目は、共通科目の外国語科目のうちの選択必修科目で、英語によるコミュニケーションのための基礎的英語能力の育成を目指す。さらに英語を学びたい場合は英語IIを選択する。

科目の概要

「聞く・話す、読む・書く」の4技能の総合的育成を行い、「読む、聞く」力を「書く、話す」力に有機的に発展させることを目指し、卒業後、社会に出ても通用する英語力の育成を目標とする。

学修目標 (= 到達目標)

前期ではおもに英語の「聞く、読む」ための効率的な修得を目指し、文法、語彙等の総復習と確認を行う。後期では前期で修得した内容や力を基に訓練を重ね、「話す、書く」能力の育成も目指す。

内容

適宜ペアワーク、グループワークも取り入れ、学生に発言をしてもらいながら授業を進める。

前期

1 週目 導入

2 ~ 3 週目 Unit1 Hobbies

4 ~ 5 週目 Unit2 Clothes and colors

6 ~ 7 週目 Unit3 An active life

8 ~ 9 週目 Unit4 Getting around

1 0 ~ 1 1 週目 Unit5 Personality

1 2 ~ 1 3 週目 Unit6 Cooking

1 4 ~ 1 5 週目 復習

後期

1 週目 導入 (前期の総括)

2 ~ 3 週目 Unit7 Weather

4 ~ 5 週目 Unit8 Everyday activities

6 ~ 7 週目 Unit9 Math, history, and art

8 ~ 9 週目 Unit10 A busy semester

1 0 ~ 1 1 週目 Unit11 Favors and requests

1 2 ~ 1 3 週目 Unit12 Before you travel

14～15週目 復習

評価

試験70%、毎回授業の冒頭で行う復習の小テスト・授業内での発言等の授業参加・課題を30%とし、総合評価60点以上を合格とする。

【フィードバック】毎回行う復習の小テストから間違いが多かった点を次回の授業で共有し、理解を深める。

授業外学習

【事前準備】宿題として指定した箇所（リスニング、読解、語彙、文法などの練習問題など）をやってくることを。毎日少しずつ行うことが望ましい。毎週30分～1時間程度。

【事後学修】授業で学習した箇所の復習・課題の暗唱。毎日20分程度。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】Stretch 2 著者 Susan Stempleski 出版社 Oxford

科目名	英語		
担当教員名	向後 朋美		
ナンバリング	KKc124		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 英語		
学 年	1	ク ラ ス	CBクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	選必, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格 / 高等学校教諭一種免許状(情報) / 高等学校教諭一種免許状(英語) / 中学校教諭一種免許状(英語) / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 栄養教諭二種免許状 / 小学校教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状(保健) / 中学校教諭一種免許状(保健) / 中学校教諭一種免許状(国語) / 高等学校教諭一種免許状(国語) / 中学校教諭一種免許状(保健体育) / 高等学校教諭一種免許状(保健体育)		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

学部学位授与方針1,2に該当する。

本科目は、共通科目の外国語科目のうちの選択必修科目で、英語によるコミュニケーションのための基礎的英語能力の育成を目指す。さらに英語を学びたい場合は英語IIを選択する。

科目の概要

「聞く・話す、読む・書く」の4技能の総合的育成を行い、「読む、聞く」力を「書く、話す」力に有機的に発展させることを目指し、卒業後、社会に出ても通用する英語力の育成を目標とする。

学修目標(= 到達目標)

前期ではおもに英語の「聞く、読む」ための効率的な修得を目指し、文法、語彙等の総復習と確認を行う。後期では前期で修得した内容や力を基に訓練を重ね、「話す、書く」能力の育成も目指す。

内容

適宜ペアワーク、グループワークも取り入れ、学生に発言をしてもらいながら授業を進める。

前期

- 1 週目 導入
- 2 ~ 3 週目 Unit1 Hobbies
- 4 ~ 5 週目 Unit2 Clothes and colors
- 6 ~ 7 週目 Unit3 An active life
- 8 ~ 9 週目 Unit4 Getting around
- 10 ~ 11 週目 Unit5 Personality
- 12 ~ 13 週目 Unit6 Cooking
- 14 ~ 15 週目 復習

後期

- 1 週目 導入(前期の総括)
- 2 ~ 3 週目 Unit7 Weather
- 4 ~ 5 週目 Unit8 Everyday activities
- 6 ~ 7 週目 Unit9 Math, history, and art
- 8 ~ 9 週目 Unit10 A busy semester
- 10 ~ 11 週目 Unit11 Favors and requests

1 2 ~ 1 3 週目 Unit12 Before you travel

1 4 ~ 1 5 週目 復習

評価

試験70%、毎回授業の冒頭で行う復習の小テスト・授業内での発言等の授業参加・課題を30%とし、総合評価60点以上を合格とする。

【フィードバック】毎回行う復習の小テストから間違いが多かった点を次回の授業で共有し、理解を深める。

授業外学習

【事前準備】宿題として指定した箇所（リスニング、読解、語彙、文法などの練習問題など）をやってもらうこと。毎日少しずつ行うことが望ましい。毎週30分～1時間程度。

【事後学修】授業で学習した箇所の復習・課題の暗唱。毎日20分程度。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】Stretch 2 著者 Susan Stempleski 出版社 Oxford

科目名	英語		
担当教員名	シーラ クリフ		
ナンバリング	KKc124		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 英語		
学 年	1	ク ラ ス	FCクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	選必, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格 / 高等学校教諭一種免許状 (情報) / 高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語) / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 栄養教諭二種免許状 / 小学校教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (国語) / 高等学校教諭一種免許状 (国語) / 中学校教諭一種免許状 (保健体育) / 高等学校教諭一種免許状 (保健体育)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

This course teaches students the basic four skills of English with components in listening, speaking, reading and writing. In addition videos enable students to learn from visual components and they will have a chance to do presentations.

Each lessons starts with target vocabulary learnt through listening exercises. The students practice conversations. After this grammar and reading and writing exercises re-enforce the learning points.

Students will be enabled to use the English that they know through this practice.

内容

1. Introduction to each other, to the text, online materials.
- 2,3. Unit 1. Discussing hobbies, learning to give opinions and answering questions.
- 4,5. Unit 2. Discussing clothes and colours. Asking for opinions and making comparisons.
- 6,7. Unit 3. Talking about sports. Guessing meanings, identifying cause and effect.
8. Review of units 1,2,3. Listening.
- 9,10. Unit 4. Transportation. Discussing how to interrupt.
- 11,12. Unit 5. Discussing personality. Showing surprise, looking for key words.
- 13,14. Unit 6. Cooking. Explaining the order of events and processes.
15. Review of units 4,5,6.
- 16,17. Unit 7. Talking about the weather. Asking questions.
- 18,19. Unit 8. Daily routines. Apologizing.
- 20,21. Unit 9. Talking about school subjects.
22. Review of units 7,8,9.
- 23,24. Unit 10. School life. Agreeing and explaining reasons.
- 25,26. Unit 11. Making requests.
- 27,28. Unit 12. Traveling. Asking questions.
29. Review of units 10,11,12.
30. Final review of the whole course.

評価

学期末テスト・小テスト 65%、授業への参加度・態度・発言の質 20%、課題 15%とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】 Students will be encourage to listen to English outside the classroom.

【事後学修】 Online learning component is available for students to work on at home.

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】 Stretch 2. S. Stempleski. Oxford.

科目名	英語		
担当教員名	宮本 正治		
ナンバリング	KKc124		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 英語		
学 年	1	ク ラ ス	AFクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	選必, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格 / 高等学校教諭一種免許状 (情報) / 高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語) / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 栄養教諭二種免許状 / 小学校教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (国語) / 高等学校教諭一種免許状 (国語) / 中学校教諭一種免許状 (保健体育) / 高等学校教諭一種免許状 (保健体育)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

通年科目として英語によるコミュニケーションのための基礎的英語能力の育成を目指す科目です。したがって、英語力の基礎を徹底的に演習し、運用の基礎をつくります。学位授与方針 (外国語) 1 , 2 , 3 に該当する。

科目の概要

「聞く・話す、読む・書く」の4技能の総合的育成を行い、大学を経て社会に出ても通用する英語力の育成を目標とします。しかし、この4技能を別々に学習するのではなく、有機的に結びつけ、聞く・読むから、話す・書くへの発展へとつなげます。

学修目標 (= 到達目標)

そのため、前期ではおもに英語の「聞く、読む」ための認知能力の効率的な修得を目指します。そのため、重要な文法事項や語彙を効率的に学習できるようにします。後期では前期で修得した内容や力を基に、「話す、書く」の運用能力を育成します。

内容

毎週、授業冒頭に口頭試問を行い、前週の内容を確認します。そのうえでテキストを進めますが、各受講生同士の会話などを通じて、実際の運用につながる練習をします。積極的な参加が求められます。

1	導入 前期 導入 後期
2	Unit 1: Hobbies (1)(2).....Unit 7: Weather (1)(2)
3	Unit 1: Hobbies (3)(4).....Unit 7: Weather (3)(4)
4	Unit 2: Clothes and colors (1)(2)..... Unit 8: Everyday activities (1)(2)
5	Unit 2: Clothes and colors (3)(4)..... Unit 8: Everyday activities (3)(4)
6	Unit 3: An active life (1)(2)..... Unit 9: Math, history and art (1)(2)
7	Unit 3: An active life (3)(4)..... Unit 9: Math, history and art (3)(4)
8	Unit 4: Getting around (1)(2)..... Unit 10:A busy semester (1)(2)
9	Unit 4: Getting around (3)(4)..... Unit 10: A busy semester (3)(4)
10	Unit 5: Personality (1)(2).....Unit 11: Favors and requests (1)(2)
11	Unit 5: Personality (1)(2).....Unit 11: Favors and requests (3)(4)
12	Unit 6: Cooking (1)(2).....Unit 12: Before you travel (1)(2)
13	Unit 6: Cooking (3)(4).....Unit 12: Before you travel (3)(4)
14	復習 (1) 復習 (1)
15	復習 (2) 復習 (2)

評価

予習および授業の参加態度40%、発表30%、試験30%とし、総合評価60点以上を合格とする。

【フィードバック】毎週の口頭試問の際、改善点を指摘します。

授業外学習

【事前準備】授業内で指示する部分を予習してきてください。口頭試問の英文を暗唱できるようにしてきてください。（30分ほど）

【事後学修】授業内で指示する部分を復習してきてください。新たに学習した単語や表現を覚えてください。（30分ほど）

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】"Stretch 2", Oxford University Press

科目名	英語		
担当教員名	大友 彩子		
ナンバリング	KKc124		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 英語		
学 年	1	ク ラ ス	GDクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格 / 高等学校教諭一種免許状(情報) / 高等学校教諭一種免許状(英語) / 中学校教諭一種免許状(英語) / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 栄養教諭二種免許状 / 小学校教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状(保健) / 中学校教諭一種免許状(保健) / 中学校教諭一種免許状(国語) / 高等学校教諭一種免許状(国語) / 中学校教諭一種免許状(保健体育) / 高等学校教諭一種免許状(保健体育)		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

学部学位授与方針1,2に該当する。

本科目は、共通科目の外国語科目のうちの選択必修科目で、英語によるコミュニケーションのための基礎的英語能力の育成を目指す。さらに英語を学びたい場合は英語IIを選択する。

科目の概要

「聞く・話す、読む・書く」の4技能の総合的育成を行い、「読む、聞く」力を「書く、話す」力に有機的に発展させることを目指し、卒業後、社会に出ても通用する英語力の育成を目標とする。

学修目標(= 到達目標)

前期ではおもに英語の「聞く、読む」ための効率的な修得を目指し、文法、語彙等の総復習と確認を行う。後期では前期で修得した内容や力を基に訓練を重ね、「話す、書く」能力の育成も目指す。

内容

適宜ペアワーク、グループワークも取り入れ、学生に発言をしてもらいながら授業を進める。

前期

- 1 週目 導入
- 2 ~ 3 週目 Unit1 Hobbies
- 4 ~ 5 週目 Unit2 Clothes and colors
- 6 ~ 7 週目 Unit3 An active life
- 8 ~ 9 週目 Unit4 Getting around
- 10 ~ 11 週目 Unit5 Personality
- 12 ~ 13 週目 Unit6 Cooking
- 14 ~ 15 週目 復習

後期

- 1 週目 導入(前期の総括)
- 2 ~ 3 週目 Unit7 Weather
- 4 ~ 5 週目 Unit8 Everyday activities
- 6 ~ 7 週目 Unit9 Math, history, and art
- 8 ~ 9 週目 Unit10 A busy semester
- 10 ~ 11 週目 Unit11 Favors and requests

12 ~ 13週目 Unit12 Before you travel

14 ~ 15週目 復習

評価

試験70%、毎回授業の冒頭で行う復習の小テスト・授業内での発言等の授業参加・課題を30%とし、総合評価60点以上を合格とする。

【フィードバック】毎回行う復習の小テストから間違いが多かった点を次回の授業で共有し、理解を深める。

授業外学習

【事前準備】宿題として指定した箇所（リスニング、読解、語彙、文法などの練習問題など）をやってもらうこと。毎日少しずつ行うことが望ましい。毎週30分～1時間程度。

【事後学修】授業で学習した箇所の復習・課題の暗唱。毎日20分程度。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】Stretch 2 著者 Susan Stempleski 出版社 Oxford

科目名	英語		
担当教員名	設楽 優子		
ナンバリング	KKc224		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 英語		
学 年	1	ク ラ ス	0Aクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	選必, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格 / 高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

人間生活学部ディプロマポリシー1と、ポリシー内の共通科目外国語領域の能力・資質の主に1, 2に該当する。

科目の概要

この授業では、英語 で養った4技能の力をさらに伸ばす。教科書の素材であるTED talksと呼ばれる短い英語プレゼン動画集の内容に刺激を受けつつ、クリティカルな思考を英語で行えるようにしてゆく。

学修目標 (= 到達目標)

学部共通外国語基礎科目カリキュラムポリシーにある通り、以下を学修目標とする。

- 1 . 聴く、話す、読む、書くの4技能の基礎を作ること、外国語の基礎学力をつける
- 2 . 外国や文化の異なる状況に対応出来る人材の育成
- 3 . よりグローバル化する世界へ対応し、より広い視野で世界を見る力を養う

内容

教科書にはそれぞれのユニットに豊富なリーディングが付いているが、それを精読するのではなく、情報源として扱い、新しいユニットのトップページの短文を読んでキーワードを確認したら、ユニット末のページにあるプレゼン課題のページを読む。各ユニットの2週目にはTED Talkをややしっかりと聴いて英語表現を確認するが、3週目には類似のトピックについてチームワークで英語のプレゼンに挑戦する。この本はシリーズ内で一番易しいので勇気を出して協力して挑戦してほしい。

前期週

- 1, 2, 3 U Try Something New for 30 Days--Matt Cutts
- 4, 5, 6 U Build a Tower, Build a Team--Tom Wujec
- 7, 8, 9 U Underwater Astonishments--David Gallo
- 10, 11, 12 U Wearing Nothing New--Jessi Arrington
- 13, 14, 15 U Ine Second Every Day--Cesar Kuriyama

後期週

- 1, 2, 3 U Ingenious Homes in Unexpected Places--Iwan Baan
- 4, 5, 6 U Why Videos Go Viral--Kevin Allocca
- 7, 8, 9 U My Invention that Made Peace with Lions--Richard Turere
- 10, 11, 12 U Before I Die, I Want To...--Candy Chang
- 13, 14, 15 U The Rise of Personal Robots--Cynthia Breazeal

評価

授業への取り組み50%、担当した（話し手だけではなくスライド送りも含める）全てのプレゼンの合計評価を50%とし、総合評価の60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】授業時間とクラスサイズの許す限り多くプレゼンに参加し、1回のプレゼン当たり、3時間の準備は必要。発表しない班も他班の評価を行うので準備は怠れない。個々の必要に応じて教科書巻末のTED talkスクリプトも予習すること。

【事後学修】プレゼン課題の代替として挙げられている、別のTED talkも視聴すること。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】 Robin Longshaw and Laurie Blass (2015), 21st Century Reading Book 1: Creative Thinking and Reading with TED Talks, Cengage Learning. ?

科目名	英語		
担当教員名	福田 仁、仇 暁芸		
ナンバリング	KKc224		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 英語		
学 年	1	ク ラ ス	0Cクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	選必, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格 / 高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

この科目は「共通科目」のうちの「選択科目」です。

科目の概要

近年、外国において日本文化への興味が飛躍的に拡がり、日本人にも英語による発信力がますます求められています。この授業では、様々な日本文化の側面が英語で書かれた素材をもとに、リーディング力のみならず、リスニング・スピーキング力を養います。

学修目標 (= 到達目標)

さまざまな日本文化の側面について、比較的平易な英文で書かれている英語テキストを理解し、あらためて日本文化についての知識を得ること。さらに、比較的平易な英語で日本文化について発信できるようになること。

内容

【前期】

第1週	Introduction
第2・3週	Japanese Cuisine 日本食
第4・5週	Tokyo 東京
第6・7週	Japan's Four Seasons 日本の四季
第8・9週	Annual Events in Japan 日本の年中行事
第10・11週	Japanese Housing 日本の住居
第12・13週	Religion in Japan 日本の宗教
第14・15週	まとめ

【後期】

第1・2週	Japanese Way of Life 日本人の生き方
第3・4週	Japanese Women 日本の女性
第5・6週	World Heritage in Japan 日本の世界遺産
第7・8週	Japanese Language 日本語
第9・10週	Marriage in Japan 日本の結婚
第11・12週	Kawaii Going Global 世界に広がるカワイイ
第13・14週	Japanese School System 日本の学校制度
第15週	まとめ

評価

毎回の課題（50％）、前期・後期定期試験（50％）をもとに評価し、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】指定された英文テキストを読み、大まかな理解を得ておくこと。

【事後学修】指定されたリスニング練習をし、語彙力もしっかり身につけること。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】プリントを使用します。教科書は不要です。

科目名	英語		
担当教員名	榊原 理枝子		
ナンバリング	KKc224		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 英語		
学 年	1	ク ラ ス	0Dクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	選必, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格 / 高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

(科目の性格)

(1)外国語科目の学位授与方針1・2・3に該当します。(2)この科目は1年次で「英語Ⅰ」を履修し、2年次以降もさらに英語を学びたい人のための科目です。(1年次で英語以外の外国語を選択し、「英語Ⅰ」を履修していなくても、この科目の履修は可能です。)(3)この科目は通年科目ですので、後期の同じ時間帯に所属学科の専門科目等が入っていないか確認してから履修してください。

(科目の概要)・(学修目標)

(1)英語読解力、聴解力を伸ばしつつ、話す力、書く力などの英語表現力を付け、英語を実践的に使えるようになってもらうことを目指します。

(2)英語圏文化に関する知識を深め、広い意味での英語力を高めてもらいます。

内容

(授業の方針)(1)アクティブラーニングの実践として、学生に発言や発表をしてもらいつつ授業を進めます。(2)就活など正当な欠席の場合、証明が必要。(3)出席不足などで単位取得が危うくなってから課題等で救済というのは本人のためにならないのでいけません。(4)テスト、試験類は採点して返却。定期試験は最後から2番目の週に実施。最終週には返却、解説。定期試験だけではなく返却解説も欠席不可。(5)テスト、試験等は欠席しても別日程で受けることはできません。健康管理に注意。(6)ポータルで授業に関する連絡をするので、ポータルは常に確認してください。(7)詳細は初回に配付。またCALL教室の使い方を覚えてもらわないといけないので最初数回は欠席しないでください。

(授業内容)『ハリー・ポッター』、『クマのプーさん』、『ピーター・ラビット』、『ブリジット・ジョーンズの日記』など、著名な物語、映画などに登場する「食」に注目するという教科書を使います。ですが、授業では教科書で勉強するだけでなく、関連した映画を見たり、教科書以外の教材を配付して、プレゼンテーションの練習や会話練習、TOEIC対策などもします。その他、学生の希望を極力取り入れたいと考えてます。また学生の理解度や関心に応じて下記の授業進行予定を変更することがあります。

(授業進行予定) 前期 (1)オリエンテーション(2)プレゼンテーションの基本の説明(3)プレゼンテーション

の実践(4)ハリー・ポッターと蛙チョコレート(5)ピーター・ラビットとパイ(6)ピーター・ラビットのお母さんとハーブティー(7)クマのプーさんと蜂蜜(8)ファスト・フードを買う会話(9)『あしながおじさん』とアイスクリーム(10)宮沢賢治とトマト(11)オー・ヘンリー(12)レストランの予約の会話(13)比較など英語を使う練習

やTOEIC対策(14)(15)前期総復習・まとめ 後期 (1)前期の復習(2)プレゼンテーションの実践(3)

老人と魚とヘミングウェイ(4)『エデンの東』とレタスの輸送(5)『大草原の小さな家』とチーズ作り(6)食事に誘う会話(7)仮定法など英語を使う練習とTOEIC対策(8)ティファニーで朝食を(9)ラフカディオ・ハーン(10)

)『プライドと偏見』、ブリジット・ジョーンズとダイエット(11)助動詞など英語を使う練習やTOEIC対策(12)

)アガサ・クリスティとリンゴ(13)レストランでの食事の会話 (14)(15)後期総復習・まとめ

評価

(1)発言等の授業参加、事前・事後学修、課題、小テスト等平常点を50%、中間、定期試験50%で、総合評価60点以上が合格。(テスト類は採点して返却)(2)合格点に満たなければ再試験。(3)中間、定期試験欠席は証明が必要。(4)中間、定期試験欠席の際は授業開始時刻までに指定したアドレスにメールがないと単位は無理。

授業外学習

(事前学修)リスニング、読解などの練習問題や発表の準備など。必要な語句などは覚えてください。毎日20分から40分程度。(必要ならそれ以上)(事後学修)音声を聞きながら授業を復習し、語句などを覚え、次の授業に備える。毎日20分から40分程度。(必要ならそれ以上)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

(教科書)Minami、田口、本山、『A Taste of English: Food and Fiction
フィクションにみる食文化』(無料音声ダウンロードサービス付き)(朝日出版社、1700円、フジショップ扱い)+プリント等。(辞書)辞書はお持ちの物を第1回目から持って来てください。スマホ等による代用禁止。(授業中はスマホ等はしまってもらいます。授業に集中してもらうためです。)辞書をこれから購入する予定の場合、初回以降に購入でも構いません。失敗を防ぐためです。(推薦書)授業で適宜紹介。

科目名	英語		
担当教員名	仇 暁芸		
ナンバリング	KKc224		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 英語		
学 年	1	ク ラ ス	0Bクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*,選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格 / 高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

英語を学ぶ総合的な科目である。「聞く・話す・読む・書く」の4技能をバランスよく学んでいく。

科目の概要

指定教材を使って進めていく。幅広い分野のトピックについて、単語・フレーズ・センテンスの三段階を踏んで理解を深めていく。また、数回は英語を使った簡単なプレゼンテーションの練習を行う。

学修目標 (= 到達目標)

- ・単語・フレーズ・センテンスの三段階を聞いて理解できるようになる。
- ・上記で理解したものを正しくディクテーション (聞いて書き取る) することができるようになる。
- ・ある範囲内で英語で自分の意見を言えるようになる。

内容

詳細は初回のガイダンスの時に紹介する。「聞く・話す・読む・書く」の4技能のバランスを重視し、練習を重ねていく。『Which side are you on? 英語で考え、話す社会問題—最新版』(成美堂 2017)を教材として使用する。その他、日本文化、アジアの文化をはじめ異文化理解に関する内容も織り込んでいく。また、練習として簡単な英語でのプレゼンテーションを2~3回行う。

評価

出席率、普段の学習態度と姿勢、課題をもとに評価し、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

授業で指示した予習と復習を必ず行う。

教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

【教科書】: 『Which side are you on? 英語で考え、話す社会問題—最新版』(成美堂 2017)

科目名	読書入門		
担当教員名	二宮 紀子		
ナンバリング	KKa103		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 読書入門		
学 年	1	ク ラ ス	ABクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

人間生活学部の学位授与方針 1 . 2 . 3 に該当する。

新生の皆さんが様々な学科の仲間とともに一つの本を読み合い、学習する時間です。読書の楽しさを知るとともに、新しい仲間と新鮮な学習体験をつくり上げていきます。

科目の概要

前期に配布される読書入門の開設科目一覧表により、皆さんが学びたいと思う本を選びます。皆さんが所属している学科の教員が担当するものは受講できないこととなっています。人数制限があるので、いくつかの本を選んでください。履修登録の後で、機械的な抽選により所属するクラスが決まります。新しく出会った仲間と一緒に一つの本を読み合い、感想を述べ合い、最後は受講体験記を書きあげます。

学修目標

本を読むことで様々な考えや世界観に触れる楽しさを体験し、読書の意欲を育みます。

内容

読む本は、「わかることの意味」など教育に関する著作で有名な、佐伯胖先生の「『学び』の構造」です。佐伯先生の「学ぶとはどういうことか」「わかるとはどういうことか」という問いかけは示唆に富み、深く考えさせられます。今回読む「『学び』の構造」も、「学べないとはどういうことか」に始まり「おぼえることとわかること」「道徳(よさ)はいかに学ばれるか」と続き、教育工学の専門家らしく「機会学ぶことはできるか」に触れ、「何のために学ぶのか」という究極の問題に行きつきます。

毎回少しずつ読み進めながら、ディスカッションを通して受講者の皆さんそれぞれが自身の考えを深めることを目指します。

評価

毎回の授業への取り組みと課題(70%)、最終のレポート(30%)、以上を総合的に評価し、60%以上を合格とします。

【フィードバック】授業の初めに前回の内容を復習し質疑に答えることで理解を深める。

授業外学習

【事前予習】予定された部分を読み、自身の感想や考えたこと、疑問点などのメモを持参する。(各授業に対し60分)

【事後学修】読んだところを振り返り、ディスカッションの内容や学んだことをノートにまとめ、最終レポートにつなげる。(各授業に対し60分)

教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

【教科書】佐伯 胖ノ著，『「学び」の構造』，東洋館出版社

科目名	読書入門		
担当教員名	名達 英詔		
ナンバリング	KKa103		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 読書入門		
学 年	1	ク ラ ス	AAクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

人間生活学部の学位授与方針 1 . 2 . 3 に該当します。

新生の皆さんが様々な学科の仲間とともに一つの本を読み合い、学習する時間です。読書の楽しさを知るとともに、新しい仲間と新鮮な学習体験をつくり上げていきます。

科目の概要

前期に配布される読書入門の開設科目一覧表により、皆さんが学びたいと思う本を選びます。皆さんが所属している学科の教員が担当するものは受講できないこととなっています。人数制限があるので、いくつかの本を選んでください。履修登録の後で、機械的な抽選により所属するクラスが決まります。新しく出会った仲間と一緒に一つの本を読み合い、感想を述べ合い、最後は受講体験記を書きあげます。

学修目標

本を読むことで様々な考えや世界観に触れる楽しさを体験し、読書の意欲を育みます。

内容

「あなたの話を書いてみてもいいですか？」

本書は、パリに住み着いた10人の日本人から著者が聞いたそれぞれの物語を集めたエッセイです。繊細で軽妙な文章は心地よく読み進められることと思います。不器用、儂い、ひたむき...、それぞれの生き方を知るうちに、自分のことをふりかえりたくなるかもしれません。毎回1話ごとを丁寧に読み、その上で、互いの思いや内容にまつわるトピックについて話し合います。最後に課題のレポートを提出してもらいます。

第1回目：授業概要/自己紹介/本の紹介

第2回～第14回目：読書とグループディスカッション

第15回目：授業のまとめと振り返り

評価

毎回の授業への取り組みと課題(70%)

最終のレポート(30%)

以上を総合的に評価し、60%以上を合格とします。

【フィードバック】授業の初めに前授業についての質疑を行い学習理解の深化を図ります。

授業外学習

【事前予習】

各自担当の内容を読んでください。（各授業に対し60分）

【事後学修】

議論を踏まえて内容に対する自分の考えをまとめてください。（各授業に対し60分）

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】川内 有緒ノ著、『パリでメシを食う。』, 幻冬舎 幻冬舎文庫

【推薦書】【参考図書】授業内で適宜紹介

科目名	読書入門		
担当教員名	近藤 有紀子		
ナンバリング	KKa103		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 読書入門		
学 年	1	ク ラ ス	ACクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

この科目は、新入生の皆さんが様々な学科の仲間とともに一つの本を読むことによって、学び合う時間です。読書を通して、新たな興味や関心、自分の考えや知識を深めていきます。

(人間生活学部の学位授与方針 1 . 2 . 3 に該当する。)

科目の概要

本書は、保育者と子どもたちの関わりから見えてくる面白さや、素朴さ、新鮮な感覚を届けようとする本です。「はじめに」から「第6章」までで構成されています。授業では、2週に渡って、1章ずつ読み進めていきます。担当者を決めて報告してもらいながら、意見を述べ合い、最後に受講体験記を書きます。

学修目標 (= 到達目標)

授業を通して、様々な学科の仲間と共に「遊び」の面白さや大切さ、その「遊び」を通した子どもの感情の移ろいや心の育ちを学び、深めていきます。

内容

この授業は、講義を基本にディスカッションを取り入れながら学びを深めていきます。

1	オリエンテーション ・はじめに
2	第1章 遊びの極意
3	第1章 遊びの極意
4	第2章 遊び心の光と陰
5	第2章 遊び心の光と陰
6	第3章 子どもの発達と遊び
7	第3章 子どもの発達と遊び
8	第4章 ごっこ劇
9	第4章 ごっこ劇
10	第5章 対立関係を楽しむ遊び
11	第5章 対立関係を楽しむ遊び
12	第6章 「ほんと?遊び」
13	第6章 「ほんと?遊び」
14	おわりに

評価

毎回の授業への取り組みと課題（70%）及び最終のレポート（30%）を総合的に評価し、60点以上を単位取得とします。

【フィードバック】提出された課題等は、コメントを記載し翌週以降の授業内で返却します。

授業外学習**【事前準備】**

各自担当の内容を読んできてください。（各授業に対して60分）

【事後学修】

議論をした内容をまとめてください。（各授業に対して60分）

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】加用 文男 / 著，『子ども心と秋の空 保育のなかの遊び論』，ひとなる書房

【推薦書】【参考図書】は、適宜紹介します。

教科書は、中古購入でも構いません。

科目名	読書入門		
担当教員名	狩野 浩二		
ナンバリング	KKa103		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 読書入門		
学 年	1	ク ラ ス	BAクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

人間生活学部の学位授与方針 1 . 2 . 3 に該当する授業です。

この科目は、新入生の皆さんが様々な学科の仲間とともに一つの本を読みあいながら学修をする時間です。所属学科の異なる先生から指導を受け、所属学科の異なる新しい仲間と学びあうことで、新鮮な学修体験を創り上げることを目的としています。

前期中に配布される読書入門の開設科目一覧表により、皆さんが学びたいと思う本を選んでください。皆さんの所属学科の先生が担当するものは受講することができません。人数制限があるので、抽選に漏れたときのために、いくつかの本を選ぶようにしてください。履修登録の後で、機械的な抽選により所属するクラスが決まります。教室で出会った仲間や先生とともに一冊の本を読みあい、疑問や感想を交流しあって、最終的な受講体験記を書き上げます。

主体的に読書に取り組み、その中で生じた課題を主体的に追究する態度を養うこと、自分の追究した課題を仲間とともに積極的に討論し合い、さらに質の高い考え方を創り上げる技能を身につけること、日常的に読書に親しむ態度を養うこと、をめあてとします。積極的に参加し、本をとおして仲間と共に学び合う体験をして下さい。

内容

アクティブラーニングとして、討論、口頭発表、レポート作成とその交流を行ないます。

第1回：ガイダンス 日程の決定、班討論、班発表等の説明

第2回：第1回読書会 第1章

第3回：第2回読書会 第2章前半

第4回：第3回読書会 第2章後半

第5回：第4回読書会 第3章

第6回：第5回読書会 第4章

第7回：第6回読書会 第5章

第8回：第7回読書会 第6章

第9回：第8回読書会 第7章

第10回：第9回読書会 第8章

第11回：第10回読書会 第9章

第12回：第11回読書会 第10章

第13回：第12回読書会 第11章

第14回：第13回読書会 第12章

第15回：まとめ 読書入門大賞応募への準備

評価

成績は、音読1割、グループ討論2割、班発表(交代で)2割、最終レポート5割を総合してつけます。総合評価60点以上を合格とする。

【フィードバック】各授業ごとにリアクションペーパーの内容を次回において紹介し、内容の定着を図る。

授業外学習

【事前予習】テキストの該当箇所を読み、内容を理解します。疑問点を追究し、メモを講義に持参します（各授業に対して60分）。

【事後学修】講義中に読んだ箇所をふり返り、討論の内容、感想等を整理し、ノートに記録します。読書入門大賞に応募する体験記を書きます（各授業に対して60分）。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

ヤマザキマリ『国境のない生き方 私をつくった本と旅』（小学館新書）2015年

科目名	読書入門		
担当教員名			
ナンバリング	KKa103		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 読書入門		
学 年		ク ラ ス	BBクラス
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

共通教育にある「十文字学 学びの基礎をつくる」の科目である。

(人間生活学部の学位授与方針 1 . 2 . 3 に該当する。)

この科目は異なる学科の学生や教員とともに一冊の本を通して様々なものの見方、考え方に触れ、幅広い価値観を身につけることを目的とする。

科目の概要

さまざまな学科の仲間といっしょに一冊の本を通して人間理解を深めていく。

学修目標

主体的に読書に取り組み、他の学生とディスカッションできるようにする。

また、日常的に読書に親しむ態度を養う。

内容

この授業は学生主体のディスカッションを取り入れて行う。本書を通して神経学および神経心理学的症状から人間理解を深めていく。

内容

1回目 自己紹介とオリエンテーション

2回目～14回目

グループごとに本を読んで気づいたこと、感じたこと、さらに調べたことを発表する。さらに、全体でディスカッションを行い、人間理解を深めていく。

15回目 まとめ

評価

授業参加と課題取り組み(60%)、最終課題の提出(40%)で総合評価を行い、60点以上を合格とする。

授業外学習

事前準備: 該当箇所を読んでおく。

事後学習: 自らの気づきをまとめる。

教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

【教科書】オリバー・サックス / 著・高見 幸郎、金沢 泰子 / 訳, 『妻を帽子とまちがえた男』, 早川書房 ハヤカワ文庫

科目名	読書入門		
担当教員名	加藤 陽子		
ナンバリング	KKa103		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 読書入門		
学 年	1	ク ラ ス	CAクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

人間生活学部の学位授与方針 1 . 2 . 3 に該当します。

この科目は、新入生の皆さんが様々な学科の仲間とともに一つの本を読みあいながら学修をする時間です。所属学科の異なる先生から指導を受け、所属学科の異なる新しい仲間と学びあうことで、新鮮な学修体験を創り上げることを目的としています。

科目の概要

前期中に配布される読書入門の開設科目一覧表により、皆さんが学びたいと思う本を選んでください。皆さんの所属学科の先生が担当するものは受講することができません。人数制限があるので、抽選に漏れたときのために、いくつかの本を選ぶようにしてください。履修登録の後で、機械的な抽選により所属するクラスが決まります。教室で出会った仲間や先生とともに一冊の本を読みあい、疑問や感想を交流しあって、最終的な受講体験記を書き上げます。

学修目標 (= 到達目標)

- ・主体的に読書に取り組み、その中で生じた課題を主体的に追究する態度を養う。
- ・自分の追究した課題を仲間とともに積極的に討論し合い、さらに質の高い考え方を創り上げる技能を身につける。
- ・日常的に読書に親しむ態度を養う。

内容

この授業では、毎回学生主体のグループワークやディスカッションを取り入れた演習形式にて講義を行います。そのため、受講生には積極的な参加態度を求めます。

講義取り上げる本は、人間関係についての悩みやそれへの対処法について、著者の考えが述べられています。この本を読み、ともに考えることを通して、他者への理解ならびに自分への理解を深めることができればと考えています。

【内容】

1回目 オリエンテーション

自己紹介とオリエンテーションを行います。

2回目～14回目 グループディスカッションおよび個人発表

受講人数によって、個人あるいはグループで、本を読んで気づいたこと、感じたこと、さらに調べたことについて発表する予定です。さらに、全体でディスカッションを行い、理解を深めていければと考えています。

15回目 全体討論

これまでの議論やそれぞれの意見を通して、この本の内容について全員で考えをまとめていきます。

評価

毎回の授業への取り組み(70%)及び最終の課題(30%)で総合的に評価しとし、総合評価60点以上を合格とします。授業の質問や提出物については、次の講義内にてコメントします。

授業外学習

【事前準備】テキストの該当箇所を読んでくる。討論したい内容を考えてくる。(各授業に対して60分)

【事後学修】講義中に感じたことを整理し直したり、疑問点について調べる。(各授業に対して60分)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】吉本 ばなな / 著, 『吉本ばななが友だちの悩みについてこたえる』, 朝日新聞出版

科目名	読書入門		
担当教員名	永作 稔		
ナンバリング	KKa103		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 読書入門		
学 年	1	ク ラ ス	CBクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

この科目は、新入生の皆さんがさまざまな学科の仲間とともに一つの本を読み合いながら学習する時間です。学科の異なる先生から、指導を受けて所属以外の仲間とともに学びあい、新鮮な学習体験をより上げることを目的としています。

(人間生活学部の学位授与方針 1 . 2 . 3 に該当します。)

科目の概要

前期中に配布される読書入門の開設科目一覧表により、みなさんが学びたいと思う本を選んでください。皆さんの所属学科の先生が担当するものは受講できません。教室で出会った仲間と先生とともに1冊の本を読みあい、そのことを通して交流します。

学修目標 (= 到達目標)

主体的に読書に取り組み、そこで生じた疑問、感想から課題を見出し追求していく態度を養い、仲間とともに討論し、質の高い考え方をより上げる技術を身に付けること、日常的に読書に親しむ態度を養うことを目指します。

内容

課題の発表およびディスカッションを中心に授業を進める。

この授業で扱う「子どもの自尊心と家族～親と子のゆっくりライフ～」は教育学，教育人間学，育児学を専門とする筆者が温かく優しいまなざしから「子育て，家族」をテーマに書かれた本です。全15章で構成されています。

授業の進め方

1 回目はオリエンテーションとして自己紹介と授業の進め方を説明します。

2 回目～ 1 4 回目は以下のように進めます。

章ごとに分担を決めて、本を読んで感じた事、さらに調べた事を発表します。

を受けて全体でディスカッションをします。

を受けて学びを各自でまとめます

1 5 回目 全体を通したまとめをします。

評価

毎回の授業への取り組み状況と課題 (7 0 %) 及び最終の課題 (3 0 %) で総合的に評価し、総合評価 6 0 % 以上を合格とします。

【フィードバック】毎回の発表のたびに、その場で相互フィードバックと教員フィードバックを行います。また、前回授業を振り返りながら、疑問点や質問について授業冒頭で回答します。

授業外学習

【事前準備】次回の授業発表される章を熟読し、自分なりの考えをまとめてノートに書き出しておく（1.5h）

【事後学修】授業を振り返り、疑問点や不明点を洗い出し、わからないことを自分なりに調べてノートに書き写す（1.5H）

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】汐見 稔幸 / 著、『子どもの自尊心と家族 親と子のゆっくりライフ』，金子書房

科目名	読書入門		
担当教員名	宮内 寿彦		
ナンバリング	KKa103		
学 科	人間生活学部（K）-共通科目-読書入門		
学 年	1	ク ラ ス	DAクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

人間生活学部の学位授与方針 1， 2， 3 に該当する。

これから大学生活を送るにあたりコミュニケーションスキルは大切になる。本科目では、図書を読み解くだけでなく、受講生同士のディスカッションや授業での交流を通しコミュニケーションの基礎を学ぶ。

科目の概要

コミュニケーションの基礎である。「伝える力」を指定図書を輪読して、そのPOINTを学ぶ。具体的な自己紹介演習、他者紹介演習、価値交流演習を組み込み、コミュニケーションスキルの向上を学ぶ。

学修目標（=到達目標）

- 1．自己理解ができる
- 2．他者理解ができる
- 3．他者の価値観を尊重できる
- 4．「伝える力」を養う

内容

この授業は演習を基本に、本書を8分割し、毎回担当者を中心に輪読を行う。グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーションを中心に学びを深めていく。

1	オリエンテーション
2	自己紹介と他者紹介
3	読書（1）本を読むとは
4	読書（2）第1章「伝える力を培う」輪読
5	読書（3）第2章「相手を惹きつける」輪読
6	読書（4）第3章「円滑にコミュニケーションする」輪読
7	読書（5）第4章「ビジネス文書を書く」輪読
8	読書（6）第5章「文章力をアップさせる」輪読
9	読書（7）第6章「わかりやすく伝える」輪読
10	読書（8）第7章「この言葉・表現は使わない」輪読
11	読書（9）第8章「上質のインプットをする」輪読
12	読書（10）伝える力 伝達ゲーム
13	読書（11）伝える力 価値交流（1）
14	読書（11）伝える力 価値交流（2）
15	まとめ

評価

評価 課題レポート30%、筆記試験70%とし、総合評価60点以上を合格とする。

【フィードバック】毎授業の最初に前回授業の質疑及び内容を確認し、学習理解を深められるようにする。

授業外学習

【事前予習】シラバスに沿って、指定テキストの学習箇所を事前に読み、わからない用語を確認すること(各授業に対して60分)。

【事後学修】授業で行った指定テキストの学習箇所を再度読み、わからなかった用語の理解を確認すること(各授業に対して60分)。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】池上 彰/著, 『伝える力 「話す」「書く」「聞く」能力が仕事を変える!』, PHP研究所 PHPビジネス新書

科目名	読書入門		
担当教員名	矢野 景子		
ナンバリング	KKa103		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 読書入門		
学 年	1	ク ラ ス	DBクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

多様な履修者とともに1冊の本を通して、熟読、ディスカッション等しながら新しい考え方や自身の考えを交わし、読み方、自身の考えをまとめる方法について学ぶ科目です。

(人間生活学部の学位授与方針1.2.3に該当します。)

科目の概要

本授業では 読書の読み合いを通した図表や事例の読み方、 ディスカッションを通した多様な考え方の学び合い、 話す・書くことで自身の考えを伝えることを目指します。

学修目標 (= 到達目標)

1. 子どもを取り巻く社会について理解し、保育、幼児教育、子育てについて自身の考えを相手にわかるようまとめることができる。
2. 資料収集、レジュメの作成など、基本的なレポートの書き方を習得する。

内容	
1	オリエンテーション 資料にみる子どもの取り巻く日本の状況
2	第1章今なお日本は「子どもの貧困大国」
3	第1章今なお日本は「子どもの貧困大国」
4	第2章最低の保育・教育予算、最高の学費
5	第2章最低の保育・教育予算、最高の学費
6	全体討議
7	第3章 報じられた子どもの貧困問題
8	第3章 報じられた子どもの貧困問題
9	第4章 家族依存社会の生きづらさ
10	第4章 家族依存社会の生きづらさ
11	全体討議
12	第5章 貧困対策とコストパフォーマンス
13	第5章 貧困対策とコストパフォーマンス
14	全体討議
15	まとめ

評価

課題レポート30%、筆記試験70%とし、総合評価60点以上を合格とします。

【フィードバック】担当箇所の口頭指導及び、グループディスカッションを行います。

授業外学習

【事前準備】各回の該当章を事前に精読するとともに、各担当箇所のレポートを作成する。各授業1時間

【事後学修】学んだことをまとめ、自身の担当箇所に反映させる。各授業1時間

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】山野 良一／著、『子どもに貧困を押しつける国・日本』、光文社新書

【推薦書】川村匡由川村岳人『福祉系学生のためのレポート&卒論の書き方』、中央法規

【参考図書】授業内で随時紹介する

科目名	読書入門		
担当教員名	村田 浩子		
ナンバリング	KKa103		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 読書入門		
学 年	1	ク ラ ス	EAクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

共通科目十文字学1.の「女性の生き方および社会での活躍、家庭と社会との関係、家庭の科学について基礎知識を身につけることができる」科目である。高齢化社会における健康寿命の延伸のために科学的根拠に基づいた情報を正しく理解し、基礎知識の習得と実践をめざすことを目的とする。

(人間生活学部の学位授与方針1.2.3に該当する。)

科目の概要

現代社会に多く発信されている健康に関する情報に対して、有益な情報を取捨選択し、科学的根拠に基づいた情報を自分のライフスタイルに取り入れていくための方法についてテキストを通して学ぶ。さらに本から得た知識をもとに、自らのライフスタイルを振り返り、問題点の抽出、ライフスタイルで改善すべき内容などを意見交換し、具体的な実践方法まで考える。

学修目標 (=到達目標)

1. 本の内容を理解する。
2. 科学的根拠に基づき、各自の今後のライフスタイルを見据えた健康維持・増進のための具体的な行動計画をつくる。
3. 自分の考え人に伝え、また他の学生の意見を理解し、それに対する意見を述べる経験を積む。

内容

この授業は講義とディスカッションを中心に進めていく。

1	ガイダンス・本書と背景となる関連研究の紹介
2	本書を読む上での予備知識、はじめに
3	第1章 誰にも避けられない体力の衰え
4	第1章 誰にも避けられない体力の衰え、グループ討議
5	第2章 体の動くところに筋肉あり
6	第2章 体の動くところに筋肉あり、グループ討議
7	第3章 筋肉は使わないとすぐに衰える ” 怠け者 ”
8	第3章 筋肉は使わないとすぐに衰える ” 怠け者 ”、グループ討議
9	第4章 トレーニングは裏切らない
10	第4章 トレーニングは裏切らない、グループ討議
11	第5章 下半身と体幹の筋肉をきたえなさい
12	第5章 下半身と体幹の筋肉をきたえなさい、グループ討議
13	第6章 筋肉にとっていい食事はなにか
14	第6章 筋肉にとっていい食事はなにか、グループ討議
15	おわりに、まとめ

評価

【評価】毎回の授業の取り組み（50点）、章ごとの課題（30点）、最終レポート(20点)で総合的に評価し、60点以上を合格とする。

【フィードバック】各章ごとの最後にグループ討論を行い、その内容を踏まえた課題を授業内で行い、提出します。これに対し、コメントを付け、翌週以降に返却します。

授業外学習

【事前準備】該当箇所をあらかじめ読んでおく。わからない内容があれば質問できるように準備しておく（各授業に対し30分程度）。

【事後学修】章ごとの最後に行うグループ討議で発言できるよう、設定された課題に対し、自分の考えをまとめる（各授業に対し30分程度）。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】樋口 満 / 著、『体力の正体は筋肉』, 集英社 集英社新書

科目名	読書入門		
担当教員名	若葉 京良		
ナンバリング	KKa103		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 読書入門		
学 年	1	ク ラ ス	EBクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

この科目は、新入生の皆さんがさまざまな学科の仲間とともに一つの本を読み合いながら学習する科目です。学科の異なる先生から指導を受けて、所属以外の仲間とともに学びあい、新鮮な学習体験を作り上げることを目的としています。

(人間生活学部の学位授与方針 1 . 2 . 3 に該当します。)

科目の概要

前期中に配布される読書入門の開設科目一覧表により、皆さんが学びたいと思う本を選んでください。皆さんの所属学科の先生が担当するものは受講できません。教室で出会った仲間と先生とともに1冊の本を読みあいます。読み進める中で浮かんだ疑問や感想を仲間同士で話し合い、交流します。

当該科目で取り上げる本には、「私たちが普段 ” 何となくとっている行動 ” にはどんな理由があるのか」が書かれています。私たちは「なぜ、 ” 無料 ” に弱いのか?」「なぜ、レポートを ” 先延ばし ” にするのか?」

学修目標 (= 到達目標)

受講者全員にとって、より良い講義とするために主体的に考え、行動することができる。

自分なりの意見を仲間に伝えることができるとともに、仲間の意見を受け止めることができる。

日常的に読書に親しむ態度を養うことができる。

内容

この授業は、前半は講義、後半はグループワークやディスカッションを取り入れながら学びを深めていきます。

1	オリエンテーション (授業の進め方、評価方法、自己紹介)
2	1章 相対性の真相
3	4章 社会規範のコスト
4	5章 無料のクッキーの力
5	7章 先延ばしの問題と自制心
6	10章 予測の効果
7	11章 価格の力
8	レポート作成
9	発表について (発表のルール、資料の作成方法)
10	発表資料の作成
11	発表資料の作成
12	発表資料の作成
13	グループで発表
14	グループで発表
15	まとめ

評価

評価は毎回の授業への参加度（50%）および発表（25%）、レポート（25%）で総合的に評価し、総合評価の60%以上を単位取得とします。【フィードバック】提出された課題は、コメントを記載し翌週以降の授業内で返却します。

授業外学習

【事前準備】シラバスを確認し、本書の該当箇所を読んでおく。（各回に対し60分）

【事後学修】講義内容を復習し、復習ノートにまとめる。ノートにまとめる際は、講義を受けて気づいたことや仲間とディスカッションした内容についても、自分なりに整理して記載する。（各回に対し60分）

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】ダン・アリエリー／著、熊谷 淳子／訳、『予想どおりに不合理 行動経済学が明かす「あなたがそれを選ぶわけ」』，早川書房 ハヤカワ文庫

【推薦書】特になし

【参考図書】特になし

科目名	読書入門		
担当教員名	大倉 哲也		
ナンバリング	KKa103		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 読書入門		
学 年	1	ク ラ ス	FAクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

共通科目の十文字学 1 . に該当する。(人間生活学部の学位授与方針 1 . 2 . 3 に該当する。)

この科目は、さまざまな学科の仲間とともに一つの本を読みあいながら学習する時間です。異なる学科の先生から、指導を受けて所属以外の仲間とともに学びあい、新鮮な学習体験を作り上げることを目的としています。

科目の概要

麹カビや酵母を研究している著者が日本の伝統発酵食品(味噌・醤油・食酢・漬物など)が微生物の力でどのように生み出されるのかを、科学的見地からやさしく解説したものです。日本のソウルフードである発酵食品がどのように生み出されているのかや なぜ美味しいのかということに興味を持って頂くことで、より健康的で豊かな食事を楽しんで貰えればと考えています。

学修目標 (= 到達目標)

主体的に読書に取り組み、そこで生じた疑問、感想から課題を見出し追求していく態度を養うことと、仲間とともに討論し自分なりの考え方を作り上げる技術を身につけることを目標とします。

内容

この授業は毎回数人の方に音読していただき、講師が用意したプレゼン資料を基に、全員でディスカッションしながら、学びを深めていく。

1	発酵食品と文化
2	発酵の基礎知識
3	発酵をになう微生物たちー麹菌
4	発酵をになう微生物たちー乳酸菌
5	発酵をになう微生物たちー酵母
6	納豆
7	味噌
8	醤油
9	漬物
10	ヨーグルト
11	チーズ
12	食酢
13	みりん、鰹節
14	デンブン生地発酵
15	まとめ

評価

授業では毎回数人の担当の方に音読して頂き、その後全員でディスカッションします。毎回の授業への意欲・関心・態度（60%）並びに、事後学修レポートおよび最終レポート（40%）で総合的に評価し、60点以上を単位取得とします。【フィードバック】次の授業の際に、事後学修でまとめたものをレポートとして提出する。提出物は教員が目を通した後返却し、各人が最終レポート用に保管する。

授業外学習

【事前準備】事前に文章を読んでくること（30分から1時間程度）

【事後学修】授業を受けた後、興味があることについて自分なりに調べてまとめること（30分から1時間程度）

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】日本の伝統 発酵の科学 中島春紫著 講談社ブルーバックス

【参考図書】中尾玲子、中川裕子著『第6版 つくってみよう加工食品』学文社

科目名	読書入門		
担当教員名	古明地 夕佳		
ナンバリング	KKa103		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 読書入門		
学 年	1	ク ラ ス	FBクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

人間生活学部の学位授与方針 1 . 2 . 3 に該当する。

この科目は、「ことば」を解釈しイメージする力を身につけるとともに、学科を超えた交流の輪を広げることを目的とした、大学における学習の基本となる科目です。

科目の概要

教室で出会った仲間と一冊の本を読むことにより、様々なものの見方や考え方があることを学びます。本に親しむなかで、みなさん自身が情報を集め、分析し、課題を発見する力を養います。

学修目標 (= 到達目標)

1. 多様な考え方や価値観があることを理解する。
2. 自分の考えや感じたことをまとめ、人に伝えることができる。

内容

この授業で扱う「置かれた場所で咲きなさい」は、大ベストセラーとなりました。シスターでありノートルダム清心学園理事長でもあった著者の、様々な困難を乗り越えてきた実体験に基づく言葉は多くの人の「心の支え」となっています。

授業では、音読をしていきます。次に、感じたことを言葉にしてみます。共感するところ、違うと感じたところ、素直に自由に読んでみましょう。グループディスカッションを中心に進めます。

第 1 回目：オリエンテーション (授業の進め方、自己紹介、本の紹介)

第 2 回 ~ 第 1 4 回目：読書とグループディスカッション

第 1 5 回目：まとめ

評価

評価は、毎回の授業への取り組みとリアクションペーパー (70%) 及び最終のレポート (30%) とし、総合評価 60 点以上を合格とする。

【フィードバック】毎回の発表の場面において相互フィードバックを行います。

授業外学習

【事前準備】次回の授業発表される章を熟読し、自分なりの感想をまとめておく。(各授業に対して 60 分)

【事後学修】授業を振り返り、学んだことをまとめる。(各授業に対して 60 分)

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】渡辺和子 / 著・「置かれた場所で咲きなさい」・幻冬舎

科目名	読書入門		
担当教員名	吉澤 剛士		
ナンバリング	KKa103		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 読書入門		
学 年	1	ク ラ ス	FCクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

新入生の皆さんが様々な学科の仲間とともに一つの本を読み合い、学習する時間です。読書の楽しさを知るとともに、新しい仲間と読書を通しての学習体験をつくり上げていきます。

(人間生活学部の学位授与方針 1 . 2 . 3 に該当します。)

科目の概要

前期に配布される読書入門の開設科目一覧表により、皆さんが学びたいと思う本を選びます。皆さんが所属している学科の教員が担当するものは受講できません。人数制限があるので、履修登録後にランダム抽出により所属するクラスが決まります。新しく出会った仲間と一緒に一つの本を読み合い、感想を述べ合い、最後に全体を通したレポートを提出してもらいます。

学修目標 (= 到達目標)

読書を通して様々な考えや世界観に触れる楽しさを体験し、読書の意欲を育みます。

内容

現在における A I の技術的進歩は目覚ましく、この技術革新がそのまま続けば近い将来人間は A I に追い越され、人類は終焉を迎えるとも言われています。本当にそんなことが近い将来起こりえるのか、人間は A I に対してどう立ち向かえばいいのかを考えるために、本書を通して皆で議論し考えて行きたいと思います。

講義では各回の担当個所を決め、担当の学生の方々に音読して頂きます。その後皆でその内容についてディスカッションします。全体を通したレポートを最後に提出して頂きます。

第 1 回目 : 授業概要 / 自己紹介 / 本の紹介

第 2 回 ~ 第 1 4 回目 : 読書とグループディスカッション

第 1 5 回目 : 授業のまとめと振り返り

評価

毎回の授業への取り組み度 (7 0 %) 、最終のレポート (3 0 %) 以上を総合的に評価し、総合評価 6 0 % 以上を合格とします。 課題に関しては毎回の授業の中でフィードバックを行います。

授業外学習

【事前準備】各自担当の内容を読んでください (3 0 分程度) 。

【事後学修】議論を踏まえて内容に対する自分の考えをレポートにまとめてください（60分程度）。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】AI vs. 教科書が読めない子どもたち 新井 紀子 著 東洋経済新報社

科目名	読書入門		
担当教員名	小林 実		
ナンバリング	KKa103		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 読書入門		
学 年	1	ク ラ ス	GAクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

この科目は、新入生の皆さんが様々な学科の仲間とともに一つの本を読みあいながら学びます。異なる学科の先生から指導を受け、所属の異なる新しい仲間と学びあうことで、新鮮な学習体験を創り上げることを目的としています。

(人間生活学部の学位授与方針 1 . 2 . 3 に該当します。)

科目の概要

前期中に配布される読書入門の開設科目一覧表により、皆さんが学びたいと思う本を選びます。人数制限がありますので、複数の本を選択してください。履修登録の後で、抽選により所属するクラスが決まります。教室で出会った仲間や先生とともに一冊の本を読みあい、学びあい、疑問や感想を交流し合ひましょう。

学修目標 (= 到達目標)

- ・主体的に読書に取り組み、自ら追求するとともに、受講生とともに考える姿勢を身につける。
- ・読書の意義、本のチカラを自分の「ことば」で表現することができる。
- ・表現するのみならず、魅力をもち、そして的確に相手に伝えることができる。

内容

小説を読むというのは、たいへん高度で複雑な行為です。言葉の意味を適格に理解するだけでなく、その言葉の発せられる状況を深く把握しなければいけません。つまり、文脈をおさえて「行間をよむ」ちからが必要です。

本来は楽しみのために書かれているのですから、難しいはずはないのですが、その書き方や文章のスタイルは、時代や地域によって異なっています。当然、普段私達は、自分になじみのある文体にしか接していないために、慣れない文章を読もうとしても、なかなか頭に入ってきません。それが、文章が難しいと思う原因なのです。

しかし、いつの時代にも楽しくて有益な文章は書かれていて、それを読まないでいるのは、じつにもったいないことです。

半期15回の短い授業のなかでは、そんなに多くのものを読むことはできませんが、ここで小説の読み方のコツを学べば、これからの長い人生において、たくさんの名作を読む楽しみが生まれるでしょう。そのための練習を、みなさんと積んでみたいと思います。

とりあげるテキストはシャーロック・ホームズの短編シリーズです。

あらずじ、言葉の意味、物語の構造などを確認していき、最後にTVドラマ版をみながら、文章表現と映像表現の違いについても考察していきます。

進行状況によって何作品扱うか決めていく方針ですが、とりあえずは「まだらの紐」から読んでいきます。

評価

毎回の授業への取り組み(70%)及び最終の課題(30%)で総合的に評価しとし、総合評価60点以上を合格とする。

【フィードバック】

授業外学習

【事前準備】授業で扱う予定範囲の文章について、語彙確認、読みどころをノートに抜き出しておく。(各授業に対して60分)

【事後学修】授業で扱った文章について、授業内容をふまえながら要約文をノートに記入する。(各授業に対して60分)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】アーサー・コナン・ドイル/著、日暮 雅通/訳、『シャーロック・ホームズの冒険』, 光文社 光文社文庫

【推薦書】特にありませんが、授業内で紹介することもあります。

【参考図書】特にありません。

科目名	読書入門		
担当教員名	落合 真裕		
ナンバリング	KKa103		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 読書入門		
学 年	1	ク ラ ス	GBクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

人間生活学部の学位授与方針 1、2、3 に該当する。

本科目は「共通科目」の「十文字学」のひとつで「学びの基盤をつくる」本学独自の教育科目である。「大学で必要となる学びの方法 (スタディスキル) を身につける」、「生活や社会での課題を主体的に追求し、解決に向かって考える力を身につける」ことが求められている。

科目の概要

学科の枠組みを超えて、一人ではなく、複数の人たちが一冊の本を読みあう事で、他者の解釈や感想、疑問点を共有し、交流する。異なる専門分野を持ったクラスのメンバーたちと交流しながら、書籍の情報を収集し、まだ見つかっていない問題や未解決の問題を発見し探求する。

学修目標 (= 到達目標)

- (1) 文章を読んで、意味や記述者 (作者) の意図を理解すること
- (2) 論理的に考えたことを、(文章や口頭および視覚的に) 的確に相手に伝えること

内容

各章ごとに読み進めディスカッション、プレゼンテーションを取り入れながら学びを深めていく。

1	ガイダンス
2	1章 ウィニー・ザ・ブーと、ミツバチたちが登場して、物語がはじまります
3	2章 ブーが、ラビットの家をたずねて、はまってしまいます
4	3章 ブーとコブタが狩りをして、グッチャーリーを追いつめます
5	4章 イーヨーがしっぽをなくして、ブーが見つけたします
6	5章 コブタが、アプリガドーに遭遇します
7	6章 イーヨーが、お誕生日に、ふたつのプレゼントをもらいます
8	7章 カンガとベイビー・ルーが、森にあらわれて、コブタがおふるに入ります
9	8章 クリストファー・ロビンが、北極 (ノース・ポール) のたんてんに、乗りだします
10	9章 コブタが、すっかり、水にかこまれてしまいます
11	10章 クリストファー・ロビンが、ブーのためにパーティーを開いて、みんなでお別れをします
12	作家と歴史的背景について
13	発表 1
14	発表 2
15	まとめ

評価

発表40%、レポートや作成物など40%、質疑応答及び授業への参加度20%とし、総合評価60点以上を合格とする。

【フィードバック】毎授業の最初に前回授業の質疑に返答し学習理解を深められるようにする。

授業外学習

【事前準備】作家や作品のジャンル、更に自分の関心・興味に関することについて事前に調べノートにまとめておくこと。（各授業に対して60分）

【事後学修】授業で扱ったトピックについて復習することを必須とし、意見交換を通じて浮かび上がった疑問点や問題点についても調べてまとめておくこと。（各授業に対して60分）

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】A.A.ミルン／著、森 絵都／訳、『クマのプー』，KADOKAWA 角川文庫

【参考図書】授業内で紹介する

科目名	読書入門		
担当教員名	中山 成夫		
ナンバリング	KKa103		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 読書入門		
学 年	1	ク ラ ス	HAクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

学位授与方針の知的コンピテンス1及び5、社会的コンピテンス1及び2に該当する。

本科目では、共通科目として読書とディスカッションを通じて読み解く力、他者を思う力、話し合う力を養う事を目指す。

科目の概要

テキストは日本及び世界の大学の研究室で行われている研究の紹介をインタビュー形式でまとめたもの。6つのインタビューがあるので、1インタビュー毎に読む回と個人の理解、感想を交換し合う回を設ける。全体を12回で終わり、13回目は総括とし14回目がレポート提出。15回目はフィードバックとする。

学修目標 (= 到達目標)

様々な立場で様々な研究をしている社会を理解する。

個々の生活には密着しないが必要な研究や分野がある事を理解する。

他人に自分の見解を正確かつ冷静に伝えられる力をみにつける。・

内容	
1	テキストの説明と授業の進め方について
2	生物に学んだロボットを作る チューリッヒ工科大学バイオロボティクス研究室
3	生物に学んだロボットを作るについてのディスカッション
4	宇宙エレベーターは可能である 大林組エンジニアリング本部
5	宇宙エレベーターはかのであるについてのディスカッション
6	砂漠のバッタの謎を追う モーリタニア国立サバクトビバッタ研究所
7	砂漠のバッタの謎を追うについてのディスカッション
8	宇宙旅行を実現するために 宇宙ベンチャー プラネットラボ
9	宇宙旅行を実現するためにについてのディスカッション
10	地球に存在しない新元素を作り出す 理化学研究所
11	地球に存在しない新元素を作り出すについてのディスカッション
12	すべては地理学だった 奈良大学文学部地理学科
13	すべては地理学だったについてのディスカッション
14	レポート提出
15	まとめとフィードバック

評価

授業への参加度40%レポート60%とし、総合評価60点以上を合格とする。

【フィードバック】最終回に全体講評と個々人へのフィードバックを行う。

授業外学習

【事前準備】当該章の事前黙読（30分）或いはディスカッション参加の為の意見整理（30分）

【事後学修】読後の意見整理（30分）或いはディスカッション後の考えの整理（30分）

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】川端 裕人 / 著，『「研究室」に行ってみた。』，筑摩書房 ちくまプリマー新書

科目名	読書入門		
担当教員名	大友 由紀子		
ナンバリング	KKa103		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 読書入門		
学 年	1	ク ラ ス	HBクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

人間生活学部の学位授与方針1.2.3.に該当する。

この科目は、新入生の皆さんが様々な学科の仲間とともに一つの本を読みあいながら学習をする時間です。学科の異なる先生から指導を受け、所属の異なる仲間と学びあうことで、新鮮な学習体験を創り上げることを目的としています。

科目の概要

前期中に配布される読書入門の開設科目一覧表により、皆さんが学びたいと思う本を選びます。皆さんの所属学科の先生が担当するものは受講することができません。人数制限があるので、いくつかの本を選ぶようにしてください。履修登録の後で、機械的な抽選により所属するクラスが決まります。教室で出会った仲間や先生とともに一冊の本を読みあい、疑問や感想を交流しあって、最終的な受講体験記を書き上げます。

学修目標

主体的に読書に取り組み、その中で生じた課題を主体的に追究する態度を養うこと、自分の追究した課題を仲間とともに積極的に討論し合い、さらに質の高い考え方を創り上げる技能を身につけること、日常的に読書に親しむ態度を養うこと目標とします。

内容

この授業は、グループディスカッションにより学びを深める。

1	序章 クラシックを知れば世界史がわかる	9-25頁
2	第1章 グレゴリオ聖歌と「神の秩序」 (1)	27-40頁
3	第1章 グレゴリオ聖歌と「神の秩序」 (2)	40-48頁
4	第2章 宗教改革が音楽を変えた (1)	50-62頁
5	第2章 宗教改革が音楽を変えた (2)	63-81頁
6	第3章 大都市と巨匠たち (1)	83-102頁
7	第3章 大都市と巨匠たち (2)	102-121頁
8	第4章 ベートーヴェンの時代 (1)	123-142頁
9	第4章 ベートーヴェンの時代 (2)	142-161頁
10	第5章 ロマン派と新時代の市民 (1)	163-173頁
11	第5章 ロマン派と新時代の市民 (2)	173-183頁
12	第6章 "怪物" ワーグナーとナショナリズム (1)	185-196頁
13	第6章 "怪物" ワーグナーとナショナリズム (2)	196-206頁
14	第7章 二十世紀音楽と壊れた世界 (1)	207-227頁
15	第7章 二十世紀音楽と壊れた世界 (2)、おわりに	227-239頁

評価

授業時の参加および提出物50%、学期末のレポート50%とし、総合評価60点以上を合格とする。授業時の提出物は次

週にコメントして返却する。

授業外学習

【事前準備】それぞれの回の指定箇所を読み、キーワードをマークする。レポーターはキーワードを調べ、関連するデータを探しておく（各授業に対して60分）。

【事後学修】授業時に討論したキーワードやデータについてノート整理する（各授業に対して30分）。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】片山杜秀（2018）『ベートーヴェンを聴けば世界史がわかる』文藝春秋 800円（税別）

科目名	読書入門		
担当教員名	棚谷 祐一		
ナンバリング	KKa103		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 読書入門		
学 年	1	ク ラ ス	JAクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

私たちの多くにとってもっとも身近な音楽「Jポップ」。この音楽がどのような「物語 = 歴史」を紡いできたのか。また、いま現在の「ニッポンの音楽」が、どうしてこのような姿になっているのか、いかなる経緯を経てそうなったのか、また、今後は変わってゆくことになるのか、といった問いを一緒に考えていきます。

(人間生活学部の学位授与方針 1 . 2 . 3 に該当します。)

科目の概要

1960年代以降の日本のポピュラー音楽を「Jポップ以前」と「Jポップ以後」に大きく分割し、はっぴいえんど、YMO、渋谷系、小室系、中田ヤスタカといった極めて限られた登場人物を軸に「物語 = 歴史」としてのニッポンの音楽を探っていきます。

学修目標 (= 到達目標)

読書体験とディスカッションを通じて音楽のあり方、音楽との関わり方を見つめなおし、メディアリテラシーを高める一助となることを期待すると共に、豊かで柔軟な感性を養う。

内容

この授業は、グループワーク、ディスカッションを中心に進めていきます。

1	ガイダンス
2	はっぴいえんどの物語 (1)
3	はっぴいえんどの物語 (2)
4	はっぴいえんどの物語 (3)
5	YMO の物語 (1)
6	YMO の物語 (2)
7	YMO の物語 (3)
8	渋谷系と小室系の物語 (1)
9	渋谷系と小室系の物語 (2)
10	渋谷系と小室系の物語 (3)
11	渋谷系と小室系の物語 (4)
12	中田ヤスタカの物語 (1)
13	中田ヤスタカの物語 (2)
14	中田ヤスタカの物語 (3)
15	まとめ

評価

授業への参加度30%、課題40%、最終レポート30%とし、とし、総合評価60点以上を合格とする。

【フィードバック】毎授業の最初に前回授業の質疑に返答し、学習理解を深められるようにする。

授業外学習

【事前準備】指定された範囲を読み込んでおく（各授業に対して30分）。

【事後学修】不明な用語等について調べる（各授業に対して40分）。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】佐々木 敦 / 著、『ニッポンの音楽』、講談社 講談社現代新書

【推薦書】特になし

【参考図書】柴 那典 / 著、『ヒットの崩壊』、講談社 講談社現代新書

科目名	読書入門		
担当教員名	川口 英俊		
ナンバリング	KKa103		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 読書入門		
学 年	1	ク ラ ス	JBクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

人間生活学部の学位授与方針1, 2, 3に該当する。本科目は知的コンピテンスとしての読み解く力、社会的コンピテンスとしての話し合う力・自己を理解する力を育成するものである。

科目の概要

読書の基本的な技法 (読み方、内容の検討の仕方、議論の仕方) などと共に読書を通じて知識を深めることの楽しさを体験したい。本を読むにあたって基本的な知識 (著者について、文章の理解を助ける知識など) を提示し、自分の考えをグループの中で話し合う。それらについて授業ノートにまとめていく。

学修目標 (= 到達目標)

本の読み方、言葉を調べる習慣、著者の言おうとしていることへの理解、それについての自分の考え方をまとめる、それを他者と話す、それらを記録する、といった技法を身につけることを目標とする。

内容

著者の沢木耕太郎は1970年代、友人と賭けをして26歳の時にデリーからロンドンまで乗合バスで行くという酔狂な旅に出る。その時の1年間の旅を後に「深夜特急」という本にまとめ出版、この本はバックパッカーのバイブルとまで言われ、今でも版を重ねるベストセラーになった。「旅する力」はなぜ彼がそのような旅に出たのか、日常の中でいつの間にか社会の型にはめられていくことへの抵抗や葛藤、そして旅の中で何を得ていったのかが書かれている。彼の旅を考えることは読者の旅 (= 人生) を考えること、旅する力という生きる力を考えることでもあるのではないか。

沢木耕太郎という人は稀 (まれ) な文才を持ち、心の奥の琴線に触れるような文章を書くことができると考えており、読書を楽しむ機会になればと思う。

授業は本を読み、疑問点や自分の考えを記録し、グループで発表し話し合う、それらを読書ノートとして1ファイルにまとめていく。

1. ガイダンス

2. 著者について、「深夜特急」について

3. 旅する力1章

4. 旅する力2章

5. 旅する力3章

6. 旅する力3章

7. 旅する力4章

8. 旅する力5章

9. 旅する力5章

10. 旅する力6章

11. 旅する力7章

12. 旅する力8章

13. 旅する力を読んでの総括

14. まとめ

評価

評価は授業への参加・取り組み（40％）と上記の自分の疑問点や考え、グループでの話し合い、自分で調べたこと等を記録した読書ノート（60％）等に基づいて行い、60点以上を単位取得とする。

【フィードバック】数回行うリアクションペーパー等の次の回に疑問・意見などに回答する。

授業外学習

【事前準備】その日取り上げる範囲を事前に読んでおく、印象に残った箇所をチェックし、メモを取ったり自分の考えをまとめる。（各授業に対して30 - 60分）

【事後学修】自分の考えに対する授業での他者の発言、それに対する自分の考え、自分で調べたこと等を1ファイルにまとめていく。（各授業に対して30 - 60分）

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】沢木 耕太郎 / 著，『旅する力 深夜特急ノート』，新潮社 新潮文庫

【推薦書】沢木 耕太郎 / 著，『深夜特急』1～6巻，新潮社 新潮文庫

科目名	TOEIC対策講座		
担当教員名	谷 洋子		
ナンバリング	KKc230		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 資格科目 (外国語)		
学 年	1	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

共通科目のディプロマシーポリシー 十文字学2、および外国語1、2に該当する。

本科目では、日常、仕事での英語コミュニケーションに必要な聞く力と読む力の向上を目指し、TOEICテストで目標スコアを目指しながら英語の語彙や言語構造、文章の読み方、聞き方を学習する。また、英語を理解するうえで不可欠な英語圏の社会的・文化的背景を学び理解を深める。

科目の概要

TOEICスコアアップを目指し、各テーマの関連語彙や文法を確認しながらTOEICテスト形式のリスニング、リーディングの演習問題に取り組む。また、実際に使える英語力をつけることを目指し、速読やシャドウイングの練習も行う。疑問点は、ペア、グループワークでの解決を目指し、残った疑問点を教員が補助する形で進める。また、教室外で自律学習が進むよう、効果的な自己学習法の指導を合わせて行う。

学修目標

1. 日常、仕事で必要な内容を英語で聞き、読むために必要な語彙、言語構造を理解し使用できる。
2. TOEICテストの形式を知り、有効な知識や戦略法を身に付け、テストに応用できる。
3. 学期末のTOEICテスト受験で目標点を取得できる。
4. 自律的な学習方法と学習習慣を身に付ける。

内容

1回の授業で1ユニット完了する形で進める。受講者は各授業のテーマ(ユニット表題)、関連語彙、文法、文書のフォーマットなどを学び、それらを使用したTOEICのリスニング、リーディングの練習問題に取り組む。疑問点は、ペア、グループワークでの解決を目指し、残った疑問点を教員が補助する形で進める。また、教室外で自律学習が進むよう、効果的な自己学習法の指導を合わせて行う。また、TOEICの対策学習を実際のコミュニケーションに活かせるよう4技能に繋げるための学習法も指導する。

1	オリエンテーション U1 Daily Life 日常生活をテーマとしたリスニング・リーディング練習
2	U2 Places 様々な場所をテーマとしたリスニング・リーディング練習
3	U3 People 様々な様相の人々や職業をテーマとしたリスニング・リーディング練習
4	U4 Travel 旅行の場面をテーマとしたリスニング・リーディング練習
5	U5 Business ビジネスをテーマとしたリスニング・リーディング練習
6	U6 Office オフィス内の場面や機器をテーマとしたリスニング・リーディング練習
7	U7 Technology 技術をテーマとしたリスニング・リーディング練習
8	U8 Personnel 会社内の人事をテーマとしたリスニング・リーディング練習
9	U9 Management 経営をテーマとしたリスニング・リーディング練習
10	U10 Purchasing 主に会社間での購買をテーマとしたリスニング・リーディング練習
11	U11 Finance 金融をテーマとしたリスニング・リーディング練習
12	U12 Media メディアをテーマとしたリスニング・リーディング練習

13	U13 Entertainment エンターテイメントをテーマとしたリスニング・リーディング練習
14	U14 Health 健康をテーマとしたリスニング・リーディング練習
15	総括

評価

試験70点、小テスト20点、授業への取り組み10点の合計で評価を行い、60点以上を合格とする。

提出課題は評価を付けて返却する。

授業外学習

【事前予習】各課の新出語彙を予習する。(Check Your Vocabulary! Words in Context) (30分)

【事後学修】各課の Self-study quizzes (p.99~) に取り組む。(30分) 各課パー

ト3、4のシャドウイングを行う。(30分) 各課の授業内で終了しなかった問題に取り組み、復習まで行う。(60分)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】Mark D. Stafford, Successful Keys to the TOEIC Listening and Reading Test 1 (4th Edition), 桐原書店

【参考図書】『TOEICテスト新公式問題集』(Vol.5) Educational Testing Service

小石裕子 『改訂版 TOEIC(R) TEST 英単語 出るところだけ!』アルク

科目名	TOEIC対策講座		
担当教員名	設楽 優子		
ナンバリング	KKc230		
学 科	人間生活学部（K）-共通科目-資格科目（外国語）		
学 年	1	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

人間生活学部ディプロマポリシー1と、ポリシー内の共通科目外国語領域の能力・資質の主に1に該当する

TOEIC L&R 400--500点のレベル用に編纂された、吹込み者の発音が適切で、安心感のある教材を教科書とした、教科書付属の回答システムを利用した合理的な資格対策科目

学部共通外国語資格科目カリキュラムポリシーにある通り、以下を学修目標とする

1. 企業や社会で要求されるレベルに対応する
2. 社会人になっても通用する資格をつける力を養成する
3. 国際的な資格試験を受験することでより広い分野での活躍の基礎を作る

内容

教科書の出版社のサイトによると、この教科書の購入者は、福岡大学の奥田先生という方達が開発したCheckLinkというシステムが使える、授業中にPCでも携帯端末でも教科書の問いに回答でき、クラスや全国の同じ教科書を利用している学生たちの何%が正解したか、個々の大問に全問正解したのは何人か、等が即時に分かるよう設計されている。解説は端末に出ず、教師が話すしかない様にしてあるので、暇を持て余すこともない。平常点をこのシステムで記録するので、予習のし甲斐も授業に出席し甲斐もある。ペアワークを工夫するので、パートナーに教えることによる理解の深まりも期待できる。

Unit 1 Travel・Unit 2 Dining Out・Unit 3 Media・Unit 4 Entertainment・Unit 5 Purchasing・
Unit 6 Clients・Unit 7 Recruiting・Unit 8 Personnel・Unit 9 Advertising・
Unit 10 Meetings・Unit 11 Finance・Unit 12 Offices・Unit 13 Daily Life・
Unit 14 Sales & Marketing・Unit 15 Events

評価

15のユニットのそれぞれに30題程度、上述したCheckLinkがついた小問があり、その正答率が平常点として記録される。教科書全体の平均正答率を100%として、総合評価60点以上を合格とするので問題がなければ、そのように評価したい。

授業外学習

【事前準備】教科書付属音声を使って、毎週そのユニットの全ての英語を予習し、日本語で書かれたTOEICの出題形式などの情報も読むこと。（毎週60分程度）

【事後学修】テレビのニュースの副音声・語学番組・英語の映画などを通して常に英語力の向上に努めること。（毎週60分以上）

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】早川幸治 / 番場直之 シリーズ監修、溝口優美子 / 柳田真知子 著、_SCORE BOOSTER

FOR THE TOEIC? L&R TEST : PRE-INTERMEDIATE_ (レベル別 TOEIC? L&Rテスト実力養成コース：準中級編)、金星堂.

科目名	中国語試験対策科目		
担当教員名	池間 里代子		
ナンバリング	KKc231		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 資格科目 (外国語)		
学 年	1	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

中国語検定試験/HSK合格を目指し、発音・文法・作文力を高める。この科目は共通科目学位授与方針1・2に該当する。

科目の概要

中国語検定試験の過去問を解き、解説を聞く。これを繰り返すことによって解答パターンを体得し、自信をもって受験に臨めるようにしていく。中級受験者向けには長文読解のための訓練を行なう。

学修目標 (= 到達目標)

自らが設定した級に合格すること。やや難しい級にチャレンジして、合格すること。

内容

ガイダンス、受験級確定

過去問解き、解説

語彙練習

文法確認

リスニング対策

ライティング対策

模擬試験

評価

平常点を60%・受験結果を40%とし、総合評価60点以上を合格とする。平常点とは、授業で扱った過去問などのミスを修正し、類似問題等で確認することである。これらは授業内でフィードバックを行なう。

授業外学習

【事前準備】単語帳の暗記を30分程度で準備してくること。

【事後学修】ミスノート作成を30分程度行うこと。

教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

【教科書】プリントなど

【推薦書】『中国語検定4級合格への手引き』南雲堂フェニックス 2010年 ¥1800 + 税

『中国語検定3級合格への手引き』南雲堂フェニックス 2010年 ¥1800 + 税

科目名	中国語試験対策科目		
担当教員名	池間 里代子		
ナンバリング	KKc231		
学 科	人間生活学部（K）-共通科目-資格科目（外国語）		
学 年	1	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

隣国であり、経済発展目覚ましい中国の言葉と社会を学びます。中国語のステップアップを目指します。この科目は共通科目の学位授与方針1・2に該当します。

科目の概要

中国語検定試験4級（初級終了レベル）合格を目指して、発音・文法・作文のすべてにわたってハイランクを目指します。適宜プリントによって学習事項のチェックを行いません。

学修目標

- 1．正しい発音でピンインが読める
- 2．テキストの例文がきちんと理解できる
- 3．簡体字に習熟する
- 4．長文読解の力がつく

希望者には検定過去問紹介などの便宜をはかります。是非チャレンジしてください。テキスト内容が毎年変わりますので、繰り返し受講が可能です。

内容

第1回	ガイダンス	第16回	文型の復習
第2回	発音の復習	第17回	第7課
第3回	第1課	第18回	第7課
第4回	第1課	第19回	第8課
第5回	第2課	第20回	第8課
第6回	第2課	第21回	第9課
第7回	第3課	第22回	第9課
第8回	第3課	第23回	第10課
第9回	第4課	第24回	第11課
第10回	第4課	第25回	第12課
第11回	第5課	第26回	第13課
第12回	第5課	第27回	第14課
第13回	第6課	第28回	第15課
第14回	第6課	第29回	検定試験過去問
第15回	まとめ	第30回	まとめ

評価

平常点（授業への取り組み・課題提出）50％・試験50％の割合で評価し、60％以上を合格とします。平常点の「課題」とは、事前に指定した部分の翻訳と発音練習を指します。授業中に翻訳部分の解説を行いません。

授業外学習

テキストには音声教材が付いていますから事前に予習として30分程度聴き、できれば数回後について発音してみるといいでしょう。授業後は、学習内容が理解できているかをテキストに付随している「問題」を30分程度で解くことによって確認しましょう。分からない部分は先生に質問してください。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

テキスト：三瀨正道・陳祖？『時事中国語の教科書2019年度版』朝日出版 このテキストは毎年内容が変わります。
その他、プリントや資料などを配布します。

科目名	中国語試験対策科目		
担当教員名	池間 里代子		
ナンバリング	KKc231		
学 科	人間生活学部（K）-共通科目-資格科目（外国語）		
学 年	1	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

隣国であり、経済発展目覚ましい中国の言葉と社会を学びます。中国語のステップアップを目指します。この科目は共通科目の学位授与方針1・2に該当します。

科目の概要

中国語検定試験4級（初級終了レベル）合格を目指して、発音・文法・作文のすべてにわたってハイランクを目指します。適宜プリントによって学習事項のチェックを行いません。

学修目標

- 1．正しい発音でピンインが読める
- 2．テキストの例文がきちんと理解できる
- 3．簡体字に習熟する
- 4．長文読解の力がつく

希望者には検定過去問紹介などの便宜をはかります。是非チャレンジしてください。テキスト内容が毎年変わりますので、繰り返し受講が可能です。

内容

第1回	ガイダンス	第16回	文型の復習
第2回	発音の復習	第17回	第7課
第3回	第1課	第18回	第7課
第4回	第1課	第19回	第8課
第5回	第2課	第20回	第8課
第6回	第2課	第21回	第9課
第7回	第3課	第22回	第9課
第8回	第3課	第23回	第10課
第9回	第4課	第24回	第11課
第10回	第4課	第25回	第12課
第11回	第5課	第26回	第13課
第12回	第5課	第27回	第14課
第13回	第6課	第28回	第15課
第14回	第6課	第29回	検定試験過去問
第15回	まとめ	第30回	まとめ

評価

平常点（授業への取り組み・課題提出）50％・試験50％の割合で評価し、60％以上を合格とします。平常点の「課題」とは、事前に指定した部分の翻訳と発音練習を指します。授業中に翻訳部分の解説を行いません。

授業外学習

テキストには音声教材が付いていますから事前に予習として30分程度聴き、できれば数回後について発音してみるといいでしょう。授業後は、学習内容が理解できているかをテキストに付随している「問題」を30分程度で解くことによって確認しましょう。分からない部分は先生に質問してください。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

テキスト：三瀨正道・陳祖？『時事中国語の教科書2019年度版』朝日出版 このテキストは毎年内容が変わります。
その他、プリントや資料などを配布します。

科目名	中国語試験対策科目		
担当教員名	池間 里代子		
ナンバリング	KKc231		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 資格科目 (外国語)		
学 年	1	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

隣国であり、経済発展目覚ましい中国の言葉と社会を学びます。中国語のステップアップを目指します。この科目は共通科目の学位授与方針1・2に該当します。

科目の概要

中国語検定試験4級(初級終了レベル)合格を目指して、発音・文法・作文のすべてにわたってハイランクを目指します。適宜プリントによって学習事項のチェックを行いません。

学修目標

1. 正しい発音でピンインが読める
2. テキストの例文がきちんと理解できる
3. 簡体字に習熟する
4. 長文読解の力がつく

希望者には検定過去問紹介などの便宜をはかります。是非チャレンジしてください。テキスト内容が毎年変わりますので、繰り返し受講が可能です。

内容

第1回	ガイダンス	第16回	文型の復習
第2回	発音の復習	第17回	第7課
第3回	第1課	第18回	第7課
第4回	第1課	第19回	第8課
第5回	第2課	第20回	第8課
第6回	第2課	第21回	第9課
第7回	第3課	第22回	第9課
第8回	第3課	第23回	第10課
第9回	第4課	第24回	第11課
第10回	第4課	第25回	第12課
第11回	第5課	第26回	第13課
第12回	第5課	第27回	第14課
第13回	第6課	第28回	第15課
第14回	第6課	第29回	検定試験過去問
第15回	まとめ	第30回	まとめ

評価

平常点（授業への取り組み・課題提出）50％・試験50％の割合で評価し、60％以上を合格とします。平常点の「課題」とは、事前に指定した部分の翻訳と発音練習を指します。授業中に翻訳部分の解説を行いません。

授業外学習

テキストには音声教材が付いていますから事前に予習として30分程度聴き、できれば数回後について発音してみるといいでしょう。授業後は、学習内容が理解できているかをテキストに付随している「問題」を30分程度で解くことによって確認しましょう。分からない部分は先生に質問してください。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

テキスト：三瀨正道・陳祖？『時事中国語の教科書2019年度版』朝日出版 このテキストは毎年内容が変わります。
その他、プリントや資料などを配布します。

科目名	日本語能力試験対策講座（文法・文字語彙）		
担当教員名	安恒 佳代子		
ナンバリング	KKc232		
学 科	人間生活学部（K）-共通科目-資格科目（外国語）		
学 年	1	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格 共通科目（外国語）の学位授与方針1に該当。

日本語能力試験N1の合格を目指す、対策講座で、試験科目のうち、「文字・語彙」「文法」に特化して学習します。演習形式で授業を進めていき、繰り返し受講が可能です。また、この科目は対策講座の「基礎クラス」で、履修については日本語クラス分け試験の結果によります。

（外国語）の学位授与方針1,2,3に該当。 科目の概要

毎回、さまざまな出題形式から問題を選び、実戦形式で授業を進めます。また、前期・後期・「基礎クラス」・「発展クラス」では学期ごとに内容が変わりますので、繰り返し受講を行っても内容は重複しません。

学修目標

この授業を修了するためには、授業前、および授業中に提示される問題をこなし、その場で定着させることを目指していきます。

- 1 授業に出席し、問題となる課題について講義を受ける。
- 2 課題の理解を深めるため、予習、復習は怠らない。
- 3 課題で誤った項目を、再び誤らないよう努める。

内容

授業は毎回、演習形式で進めていきます。資格試験対策講座であるため、できるだけ多くの実戦練習を行います。進度に応じて適宜質疑応答の時間を取り入れ、双方向の授業形態で進めます。

第1回 授業のガイダンス・日本語能力試験受験レベルの測定

第2回～14回

【文字語彙】学習項目

漢字読み

表記

語形成

文脈規定

言い換え類義

用法

【文法】

文法形式の判断

文の組立

文章の文法

評価

平常点（毎回の授業で指示する課題の完成・授業への参加度）：40% 筆記試験：60% とし、総合評価60点以上を合格とする。合格点に達しなかった場合は、再試験を行う。 フィードバック：提出された課題はコメントを記載し、翌週以降に授業内で返却する。

授業外学習

【事前予習】各回で学ぶ文法項目について、意味を調べる。また、漢字、語彙について読み方、使い方を調べる。
【事後学修】授業で学んだ項目を定着させるため再度、文法の意味、語彙の使い方、漢字の読み方など、各人の注意点や覚えるべき事柄をノートにまとめる。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）**【テキスト】**

第1回目の授業で指示します。

科目名	日本語能力試験対策講座（文法・文字語彙）		
担当教員名	安恒 佳代子		
ナンバリング	KKc232		
学 科	人間生活学部（K）-共通科目-資格科目（外国語）		
学 年	1	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格 共通科目（外国語）の学位授与方針1に該当。

日本語能力試験N1の合格を目指す、対策講座で、試験科目のうち、「文字・語彙」「文法」に特化して学習します。授業は演習形式で授業を進め、繰り返し受講が可能です。また、この科目は対策講座の「基礎クラス」で、履修については日本語クラス分け試験の結果によります。

科目の概要

毎回、さまざまな出題形式から問題を選び、実戦形式で授業を進めます。また、前期・後期・「基礎クラス」・「発展クラス」では学期ごとに内容が変わりますので、繰り返し受講を行っても内容は重複しません。

学修目標

この授業を修了するためには、授業前、および授業中に提示される問題をこなし、その場で定着させることを目指していきます。

- 1 授業に出席し、問題となる課題について講義を受ける。
- 2 課題の理解を深めるため、予習、復習は怠らない。
- 3 課題で誤った項目を、再び誤らないよう努める。

内容

第1回 授業のガイダンス・日本語能力試験受験レベルの測定

第2回～14回

【文字語彙】学習項目

漢字読み

表記

語形成

文脈規定

言い換え類義

用法

【文法】

文法形式の判断

文の組立

文章の文法

第15回

まとめ

評価

平常点（毎回の授業で指示する課題の完成・授業への参加度）：40% 筆記試験：60% とし、総合評価60点以上を合格とする。合格点に達しなかった場合は、再試験を行う。 フィードバック：提出された課題はコメントを記載し、翌週以降に授業内で返却する。

授業外学習

【事前予習】各回で学ぶ文法項目について、意味を調べる。また、漢字、語彙について読み方、使い方を調べる。

【事後学修】授業で学んだ項目を定着させるため再度、文法の意味、語彙の使い方、漢字の読み方など、各人の注意点や覚えるべき事柄をノートにまとめる。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【テキスト】

第1回目の授業で指示します。

科目名	日本語能力試験対策講座（文法・文字語彙）		
担当教員名	小笠原 典子		
ナンバリング	KKc232		
学 科	人間生活学部（K）-共通科目-資格科目（外国語）		
学 年	1	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格 共通科目（外国語）の学位授与方針1に該当。

日本語能力試験N1の合格を目指す、対策講座で、試験科目のうち、「文字・語彙」「文法」に特化して学習します。授業は演習形式で授業を進め、繰り返し受講が可能です。また、この科目は対策講座の「応用クラス」で、履修についてはクラス分け試験の結果によります。

科目の概要

毎回、さまざまな出題形式から問題を選び、実戦形式で授業を進めます。また、前期・後期・「基礎クラス」・「発展クラス」では学期ごとに内容が変わりますので、繰り返し受講を行っても内容は重複しません。

学修目標

この授業を修了するためには、授業前、および授業中に提示される問題をこなし、その場で定着させることを目指していきます。

- 1 授業に出席し、問題となる課題について講義を受ける。
- 2 課題の理解を深めるため、予習、復習は怠らない。
- 3 課題で誤った項目を、再び誤らないよう努める。

内容

第1回 授業のガイダンス・日本語能力試験受験レベルの測定

第2回～14回

【文字語彙】学習項目

漢字読み

表記

語形成

文脈規定

言い換え類義

用法

【文法】

文法形式の判断

文の組立

文章の文法

第15回

まとめ

評価

平常点（毎回の授業で指示する課題の完成・授業への参加度）：40% 筆記試験：60% とし、総合評価60点以上を合格とする。合格点に達しなかった場合は、再試験を行う。 フィードバック：提出された課題はコメントを記載し、翌週以降に授業内で返却する。

授業外学習

【事前予習】各回で学ぶ文法項目について、意味を調べる。また、漢字、語彙について読み方、使い方を調べる。

【事後学修】授業で学んだ項目を定着させるため再度、文法の意味、語彙の使い方、漢字の読み方など、各人の注意点や覚えるべき事柄をノートにまとめる。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【テキスト】

第1回目の授業で指示します。

科目名	日本語能力試験対策講座（文法・文字語彙）		
担当教員名	小笠原 典子		
ナンバリング	KKc232		
学 科	人間生活学部（K）-共通科目-資格科目（外国語）		
学 年	1	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格 共通科目（外国語）の学位授与方針1に該当。

日本語能力試験N1の合格を目指す、対策講座で、試験科目のうち、「文字・語彙」「文法」に特化して学習します。授業は演習形式で進めていき、繰り返し受講が可能です。また、この科目は対策講座の「応用クラス」で、履修についてはクラス分け試験の結果によります。

科目の概要

毎回、さまざまな出題形式から問題を選び、実戦形式で授業を進めます。また、前期・後期・「基礎クラス」・「発展クラス」では学期ごとに内容が変わりますので、繰り返し受講を行っても内容は重複しません。

学修目標

この授業を修了するためには、授業前、および授業中に提示される問題をこなし、その場で定着させることを目指していきます。

- 1 授業に出席し、問題となる課題について講義を受ける。
- 2 課題の理解を深めるため、予習、復習は怠らない。
- 3 課題で誤った項目を、再び誤らないよう努める。

内容

第1回 授業のガイダンス・日本語能力試験受験レベルの測定

第2回～14回

【文字語彙】学習項目

漢字読み

表記

語形成

文脈規定

言い換え類義

用法

【文法】

文法形式の判断

文の組立

文章の文法

第15回

まとめ

評価

平常点（毎回の授業で指示する課題の完成・授業への参加度）：40% 筆記試験：60% とし、総合評価60点以上を合格とする。合格点に達しなかった場合は、再試験を行う。 フィードバック：提出された課題はコメントを記載し、翌週以降に授業内で返却する。

授業外学習

【事前予習】各回で学ぶ文法項目について、意味を調べる。また、漢字、語彙について読み方、使い方を調べる。

【事後学修】授業で学んだ項目を定着させるため再度、文法の意味、語彙の使い方、漢字の読み方など、各人の注意点や覚えるべき事柄をノートにまとめる。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【テキスト】

第1回目の授業で指示します。

科目名	日本語能力試験対策講座（読解）		
担当教員名	小笠原 典子		
ナンバリング	KKc233		
学 科	人間生活学部（K）-共通科目-資格科目（外国語）		
学 年	1	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格 共通科目（外国語）の学位授与方針1に該当。

日本語能力試験N1の合格を目指す、対策講座で、試験科目のうち、「読解」に特化して学習します。授業は演習形式で進めていき、繰り返し受講が可能です。また、この科目は対策講座の「応用クラス」で、履修についてはクラス分け試験の結果によります。

科目の概要

毎回、さまざまな出題形式から問題を選び、実戦形式で授業を進めます。また、前期・後期・「基礎クラス」・「発展クラス」では学期ごとに内容が変わりますので、繰り返し受講を行っても内容は重複しません。

学修目標

この授業を修了するためには、授業前、および授業中に提示される問題をこなし、その場で定着させることを目指していきます。

- 1 授業に出席し、問題となる課題について講義を受ける。
- 2 課題の理解を深めるため、予習、復習は怠らない。
- 3 課題で誤った項目を、再び誤らないよう努める。

内容

第1回 授業のガイダンス・日本語能力試験受験レベルの測定

第2回～14回

【読解】学習項目

内容理解（短文）

内容理解（中文）

統合理解

主張理解（長文）

情報検索

第15回 まとめ

評価

平常点（毎回の授業で指示する課題の完成・授業への参加度）：40% 筆記試験：60% とし、総合評価60点以上を合格とする。合格点に達しなかった場合は、再試験を行う。 フィードバック：提出された課題はコメントを記載し、翌週以降に授業内で返却する。

授業外学習

【事前準備】各回の読解資料について、進出語彙や表現文型について使い方を調べ、ノートにまとめる。

【事後学修】各回に提示された読解資料について、学習した語彙、表現文型をノートにまとめ、設問について解答を自分のことばでまとめる。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】第1回授業で指示します。

科目名	日本語能力試験対策講座（読解）		
担当教員名	安恒 佳代子		
ナンバリング	KKc233		
学 科	人間生活学部（K）-共通科目-資格科目（外国語）		
学 年	1	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格 共通科目（外国語）の学位授与方針1に該当。

日本語能力試験N1の合格を目指す、対策講座で、試験科目のうち、「読解」に特化して学習します。授業は演習形式で進めていき、繰り返し受講が可能です。また、この科目は対策講座の「基礎クラス」で、履修についてはクラス分け試験の結果によります。

科目の概要

毎回、さまざまな出題形式から問題を選び、実戦形式で授業を進めます。また、前期・後期・「基礎クラス」・「発展クラス」では学期ごとに内容が変わりますので、繰り返し受講を行っても内容は重複しません。

学修目標

この授業を修了するためには、授業前、および授業中に提示される問題をこなし、その場で定着させることを目指していきます。

- 1 授業に出席し、問題となる課題について講義を受ける。
- 2 課題の理解を深めるため、予習、復習は怠らない。
- 3 課題で誤った項目を、再び誤らないよう努める。

内容

第1回 授業のガイダンス・日本語能力試験受験レベルの測定

第2回～14回

【読解】学習項目

内容理解（短文）

内容理解（中文）

統合理解

主張理解（長文）

情報検索

第15回 まとめ

評価

平常点（毎回の授業で指示する課題の完成・授業への参加度）：40% 筆記試験：60% とし、総合評価60点以上を合格とする。合格点に達しなかった場合は、再試験を行う。 フィードバック：提出された課題はコメントを記載し、翌週以降に授業内で返却する。

授業外学習

【事前準備】各回の読解資料について、新出語彙や表現文型について使い方を調べ、ノートにまとめる。

【事後学修】各回に提示された読解資料について、学習した語彙、表現文型をノートにまとめ、設問について解答を自分のことばでまとめる。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】第1回授業で指示します。

科目名	日本語能力試験対策講座（読解）		
担当教員名	小笠原 典子		
ナンバリング	KKc233		
学 科	人間生活学部（K）-共通科目-資格科目（外国語）		
学 年	1	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格 共通科目（外国語）の学位授与方針1に該当。

日本語能力試験N1の合格を目指す、対策講座で、試験科目のうち、「読解」に特化して学習します。授業は演習形式で進めていき、繰り返し受講が可能です。また、この科目は対策講座の「応用クラス」で、履修についてはクラス分け試験の結果によります。

科目の概要

毎回、さまざまな出題形式から問題を選び、実戦形式で授業を進めます。また、前期・後期・「基礎クラス」・「発展クラス」では学期ごとに内容が変わりますので、繰り返し受講を行っても内容は重複しません。

学修目標

この授業を修了するためには、授業前、および授業中に提示される問題をこなし、その場で定着させることを目指していきます。

- 1 授業に出席し、問題となる課題について講義を受ける。
- 2 課題の理解を深めるため、予習、復習は怠らない。
- 3 課題で誤った項目を、再び誤らないよう努める。

内容

第1回 授業のガイダンス・日本語能力試験受験レベルの測定

第2回～14回

【読解】学習項目

内容理解（短文）

内容理解（中文）

統合理解

主張理解（長文）

情報検索

第15回 まとめ

評価

平常点（毎回の授業で指示する課題の完成・授業への参加度）：40% 筆記試験：60% とし、総合評価60点以上を合格とする。合格点に達しなかった場合は、再試験を行う。 フィードバック：提出された課題はコメントを記載し、翌週以降に授業内で返却する。

授業外学習

【事前準備】各回の読解資料について、進出語彙や表現文型について使い方を調べ、ノートにまとめる。

【事後学修】各回に提示された読解資料について、学習した語彙、表現文型をノートにまとめ、設問について解答を自分のことばでまとめる。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】第1回授業で指示します。

科目名	日本語能力試験対策講座（読解）		
担当教員名	安恒 佳代子		
ナンバリング	KKc233		
学 科	人間生活学部（K）-共通科目-資格科目（外国語）		
学 年	1	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格 共通科目（外国語）の学位授与方針1に該当。

日本語能力試験N1の合格を目指す、対策講座で、試験科目のうち、「読解」に特化して学習します。授業は演習形式で進めていき、繰り返し受講が可能です。また、この科目は対策講座の「基礎クラス」で、履修についてはクラス分け試験の結果によります。

科目の概要

毎回、さまざまな出題形式から問題を選び、実戦形式で授業を進めます。また、前期・後期・「基礎クラス」・「発展クラス」では学期ごとに内容が変わりますので、繰り返し受講を行っても内容は重複しません。

学修目標

この授業を修了するためには、授業前、および授業中に提示される問題をこなし、その場で定着させることを目指していきます。

- 1 授業に出席し、問題となる課題について講義を受ける。
- 2 課題の理解を深めるため、予習、復習は怠らない。
- 3 課題で誤った項目を、再び誤らないよう努める。

内容

第1回 授業のガイダンス・日本語能力試験受験レベルの測定

第2回～14回

【読解】学習項目

内容理解（短文）

内容理解（中文）

統合理解

主張理解（長文）

情報検索

第15回 まとめ

評価

平常点（毎回の授業で指示する課題の完成・授業への参加度）：40% 筆記試験：60% とし、総合評価60点以上を合格とする。合格点に達しなかった場合は、再試験を行う。 フィードバック：提出された課題はコメントを記載し、翌週以降に授業内で返却する。

授業外学習

【事前準備】各回の読解資料について、進出語彙や表現文型について使い方を調べ、ノートにまとめる。

【事後学修】各回に提示された読解資料について、学習した語彙、表現文型をノートにまとめ、設問について解答を自分のことばでまとめる。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】第1回授業で指示します。

科目名	身体運動		
担当教員名	扇原 淳		
ナンバリング	KKb123		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 身体運動		
学 年	1	ク ラ ス	FAクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	1
資 格 関 係	保育士資格 / 健康運動実践指導者 / 高等学校教諭一種免許状 (情報) / 高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語) / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 栄養教諭二種免許状 / 小学校教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (国語) / 高等学校教諭一種免許状 (国語) / 中学校教諭一種免許状 (保健体育) / 高等学校教諭一種免許状 (保健体育)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

人間生活学部の共通科目、保健体育領域の学位授与方針1に該当します。

この授業は、生涯を通じた健康づくりとしてのスポーツの楽しみ方とその方法について学習します。また、一部健康運動実践指導者受験資格取得のために必要な授業内容です。

科目の概要

様々なスポーツ種目を通して、自分の体をコントロールする感覚を、五感 (嗅覚、視覚、触覚、聴覚、そして、「スポーツの楽しさ・仲間と一緒に汗を流す楽しさを味わう」という意味での味覚) すべてで感じることを大切にします。加えて、仲間づくりやチームづくりの手段と方法について学習します。

受講生が、スポーツを通じて「自分が楽しく、みんなが楽しく」なる時間・空間・仲間づくりが実践できるようになることを最終的な目標とします。

学修目標 (= 到達目標)

- ・ストレッチ運動の目的、安全性、指導方法および指導上の問題点を理解できる。
- ・各種運動方法・種目の特性を理解し、実践できる。

内容

1. ウォームアップとクールダウン (目的・効果・実際)
2. 体操ストレッチの目的とその種類 (含むSAQトレーニング)
3. ストレッチ (ストレッチの安全性)
4. ストレッチ (身体各部位のストレッチ)
5. ストレッチ (ストレッチ指導上の問題点)
6. ティーボール (1)
7. ティーボール (2)
8. ティーボール (3)
9. バレーボール (1)
10. バレーボール (2)
11. バレーボール (3)
12. バスケットボール (1)
13. バスケットボール (2)
14. バスケットボール (3)
15. 全体のまとめとフィードバック

評価

平常点：80%（参加点が基本。時間厳守。20分以上の遅刻は欠席） レポート：20% とし、総合評価60点以上を合格とする。

【フィードバック】「リアクションペーパーを確認し、コメントを翌週以降に返却する」

授業外学習

【事前準備】各種運動方法・種目を事前に調べておく。

【事後学修】各種運動方法・種目を事後にまとめておく。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書は使用せず

科目名	身体運動		
担当教員名	扇原 淳		
ナンバリング	KKb123		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 身体運動		
学 年	1	ク ラ ス	FBクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*, 選必
授 業 形 態		単 位 数	1
資 格 関 係	保育士資格 / 健康運動実践指導者 / 高等学校教諭一種免許状 (情報) / 高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語) / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 栄養教諭二種免許状 / 小学校教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (国語) / 高等学校教諭一種免許状 (国語) / 中学校教諭一種免許状 (保健体育) / 高等学校教諭一種免許状 (保健体育)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

人間生活学部の共通科目、保健体育領域の学位授与方針1に該当します。

この授業は、生涯を通じた健康づくりとしてのスポーツの楽しみ方とその方法について学習します。また、一部健康運動実践指導者受験資格取得のために必要な授業内容です。

科目の概要

様々なスポーツ種目を通して、自分の体をコントロールする感覚を、五感 (嗅覚、視覚、触覚、聴覚、そして、「スポーツの楽しさ・仲間と一緒に汗を流す楽しさを味わう」という意味での味覚) すべてで感じることを大切にします。加えて、仲間づくりやチームづくりの手段と方法について学習します。

受講生が、スポーツを通じて「自分が楽しく、みんなが楽しく」なる時間・空間・仲間づくりが実践できるようになることを最終的な目標とします。

学修目標 (= 到達目標)

- ・ストレッチ運動の目的、安全性、指導方法および指導上の問題点を理解できる。
- ・各種運動方法・種目の特性を理解し、実践できる。

内容

1. ウォームアップとクールダウン (目的・効果・実際)
2. 体操ストレッチの目的とその種類 (含むSAQトレーニング)
3. ストレッチ (ストレッチの安全性)
4. ストレッチ (身体各部位のストレッチ)
5. ストレッチ (ストレッチ指導上の問題点)
6. ティーボール (1)
7. ティーボール (2)
8. ティーボール (3)
9. バレーボール (1)
10. バレーボール (2)
11. バレーボール (3)
12. バスケットボール (1)
13. バスケットボール (2)
14. バスケットボール (3)
15. 全体のまとめとフィードバック

評価

平常点：80%（参加点が基本。時間厳守。20分以上の遅刻は欠席） レポート：20% とし、総合評価60点以上を合格とします。

【フィードバック】リアクションペーパーを確認し、コメントを翌週以降に返却します。

授業外学習

【事前準備】各種運動方法・種目を事前に調べておく。

【事後学修】各種運動方法・種目を事後にまとめておく。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書は使用せず

科目名	身体運動		
担当教員名	扇原 淳		
ナンバリング	KKb123		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 身体運動		
学 年	1	ク ラ ス	FCクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	1
資 格 関 係	保育士資格 / 健康運動実践指導者 / 高等学校教諭一種免許状 (情報) / 高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語) / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 栄養教諭二種免許状 / 小学校教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (国語) / 高等学校教諭一種免許状 (国語) / 中学校教諭一種免許状 (保健体育) / 高等学校教諭一種免許状 (保健体育)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

人間生活学部の共通科目、保健体育領域の学位授与方針1に該当します。

この授業は、生涯を通じた健康づくりとしてのスポーツの楽しみ方とその方法について学習します。また、一部健康運動実践指導者受験資格取得のために必要な授業内容です。

科目の概要

様々なスポーツ種目を通して、自分の体をコントロールする感覚を、五感 (嗅覚、視覚、触覚、聴覚、そして、「スポーツの楽しさ・仲間と一緒に汗を流す楽しさを味わう」という意味での味覚) すべてで感じることを大切にします。加えて、仲間づくりやチームづくりの手段と方法について学習します。

受講生が、スポーツを通じて「自分が楽しく、みんなが楽しく」なる時間・空間・仲間づくりが実践できるようになることを最終的な目標とします。

学修目標 (= 到達目標)

- ・ストレッチ運動の目的、安全性、指導方法および指導上の問題点を理解できる。
- ・各種運動種目の特性を理解し、実践できる。

内容

1. ウォームアップとクールダウン (目的・効果・実際)
2. 体操ストレッチの目的とその種類 (含むSAQトレーニング)
3. ストレッチ (ストレッチの安全性)
4. ストレッチ (身体各部位のストレッチ)
5. ストレッチ (ストレッチ指導上の問題点)
6. ティーボール (1)
7. ティーボール (2)
8. ティーボール (3)
9. バレーボール (1)
10. バレーボール (2)
11. バレーボール (3)
12. バスケットボール (1)
13. バスケットボール (2)
14. バスケットボール (3)
15. 全体のまとめとフィードバック

評価

平常点：80%（参加点が基本。時間厳守。20分以上の遅刻は欠席） レポート：20% とし、総合評価60点以上を合格とします。

【フィードバック】リアクションペーパーを確認し、コメントを翌週以降に返却します。

授業外学習

【事前準備】各種運動方法・種目を事前に調べておく。

【事後学修】各種運動方法・種目を事後にまとめておく。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書は使用せず

科目名	身体運動		
担当教員名	山本 悟		
ナンバリング	KKb123		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 身体運動		
学 年	1	ク ラ ス	BAクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*, 選必
授 業 形 態		単 位 数	1
資 格 関 係	保育士資格 / 健康運動実践指導者 / 高等学校教諭一種免許状(情報) / 高等学校教諭一種免許状(英語) / 中学校教諭一種免許状(英語) / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 栄養教諭二種免許状 / 小学校教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状(保健) / 中学校教諭一種免許状(保健) / 中学校教諭一種免許状(国語) / 高等学校教諭一種免許状(国語) / 中学校教諭一種免許状(保健体育) / 高等学校教諭一種免許状(保健体育)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

共通科目の学位授与方針 1 . に該当する。

本科目は共通科目保健体育の教育課程編成・実施方針 1 . 2 . 3 を踏まえ、体育の実技科目を通して、受講生それぞれがコミュニケーションを図るとともに、大学や学科への帰属意識を高め、4年間の学園生活に臨む修学態度の基礎を養うことを支援する。体育の実技科目であるが、教員免許取得に関する必修科目のため、児童教育学科対象クラスは小学校体育科運動教材の学び直しも行う。

科目の概要

1年次前期に学科クラスごとに履修し、2～5週を単位に数種類の体育実技を行う。協働型および競争型のスポーツやレクリエーション活動を織り交ぜ、入学直後の学生が学科内の交流を深める機会を提供する。

学修目標

- 1) 身体を動かすことの楽しさを体感し、身体技能や体力の維持・向上を図る。
- 2) 自らと他者の身体についての気づきを深め、理解するとともに、言葉で表現することができる。
- 3) 小・中・高校と学習してきた「体育」という教科についての考え方を振り返る。

内容

天候や授業の進度に応じて、グラウンドと体育館(アリーナ)とを使い分けて授業を実施するため、グラウンド用と体育館用の2種類の靴を用意すること。見学者も運動着に着替えて出席する。

毎時間、授業ノート(ルーズリーフ不可)と筆記具を用意すること。

1	オリエンテーション(グループ作り・授業概要説明・長なわとび)
2	長なわとび (8の字とび: かぶりとび&むかえとび、ダブルダッチ)、マット運動(前転)
3	長なわとび (ダブルダッチ、ひょうたんとび、十字とび)、マット運動(後転)
4	短なわとび(30秒早とび、かえしとび、2重とび)、マット運動(壁逆立ち、側転)
5	卓球 (個人技能練習: サーブ、ラリーの継続)
6	卓球 (トーナメント大会: ダブルス戦)
7	野球型ボール運動 (チーム作り、基本練習)、鉄棒運動(前回り、逆上がり)
8	野球型ボール運動 (チーム練習、練習試合)、鉄棒運動(前回り、逆上がり)
9	ソフトバレーボール (チーム作り、個人技能練習: パス、サーブ)
10	ソフトバレーボール (チーム練習: 連係プレーとスパイク、練習試合)
11	ソフトバレーボール (チーム対抗リーグ戦)
12	長なわパフォーマンス (創作なわとび演技作り)、跳び箱運動(開脚とび)
13	長なわパフォーマンス (創作なわとび演技作り)

14	長なわパフォーマンス（発表会）
15	まとめ

評価

授業への参加度（運動への取組、協働性、意欲と関心）60点、ノート整理（提出2回）20点、試験またはレポート20点による評価を行い、60点以上を合格とする。授業ノートは「毎回の授業内容、活動の記録、運動のコツやポイント、授業の感想」という観点からまとめる。【フィードバック】毎授業の最初に前回授業の確認を行い学習理解を深める。提出したノートはコメントを記載し翌週以降に返却する。

授業外学習

【事前準備】授業で紹介した文献や資料の自主的な講読を行い、授業で取り組む運動やスポーツ種目を理解する（60分）。

【事後学修】毎回の授業内容をノートや学習カードに整理する（60分）。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】プリントを配付する

【推薦書】高橋健夫、他編著『すべての子どもが必ずできる 体育の基本』 学研教育みらい

科目名	身体運動		
担当教員名	山本 悟		
ナンバリング	KKb123		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 身体運動		
学 年	1	ク ラ ス	BBクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*, 選必
授 業 形 態		単 位 数	1
資 格 関 係	保育士資格 / 健康運動実践指導者 / 高等学校教諭一種免許状(情報) / 高等学校教諭一種免許状(英語) / 中学校教諭一種免許状(英語) / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 栄養教諭二種免許状 / 小学校教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状(保健) / 中学校教諭一種免許状(保健) / 中学校教諭一種免許状(国語) / 高等学校教諭一種免許状(国語) / 中学校教諭一種免許状(保健体育) / 高等学校教諭一種免許状(保健体育)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

共通科目の学位授与方針 1 . に該当する。

本科目は共通科目保健体育の教育課程編成・実施方針 1 . 2 . 3 を踏まえ、体育の実技科目を通して、受講生それぞれがコミュニケーションを図るとともに、大学や学科への帰属意識を高め、4年間の学園生活に臨む修学態度の基礎を養うことを支援する。体育の実技科目であるが、教員免許取得に関する必修科目のため、児童教育学科対象クラスは小学校体育科運動教材の学び直しも行う。

科目の概要

1年次前期に学科クラスごとに履修し、2～5週を単位に数種類の体育実技を行う。協働型および競争型のスポーツやレクリエーション活動を織り交ぜ、入学直後の学生が学科内の交流を深める機会を提供する。

学修目標

- 1) 身体を動かすことの楽しさを体感し、身体技能や体力の維持・向上を図る。
- 2) 自らと他者の身体についての気づきを深め、理解するとともに、言葉で表現することができる。
- 3) 小・中・高校と学習してきた「体育」という教科についての考え方を振り返る。

内容

天候や授業の進度に応じて、グラウンドと体育館(アリーナ)とを使い分けて授業を実施するため、グラウンド用と体育館用の2種類の靴を用意すること。見学者も運動着に着替えて出席する。

毎時間、授業ノート(ルーズリーフ不可)と筆記具を用意すること。

1	オリエンテーション(グループ作り・授業概要説明・長なわとび)
2	長なわとび (8の字とび: かぶりとび&むかえとび、ダブルダッチ)、マット運動(前転)
3	長なわとび (ダブルダッチ、ひょうたんとび、十字とび)、マット運動(後転)
4	短なわとび(30秒早とび、かえしとび、2重とび)、マット運動(壁逆立ち、側転)
5	卓球 (個人技能練習: サーブ、ラリーの継続)
6	卓球 (トーナメント大会: ダブルス戦)
7	野球型ボール運動 (チーム作り、基本練習)、鉄棒運動(前回り、逆上がり)
8	野球型ボール運動 (チーム練習、練習試合)、鉄棒運動(前回り、逆上がり)
9	ソフトバレーボール (チーム作り、個人技能練習: パス、サーブ)
10	ソフトバレーボール (チーム練習: 連係プレーとスパイク、練習試合)
11	ソフトバレーボール (チーム対抗リーグ戦)
12	長なわパフォーマンス (創作なわとび演技作り)、跳び箱運動(開脚とび)
13	長なわパフォーマンス (創作なわとび演技作り)

14	長なわパフォーマンス（発表会）
15	まとめ

評価

授業への参加度（運動への取組、協働性、意欲と関心）60点、ノート整理（提出2回）20点、試験またはレポート20点による評価を行い、60点以上を合格とする。授業ノートは「毎回の授業内容、活動の記録、運動のコツやポイント、授業の感想」という観点からまとめる。【フィードバック】毎授業の最初に前回授業の確認を行い学習理解を深める。提出したノートはコメントを記載し翌週以降に返却する。

授業外学習

【事前準備】授業で紹介した文献や資料の自主的な講読を行い、授業で取り組む運動やスポーツ種目を理解する（60分）。

【事後学修】毎回の授業内容をノートや学習カードに整理する（60分）。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】プリントを配付する

【推薦書】高橋健夫、他編著『すべての子どもが必ずできる 体育の基本』 学研教育みらい

科目名	身体運動		
担当教員名	清水 文子		
ナンバリング	KKb123		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 身体運動		
学 年	1	ク ラ ス	GAクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*, 選必
授 業 形 態		単 位 数	1
資 格 関 係	保育士資格 / 健康運動実践指導者 / 高等学校教諭一種免許状 (情報) / 高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語) / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 栄養教諭二種免許状 / 小学校教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (国語) / 高等学校教諭一種免許状 (国語) / 中学校教諭一種免許状 (保健体育) / 高等学校教諭一種免許状 (保健体育)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

共通科目の学位授与方針1. に該当する。体育の実技科目である。

本科目は共通科目保健体育の教育課程編成・実施方針1. 2. 3を踏まえ、身体運動を通して、クラス内のコミュニケーションを図るとともに、大学や学科への帰属意識を高め、4年間の学園生活に臨む修学態度の基礎を養う。

科目の概要

ウォーミングアップにリズムエクササイズを行う他、様々な種目を楽しみながらしっかりと運動量を確保する。

学修目標

1. 「身体を動かすことの楽しさ」を体感するとともに、自らの身体についての気づきを深める。
2. コミュニケーション能力を養い、仲間とともに時間と空間を共有する喜びを感じる心を育てる。
3. スポーツが得意な人は不得意な人のフォローができるように、不得意な人は、苦手意識を克服できるように (無理のない程度に) 努力する。
4. 和やかにかつ前向きに取り組む姿勢を育て、学生生活の活性化および体力増進をはかれるようにする。
5. 卒業しても何らかの身体活動に興味を持てるよう、生涯スポーツへの動機付けとなるようにする。

内容

スポーツを通じた仲間作りを目標に、ニュースポーツをはじめとした様々なレクリエーションスポーツやリズムエクササイズ、球技等を実施する。スポーツの面白さや楽しさを体験するために「気づく」「考える」「工夫する」「話し合う」等を積極的に取り入れ、授業を進めて行く。また、ストレッチ、リズムエクササイズ、マッサージ等は、ウォームアップやクーリングダウンとして毎時取り入れ、爽快感、ストレス解消、気分転換等、スポーツの価値をこころとからだ全体で実感するようにする。

第1週 オリエンテーション (授業のねらい、内容説明、運動調査等)

(w-up リズムエクササイズ、c-dnストレッチは毎回)

第2週? 実技 (コミュニケーションゲーム・ボルトトレーニングなど)

第4週? 実技 (ネット型ゲーム・ゴール型ゲーム等各種競技など)

第11週? 実技 (リズムエクササイズ、ダンス等)

第15週 まとめ

受講者数などにより、内容が変更される場合もある。

運動の際の服、靴などは必ずふさわしいものを着用しなければ出席と認めない。

30分以上遅れた場合は欠席とする。

評価

授業に対する意欲、関心、態度60%、毎回のまとめ記入20%、実技まとめ20%とし、総合評価60点以上を合格とする。

【フィードバック】毎授業の最初に前回授業の質疑に返答し、学習理解を深められるようにする。

授業外学習

【事前予習】競技種目のルールを事前に調べ理解しておくこと。（各授業に対して60分）

【事後学修】毎回の授業内容を振り返り、ノートや学習カードに整理する。（各授業に対して60分）

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

特に指定なし。（必要に応じて推薦書を授業内に紹介）

科目名	身体運動		
担当教員名	清水 文子		
ナンバリング	KKb123		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 身体運動		
学 年	1	ク ラ ス	GBクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*, 選必
授 業 形 態		単 位 数	1
資 格 関 係	保育士資格 / 健康運動実践指導者 / 高等学校教諭一種免許状 (情報) / 高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語) / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 栄養教諭二種免許状 / 小学校教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (国語) / 高等学校教諭一種免許状 (国語) / 中学校教諭一種免許状 (保健体育) / 高等学校教諭一種免許状 (保健体育)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

共通科目の学位授与方針1. に該当する。体育の実技科目である。

本科目は共通科目保健体育の教育課程編成・実施方針1. 2. 3を踏まえ、身体運動を通して、クラス内のコミュニケーションを図るとともに、大学や学科への帰属意識を高め、4年間の学園生活に臨む修学態度の基礎を養う。

科目の概要

ウォーミングアップにリズムエクササイズを行う他、様々な種目を楽しみながらしっかりと運動量を確保する。

学修目標

1. 「身体を動かすことの楽しさ」を体感するとともに、自らの身体についての気づきを深める。
2. コミュニケーション能力を養い、仲間とともに時間と空間を共有する喜びを感じる心を育てる。
3. スポーツが得意な人は不得意な人のフォローができるように、不得意な人は、苦手意識を克服できるように (無理のない程度に) 努力する。
4. 和やかにかつ前向きに取り組む姿勢を育て、学生生活の活性化および体力増進をはかれるようにする。
5. 卒業しても何らかの身体活動に興味を持てるよう、生涯スポーツへの動機付けとなるようにする。

内容

スポーツを通じた仲間作りを目標に、ニュースポーツをはじめとした様々なレクリエーションスポーツやリズムエクササイズ、球技等を実施する。スポーツの面白さや楽しさを体験するために「気づく」「考える」「工夫する」「話し合う」等を積極的に取り入れ、授業を進めて行く。また、ストレッチ、リズムエクササイズ、マッサージ等は、ウォームアップやクーリングダウンとして取り入れ、爽快感、ストレス解消、気分転換等、スポーツの価値をこころとからだ全体で実感するようにする。

第1週 オリエンテーション (授業のねらい、内容説明、運動調査等)

(w-up リズムエクササイズ、c-dnストレッチは毎回)

第2週? 実技 (コミュニケーションゲーム・ボルトレーニングなど)

第4週? 実技 (ネット型ゲーム・ゴール型ゲーム等各種競技など)

第11週? 実技 (リズムエクササイズ、ダンス等)

第15週 まとめ

受講者数などにより、内容が変更される場合もある。

運動の際の服、靴などは必ずふさわしいものを着用しなければ出席と認めない。

30分以上遅れた場合は欠席とする。

評価

授業に対する意欲、関心、態度60%、毎回のまとめ記入20%、実技まとめ20%とし、総合評価60点以上を合格とする。

【フィードバック】毎授業の最初に前回授業の質疑に返答し、学習理解を深められるようにする。

授業外学習

【事前予習】競技種目のルールを事前に調べ理解しておくこと。（各授業に対して60分）

【事後学修】毎回の授業内容を振り返り、ノートや学習カードに整理する。（各授業に対して60分）

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

特に指定なし。（必要に応じて推薦書を授業内に紹介）

科目名	身体運動		
担当教員名	佐藤 典子		
ナンバリング	KKb123		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 身体運動		
学 年	1	ク ラ ス	HAクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	1
資 格 関 係	保育士資格 / 健康運動実践指導者 / 高等学校教諭一種免許状 (情報) / 高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語) / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 栄養教諭二種免許状 / 小学校教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (国語) / 高等学校教諭一種免許状 (国語) / 中学校教諭一種免許状 (保健体育) / 高等学校教諭一種免許状 (保健体育)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

共通科目の学位授与方針1. に該当する体育杭の実技科目である。

本科目は共通科目保健体育の教育課程編成・実技方針1.2.3を踏まえ、身体運動を通し受講生自らが各々にあった身体を動かす楽しさや、クラス内の交流が図れるよう支援をする。

また、健康や体力の増進、技術上達等を各人が体験し生涯スポーツへの橋渡しとなる授業をねらいとする。

科目の概要

様々な種目を楽しみながら実施する。また、女性特有の不快感緩和のため、ピラティス・ストレッチ等コンディショニングを積極的に取り入れていく。

学修目標

- グループ活動の実施 リーダーシップの育成 幅広い交友関係
- 人間性・感受性を豊かにする 学生生活の活性化および活力増進
- 生涯スポーツの動機づけ

内容

スポーツを通してたくさんの仲間をつくることを目標にし、各種スポーツを実施する。
 スポーツの面白さや楽しさを体験するために「気付く」「考える」「工夫する」「話し合う」等を積極的に取り入れ、授業を進める。

またストレッチ、ボディメイクエクササイズもを行い、爽快感、ストレス解消、気分転換、等をこころとからだ全体で実感できるようにする。

第1回 ガイダンス (授業のねらい・内容説明 等) *更衣の必要はありません

第2回 コミュニケーションワーク・からだほぐし運動

第3回 ウォーキングエクササイズ

第4回 ~ 第14回

各種スポーツの実施

(ストレッチ・ボディメイクエクササイズ・ニュースポーツ・バレエ・ボール・バスケットボール・卓球・テニス・

バドミントン・ドッジボール・サッカー・キックベースボール等)

第15回 まとめ

授業内容は当日の天候、施設の状況、受講者数により決定する。

着用する服、靴などは必ずふさわしいものを着用しなければ出席と認めない。

評価

授業に対する意欲・関心・態度60%、毎時間のまとめ20%、本授業のまとめ20%とし、積極的に授業に参加し楽しもうとしている姿勢を重要視する。

また、技能のレベルでの評価はしない。総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】授業で行うスポ - ツの特性やル-ルを事前に調べ理解する(60分)

【事後学修】各自授業内容を記録し、振り返り、整理する(60分)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

教科書は必要としない。

科目名	身体運動		
担当教員名	佐藤 典子		
ナンバリング	KKb123		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 身体運動		
学 年	1	ク ラ ス	HBクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	1
資 格 関 係	保育士資格 / 健康運動実践指導者 / 高等学校教諭一種免許状 (情報) / 高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語) / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 栄養教諭二種免許状 / 小学校教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (国語) / 高等学校教諭一種免許状 (国語) / 中学校教諭一種免許状 (保健体育) / 高等学校教諭一種免許状 (保健体育)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

共通科目の学位授与方針1. に該当する体育杭の実技科目である。

本科目は共通科目保健体育の教育課程編成・実技方針1.2.3を踏まえ、身体運動を通し受講生自らが各々にあった身体を動かす楽しさや、クラス内の交流が図れるよう支援をする。

また、健康や体力の増進、技術上達等を各人が体験し生涯スポーツへの橋渡しとなる授業をねらいとする。

科目の概要

様々な種目を楽しみながら実施する。また、女性特有の不快症状緩和のため、ピラティス・ストレッチ等コンディショニングを積極的に取り入れていく。

学修目標

グループ活動の実施 リーダーシップの育成 幅広い交友関係
 人間性・感受性を豊かにする 学生生活の活性化および活力増進
 生涯スポーツの動機づけ

内容

スポーツを通してたくさんの仲間をつくることを目標にし、各種スポーツを実施する。

スポーツの面白さや楽しさを体験するために「気付く」「考える」「工夫する」「話し合う」等を積極的に取り入れ、授業を進める。

またストレッチ、ボディメイクエクササイズもを行い、爽快感、ストレス解消、気分転換、等をこころとからだ全体で実感できるようにする。

第1回 ガイダンス (授業のねらい・内容説明 等) *更衣の必要はありません

第2回 コミュニケーションワーク・からだほぐし運動

第3回 ウォーキングエクササイズ

第4回 ~ 第14回

各種スポーツの実施

(ストレッチ・ボディメイクエクササイズ・ニュースポーツ・バレエ・ボール・バスケットボール・卓球・テニス・バドミントン・ドッジボール・サッカー・キックベースボール等)

第15回 まとめ

授業内容は当日の天候、施設の状況、受講者数により決定する。

着用する服、靴などは必ずふさわしいものを着用しなければ出席と認めない。

評価

授業に対する意欲・関心・態度60%、毎時間のまとめ20%、本授業のまとめ20%とし、積極的に授業に参加し楽しむ姿勢を重要視する。

また、技能のレベルでの評価はしない。総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】授業で行うスポーツの特性やルールを事前に調べ理解する(60分)

【事後学修】各自授業内容を記録し、振り返り、整理する(60分)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

教科書は必要としない。

科目名	身体運動		
担当教員名	飯田 路佳、若葉 京良、相馬 満利		
ナンバリング	KKb123		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 身体運動		
学 年	1	ク ラ ス	EAクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*, 選必
授 業 形 態		単 位 数	1
資 格 関 係	保育士資格 / 健康運動実践指導者 / 高等学校教諭一種免許状 (情報) / 高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語) / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 栄養教諭二種免許状 / 小学校教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (国語) / 高等学校教諭一種免許状 (国語) / 中学校教諭一種免許状 (保健体育) / 高等学校教諭一種免許状 (保健体育)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格：共通科目の学位授与方針 1 . に該当する。

本科目は共通科目保健体育の教育課程編成・実施方針 1 . 2 . 3 を踏まえ、体育の実技科目を通して、受講生それぞれがコミュニケーションを図るとともに、大学や学科への帰属意識を高め、4 年間の学園生活に臨む修学態度の基礎を養うことを支援する。体育の実技科目であるが、教員免許取得に関する必修科目にもなっている。

科目の概要：1 年次前期に学科クラスごとに履修し、2 ~ 5 週を単位に数種類の体育実技を行う。協働型および競争型のスポーツやレクリエーション活動を織り交ぜ、入学直後の学生が学科内の交流を深める機会を提供する。健康栄養学科の学生を対象に各種スポーツや様々な運動を実際に体験することによって、自分自身の可能性を探り、見つけ、実感し、自信につなげることがこの科目の概要となる。

目標

グループ活動の実施 リーダーシップの育成 幅広い交友関係 人間性・感受性を豊かに 学生生活の活性化および体力増進 生涯スポーツへの動機付け

内容

身体運動Iでは、スポーツを通じた仲間作りを目標に、フライングディスクをはじめとした様々なレクリエーションスポーツやリズムエクササイズ、球技等を実施する。スポーツの面白さや楽しさを体験するために「気付く」「考える」「工夫する」「話し合う」等を積極的に取り入れ、授業を進めていく。またストレッチ、リズムエクササイズ等はウォームアップやクーリングダウンとして毎時取り入れ、爽快感、ストレス解消、気分転換、等スポーツの価値をこころとからだ全体で実感できるようにする。

以下を2クラスに分けて行う予定 (人数により変更する可能性もある)

【飯田・若葉・相馬】

第1週 オリエンテーション 授業のねらい、内容説明、等
(w-upリズムエクササイズ、c-dwnストレッチは毎回)

第2週 体力測定

【飯田】

第3週 ~ 実技 ニュースポーツ(1) はじめて行うルールのボールゲーム、アルティメットなど

第5週 ~ 実技 ダンスエクササイズなど

第8週 発表 ダンスエクササイズの発展形のステップなどで発表を行う

【若葉・相馬】

第9週 ~ 実技 ニュースポーツ(2) はじめて行うルールのボールゲーム、キンボールなど

第15週 まとめ スポーツ大会を企画し、学修の成果を確認する。

受講者数、天候によっては、内容が変更される場合もある。

着用する服、靴などは必ずふさわしいものを着用しなければ出席と認めない。

長髪の場合は髪をまとめるとともに、危険防止のため装飾品は禁止。

自ら前向きに取り組めるような姿勢で臨むこと

評価

平常点(授業に対する意欲、関心、態度を含む)60%、毎回のまとめ(振り返りシート)20%、実技テスト20%とし、総合的に評価し、6割以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】シラバスを予め確認し、授業で紹介した文献や資料の自主的な講読を行い、授業で取り組む運動やスポーツ種目を理解する(60分)

【事後学修】授業で学修した内容を確認し、指定された様式に従い学修内容をまとめる(60分)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

授業内で適宜指示する

科目名	身体運動		
担当教員名	飯田 路佳、若葉 京良、相馬 満利		
ナンバリング	KKb123		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 身体運動		
学 年	1	ク ラ ス	EBクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*, 選必
授 業 形 態		単 位 数	1
資 格 関 係	保育士資格 / 健康運動実践指導者 / 高等学校教諭一種免許状(情報) / 高等学校教諭一種免許状(英語) / 中学校教諭一種免許状(英語) / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 栄養教諭二種免許状 / 小学校教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状(保健) / 中学校教諭一種免許状(保健) / 中学校教諭一種免許状(国語) / 高等学校教諭一種免許状(国語) / 中学校教諭一種免許状(保健体育) / 高等学校教諭一種免許状(保健体育)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格：共通科目の学位授与方針 1 . に該当する。

本科目は共通科目保健体育の教育課程編成・実施方針 1 . 2 . 3 を踏まえ、体育の実技科目を通して、受講生それぞれがコミュニケーションを図るとともに、大学や学科への帰属意識を高め、4年間の学園生活に臨む修学態度の基礎を養うことを支援する。体育の実技科目であるが、教員免許取得に関する必修科目にもなっている。

科目の概要：1年次前期に学科クラスごとに履修し、2～5週を単位に数種類の体育実技を行う。協働型および競争型のスポーツやレクリエーション活動を織り交ぜ、入学直後の学生が学科内の交流を深める機会を提供する。健康栄養学科の学生を対象に各種スポーツや様々な運動を実際に体験することによって、自分自身の可能性を探り、見つけ、実感し、自信につなげることがこの科目の概要となる。

目標

グループ活動の実施 リーダーシップの育成 幅広い交友関係 人間性・感受性を豊かに 学生生活の活性化および体力増進 生涯スポーツへの動機付け

内容

身体運動Iでは、スポーツを通じた仲間作りを目標に、フライングディスクをはじめとした様々なレクリエーションスポーツやリズムエクササイズ、球技等を実施する。スポーツの面白さや楽しさを体験するために「気付く」「考える」「工夫する」「話し合う」等を積極的に取り入れ、授業を進めていく。またストレッチ、リズムエクササイズ等はウォームアップやクーリングダウンとして毎時取り入れ、爽快感、ストレス解消、気分転換、等スポーツの価値をこころとからだ全体で実感できるようにする。

以下を2クラスに分けて行う予定(人数により変更する可能性もある)

【飯田・若葉・相馬】

第1週 オリエンテーション 授業のねらい、内容説明、等
(w-upリズムエクササイズ、c-dwnストレッチは毎回)

第2週 体力測定

【飯田】

第3週～ 実技 ニュースポーツ(1) はじめて行うルールのボールゲーム、アルティメットなど

第5週～ 実技 ダンスエクササイズなど

第8週 発表 ダンスエクササイズの発展形のステップなどで発表を行う

【若葉・相馬】

第9週～ 実技 ニュースポーツ(2) はじめて行うルールのボールゲーム、キンボールなど

第15週 まとめ スポーツ大会を企画し、学修の成果を確認する。

受講者数、天候によっては、内容が変更される場合もある。

着用する服、靴などは必ずふさわしいものを着用しなければ出席と認めない。

長髪の場合は髪をまとめるとともに、危険防止のため装飾品は禁止。

自ら前向きに取り組めるような姿勢で臨むこと

評価

平常点(授業に対する意欲、関心、態度を含む)60%、毎回のまとめ(振り返りシート)20%、実技テスト20%とし、総合的に評価し、6割以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】シラバスを予め確認し、授業で紹介した文献や資料の自主的な講読を行い、授業で取り組む運動やスポーツ種目を理解する(60分)

【事後学修】授業で学修した内容を確認し、指定された様式に従い学修内容をまとめる(60分)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

授業内で適宜指示する

科目名	身体運動		
担当教員名	平田 智秋		
ナンバリング	KKb123		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 身体運動		
学 年	1	ク ラ ス	CAクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*, 選必
授 業 形 態		単 位 数	1
資 格 関 係	保育士資格 / 健康運動実践指導者 / 高等学校教諭一種免許状(情報) / 高等学校教諭一種免許状(英語) / 中学校教諭一種免許状(英語) / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 栄養教諭二種免許状 / 小学校教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状(保健) / 中学校教諭一種免許状(保健) / 中学校教諭一種免許状(国語) / 高等学校教諭一種免許状(国語) / 中学校教諭一種免許状(保健体育) / 高等学校教諭一種免許状(保健体育)		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

人間生活学部の学位授与方針 1, 3 に該当する。

科目の性格

体育の実技科目である。養護教諭免許取得に関する必修科目にもなっている。

身体運動を通じて、クラス内のコミュニケーションを図るとともに、

大学や学科への帰属意識を高め、4年間の学園生活に臨む修学態度の基礎を養う。

科目の概要

1 年次前期に学科クラスごとに履修し、2~5週を単位に数種類の体育実技を行う。協同型および競争型のスポーツやレクリエーション活動を織り交ぜ、学科内の交流を深める機会を提供する。さらに身体を動かして遊ぶことの楽しさを味わい、子どもたちに伝えるための基礎知識も学ぶ。

学修目標

「身体を動かすことの楽しさ」を体感するとともに、自らと他者の身体についての気づきを深める。

また、「できなかったことができるようになる」嬉しさを多く味わう。

これは心理学徒としての態度形成に有効である。

最後に柔軟に「ゲームやルールの工夫」ができることを目標とする。

身体能力に制約があっても、ルールや用具を工夫することで、楽しめるスポーツの種類は広がる。

幅広い人々と身体運動の楽しさを共有できるようなヒントを見つけてほしい。

内容

授業は実技中心です。上手・下手は問いません。自ら進んで身体を動かして下さい。各種目は2~5週ずつ行います。種目ごとに班を変えますので、多くの人と分け隔てなく協力し、友達を増やして下さい。

予定種目(カッコ内は予定回数)：イントロダクション(1)，レクリエーションゲーム(2)，ティーボール(4)，ジャグリング(2)，パレーボール(5)，予備(1)。

天候と進度，人数に応じて授業内容や順序を変更します。天候によってグラウンドか体育館を使いますので，毎週，グラウンド用，体育館用2種類の靴を用意して下さい。また，前後に名前をはっきり書いたゼッケンを毎回着用すること(ゼッケンの作り方を初回授業で案内しますので，2回目の授業までに用意して下さい)。

< 初回授業の案内 >

初回授業はサブアリーナ(記念ホール1F)で行います。運動できる格好で，体育館シューズを用意すること。また，なるべくカラフルな筆記用具を持参して下さい。

評価

初回授業でこの科目のシャトルカードを配布する。これに毎回の実技内容と，自らの気づきを記入し，毎回提出する。シャ

トルカード50%と平常点50%を総合して評価し、合計60%以上を合格とする。平常点では技能レベルや勝敗、記録での評価はしない。欠席が4回を超える場合には評価の対象としない。また遅刻・早退は2回で欠席1回分に数える。体調不良などによる見学は出席とみなすことがある。

授業外学習

【事前予習】十分な睡眠時間を確保し、朝食を摂り、運動できる体調を整えておく（各授業に対して45分）。

【事後学修】実技を通じて体感した「気付き」を書き留め、自らの身体についての理解を深める（各授業に対して15分）。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【推薦書】バーバラ・コナブル 『音楽家ならだれでも知っておきたい「からだ」のこと』 誠信書房

演奏家向けの本ですが、身体が動く仕組みが「図入りで分かりやすく」書いてあります。自分の身体に備わる筋肉と骨格の構造を知るだけでも、運動に対する視点が柔軟になり、自然と自分（と自分の身体）が好きになります。

科目名	身体運動		
担当教員名	平田 智秋		
ナンバリング	KKb123		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 身体運動		
学 年	1	ク ラ ス	CBクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	1
資 格 関 係	保育士資格 / 健康運動実践指導者 / 高等学校教諭一種免許状 (情報) / 高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語) / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 栄養教諭二種免許状 / 小学校教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (国語) / 高等学校教諭一種免許状 (国語) / 中学校教諭一種免許状 (保健体育) / 高等学校教諭一種免許状 (保健体育)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

人間生活学部の学位授与方針 1 , 3 に該当する。

科目の性格

体育の実技科目である。養護教諭免許取得に関する必修科目にもなっている。

身体運動を通じて、クラス内のコミュニケーションを図るとともに、

大学や学科への帰属意識を高め、4年間の学園生活に臨む修学態度の基礎を養う。

科目の概要

1 年次前期に学科クラスごとに履修し、2~5週を単位に数種類の体育実技を行う。協同型および競争型のスポーツやレクリエーション活動を織り交ぜ、学科内の交流を深める機会を提供する。さらに身体を動かして遊ぶことの楽しさを味わい、子どもたちに伝えるための基礎知識も学ぶ。

学修目標

「身体を動かすことの楽しさ」を体感するとともに、自らと他者の身体についての気づきを深める。

また、「できなかったことができるようになる」楽しさを多く味わう。

これは心理学徒としての態度形成に有効である。

最後に柔軟に「ゲームやルールの工夫」ができることを目標とする。

身体能力に制約があっても、ルールや用具を工夫することで、楽しめるスポーツの種類は広がる。

幅広い人々と身体運動の楽しさを共有できるようなヒントを見つけてほしい。

内容

授業は実技中心です。上手・下手は問いません。自ら進んで身体を動かして下さい。各種目は2~5週ずつ行います。種目ごとに班を変えますので、多くの人と分け隔てなく協力し、友達を増やして下さい。

予定種目 (カッコ内は予定回数) : イントロダクション (1) , レクリエーションゲーム (2) , ティーボール (4) , ジャグリング (2) , パレーボール (5) , 予備 (1) 。

天候と進度、人数に応じて授業内容や順序を変更します。天候によってグラウンドか体育館を使いますので、毎週、グラウンド用、体育館用2種類の靴を用意して下さい。また、前後に名前をはっきり書いたゼッケンを毎回着用すること (ゼッケンの作り方を初回授業で案内しますので、2回目の授業までに用意して下さい) 。

< 初回授業の案内 >

初回授業はサブアリーナ (記念ホール 1 F) で行います。運動できる格好で、体育館シューズを用意すること。また、なるべくカラフルな筆記用具を持参して下さい。

評価

初回授業でこの科目のシャトルカードを配布する。これに毎回の実技内容と、自らの気づきを記入し、毎回提出する。シャ

トルカード50%と平常点50%を総合して評価し、合計60%以上を合格とする。平常点では技能レベルや勝敗、記録での評価はしない。欠席が4回を超える場合には評価の対象としない。また遅刻・早退は2回で欠席1回分に数える。体調不良などによる見学は出席とみなすことがある。

授業外学習

【事前予習】十分な睡眠時間を確保し、朝食を摂り、運動できる体調を整えておく（各授業に対して45分）。

【事後学修】実技を通じて体感した「気付き」を書き留め、自らの身体についての理解を深める（各授業に対して15分）。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【推薦書】バーバラ・コナブル 『音楽家ならだれでも知っておきたい「からだ」のこと』 誠信書房

演奏家向けの本ですが、身体が動く仕組みが「図入りで分かりやすく」書いてあります。自分の身体に備わる筋肉と骨格の構造を知るだけでも、運動に対する視点が柔軟になり、自然と自分（と自分の身体）が好きになります。

科目名	身体運動		
担当教員名	渡邊 孝枝、藤生 栄一郎		
ナンバリング	KKb123		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 身体運動		
学 年	1	ク ラ ス	ACクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*, 選必
授 業 形 態		単 位 数	1
資 格 関 係	保育士資格 / 健康運動実践指導者 / 高等学校教諭一種免許状 (情報) / 高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語) / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 栄養教諭二種免許状 / 小学校教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (国語) / 高等学校教諭一種免許状 (国語) / 中学校教諭一種免許状 (保健体育) / 高等学校教諭一種免許状 (保健体育)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

体育の実技科目である。

身体運動を通じて、クラス内のコミュニケーションを図るとともに、大学や学科への帰属意識を高め、4年間の学園生活に臨む修学態度の基礎を養う。

科目の概要

1年次前期に学科クラスごとに履修し、2~5週を単位に数種類の体育実技を行う。

協同型および競争型のスポーツやレクリエーション活動を織り交ぜ、入学直後の学生が学科内の交流を深める機会を提供する。

学修目標

- 1、身体を動かすことの楽しさを感じ、自分や他者のからだについて気づきを深めること。
- 2、仲間との交流を深めながら協働し、協調性を高めること。
- 3、グループ活動においては、経験の有無にかかわらず、皆楽しむことができるように活動のしかたやルールを工夫すること。

幅広い人々と身体運動の楽しさを共有できるようなヒントを見つけてほしい。

内容

授業は実技中心です。上手・下手は問いません。自ら進んで身体を動かして下さい。多くの人と分け隔てなく協力し、友達を増やして下さい。

- 第1週 イントロダクション (渡邊・藤生) @メインアリーナ
 第2週~第8週 レクリエーションとダンス (渡邊) @サブアリーナ
 第9週~第15週 バレーボールを中心とした球技各種 (藤生) @メインアリーナ

天候と進度、人数に応じて授業内容や順序を変更します。

ゼッケン着用 (ゼッケンの作り方は初回授業で案内しますので、2回目の授業までに用意してください。)

第8週と第9週の間で担当教員が変わります。

グラウンドを使用することもありますので、前の週の指示に従い靴の用意をしてください。

< 初回授業の案内 >

運動できる格好で、体育館シューズを用意してください。

評価

平常点：授業への参加度 (運動への取組み、積極性など) 60点、コメント表20点、実技のまとめ20点として、総合的

に評価。60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】 十分な睡眠時間を確保し、朝食を摂り、運動できる体調を整えておく。

【事後学修】 継続可能な運動を見つけ、生き生きと学生生活を送るための体づくりを日々心がけること。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

特に指定なし（必要に応じて推薦書を授業内に紹介）

科目名	身体運動		
担当教員名	渡邊 孝枝、藤生 栄一郎		
ナンバリング	KKb123		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 身体運動		
学 年	1	ク ラ ス	ADクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*, 選必
授 業 形 態		単 位 数	1
資 格 関 係	保育士資格 / 健康運動実践指導者 / 高等学校教諭一種免許状(情報) / 高等学校教諭一種免許状(英語) / 中学校教諭一種免許状(英語) / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 栄養教諭二種免許状 / 小学校教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状(保健) / 中学校教諭一種免許状(保健) / 中学校教諭一種免許状(国語) / 高等学校教諭一種免許状(国語) / 中学校教諭一種免許状(保健体育) / 高等学校教諭一種免許状(保健体育)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

人間生活学部の共通科目である保健体育領域の学位授与方針 1 に該当する、体育の実技科目である。

身体運動を通じて、クラス内のコミュニケーションを図るとともに、大学や学科への帰属意識を高め、4年間の学園生活に臨む修学態度の基礎を養う。

科目の概要

1年次前期に学科クラスごとに履修し、2~5週を単位に数種類の体育実技を行う。

協同型および競争型のスポーツやレクリエーション活動を織り交ぜ、入学直後の学生が学科内の交流を深める機会を提供する。

学修目標

- 1、身体を動かすことの楽しさを感じ、自分や他者のからだについて気づきを深めること。
- 2、仲間との交流を深めながら協働し、協調性を高めること。
- 3、グループ活動においては、経験の有無にかかわらず、皆楽しむことができるように活動のしかたやルールを工夫すること。

幅広い人々と身体運動の楽しさを共有できるようなヒントを見つけてほしい。

内容

授業は実技中心です。上手・下手は問いません。自ら進んで身体を動かして下さい。多くの人と分け隔てなく協力し、友達を増やして下さい。

第1週 イン트로ダクション(渡邊・藤生)@メインアリーナ

第2週~第8週 レクリエーションとダンス(渡邊)@サブアリーナ

第9週~第15週 パレーボールを中心とした球技各種(藤生)@メインアリーナ

天候と進度、人数に応じて授業内容や順序を変更します。

ゼッケン着用(ゼッケンの作り方は初回授業で案内しますので、2回目の授業までに用意してください。)

第8週と第9週の間で担当教員が変わります。

グラウンドを使用することもありますので、前の週の指示に従い靴の用意をしてください。

<初回授業の案内>

運動できる格好で、体育館シューズを用意してください。

評価

平常点：授業への参加度(運動への取り組み、積極性など)60点、コメント表20点、実技のまとめ20点として、総合的

に評価。60点以上を合格とする。

【フィードバック】コメント表を確認し、質問等への回答を記載した上で翌週以降に返却する。

授業外学習

【事前予習】 十分な睡眠時間を確保し、朝食を摂り、運動できる体調を整えておく。

【事後学修】 継続可能な運動を見つけ、生き生きと学生生活を送るための体づくりを日々心がけること。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

特に指定なし（必要に応じて推薦書を授業内に紹介）

科目名	身体運動		
担当教員名	渡邊 孝枝、藤生 栄一郎		
ナンバリング	KKb123		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 身体運動		
学 年	1	ク ラ ス	AAクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*, 選必
授 業 形 態		単 位 数	1
資 格 関 係	保育士資格 / 健康運動実践指導者 / 高等学校教諭一種免許状 (情報) / 高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語) / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 栄養教諭二種免許状 / 小学校教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (国語) / 高等学校教諭一種免許状 (国語) / 中学校教諭一種免許状 (保健体育) / 高等学校教諭一種免許状 (保健体育)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

人間生活学部の共通科目である保健体育領域の学位授与方針 1 に該当する、体育の実技科目である。

身体運動を通じて、クラス内のコミュニケーションを図るとともに、大学や学科への帰属意識を高め、4年間の学園生活に臨む修学態度の基礎を養う。

科目の概要

1年次前期に学科クラスごとに履修し、2~5週を単位に数種類の体育実技を行う。

協同型および競争型のスポーツやレクリエーション活動を織り交ぜ、入学直後の学生が学科内の交流を深める機会を提供する。

学修目標

- 1、身体を動かすことの楽しさを感じ、自分や他者のからだについて気づきを深めること。
- 2、仲間との交流を深めながら協働し、協調性を高めること。
- 3、グループ活動においては、経験の有無にかかわらず、皆楽しむことができるように活動のしかたやルールを工夫すること。

幅広い人々と身体運動の楽しさを共有できるようなヒントを見つけてほしい。

内容

授業は実技中心です。上手・下手は問いません。自ら進んで身体を動かして下さい。多くの人と分け隔てなく協力し、友達を増やして下さい。

第1週 イン트로ダクション (渡邊・藤生) @メインアリーナ

第2週~第8週 バレーボールを中心とした球技各種 (藤生) @メインアリーナ

第9週~第15週 レクリエーションとダンス (渡邊) @サブアリーナ

天候と進度、人数に応じて授業内容や順序を変更します。

ゼッケン着用 (ゼッケンの作り方は初回授業で案内しますので、2回目の授業までに用意してください。)

第8週と第9週の間で担当教員が変わります。

グラウンドを使用することもありますので、前の週の指示に従い靴の用意をしてください。

< 初回授業の案内 >

運動できる格好で、体育館シューズを用意してください。

評価

平常点：授業への参加度 (運動への取組み、積極性など) 60点、コメント表20点、実技のまとめ20点として、総合的

に評価。60点以上を合格とする。

【フィードバック】コメント表を確認し、質問等への回答を記載した上で翌週以降に返却する。

授業外学習

【事前予習】 十分な睡眠時間を確保し、朝食を摂り、運動できる体調を整えておく。

【事後学修】 継続可能な運動を見つけ、生き生きと学生生活を送るための体づくりを日々心がけること。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

特に指定なし（必要に応じて推薦書を授業内に紹介）

科目名	身体運動		
担当教員名	渡邊 孝枝、藤生 栄一郎		
ナンバリング	KKb123		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 身体運動		
学 年	1	ク ラ ス	ABクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*, 選必
授 業 形 態		単 位 数	1
資 格 関 係	保育士資格 / 健康運動実践指導者 / 高等学校教諭一種免許状 (情報) / 高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語) / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 栄養教諭二種免許状 / 小学校教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (国語) / 高等学校教諭一種免許状 (国語) / 中学校教諭一種免許状 (保健体育) / 高等学校教諭一種免許状 (保健体育)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

人間生活学部の共通科目である保健体育領域の学位授与方針 1 に該当する、体育の実技科目である。

身体運動を通じて、クラス内のコミュニケーションを図るとともに、大学や学科への帰属意識を高め、4年間の学園生活に臨む修学態度の基礎を養う。

科目の概要

1年次前期に学科クラスごとに履修し、2~5週を単位に数種類の体育実技を行う。

協同型および競争型のスポーツやレクリエーション活動を織り交ぜ、入学直後の学生が学科内の交流を深める機会を提供する。

学修目標

- 1、身体を動かすことの楽しさを感じ、自分や他者のからだについて気づきを深めること。
- 2、仲間との交流を深めながら協働し、協調性を高めること。
- 3、グループ活動においては、経験の有無にかかわらず、皆楽しむことができるように活動のしかたやルールを工夫すること。

幅広い人々と身体運動の楽しさを共有できるようなヒントを見つけてほしい。

内容

授業は実技中心です。上手・下手は問いません。自ら進んで身体を動かして下さい。多くの人と分け隔てなく協力し、友達を増やして下さい。

第1週 イン트로ダクション (渡邊・藤生) @メインアリーナ

第2週~第8週 バレーボールを中心とした球技各種 (藤生) @メインアリーナ

第9週~第15週 レクリエーションとダンス (渡邊) @サブアリーナ

天候と進度、人数に応じて授業内容や順序を変更します。

ゼッケン着用 (ゼッケンの作り方は初回授業で案内しますので、2回目の授業までに用意してください。)

第8週と第9週の間で担当教員が変わります。

グラウンドを使用することもありますので、前の週の指示に従い靴の用意をしてください。

< 初回授業の案内 >

運動できる格好で、体育館シューズを用意してください。

評価

平常点：授業への参加度 (運動への取組み、積極性など) 60点、コメント表20点、実技のまとめ20点として、総合的

に評価。60点以上を合格とする。

【フィードバック】コメント表を確認し、質問等への回答を記載した上で翌週以降に返却する。

授業外学習

【事前予習】 十分な睡眠時間を確保し、朝食を摂り、運動できる体調を整えておく。

【事後学修】 継続可能な運動を見つけ、生き生きと学生生活を送るための体づくりを日々心がけること。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

特に指定なし（必要に応じて推薦書を授業内に紹介）

科目名	身体運動		
担当教員名	清水 文子		
ナンバリング	KKb123		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 身体運動		
学 年	1	ク ラ ス	DAクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*, 選必
授 業 形 態		単 位 数	1
資 格 関 係	保育士資格 / 健康運動実践指導者 / 高等学校教諭一種免許状 (情報) / 高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語) / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 栄養教諭二種免許状 / 小学校教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (国語) / 高等学校教諭一種免許状 (国語) / 中学校教諭一種免許状 (保健体育) / 高等学校教諭一種免許状 (保健体育)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

共通科目の学位授与方針1. に該当する。体育の実技科目である。

本科目は共通科目保健体育の教育課程編成・実施方針1. 2. 3を踏まえ、身体運動を通して、クラス内のコミュニケーションを図るとともに、大学や学科への帰属意識を高め、4年間の学園生活に臨む修学態度の基礎を養う。

科目の概要

ウォーミングアップにリズムエクササイズを行う他、様々な種目を楽しみながらしっかりと運動量を確保する。

学修目標

1. 「身体を動かすことの楽しさ」を体感するとともに、自らの身体についての気づきを深める。
2. コミュニケーション能力を養い、仲間とともに時間と空間を共有する喜びを感じる心を育てる。
3. スポーツが得意な人は不得意な人のフォローができるように、不得意な人は、苦手意識を克服できるように (無理のない程度に) 努力する。
4. 和やかにかつ前向きに取り組む姿勢を育て、学生生活の活性化および体力増進をはかれるようにする。
5. 卒業しても何らかの身体活動に興味を持てるよう、生涯スポーツへの動機付けとなるようにする。

内容

スポーツを通じた仲間作りを目標に、ニュースポーツをはじめとした様々なレクリエーションスポーツやリズムエクササイズ、球技等を実施する。スポーツの面白さや楽しさを体験するために「気づく」「考える」「工夫する」「話し合う」等を積極的に取り入れ、授業を進めて行く。また、ストレッチ、リズムエクササイズ、マッサージ等は、ウォームアップやクーリングダウンとして取り入れ、爽快感、ストレス解消、気分転換等、スポーツの価値をこころとからだ全体で実感するようにする。

第1週 オリエンテーション (授業のねらい、内容説明、運動調査等)

(w-up リズムエクササイズ、c-dnストレッチは毎回)

第2週? 実技 (コミュニケーションゲーム・ボルトトレーニングなど)

第4週? 実技 (ネット型ゲーム・ゴール型ゲーム等各種競技など)

第11週? 実技 (リズムエクササイズ、ダンス等)

第15週 まとめ

受講者数などにより、内容が変更される場合もある。

運動の際の服、靴などは必ずふさわしいものを着用しなければ出席と認めない。

30分以上遅れた場合は欠席とする。

評価

授業に対する意欲、関心、態度60%、毎回のまとめ記入20%、実技まとめ20%とし、総合評価60点以上を合格とする。

【フィードバック】毎授業の最初に前回授業の質疑に返答し、学習理解を深められるようにする。

授業外学習

【事前予習】競技種目のルールを事前に調べ理解しておくこと。（各授業に対して60分）

【事後学修】毎回の授業内容を振り返り、ノートや学習カードに整理する。（各授業に対して60分）

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

特に指定なし（必要に応じて推薦書を授業内に紹介）

科目名	身体運動		
担当教員名	清水 文子		
ナンバリング	KKb123		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 身体運動		
学 年	1	ク ラ ス	DBクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*, 選必
授 業 形 態		単 位 数	1
資 格 関 係	保育士資格 / 健康運動実践指導者 / 高等学校教諭一種免許状 (情報) / 高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語) / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 栄養教諭二種免許状 / 小学校教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (国語) / 高等学校教諭一種免許状 (国語) / 中学校教諭一種免許状 (保健体育) / 高等学校教諭一種免許状 (保健体育)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

共通科目の学位授与方針1. に該当する。体育の実技科目である。

本科目は共通科目保健体育の教育課程編成・実施方針1. 2. 3を踏まえ、身体運動を通して、クラス内のコミュニケーションを図るとともに、大学や学科への帰属意識を高め、4年間の学園生活に臨む修学態度の基礎を養う。

科目の概要

ウォーミングアップにリズムエクササイズを行う他、様々な種目を楽しみながらしっかりと運動量を確保する。

学修目標

1. 「身体を動かすことの楽しさ」を体感するとともに、自らの身体についての気づきを深める。
2. コミュニケーション能力を養い、仲間とともに時間と空間を共有する喜びを感じる心を育てる。
3. スポーツが得意な人は不得意な人のフォローができるように、不得意な人は、苦手意識を克服できるように (無理のない程度に) 努力する。
4. 和やかにかつ前向きに取り組む姿勢を育て、学生生活の活性化および体力増進をはかれるようにする。
5. 卒業しても何らかの身体活動に興味を持てるよう、生涯スポーツへの動機付けとなるようにする。

内容

スポーツを通じた仲間作りを目標に、ニュースポーツをはじめとした様々なレクリエーションスポーツやリズムエクササイズ、球技等を実施する。スポーツの面白さや楽しさを体験するために「気づく」「考える」「工夫する」「話し合う」等を積極的に取り入れ、授業を進めて行く。また、ストレッチ、リズムエクササイズ、マッサージ等は、ウォームアップやクーリングダウンとして取り入れ、爽快感、ストレス解消、気分転換等、スポーツの価値をこころとからだ全体で実感するようにする。

第1週 オリエンテーション (授業のねらい、内容説明、運動調査等)

(w-up リズムエクササイズ、c-dnストレッチは毎回)

第2週? 実技 (コミュニケーションゲーム・ボルトレーニングなど)

第4週? 実技 (ネット型ゲーム・ゴール型ゲーム等各種競技など)

第11週? 実技 (リズムエクササイズ、ダンス等)

第15週 まとめ

受講者数などにより、内容が変更される場合もある。

運動の際の服、靴などは必ずふさわしいものを着用しなければ出席と認めない。

30分以上遅れた場合は欠席とする。

評価

授業に対する意欲、関心、態度60%、毎回のまとめ記入20%、実技まとめ20%とし、総合評価60点以上を合格とする。

【フィードバック】毎授業の最初に前回授業の質疑に返答し、学習理解を深められるようにする。

授業外学習

【事前予習】競技種目のルールを事前に調べ理解しておくこと。（各授業に対して60分）

【事後学修】毎回の授業内容を振り返り、ノートや学習カードに整理する。（各授業に対して60分）

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

特に指定なし（必要に応じて推薦書を授業内で紹介）

科目名	身体運動		
担当教員名	飯田 路佳		
ナンバリング	KKb123		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 身体運動		
学 年	1	ク ラ ス	JAクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*, 選必
授 業 形 態		単 位 数	1
資 格 関 係	保育士資格 / 健康運動実践指導者 / 高等学校教諭一種免許状 (情報) / 高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語) / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 栄養教諭二種免許状 / 小学校教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (国語) / 高等学校教諭一種免許状 (国語) / 中学校教諭一種免許状 (保健体育) / 高等学校教諭一種免許状 (保健体育)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格：共通科目の学位授与方針 1 . に該当する。

本科目は共通科目保健体育の教育課程編成・実施方針 1 . 2 . 3 を踏まえ、体育の実技科目を通して、受講生それぞれがコミュニケーションを図るとともに、大学や学科への帰属意識を高め、4年間の学園生活に臨む修学態度の基礎を養うことを支援する。体育の実技科目であるが、教員免許取得に関する必修科目にもなっている。

科目の概要：1年次前期に学科クラスごとに履修し、2～5週を単位に数種類の体育実技を行う。協働型および競争型のスポーツやレクリエーション活動を織り交ぜ、入学直後の学生が学科内の交流を深める機会を提供する。健康栄養学科の学生を対象に各種スポーツや様々な運動を実際に体験することによって、自分自身の可能性を探り、見つけ、実感し、自信につなげることがこの科目の概要となる。

目標

グループ活動の実施 リーダーシップの育成 幅広い交友関係 人間性・感受性を豊かに 学生生活の活性化および体力増進 生涯スポーツへの動機付け

内容

身体運動Iでは、スポーツを通じた仲間作りを目標に、フライングディスクをはじめとした様々なレクリエーションスポーツやリズムエクササイズ、球技等を実施する。スポーツの面白さや楽しさを体験するために「気付く」「考える」「工夫する」「話し合う」等を積極的に取り入れ、授業を進めていく。またストレッチ、リズムエクササイズ等はウォームアップやクーリングダウンとして毎時取り入れ、爽快感、ストレス解消、気分転換、等スポーツの価値をこころとからだ全体で実感できるようにする。

第1週 オリエンテーション 授業のねらい、内容説明、等
(w-upリズムエクササイズ、c-dwnストレッチは毎回)

第2週 コミュニケーションスポーツ

第3週～ 実技 ニュースポーツ(1) はじめて行うルールのパールゲーム、アルティメットなど

第5週～ 実技 ニュースポーツ(2) はじめて行うルールのパールゲーム、キンボールなど

第8週 実技 自分たちで企画するスポーツ大会など

第9週～ 実技 ダンスエクササイズなど実技

第15週 まとめ 発表 ダンスエクササイズの発展形のステップなどで発表を行う

受講者数、天候によっては、内容が変更される場合もある。

着用する服、靴などは必ずふさわしいものを着用しなければ出席と認めない。

長髪の場合は髪をまとめるとともに、危険防止のため装飾品は禁止。

自ら前向きに取り組めるような姿勢で臨むこと

評価

平常点(授業に対する意欲、関心、態度を含む)60%、毎回のまとめ(振り返りシート)20%、実技テスト20%とし、総合的に評価し、6割以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】シラバスを予め確認し、授業で紹介した文献や資料の自主的な講読を行い、授業で取り組む運動やスポーツ種目を理解する(60分)

【事後学修】授業で学修した内容を確認し、指定された様式に従い学修内容をまとめる(60分)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

授業内で適宜指示する

科目名	身体運動		
担当教員名	飯田 路佳		
ナンバリング	KKb123		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 身体運動		
学 年	1	ク ラ ス	CCクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修* , 選必
授 業 形 態		単 位 数	1
資 格 関 係	保育士資格 / 健康運動実践指導者 / 高等学校教諭一種免許状 (情報) / 高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語) / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 栄養教諭二種免許状 / 小学校教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (国語) / 高等学校教諭一種免許状 (国語) / 中学校教諭一種免許状 (保健体育) / 高等学校教諭一種免許状 (保健体育)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

人間生活学部の学位授与方針 1 , 3 に該当する。

科目の性格

体育の実技科目である。養護教諭免許取得に関する必修科目にもなっている。

身体運動を通じて、クラス内のコミュニケーションを図るとともに、

大学や学科への帰属意識を高め、4年間の学園生活に臨む修学態度の基礎を養う。

科目の概要

1 年次前期に学科クラスごとに履修し、2~5週を単位に数種類の体育実技を行う。協同型および競争型のスポーツやレクリエーション活動を織り交ぜ、学科内の交流を深める機会を提供する。さらに身体を動かして遊ぶことの楽しさを味わい、子どもたちに伝えるための基礎知識も学ぶ。

学修目標

「身体を動かすことの楽しさ」を体感するとともに、自らと他者の身体についての気づきを深める。

また、「できなかったことができるようになる」嬉しさを多く味わう。

これは心理学徒としての態度形成に有効である。

最後に柔軟に「ゲームやルールの工夫」ができることを目標とする。

身体能力に制約があっても、ルールや用具を工夫することで、楽しめるスポーツの種類は広がる。

幅広い人々と身体運動の楽しさを共有できるようなヒントを見つけてほしい。

内容

授業は実技中心です。上手・下手は問いません。自ら進んで身体を動かして下さい。各種目は2~5週ずつ行います。種目ごとに班を変えますので、多くの人と分け隔てなく協力し、友達を増やして下さい。

予定種目 (カッコ内は予定回数) : イントロダクション (1) , レクリエーションゲーム (2) , ティーボール (4) , ジャグリング (2) , パレーボール (5) , 予備 (1) 。

天候と進度、人数に応じて授業内容や順序を変更します。天候によってグラウンドか体育館を使いますので、毎週、グラウンド用、体育館用2種類の靴を用意して下さい。また、前後に名前をはっきり書いたゼッケンを毎回着用すること (ゼッケンの作り方を初回授業で案内しますので、2回目の授業までに用意して下さい) 。

< 初回授業の案内 >

初回授業はサブアリーナ (記念ホール 1 F) で行います。運動できる格好で、体育館シューズを用意すること。また、なるべくカラフルな筆記用具を持参して下さい。

評価

初回授業でこの科目のシャトルカードを配布。これに毎回の実技内容と自らの気付きを記入し毎回提出。次回授業開始時にフィードバック。シャトルカード50%と平常点50%を総合して評価し、合計60%以上を合格。平常点では技能レベルや勝敗、記録での評価はしない。欠席が4回を超える場合には評価の対象としない。また遅刻・早退は2回で欠席1回分。体調不良などによる見学は出席とみなすことがある。

授業外学習

【事前予習】十分な睡眠時間を確保し、朝食を摂り、運動できる体調を整えておく（各授業に対して45分）。

【事後学修】実技を通じて体感した「気付き」を書き留め、自らの身体についての理解を深める（各授業に対して15分）。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】

【推薦書】バーバラ・コナブル 『音楽家ならだれでも知っておきたい「からだ」のこと』 誠信書房
演奏家向けの本ですが、身体が動く仕組みが「図入りで分かりやすく」書いてあります。自分の身体に備わる筋肉と骨格の構造を知るだけでも、運動に対する視点が柔軟になり、自然と自分（と自分の身体）が好きになります。

【参考図書】

科目名	身体運動		
担当教員名	飯田 路佳		
ナンバリング	KKb123		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 身体運動		
学 年	1	ク ラ ス	JBクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	1
資 格 関 係	保育士資格 / 健康運動実践指導者 / 高等学校教諭一種免許状 (情報) / 高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語) / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 栄養教諭二種免許状 / 小学校教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (国語) / 高等学校教諭一種免許状 (国語) / 中学校教諭一種免許状 (保健体育) / 高等学校教諭一種免許状 (保健体育)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格：共通科目の学位授与方針 1 . に該当する。

本科目は共通科目保健体育の教育課程編成・実施方針 1 . 2 . 3 を踏まえ、体育の実技科目を通して、受講生それぞれがコミュニケーションを図るとともに、大学や学科への帰属意識を高め、4 年間の学園生活に臨む修学態度の基礎を養うことを支援する。体育の実技科目であるが、教員免許取得に関する必修科目にもなっている。

科目の概要：1 年次前期に学科クラスごとに履修し、2 ~ 5 週を単位に数種類の体育実技を行う。協働型および競争型のスポーツやレクリエーション活動を織り交ぜ、入学直後の学生が学科内の交流を深める機会を提供する。健康栄養学科の学生を対象に各種スポーツや様々な運動を実際に体験することによって、自分自身の可能性を探り、見つけ、実感し、自信につなげることがこの科目の概要となる。

目標

グループ活動の実施 リーダーシップの育成 幅広い交友関係 人間性・感受性を豊かに 学生生活の活性化および体力増進 生涯スポーツへの動機付け

内容

身体運動Iでは、スポーツを通じた仲間作りを目標に、フライングディスクをはじめとした様々なレクリエーションスポーツやリズムエクササイズ、球技等を実施する。スポーツの面白さや楽しさを体験するために「気付く」「考える」「工夫する」「話し合う」等を積極的に取り入れ、授業を進めていく。またストレッチ、リズムエクササイズ等はウォームアップやクーリングダウンとして毎時取り入れ、爽快感、ストレス解消、気分転換、等スポーツの価値をこころとからだ全体で実感できるようにする。

第1週 オリエンテーション 授業のねらい、内容説明、等
(w-upリズムエクササイズ、c-dwnストレッチは毎回)

第2週 コミュニケーションスポーツ

第3週 ~ 実技 ニュースポーツ(1) はじめて行うルールのパールゲーム、アルティメットなど

第5週 ~ 実技 ニュースポーツ(2) はじめて行うルールのパールゲーム、キンボールなど

第8週 実技 自分たちで企画するスポーツ大会など

第9週 ~ 実技 ダンスエクササイズなど実技

第15週 まとめ 発表 ダンスエクササイズの発展形のステップなどで発表を行う

受講者数、天候によっては、内容が変更される場合もある。

着用する服、靴などは必ずふさわしいものを着用しなければ出席と認めない。

長髪の場合は髪をまとめるとともに、危険防止のため装飾品は禁止。

自ら前向きに取り組めるような姿勢で臨むこと

評価

平常点(授業に対する意欲、関心、態度を含む)60%、毎回のまとめ(振り返りシート)20%、実技テスト20%とし、総合的に評価し、6割以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】シラバスを予め確認し、授業で紹介した文献や資料の自主的な講読を行い、授業で取り組む運動やスポーツ種目を理解する(60分)

【事後学修】授業で学修した内容を確認し、指定された様式に従い学修内容をまとめる(60分)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

授業内で適宜指示する

科目名	身体運動		
担当教員名	清水 文子		
ナンバリング	KKb123		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 身体運動		
学 年	1	ク ラ ス	HCクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*, 選必
授 業 形 態		単 位 数	1
資 格 関 係	保育士資格 / 健康運動実践指導者 / 高等学校教諭一種免許状(情報) / 高等学校教諭一種免許状(英語) / 中学校教諭一種免許状(英語) / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 栄養教諭二種免許状 / 小学校教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状(保健) / 中学校教諭一種免許状(保健) / 中学校教諭一種免許状(国語) / 高等学校教諭一種免許状(国語) / 中学校教諭一種免許状(保健体育) / 高等学校教諭一種免許状(保健体育)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

共通科目の学位授与方針1. に該当する。体育の実技科目である。

本科目は共通科目保健体育の教育課程編成・実施方針1. 2. 3を踏まえ、身体運動を通して、クラス内のコミュニケーションを図るとともに、大学や学科への帰属意識を高め、4年間の学園生活に臨む修学態度の基礎を養う。

科目の概要

ウォーミングアップにリズムエクササイズを行う他、様々な種目を楽しみながらしっかりと運動量を確保する。

学修目標

1. 「身体を動かすことの楽しさ」を体感するとともに、自らの身体についての気づきを深める。
2. コミュニケーション能力を養い、仲間とともに時間と空間を共有する喜びを感じる心を育てる。
3. スポーツが得意な人は不得意な人のフォローができるように、不得意な人は、苦手意識を克服できるように(無理のない程度に)努力する。
4. 和やかにかつ前向きに取り組む姿勢を育て、学生生活の活性化および体力増進をはかれるようにする。
5. 卒業しても何らかの身体活動に興味を持てるよう、生涯スポーツへの動機付けとなるようにする。

内容

スポーツを通じた仲間作りを目標に、ニュースポーツをはじめとした様々なレクリエーションスポーツやリズムエクササイズ、球技等を実施する。スポーツの面白さや楽しさを体験するために「気づく」「考える」「工夫する」「話し合う」等を積極的に取り入れ、授業を進めて行く。また、ストレッチ、リズムエクササイズ、マッサージ等は、ウォームアップやクーリングダウンとして取り入れ、爽快感、ストレス解消、気分転換等、スポーツの価値をこころとからだ全体で実感するようにする。

第1週 オリエンテーション(授業のねらい、内容説明、運動調査等)

(w-up リズムエクササイズ、c-dnストレッチは毎回)

第2週? 実技(コミュニケーションゲーム・ボルトレーニングなど)

第4週? 実技(ネット型ゲーム・ゴール型ゲーム等各種競技など)

第11週? 実技(リズムエクササイズ、ダンス等)

第15週 まとめ

受講者数などにより、内容が変更される場合もある。

運動の際の服、靴などは必ずふさわしいものを着用しなければ出席と認めない。

30分以上遅れた場合は欠席とする。

評価

授業に対する意欲、関心、態度60%、毎回のまとめ記入20%、実技まとめ20%とし、総合評価60点以上を合格とする。

【フィードバック】毎授業の最初に前回授業の質疑に返答し、学習理解を深められるようにする。

授業外学習

【事前予習】競技種目のルールを事前に調べ理解しておくこと。（各授業に対して60分）

【事後学修】毎回の授業内容を振り返り、ノートや学習カードに整理する。（各授業に対して60分）

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

特に指定なし。（必要に応じて推薦書を授業内に紹介）

科目名	身体運動		
担当教員名	飯田 路佳		
ナンバリング	KKb223		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 身体運動		
学 年	1	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*, 選必
授 業 形 態		単 位 数	1
資 格 関 係	保育士資格 / 健康運動実践指導者 / 高等学校教諭一種免許状 (情報) / 高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語) / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 栄養教諭二種免許状 / 小学校教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (国語) / 高等学校教諭一種免許状 (国語) / 中学校教諭一種免許状 (保健体育) / 高等学校教諭一種免許状 (保健体育)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

共通科目の学位授与方針 1 に該当する。本科目は共通科目保健体育の教育課程編成・実施方針 1 . 2 . 3 を踏まえ、体育の実技科目を通して、受講生それぞれが意欲や興味、能力に応じて「身体を動かすことの楽しみ」を見つけることを支援する。学科や学年を超えた多彩なクラス編成が本科目の特徴であり、スポーツや身体運動を通して学科や学年の異なる受講生の交流が深まることを期待している。教員免許や各種資格取得の必修科目である。

科目の概要

リズムエクササイズ (リズムに合わせた運動) を中心とした実技を、3 ~ 5 週を単位に継続的に行う。

学修目標

クラス内での交流を通じて、実技で扱う種目の技能を高め、生涯を通じて運動に親しむ素地を養う。また、自らの意欲・能力に応じた「身体を動かすことの楽しみ」を見つける。

内容

グループワークやディスカッションを取り入れ、

リズムに合わせた運動をだんだんダンス的に動いたり、トレーニング的に動くなどして、からだを引き締めるようにする等、様々なダンス的身体運動へのアプローチをして行く。

第 1 週目 オリエンテーション

第 2 ~ 5 週目 リズムエクササイズ

第 6 ~ 7 週目 トレーニング的エクササイズ

第 8 ~ 10 週目 リズムムーブメント

第 11 ~ 13 週目 ダンスムーブメント

第 14 ~ 15 週目 まとめ

からだの変化も見るために本人の希望により、測定を入れる可能性もある。

着用する服、靴などは必ずふさわしいものを着用しなければ出席と認めない。

長髪の場合は髪をまとめるとともに、危険防止のため装飾品は禁止。

自ら前向きに取り組めるような姿勢で臨むこと

評価

平常点 (授業に対する意欲、関心、態度を含む) 50%、毎回のまとめ記入 20%、実技テスト 30% とし、総合的に評価

し、6割以上を合格とする。忘れものは減点とする。

授業外学習

【事前予習】シラバスを予め確認し、授業で扱う内容の前提となる事項に関連する資料に目を通し、レディネスを高める。
場合によっては動画などの準備や確認も含む（60分）

【事後学修】授業で学修した内容を確認し、指定された様式に従い学修内容をまとめる（60分）

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

授業内で適宜指示する。

科目名	身体運動		
担当教員名	渡邊 孝枝		
ナンバリング	KKb223		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 身体運動		
学 年	1	ク ラ ス	2Eクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修* , 選必
授 業 形 態		単 位 数	1
資 格 関 係	保育士資格 / 健康運動実践指導者 / 高等学校教諭一種免許状 (情報) / 高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語) / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 栄養教諭二種免許状 / 小学校教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (国語) / 高等学校教諭一種免許状 (国語) / 中学校教諭一種免許状 (保健体育) / 高等学校教諭一種免許状 (保健体育)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

人間生活学部の共通科目である保健体育領域の学位授与方針 1 に該当する、体育の実技科目である。
, 受講生それぞれの意欲や興味, 能力に応じた「身体を動かすことの楽しみ」を見つけることを支援する。
学科や学年の枠を超えた多彩なクラス編成で, 身体運動の楽しさを共有する。
身体運動を通じて学科間, 学年間の交流を促す機会にもしたい。

科目の概要

さまざまなダンスやゲームを 3 ~ 5 週を単位に継続的に行う。

学修目標

- 1、クラス内での交流を通じて, 実技で扱う種目の技能を高め, 生涯を通じて運動に親しむ素地を養う。
- 2、自らの意欲・能力に応じた「身体を動かすことの楽しみ」を見つける。

内容

このクラスでは、片時も離れることのできない自分の「からだ」を労りながら、今まで気づかなかった「からだ」の感覚や可能性を探ることを目的とする。

そのためにまず、授業の最初に健やかな「からだ」の土台を作るストレッチングやエクササイズを行った後、さまざまなダンスやゲームを行う。自分の「からだ」への労りや気づきやがて、仲間の「からだ」への労りや気づきへと繋がって行くことを実感して欲しい。

第1週 オリエンテーション (平服 / 筆記用具持参)

第2週 ストレッチング & エクササイズ

第3週 ~ 第4週

レクリエーションゲーム

第5週 ~ 第6週

音楽に合わせてからだを動かそう

第7週 ~ 第8週

あそびからダンスへ

第9週 ~ 第10週

様々な動きからダンスへ

第11週 ~ 第14週

テレビで流れるコマーシャル、映画、音楽など、私たちにとって身近なものの中にダンスがどのような形で存在しているのかを探る。そして、それらをもとに課題を設定し、グループワークや発表などを行う。

第15週 まとめ

評価

平常点50%（グループワークへの貢献、授業に対する積極性、意欲、態度など）、毎回の授業における理解や気づきに関するコメント表の作成及びまとめのレポート50%とし、総合評価60点以上を合格とする。【フィードバック】コメント表を確認し、質問等への回答を記載した上で翌週以降に返却する。

授業外学習

【事前予習】授業で行う創作活動のテーマについて、各自調べておくこと。

【事後学修】授業で行った内容について、各自ノート等に記録を取っておくこと。また、授業内で紹介した映像資料を見ておくこと。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

特に指定なし（必要に応じて推薦書を授業内に紹介）？

科目名	身体運動		
担当教員名	鈴木 康弘		
ナンバリング	KKb223		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 身体運動		
学 年	1	ク ラ ス	2Cクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	1
資 格 関 係	保育士資格 / 健康運動実践指導者 / 高等学校教諭一種免許状(情報) / 高等学校教諭一種免許状(英語) / 中学校教諭一種免許状(英語) / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 栄養教諭二種免許状 / 小学校教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状(保健) / 中学校教諭一種免許状(保健) / 中学校教諭一種免許状(国語) / 高等学校教諭一種免許状(国語) / 中学校教諭一種免許状(保健体育) / 高等学校教諭一種免許状(保健体育)		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

共通科目の学位授与方針 1 に該当する。

本科目は共通科目保健体育の教育課程編成・実施方針 1 . 2 . 3 を踏まえ、体育の実技科目を通して、受講生それぞれが意欲や興味、能力に応じて「身体を動かすことの楽しみ」を見つけることを支援する。学科や学年を超えた多彩なクラス編成が本科目の特徴であり、スポーツや身体運動を通して学科や学年の異なる受講生の交流が深まることを期待している。教員免許や各種資格取得の必修科目である。

科目の概要

ラケットスポーツとして、テニスを 9 回、バドミントンを 6 回の予定で授業を構成しています。テニスではフォアハンドストローク、サーブ、ボレーに関して初歩的な技能を身につけ、最終的にはダブルスのゲームができるようになることを目指します。バドミントンではダブルスゲームの特性を理解し、楽しめるようになることを目指します。

学修目標

1. 仲間との交流を深めながら、協働力や協調性を高めていくこと
2. フォアハンドストローク、サーブ、ボレーの基本的な技能を修得すること
3. ゲームのルールを理解し、テニスやバドミントンのゲーム(ダブルス)ができるようになること

内容	
1	ガイダンス(履修上の諸注意等)・班分け
2	ストロークの基本 ショートコートでのラリー
3	ストロークの基本 サーブ
4	サーブ ボレー
5	サーブ ボレー オールコートでのラリー
6	ボールコントロールとサーブのチェック
7	3対3のゲーム
8	テニスのゲーム(ダブルス)
9	テニスのゲーム(ダブルス)
10	バドミントンのゲーム(ダブルス)
11	バドミントンのゲーム(ダブルス)
12	バドミントンのゲーム(ダブルス)
13	バドミントンのゲーム(ダブルス)
14	バドミントンのゲーム(ダブルス)
15	バドミントンのゲーム(ダブルス)

評価

評価は、運動量及び協働力や協調性の達成度(授業への取り組みで評価、60点)、運動の質(実技チェック:ボールコン

トロールとサーブ、30点)3割、ルールやマナーの理解(10点)の観点から総合的に行います。60点以上を合格とします。

【フィードバック】 授業の最初に前回授業の質疑等に返答し、学習理解を深められるようにする。

授業外学習

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

教科書 特に使用しない

科目名	身体運動		
担当教員名	山本 悟		
ナンバリング	KKb223		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 身体運動		
学 年	1	ク ラ ス	2Kクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	1
資 格 関 係	保育士資格 / 健康運動実践指導者 / 高等学校教諭一種免許状 (情報) / 高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語) / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 栄養教諭二種免許状 / 小学校教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (国語) / 高等学校教諭一種免許状 (国語) / 中学校教諭一種免許状 (保健体育) / 高等学校教諭一種免許状 (保健体育)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

共通科目の学位授与方針 1 . に該当する。

本科目は共通科目保健体育の教育課程編成・実施方針 1 . 2 . 3 を踏まえ、体育の実技科目を通して、受講生それぞれが意欲や興味、能力に応じて「身体を動かすことの楽しみ」を見つけることを支援する。学科や学年を超えた多彩なクラス編成が本科目の特徴であり、スポーツや身体運動を通して学科や学年の異なる受講生の交流が深まることを期待している。教員免許や各種資格取得の必修科目である。

科目の概要

ボールを手や道具で打つ動作を主体にしたスポーツ種目を継続的に実施する。具体的には、ゴルフ・バドミントン・卓球・ソフトバレーボール等を 2 ~ 5 週間を単位にして行う予定である。

学修目標

- 1) クラス内の交流を基盤にして、身体を動かす積極的な姿勢を身につけること
- 2) 自らの意欲・能力に応じて、身体を動かすことの楽しみを見つけ、実技技能を高めること
- 3) 運動を言葉で表現する活動により、スポーツの新しいとらえ方に気づき、理解すること

内容

天候や授業の進度に応じて、グラウンドと体育館 (アリーナ) とを使い分けて授業を実施するため、グラウンド用と体育館用の 2 種類の靴を用意すること。見学者も運動着に着替えて出席すること。

履修人数の上限を40名程度とする。

1	オリエンテーション (運動のできる服装で集合・グループ作り・ゴルフの基本を理解)
2	ゴルフ (個人技能練習 : 小さいスイングで打つ、グリップ)
3	ゴルフ (個人技能練習 : 大きなスイングで打つ)
4	ゴルフ (個人技能練習 : 様々なスイングで打つ・ショートゲームの理解と実践)
5	ゴルフ (ショートゲームの理解と実践)
6	ゴルフ (ショートゲーム大会)
7	卓球 (個人技能練習 : サーブ、ラリーの継続)
8	卓球 (トーナメント大会 : ダブルス戦)
9	火気使用実習
10	ソフトバレーボール (チーム作り、個人技能練習 : パス、サーブ)
11	ソフトバレーボール (スパイク等の連係プレー練習、練習試合)
12	ソフトバレーボール (チーム対抗リーグ戦)
13	バドミントン (チーム作り、個人技能練習 : サーブ、ラリーの継続)
14	バドミントン (ダブルス戦の進め方を理解、練習試合)

評価

授業への参加度（運動への取組、協働性、意欲や関心など）60点、ノートまたは学習カードの整理20点（提出1～2回）およびレポート20点による評価を行い、60点以上を合格とする。【フィードバック】毎授業の最初に前回授業の確認を行い学習理解を深める。提出したノート等はコメントを記載し翌週以降に返却する。

授業外学習

【事前準備】授業で紹介した文献や資料の自主的な講読を行い、授業で取り組むスポーツ種目を理解する（60分）。

【事後学修】毎回の授業内容をノートや学習カードに整理する（60分）。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

特に使用しないが、講義の中で随時、紹介する。

科目名	身体運動		
担当教員名	佐藤 典子		
ナンバリング	KKb223		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 身体運動		
学 年	1	ク ラ ス	2Gクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*, 選必
授 業 形 態		単 位 数	1
資 格 関 係	保育士資格 / 健康運動実践指導者 / 高等学校教諭一種免許状 (情報) / 高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語) / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 栄養教諭二種免許状 / 小学校教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (国語) / 高等学校教諭一種免許状 (国語) / 中学校教諭一種免許状 (保健体育) / 高等学校教諭一種免許状 (保健体育)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

共通科目の学位授与方針1. に該当する。

本科目は共通科目保健体育の教育課程編成・実施方針1.2.3を踏まえ、体育の実技を通して受講生それぞれの意欲や興味、能力に応じた「身体を動かすことの楽しみ」を見つけることを支援する。

そして、学科や学年の枠を超えた多彩なクラス編成で、身体運動の楽しさを共有する。

身体運動を通じて学科間、学年間の交流を促す機会にもしたい。

科目の概要

いろいろなレクリエ-ションゲ-ムやニュー-スポ-ツを体験することができる。また、楽しんでもらうための企画を考えグループで実施・運営する。

学修目標

- ・クラス内での交流を通じて、身体を動かす積極的な姿勢を身に着ける。
- ・自分に合った身体を動かす楽しさを見つけ、生涯を通じて運動を楽しむ素地を養う。
- ・レクリエ-ションの楽しさを他者に支援する基盤を体得する。

内容	
1	ガイダンス (内容・注意事項・評価についての説明) *更衣の必要なし
2	コミュニケーションワ-ク (アイスプレ-キング・ホスピタリティトレ-ニング等)
3	レクリエ-ションゲ-ム
4	レクリエ-ションスポ-ツ * 天候・施設状況・受講生の希望により種目を決める
5	フロアボ-ル
6	フライングディスク
7	スポンジボ-ル
8	キンボ-ル
9	火気取扱い実習
10	グループ活動 (グル-プ分け・企画話し合い・運営準備)
11	受講生考案 レクリエ-ション
12	受講生考案 レクリエ-ション
13	受講生考案 レクリエ-ション
14	受講生考案 レクリエ-ション
15	まとめ

評価

授業に対する意欲・関心・態度60%、毎時の授業のまとめ20%、学生企画評価20%。特に積極的に授業に参加し楽しむ姿勢を重要視します。また、技能レベルでは評価をしない。

総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】授業で行うスポーツの特性やルールを事前に調べておくこと(60分)

【事後学修】各自授業内容を記録し、振り返りをする(60分)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

教科書は必要としない。

科目名	身体運動		
担当教員名	渡邊 孝枝		
ナンバリング	KKb223		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 身体運動		
学 年	1	ク ラ ス	2Lクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	1
資 格 関 係	保育士資格 / 健康運動実践指導者 / 高等学校教諭一種免許状 (情報) / 高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語) / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 栄養教諭二種免許状 / 小学校教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (国語) / 高等学校教諭一種免許状 (国語) / 中学校教諭一種免許状 (保健体育) / 高等学校教諭一種免許状 (保健体育)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

人間生活学部の共通科目である保健体育領域の学位授与方針 1 に該当する、体育の実技科目である。
 受講生それぞれの意欲や興味、能力に応じた「身体を動かすことの楽しみ」を見つけることを支援する。
 学科や学年の枠を超えた多彩なクラス編成で、身体運動の楽しさを共有する。
 身体運動を通じて学科間、学年間の交流を促す機会にもしたい。

科目の概要

さまざまなダンスやゲームを 3 ~ 5 週を単位に継続的に行う。

学修目標

- 1、クラス内での交流を通じて、実技で扱う種目の技能を高め、生涯を通じて運動に親しむ素地を養う。
- 2、自らの意欲・能力に応じた「身体を動かすことの楽しみ」を見つける。

内容

このクラスでは、片時も離れることのできない自分の「からだ」を労りながら、今まで気づかなかった「からだ」の感覚や可能性を探ることを目的とする。

そのためにまず、授業の最初に健やかな「からだ」の土台を作るストレッチングやエクササイズを行った後、さまざまなダンスやゲームを行う。自分の「からだ」への労りや気づきやがて、仲間の「からだ」への労りや気づきへと繋がって行くことを実感して欲しい。

第 1 週 オリエンテーション (平服 / 筆記用具持参)

第 2 週 ストレッチング & エクササイズ

第 3 週 ~ 第 4 週

レクリエーションゲーム

第 5 週 ~ 第 6 週

音楽に合わせてからだを動かそう

第 7 週 ~ 第 8 週

あそびからダンスへ

第 9 週 ~ 第 10 週

様々な動きからダンスへ

第 11 週 ~ 第 14 週

テレビで流れるコマーシャル、映画、音楽など、私たちにとって身近なものの中にダンスがどのような形で存在しているのかを探る。そして、それらをもとに課題を設定し、グループワークや発表などを行う。

第 15 週 まとめ

評価

平常点50%（グループワークへの貢献、授業に対する積極性、意欲、態度など）、毎回の授業における理解や気づきに関するコメント表の作成及びまとめのレポート50%とし、総合評価60点以上を合格とする。【フィードバック】コメント表を確認し、質問等への回答を記載した上で翌週以降に返却する。

授業外学習

【事前予習】授業で行う創作活動のテーマについて、各自調べておくこと。

【事後学修】授業で行った内容について、各自ノート等に記録を取っておくこと。また、授業内で紹介した映像資料を見ておくこと。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

特に指定なし（必要に応じて推薦書を授業内に紹介）？

科目名	身体運動		
担当教員名	清水 文子		
ナンバリング	KKb223		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 身体運動		
学 年	1	ク ラ ス	2Jクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*, 選必
授 業 形 態		単 位 数	1
資 格 関 係	保育士資格 / 健康運動実践指導者 / 高等学校教諭一種免許状 (情報) / 高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語) / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 栄養教諭二種免許状 / 小学校教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (国語) / 高等学校教諭一種免許状 (国語) / 中学校教諭一種免許状 (保健体育) / 高等学校教諭一種免許状 (保健体育)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

共通科目の学位授与方針1. に該当する。体育の実技科目である。

本科目は共通科目保健体育の教育課程編成・実施方針1. 2. 3を踏まえ、身体運動を通して、クラス内のコミュニケーションを図るとともに、大学や学科への帰属意識を高め、4年間の学園生活に臨む修学態度の基礎を養う。受講生それぞれの意欲や興味、能力に応じた「身体を動かすことの楽しみ」を見つけることを支援する。そして学科や学年の枠を超えた多彩なクラス編成で、身体運動の楽しさを共有する。

身体運動を通じて学科間、学年間の交流を促す機会にもしたい。

科目の概要

バスケットボール、ハンドボール、バレーボール、バドミントンなど様々な種目を行う。またゲーム中心で十分な運動量を確保したい。

学修目標

クラス内での交流を通じて、実技で扱う種目の技能を高め、生涯を通じて運動に親しむ素地を養う。

また、自らの意欲・能力に応じた「身体を動かすことの楽しみ」を見つける。

内容

天候や施設状況によって、授業内容が変わることがあります。毎時間感想を記入しそれを元に出席管理を行います。

1	オリエンテーション
2	ボール慣らし、ドッジボール
3	パス・シュート練習、簡易ゲーム (4対4)
4	パス・シュート練習、連携プレーからシュートへの展開簡易ゲーム (5対5)
5	バスケットボール、パス・シュート練習、ゲーム
6	バレーボール、トス・スパイク・サーブ練習、ゲーム
7	バドミントン (シングル)、ラリー・サーブ練習、ゲーム
8	バドミントン (ダブルス)、ラリー・サーブ練習、ゲーム
9	火気取扱演習
10	テーブルゲーム (1) シングル
11	テーブルゲーム (2) ダブルス
12	フットサル、練習～ゲーム
13	ユニホッケー、練習～ゲーム
14	からだを知る、ストレッチ・筋力トレーニングなど
15	まとめ

評価

授業に対する意欲、関心、態度60%、毎回のまとめ記入20%、実技まとめ20%とし、総合評価60点以上を合格とする。

【フィードバック】毎授業の最初に前回授業の質疑に返答し、学習理解を深められるようにする。

授業外学習

【事前予習】競技種目のルールを事前に調べ理解しておくこと。（各授業に対して60分）

【事後学修】毎回の授業内容を振り返り、ノートや学習カードに整理する。（各授業に対して60分）

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

特に指定なし（必要に応じて推薦書を授業内に紹介）

初回授業の案内

初回授業は記念ホール/メインアリーナに集まってください。更衣をせず運動靴を準備してください。また、出席カードを作成しますので筆記用具・顔写真も忘れず準備してください。

私物(靴・手荷物)はすべて実施場所へ持参してください。

科目名	身体運動		
担当教員名	鈴木 康弘		
ナンバリング	KKb223		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 身体運動		
学 年	1	ク ラ ス	2Nクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*, 選必
授 業 形 態		単 位 数	1
資 格 関 係	保育士資格 / 健康運動実践指導者 / 高等学校教諭一種免許状 (情報) / 高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語) / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 栄養教諭二種免許状 / 小学校教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (国語) / 高等学校教諭一種免許状 (国語) / 中学校教諭一種免許状 (保健体育) / 高等学校教諭一種免許状 (保健体育)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

共通科目の学位授与方針 1 . に該当する。

本科目は共通科目保健体育の教育課程編成・実施方針 1 . 2 . 3 を踏まえ、体育の実技科目を通して、受講生それぞれが意欲や興味、能力に応じて「身体を動かすことの楽しみ」を見つけることを支援する。学科や学年を超えた多彩なクラス編成が本科目の特徴であり、スポーツや身体運動を通して学科や学年の異なる受講生の交流が深まることを期待している。教員免許や各種資格取得の必修科目である。

科目の概要

ラケットスポーツとして、テニスを 9 回、卓球を 6 回の予定で授業を構成しています。テニスではフォアハンドストローク、サーブ、ボレーに関して初歩的な技能を身につけ、最終的にはダブルスのゲームができるようになることを目指します。卓球ではダブルスゲームの特性を理解し、楽しめるようになることを目指します。

学修目標

1. 仲間との交流を深めながら、協働力や協調性を高めていくこと
2. フォアハンドストローク、サーブ、ボレーの基本的な技能を修得すること
3. ゲームのルールを理解し、テニスや卓球のゲーム (ダブルス) ができるようになること

内容	
1	ガイダンス (履修上の諸注意等) ・ 班分け
2	ストロークの基本 ショートコートでのラリー
3	ストロークの基本 サーブ
4	サーブ ボレー
5	サーブ ボレー オールコートでのラリー
6	ボールコントロールとサーブのチェック
7	3 対 3 のゲーム
8	テニスのゲーム (ダブルス)
9	テニスのゲーム (ダブルス)
10	卓球のゲーム (ダブルス)
11	卓球のゲーム (ダブルス)
12	卓球のゲーム (ダブルス)
13	卓球のゲーム (ダブルス)
14	卓球のゲーム (ダブルス)
15	卓球のゲーム (ダブルス)

評価

評価は、運動量及び協働力や協調性の達成度 (授業への取り組みで評価、 6 0 点) 、運動の質 (実技チェック : ボールコン

トロールとサーブ、30点)3割、ルールやマナーの理解(10点)の観点から総合的に行います。60点以上を合格とします。

授業外学習

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

教科書 特に使用しない

科目名	身体運動		
担当教員名	平田 智秋		
ナンバリング	KKb223		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 身体運動		
学 年	1	ク ラ ス	2Sクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*, 選必
授 業 形 態		単 位 数	1
資 格 関 係	保育士資格 / 健康運動実践指導者 / 高等学校教諭一種免許状(情報) / 高等学校教諭一種免許状(英語) / 中学校教諭一種免許状(英語) / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 栄養教諭二種免許状 / 小学校教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状(保健) / 中学校教諭一種免許状(保健) / 中学校教諭一種免許状(国語) / 高等学校教諭一種免許状(国語) / 中学校教諭一種免許状(保健体育) / 高等学校教諭一種免許状(保健体育)		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

人間生活学部の学位授与方針 1, 3 に該当する。

科目の性格

体育実技科目であり、受講生それぞれの意欲や興味、能力に応じた「身体を動かすことの楽しみ」を見つけることを支援する。そして学科や学年の枠を超えた多彩なクラス編成で、身体運動の楽しさを共有する。身体運動を通じて学科間、学年間の交流を促す機会にもしたい。

科目の概要

集団球技(サッカー、バドミントン、バスケットボールなど)を中心とした実技を、3~5週を単位に継続的に行う。

学修目標

クラス内での交流を通じて、実技で扱う種目の技能を高め、生涯を通じて運動に親しむ素地を養う。
また自らの意欲・能力に応じた「身体を動かすことの楽しみ」を見つける。

内容

集団球技を中心に実技を進める。テーマは「競創」とする。

集団球技はゲームであり、勝敗がつく。勝つと嬉しいし、負けると悔しい。
まずはこの身体から湧き出るリアルな感情を味わう。

そして集団球技にはチームメイトと対戦相手が要る。

ゲームでの勝敗を「結果」とすれば、チームメイトや対戦相手とのやり取りは「過程」である。
この科目ではこの「過程」を重視する。

身体を使ったチームメイトや対戦相手との交流を通じて、独自の創意工夫や楽しみ方を見つけてほしい。
このようなクラスメイトとの協同・競争を通じて、自分や他人を尊重する態度が養われると考える。

予定している種目は以下の通りである。履修者の人数や意欲・希望に応じて種目を選択する

- ・陣取り型：サッカーやバスケットボール
- ・ネット型：テニス、バドミントン、

これらの中から3種目を5週を単位として継続する。

ゲームを主体に実技を進め、チームでの話し合いにも時間を割く。

履修人数の上限を40名程度とする。

名前入りゼッケンを着用し、毎週、グラウンド用、体育館用2種類の靴を用意すること。

評価

初回授業でこの科目のシャトルカードを配布する。これに毎回の実技内容と、自らの気付きを記入し、毎回提出する。シャトルカード50%と平常点50%を総合して評価し、合計60%以上を合格とする。平常点では技能レベルや勝敗、記録での評価はしない。欠席が4回を超える場合には評価の対象としない。また遅刻・早退は2回で欠席1回分に数える。体調不良などによる見学は出席とみなすことがある。

授業外学習

授業外学習内容の編集 【事前予習】十分な睡眠時間を確保し、朝食を摂り、運動できる体調を整えておく（各授業に対して45分）。

【事後学修】実技を通じて体感した「気付き」を書き留め、自らの身体についての理解を深める（各授業に対して15分）

。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

特に指定なし（必要に応じて推薦書を授業内に紹介）。

科目名	身体運動		
担当教員名	清水 文子		
ナンバリング	KKb223		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 身体運動		
学 年	1	ク ラ ス	2Hクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	1
資 格 関 係	保育士資格 / 健康運動実践指導者 / 高等学校教諭一種免許状 (情報) / 高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語) / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 栄養教諭二種免許状 / 小学校教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (国語) / 高等学校教諭一種免許状 (国語) / 中学校教諭一種免許状 (保健体育) / 高等学校教諭一種免許状 (保健体育)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

共通科目の学位授与方針1. に該当する。体育の実技科目である。

本科目は共通科目保健体育の教育課程編成・実施方針1. 2. 3を踏まえ、身体運動を通して、クラス内のコミュニケーションを図るとともに、大学や学科への帰属意識を高め、4年間の学園生活に臨む修学態度の基礎を養う。受講生それぞれの意欲や興味、能力に応じた「身体を動かすことの楽しみ」を見つけることを支援する。そして学科や学年の枠を超えた多彩なクラス編成で、身体運動の楽しさを共有する。

身体運動を通じて学科間、学年間の交流を促す機会にもしたい。 科目の概要

ハンドボール、バスケットボール、バレーボール、バドミントンなど様々な種目を行う。またゲーム中心で十分な運動量を確保したい。

学修目標

クラス内での交流を通じて、実技で扱う種目の技能を高め、生涯を通じて運動に親しむ素地を養う。

また、自らの意欲・能力に応じた「身体を動かすことの楽しみ」を見つける。

内容

天候や施設状況によって、授業内容が変わることがあります。毎時間感想を記入しそれを元に出席管理を行います。

1	オリエンテーション
2	ボール慣らし、ドッジボール
3	ハンドボール、パス・シュート練習、ゲーム (4 対 4)
4	ハンドボール、パス・シュート練習、連携プレーからシュートへの展開、ゲーム (5 対 5)
5	バスケットボール、パス・シュート練習、ゲーム
6	バレーボール、トス・スパイク・サーブ練習、ゲーム
7	バドミントン (シングル)、ラリー・サーブ練習、ゲーム
8	バドミントン (ダブルス)、ラリー・サーブ練習、ゲーム
9	火気取扱演習
10	テーブルゲーム (1) シングル
11	テーブルゲーム (2) ダブルス
12	ユニホッケー、ゲーム
13	フットサル (柔らかいボール使用)、ゲーム
14	からだを知る、ストレッチ・筋力トレーニング
15	まとめ

評価

授業に対する意欲、関心、態度60%、毎回のまとめ記入20%、実技まとめ20%とし、総合評価60点以上を合格とする。

【フィードバック】毎授業の最初に前回授業の質疑に返答し、学習理解を深められるようにする。

授業外学習

【事前予習】競技種目のルールを事前に調べ理解しておくこと。（各授業に対して60分）

【事後学修】毎回の授業内容を振り返り、ノートや学習カードに整理する。（各授業に対して60分）

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

特に指定なし（必要に応じて推薦書を授業内に紹介）

初回授業の案内

初回授業は記念ホール/メインアリーナに集まってください。更衣をせず運動靴を準備してください。また、出席カードを作成しますので筆記用具・顔写真も忘れず準備してください。

私物(靴・手荷物)はすべて実施場所へ持参してください。

科目名	身体運動		
担当教員名	扇原 淳		
ナンバリング	KKb223		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 身体運動		
学 年	1	ク ラ ス	2Mクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*, 選必
授 業 形 態		単 位 数	1
資 格 関 係	保育士資格 / 健康運動実践指導者 / 高等学校教諭一種免許状 (情報) / 高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語) / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 栄養教諭二種免許状 / 小学校教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (国語) / 高等学校教諭一種免許状 (国語) / 中学校教諭一種免許状 (保健体育) / 高等学校教諭一種免許状 (保健体育)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

人間生活学部の共通科目、保健体育領域の学位授与方針1に該当します。

この授業は、生涯を通じた健康づくりとしてのスポーツの楽しみ方とその方法について学習します。また、一部健康運動実践指導者受験資格取得のために必要な授業内容です。

科目の概要

健康づくりのための運動プログラムの基礎や基礎的な指導法について学習します。様々な健康づくりの方法を学習することで、自分の体をコントロールする感覚や他者に指導する際の注意点を体験的に学べる構成にしています。

学修目標 (= 到達目標)

体力向上や疾病・障害予防を目的としたトレーニングプログラムの効用や指導時の注意点について説明できることを目標にします。

内容

1. 体操・補強運動の基本的理論とその実際
2. ウォームアップとクールダウン
3. ウェイトトレーニング
4. 補強運動 (アイソメトリック)
5. 補強運動 (アイソトニック)
6. 補強運動 (アイソキネティック)
7. 補強運動 (フリーウエイト)
8. 補強運動 (マシン)
9. 補強運動 (サーキット)
10. 有酸素トレーニング (1)
11. 有酸素トレーニング (2)
12. ヨガ (1)
13. ヨガ (2)
14. ヨガ (3)
15. 振り返り

評価

平常点 : 80% (参加点が基本。時間厳守。20分以上の遅刻は欠席) レポート : 20% とし、総合評価60点以上を

合格とします。

【フィードバック】リアクションペーパーを確認し、コメントを翌週以降に返却します。

授業外学習

【事前準備】各種運動方法について調べておく。

【事後学修】各種運動方法をまとめておく。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書は使用せず

科目名	身体運動		
担当教員名	平田 智秋		
ナンバリング	KKb223		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 身体運動		
学 年	1	ク ラ ス	2Rクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*, 選必
授 業 形 態		単 位 数	1
資 格 関 係	保育士資格 / 健康運動実践指導者 / 高等学校教諭一種免許状 (情報) / 高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語) / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 栄養教諭二種免許状 / 小学校教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (国語) / 高等学校教諭一種免許状 (国語) / 中学校教諭一種免許状 (保健体育) / 高等学校教諭一種免許状 (保健体育)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

人間生活学部の学位授与方針 1 , 3 に該当する。

科目の性格

体育実技科目であり、受講生それぞれの意欲や興味、能力に応じた「身体を動かすことの楽しみ」を見つけることを支援する。そして学科や学年の枠を超えた多彩なクラス編成で、身体運動の楽しさを共有する。身体運動を通じて学科間、学年間の交流を促す機会にもしたい。

科目の概要

集団球技 (サッカー , バドミントン , バasketボールなど) を中心とした実技を、3 ~ 5 週を単位に継続的に行う。

学修目標

クラス内での交流を通じて、実技で扱う種目の技能を高め、生涯を通じて運動に親しむ素地を養う。
また自らの意欲・能力に応じた「身体を動かすことの楽しみ」を見つける。

内容

集団球技を中心に実技を進める。テーマは「競創」とする。

集団球技はゲームであり、勝敗がつく。勝つと嬉しいし、負けると悔しい。
まずはこの身体から湧き出るリアルな感情を味わう。

そして集団球技にはチームメイトと対戦相手が要る。

ゲームでの勝敗を「結果」とすれば、チームメイトや対戦相手とのやり取りは「過程」である。
この科目ではこの「過程」を重視する。

身体を使ったチームメイトや対戦相手との交流を通じて、独自の創意工夫や楽しみ方を見つけてほしい。
このようなクラスメイトとの協同・競争を通じて、自分や他人を尊重する態度が養われると考える。

予定している種目は以下の通りである。履修者の人数や意欲・希望に応じて種目を選択する

- ・陣取り型：サッカーやBasketボール
- ・ネット型：テニス、バドミントン、

これらの中から3種目を5週を単位として継続する。

ゲームを主体に実技を進め、チームでの話し合いにも時間を割く。

履修人数の上限を40名程度とする。

名前入りゼッケンを着用し、毎週、グラウンド用、体育館用2種類の靴を用意すること。

評価

初回授業でこの科目のシャトルカードを配布する。これに毎回の実技内容と、自らの気付きを記入し、毎回提出する。シャトルカード50%と平常点50%を総合して評価し、合計60%以上を合格とする。平常点では技能レベルや勝敗、記録での評価はしない。欠席が4回を超える場合には評価の対象としない。また遅刻・早退は2回で欠席1回分に数える。体調不良などによる見学は出席とみなすことがある。

授業外学習

授業外学習内容の編集 【事前予習】十分な睡眠時間を確保し、朝食を摂り、運動できる体調を整えておく（各授業に対して45分）。

【事後学修】実技を通じて体感した「気付き」を書き留め、自らの身体についての理解を深める（各授業に対して15分）

。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

特に指定なし（必要に応じて推薦書を授業内に紹介）。

科目名	身体運動		
担当教員名	扇原 淳		
ナンバリング	KKb223		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 身体運動		
学 年	1	ク ラ ス	2Qクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	1
資 格 関 係	保育士資格 / 健康運動実践指導者 / 高等学校教諭一種免許状 (情報) / 高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語) / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 栄養教諭二種免許状 / 小学校教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (国語) / 高等学校教諭一種免許状 (国語) / 中学校教諭一種免許状 (保健体育) / 高等学校教諭一種免許状 (保健体育)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

人間生活学部の共通科目、保健体育領域の学位授与方針1に該当します。

この授業は、生涯を通じた健康づくりとしてのスポーツの楽しみ方とその方法について学習します。また、一部健康運動実践指導者受験資格取得のために必要な授業内容です。

科目の概要

様々なスポーツ種目を通して、自分の体をコントロールする感覚を、五感 (嗅覚、視覚、触覚、聴覚、そして、「スポーツの楽しさ・仲間と一緒に汗を流す楽しさを味わう」という意味での味覚) すべてで感じることを大切にします。加えて、仲間づくりやチームづくりの手段と方法や、体力づくりとしての補強運動の実践について学習します。

学修目標 (= 到達目標)

スポーツを通じて「自分が楽しく、みんなが楽しく」なる時間・空間・仲間づくりが実践できるようになることを最終的な目標とします。

内容

- 1 オリエンテーション・ティーボール (基本動作の確認・習得)
- 2 ティーボール (ゲームを楽しむ 1)
- 3 ティーボール (ゲームを楽しむ 2)
- 4 ミニサッカー (基本動作の確認・習得)
- 5 ミニサッカー (ゲームを楽しむ 1)
- 6 ミニサッカー (ゲームを楽しむ 2)
- 7 バスケットボール (基本動作の確認・習得)
- 8 バスケットボール (ゲームを楽しむ 1)
- 9 バスケットボール (ゲームを楽しむ 2)
- 10 バドミントン (基本動作の確認・習得)
- 11 バドミントン (ゲームを楽しむ 1)
- 12 バドミントン (ゲームを楽しむ 2)
- 13 バレーボール (基本動作の確認・習得)
- 14 バレーボール (ゲームを楽しむ 1)
- 15 バレーボール (ゲームを楽しむ 2) ・まとめ

評価

平常点：80%（参加点が基本。時間厳守。20分以上の遅刻は欠席） レポート：20% とし、総合評価60点以上を合格とします。

【フィードバック】リアクションペーパーを確認し、コメントを翌週以降に返却します。

授業外学習

【事前準備】各種運動方法について調べておく。

【事後学修】各種運動方法をまとめておく。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書は使用せず

科目名	身体運動		
担当教員名	扇原 淳		
ナンバリング	KKb223		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 身体運動		
学 年	1	ク ラ ス	2Pクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必, 必修 *
授 業 形 態		単 位 数	1
資 格 関 係	保育士資格 / 健康運動実践指導者 / 高等学校教諭一種免許状 (情報) / 高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語) / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 栄養教諭二種免許状 / 小学校教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (国語) / 高等学校教諭一種免許状 (国語) / 中学校教諭一種免許状 (保健体育) / 高等学校教諭一種免許状 (保健体育)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

人間生活学部の共通科目、保健体育領域の学位授与方針 1 に該当します。

この授業は、生涯を通じた健康づくりとしてのスポーツの楽しみ方とその方法について学習します。また、一部健康運動実践指導者受験資格取得のために必要な授業内容です。

科目の概要

様々なスポーツ種目を通して、自分の体をコントロールする感覚を、五感 (嗅覚、視覚、触覚、聴覚、そして、「スポーツの楽しさ・仲間と一緒に汗を流す楽しさを味わう」という意味での味覚) すべてで感じることを大切にします。加えて、仲間づくりやチームづくりの手段と方法や、体力づくりとしての補強運動の実践について学習します。

学修目標 (= 到達目標)

スポーツを通じて「自分が楽しく、みんなが楽しく」なる時間・空間・仲間づくりが実践できるようになることを最終的な目標とします。

内容

- 1 オリエンテーション・ティーボール (基本動作の確認・習得)
- 2 ティーボール (ゲームを楽しむ 1)
- 3 ティーボール (ゲームを楽しむ 2)
- 4 ミニサッカー (基本動作の確認・習得)
- 5 ミニサッカー (ゲームを楽しむ 1)
- 6 ミニサッカー (ゲームを楽しむ 2)
- 7 バスケットボール (基本動作の確認・習得)
- 8 バスケットボール (ゲームを楽しむ 1)
- 9 バスケットボール (ゲームを楽しむ 2)
- 10 バドミントン (基本動作の確認・習得)
- 11 バドミントン (ゲームを楽しむ 1)
- 12 バドミントン (ゲームを楽しむ 2)
- 13 バレーボール (基本動作の確認・習得)
- 14 バレーボール (ゲームを楽しむ 1)
- 15 バレーボール (ゲームを楽しむ 2) ・まとめ

評価

平常点：80%（参加点が基本。時間厳守。20分以上の遅刻は欠席） レポート：20% とし、総合評価60点以上を合格とします。

【フィードバック】リアクションペーパーを確認し、コメントを翌週以降に返却します。

授業外学習

【事前準備】各種運動方法について調べておく。

【事後学修】各種運動方法をまとめておく。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書は使用せず

科目名	身体運動		
担当教員名	山本 悟		
ナンバリング	KKb223		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 身体運動		
学 年	1	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*, 選必
授 業 形 態		単 位 数	1
資 格 関 係	保育士資格 / 健康運動実践指導者 / 高等学校教諭一種免許状(情報) / 高等学校教諭一種免許状(英語) / 中学校教諭一種免許状(英語) / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 栄養教諭二種免許状 / 小学校教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状(保健) / 中学校教諭一種免許状(保健) / 中学校教諭一種免許状(国語) / 高等学校教諭一種免許状(国語) / 中学校教諭一種免許状(保健体育) / 高等学校教諭一種免許状(保健体育)		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

共通科目の学位授与方針 1 . に該当する。

本科目は共通科目保健体育の教育課程編成・実施方針 1 . 2 . 3 を踏まえ、体育の実技科目を通して、受講生それぞれが意欲や興味、能力に応じて「身体を動かすことの楽しみ」を見つけることを支援する。学科や学年を超えた多彩なクラス編成が本科目の特徴であり、スポーツや身体運動を通して学科や学年の異なる受講生の交流が深まることを期待している。教員免許や各種資格取得の必修科目である。

科目の概要

ボールを手や道具で打つ動作を主体にしたスポーツ種目を継続的に実施する。具体的には、ゴルフ・バドミントン・卓球・ソフトバレーボール等を 2 ~ 5 週間を単位にして行う予定である。

学修目標

- 1) クラス内の交流を基盤にして、身体を動かす積極的な姿勢を身につけること
- 2) 自らの意欲・能力に応じて、身体を動かすことの楽しみを見つけ、実技技能を高めること
- 3) 運動を言葉で表現する活動により、スポーツの新しいとらえ方に気づき、理解すること

内容

天候や授業の進度に応じて、グラウンドと体育館(アリーナ)とを使い分けて授業を実施するため、グラウンド用と体育館用の 2 種類の靴を用意すること。見学者も運動着に着替えて出席すること。

履修人数の上限を40名程度とする。

1	オリエンテーション(運動のできる服装で集合・グループ作り・ゴルフの基本を理解)
2	ゴルフ (個人技能練習: 小さいスイングで打つ、グリップ)
3	ゴルフ (個人技能練習: 大きなスイングで打つ)
4	ゴルフ (個人技能練習: 様々なスイングで打つ・ショートゲームの理解と実践)
5	ゴルフ (ショートゲームの理解と実践)
6	ゴルフ (ショートゲーム大会)
7	卓球 (個人技能練習: サーブ、ラリーの継続)
8	卓球 (トーナメント大会: ダブルス戦)
9	火気使用実習
10	ソフトバレーボール (チーム作り、個人技能練習: パス、サーブ)
11	ソフトバレーボール (スパイク等の連係プレー練習、練習試合)
12	ソフトバレーボール (チーム対抗リーグ戦)
13	バドミントン (チーム作り、個人技能練習: サーブ、ラリーの継続)
14	バドミントン (ダブルス戦の進め方を理解、練習試合)

評価

授業への参加度（運動への取組、協働性、意欲や関心など）60点、ノートまたは学習カードの整理20点（提出1～2回）およびレポート20点による評価を行い、60点以上を合格とする。【フィードバック】毎授業の最初に前回授業の確認を行い学習理解を深める。提出したノート等はコメントを記載し翌週以降に返却する。

授業外学習

【事前準備】授業で紹介した文献や資料の自主的な講読を行い、授業で取り組むスポーツ種目を理解する（60分）。

【事後学修】毎回の授業内容をノートや学習カードに整理する（60分）。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

特に使用しないが、講義の中で随時、紹介する。

科目名	身体運動		
担当教員名	山本 悟、平田 智秋、千足 耕一、鈴木 康弘 他		
ナンバリング	KKb223		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 身体運動		
学 年	1	ク ラ ス	2Tクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*, 選必
授 業 形 態		単 位 数	1
資 格 関 係	保育士資格 / 健康運動実践指導者 / 高等学校教諭一種免許状(情報) / 高等学校教諭一種免許状(英語) / 中学校教諭一種免許状(英語) / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 栄養教諭二種免許状 / 小学校教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状(保健) / 中学校教諭一種免許状(保健) / 中学校教諭一種免許状(国語) / 高等学校教諭一種免許状(国語) / 中学校教諭一種免許状(保健体育) / 高等学校教諭一種免許状(保健体育)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

共通科目の学位授与方針 1 に該当する。

本科目では、共通教育保健体育の教育課程・実施方針 1 . 3 を踏まえ、3 拍 4 日の雪上実習と 3 回の事前オリエンテーションを通じて、スキーやスノーボードの基礎技術はもとより、集団生活による自律した行動・態度を身につける学びの場を提供している。前期に行う身体運動 の抽選登録の対象外とし、別の方法で履修登録を行う(読書入門・身体運動 のパンフ参照)。

科目の概要

本学湯の丸山荘(長野県)に宿泊し、湯の丸スキー場においてスキーもしくはスノーボードの実習を行う。

学修目標

- a)自然との関わりの深いスキーやスノーボードの特性について理解し、その知識と技術を身につける。
- b)自然界のすばらしさと厳しさを味わい、生涯を通じて自然に親しむ態度を養う。
- c)健康管理への気付き、学年や学科を超えた交流の中から仲間意識を高める。

内容

実習を通じて、以下の技能を体得するとともに、集団生活を通して自律した行動と態度の意義を再確認する。

スキー初級

雪や用具になれる：スキーの着脱、転倒起立、歩行、方向変換、推進滑降、登行
 初歩的な滑降：直滑降、プルーク、プルーク・ポーゲン

スキー中級

基本的な構えとスキー操作を学ぶ：斜滑降、横滑り、山回り、プルーク・ターン
 リズムとバランス感覚を学ぶ：シュテム・ターンなど

スキー上級

スピードをコントロールし、回転動作を洗練する：パラレル・ステップターン
 制限コースや雪質、斜面などへの対応力を高める：制限滑降、深雪滑降

スノーボード初級

装備の着脱、転び方と起き方、スケータリング
 リフトの乗り降り、サイドスリップと木の葉落とし(かかと、つま先の両側で)

スノーボード中級

Jターン（かかと、つま先の両方で）、ノーズドロップ
ずらしを利用した連続ターン

スノーボード上級

カービングターン、大回りと小回り

評価

オリエンテーションへの参加と、実習における技能習得や生活態度およびレポートを総合して評価し、60%以上の評価を合格とする。【フィードバック】実技実習中の夜の活動プログラムとして、スキーとスノーボード講習中の映像等をもとに振り返りを行い、学習理解を深める。

授業外学習

- 【事前準備】事前オリエンテーションで紹介した推薦書の自主的講読(60分)。
- 【事後学修】実習のまとめとして指示した実習ノートの整理(30分)。レポートの作成、提出(2時間)。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

- 【推薦書】オリエンテーションで紹介する。
- 【備考】・実施時期、実施場所等：2020年2月中旬に3泊4日で実施。履修人数を30～35名程度に制限する予定。上位学年の履修優先とし、繰り返し受講も可能。
- ・実施場所及び宿泊施設：湯の丸スキー場、本学湯の丸山荘。
- ・実習参加費(予定)：35,000円程度(宿泊費・3泊9食、交通費、保険料、リフト代、用具レンタル代等)～ウェアのレンタルは無い(各自で準備)。
- ・受講希望者は後期履修登録前に行うオリエンテーションに必ず参加すること。

科目名	身体運動		
担当教員名	藤生 栄一郎		
ナンバリング	KKb223		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 身体運動		
学 年	1	ク ラ ス	2Dクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	1
資 格 関 係	保育士資格 / 健康運動実践指導者 / 高等学校教諭一種免許状 (情報) / 高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語) / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 栄養教諭二種免許状 / 小学校教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (国語) / 高等学校教諭一種免許状 (国語) / 中学校教諭一種免許状 (保健体育) / 高等学校教諭一種免許状 (保健体育)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

人間生活学部の共通科目、保健体育領域の学位授与方針 1 . に該当する。本科目は、共通科目保健体育の教育課程編成・実施方針 1 . 2 . 3 . を踏まえた、体育の実技科目である。受講生それぞれの意欲や興味、関心、能力に応じた「身体を動かすことの楽しみ」や「身体づくりの重要性」を見つけ、日常的な運動習慣を身につけること支援する。ネット型球技 (バレーボール、バドミントン、卓球) を通して、身体づくりとともに仲間づくりも大切にし、学科や学年の枠を超えたクラス編成で、身体運動の楽しさを共有し、スポーツや身体運動を通して、学科間、学年間の交流を促す機会にもしたい。

科目の概要

ネット型球技 (バレーボール、バドミントン、卓球) の技術練習とゲームを中心に、様々な運動を行い、身体を動かすことの楽しさを味わい、積極的に動ける身体づくりを目指す。

学修目標 (= 到達目標)

身体を動かすことの楽しさを味わう中で、積極性とチャレンジ精神をより高める。
仲間と過ごす活動の楽しさ、協働、協調、協力、チームワーク、リーダーシップ、フォロワーシップなどを同時に学びつつ、生涯に渡ってスポーツ・運動に取り組む姿勢を身に着ける。

内容

ネット型球技として、バレーボール、バドミントン、卓球の技術的な練習とゲームを中心に、様々な身体活動運動を行なう。

また、ウォーミングアップを兼ねて、ストレッチ、体操、トレーニングなども取り入れ、それらを通して自らの身体づくりや健康増進、体力向上、ストレス解消なども含め、スポーツ・運動を積極的に楽しめる感覚や考え方、知識を身に着ける。いつまでも元気にスポーツ・運動に取り組める身体づくりの一助になることを期待する。

主に屋内での活動を予定しているので、上記種目が実施可能な体育館シューズ (高校時代までに使用していたもので構わないが、紐で絞める屋内専用シューズとする) を用意すること。

また、服装は特に指定しないが、いわゆるジャージの上下やTシャツ、ハーフパンツ、短パン等を着用し、ストレッチ素材のジーンズやスキニーパンツなどは動きを制限する可能性があるので着用しないでください。

評価

平常点：授業への参加度 (運動への取り組み、積極性、協調性、意欲、関心など) 60点、ノート整理20点、まとめプリント20点による評価を行い、総合評価60点以上を合格とする。

【フィードバック】授業の最初に前回授業の確認を行ない、学習理解を深める。また、授業中に記入してもらう学習カードから疑問点などを見つけ、翌週の授業に反映させ、解決を促す。

授業外学習

【事前準備】前回までの授業内容を思い出し、整理し、授業での課題や目標を明確にしておく。(30分)

【事後学修】毎回の授業で扱った内容を、配布するカードに各自で記録、整理する。(10分)

日常的に身体を動かす習慣を身につけ、身体づくりを継続する。(60分)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】【推薦書】【参考図書】特に指定なし(必要に応じて授業内で紹介)

科目名	身体運動		
担当教員名	藤生 栄一郎		
ナンバリング	KKb223		
学 科	人間生活学部 (K) - 共通科目 - 身体運動		
学 年	1	ク ラ ス	2Fクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	1
資 格 関 係	保育士資格 / 健康運動実践指導者 / 高等学校教諭一種免許状 (情報) / 高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語) / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 栄養教諭二種免許状 / 小学校教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (国語) / 高等学校教諭一種免許状 (国語) / 中学校教諭一種免許状 (保健体育) / 高等学校教諭一種免許状 (保健体育)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

人間生活学部の共通科目、保健体育領域の学位授与方針 1 . に該当する。本科目は、共通科目保健体育の教育課程編成・実施方針 1 . 2 . 3 . を踏まえた、体育の実技科目である。受講生それぞれの意欲や興味、関心、能力に応じた「身体を動かすことの楽しみ」や「身体づくりの重要性」を見つけ、日常的な運動習慣を身につけること支援する。ネット型球技 (バレーボール、バドミントン、卓球) を通して、身体づくりとともに仲間づくりも大切にし、学科や学年の枠を超えたクラス編成で、身体運動の楽しさを共有し、スポーツや身体運動を通して、学科間、学年間の交流を促す機会にもしたい。

科目の概要

ネット型球技 (バレーボール、バドミントン、卓球) の技術練習とゲームを中心に、様々な運動を行い、身体を動かすことの楽しさを味わい、積極的に動ける身体づくりを目指す。

学修目標 (= 到達目標)

身体を動かすことの楽しさを味わう中で、積極性とチャレンジ精神をより高める。
仲間と過ごす活動の楽しさ、協働、協調、協力、チームワーク、リーダーシップ、フォロワーシップなどを同時に学びつつ、生涯に渡ってスポーツ・運動に取り組む姿勢を身に着ける。

内容

ネット型球技として、バレーボール、バドミントン、卓球の技術的な練習とゲームを中心に、様々な身体活動運動を行なう。

また、ウォーミングアップを兼ねて、ストレッチ、体操、トレーニングなども取り入れ、それらを通して自らの身体づくりや健康増進、体力向上、ストレス解消なども含め、スポーツ・運動を積極的に楽しめる感覚や考え方、知識を身に着ける。いつまでも元気にスポーツ・運動に取り組める身体づくりの一助になることを期待する。

主に屋内での活動を予定しているので、上記種目が実施可能な体育館シューズ (高校時代までに使用していたもので構わないが、紐で絞める屋内専用シューズとする) を用意すること。

また、服装は特に指定しないが、いわゆるジャージの上下やTシャツ、ハーフパンツ、短パン等を着用し、ストレッチ素材のジーンズやスキニーパンツなどは動きを制限する可能性があるので着用しないでください。

評価

平常点：授業への参加度 (運動への取り組み、積極性、協調性、意欲、関心など) 60点、ノート整理20点、まとめプリント20点による評価を行い、総合評価60点以上を合格とする。

【フィードバック】授業の最初に前回授業の確認を行ない、学習理解を深める。また、授業中に記入してもらう学習カードから疑問点などを見つけ、翌週の授業に反映させ、解決を促す。

授業外学習

【事前準備】前回までの授業内容を思い出し、整理し、授業での課題や目標を明確にしておく。(30分)

【事後学修】毎回の授業で扱った内容を、配布するカードに各自で記録、整理する。(10分)

日常的に身体を動かす習慣を身につけ、身体づくりを継続する。(60分)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】【推薦書】【参考図書】特に指定なし(必要に応じて授業内で紹介)